



Satera

LBP853Ci / LBP852Ci / LBP851C

ユーザーズガイド

もくじ

安全にお使いいただくために	2
設置について	3
電源について	5
取り扱いについて	7
保守／点検について	10
消耗品について	11
基本操作	15
おもな機能のご紹介	17
各部の名称とはたらき	19
本体前面	20
本体背面	22
本体内部	24
手差しトレイ	25
給紙カセット	26
操作パネル	27
ディスプレイ	30
操作パネルを使う	32
文字を入力する	35
電源を入れる／切る	37
本機を高速起動する	39
用紙をセットする	41
給紙カセットにセットする	43
手差しトレイにセットする	50
封筒・はがきをセットする	54
ロゴなどが印刷された用紙をセットする	58
用紙サイズと種類を設定する	62
給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する	63
手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する	66
節電する	69
スリープモードにする	70
オートシャットダウンを設定する	73
印刷する	77
パソコンから印刷する	78
用紙名称を設定する	82
印刷を中止する	85
いろいろな印刷方法	87
USB メモリーから印刷する（メディアプリント）	89
よく使うメディアプリント設定にする（初期値の変更）	99
暗証番号を入力して印刷する（セキュアプリント）	101

暗号化セキュアプリントを使う	104
文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）	105
本機に保存した文書を削除する	109
ボックスに名前や暗証番号を設定する	113
ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）	115
ダイレクトプリントの印刷設定	118
Eメールを受信して印刷する（Eメール印刷）	129
メーカー共通のドライバーを使用して印刷する（BMLinkS）	135

モバイル機器と便利に連携 139

モバイル機器と接続する	140
アプリを使って本機を活用する	141
AirPrint を使う	143
AirPrint で印刷する	147
AirPrint を使用できないときは	150
Google Cloud Print を使う	151
本機を遠隔管理する	155

ネットワーク 157

ネットワークに接続する	158
有線 LAN に接続する	160
IP アドレスを設定する	162
IPv4 アドレスを設定する	163
IPv6 アドレスを設定する	168
パソコンから印刷するための設定をする	172
印刷プロトコルや Web サービスの設定をする	173
IPP/IPPS を使用する	179
プリントサーバーを設定する	186
使用するネットワーク環境に合わせる	190
イーサネットの設定をする	191
ネットワーク接続時の待機時間を設定する	193
DNS の設定をする	194
WINS の設定をする	200
SNTP の設定をする	203
SNMP で監視／制御する	206
デバイス管理ソフトウェアの設定をする	212
SMB の設定をする	216
印刷を行うパソコンの設定をする	219

セキュリティ 223

不正な使用を防止する	224
不正アクセス防止対策について	225
アクセス権限を設定する	227
管理者パスワードを設定する	228
部門別 ID 管理をする	231

リモート UI の暗証番号を設定する	238
ファイアウォールで通信制限する	240
IP アドレスでファイアウォールを設定する	241
MAC アドレスでファイアウォールを設定する	247
プロキシを設定する	251
機能を制限する	254
印刷動作を制限する	255
USB の使用を制限する	258
操作パネルの使用を制限する	261
HTTP 通信を無効にする	264
リモート UI を無効にする	265
LAN ポートが無効にする	266
印刷履歴を非表示にする	267
強固なセキュリティー機能を導入する	269
TLS で暗号化通信をする	271
IPSec の設定をする	276
IEEE 802.1X 認証の設定をする	286
鍵ペアと電子証明書の設定をする	292
鍵ペアを生成する	293
認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う	301
鍵ペアと CA 証明書を検証する	304
リモート UI を使う	307
リモート UI を起動する	308
リモート UI の画面	311
待機中の文書や本機の状態を確認する	317
一般ユーザーが文書を操作できるようにする	322
本機の設定を変更する	324
設定データの保存／読み込みをする	326
設定データを保存する	327
設定データを読み込む	329
設定メニュー一覧	332
セットアップメニュー	333
拡張機能	334
給紙	352
ネットワーク	353
レイアウト	375
印字調整	379
インターフェイス	394
ユーザーメンテナンス	397
設定メニューの優先順位	426
動作モード	427
動作モード専用の設定	430
LIPSLX 設定	431

LIPS4 設定	432
ESC/P 設定	447
Imaging 設定	461
XPS 設定	472
PDF 設定	483
MEAP 設定	495
カウンター確認	497
パネル設定初期化	498
ユーティリティーメニュー	499
ジョブメニュー	508
リセットメニュー	510
給紙選択メニュー	513

困ったときは (Q&A)	523
-------------------------------	------------

メンテナンス	525
---------------------	------------

日常のお手入れ	527
本体	528
定着器	529
用紙搬送部	530
トナーカートリッジの交換	535
トナーカートリッジを交換する	541
ドラムカートリッジの交換	544
ドラムカートリッジを交換する	549
回収トナー容器の交換	552
回収トナー容器を交換する	554
定着器の交換	556
ITB ユニットの交換	558
本機を移動する	560
印刷品質を調整する	563
印刷濃度を調整する	564
色ずれや色味を補正する	566
印字位置を調整する	568
レポートとリストをプリントする	573
印刷ページ数を確認する	584
消耗品を確認する	587
設定を初期化する	590
メニューを初期化する	591
ネットワーク設定を初期化する	592
無償保証や保守サービスについて	593
無償保証について	594
キヤノンサービスパック (CSP)	595
キヤノン・ケア・ギャランティ (CCG)	597
NETEYE について	598

本機を準備する	599
---------------	-----

付録 603

第三者のソフトウェアについて	604
活用術	605
節約してエコロジー	606
効率アップの使いこなし術	607
まだあるこんな使い方	609
おもな仕様	611
本体	612
用紙について	615
ペーパーフィーダー PF-G	621
2 段カセットペディスタル・AU	622
環境ヒーター EH-D	623
プリント機能	624
管理機能	628
サポート環境	631
ネットワーク環境	632
消耗品	633
消耗部品	637
オプションについて	639
オプション機器について	640
システムオプションについて	642
ROM を取り付ける	644
SD カードを取り付ける	648
マニュアルの種類と内容	653
ユーザズガイドの使いかた	654
ユーザズガイドの画面構成	655
ユーザズガイドの読みかた	658
MEAP アプリケーションを管理する	660
FTP クライアントを使用する	661
FTP サーバーの準備をする	662
FTP クライアントを使用して印刷する (FTP 印刷)	665
FTP クライアントを使用して設定する	667
その他	675
Windows の基本操作	676
メニュールートマップ	685
動作モードについて	686
自動切り替えがうまくできないとき	688
動作モードを固定する	690
ESC/P エミュレーションのページフォーマット	691
内蔵フォント ID と LIPS 内蔵フォント	709
ダンプリスト	715
おことわり	718

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために	2
設置について	3
電源について	5
取り扱いについて	7
保守／点検について	10
消耗品について	11

安全にお使いいただくために

55S7-000

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しています。本機をお使いになる前によくお読みいただき、正しくお使いください。また、このマニュアルに記載されていないことは行わないでください。マニュアルの記載に従わない使いかた、不適切な使いかた、弊社および弊社指定以外の第三者による修理／変更などによって生じた障害の責任は負いかねますのでご了承ください。

設置について

55S7-001

本機を安全かつ快適にお使いいただくために、次の注意事項をよくお読みいただき、適切な場所に設置してください。

警告

火災や感電の原因となる場所には設置しない

- 通気口をふさぐ恐れのある場所
(壁の近く、ベッド、ソファ、毛足の長いじゅうたんの上等)
- 湿気やホコリの多い場所
- 屋外や直射日光のあたる場所
- 高温になる場所
- 火気のある場所
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近く

その他の警告

- 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- アクセサリーなどの金属や、液体の入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- オプション品を取り付けたり、取り外したりする場合は、電源を切り、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルを取り外してください。インターフェイスケーブルが傷つくと、火災や感電の原因になることがあります。
- 万一、本機の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。

注意

次のような場所には設置しない

- 落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
 - 不安定な場所
 - 振動のある場所



その他の注意

- 本機を持ち運ぶときは、マニュアルの指示に従って正しく持ってください。誤った持ち方をすると、落とすなどして、けがの原因になることがあります。
- 本機を設置する場合は、床面や壁との間などに手を挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

注意

風通しの悪い場所には設置しない

- 本機の使用中は、オゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。また、本機からの排気が人体に直接当たる場所には設置しないでください。



次のような場所には設置しない

- 故障の原因になることがあります。
- 急激な温度変化や湿度変化がある場所
- 磁気や電磁波を発生する機器に近い場所
- 実験室など、化学反応が生ずる場所
- 空気中に、腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
- 本機の重みによってゆがみや沈みが生じる可能性のある場所（じゅうたん／畳の上など）



結露の発生する場所には設置しない

- 部屋を急に暖めたり、温度や湿度が低い場所から高い場所へ本機を移動させたりすると、本体内部に水滴（結露）が発生することがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などの原因になることがありますので、2時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。

海拔 3000 m 以上の高地の場合

- ハードディスクを搭載している製品は、高地（海拔 3000 m 以上）で使用すると、正常に動作できない場合があります。

電源について

55S7-002

警告

- 仕様外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードを用いて本機を確実にアース端子付きコンセントに接続してください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。電源プラグがしっかりと差し込まれていないと、火災や感電の原因になることがあります。
- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因になることがあります。

アース線を接続してください

- コンセントのアース端子に、アース線を接続してください。アース線を接続していないと、万一漏電した場合に感電の恐れがあります。コンセントにアース端子がない場合は、接地工事（D種）が行われているアース端子に接続してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

次の場所にはアース線を絶対に接続しない

- 水道管：配管の一部がプラスチックの場合、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管には接続できます。
- ガス管：ガス爆発や火災の原因になることがあります。
- 電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。

注意

- 非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグの周囲に物を置かないでください。

ご注意

電源を接続するとき

- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作や故障の原因になることがあります。
- 複数の接続口を持つコンセントに本機を接続した場合、残りの接続口にはほかの機器を接続しないでください。

- パソコン本体の補助コンセントに本機の電源コードを接続しないでください。
- 屋内漏電ブレーカーを介して配線されているコンセントの使用を推奨します。

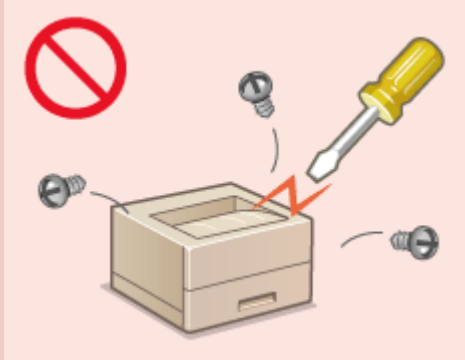
その他の注意事項

- 電気的なノイズは、本機の誤動作、あるいはデータ消失の原因になることがあります。
- お使いの電源についてご不明な点は、電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

取り扱いについて

55S7-003

警告

- 異音・異臭がする、発熱・発煙している、部品が破損しているなどの場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電、けがの原因になることがあります。
 - 本機を分解、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になることがあります。
 - 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 
- 本機の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になることがあります。
 - 本機を移動させる場合は、必ず本機とパソコンの電源を切ってから、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
 - 電源プラグをコンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。

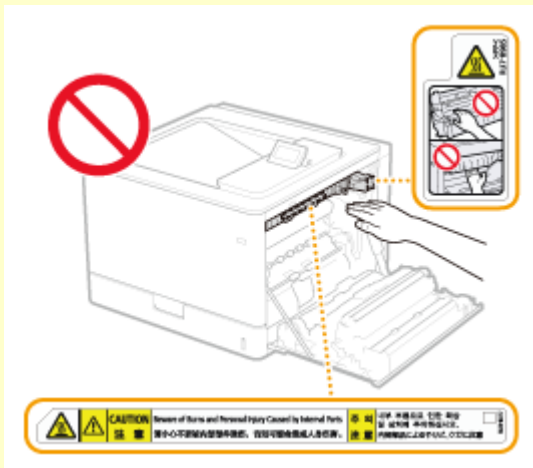
心臓ペースメーカーをご使用の方へ

- 本機から微弱な磁気や超音波が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機から離れ、医師にご相談ください。

注意

- 本機の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちたりしてけがの原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 開閉部を操作するときは、手を挟まないようにしてください。けがの原因になることがあります。
- 排紙部のローラーに触らないでください。巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 使用直後は、内部や排紙口が高温になります。また、連続印刷すると用紙が熱くなる場合がありますので、取り扱いには注意してください。やけどの原因になることがあります。

⚠️ 注意



- オプションのペーパーフィーダーや2段カセットベディスタルを取り付けた状態で持ち運ばないでください。落下してけがの原因になることがあります。



レーザー光について

- 万一、レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

📢 ご注意


移転や引っ越しなどで本機を輸送するとき

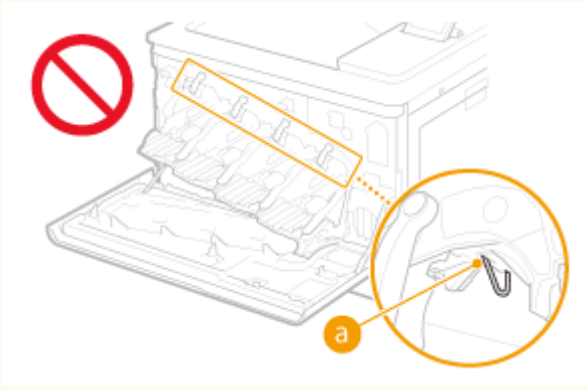
- 輸送中の破損や故障を避けるため、次のようにしてください。
 - トナーカートリッジやドラムカートリッジを取り外す
 - 購入時のパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包する

稼働音が気になる場合

- お客様の使用環境や動作モードにより、稼働音が気になる場合は、事務所とは別の場所に設置することをおすすめします。

その他の注意事項

- 本機にあるラベルなどの注意表示に従ってください。
- 本機に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 開閉部を無理に開け閉めしないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体内部の接点部（）に触れないでください。故障の原因になることがあります。



- 印刷中は電源を切らないでください。また、カバーの開閉、用紙の出し入れも行わないでください。紙づまりの原因となります。

保守／点検について

55S7-004

定期的には本機を清掃してください。ホコリなどがたまると、正しく動作しないことがあります。

お手入れをする際は、次の内容を必ずご確認ください。操作上問題が発生したときは、困ったときはを参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

警告

- 清掃の前に、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。これをせずに清掃作業を行うと、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグは定期的に抜き、付着したホコリや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になることがあります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤や、ティッシュペーパー、紙タオルなどは使用しないでください。これらが内部の電気部品などに付着すると、火災や感電、静電気発生の原因になることがあります。
- 電源コードや電源プラグは定期的に点検し、発熱、錆び、曲がり、擦れ、亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になることがあります。

注意

- 本体内部には高温／高電圧部分があり、むやみに手を触れるとけがややけどの原因になることがあります。マニュアルで説明されている以外の箇所に手を触れないでください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切らないように、注意してください。

ご注意

- 紙づまり処理やトナーカートリッジなどを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。

消耗品について

55S7-005

警告

- トナーカートリッジなどを火中に投げないでください。また、トナーカートリッジやドラムカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になることがあります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

心臓ペースメーカーをご使用の方へ

- トナーカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらトナーカートリッジから離れ、医師にご相談ください。

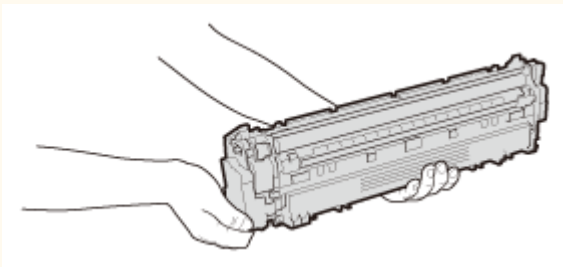
注意

- トナーを吸い込まないように注意してください。万一、吸い込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーが目や口などに入らないように注意してください。万一、トナーが目や口などに入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナーが皮膚に付着しないように注意してください。万一、皮膚に付着した場合は、石鹸を使って水で洗い流してください。皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。万一、トナーを飲んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジなどを分解、改造しないでください。トナーが飛び散ることがあります。

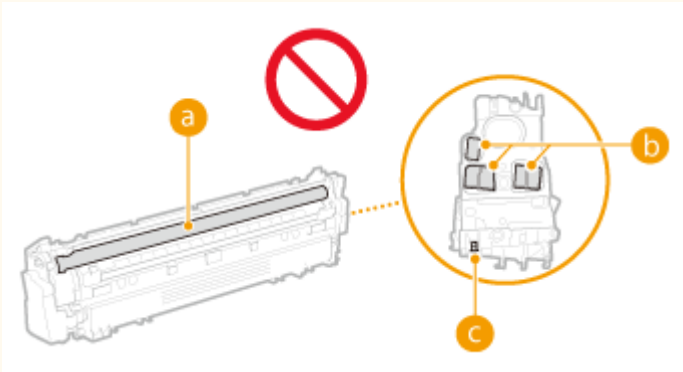
ご注意

トナーカートリッジの取り扱いかた

- 必ず取っ手を持ってください。



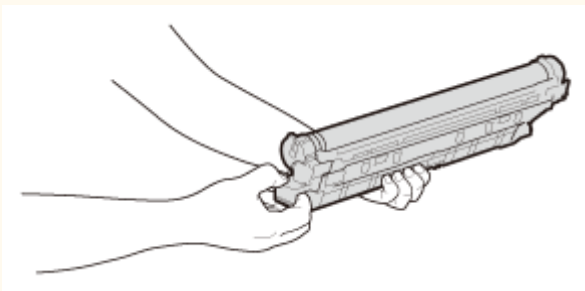
- ローラー部分 (a) や電気接点部 (b)、トナーカートリッジメモリー (c) には触れないでください。



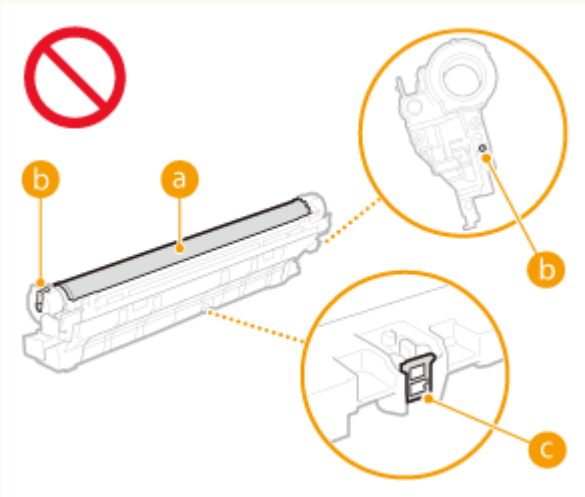
- 必要なとき以外は、梱包材や本機からトナーカートリッジを取り出さないでください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気が影響する製品には近づけないでください。データ破損などの原因になることがあります。

ドラムカートリッジの取り扱いかた

- 必ず取っ手を持ってください。



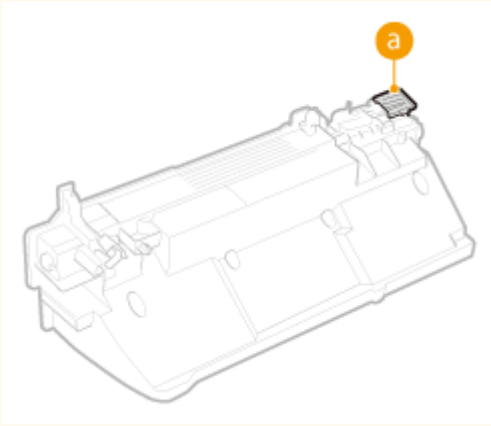
- ドラム表面（**a**）を傷つけたり、光にさらしたりしないでください。また、電気接点部（**b**）やドラムカートリッジメモリー（**c**）には触れないでください。



- 必要なとき以外は、梱包材や本機からドラムカートリッジを取り出さないでください。

回収トナー容器の取り扱いかた

- 回収トナー口（**a**）からトナーがこぼれることがあるため、傾けないでください。



トナーカートリッジやドラムカートリッジの保管方法

- 安全かつ快適にご使用いただくために、以下の環境で保管してください。
保管温度範囲：0～35℃
保管湿度範囲：35～85%RH（相対湿度／結露しないこと）*
- 使用する直前まで未開封の状態でご保管してください。
- 本機からトナーカートリッジやドラムカートリッジを取り外して保管する場合は、梱包材に入れてください。
- トナーカートリッジを保管する場合は、立てたり、裏返したり、逆さにしないでください。中のトナーが固まり、振っても元に戻らなくなる恐れがあります。

*保管湿度範囲内でも、外気温との差がある場合は内部に水滴が付着することがあります（結露）。結露は印字品質に悪影響を及ぼします。

トナーカートリッジやドラムカートリッジを次のような場所に保管しない

- 火気のある場所
- 直射日光や電灯の光に5分以上当たる場所
- 空気中に塩分を多く含む場所
- 腐食性ガス（エアゾールスプレーやアンモニアなど）が充満している場所
- 高温多湿の場所
- 温度変化および湿度変化が激しく、結露が生じやすい場所
- ホコリの多い場所
- 幼児の手の届く場所

トナーカートリッジやドラムカートリッジの偽造品に関するご注意

- キヤノン製トナーカートリッジやドラムカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」はキヤノン株式会社の商標権を侵害するものです。また誤って「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
global.canon/ctc

補修用性能部品とトナーカートリッジやドラムカートリッジなどの保有期間

- 本機の補修用性能部品およびトナーカートリッジやドラムカートリッジなどの最低保有期間は、製造打ち切り後7年間です。

トナーカートリッジやドラムカートリッジの梱包材について

- 梱包材は保管しておいてください。本機を移動するときなどに必要になります。
- 梱包材は予告なく位置、形状が変更されたり、追加や削除されたりすることがあります。

使用済みトナーカートリッジやドラムカートリッジなどを処分するとき

- 環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジやドラムカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。トナーカートリッジやドラムカートリッジの回収にご協力ください（**資源再利用について (P. 721)**）。廃棄する場合は、梱包材に入れて中のトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。

基本操作

基本操作	15
おもな機能のご紹介	17
各部の名称とはたらき	19
本体前面	20
本体背面	22
本体内部	24
手差しトレイ	25
給紙カセット	26
操作パネル	27
ディスプレイ	30
操作パネルを使う	32
文字を入力する	35
電源を入れる／切る	37
本機を高速起動する	39
用紙をセットする	41
給紙カセットにセットする	43
手差しトレイにセットする	50
封筒・はがきをセットする	54
ロゴなどが印刷された用紙をセットする	58
用紙サイズと種類を設定する	62
給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する	63
手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する	66
節電する	69
スリープモードにする	70
オートシャットダウンを設定する	73

基本操作

55S7-006

操作パネルの使いかたや、用紙のセット方法など、本機の各機能をお使いになるうえで共通する基本的なことからについて説明しています。



- お買い上げの機種によって搭載機能が異なります。あらかじめ、**▶おもな機能のご紹介(P. 17)** を参照してご使用になれる機能を確認してください。

■各部の名称とはたらき

本体の外観と内部について、各部の名前とそのはたらきをご紹介します。また、操作パネルの各キーの使いかたや、ディスプレイに表示される画面についても説明しています。**▶各部の名称とはたらき(P. 19)**



■操作パネルを使う

設定値を調整するときや設定内容を確定するときなど、操作パネルのどのキーをどう使うかについて説明しています。**▶操作パネルを使う(P. 32)**



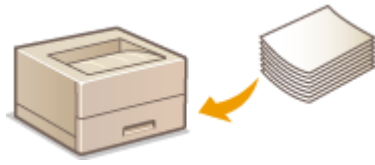
■電源を入れる／切る

電源の入れかたと切りかたを説明しています。**▶電源を入れる／切る(P. 37)**



■用紙をセットする

給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする方法について説明しています。▶[用紙をセットする\(P. 41\)](#)



■節電する

消費電力を抑える方法について説明しています。▶[節電する\(P. 69\)](#)



おもな機能のご紹介

55S7-007

本マニュアルは、お買い上げの機種シリーズすべての機能を網羅しております。はじめに、お買い上げの機種でどの機能が使えるのかをご確認ください。

○：機能あり ×：機能なし

機能	LBP853Ci	LBP852Ci	LBP851C
プリント	○	○	○
両面印刷	○	○	○
セキュアプリント	○	○	×
メディアプリント	○	○	×
保存ジョブプリント	○	○	×
有線 LAN 接続	○	○	○
無線 LAN 接続	×	×	×
モバイル機器と連携	○	○	○
部門別 ID 管理	○	○	×
MEAP	○	○	×
ペーパーフィーダー PF-G*	○	○	○
2 段カセットペディスタル・AU*	○	○	○
コントロール ROM CR-HIY*	○	○	×
SD カード C*	○	○	×

*オプション品です。



- お使いになれるドライバーの種類は、付属のユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM またはキヤノンホームページ (<https://global.canon/>) で確認してください。



関連項目

- ▶ [ユーザーズガイドの読みかた\(P. 658\)](#)

各部の名称とはたらき

55S7-008

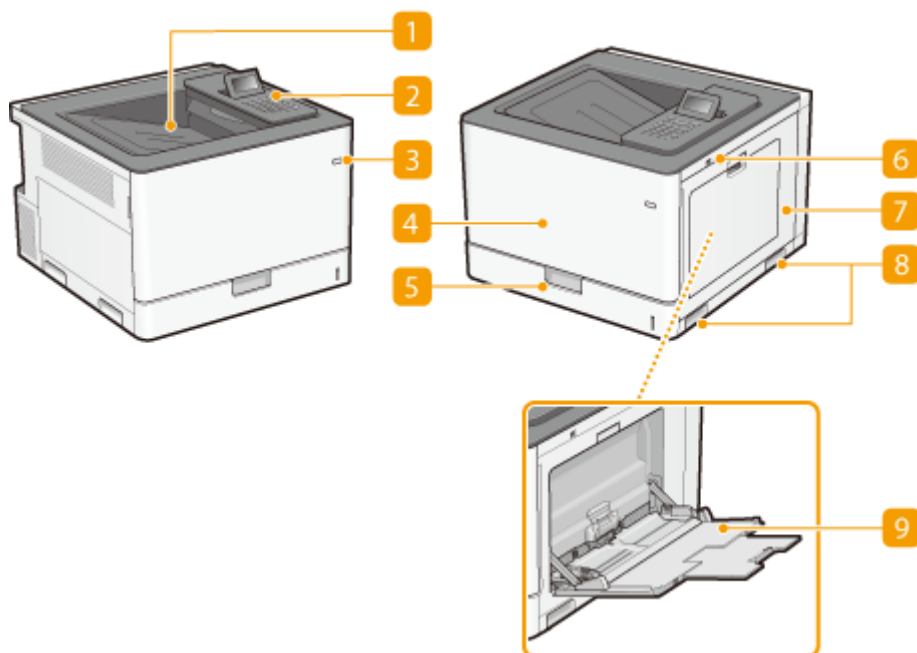
基本操作に関わる各部について本体外観、前面、背面、内部とそれぞれの部位ごとに名称とはたらきをご紹介します。また、用紙のセット、トナーカートリッジ交換など、基本操作に関わる各部について個別に取り上げているほか、操作パネルのキーやディスプレイの表示についても説明しています。円滑に操作していただく一助としてご活用ください。



- ▶ 本体前面(P. 20)
- ▶ 本体背面(P. 22)
- ▶ 本体内部(P. 24)
- ▶ 手差しトレイ(P. 25)
- ▶ 給紙カセット(P. 26)
- ▶ 操作パネル(P. 27)

本体前面

55S7-009



1 排紙トレイ

印刷が終わると、用紙はここに排出されます。

2 操作パネル

テンキー、各種ランプ、ディスプレイなどが配置されており、操作／設定はすべてこの操作パネルから行います。

▶操作パネル(P. 27) ▶ディスプレイ(P. 30)

3 電源スイッチ

電源を入れるときは、ここを押します。電源を切るときはこのスイッチを使わずに▶電源を切る（シャットダウンする）(P. 37)に記載されている手順に従ってください。

4 前カバー

トナーカートリッジやドラムカートリッジなどを交換するときに開けます。▶トナーカートリッジを交換する(P. 541) ▶ドラムカートリッジを交換する(P. 549)

5 給紙カセット

よく使う用紙は、ここにセットします。▶給紙カセットにセットする(P. 43)

6 USB ポート（USB メモリー用）（LBP853Ci / LBP852Ci）

USB メモリーを接続します。USB メモリー内のデータを、パソコンを介さずに直接印刷することができます（[▶ USB メモリーから印刷する（メディアプリント）（P. 89）](#)）。また、本機の設定をエクスポートまたはインポートするときに USB メモリーを接続します（[▶ 設定のインポート/エクスポート（P. 419）](#)）。

7 右カバー

定着器や ITB ユニットの交換したり、つまった用紙を取り除いたりするときに開けます。

[▶ 定着器の交換方法（P. 637）](#)

[▶ ITB ユニットの交換方法（P. 638）](#)

8 運搬用取っ手

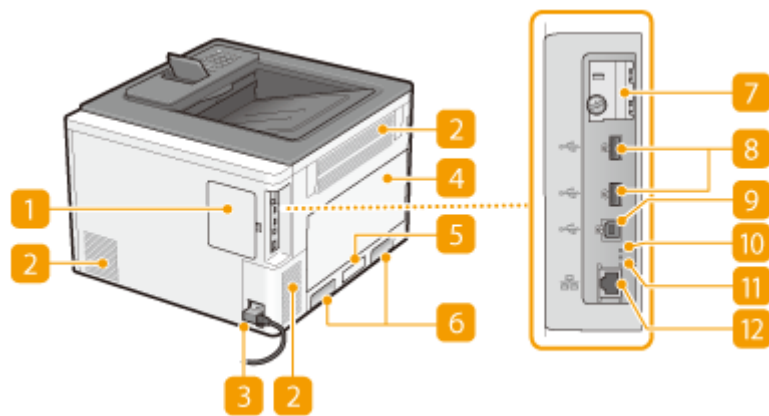
本機を移動するときには、ここを持ちます。[▶ 本機を移動する（P. 560）](#)

9 手差しトレイ

給紙カセットにセットされていない用紙を一時的に使うときなどは、ここにセットします。[▶ 手差しトレイにセットする（P. 50）](#)

本体背面

55S7-00A



1 後ろカバー (LBP853Ci / LBP852Ci)

オプションのコントロール ROM を装着するときに開けます。▶ROM を取り付ける(P. 644)

2 通気口

本体内部の換気と冷却を行います。通気口のそばに障害物を置くと換気の妨げになりますのでご注意ください。▶設置について(P. 3)

3 電源ソケット

電源コードがあらかじめ接続されています。安全のため、電源コードを電源ソケットから取り外さないでください。

4 左カバー

回収トナー容器を交換するときに開けます。▶回収トナー容器を交換する(P. 554)

5 定格銘板ラベル

お問い合わせの際に必要なシリアルナンバーが記載されています。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。

6 運搬用取っ手

本機を移動するときには、ここを持ちます。▶本機を移動する(P. 560)

7 SD カードスロットカバー (LBP853Ci / LBP852Ci)

オプションの SD カードを装着するときに開けます。▶SD カードを取り付ける(P. 648)

8 USB ポート (USB 機器用)

MEAP アプリケーションで使用する USB 機器を接続します。また、本機の設定をエクスポートまたはインポートするときに USB メモリーを接続します (▶[設定のインポート/エクスポート\(P. 419\)](#))。

9 USB ポート (パソコン接続用)

市販の USB ケーブルを使ってパソコンに接続します。

10 ACT ランプ

データの送受信が行われているときに点滅します。

11 LNK ランプ

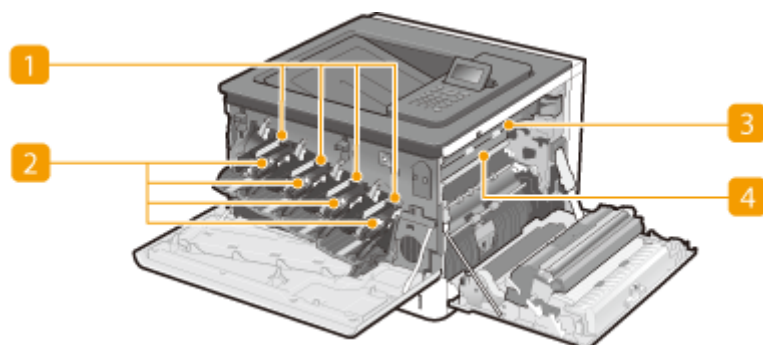
ネットワークに正しく接続されているときに点灯します。

12 LAN ポート

市販の LAN ケーブルを使って有線 LAN ルーターなどに接続します。▶[有線 LAN に接続する\(P. 160\)](#)

本体内部

55S7-00C



1 ドラムカートリッジスロット

ドラムカートリッジをセットします。▶[ドラムカートリッジを交換する\(P. 549\)](#)

2 トナーカートリッジスロット

左から順に Y (イエロー)、M (マゼンタ)、C (シアン)、K (ブラック) のトナーカートリッジをセットします。▶[トナーカートリッジを交換する\(P. 541\)](#)

3 定着器

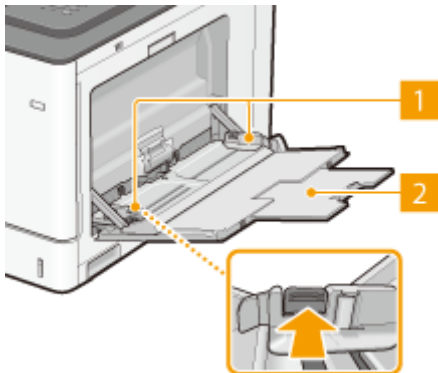
印刷する用紙にトナーを定着させます。定着器が寿命に達したら交換します (▶[定着器の交換方法\(P. 637\)](#))。また、定着器の内部に用紙が詰まったときは、本体から取り外して用紙を取り除きます。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。

4 ITB ユニット

印刷する用紙にトナーを転写させます。ITB ユニットが寿命に達したら交換します。▶[ITB ユニットの交換方法\(P. 638\)](#)

手差しトレイ

55S7-00E



1 用紙ガイド

セットした用紙がまっすぐ引き込まれるように、用紙の幅にぴったり合わせます。図の矢印で示されたロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを移動します。

2 延長トレイ

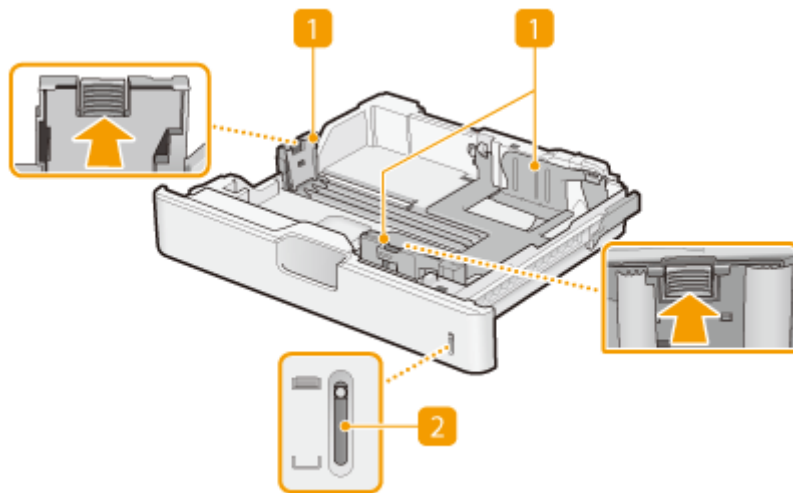
大きなサイズの用紙をセットする場合に引き出して使います。

関連項目

▶手差しトレイにセットする(P. 50)

給紙カセット

55S7-00F



1 用紙ガイド

セットした用紙がまっすぐ引き込まれるように、用紙の大きさにぴったり合わせます。図の矢印で示されたロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを移動します。

2 用紙残量表示

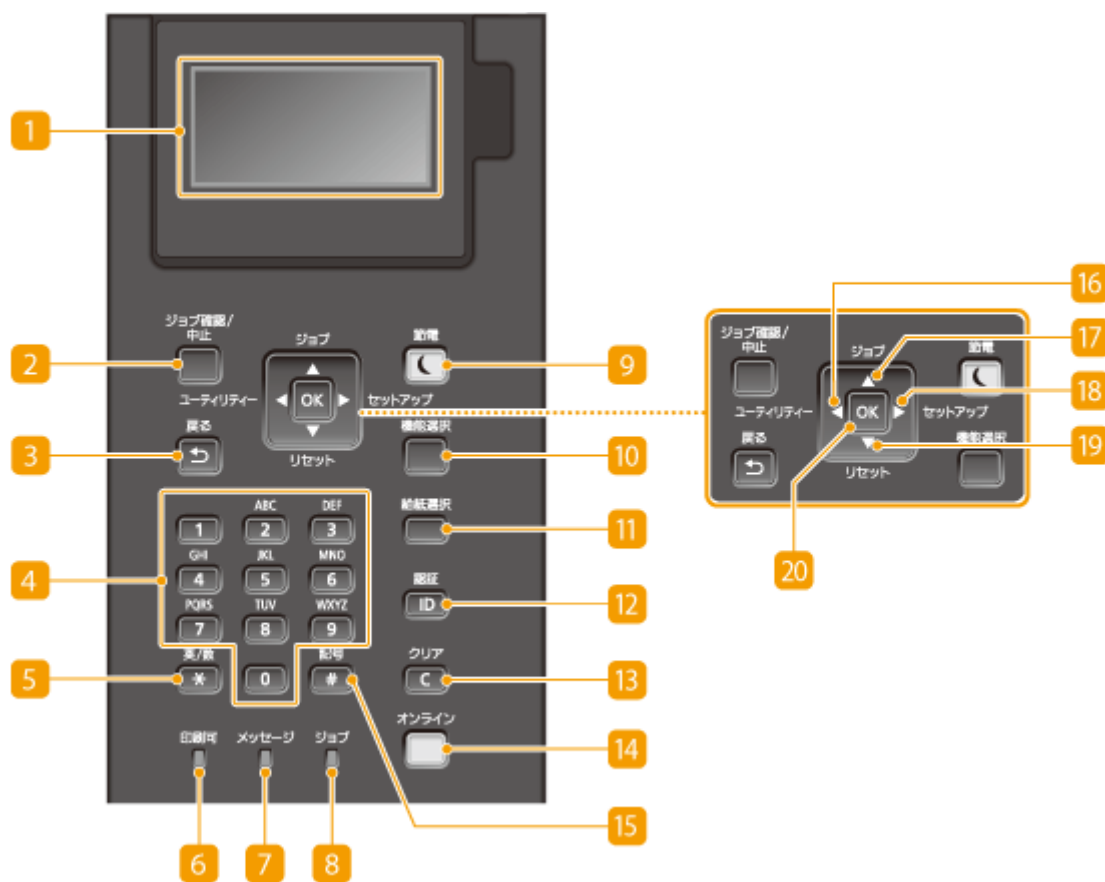
用紙の残量を示します。残量が少なくなるにつれマークが下に移動します。



● 給紙カセットにセットする(P. 43)

操作パネル

55S7-00H



- ここでは LBP853Ci の操作パネルを掲載しています。お使いの機種により、使用できるキーや機能は異なります。

1 ディスプレー

印刷などの動作状況やエラー状況、トナーカートリッジの状態などが表示されます。▶[ディスプレイ\(P. 30\)](#)

2 [ジョブ確認/中止] キー

[ジョブ] ランプが点灯/点滅しているときに押すと、印刷中や印刷待ちのデータが一覧表示されます。一覧からデータを選んで印刷を中止することもできます。▶[操作パネルから\(P. 86\)](#)

3 [戻る] キー

現在表示されている画面から 1 つ前の画面に戻ります。たとえば、設定操作をしているときに押すと、設定を確定せずに 1 つ前の画面に戻ることができます。

4 テンキー ([0] ~ [9])

数字や文字を入力します。▶**文字を入力する(P. 35)**

5 [英/数] キー

文字の入力モード (数字、アルファベット) を切り替えます。

6 [印刷可] ランプ

印刷可能な状態のときに点灯し、準備中のときには点滅します。

7 [メッセージ] ランプ

- トラブルが発生して印刷できないときに点灯します。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。
- オフラインでスリープモードに入ったときに点灯します。

8 [ジョブ] ランプ

印刷データを受信しているときや、本体内部のメモリーに印刷データが残っているときに点灯します。印刷データを処理しているときは点滅します。

9 [節電] キー

スリープモード (節電状態) にします。スリープモード中はキーが緑色に点灯します。キーを再度押すとスリープモードが解除されます。▶**スリープモードにする(P. 70)**

10 [機能選択] キー (LBP853Ci / LBP852Ci)

このキーを押すと「印刷画面 ▶ MEAP1 ▶ MEAP2 ▶ ... ▶ MEAP8 ▶ メディアプリント ▶ 印刷画面」のように機能が切り替わります。使う機能を選択してください。なお、部門別 ID 管理中は、ログインしないままこのキーを押すと認証画面が表示されます。

11 [給紙選択] キー

給紙部の選択や、用紙サイズの設定を行います。▶**給紙選択メニュー(P. 513)**

12 [認証] キー (LBP853Ci / LBP852Ci)

MEAP 機能を使用するためのログイン画面を表示します。操作が終わったときは、このキーを再度押してログアウトします。

13 [クリア] キー

入力した文字や数字を取り消します。

14 [オンライン] キー

オンライン (印刷を受け付ける状態) とオフライン (印刷を受け付けない状態) を切り替えます。オンラインのときはキーが緑色に点灯し、オフラインのときは消灯します。通常はオンラインにしておきますが、設定メニューの<ユーザーメンテナンス>を設定するときはオフラインにしてください (▶**ユーザーメンテナンス(P. 397)**)。



- **基本画面(P. 30)** が表示されているときに、オフラインの状態ですら一定時間キー操作をしないと、自動的にオンラインになります。オンラインへの移行時間は、＜オートクリア移行時間＞で変更することができます（●**オートクリア移行時間(P. 336)**）。

15 [記号] キー

「@」や「/」のような記号を入力するときに押します。

16 [ユーティリティー] キー / [◀] キー

- ユーティリティーメニューを表示します。総印刷ページ数の表示や、内部のシステム情報を印刷して確認することができます。●**ユーティリティーメニュー(P. 499)**
- 設定時に押すと、前の画面に戻ります。文字入力時に押すと、カーソルが左に移動します。

17 [ジョブ] キー / [▲] キー

- ジョブメニューを表示します。印刷履歴などを確認することができます。●**ジョブメニュー(P. 508)**
- 設定時に押すと、1つ上の項目を選択します。設定値変更時に押すと、値が増加します。

18 [セットアップ] キー / [▶] キー

- セットアップメニューを表示します。本機の各種設定をすることができます。●**セットアップメニュー(P. 333)**
- 設定時に押すと、次の画面に進みます。文字入力時に押すと、カーソルが右に移動します。

19 [リセット] キー / [▼] キー

- リセットメニューを表示します。全処理を中止してメモリー内のデータを消去する、電源を切る、などの操作ができます。●**リセットメニュー(P. 510)**
- 設定時に押すと、1つ下の項目を選択します。設定値変更時に押すと、値が減少します。

20 [OK] キー

選択／設定した内容を確定します。



関連項目

- **操作パネルを使う(P. 32)**

ディスプレイ

55S7-00J



印刷状況や設定画面が表示されます。また、エラーメッセージやトナーカートリッジの状態なども確認できます。

基本画面



a 状態表示

本機の状態や動作モードが表示されます。

b 用紙サイズ表示

現在選択している用紙サイズが表示されます。



以下の用紙サイズは略称で表示されます。

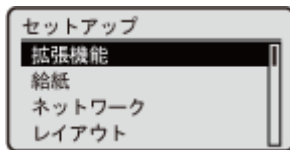
- レジャー：LD
- リーガル：LG
- レター（ヨコ）：LTR
- レター（タテ）：LT
- ステートメント（ヨコ）：STR
- ステートメント（タテ）：ST
- エグゼクティブ（ヨコ）：EXR
- エグゼクティブ（タテ）：EX
- Foolscap：FC
- 305x457 mm/12x18 in：TxE
- インデックスカード：IC
- Indian Legal：ILG
- はがき：HG
- 往復はがき：H2
- 4面はがき：H4
- 封筒 角形 2号：K2
- 封筒 長形 3号：N3
- 封筒 洋形長 3号：YN3
- 封筒 No.10 (COM10)：CO
- 封筒 Monarch：MO
- 封筒 ISO-C5：EC5
- 封筒 DL：DL
- フリーサイズ：FR
- ユーザー設定用紙（ヨコ）：80R
- ユーザー設定用紙（タテ）：80

c トナーカートリッジの状態

トナーカートリッジの状態が表示されます。

メニュー画面

◀ (ユーティリティ) / ▲ (ジョブ) / ▶ (セットアップ) / ▼ (リセット) / (給紙選択) を押すと、それぞれに対応したメニュー画面が表示されます。以下の画面は、▶ (セットアップ) を押したときの表示例です。



◉設定メニュー一覧(P. 332)

エラーが発生したとき

エラー発生時に対処方法が表示されることがあります。画面の指示に従って操作を進めてください。以下の画面は、紙づまりが発生したときの表示例です。表示されたメッセージについて、詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。



関連項目

◉操作パネルを使う(P. 32)

操作パネルを使う

55S7-00K

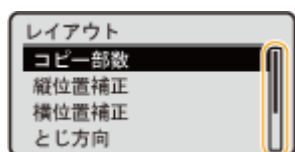
各種機能の設定や設定内容の確認には、以下のキーを使用します。



▲ / ▼ を使う

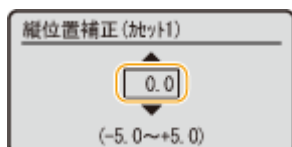
■ 画面をスクロールする

画面右端にスクロールバーが表示されている場合は、画面に表示しきれない情報がまだあることを示しています。この場合、▲ / ▼ で画面をスクロールしてください。現在選択されている項目は反転して表示されます。



■ 数値を変更する

数値を入力するときは、▲ / ▼ を使います。



- 入力欄の下に表示されている () 内の数値が入力範囲です。

◀ / ▶ を使う

■ 次の画面に進む / 前の画面に戻る

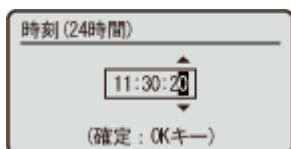
次の画面に進むときは ▶ を押します。前の画面に戻るときは ◀ を押します。



- 次の画面には を押して進むこともでき、前の画面には を押して戻ることもできます。

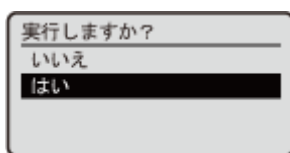
■ カーソルを移動する

文字や数字を入力するときに ◀ / ▶ を使います。▶ **文字を入力する(P. 35)**



を使う

確定するときは を押します。



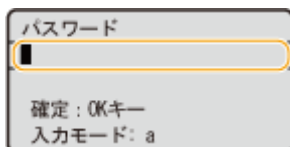
(オンライン) を使う

設定メニューを終了し、基本画面に戻るときは (オンライン) を押します。



テンキーを使う

文字や数字を入力するときはテンキーを使います。▶ **文字を入力する(P. 35)**



- 数値を入力する場合、画面によってはテンキーで入力できないことがあります。そのときは、▲ / ▼ で入力してください。



便利な機能

- 画面調整や表示言語の切り替えなど、画面表示に関する各種設定は、操作パネルの設定メニューにある＜拡張機能＞で設定することができます。▶**拡張機能(P. 334)**

文字を入力する

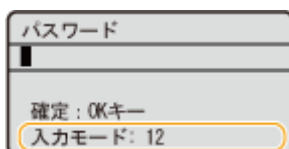
55S7-00L

文字や数字を入力するときはテンキーを使います。



文字の種類を切り替える






***** を押すと文字の種類が「a（英小文字）→A（英大文字）→12（数字）」のように切り替わります。





入力できる文字の種類

次の表は入力できる文字です。


使用するキー	a	A	12
1	(入力不可)		1
2	abc	ABC	2
3	def	DEF	3
4	ghi	GHI	4
5	jkl	JKL	5
6	mno	MNO	6

	pqrs	PQRS	7
	tuv	TUV	8
	wxyz	WXYZ	9
	(入力不可)		0
	(スペース) @./-!~?&\$%#()[]{}<>*+=",;:'^` \ (入力不可)		(入力不可)



- 入力モードが<a>または<A>のときに  を押すと、入力できる記号がディスプレイに表示されます。▲ / ▼ / ◀ / ▶ で入力したい記号を選択し、 を押して入力します。

文字を削除する

 を押すごとに1文字ずつ削除されます。長押しすると、入力した文字がすべて削除されます。

カーソルを移動する













◀ または ▶ を押します。

スペースを入力する

 を押して  を押します。

文字や数字の入力例

入力例：「Canon 1」

-  を繰り返し押し、入力モードを<A>にする
-  を繰り返し押し、「C」を入力する
-  を繰り返し押し、入力モード<a>にする
-  を繰り返し押し、「a」を入力する
-  を繰り返し押し、「n」を入力する
-  を繰り返し押し、「o」を入力する
-  を繰り返し押し、「n」を入力する
-  を押して  を押す
-  を繰り返し押し、入力モードを<12>にする
-  を押す
-  を押す

電源を入れる／切る

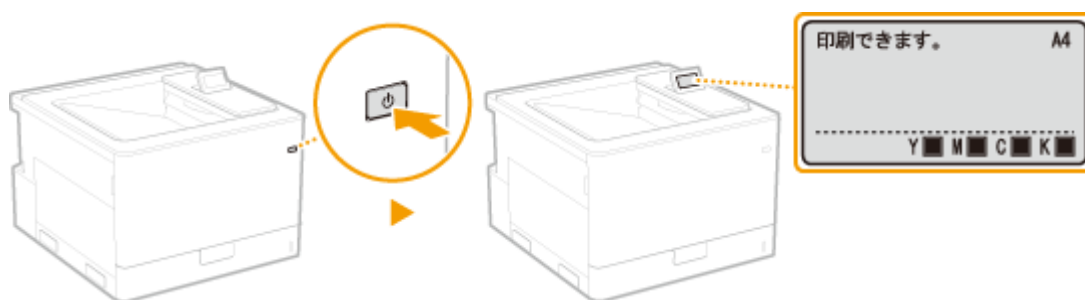
55S7-00R

電源を入れるときは電源スイッチを使いますが、切るときは電源スイッチではなく操作パネルからシャットダウンします。パソコンの電源を入れたり切ったりするのと同じ要領です。

- ▶電源を入れる(P. 37)
- ▶電源を切る（シャットダウンする）(P. 37)

電源を入れる

本体の電源スイッチを押します。自己診断が実行されたあと、操作パネルのディスプレイに基本画面が表示されたら、印刷可能な状態となります。



MEMO

- 自己診断後に何らかのメッセージが表示されることがあります。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。
- 高速起動を設定すると、電源を入れたときの待ち時間を短縮することができます。▶**本機を高速起動する(P. 39)**

電源を切る（シャットダウンする）

電源を切るときは、電源スイッチからではなく、「シャットダウン」を行います。

ご注意

シャットダウンは電源スイッチを使わない

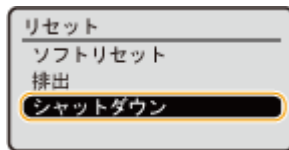
- 電源スイッチを押して電源を切ると、予期せぬエラーが発生する恐れがあります。次の手順に従って正しく電源を切ってください。

MEMO

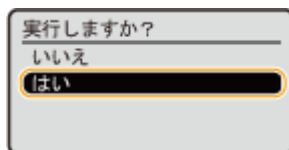
- 高速起動を設定しているときは、電源スイッチを押して電源を切ることができます。▶**本機を高速起動する(P. 39)**

1 ▼ (リセット) を押す

2 ▲ / ▼ で<シャットダウン>を選び、 を押す





3 <はい>を選び、 を押す



⇒ 以下のメッセージが表示されたあと、電源が自動的に切れます。



<実行できませんでした。>が表示されたとき

- 印刷データが残っています。データを消去してから ( **リセットメニュー(P. 510)**)、操作しなおしてください。操作を取りやめるときは、 (オンライン) を押します。



MEMO

- 電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。ディスプレイが消灯するまで電源プラグを抜かないでください。



MEMO

電源を切った直後に電源を入れない

- 10 秒以上経ってから電源を入れてください。

電源切断時の電力消費について

- 電源を切ってもわずかに電力を消費しています。電力消費をゼロにするには、電源プラグをコンセントから抜いてください。



関連項目

-  **本機を高速起動する(P. 39)**

本機を高速起動する

高速起動に設定すると、電源スイッチを押してから画面操作できるようになるまでの時間を短縮できます。高速起動するための電源の切りかたを「クイックオフ」といいます。

- ▶ 高速起動を設定する(P. 39)
- ▶ 電源を切る（クイックオフする）(P. 40)



ネットワークをお使いのとき

- 以下の設定のいずれかが < ON > になっている場合、高速起動は機能しません。
 - RARP、BOOTP、IPv6 ▶ ネットワーク(P. 157)
 - IPSec (LBP853Ci / LBP852Ci) ▶ IPSec の設定をする(P. 276)

MEAP 機能をお使いのとき

- インストールしている MEAP アプリケーションが高速起動に対応しているかを確認してください。

高速起動を設定する

- 1 ▶ (セットアップ) を押す
- 2 ▲ / ▼ で < 拡張機能 > を選び、**OK** を押す
- 3 < 主電源 ON 時の高速起動 > を選び、**OK** を押す
- 4 < OFF > または < ON > を選び、**OK** を押す



- a** < OFF >

高速起動を無効にします。

- b** < ON >

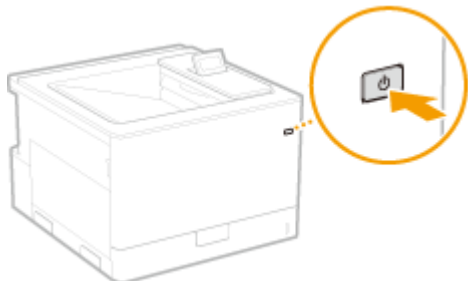
高速起動を有効にします。

- 5 ハードリセットする ▶ ハードリセットする(P. 510)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。

電源を切る（クイックオフする）

高速起動の設定中は、電源スイッチを押して電源を切ることで、次回電源を入れたときに高速起動することができます（クイックオフ）。



ご注意

クイックオフのあと、電源プラグをコンセントから抜かない

- クイックオフで電源を切ったあと、電源プラグをコンセントから抜かないでください。内部の機器がダメージを受ける場合があります。本機の移動などで抜く必要がある場合は、一度電源を入れてからシャットダウンを行ってください。▶ **電源を切る（シャットダウンする）(P. 37)**

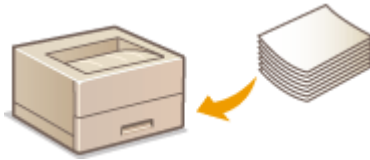


- ジョブ中またはエラー発生中や、操作パネルもしくはリモート UI から何らかの設定変更をした場合などは、電源スイッチを押しても、クイックオフではなくシャットダウンになります。
- 高速起動設定中でもシャットダウンで電源を切ると、次回は通常の起動になります。
- 高速起動設定中にオートシャットダウンした場合は、クイックオフになります。▶ **オートシャットダウンを設定する(P. 73)**
- クイックオフしてからすぐに電源を入れなおすと、起動に時間がかかる場合があります。

用紙をセットする

55S7-00U

用紙は給紙カセットや手差しトレイにセットできます。給紙カセットには、普段よく使う用紙をセットしてください。まとまった枚数をセットできるので便利です。給紙カセットにセットされていない用紙を一時的に使うときは手差しトレイにセットしてください。使用できる用紙のサイズと種類については、**▶用紙について(P. 615)** を参照してください。



用紙について

- ▶用紙についての注意事項(P. 41)
- ▶本機で印刷した用紙の保管について(P. 42)

用紙のセット方法

- ▶給紙カセットにセットする(P. 43)
- ▶手差しトレイにセットする(P. 50)
- ▶封筒・はがきをセットする(P. 54)
- ▶ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 58)

セットした用紙の設定

- ▶用紙サイズと種類を設定する(P. 62)

用紙についての注意事項



次の用紙は使用しない

- 紙づまりや印刷不良の原因になることがあります。
 - しわや折り目がある紙
 - カールした紙や巻いた紙
 - 破れた紙
 - 湿った紙
 - 非常に薄い紙
 - 薄いわら半紙
 - 熱転写プリンターで印刷された紙
 - 熱転写プリンターで印刷された紙のウラ面
 - 目の粗い紙
 - つるつるした紙
 - インクジェット専用の郵便はがき

用紙を使うときは

- 用紙は本機が設置されている環境に十分慣らしてからご使用ください。異なる温度／湿度に保管されていた用紙を使用すると、紙づまりや印字不良が起こる場合があります。

用紙の保管方法

- 用紙は開封後すぐにお使いになることをおすすめします。用紙が残った場合は、入っていた包装紙に再度包み、平らな場所に保管してください。
- 湿気や乾燥を防ぐため、使用するまでは包装したままにしておいてください。
- 用紙が丸まったり折れ目が付いたりするような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、多く積み重ねたりしないでください。
- 直射日光の当たる場所、湿度の高い場所、乾燥している場所、使用場所との温度差や湿度差が著しい場所には保管しないでください。



湿った用紙に印刷すると

- 排紙部周辺から湯気が出たり、排紙部に水滴が付いたりすることがあります。これは、トナーを定着するときの熱によって用紙に含まれる水分が蒸発しているためです。異常ではありません（特に、室温が低い場合に発生しやすくなります）。

本機で印刷した用紙の保管について

本機で印刷した用紙の取り扱いや保管には、次のことに気を付けてください。

■ 印刷した用紙の保管方法

- 平らな場所に保管してください。
- クリアホルダなど PVC（ポリ塩化ビニル）素材のものと一緒に保管しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付くことがあります。
- 折れたりしわになったりしないように保管してください。トナーがはがれることがあります。
- 長期間（2年以上）保管するときはバインダーなどに入れて保管してください。
- 長期間保管すると、用紙の変色によりプリントが変色したように見えることがあります。
- 高温の場所には保管しないでください。

■ のり付けするときの注意

- 不溶性の接着剤を必ず使用してください。
- 不要になった印刷物で試してから、接着剤を使用してください。
- のり付けした用紙を重ねるときは、完全に乾いていることを確認してください。

給紙カセットにセットする

55S7-00W

普段よく使う用紙は、給紙カセットにセットしてください。給紙カセットにセットされていない用紙を使って印刷したいときは、手差しトレイに用紙をセットします。▶**手差しトレイにセットする(P. 50)**

- ▶**定型サイズ**の用紙をセットする(P. 43)
- ▶**非定型サイズ**の用紙（ユーザー設定用紙）をセットする(P. 46)

用紙のセット方向

セットできる用紙と置きかたは以下のとおりです。

用紙	置きかた
A3、B4、A4（ヨコ）、B5（ヨコ）、A5（ヨコ）、レジャー、リーガル、レター（ヨコ）、エグゼクティブ（ヨコ）、Foolscap、8K、16K（ヨコ）、Indian Legal、ユーザー設定（ヨコ）	
A4（タテ）、B5（タテ）、A5（タテ）、レター（タテ）、エグゼクティブ（タテ）、16K（タテ）、ユーザー設定（タテ）	



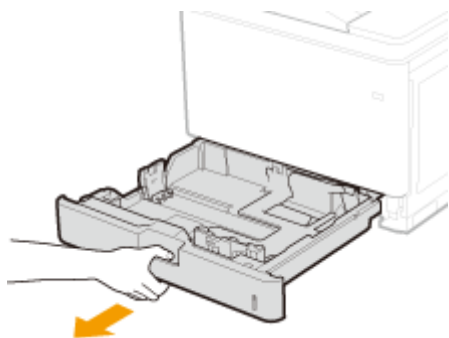
- オプションのペーパーフィーダーや2段カセットペディスタルについても、以下の手順で用紙をセットしてください。

定型サイズ

の用紙をセットする

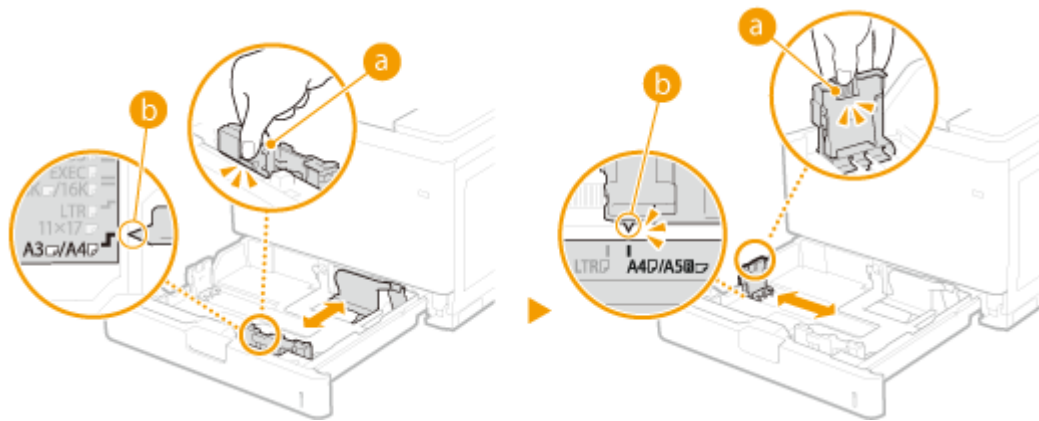
給紙カセットに用紙サイズの指標がある用紙は以下の手順でセットします。用紙サイズの指標がないときは、▶**非定型サイズの用紙（ユーザー設定用紙）をセットする(P. 46)**を参照してください。

1 給紙カセットを止まるまで引き出す



2 用紙ガイドをセットする用紙サイズに合わせる

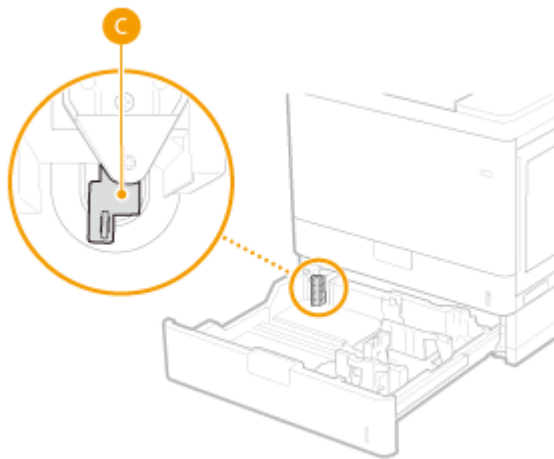
- ロック解除レバー（**a**）をつまみながら、突起部（**b**）をセットする用紙サイズの指標に合わせます。



MEMO

オプションのペーパーフィーダーまたは2段カセットペディスタルにセットするとき

- A3 サイズまたはレジャーサイズ用の紙をセットするときは、(c) のレバーを図のようにセットしてください。



3 用紙を給紙カセット左端の用紙ガイドに合わせてセットする

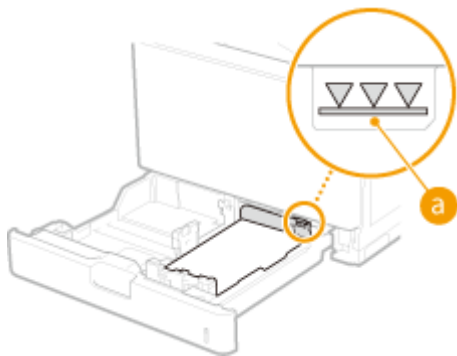
- プリントする面を上にしてセットします。
- 用紙をよくさばいて、平らな場所で用紙の端をそろえてからセットしてください。



ご注意

積載制限マークを超えないようにセットする

- 用紙は積載制限マーク (a) の線を超えないようにセットしてください。紙づまりの原因になります。



MEMO

- ロゴマーク付きの用紙をセットするときは、**▶ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 58)** を参照してください。

4 給紙カセットをセットする

▶▶ 続いて、**▶給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する(P. 63)** に進む



用紙サイズや種類を変更したとき

- 用紙サイズや種類を変更したときは、必ず設定を確認してください。セットした用紙と設定が一致していないと、正しく印刷されません。

MEMO

用紙種類の自動検知について

- 本機には用紙種類を自動的に判別する機能があります。この機能を使用すると、普通紙や厚紙をセットしたときは用紙種類の変更は不要になります。**▶自動用紙種類検知(P. 517)**

MEMO

- プリンタードライバーが使えない OS やモバイル機器など、用紙のサイズや種類を設定できない機器から印刷するときは、**<デフォルト用紙サイズ>**と**<デフォルト用紙種類>**を設定してください。**▶給紙選択メニュー(P. 513)**



印刷済み用紙のウラ面に印刷する (手動両面印刷)

一度印刷した用紙のウラ面に印刷することができます。用紙の端を伸ばしてカールを取り、プリントする面を下にして手差しトレイ (**▶手差しトレイにセットする(P. 50)**) にセットしてください。

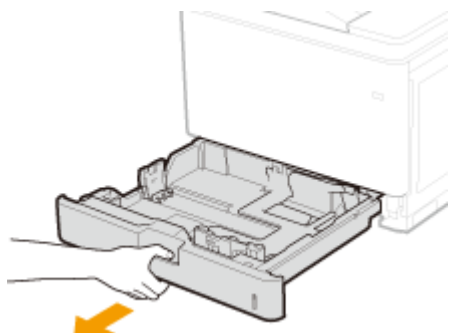
- 一度印刷した用紙のウラ面に印刷するときは、操作パネルの設定メニューにある**<手動両面印刷(手差し)>**を**<2 面目>**に設定してください。**▶手動両面印刷 (手差し) (P. 520)**
- 印刷のたびに1枚ずつセットしてください。
- 本機で印刷した用紙のみ使用できます。

- 一度プリントした面の上からさらに印刷することはできません。

非定型サイズの内紙（ユーザー設定用紙）をセツトする

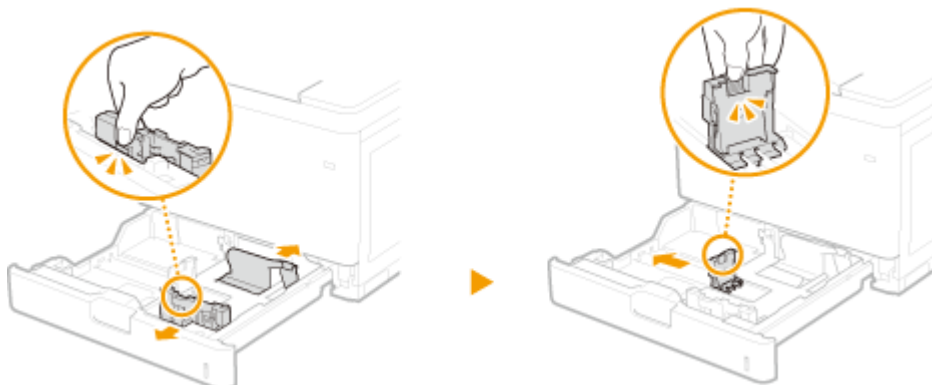
定型サイズ以外の内紙など、給紙カセツトに用紙サイズの指標がない用紙は以下の手順でセツトします。

1 給紙カセツトを止まるまで引き出す



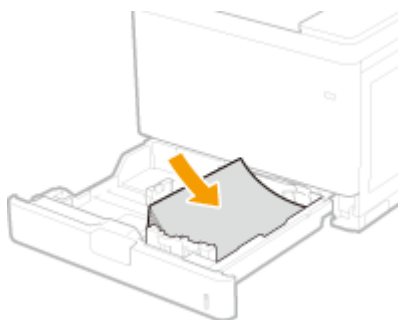
2 用紙ガイドを広げる

- ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを外側へ移動します。



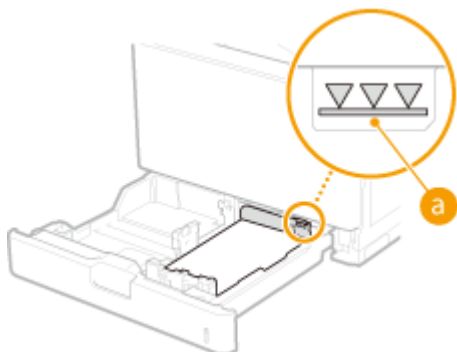
3 用紙を給紙カセツトの右端に突き当ててセツトする

- プリントする面を上にしてセツトします。
- 用紙をよくさばいて、平らな場所内用紙の端をそろえてからセツトしてください。



積載制限マークを超えないようにセツトする

- 用紙は積載制限マーク (a) の線を超えないようにセットしてください。紙づまりの原因になります。

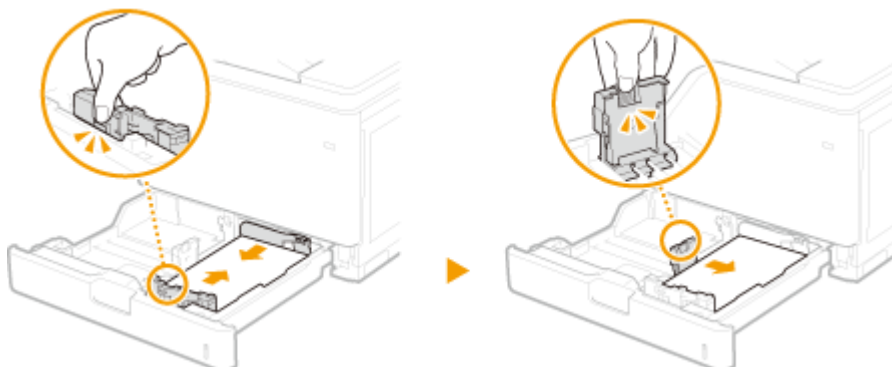


MEMO

- ロゴマーク付きの用紙をセットするときは、▶**ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 58)** を参照してください。

4 用紙ガイドを用紙に合わせる

- ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを用紙にぴったり合わせます。



！ ご注意

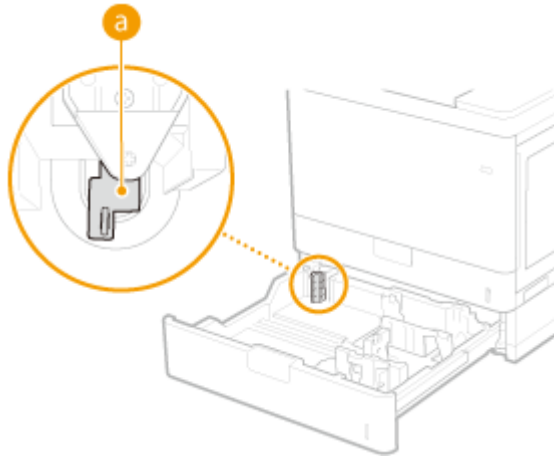
用紙ガイドを用紙にぴったり合わせる

- ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

MEMO

オプションのペーパーフィーダーまたは2段カセットペディスタルにセットするとき

- 用紙が (a) のレバーに当たって浮いたり、斜めになったりする場合は、いったん用紙を取り除いてから用紙に合わせてレバーをセットしなおしてください。その後、用紙をセットしなおし、用紙ガイドを合わせます。



5 給紙カセットをセットする

≫ 続いて、**▶給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する(P. 63)** に進む



用紙サイズや種類を変更したとき

- 用紙サイズや種類を変更したときは、設定も必ず変更してください。変更せずにお使いになると正しく印刷されません。



用紙種類の自動検知について

- 本機には用紙種類を自動的に判別する機能があります。この機能を使用すると、普通紙や厚紙をセットしたときは用紙種類の変更は不要になります。**▶自動用紙種類検知(P. 517)**



- プリンタードライバーが使えない OS やモバイル機器など、用紙のサイズや種類を設定できない機器から印刷するときは、<デフォルト用紙サイズ>と<デフォルト用紙種類>を設定してください。**▶給紙選択メニュー(P. 513)**



印刷済み用紙のウラ面に印刷する（手動両面印刷）

一度印刷した用紙のウラ面に印刷することができます。用紙の端を伸ばしてカールを取り、プリントする面を下にして手差しトレイ（**▶手差しトレイにセットする(P. 50)**）にセットしてください。

- 一度印刷した用紙のウラ面に印刷するときは、操作パネルの設定メニューにある<手動両面印刷(手差し)>を<2 面目>に設定してください。**▶手動両面印刷（手差し）(P. 520)**
- 印刷のたびに1枚ずつセットしてください。
- 本機で印刷した用紙のみ使用できます。
- 一度プリントした面の上からさらに印刷することはできません。



▶用紙について(P. 615)

手差しトレイにセットする

55S7-00X

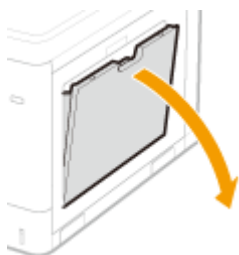
給紙カセットにセットされていない用紙を使って印刷したいときは手差しトレイにセットします。普段よく使う用紙は、給紙カセットにセットしてください。●給紙カセットにセットする(P. 43)

用紙のセット方向

セットできる用紙と置きかたは以下のとおりです。

用紙	置きかた
A3、B4、A4 (ヨコ)、B5 (ヨコ)、A5 (ヨコ)、A6 (ヨコ)、レジャー、リーガル、レター (ヨコ)、ステートメント (ヨコ)、エグゼクティブ (ヨコ)、Foolscap、305x457 mm/12x18 in、Indian Legal、8K、16K (ヨコ)、インデックスカード、はがき、往復はがき、封筒、ユーザー設定 (ヨコ)	
A4 (タテ)、A5 (タテ)、B5 (タテ)、レター (タテ)、エグゼクティブ (タテ)、ステートメント (タテ)、16K (タテ)、4面はがき、ユーザー設定 (タテ)	

1 カバーを開ける

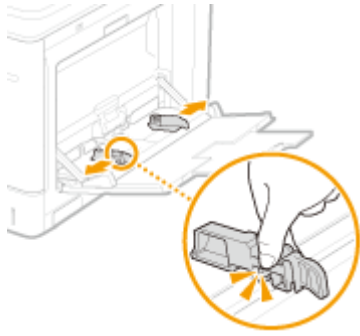


2 用紙トレイを引き出す



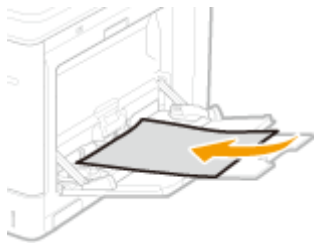
3 用紙ガイドを広げる

- ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを外側へ広げます。



4 用紙を奥に突き当たるまで差し込む

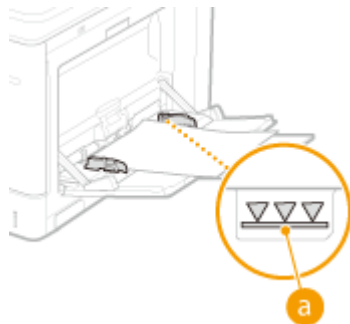
- プリントする面を下にして差し込みます。
- 用紙をよくさばいて、平らな場所を用紙の端をそろえてからセットしてください。



ご注意

積載制限マークを超えないようにセットする

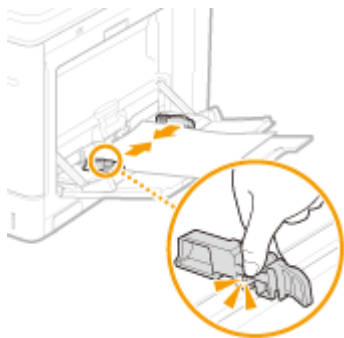
- 用紙は積載制限マーク（a）を超えないようにセットしてください。紙づまりの原因になります。



- 封筒、はがきやロゴマーク付きの用紙をセットするときは、**封筒・はがきをセットする(P. 54)** または **ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 58)** を参照してください。

5 用紙ガイドを用紙に合わせる

- ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを用紙の幅にぴったり合わせます。



用紙ガイドを用紙の幅にぴったり合わせる

- ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

≫ 続いて、**手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する(P. 66)**に進む



用紙サイズや種類を変更したとき

- お買い上げ時、用紙サイズは< A4 >、用紙種類は< フリー >に設定されています。用紙サイズや種類を変更したときは、設定も必ず変更してください。変更せずにお使いになると正しく印刷されません。



用紙種類の自動検知について

- 本機には用紙種類を自動的に判別する機能があります。この機能を使用すると、普通紙や厚紙をセットしたときは用紙種類の変更は不要になります。▶**自動用紙種類検知(P. 517)**



- プリンタードライバーが使えない OS やモバイル機器など、用紙のサイズや種類を設定できない機器から印刷するときは、< デフォルト用紙サイズ > と < デフォルト用紙種類 > を設定してください。▶**給紙選択メニュー(P. 513)**



印刷済み用紙のウラ面に印刷する（手動両面印刷）

一度印刷した用紙のウラ面に印刷することができます。用紙の端を伸ばしてカールを取り、プリントする面を下にして手差しトレイにセットしてください。

- 一度印刷した用紙のウラ面に印刷するときは、操作パネルの設定メニューにある< 手動両面印刷(手差し) >を< 2 面目 >に設定してください。▶**手動両面印刷（手差し）(P. 520)**
- 印刷のたびに1枚ずつセットしてください。
- 本機で印刷した用紙のみ使用できます。
- 一度プリントした面の上からさらに印刷することはできません。



▶用紙について(P. 615)

封筒・はがきをセットする

55S7-00Y

封筒やはがきをセットするときは、カールを取るなどの準備作業を確実に行う必要があります。また、セットする面や向きにも注意が必要です。なお、封筒やはがきは、給紙カセットにはセットできません。

- 封筒をセットする(P. 54)
- はがきをセットする(P. 56)



- ここでは、封筒をセットする前に行う準備と、封筒やはがきをセットする際の正しい向きについて説明しています。手差しトレイにセットするときの全体的な手順については、●手差しトレイにセットする(P. 50)を参照してください。

封筒をセットする

■封筒をセットする前に

セットする前に、以下の手順で封筒を整えてください。

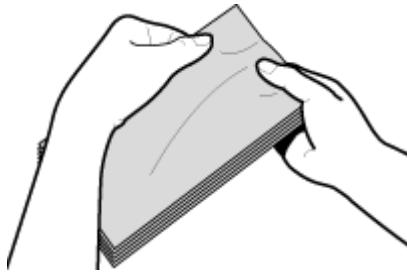
1 ふたを閉じる



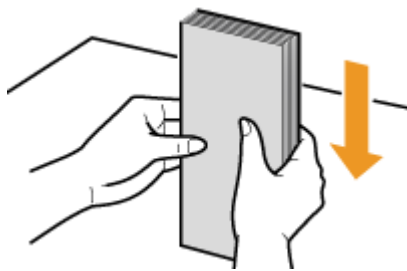
2 上から押して空気を抜き、四辺の折り目をしっかり付けたあと、平らにならす



3 四隅の固い部分をほぐすようにしてカールを取る



4 平らな場所でそろえる

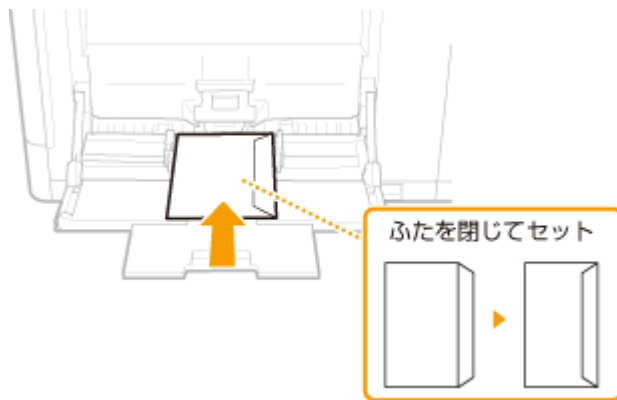


■手差しトレイにセットする

貼り合わせのない面（オモテ面）を下にして、封筒の短辺から差し込みます。なお、貼り合わせのある面（ウラ面）には印刷できません。

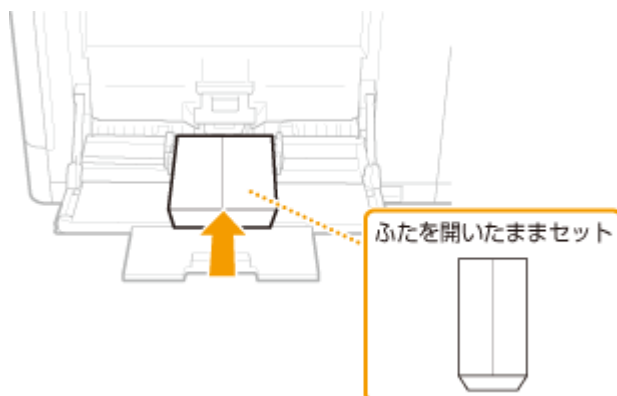
洋形長3号、ISO-C5、Monarch、No.10、DL

封筒のふたを右にして差し込みます。



角形2号、長形3号

封筒のふたを手前にして差し込みます。



はがきをセットする



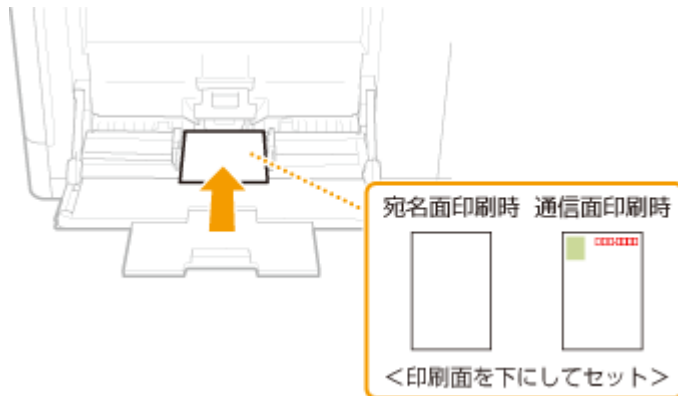
- はがきの自動両面印刷はできません。両面印刷するときは、まず片面を印刷してから反対面を印刷してください。
- はがきはカールを取ってからセットしてください。カールしたままでは、斜めに印刷されたり、画像がゆがんで印刷されたりすることがあります。

■手差しトレイにセットする

プリントする面を下にして、はがきの短辺から差し込みます。

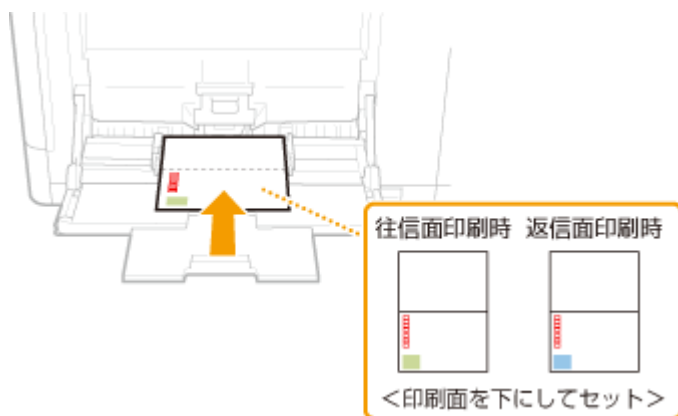
はがき

はがきの上端から差し込みます。



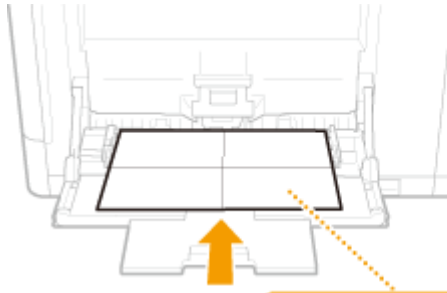
往復はがき

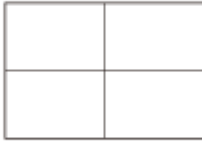
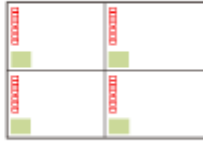
はがきを広げた状態で右端から差し込みます。



4面はがき

はがきの右端から差し込みます。



宛名面印刷時	通信面印刷時
	

<印刷面を下にしてセット>

ロゴなどが印刷された用紙をセットする

55S7-010

ロゴマークなどが印刷されている用紙を使うときは、用紙の向きに注意する必要があります。ロゴマークなどがある面に正しい向きで文書を印刷するために、レイアウトや印刷のしかたに応じて用紙をセットしてください。



- ▶ロゴ入り用紙に片面印刷する(P. 58)
- ▶ロゴ入り用紙に両面印刷する(P. 59)

MEMO

- ここでは、ロゴマークなどが印刷された用紙をセットするときの正しい向きについて説明しています。用紙を給紙カセットや手差しトレイにセットするときの全体的な手順については、以下を参照してください。

- ▶給紙カセットにセットする(P. 43)
- ▶手差しトレイにセットする(P. 50)

ロゴ入り用紙に片面印刷する

タテ向きのロゴ入り用紙に印刷する



給紙カセットにセットするとき

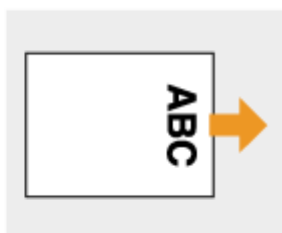
ロゴのある面（文書をプリントする面）を上向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



ヨコ置き



手差しトレイにセットするとき

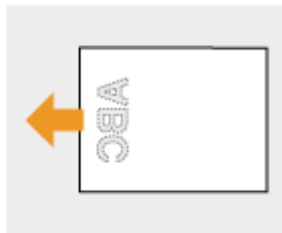
ロゴのある面（文書をプリントする面）を下向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



ヨコ置き



ヨコ向きのロゴ入り用紙に印刷する

ロゴ入り用紙

文書

仕上がり

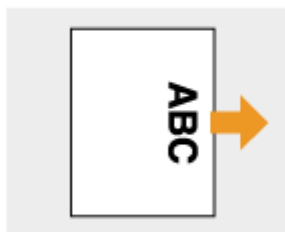


給紙カセットにセットするとき

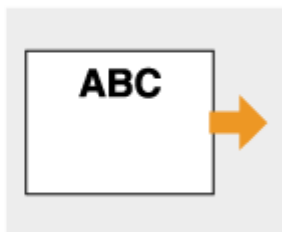
ロゴのある面（文書をプリントする面）を上向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



ヨコ置き



手差しトレイにセットするとき

ロゴのある面（文書をプリントする面）を下向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



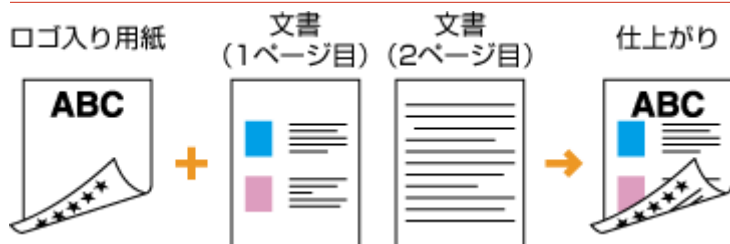
ヨコ置き



ロゴ入り用紙に両面印刷する

原稿が奇数枚のときは、操作パネルの設定メニューにある<特殊両面処理>を< OFF >に設定してください。●特殊両面処理(P. 378)

タテ向きのロゴ入り用紙に印刷する



給紙カセットにセットするとき

ロゴのある面（文書の1ページ目をプリントする面）を下向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



ヨコ置き



手差しトレイにセットするとき

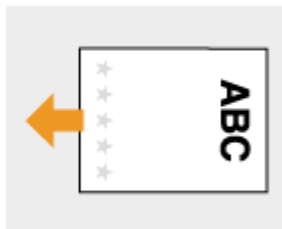
ロゴのある面（文書の1ページ目をプリントする面）を上向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



ヨコ置き



ヨコ向きのロゴ入り用紙に印刷する

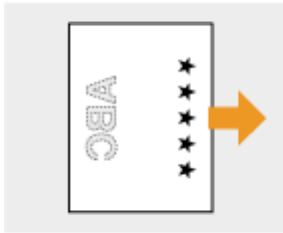


給紙カセットにセットするとき

ロゴのある面（文書の1ページ目をプリントする面）を下向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



ヨコ置き



手差しトレイにセットするとき

ロゴのある面（文書の1ページ目をプリントする面）を上向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



ヨコ置き



<給紙方法切替>設定について

- ロゴ入り用紙に片面印刷するときと両面印刷するときでは、用紙のセット面を変える必要がありますが、<給紙方法切替>を<印刷面優先>に設定すると、片面印刷時のセット面を両面印刷と同じ（給紙カセットにセットするときはロゴのある面を下向き、手差しトレイにセットするときはロゴのある面を上向き）にすることができます。片面印刷と両面印刷をひんばんに使い分ける場合に設定しておく便利です。▶給紙方法切替(P. 413)

用紙サイズと種類を設定する

55S7-011

セットした用紙に合わせて用紙サイズと種類を設定する必要があります。今までセットされていた用紙と異なる用紙をセットした場合も、忘れずに設定を変更してください。



- セットした用紙と設定が一致していないと、正しく印刷できないだけでなく、紙づまりや印刷不良の原因となります。

給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する

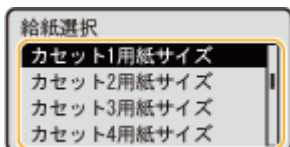
55S7-012

給紙カセットにセットした用紙に合うよう、必要に応じて用紙サイズや種類を設定します。

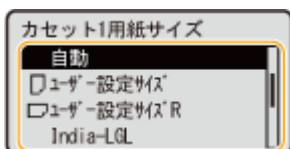
1 (給紙選択) を押す

2 ▲ / ▼ で <カセット 1~5 用紙サイズ> を選び、 を押す

- <カセット 2~5 用紙サイズ> は、オプションのペーパーフィーダーや 2 段カセットペディスタルを装着している場合に表示されます。



3 用紙のサイズを選び、 を押す





<自動> について








- 以下の用紙をセットしたときは<自動>に設定してください。

- A3 - レジャー
- B4 - リーガル
- A4 - レター
- B5 (タテ) - エグゼクティブ (タテ)
- A5 (タテ)

タテとヨコ両方にセットできる用紙

- 以下の用紙はタテとヨコ両方にセットできます。用紙の置きかたに応じて、表から設定を選んでください。

用紙サイズ	置きかた	設定
A4		<自動>
		<自動>
A5	 *1	< <input type="checkbox"/> A5R >

用紙サイズ	置きかた	設定
		<自動>
B5		<☐ B5R >
		<自動>
レター		<自動>
		<自動>
エグゼクティブ		<☐ EXECR >
		<自動>
16K		<☐ 16KR >
		<☐ 16K >
ユーザー設定用紙	 *2	<☐ユーザー設定サイズ R >
		<☐ユーザー設定サイズ>

*1 Generic Plus LIPSLX プリンタードライバーを使用するときは、[給紙] タブで [定形用紙を縦送りにする] にチェックマークを付けてから印刷してください。

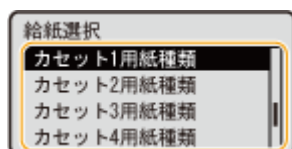
*2 Generic Plus LIPSLX プリンタードライバーを使用するときは、[給紙] タブで [ユーザー設定用紙を縦送りにする] にチェックマークを付けてから印刷してください。

<フリーサイズ>について

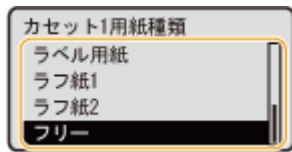
- セットする用紙をひんぱんに変更する場合は、<フリーサイズ>に設定しておくことで、その都度、設定を変更する手間が省けます。ただし、プリンタードライバー側で設定した用紙サイズと、実際にセットされた用紙サイズが異なっても印刷が行われるため、注意が必要です。
- <フリーサイズ>に設定したときは、印刷速度が遅くなります。

4 <カセット 1~5 用紙種類>を選び、 を押す

- <カセット 2~5 用紙種類>はペーパーフィーダーや2段カセットペディスタルを装着している場合にのみ表示されます。



5 用紙の種類を選び、を押す



<フリー>について

- セットする用紙をひんぱんに変更する場合は、<フリー>に設定しておくことで、その都度、設定を変更する手間が省けます。ただし、プリンタードライバー側で設定した用紙種類と、実際にセットされた用紙種類が異なっても印刷が行われるため、注意が必要です。

用紙種類の自動検知について

- 本機には用紙種類を自動的に判別する機能があります。この機能を使用すると、普通紙や厚紙をセットしたときは用紙種類の変更は不要になります。▶[自動用紙種類検知\(P. 517\)](#)




関連項目

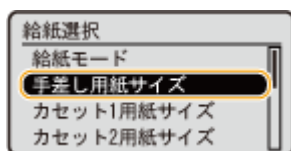
- ▶[給紙カセットにセットする\(P. 43\)](#)
- ▶[用紙について\(P. 615\)](#)


手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する

55S7-013

1  (給紙選択) を押す

2 ▲ / ▼ で <手差し用紙サイズ> を選び、 を押す



















3 用紙のサイズを選び、 を押す



タテとヨコ両方にセットできる用紙

- 以下の用紙はタテとヨコ両方にセットできます。用紙の置きかたに応じて、表から設定を選んでください。

用紙サイズ	置きかた	設定
A4		< <input type="checkbox"/> A4R >
		< <input type="checkbox"/> A4 >
B5		< <input type="checkbox"/> B5R >
		< <input type="checkbox"/> B5 >
A5	 *1	< <input type="checkbox"/> A5R >
		< <input type="checkbox"/> A5 >
レター		< <input type="checkbox"/> LTRR >
		< <input type="checkbox"/> LTR >

用紙サイズ	置きかた	設定
エグゼクティブ		< <input type="checkbox"/> EXECR >
		< <input type="checkbox"/> EXEC >
16K		< <input type="checkbox"/> 16KR >
		< <input type="checkbox"/> 16K >
ステートメント		< <input type="checkbox"/> STMTR >
		< <input type="checkbox"/> STMT >
ユーザー設定用紙	 *2	< <input type="checkbox"/> ユーザー設定サイズ R >
		< <input type="checkbox"/> ユーザー設定サイズ >

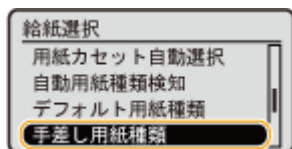
*1 Generic Plus LIPSLX プリンタードライバーを使用するときは、[給紙] タブで [定形用紙を縦送りにする] にチェックマークを付けてから印刷してください。

*2 Generic Plus LIPSLX プリンタードライバーを使用するときは、[給紙] タブで [ユーザー設定用紙を縦送りにする] にチェックマークを付けてから印刷してください。

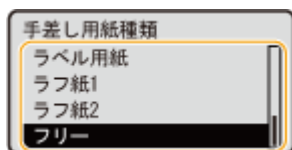
<フリーサイズ>について

- セットする用紙をひんぱんに変更する場合は、<フリーサイズ>に設定しておくことで、その都度、設定を変更する手間が省けます。ただし、プリンタードライバー側で設定した用紙サイズと、実際にセットされた用紙サイズが異なっても印刷が行われるため、注意が必要です。
- <フリーサイズ>に設定したときは、印刷速度が遅くなります。

4 <手差し用紙種類>を選び、 を押す



5 用紙の種類を選び、 を押す



<フリー>について

- セットする用紙をひんぱんに変更する場合は、＜フリー＞に設定しておくことで、その都度、設定を変更する手間が省けます。ただし、プリンタードライバー側で設定した用紙種類と、実際にセットされた用紙種類が異なっても印刷が行われるため、注意が必要です。

用紙種類の自動検知について

- 本機には用紙種類を自動的に判別する機能があります。この機能を使用すると、普通紙や厚紙をセットしたときは用紙種類の変更は不要になります。▶ **自動用紙種類検知(P. 517)**



関連項目

- ▶ **手差しトレイにセットする(P. 50)**
- ▶ **用紙について(P. 615)**

節電する

55S7-014


一定時間何の操作もしないと、自動的に節電状態（スリープモード）になるように設定したり、毎週決まった時刻に電源が切れるように設定したりして、節電することができます。



- ▶スリープモードにする(P. 70)
- ▶オートシャットダウンを設定する(P. 73)

スリープモードにする

55S7-015

スリープモードは、本体内部の動作を一部休止して消費電力量を抑える機能です。たとえば、昼休みなどで本機をしばらく使わない場合、操作パネルの  を押してください。これだけの操作で、かんたんに節電できます。なお、一定時間何の操作も行わないと、自動的にスリープモードとなるオートスリープもあります。オートスリープまでの時間を変更したり、指定した時刻にスリープモードになるようにしたりすることもできます。



MEMO

状態を確認するには

- スリープモード時は、 が緑色に点灯します。

スリープモードにならない場合

- パソコンとデータを送受信しているときや、カバーを開いているとき、トナーカートリッジが装着されていないときなどはスリープモードになりません。

スリープモードを選択する

スリープモードは選択したレベルによって消費電力の節電効果が異なります（[▶スリープモード\(P. 334\)](#)）。効果的な節電のためにお買い上げ時の設定でお使いになることをおすすめしますが、設定を変更する場合は以下の手順に従ってください。



オートスリープまでの時間を変更する

一定時間何の操作も行わないと自動的にスリープモードになります。効果的な節電のためにお買い上げ時の設定（[▶オートスリープ移行時間\(P. 335\)](#)）でお使いになることをおすすめしますが、時間を変更する場合は以下の手順に従ってください。

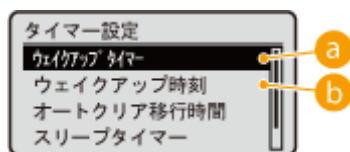
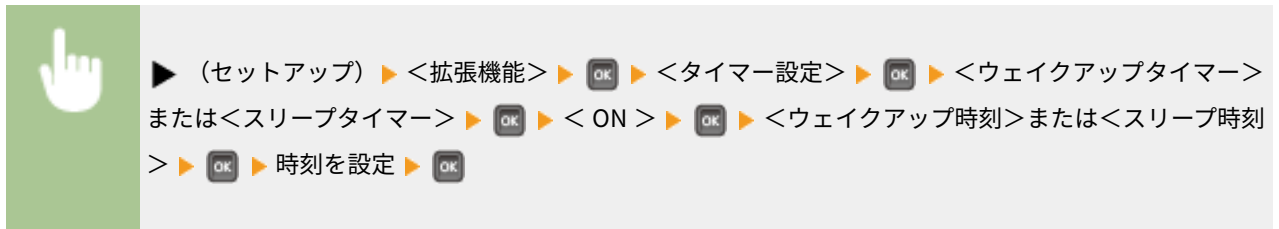




- 電源を入れた直後は、スリープモードに移行するまでの時間が長くなる場合があります。

指定した時刻にスリープモードを切り替える

決まった時刻になるとスリープモードになるように設定することができます。また逆に、指定した時刻になるとスリープモードが解除されるように設定することもできます。

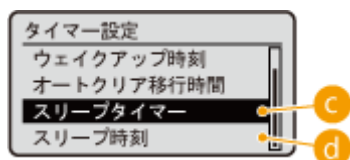


a <ウェイクアップタイマー>

<ON>に設定すると、指定した時刻に自動的にスリープモードを解除します。

b <ウェイクアップ時刻>

自動的にスリープモードを解除する時刻を設定します。



c <スリープタイマー>

<ON>に設定すると、指定した時刻に自動的にスリープモードになります。

d <スリープ時刻>


自動的にスリープモードにする時刻を設定します。

エラー時はスリープモードにならないようにする

エラー発生時にはスリープモードに移行しないように設定できます。▶**エラースリープ(P. 335)**



スリープモードを解除するとき

 を押します。

オートシャットダウンを設定する

55S7-016

長時間使われないでいると自動的に電源が切れるように設定することができます。指定した時刻に電源が切れるようにすることも可能です。電源の切り忘れによる無駄な電力消費を抑えることができます。お買い上げ時は、無効に設定されています。



- オートシャットダウンを設定すると、トナーカートリッジの寿命が短くなることがあります。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

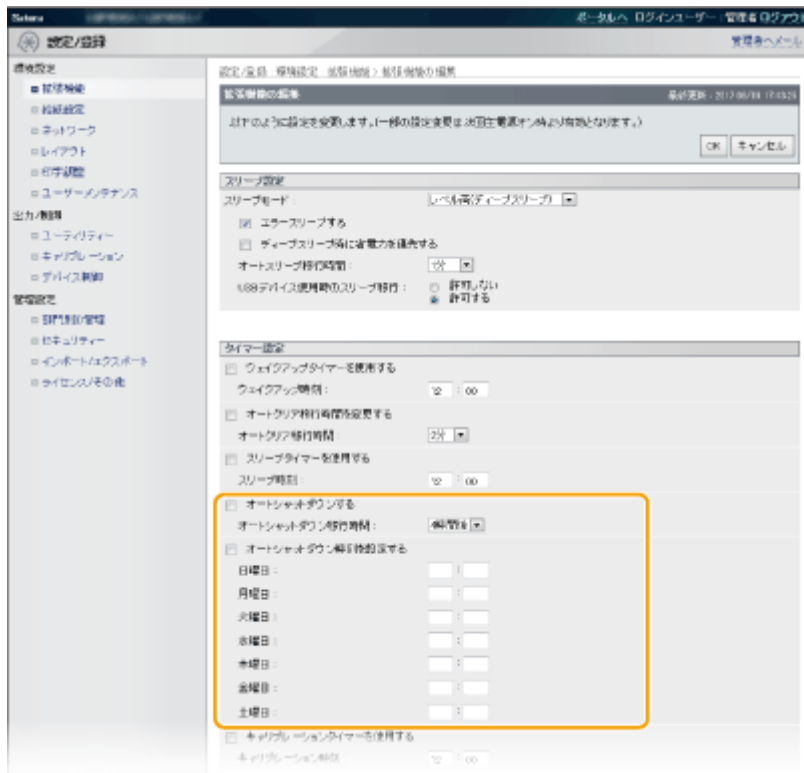
2 [設定/登録] をクリックする



3 [拡張機能] ▶ [編集] をクリックする



4 オートシャットダウンを設定する



【オートシャットダウンする】

チェックマークを付けると、[オートシャットダウン移行時間] で設定した時間を経過したときに電源が切れるようになります。

【オートシャットダウン移行時間】

スリープモードに入ってから電源が切れるまでの時間を選びます。

【オートシャットダウン時刻を設定する】

チェックマークを付けると、曜日ごとに設定できるようになります。

【日曜日】～【土曜日】

電源を切りたい時刻を入力します。時刻を空欄にすると、その曜日の設定はされません。

5 【OK】をクリックする



MEMO

シャットダウンが終わらない場合

- 電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。ディスプレイが消灯するまで電源プラグを抜かないでください。

指定した時刻に電源が切られない場合

- 本機で何らかの操作をしている
- ジョブ中やクリーニング中など、本機が動作中
- エラーメッセージが表示されている

指定した時刻に電源を切ることができなかつたときは、1分ごとに最大10回まで再試行します。それでも電源を切ることができなかつた場合、その日は自動的に電源が切られません。

印刷する

印刷する	77
パソコンから印刷する	78
用紙名称を設定する	82
印刷を中止する	85
いろいろな印刷方法	87
USB メモリーから印刷する (メディアプリント)	89
よく使うメディアプリント設定にする (初期値の変更)	99
暗証番号を入力して印刷する (セキュアプリント)	101
暗号化セキュアプリントを使う	104
文書を本機に保存して印刷する (保存ジョブプリント)	105
本機に保存した文書を削除する	109
ボックスに名前や暗証番号を設定する	113
ファイルを開かずに印刷する (ダイレクトプリント)	115
ダイレクトプリントの印刷設定	118
E メールを受信して印刷する (E メール印刷)	129
メーカー共通のドライバーを使用して印刷する (BMLinkS)	135

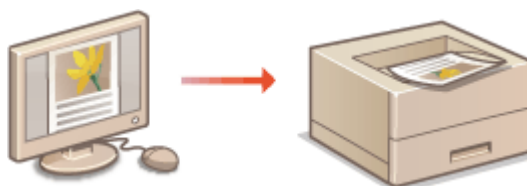
印刷する

55S7-017

パソコンで作成した文書を印刷する、USB メモリーに保存したファイルを印刷する、操作パネルで暗証番号を入力して印刷するなどの方法を説明します。

■ パソコンから印刷する

パソコンで作成した文書を、プリンタードライバーを使って印刷できます。▶ [パソコンから印刷する\(P. 78\)](#)



■ 便利な印刷機能を使用する

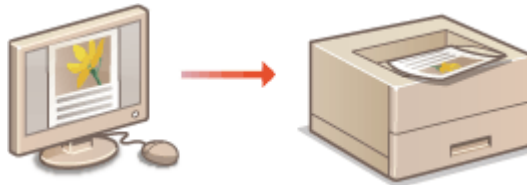
USB メモリー内のファイルをパソコンを介さずに本機から直接印刷したり、暗証番号を入力しないと印刷できないようにしたりする、などの機能を紹介します。▶ [いろいろな印刷方法\(P. 87\)](#)



パソコンから印刷する

55S7-018

アプリケーションで作成した文書を、パソコンのプリンタードライバーを使って印刷します。プリンタードライバーには、拡大／縮小や両面印刷などの設定が用意されていますので、さまざまな形で印刷できます。これらの機能を使うには、パソコンにプリンタードライバーをインストールするなどのいくつかの準備が必要です。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。



- ▶ プリンタードライバーのヘルプについて (P. 78)
- ▶ オプション品を使うときは (P. 78)
- ▶ 印刷の基本操作 (P. 79)
- ▶ DOS から印刷するとき (LBP853Ci / LBP852Ci) (P. 80)

プリンタードライバーのヘルプについて

プリンタードライバー画面の [ヘルプ] をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。ユーザーズガイドに記載されていない項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。

オプション品を使うときは

オプションのペーパーフィーダーや2段カセットペディスタルを装着している場合は、プリンタードライバーであらかじめ以下の操作をする必要があります。

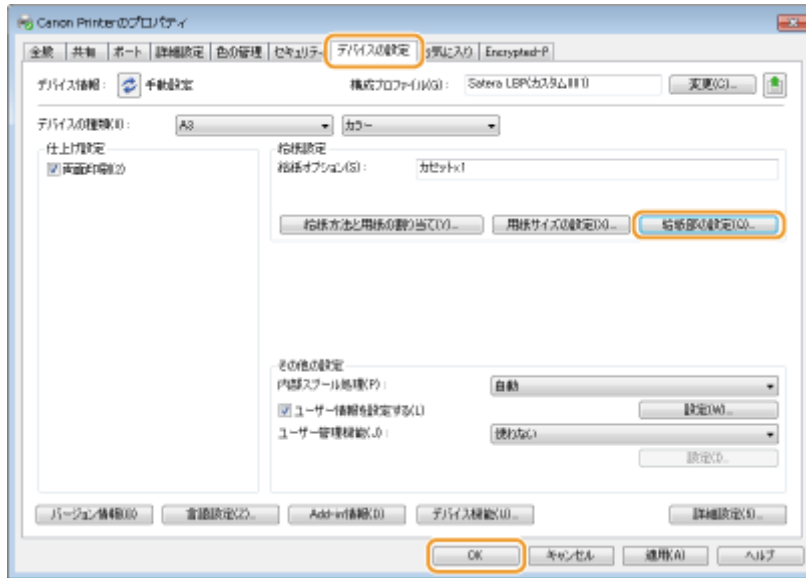


ご注意

- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログオンしている必要があります。



プリンターフォルダーを開く (▶ **プリンターフォルダーの表示方法 (P. 676)**) ▶ 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリック ▶ [プリンターのプロパティ] または [プロパティ] ▶ [デバイスの設定] タブ ▶ [給紙部の設定] ▶ 給紙部を設定 ▶ [OK] ▶ [OK]



印刷の基本操作

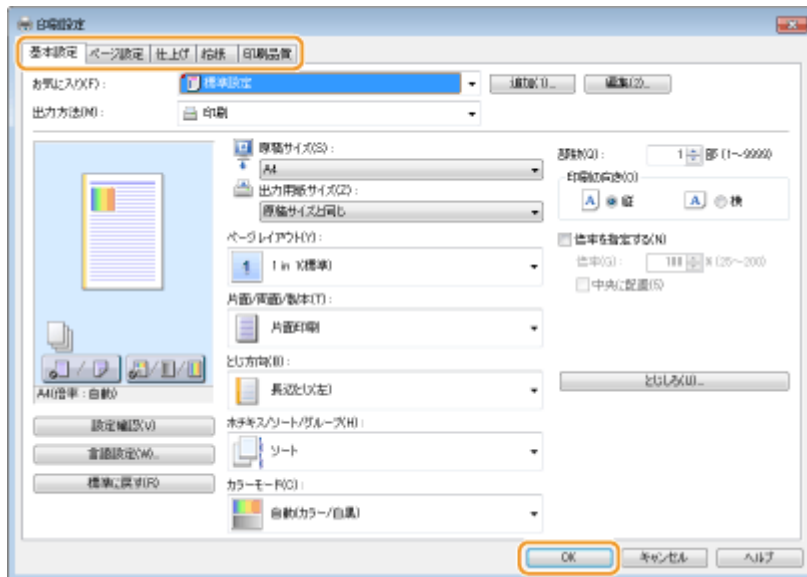
プリンタードライバーを使って、パソコン上の文書を本機で印刷する方法を説明します。



本体の用紙設定について

- 通常は各給紙部にセットした用紙サイズと種類を、あらかじめ操作パネルで設定しておく必要があります。

- 1 アプリケーションで文書を開いて、印刷画面を表示させる**
- 2 本機を選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックする**
- 3 必要に応じて印刷設定をし、[OK] をクリックする**
 - 設定内容に応じて、タブを切り替えてください。



[POP 印刷最適化] を設定したとき *

- より良い印刷結果を得るため、本機側で以下の設定にすることをおすすめします。
 - <トナー交換予告切替> : < POP 印刷 > ▶ **トナー交換予告切替(P. 418)**
 - < POP 印刷速度 > : < モード 2 > ▶ **POP 印刷速度(P. 417)**
 - < 自動 POP キャリブレーション > : < ON > ▶ **自動 POP キャリブレーション(P. 419)**
- 使用できる用紙が制限されます。使用できる用紙については、▶ **POP 印刷最適化で使用可能な用紙の種類(P. 619)** を参照してください。
- トナーカートリッジの残量が少なくなると、自動的にキャリブレーションが行われ、印刷までに時間がかかることがあります。
- < 自動 POP キャリブレーション > を設定していない場合は、POP 印刷をする前に < POP 印刷キャリブレーション > を行うことをおすすめします。▶ **色ずれや色味を補正する(P. 566)**

* [POP 印刷最適化] についての詳細は、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。

4 [印刷] または [OK] をクリックする

⇒ 印刷が開始されます。

- 中止したいときは、▶ **印刷を中止する(P. 85)** を参照してください。

DOS から印刷するとき (LBP853Ci / LBP852Ci)

アプリケーションのプリンター設定で本機を選択して印刷します。また、そのほかにも「キヤノン製 LIPS プリンター」や「ESC/P 準拠プリンター」を互換性のあるプリンターとして選択できます*。

* 本機は動作モードとして、キヤノン独自の LIPS モードと、IBM PC/AT 互換機 (DOS/V パソコン) の ESC/P エミュレーションモードを標準で内蔵しています。



- 動作モードの詳細については、▶ **動作モードについて(P. 686)** を参照してください。

- 印刷設定は動作モードごとに設定を変更できます。▶**動作モード専用の設定(P. 430)**
- オプションのコントロール ROM を装着すると、PC-9800 や PS/55 シリーズ用のプリンターを互換プリンターとして選択したり、HP-GL や HP-GL/2 対応のアプリケーションから印刷したりすることが可能になります。▶**システムオプションについて(P. 642)**

用紙名称を設定する

55S7-019

給紙部にセットした用紙の名前を付けることができます。たとえば、会社で複数のキヤノン製プリンターをお使いの場合、すべてのプリンターで特定の用紙をセットする給紙部に同じ名前を付けておきます。そうすることで、どの給紙部に目的の用紙がセットされているか確認することなく、用紙名称を指定するだけでその用紙がセットされた給紙部から印刷できます。

用紙名称を設定する

用紙名称の設定はリモート UI から行います。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

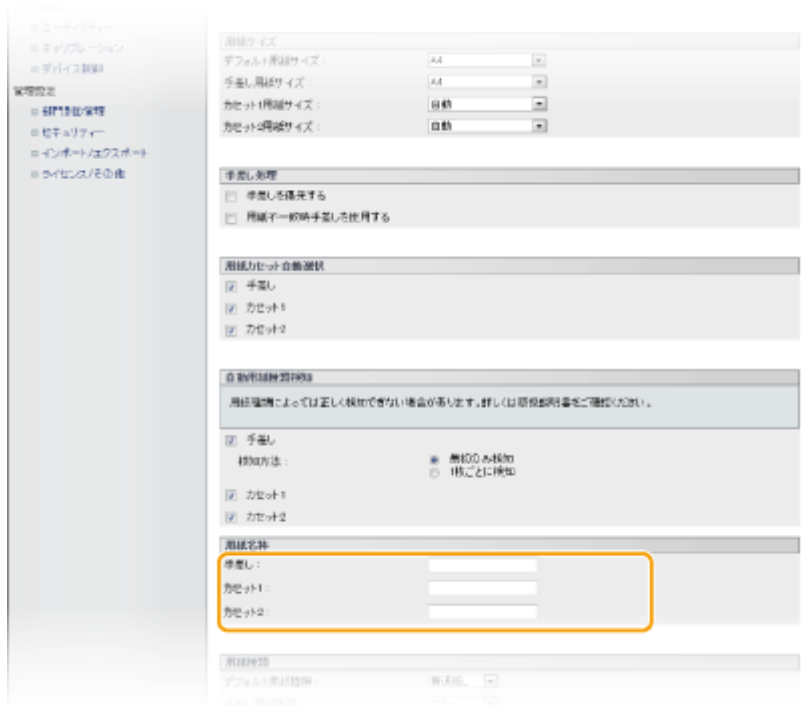
2 [設定/登録] をクリックする



3 [給紙設定] ▶ [編集] をクリックする



4 用紙名称を入力する



【用紙名称】

用紙名称を半角英数字または半角カナで入力します。

5 【OK】 をクリックする




印刷するパソコンで用紙名称を指定できるようにする

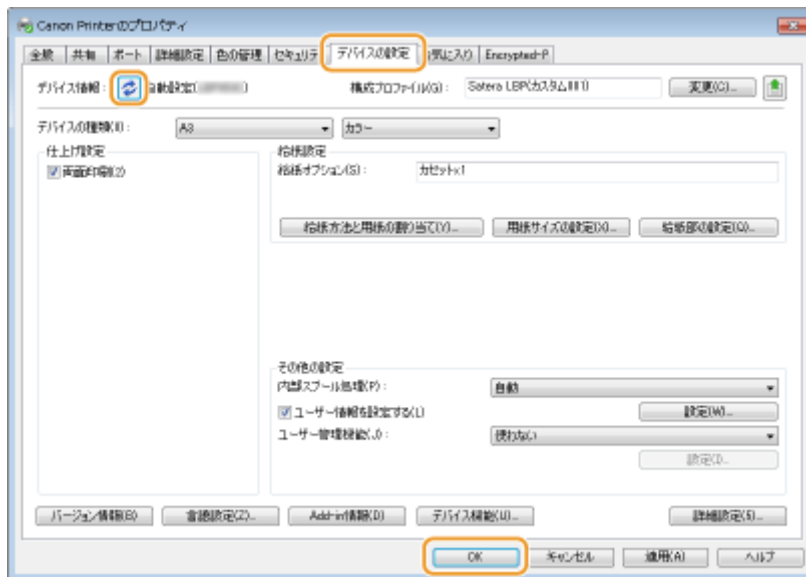
パソコンで用紙名称を指定できるようにするには、あらかじめ以下の操作をする必要があります。



- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログオンしている必要があります。
- USB 接続または WSD ポートを使用している場合は、ここでの操作ができません。プリンタードライバーをインストールしなおしてください。
- プリントサーバーをお使いのときは、あらかじめプリントサーバーに「Canon Driver Information Assist Service」をインストールしておいてください。インストール方法は、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。



プリンターフォルダーを開く (▶ **プリンターフォルダーの表示方法(P. 676)**) ▶ 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリック ▶ [プリンターのプロパティ] または [プロパティ] ▶ [デバイスの設定] タブ ▶  (デバイス情報を取得) ▶ [はい] ▶ [OK]



関連項目

▶ **パソコンから印刷する(P. 78)**

印刷を中止する

55S7-01A

パソコンから印刷を中止する方法と、本機の操作パネルから中止する方法があります。

- ▶ パソコンから(P. 85)
- ▶ 操作パネルから(P. 86)

パソコンから

デスクトップのタスクトレイに表示されているプリンターアイコンから印刷を中止できます。

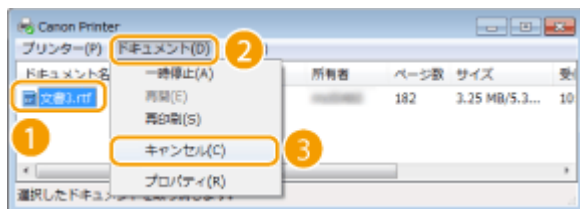
1 プリンターアイコンをダブルクリックする



プリンターアイコンが表示されないとき

- プリンターフォルダーを開き（▶ [プリンターフォルダーの表示方法\(P. 676\)](#)）、本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして「印刷ジョブの表示」をクリックします（または、本機のアイコンをダブルクリックします）。

2 中止したい文書を選んで、[ドキュメント] ▶ [キャンセル] をクリックする



3 [はい] をクリックする

⇒ 選択した文書が中止されます。



- 中止操作をしても、数ページ印刷されることがあります。



便利な機能

リモート UI から中止する

- リモート UI の [ジョブ状況] ページから印刷を中止することができます。▶印刷文書の状況を確認する(P. 317)

アプリケーションから中止する


- アプリケーションによっては、印刷中に次のような画面が表示されます。[キャンセル] をクリックして印刷を中止することができます。

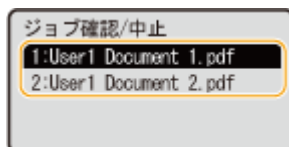



操作パネルから

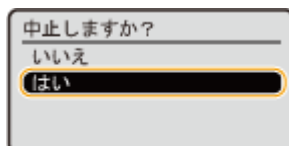
印刷データがパソコンから送られてくると [ジョブ] ランプが点灯（または点滅）しますが、この状態のときに印刷を中止することができます。

1  (ジョブ確認/中止) を押す

2 ▲ / ▼ で中止したい文書を選び、 を押す



3 <はい>を選び、 を押す



⇒ <ジョブを中止中です。>が表示され、選択した印刷データが中止されます。



- 中止操作をしても、数ページ印刷されることがあります。



関連項目

- ▶パソコンから印刷する(P. 78)
- ▶待機中の文書や本機の状態を確認する(P. 317)

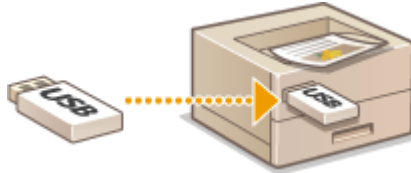
いろいろな印刷方法

55S7-01C

プリンタードライバーを使った基本的な印刷のほかに、いろいろな印刷機能を備えています。

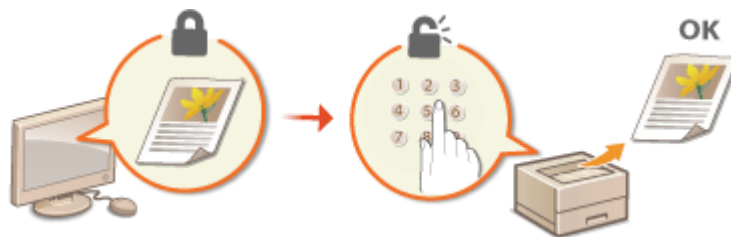
■ USB メモリーから印刷する（メディアプリント）

USB メモリーに保存されている PDF や画像ファイルなどを、パソコンを介さずに本機から直接印刷できます。▶ **USB メモリーから印刷する（メディアプリント）** (P. 89)



■ 暗証番号を入力して印刷する（セキュアプリント）

パソコンから本機に送る印刷データに暗証番号を付けると、同じ番号を本機で入力しないかぎり印刷できません。機密性の高い文書を印刷するときに便利です。▶ **暗証番号を入力して印刷する（セキュアプリント）** (P. 101)



■ 文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）

パソコンから送られた印刷データをオプションの SD カードに保存することができます。保存した印刷データは何度でも繰り返し印刷できます。▶ **文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）** (P. 105)



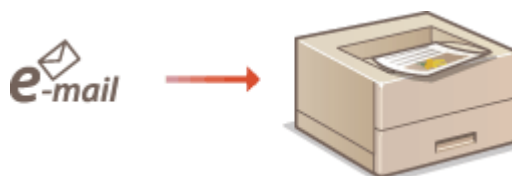
■ ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）

パソコンに保存されているファイル（PDF や JPEG など）をウェブブラウザで直接本機に送って印刷することができます。アプリケーションは使いません。▶ **ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）** (P. 115)



■ Eメールを受信して印刷する (Eメール印刷)

本機に送られてきたEメールの本文や添付ファイルをパソコンなしで直接印刷することができます。▶Eメールを受信して印刷する (Eメール印刷) (P.129)



■ メーカー共通のドライバーを使用して印刷する (BMLinkS)

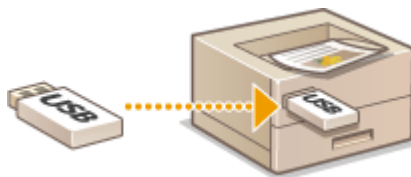
さまざまなメーカーや機種で共通して利用できる BMLinkS プリンタードライバーを使って印刷します。▶メーカー共通のドライバーを使用して印刷する (BMLinkS) (P.135)



USB メモリーから印刷する（メディアプリント）

55S7-01E

USB メモリーを本機に接続して、パソコンを介さずにファイルを直接印刷できます。



使用できる USB メモリー

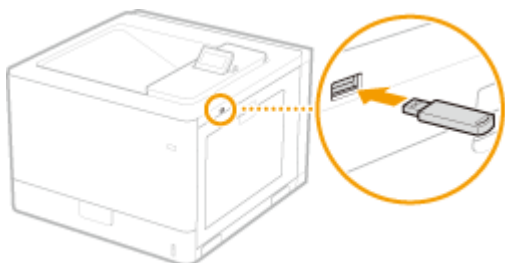
FAT32 のフォーマット形式の USB メモリーを使用できます。



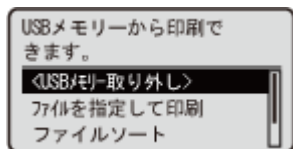
ご注意

- USB 規格に準拠していないものは使えません。また、USB メモリーによってはファイルを正しく印刷できない場合があります。
- USB メモリー以外は接続しないでください。また、USB ハブを介して接続したり、延長ケーブルを使って接続したりすることはできません。
- セキュリティ機能付きなど特殊な USB メモリーは使えません。

1 本体右側面の USB ポートに USB メモリーを接続する



⇒ 次のような画面が自動的に表示されます。



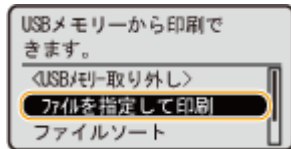
- 画面が表示されないときは、（機能選択）を押してください。



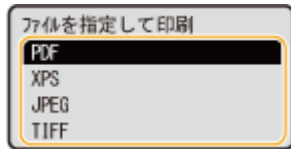
ご注意

- USB メモリーを接続しているときは、衝撃や振動を与えないでください。

2 ▲ / ▼ で<ファイルを指定して印刷>を選び、 を押す

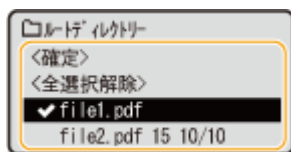


3 印刷したいファイル形式を選び、**OK** を押す



4 印刷したいファイルを選び、**OK** を押す

- 複数のファイルを選択できます。

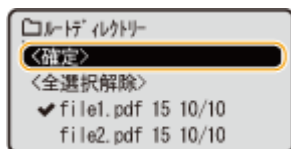


- 選択を解除するには、選択済みのファイル (✓) を選び、**OK** を押します。すべての選択をまとめて解除したいときは、<全選択解除>を選び、**OK** を押します。
- フォルダーを選んで **OK** または ▶ を押すと、その内容が表示されます。1つ上の階層に移動するときは ◀ または ◀ を押します。



- フォルダーやファイルが深い階層にあたり、フォルダー名やファイル名が長かったりすると、そのフォルダーやファイルは表示されないことがあります。
- 別のフォルダーへ移動すると、ファイルの選択は解除されます。

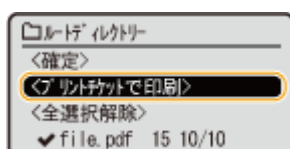
5 <確定>を選び、**OK** を押す



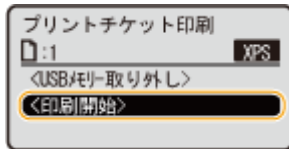
■ XPS ファイルをプリントチケットで印刷するとき

印刷するファイルのファイル形式が XPS の場合、ファイルに埋め込まれているプリントチケット (印刷設定) に従って印刷することができます。

1 <プリントチケットで印刷>を選び、**OK** を押す



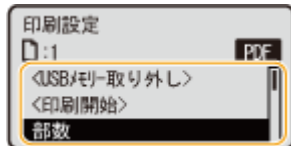
2 <印刷開始>を選び、**OK** を押す



印刷が開始されます。印刷が終了したら、USB メモリーを取り外してください。▶USB メモリーを取り外す(P.98)

6 必要に応じて印刷設定をする

- 項目を選び、**OK** を押して、設定します。



説明で使用されているアイコン* について

PDF	PDF ファイル印刷時の設定項目
XPS	XPS ファイル印刷時の設定項目
JPEG	JPEG ファイル印刷時の設定項目
TIFF	TIFF ファイル印刷時の設定項目

* どのファイル形式でも表示される設定項目はアイコンを省略しています。

<部数>

印刷する部数を設定します。テンキーで入力し、**OK** を押します。



<印刷範囲> / <印刷範囲 (TIFF) >



印刷する範囲 (ページ) を設定します。▲ / ▼ で<指定方法> ▶ **OK** ▶ 印刷範囲の指定方法を選択 ▶ **OK** を押します。



a <すべて>

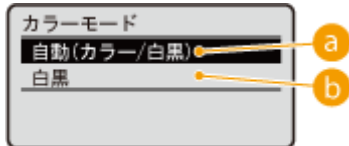
すべてのページを印刷します。

b <ページ指定>

指定したページ範囲のみを印刷します。ページ範囲は、<ページ範囲> ▶ **OK** ▶ <開始ページ>と<終了ページ>をテンキーで入力 ▶ <確定> ▶ **OK** で指定します。

<カラーモード>

カラーで印刷するか、白黒で印刷するかを設定します。▲ / ▼で設定を選び、**OK**を押します。

**a** <自動(カラー/白黒)>

原稿の種類によってカラー印刷と白黒印刷を自動的に切り替えます。

b <白黒>

カラーの原稿でも白黒で印刷します。

<両面印刷>

用紙の両面に印刷するかどうかを設定します。▲ / ▼で設定を選び、**OK**を押します。



- 用紙サイズや種類によっては両面印刷できないことがあります。▶ **用紙について(P. 615)**

<とじ方向>

両面印刷時に、印刷文書をホチキスなどでとじる場合、とじ位置を用紙の長辺と短辺のどちらにするのかを設定します。▲ / ▼でとじ位置を選び、**OK**を押します。

**a** <長辺とじ>

とじ位置を用紙の長辺にします。



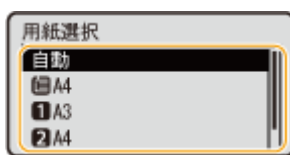
b <短辺とじ>

とじ位置を用紙の短辺にします。



<用紙選択>

印刷する用紙がセットされている給紙部を選びます。▲ / ▼ で給紙部を選び、OK を押します。



- PDF ファイルまたは XPS ファイルを印刷するときは、<自動>に設定すると最適な給紙部が自動選択されます。
- 非定型サイズ用の紙（ユーザー設定用紙）がセットされている給紙部は選択できません。

<中間調>

中間調（画像の明るい部分と暗い部分の中間の領域）の再現方法を選びます。

■ PDF/XPS の場合

中間調の再現方法を<誤差拡散>または画像の種類別に設定することができます。<誤差拡散>に設定する場合は、▲ / ▼ で<誤差拡散> ▶ OK ▶ <ON> ▶ OK を押します。画像の種類別に設定する場合は、▲ / ▼ で<解像度/階調> ▶ OK ▶ 画像の種類を選択 ▶ OK ▶ 中間調の再現方法を選択 ▶ OK を押します。



a <誤差拡散>

文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭線を印刷するのに適しています。



- <誤差拡散>を使用した場合、定着させたトナー、質感の安定性が下がる場合があります。

b <解像度/階調>

<誤差拡散>を<OFF>に設定した場合に、中間調の再現方法を選びます。1つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

**c** 画像の種類

設定を変更する対象を選びます。<テキスト>は文字、<グラフィックス>は線や図形、<イメージ>は写真などの画像が対象となります。

d <解像度>

テキストの輪郭をくっきりさせて精細な印刷をします。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。

e <階調>

階調や輪郭をなめらかに印刷します。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。



- <誤差拡散>が<ON>のときは、<解像度/階調>は表示されません。

■JPEG/TIFFの場合

▲ / ▼ で中間調の再現方法を選び、**OK** を押します。

**a** <誤差拡散>

文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭線を印刷するのに適しています。



- <誤差拡散>を使用した場合、定着させたトナー、質感の安定性が下がる場合があります。

b <解像度>

テキストの輪郭をくっきりさせて精細な印刷をします。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。

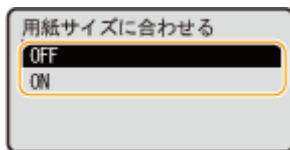
c <階調>

階調や輪郭をなめらかに印刷します。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。

<用紙サイズに合わせる>

PDF XPS

用紙の **印刷範囲(P. 620)** に合わせて自動的に拡大／縮小印刷されます。なお、原稿のタテヨコ比は固定したまま拡大／縮小されます。 ▲／▼ で設定を選び、 **OK** を押します。



- <用紙選択>で<自動>が設定されている場合は表示されません。

<拡大/縮小>

JPEG TIFF

画像の拡大／縮小を設定します。なお、画像のタテヨコ比は固定したまま拡大／縮小されます。 ▲／▼ で設定を選び、 **OK** を押します。



a < OFF >

画像が用紙の **印刷範囲(P. 620)** に収まっているときはそのままのサイズで印刷します。印刷範囲より大きいサイズの場合は縮小して印刷されます。

b < 自動 >

用紙の **印刷範囲(P. 620)** に合わせて拡大／縮小印刷されます。

<印字領域拡大>

印刷範囲(P. 620) を用紙サイズいっぱい広げて印刷するかどうかを設定します。 ▲／▼ で設定を選び、 **OK** を押します。

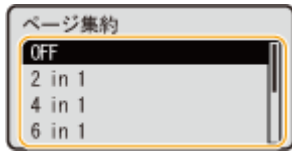


- < ON >に設定すると、原稿によっては用紙の端が一部欠けて印刷されたり、用紙が部分的に汚れたりすることがあります。

<ページ集約>

PDF XPS

複数のページを縮小して、1枚の用紙に左上から並べて印刷するかどうかを設定します。たとえば、〈4 in 1〉とは「1枚の用紙に4ページを収める」という意味です。▲／▼で設定を選び、OKを押します。

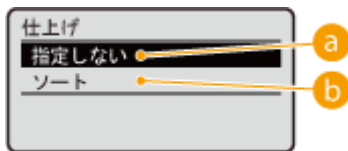


- 〈用紙選択〉で〈自動〉が設定されている場合は表示されません。

〈仕上げ〉

PDF XPS

複数ページからなる文書を何部か印刷するときの仕分け方法を設定します。▲／▼で仕分けするかどうかを選び、OKを押します。



a 〈指定しない〉

仕分けは行われません。設定された部数だけページ単位で印刷されます。たとえば、4ページの文書を3部印刷すると、「111」「222」「333」「444」というように印刷されます。



b 〈ソート〉

文書のページ順どおりに1部ずつ印刷されます。たとえば、4ページの文書を3部印刷すると、「1234」「1234」「1234」というように仕分けて印刷されます。



〈画像の向き〉

JPEG TIFF

画像の印刷方向を設定します。▲／▼で印刷方向を選び、OKを押します。



a <自動>

画像の幅と高さから、印刷方向を自動的に決定します。

b <縦>

タテ長の画像のときに指定します。

c <横>

ヨコ長の画像のときに指定します。



- <縦>または<横>の指定と画像データの向きが違う場合は、画像は縮小印刷されます。

<印字位置>

JPEG TIFF

画像を印刷する位置を設定します。▲ / ▼ で印刷位置を選び、OK を押します。



a <自動>

TIFF データに印刷位置の指定情報が含まれているときはその位置に印刷し、そうでないときは用紙の中央に印刷します。JPEG データのときは常に用紙の中央に印刷します。

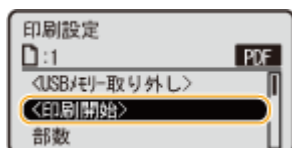
b <中央>

画像を中央に印刷します。

c <左上>

画像を左上に印刷します。

7 <印刷開始>を選び、OK を押す



⇒ 印刷が開始されます。

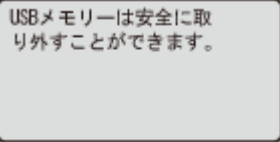
- 印刷を中止したいときは、操作パネルから中止します。▶印刷を中止する(P. 85)

8 USB メモリーを取り外す

1 < USB メモリー取り外し > を選び、**OK** を押す

2 < はい > を選び、**OK** を押す

▶▶ 次のメッセージが表示されるまで待ちます。



3 USB メモリーを取り外す



- 手順 1 の画面で < ファイルソート > を選ぶと、印刷するファイルを選ぶときの表示順を変更できます。



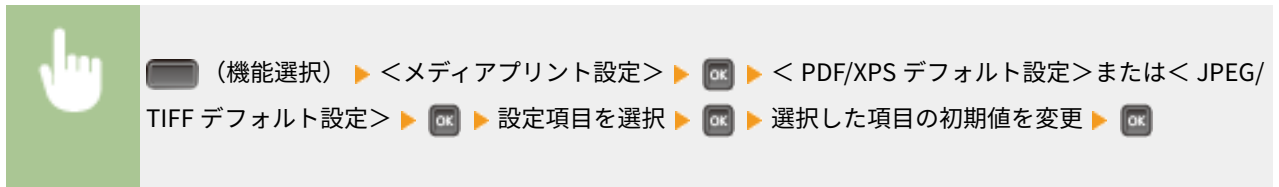
便利な機能

- いつも同じ設定で印刷したい ▶よく使うメディアプリント設定にする（初期値の変更）(P. 99)

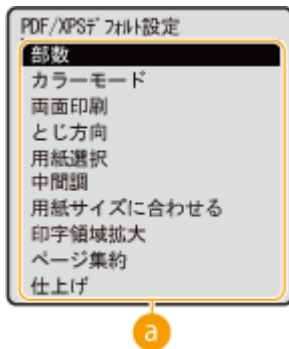
よく使うメディアプリント設定にする（初期値の変更）

55S7-01F

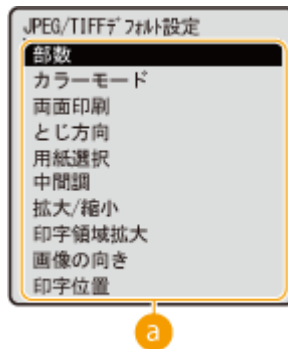
印刷設定をするときに最初に表示される設定を初期値といいます。この初期値を、ひんばんに使用する操作内容に合わせて変更しておけば、印刷するたびに同じ設定をする手間が省けます。



PDF/XPS の場合



JPEG/TIFF の場合

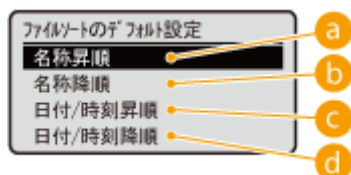


a 設定項目

設定したい項目を選び、初期値を変更します。

■ 印刷ファイルの表示順を設定する

USB メモリーから印刷するファイルを選ぶときの表示順を設定できます。



a <名称昇順>

ファイル名で昇順に並べて表示します。

b <名称降順>

ファイル名で降順に並べて表示します。

c <日付/時刻昇順>

日時に昇順に並べて表示します。

d <日付/時刻降順>

日時に降順に並べて表示します。



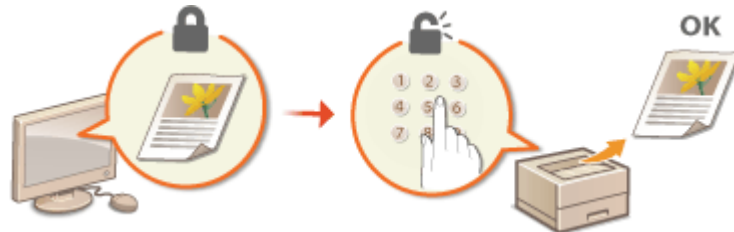
関連項目

c USB メモリーから印刷する (メディアプリント) (P. 89)

暗証番号を入力して印刷する（セキュアプリント）

55S7-01H

アプリケーションから文書を印刷するとき暗証番号を付けて印刷操作をすると、その文書はすぐには印刷されずいったんオプションのSDカードにとどまります。暗証番号を知っている人が本体の操作パネルからその番号を入力しないかぎり、文書は印刷されません。これをセキュアプリントといい、暗証番号を付けた文書のことをセキュア文書といいます。セキュアプリントを使うと、機密性の高い文書を印刷したまま放置するといったリスクを防止できます。この機能を使うためには、SDカードの装着が必要です（[SDカードを取り付ける\(P. 648\)](#)）。



- ▶ [セキュア文書の印刷データをパソコンから本機に送る\(P. 101\)](#)
- ▶ [セキュア文書を本機から取り出す\(P. 102\)](#)
- ▶ [セキュア文書の保存時間を変更する\(P. 103\)](#)

セキュア文書の印刷データをパソコンから本機に送る

セキュア文書の印刷データをパソコンから本機に送る操作です。文書に暗証番号を付けて送ります。

1 アプリケーションで文書を開いて、印刷画面を表示させる

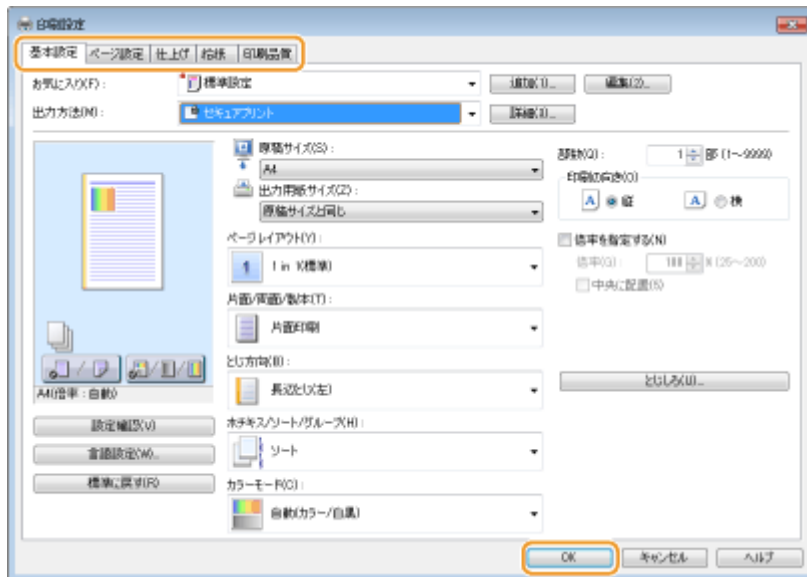
2 本機を選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックする

3 [出力方法] で [セキュアプリント] を選ぶ

⇒ [情報] ポップアップ画面が表示されます。メッセージを確認し、[はい] または [いいえ] をクリックしてください。

4 必要に応じて印刷設定をし、[OK] をクリックする

- 設定内容に応じて、タブを切り替えてください。



5 [印刷] または [OK] をクリックする

⇒セキュア文書の印刷データが本機に送られ、印刷待ち文書としてSDカードに保存されます。



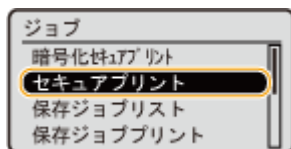
- セキュリティをより強化した暗号化セキュアプリントを使うこともできます。▶暗号化セキュアプリントを使う(P. 104)

セキュア文書を本機から取り出す

本機に送ったセキュア文書を印刷します。セキュア文書は設定されている保存時間（▶セキュア文書の保存時間を変更する(P. 103)）を経過すると自動的に消去され印刷できなくなります。

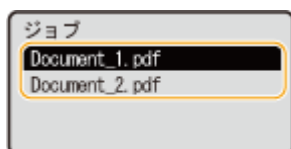
1 ▲（ジョブ）を押す

2 ▲／▼で<セキュアプリント>を選び、OKを押す



3 印刷するセキュア文書を選び、OKを押す

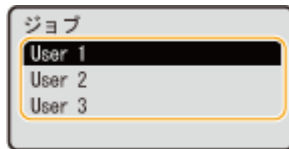
- SDカードに保存されているセキュア文書が1つのときは、この画面は表示されません。



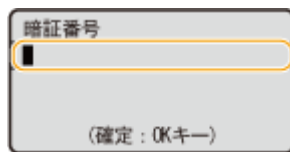
MEMO

ユーザー名が表示されたときは

- 複数ユーザーのセキュア文書がSDカードに保存されている場合は、上の画面の前に、ユーザーを選択する下の画面が表示されます。自分のユーザー名を選び、**OK** を押します。



4 暗証番号をテンキーで入力し、**OK** を押す



⇒ 印刷が開始されます。

- 印刷を中止したいときは、操作パネルから中止します。▶印刷を中止する(P. 85)

セキュア文書の保存時間を変更する

セキュア文書データを本機に送信してから消去されるまでの保存期間を一定の範囲内で変更できます。

1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲ / ▼ で<拡張機能>を選び、**OK** を押す

3 <セキュアプリント消去時間>を選び、**OK** を押す

4 セキュア文書がSDカードに保存される時間を選び、**OK** を押す

- ここで選択した時間が経過すると、セキュア文書は消去されます。



関連項目

- ▶暗号化セキュアプリントを使う(P. 104)
- ▶SDカードを取り付ける(P. 648)

暗号化セキュアプリントを使う

55S7-01J

印刷データを暗号化して本機に送るため、通常のセキュアプリントよりセキュリティを強化することができます。

■暗号化セキュアプリントを有効にする


暗号化セキュアプリントを使用するには、あらかじめ以下の操作をする必要があります。



プリンターフォルダーを開く ([▶プリンターフォルダーの表示方法\(P. 676\)](#)) ▶ 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリック ▶ [プリンターのプロパティ] または [プロパティ] ▶ [デバイスの設定] タブ ▶ [詳細設定] ▶ [その他の設定] タブ ▶ [暗号化セキュアプリント] を有効にする ▶ [OK] ▶ [OK]

■暗号化セキュア文書の印刷データをパソコンから本機に送る

ヘルプを参照してください。ヘルプはプリンタードライバーから表示することができます。




プリンターフォルダーを開く ([▶プリンターフォルダーの表示方法\(P. 676\)](#)) ▶ 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリック ▶ [プリンターのプロパティ] または [プロパティ] ▶ [Encrypted-P] タブ ▶ [ヘルプ]

■暗号化セキュア文書を本機から取り出す

本機に送った暗号化セキュア文書を印刷します。暗号化セキュア文書は設定されている保存時間 ([▶セキュア文書の保存時間を変更する\(P. 103\)](#)) を経過すると自動的に消去され印刷できなくなります。保存時間の設定方法は、セキュア文書と共通です。



▲ (ジョブ) ▶ <暗号化セキュアプリント> ▶  ▶ 印刷する暗号化セキュア文書を選ぶ ▶  ▶ テンキーで暗証番号を入力 ▶ 



暗証番号に英文字や記号を設定しているとき

- 暗号化セキュアプリントを使うと、プリンタードライバーで暗証番号を指定するときに、数字以外に英文字や記号を使うこともできます。ただし、英文字や記号を使った場合、本体の操作パネルから暗号化セキュア文書を印刷することはできません。リモートUIの [ジョブ状況] から印刷してください。 [▶印刷文書の状況を確認する\(P. 317\)](#)

文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）

55S7-01K

アプリケーションから印刷したデータを本機に取り付けた SD カードに保存することができます。保存したデータは、本機から直接印刷できるため、印刷のたびにパソコンを操作する手間を省くことができます。ファクスの送付状など繰り返し印刷するような文書を保存しておく便利です。▶SD カードを取り付ける(P. 648)



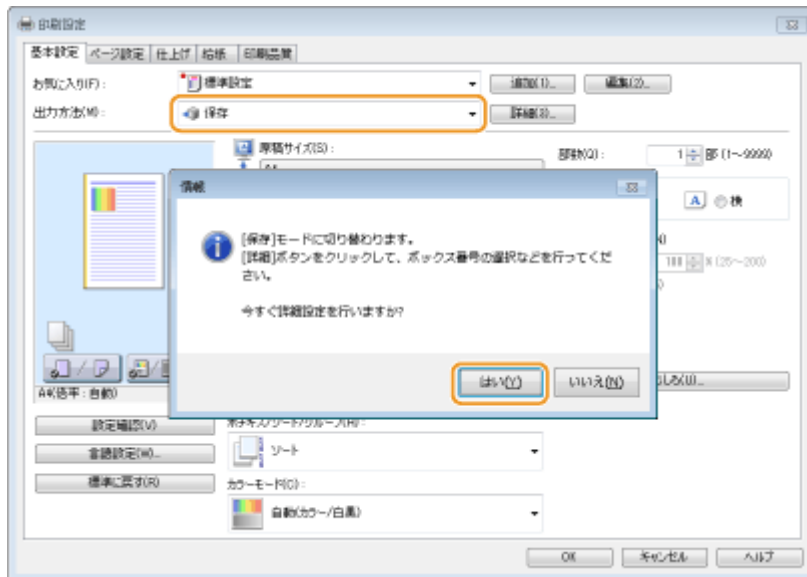
- ▶文書の印刷データを本機に保存する(P. 105)
- ▶本機に保存した文書を印刷する(P. 107)

MEMO

- SD カードに保存したデータは電源を切っても削除されませんが、設定されている保存時間を経過すると自動的に削除され印刷できなくなります。保存時間を変更したり、自動的に削除されないようにしたりする場合はリモート UI で設定を変更してください（▶文書の保存時間を変更する(P. 109)）。なお、手動で削除することもできます（▶手動で文書を削除する(P. 110)）。

文書の印刷データを本機に保存する

- 1 アプリケーションで文書を開いて、印刷画面を表示させる
- 2 本機を選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックする
- 3 [出力方法] で [保存] を選び、[はい] をクリックする



4 保存時の設定をして、[OK] をクリックする



a [保存するデータの名称]

印刷データを SD カードに保存するときの名称を設定します。

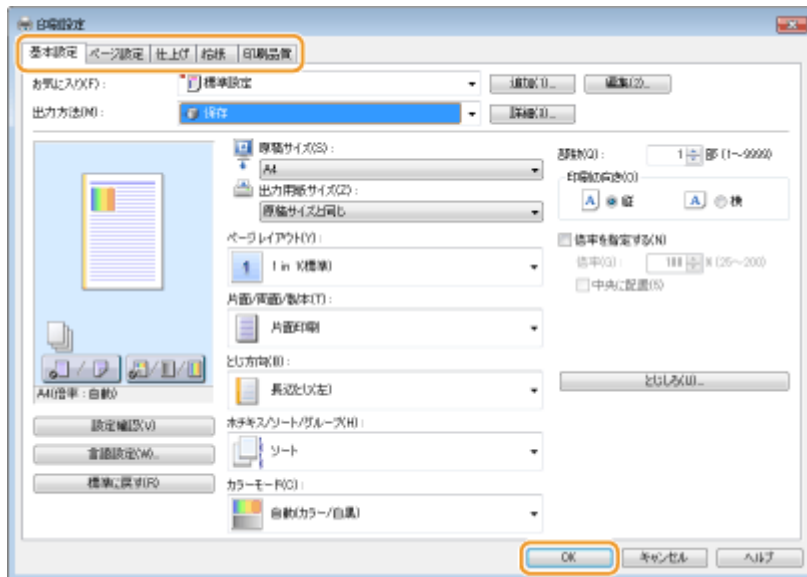
[手入力で指定]	手入力で名称を設定します。本機のディスプレイ上で区別が付くようにわかりやすい名称を付けてください。
[ファイル名を使用]	印刷データのファイル名やアプリケーションの情報をもとに自動的に名称が設定されます。

b [ボックス]

印刷データを SD カードに保存するときの格納場所のことをボックスといいます。ここでは保存先のボックスの番号を選択します。ボックスを区別しやすくするために、ボックスに名前を付けることができます。▶**ボックスに名前や暗証番号を設定する(P. 113)**

5 必要に応じて印刷設定をし、[OK] をクリックする

- 設定内容に応じて、タブを切り替えてください。
- ここで変更した印刷設定は文書といっしょに保存されます。次回文書を印刷するときは、保存したときの設定で印刷されます。



6 [印刷] または [OK] をクリックする

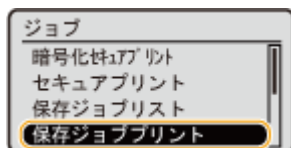
⇒ 文書の印刷データが本機に送られ、指定したボックスに保存されます。

本機に保存した文書を印刷する

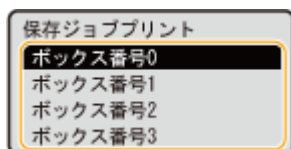
1 ▲ (ジョブ) を押す

- オフラインのときは ▲ (ジョブ) を押しても動作しません。オンラインにしてください。▶ [オンライン] キー (P. 28)

2 ▲ / ▼ で <保存ジョブプリント> を選び、[OK] を押す

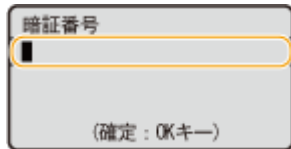


3 印刷したい文書が保存されているボックス番号を選び、[OK] を押す

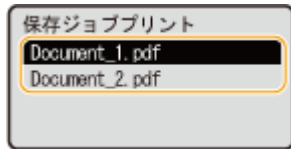


ボックスに暗証番号を設定している場合

- 暗証番号の入力画面が表示されますので、暗証番号を入力し、[OK] を押します。暗証番号がわからないときは、本機の管理者にお問い合わせください。



4 印刷したい文書を選び、を押す



⇒印刷が開始されます。

- 印刷を中止したいときは、操作パネルから中止します。▶[印刷を中止する\(P. 85\)](#)

MEMO

- SD カードに保存した文書は、リモート UI の [ボックス] ページからも印刷することができます (▶ [\[ボックス\] ページ\(P. 315\)](#))。文書を保存したボックスを開き、印刷したい文書にチェックマークを付けて [プリント] をクリックします。

関連項目

- ▶ [本機に保存した文書を削除する\(P. 109\)](#)
- ▶ [ボックスに名前や暗証番号を設定する\(P. 113\)](#)
- ▶ [SD カードを取り付ける\(P. 648\)](#)

本機に保存した文書を削除する

55S7-01L

SD カードに保存したデータは、お買い上げ時の設定では一定時間を経過すると自動的に消去され印刷できなくなります。保存時間を変更したり、自動的に削除されないようにしたりする場合はリモート UI で設定を変更してください。なお手動で削除することもできます。

- ▶ 文書の保存時間を変更する (P. 109)
- ▶ 手動で文書を削除する (P. 110)

文書の保存時間を変更する

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [拡張機能] ▶ [編集] をクリックする



4 保存時間を変更する

- 自動的に削除されないようにするには、[なし] を選択します。



5 [OK] をクリックする



手動で文書を削除する

1 リモート UI を起動し、ログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 308)



一般ユーザーモードでログインしたとき

- お買い上げ時は、管理者以外のユーザー（一般ユーザー）が文書を削除できない設定になっています。一般ユーザーが文書进行操作できるようにするには、設定を変更する必要があります。▶ **一般ユーザーが文書进行操作できるようにする (P. 322)**
- リモート UI にログインしたときのユーザー名と印刷データのユーザー名が一致する文書のみを削除できます。

2 [ボックス] をクリックする

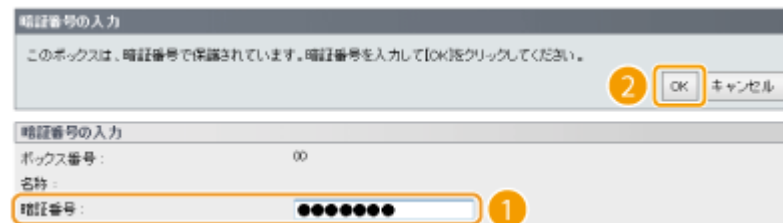


3 削除したい文書が保存されているボックス番号をクリックする



ボックスに暗証番号を設定している場合

- 次の画面が表示されますので、暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。



4 削除したい文書にチェックマークを付けて、[削除] をクリックする



⇒ 指定した文書が削除されます。



- [ファイル名] のリンクをクリックすると、その文書の詳細情報を確認できます。



- 保存データの消去はバックグラウンドで行われるため、空き容量が増えるまでに時間がかかる場合があります。

ボックスに名前や暗証番号を設定する

55S7-01R

ボックスに名前を設定したり、ボックスを開くための暗証番号を設定したりすることができます。ボックスにわかりやすい名前を設定することで、プリンタードライバーで文書の保存先を選ぶときに区別が付きやすくなります。また、暗証番号を設定することで、限られたユーザーだけが保存された文書にアクセスできるようになるため、セキュリティ効果が高まります。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P. 308)

2 [ボックス] をクリックする



3 設定したいボックス番号をクリックする



ボックスに暗証番号を設定している場合

- 次の画面が表示されますので、暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。



4 [設定] をクリックする



5 名前や暗証番号を設定する



【ボックス名】

ボックスに名前を設定したい場合に入力します。

【暗証番号を設定する】

暗証番号を設定したい場合は、チェックマークを付け、[暗証番号] と [確認入力] の両方に同じ暗証番号を入力します。



- 暗証番号の先頭の数字に「0」は設定できません。先頭に入力した「0」を取り除いた数字が暗証番号として設定されます。

6 【OK】 をクリックする



ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）

55S7-01S

ファイルを開かずに、ウェブブラウザ（リモート UI）を使って直接印刷することができます。また、ウェブ上にある PDF ファイルを URL 指定するだけで直接印刷することもできます。



1 リモート UI を起動し、ログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [ダイレクトプリント] をクリックする



3 印刷するファイルの種類をクリックする



[PDF ファイル]

PDF ファイルを印刷するときにクリックします。

[画像ファイル]

JPEG/TIFF ファイルを印刷するときにクリックします。

[XPS ファイル]

XPS ファイルを印刷するときにクリックします。

4 [参照] をクリックする

- ファイルを選択するダイアログボックスが表示されるので、印刷するファイルを選んで [開く] をクリックします。
- PDF ファイルを印刷するときは、[ファイルのパス] を選びます。



ウェブ上の PDF ファイルを印刷するとき

- [URL] を選び、PDF ファイルの URL を入力します。ユーザー認証が必要な場合は、[ユーザー名] と [パスワード] も入力します。

PDF ファイルにパスワードがかかっているとき

- [文書パスワード] にパスワードを入力します。

ポリシーサーバーと連携している PDF ファイルを印刷するとき

- [ポリシーサーバーのユーザー名] と [ポリシーサーバーのパスワード] に入力が必要です。

5 必要に応じて印刷設定をする ▶ダイレクトプリントの印刷設定(P. 118)

6 [プリント開始] をクリックする



▶ 次のような画面が表示され、印刷が開始されます。



- [ジョブ一覧へ] をクリックすると、[ジョブ状況] ページが表示され、印刷状況を確認できます。▶ **印刷文書の状況を確認する(P. 317)**



ご注意ください

- 印刷が開始されるまで時間がかかることがあります。



関連項目

- ▶ **リモート UI を使う(P. 307)**

ダイレクトプリントの印刷設定

55S7-01U

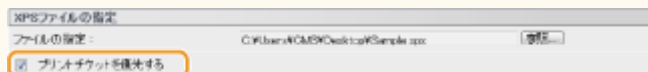
印刷する文書に応じてダイレクトプリントの設定を変更したいときは、以下の項目を設定します。



ご注意

XPS ファイルの印刷設定をするとき

- [プリントチケットを優先する]のチェックマークを外してください。チェックマークが付いていると一部の項目を設定することができません。



MEMO

説明で使用されているアイコン* について

- PDF** PDF ファイル印刷時の設定項目
- JPEG** JPEG ファイル印刷時の設定項目
- TIFF** TIFF ファイル印刷時の設定項目
- XPS** XPS ファイル印刷時の設定項目

* どのファイル形式でも表示される設定項目はアイコンを省略しています。

[プリント範囲の指定]

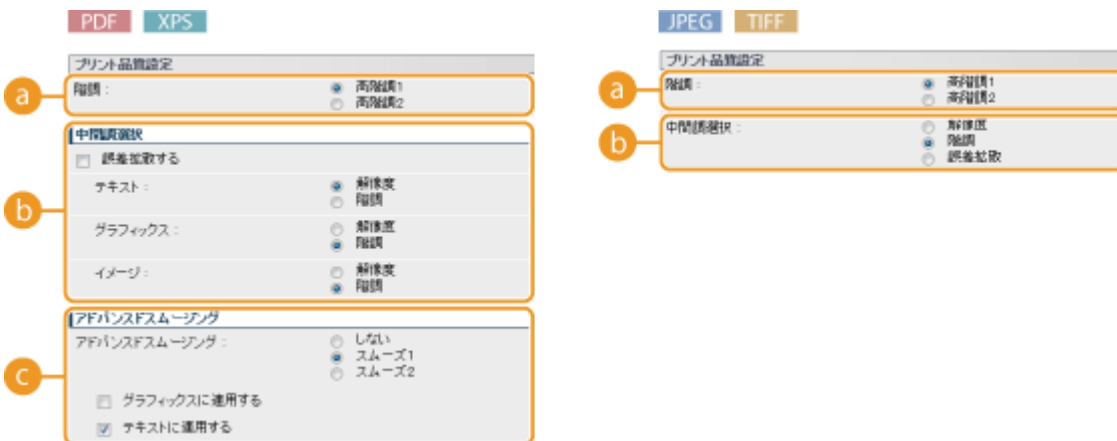


a [プリント範囲]

印刷する範囲（ページ）を指定します。

[すべて]	すべてのページを印刷するときに選びます。
[ページ指定]	印刷範囲を指定するときに選びます。JPEG ファイルは指定できません。

[プリント品質設定]




a 階調


印刷データを処理するときの階調を設定します。

[高階調 1]	写真などを一般的な品質で印刷します。
[高階調 2]	写真などをより高い品質で印刷したいときに設定します。

b [中間調選択]

中間調（画像の明るい部分と暗い部分の中間の領域）の再現方法を選びます。PDF ファイルや XPS ファイルの場合、[解像度] や [階調] は 1 つの文書に対して [テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ] という画像の種類別に設定できます。

<input type="checkbox"/> [誤差拡散する]	PDF XPS	<p>チェックマークを付けると、文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭線に適した印刷を行うことができます。すべての画像に適用されるため、[解像度] や [階調] は選択できません。</p> <p> MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> • [誤差拡散する] を使用した場合、定着させたトナー、質感の安定性が下がる場合があります。
-----------------------------------	--	--

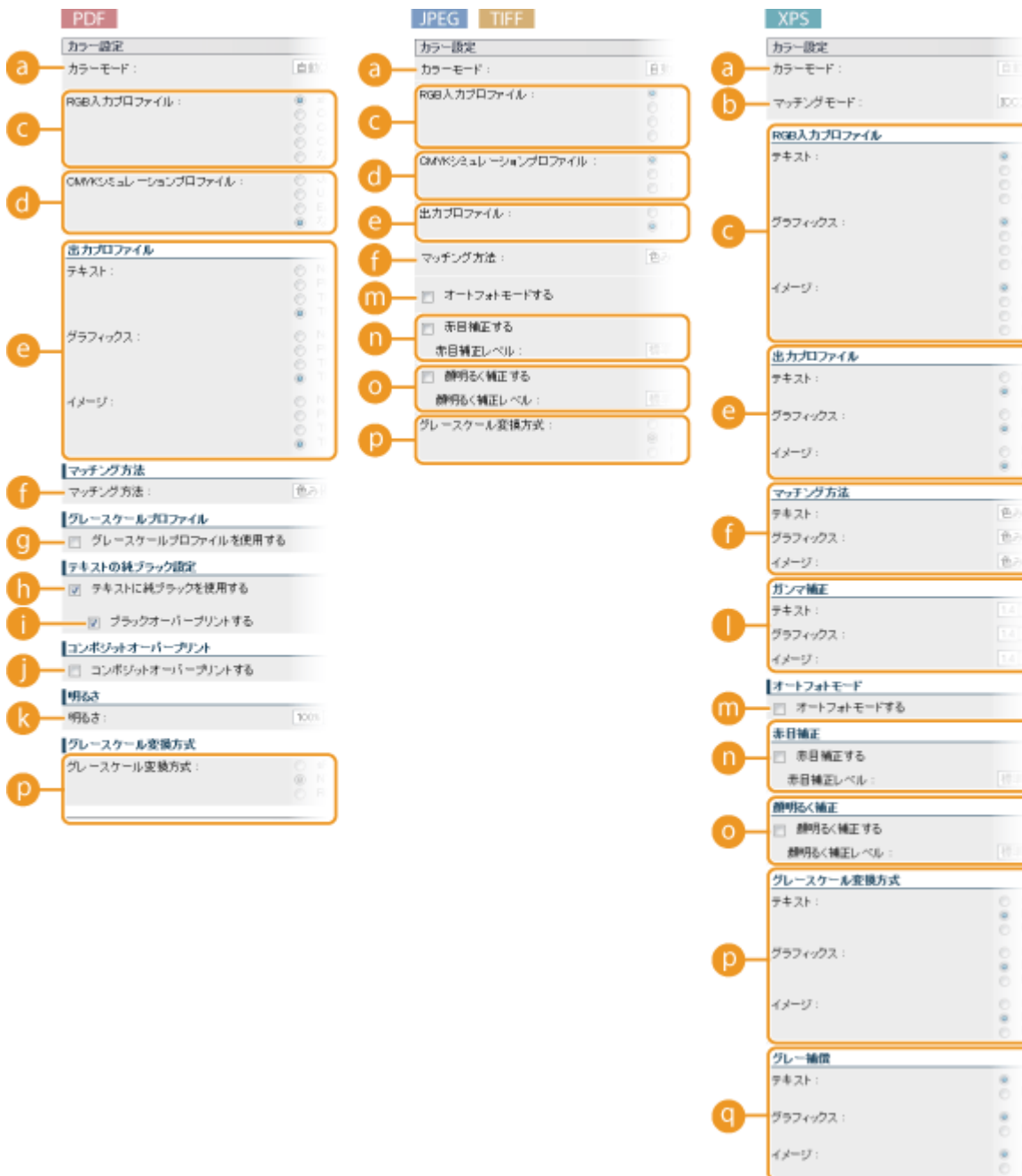
[解像度]	テキストの輪郭をくっきりさせて精細な印刷をします。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。
[階調]	階調や輪郭をなめらかに印刷します。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。
[誤差拡散] JPEG TIFF	<p>文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭線を印刷するのに適しています。</p>  <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> • [誤差拡散] を使用した場合、定着させたトナー、質感の安定性が下がる場合があります。

C [アドバンスドスムージング] PDF XPS

線や図形、文字の輪郭をなめらかに印刷するスムージング処理の設定を行います。

[しない]	スムージング処理は行われません。
[スムーズ 1]	線や図形、文字の輪郭をなめらかに印刷します。
[スムーズ 2]	[スムーズ 1] よりもなめらかな輪郭になるような処理を行います。
[グラフィックスに適用する]	チェックマークを付けると、[スムーズ 1] または [スムーズ 2] に設定した場合に、スムージング処理を線や図形に適用します。
[テキストに適用する]	チェックマークを付けると、[スムーズ 1] または [スムーズ 2] に設定した場合に、スムージング処理を文字に適用します。

[カラー設定]

**a** [カラーモード]

カラーで印刷するか、白黒で印刷するかを設定します。

[自動(カラー/白黒)]	原稿の種類によってカラー印刷と白黒印刷を自動的に切り替えます。
[白黒]	カラーの原稿でも白黒で印刷します。
[カラー] PDF XPS	カラーで印刷します。

b [マッチングモード] XPS

カラー印刷時の処理モードを選びます。

[ICC プロファイル]	プロファイルを使用して色のマッチングを行います。
[ガンマ]	ガンマ値を設定して明るさの強弱で色の調整を行います。

c [RGB 入力プロファイル]

RGB データに対して、ディスプレイの画質に合わせたプロファイルを選びます。XPS ファイルの場合は、1つの文書に対して [テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ] という画像の種類別に設定できます。

[sRGB v3.0(Canon)]	一般的なディスプレイの業界標準画質に設定されます。sRGB 対応ディスプレイをお使いの場合、表示される色に近い色味で印刷することができます。
[Canon HDTV gamma 1.5~2.4 Monitor]	印刷結果とディスプレイに表示された色を比べて、明るさを調整したいときに設定します。設定値が大きいほど暗く印刷されます。
[なし] PDF	RGB 入力プロファイルを適用せずに、RGB データから CMYK への色分解を行います。



- XPS ファイルの場合は、[マッチングモード] を [ICC プロファイル] に設定したときに有効になります。

d [CMYK シミュレーションプロファイル] PDF JPEG TIFF

CMYK のデータを印刷する際のシミュレーションターゲットを選びます。このシミュレーションに従って CMYK データをデバイス依存の CMYK カラーモデルに変換します。

[JapanColor(Canon)]	JapanColor プロファイルを設定します。日本の印刷標準に近い色味で印刷します。
[U.S. Web Coated v1.00 (Canon)]	U.S. Web Coated プロファイルを設定します。米国の印刷標準に近い色味で印刷します。
[Euro Standard v1.00 (Canon)]	Euro Standard プロファイルを設定します。ヨーロッパの印刷標準に近い色味で印刷します。
[なし] PDF	CMYK シミュレーションプロファイルを適用せずに、デバイス依存の CMYK カラーで印刷します。



- [なし] に設定すると、データによっては暗い色の階調がつぶれることがあります。

e [出力プロファイル]

印刷データに対して適切なプロファイルを選びます。PDF ファイルや XPS ファイルの場合は、1つの文書に対して [テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ] という画像の種類別に設定できます。

[Normal]	ディスプレイに表示された色に近い色味でマッチングを行い、印刷します。
[Photo]	写真のような色味でマッチングを行い、印刷します。
[TR Normal] PDF	ディスプレイに表示された色に近い色味でマッチングを行い、さらに文字や細い線のトナーのにじみを抑えて印刷します。
[TR Photo] PDF	写真のような色味でマッチングを行い、さらに文字や細い線のトナーのにじみを抑えて印刷します。



- XPS ファイルの場合は、[マッチングモード] を [ICC プロファイル] に設定したときに有効になります。

f [マッチング方法]

[RGB 入力プロファイル] で色のマッチングを行うときに、どの要素を優先させるかを選びます。XPS ファイルの場合は、1つの文書に対して [テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ] という画像の種類別に設定できます。

[色み優先]	色味を優先させてマッチングを行います。
[鮮やかさ優先]	鮮やかさを優先させてマッチングを行います。
[色差最小]	原稿と印刷の色の差が最小となるようにマッチングを行います。

g [グレースケールプロファイルを使用する] PDF

チェックマークを付けると、グレーのデータを、本機のグレースケールプロファイルを使って CMYK のデータに変換します。



- [出力プロファイル] や [テキストに純ブラックを使用する] の設定によっては、K (ブラック) のトナー 1 色で印刷します。

h [テキストに純ブラックを使用する] PDF

チェックマークを付けると、黒色の文字を K (ブラック) のトナー 1 色で印刷します。カラー (CMY) のトナーによる文字の周りの色ずれを防ぐことができます。通常はこちらの設定をおすすめします。

i [ブラックオーバープリントする] PDF

[テキストに純ブラックを使用する] が有効時に、黒色の文字がカラーの背景や図形に重なっているときの印刷方法を設定します。チェックマークを付けると、カラーの背景や図形をすべて印刷してから、ブラック (K) のトナーのみを使って黒色の文字を背景や図形の上に重ねて印刷します。チェックマークを外したときは、カラーの背景や図形から黒色の文字の部分を白く抜いて印刷してから、白く抜いた部分に黒色の文字を印刷します。



- チェックマークを外すと、薄く印刷されたり、文字の縁が白く抜けたりすることがあります。

j [コンポジットオーバープリントする] PDF

チェックマークを付けると、オーバープリントが設定されている CMYK のデータを、コンポジット出力のままオーバープリントします。



- [CMYK シミュレーションプロファイル] が [なし] 以外に設定されているときは、この項目を設定してもオーバープリントされません。

k [明るさ] PDF

画像全体の明るさを5%間隔で調整します。設定値が小さいほど明るくなり、大きいほど暗くなります。

l [ガンマ補正] XPS

原稿中の最も明るい部分や最も暗い部分を損なわないように、印刷結果の明るさを調節することができます。[1.4]が標準（補正なし）の状態、設定値が大きいほど暗く印刷されます。1つの文書に対して[テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ]という画像の種類別に設定できます。



- [マッチングモード] を [ガンマ] に設定したときに有効になります。

m [オートフォトモードする] JPEG TIFF XPS

チェックマークを付けると、自動的に画像のコントラストやカラーバランス、彩度、階調を補正して印刷します。

n [赤目補正する] JPEG TIFF XPS

フラッシュ撮影時に光が目にあたり人物などの目が赤くなることを赤目といいます。自動的に画像の赤目部分を検出して補正するかどうかを設定します。チェックマークを付け、[赤目補正レベル] で補正レベルを選択します。

o [顔明るく補正する] JPEG TIFF XPS

露出不足や逆光などにより人物の顔が暗くなった画像を印刷する場合に、顔の部分が明るくなるように画像全体の明るさを補正するかどうかを設定します。チェックマークを付け、[顔明るく補正レベル] で補正レベルを選択します。

p [グレースケール変換方式]

カラーの印刷データをモノクロに変換するときの方式を設定します。XPS ファイルの場合は [テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ] という画像の種類別に設定できます。

[sRGB]	色の違いを考慮した、なめらかな階調になるようにモノクロ変換されます。
[NTSC]	テレビ映像（NTSC方式）と同等の見た目になるようにモノクロ変換されます。
[RGB均等]	明るさのみを基準にし、RGBがすべて均等になるようにモノクロ変換されます。



- [カラーモード] を [白黒] に設定したときに有効になります。

q [グレー補償] XPS

色情報が「R = G = B」のブラックまたはグレーのデータを、K（ブラック）のトナー1色で印刷するかどうかを選びます。1つの文書に対して [テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ] という画像の種類別に設定できます。



- [しない] に設定したときは、CMYKのトナー4色で印刷されます。

[プリント設定]

The image shows two side-by-side screenshots of the 'Print Settings' dialog box. The left screenshot is for PDF/XPS and the right is for JPEG/TIFF. Both have orange callout letters 'a' through 'q' pointing to various settings.

PDF XPS

- a 部数: 1 (部(1~9999))
- b 用紙サイズ: 自動
- c 用紙種類: 普通紙
- d 手差し固定
- e 用紙サイズに拡大/縮小する
- i 印字領域拡大する
- j 両面プリント
- k 両面プリントする
- とじ方向: 表向き
- m ページ集約
- ページ集約: しない
- n 配置順: 表から表向き
- 仕上げ
- 仕上げ: しない
- p 注釈印刷
- 注釈印刷: 自動
- ボックスに保管
- q ボックスに保管する
- ボックス番号(00~99): 00

JPEG TIFF

- a 部数: 1 (部(1~9999))
- b 用紙サイズ: A4
- c 用紙種類: 普通紙
- f 画像の向き: 自動
- g 印字位置: 自動
- h 拡大/縮小: しない
- i 印字領域拡大する
- j 両面プリントする
- k 両面プリントする
- とじ方向: 表向き
- l 警告表示: 印刷

a [部数]

印刷部数を設定します。

b [用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを設定します。



- PDF ファイルまたは XPS ファイルを印刷するときは、[自動] に設定すると最適な用紙サイズが自動選択されます。最適サイズがない場合は、<デフォルト用紙サイズ>で設定した用紙サイズで印刷されます（▶**デフォルト用紙サイズ(P. 515)**）。

c [用紙種類]

印刷する用紙の種類を設定します。

d [手差し固定] PDF XPS

チェックマークを付けると、手差しトレイにセットされている用紙からしか印刷されません。

e [用紙サイズに拡大/縮小する] PDF XPS

チェックマークを付けると、用紙の▶**印刷範囲(P. 620)**に合わせて拡大/縮小印刷されます。なお、原稿のタテヨコ比は固定されたまま拡大/縮小されます。



- [用紙サイズ] が [自動] のときは、この項目は設定できません。

f [画像の向き] JPEG TIFF

画像の印刷方向を設定します。

[自動]	画像の幅と高さから、印刷方向を自動的に決定します。
[縦]	タテ長の画像のときに指定します。
[横]	ヨコ長の画像のときに指定します。



- [縦] または [横] の指定と画像データの向きが違う場合は、画像は縮小印刷されます。

g [印字位置] JPEG TIFF

画像を印刷する位置を設定します。

[自動]	TIFF データに印刷位置の指定情報が含まれているときはその位置に印刷し、そうでないときは用紙の中央に印刷します。JPEG データのときは常に用紙の中央に印刷します。
[中央]	画像を中央に印刷します。
[左上]	画像を左上に印刷します。

h [拡大/縮小] JPEG TIFF

画像の拡大/縮小を設定します。なお、画像のタテヨコ比は固定されたまま拡大/縮小されます。

[しない]	画像が用紙の 印刷範囲(P. 620) に収まっているときはそのままのサイズで印刷します。印刷範囲より大きいサイズのときは縮小して印刷されます。
[自動]	用紙の印刷範囲に合わせて拡大/縮小印刷されます。

i [印字領域拡大する]

チェックマークを付けると、**印刷範囲(P. 620)** を用紙サイズいっぱい広げて印刷します。ただし、原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されたり、用紙が部分的に汚れたりすることがあります。

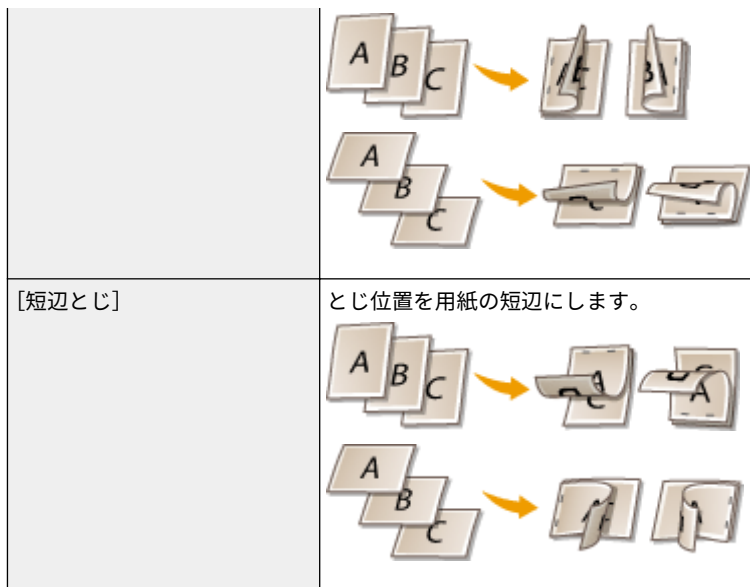
j [両面プリントする]

チェックマークを付けると、用紙の両面に印刷します。

k [とじ方向]

印刷文書をホチキスなどでとじる場合、とじ位置を用紙の長辺と短辺のどちらにするのかを設定します。とじ位置によって印刷方向も変化します。また、とじ位置の余白を設定することもできます (**とじしろ(P. 377)**)。

[長辺とじ]	とじ位置を用紙の長辺にします。
--------	-----------------



[短辺とじ]

とじ位置を用紙の短辺にします。

① [警告表示] JPEG TIFF

エラーが生じたときの動作を設定します。

[印刷]	エラー内容を印刷し、画像は印刷しません。
[パネル]	画像を印刷せず、操作パネルにエラーメッセージを表示します。
[しない]	画像を印刷せず、エラーも表示しません。

② [ページ集約] PDF XPS

複数のページを縮小して、1枚の用紙に並べて印刷するかどうかを設定します。たとえば、[4 in 1]とは「1枚の用紙に4ページを収める」という意味です。



- [用紙サイズ] が [自動] のときは、この項目は設定できません。

③ [配置順] PDF XPS

各ページをどのような配置で1枚の用紙に収めるかを設定することができます。



④ [仕上げ] PDF XPS

複数ページからなる文書を何部か印刷するときの仕分け方法を設定します。この項目はSDカード装着時に表示されます。

[しない]	仕分けは行われません。設定された部数だけページ単位で印刷されます。たとえば、4ページの文書を3部印刷すると、「111」「222」「333」「444」というように印刷されます。
-------	---

印刷する

	
[ソート]	<p>文書のページ順どおりに1部ずつ印刷されます。たとえば、4ページの文書を3部印刷すると、「1234」「1234」「1234」というように仕分けて印刷されます。</p> 

P [注釈印刷] PDF

注釈を印刷するかどうかを設定します。

[自動]	PDF ファイルの注釈を印刷します。
[しない]	注釈を印刷しません。

Q [ボックスに保管する] PDF XPS

文書を印刷せずに、本機のSDカードに保存することができます。チェックマークを付けると [ボックス番号 (00～99)] で指定したボックスに文書が保存されます。ボックス内の文書は本体の操作パネルから何度でも印刷することができます。文書を印刷する方法は **本機に保存した文書を印刷する(P. 107)** を参照してください。この項目はSDカード装着時に表示されます。

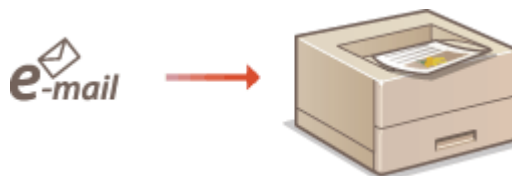
関連項目

- ファイルを開かずに印刷する (ダイレクトプリント) (P. 115)**

E メールを受信して印刷する (E メール印刷)

55S7-01W

E メール印刷とは、POP3 メールサーバーから受信した Eメールの本文や添付された画像ファイルを、パソコンを介さずに直接印刷する機能です。一定間隔の自動受信のほか、手動で受信することもできます。SMTP プロトコルを使うと、メールサーバーを介さず本機に直接送信された Eメールを印刷します。



- ▶ Eメール印刷の設定をする(P. 129)
- ▶ Eメールを手動で受信する(P. 133)



- セットアップメニューの< TIFF スプール機能>を< ON >にすると、受信データを本機または SD カード内に一時的に保管してから印刷するため、エラー発生を減らすことができます。▶ **TIFF スプール機能(P. 463)**

E メール印刷の設定をする

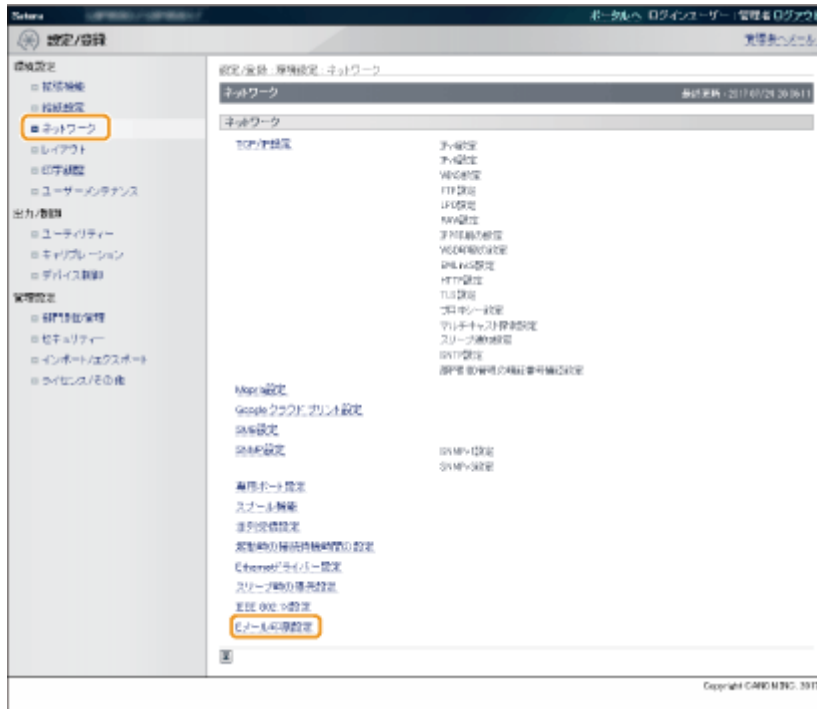
本機で Eメールを受信し印刷するための設定について説明します。メール受信に関する設定はパソコンから、印刷に関する設定は本機の操作パネルから行います。

パソコンから

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ **リモート UI を起動する(P. 308)**
- 2 **[設定/登録]** をクリックする



- 3 **[ネットワーク]** ▶ **[Eメール印刷設定]** をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 Eメール印刷機能の各項目を設定する

■POP3 メールサーバーからEメール印刷するとき

Eメールの受信動作をした時点で、サーバーのメールボックスに保存されているEメールをすべて印刷します。印刷したいEメールを本機宛に送っておくと、一定時間ごとに自動的に印刷したり、任意のタイミングにまとめて印刷したりすることができます。



- 本機で受信したEメールはすべてサーバーから削除されますので、Eメール印刷専用のメールアドレスのご利用をおすすめします。

POP3 プロトコルの使用条件

- POP3 メールサーバーは UIDL コマンドをサポートしている必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者またはサーバー管理者にお問い合わせください。

POP3サーバー名:	<input type="text"/>
POP3ユーザー名:	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> パスワードを設定/変更する	
パスワード:	<input type="password"/> (32文字まで)
確認入力:	<input type="password"/> (32文字まで)
POP3受信間隔:	<input type="text"/> 分(0~90)
<input type="checkbox"/> POP3受信する	
POP3サーバーのポート番号:	<input type="text"/> 110 (0~65535)

[POP3 サーバー名]

E メールを受信するサーバー名または IP アドレスを入力します。

[POP3 ユーザー名]

メールサーバーに接続するためのユーザー名を半角英数字で入力します。

[パスワードを設定/変更する]

メールサーバーに接続するためのパスワードを設定するときは、チェックマークを付け、[パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

[POP3 受信間隔]

メールサーバーへ自動的に接続する間隔を分単位で設定します。サーバーのメールボックスに新着メールがあれば、自動受信して印刷します。操作パネルの設定メニューにある < POP3 受信間隔 > でも設定できます (**▶POP3 受信間隔(P. 372)**)。



自動受信を行わないようにする

- [POP3 受信間隔] を [0] に設定します。[0] に設定したときは手動で E メールを受信してください。 **▶E メールを手動で受信する(P. 133)**

[POP3 受信する]

チェックマークを付けると、POP3 メールサーバーからの E メール印刷ができるようになります。操作パネルの設定メニューにある < POP3 受信 > でも設定できます (**▶POP3 受信(P. 372)**)。

[POP3 サーバーのポート番号]

E メールを受信するサーバーのポート番号を設定します。

■SMTP プロトコルで E メール印刷をするときは

本機に SMTP プロトコルで E メールを送信すると、受信した時点ですぐに印刷します。キヤノン製複合機からファクス文書を転送して本機で印刷したいときは、この機能を有効にしてください (**▶キヤノン製複合機からファクス文書を転送するには(P. 134)**)。



SMTP受信する
SMTPサーバーのポート番号:

[SMTP 受信する]

チェックマークを付けると、SMTP プロトコルでの E メール印刷ができるようになります。操作パネルの設定メニューにある<SMTP 受信>でも設定できます（[▶SMTP 受信\(P. 373\)](#)）。

[SMTP サーバーのポート番号]

E メールを受信するときのポート番号を設定します。

6 [OK] をクリックする



7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。

操作パネルから

8 必要に応じて E メール印刷に関するその他の設定をする

■ Eメールの本文を印刷するかどうかを設定する

- ▶ Eメール本文印刷(P. 464)

■ Eメール本文の印刷ページ数を制限する

- ▶ Eメール本文印刷制限(P. 465)

■ 添付画像の印刷設定をする

- ▶ 画像の向き(P. 461)
- ▶ 拡大/縮小(P. 462)
- ▶ 印字位置(P. 462)
- ▶ TIFF スプール機能(P. 463)
- ▶ 警告表示(P. 464)
- ▶ 印字領域拡大(P. 465)
- ▶ RGB 入力プロファイル(P. 465)
- ▶ CMYK シミュレーションプロファイル(P. 466)
- ▶ 出力プロファイル(P. 467)
- ▶ マッチング方法(P. 467)
- ▶ 中間調選択(P. 468)
- ▶ 写真補正(カラーのみ)(P. 469)
- ▶ グレースケール変換方式(P. 470)

■ E メール印刷のエラーを表示するかどうかを設定する

- ▶ 警告表示(P. 338)

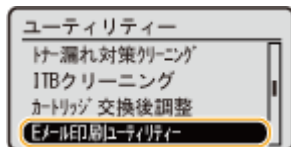
E メールを手動で受信する

POP3 メールサーバーから E メール印刷するように設定されているときは、手動で E メールを受信して印刷することもできます。自動受信する前にサーバーへ接続したい場合や、自動受信を行わないように設定している場合は、以下の方法で手動受信してください。

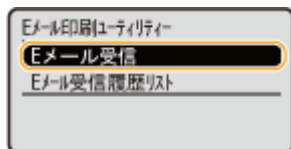
1 ◀ (ユーティリティ) を押す

- オフラインのときは ◀ (ユーティリティ) を押しても動作しません。オンラインにしてください。▶ [オンライン] キー(P. 28)

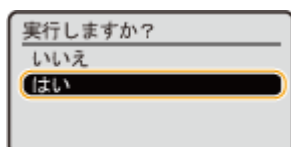
2 ▲ / ▼ で < E メール印刷ユーティリティ > を選び、OK を押す



3 < E メール受信 > を選び、OK を押す



4 < はい > を選び、OK を押す



⇒ メールサーバーへ接続します。サーバーのメールボックスに新着メールがあれば、E メール印刷が開始されます。



キヤノン製複合機からファクス文書を転送するには

本機の SMTP 受信を有効にしてから、転送元の複合機でインターネットファクス (I ファクス) アドレスに本機の IP アドレスを指定してください。転送されたファクス文書はすぐに印刷されます。

- 印刷可能な添付ファイルの形式は TIFF のみです。TIFF ファイルはファクス文書ごとに 1 つのみを印刷できます。
- トナーカートリッジが寿命に近づくと、ファクス文書を受信できなくなります。受信できなかったファクス文書は、複合機側で印刷されます。
- オプションの SD カード装着時は、印刷可能な TIFF ファイルのサイズが最大 100 MB までに制限されます。



関連項目

- ▶ **文書の履歴を確認する (P. 318)**
- ▶ **E メール受信履歴リスト (P. 575)**

メーカー共通のドライバーを使用して印刷する (BMLinkS)

55S7-01X

本機は BMLinkS に標準で対応しています。BMLinkS とは、メーカーや機種によって接続の仕様が異なるプリンターや複合機、スキャナーを共通の仕様を用いて接続する技術です。BMLinkS を使用すれば、メーカーや機種が異なっていても、1つのプリンタードライバーから共通の操作や設定で印刷することができます。たとえば、お得意先や出張先などに BMLinkS に対応したプリンターがあった場合、専用のプリンタードライバーをインストールすることなく、自分のノートパソコンからすぐに印刷できます。また、BMLinkS 対応のスキャナーとプリンターが同一ネットワーク上にある場合、スキャナーで読み込んだ画像をプリンターへ直接送って印刷するといったこともできます。



- BMLinkS プリンタードライバーの入手方法や使用環境、本製品が対応している機能などについては、BMLinkS のホームページ (<http://bmlinks-committee.jbmia.or.jp>) をご確認ください。

本機で BMLinkS を使うための準備をする

BMLinkS プリンタードライバーから印刷できるようにするために、本機の BMLinkS の設定をしてください。BMLinkS の設定はリモート UI から行います。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



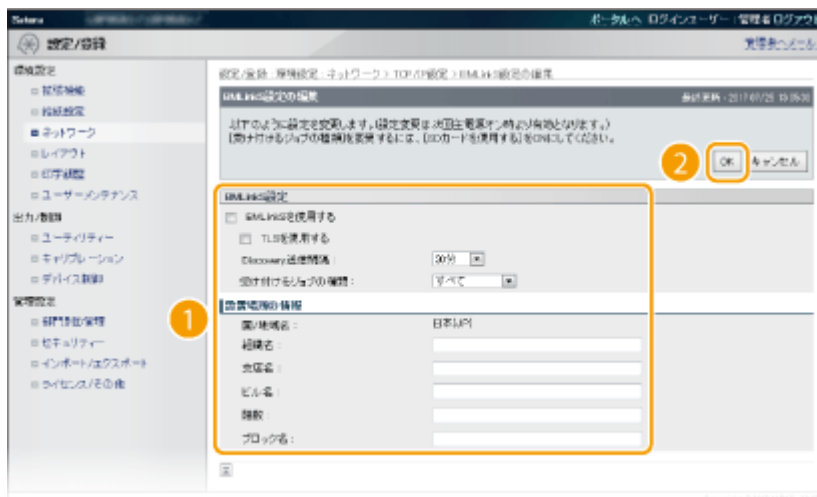
3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 [BMLinkS 設定] にある [編集] をクリックする



5 [BMLinkS を使用する] にチェックマークを付け、必要な情報を設定したあと、[OK] をクリックする



[BMLinkS を使用する]

チェックマークを付けると BMLinkS が有効になります。BMLinkS を使用しないときはチェックマークを外してください。

[TLS を使用する]

BMLinkS で印刷するときに TLS を使用する場合はチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。



- TLS を使用するときには、TLS 暗号化通信機能を有効にしてください。▶[TLS で暗号化通信をする\(P. 271\)](#)

[Discovery 送信間隔]

本機がネットワーク上で動作していることを示す情報を送信する間隔を設定します。

[受け付けるジョブの種類]

本機で受信する印刷データの種類を設定します。文書に暗証番号を設定する機密印刷のみを受け付けたいときは、[機密印刷のみ] を選択します。

[組織名] / [支店名] / [ビル名] / [階数] / [ブロック名]

必要に応じて本機の設置場所の情報を設定します。

6 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



▶▶▶ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから BMLinkS を有効／無効に切り替えることもできます。▶[BMLinkS\(P. 359\)](#)

モバイル機器と便利に連携

モバイル機器と便利に連携	139
モバイル機器と接続する	140
アプリを使って本機を活用する	141
AirPrint を使う	143
AirPrint で印刷する	147
AirPrint を使用できないときは	150
Google Cloud Print を使う	151
本機を遠隔管理する	155

モバイル機器と便利に連携

55S7-01Y

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器と本機を連携させることで、アプリを使って印刷が手軽に行えます。また、モバイル機器から本機を遠隔操作し、印刷状況を確認したり、本機の設定を変更したりすることもできます。



- ▶ [モバイル機器と接続する\(P. 140\)](#)
- ▶ [アプリを使って本機を活用する\(P. 141\)](#)
- ▶ [本機を遠隔管理する\(P. 155\)](#)

モバイル機器と接続する

55S7-020

無線 LAN ルーターを介して、モバイル機器と本機を接続します。無線 LAN ルーターやモバイル機器の設定方法、操作手順に関しては機器付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。



MEMO

- 本機には無線 LAN ルーターは付属していません。別途ご用意ください。

アプリを使って本機を活用する

55S7-021

本機と接続したモバイル機器からアプリを使って印刷などを行います。キヤノンの専用アプリをはじめ、さまざまなアプリに対応しています。お使いの機器や用途、利用シーンなどに応じて使い分けてください。

■ Canon PRINT Business を使う

iOS/Android 対応モバイル機器から印刷などをするアプリです。印刷するときは、本機での操作は不要です。対応 OS や詳しい設定方法、操作手順に関してはアプリのヘルプや、キヤノンホームページ (<https://global.canon/gomp/>) をご覧ください。



- Canon PRINT Business は無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

■ Canon Print Service で印刷する

Android の印刷サブシステムをサポートしているアプリのメニューから簡単に印刷できます。対応 OS や詳しい設定方法、操作手順に関しては、キヤノンホームページ (<https://global.canon/>) をご覧ください。

■ Mopria®で印刷する

本機は Mopria®にも対応しています。Mopria®を使用すれば、メーカーや機種が異なっても共通の操作や設定で Android 対応モバイル機器から印刷することができます。たとえば、複数のメーカーの Mopria®対応プリンターをお使いの場合や、外出先に Mopria®対応プリンターがあった場合などに、メーカーや機種ごとの専用アプリをインストールすることなく印刷できます。対応機種や動作環境の詳細は、<http://www.mopria.org> をご覧ください。



Mopria®の設定を確認する



リモート UI に管理者モードでログインする (**▶ リモート UI を起動する(P. 308)**) ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [Mopria 設定] ▶ [編集] ▶ [Mopria を使用する] にチェックマークが付いていることを確認 ▶ [OK]

■ Google Cloud Print で印刷する

Google Cloud Print に対応しているアプリケーションやサービスを使って、パソコンやモバイル機器からプリンタードライバーを介さずに印刷できます。▶[Google Cloud Print を使う\(P. 151\)](#)

AirPrint を使う

55S7-022

Apple 製機器からプリンタードライバーを介さずに印刷が行えます。



AirPrint の設定

- ▶ AirPrint の設定をする (P. 143)
- ▶ AirPrint 専用ページを表示する (P. 145)

AirPrint でできること

- ▶ AirPrint で印刷する (P. 147)

困ったときは

- ▶ AirPrint を使用できないときは (P. 150)

AirPrint の設定をする

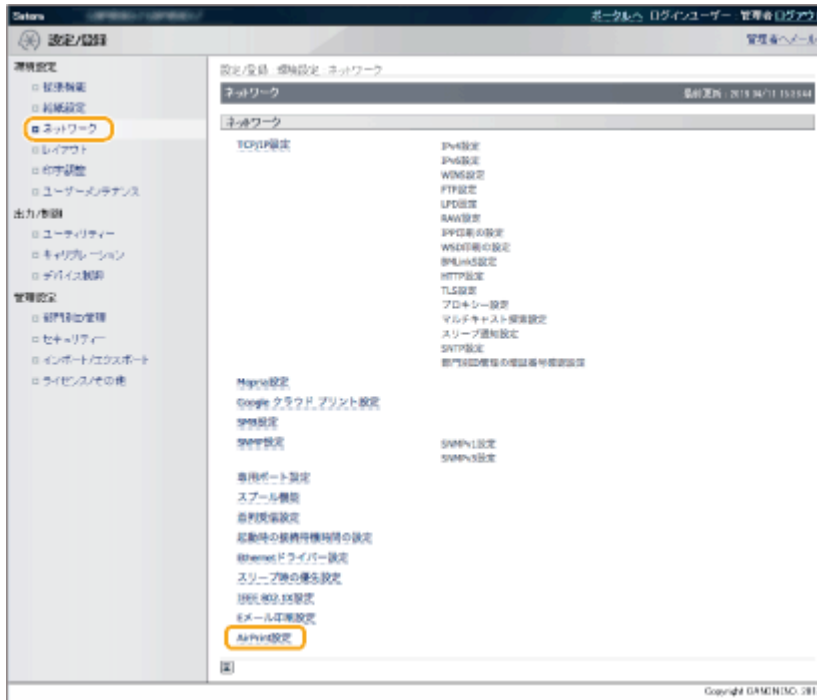
本機を識別するための名称や設置場所を登録できます。AirPrint を使用できないように設定することもできます。設定はリモート UI を使って行います。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 308)
- 2 [設定/登録] をクリックする

- iPad や iPhone、iPod touch などのモバイル機器を使う場合、以降の「クリック」という指示は「タップ」と読み替えてください。



3 [ネットワーク] ▶ [AirPrint 設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 必要な情報を入力し、[OK] をクリックする



[AirPrint を使用する]

AirPrint を使用するときはチェックマークを付けます。AirPrint を使用できないようにする場合は、チェックマークを外してください。

[プリンター名] / [設置場所] / [緯度] / [経度]

お使いの Apple 製機器から本機を識別するための名称や設置場所を入力します。AirPrint 対応プリンターが複数台あるときは入力しておくとも便利です。



[AirPrint を使用する] にチェックマークを付けると

以下の設定も自動的に < ON > となります。

- IPv4 と IPv6 の < mDNS 設定 > ▶ **DNS の設定をする(P. 194)**
- < HTTP > ▶ **HTTP 通信を無効にする(P. 264)**
- < IPP 印刷 > ▶ **印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 173)**

[プリンター名] を変更すると

- 一度設定した [プリンター名] を変更すると今まで印刷できていた Mac から印刷できなくなることがあります。これは IPv4 の < mDNS 名 > (▶ **DNS の設定をする(P. 194)**) も変更されるために起きる現象です。この場合は Mac に本機を追加しなおしてください。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから AirPrint を有効/無効に切り替えることもできます。



▶ (セットアップ) ▶ < ネットワーク > ▶ **OK** ▶ メッセージを確認 ▶ **OK** ▶ < AirPrint > ▶ **OK** ▶ < OFF > または < ON > ▶ **OK**

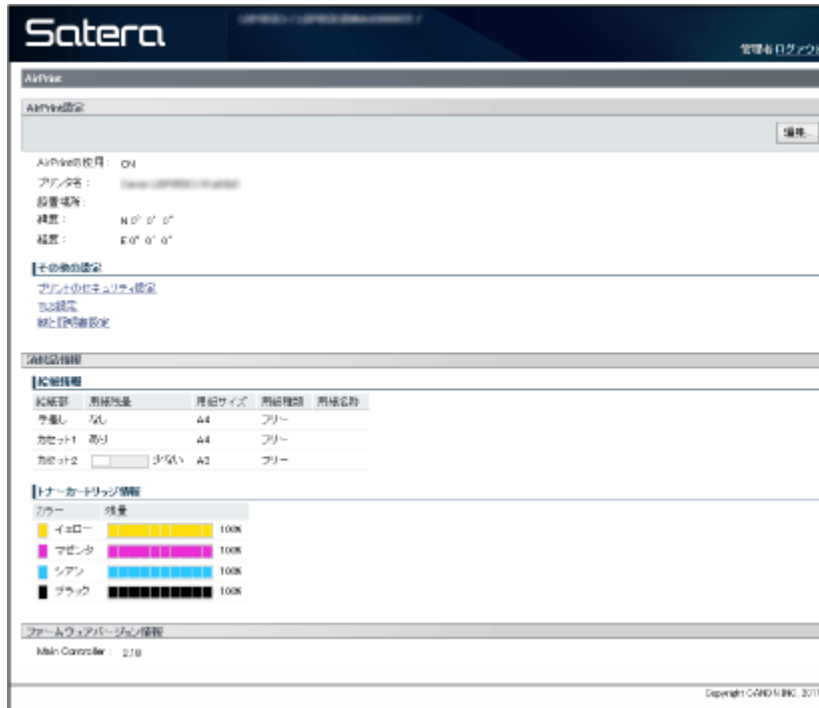
AirPrint 専用ページを表示する

AirPrint 専用ページから AirPrint の設定画面を表示したり、用紙やトナーカートリッジなどの消耗品の状態を確認したりすることができます。また、セキュリティ機能の設定 (▶ **TLS で暗号化通信をする(P. 271)**) も行うことができます。

- 1** デスクトップの Dock で [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] をクリックする
- 2** 本機を選び、[オプションとサプライ] をクリックする
- 3** [プリンタの Web ページを表示] をクリックする
- 4** リモート UI にログインする

- AirPrint の設定を変更する場合は、管理者モードでログインしてください。

⇒ AirPrint 専用ページが表示されます。



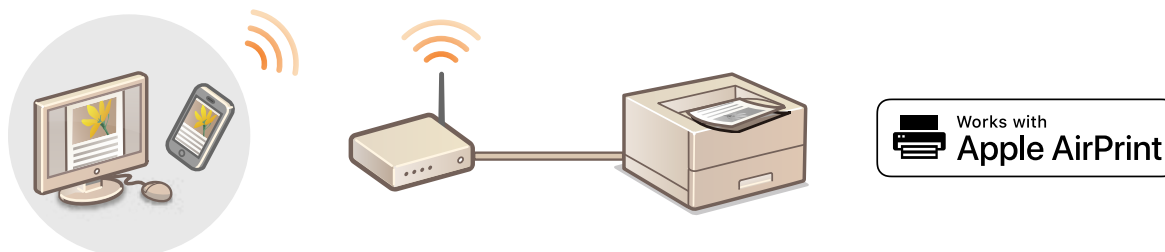
商標について

Apple、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch、Mac、macOS、OS X および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。AirPrint および AirPrint ロゴは、Apple Inc.の商標です。

AirPrint で印刷する

55S7-023

Eメール、写真、ウェブページなどを印刷できるのはパソコンだけではありません。AirPrint を使えば、iPad、iPhone、iPod touch から直接印刷することができます。



▶ iPad、iPhone または iPod touch から印刷する(P. 147)

▶ Mac から印刷する(P. 148)

動作環境

AirPrint で印刷するには、次のいずれかの Apple 製機器が必要です。

- iPad (すべてのモデル)
- iPhone (3GS 以降)
- iPod touch (第3世代以降)
- Mac (Mac OS X 10.7 以降) *

* USB 接続でお使いの場合は OS X 10.9 以降

ネットワーク環境

次のいずれかの環境が必要です。

- Apple 製機器と本機が同一の LAN に接続されている。
- Mac と本機が USB 接続されている。



USB 接続で使用するとき

- < USB 接続する PC の OS > を < Mac OS > に設定してください。▶ **USB 接続する PC の OS(P. 346)**

iPad、iPhone または iPod touch から印刷する

1 本機の電源が入っていて、お使いの Apple 製機器と接続されていることを確認する

- 確認方法については「はじめにお読みください」を参照してください。▶ **マニュアルの種類と内容(P. 653)**

2 お使いの Apple 製機器のアプリケーションで、 をタップしてメニューオプションを表示する

3 プルダウンメニューから [プリント] をタップする

4 [プリンタオプション] の [プリンタ] で本機を選ぶ

- ネットワーク内で接続されているプリンターが表示されます。ここでは本機を選びます。



- アプリケーションが AirPrint に対応していないと [プリンタオプション] は表示されません。この場合は印刷できません。

5 必要に応じて印刷の設定をする



- 設定できる項目や使用できる用紙サイズは、お使いのアプリケーションにより異なります。

6 [プリント] をタップする

⇒ 印刷が開始されます。



印刷の進行状況を確認するには

- 印刷中に Apple 製機器のホームボタンを 2 回押す ▶ [プリント] をタップ

Mac から印刷する

1 本機の電源が入っていて、Mac と接続されていることを確認する

- 確認方法については「はじめにお読みください」を参照してください。▶ [マニュアルの種類と内容\(P. 653\)](#)

2 [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] でお使いの Mac に本機を追加する

3 アプリケーションで文書を開き、印刷ダイアログボックスを表示させる

- 印刷ダイアログボックスの表示方法はアプリケーションによって異なります。お使いのアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

4 印刷ダイアログボックスで本機を選ぶ

- Mac に接続されたプリンターが表示されます。ここでは本機を選びます。

5 必要に応じて印刷設定をする



- 設定できる項目や使用できる用紙サイズは、お使いのアプリケーションにより異なります。

6 [プリント] をクリックする

- ⇒ 印刷が開始されます。

AirPrint を使用できないときは

55S7-024

AirPrint を使用できないときは、こちらの対処方法をお試しください。

- 本機の電源が入っていることを確認します。すでに電源が入っている場合はいったん電源を切り、10 秒待って再び電源を入れて、問題が解決するか確認してください。
- 本機のディスプレイにエラーメッセージが表示されていないことを確認します。
- Apple 製機器と本機が同一の LAN に接続されていることを確認します。なお、本機の電源を入れてから、通信の準備が完了するまで数分かかる場合があります。
- お使いの Apple 製機器で、Bonjour が有効に設定されていることを確認します。
- 部門 ID や暗証番号を入力しなくてもパソコンから印刷できるように設定されていることを確認します。▶**部門 ID が不明な操作を遮断する(P. 236)**
- 本機に用紙がセットされていて、トナーカートリッジの残量が十分あることを確認します。▶**AirPrint 専用ページを表示する(P. 145)**

Google Cloud Print を使う

55S7-025

Google Cloud Print とは、Google アカウントをもったユーザーが、インターネットに接続されたスマートフォン、タブレット、パソコンなどから Google Cloud Print に対応したアプリケーション経由で印刷できるサービスです。従来のパソコンからの印刷とは異なり、印刷のためのドライバーは不要です。



- ▶ 本機の設定を確認する(P. 151)
- ▶ クラウドプリントの設定を変更する(P. 151)
- ▶ Google Cloud Print に本機を登録する(P. 152)



- 本機を登録するときや Google Cloud Print を使って印刷するときは、インターネットに接続できる環境が必要です。また、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。
- 国と地域によっては、Google Cloud Print をお使いになれない場合があります。
- Google Cloud Print は IPv6 アドレスからの印刷に対応していません。



- Google Cloud Print を使うには Google アカウントが必要です。Google アカウントをお持ちでない場合は、Google のウェブサイトで作成してください。

本機の設定を確認する

クラウドプリントの設定を行う前に、次のことを確認してください。

- 本機に IPv4 アドレスが設定され、ネットワーク上のパソコンと通信できる状態か確認してください。▶ **有線 LAN に接続する(P. 160)**
- 日付/時刻の設定が正しいか確認してください。▶ **日付/時刻設定(P. 344)**
- 部門別 ID 管理中は、部門 ID や暗証番号を入力しなくてもパソコンから印刷できる状態か確認してください。▶ **部門 ID が不明な操作を遮断する(P. 236)**

クラウドプリントの設定を変更する

本機のクラウドプリント機能を有効にします。クラウドプリント機能を使用できないように設定することもできます。

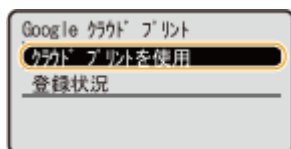
1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク>を選び、OK**を押す**

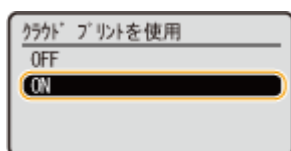
- メッセージが表示されたら、**OK**を押します。

3 < Google クラウド プリント >を選び、OK**を押す**

4 <クラウド プリントを使用>を選び、OK**を押す**



5 < OFF >または< ON >を選び、OK**を押す**



Google Cloud Print に本機を登録する

Google Cloud Print に本機を登録すると、どこからでも Google Cloud Print を使った印刷ができるようになります。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [Google クラウド プリント設定] をクリックする



4 [登録状況] にある [登録] をクリックする



[登録] が表示されないとき

- クラウドプリントを有効にしてください。[編集] をクリックして [Google クラウド プリントを使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックします。

本機を登録しなおすとき

- 所有者が変わるなどの理由で本機を登録しなおしたいときは、いったん本機の登録を解除してから再登録してください。

5 [登録用 URL] に表示されている URL のリンクをクリックする



6 画面の指示に従って本機を登録する

⇒ Google Chrome™などの Google Cloud Print に対応したアプリケーションから印刷が可能となります。



- Google Cloud Print に対応した最新のアプリケーションについては、Google Cloud Print のホームページで確認してください。



モバイル機器や Google Chrome から登録する

モバイル機器や Google Chrome から本機を登録することもできます。登録完了前に本機のディスプレイに以下の確認画面が表示されますので **OK** ▶ **<はい>** ▶ **OK** で登録を完了してください。



- 登録するには、基本画面が表示されている必要があります。 (オンライン) を押し、基本画面を表示させてから登録してください。
- 登録方法については、お使いの機器の取扱説明書や Google Cloud Print のホームページを参照してください。

本機を遠隔管理する

55S7-026

スマートフォンやタブレットのウェブブラウザからリモート UI を使うことができます。本体状況の確認や、各種設定をモバイル機器から行うことができます。お使いの機器やその環境によっては、リモート UI の画面がうまく表示されない場合があります。



モバイル機器からリモート UI を起動する

ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力し、リモート UI を起動します。操作の前に、あらかじめ本機に設定されている IP アドレスを確認しておいてください（[🔴 ネットワークステータスプリント\(P. 573\)](#)）。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 モバイル機器のウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力欄に「http://<本機の IP アドレス>/」と入力する

- IPv6 アドレスを使用している場合は、IP アドレスを [] で囲み、次のような形式で入力してください：http://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]/



[🔴 リモート UI を使う\(P. 307\)](#)

ネットワーク

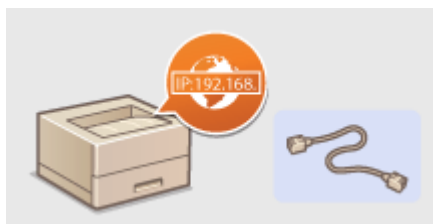
ネットワーク	157
ネットワークに接続する	158
有線 LAN に接続する	160
IP アドレスを設定する	162
IPv4 アドレスを設定する	163
IPv6 アドレスを設定する	168
パソコンから印刷するための設定をする	172
印刷プロトコルや Web サービスの設定をする	173
IPP/IPPS を使用する	179
プリントサーバーを設定する	186
使用するネットワーク環境に合わせる	190
イーサネットの設定をする	191
ネットワーク接続時の待機時間を設定する	193
DNS の設定をする	194
WINS の設定をする	200
SNTP の設定をする	203
SNMP で監視／制御する	206
デバイス管理ソフトウェアの設定をする	212
SMB の設定をする	216
印刷を行うパソコンの設定をする	219

ネットワーク

55S7-027

本機は多様な環境に柔軟に対応できるように、基本的なネットワーク機能に加えて、先進的な技術も採用しています。お使いの環境に合わせて必要な設定を行ってください。「ネットワークは少しニガテ…」という方のためにも便利でかんたんに使うためのさまざまな工夫を取り入れています。肩ひじを張らずひとつひとつ、着実にネットワークの設定を進めてください。

■ ネットワークに接続する／本機の設定を確認する



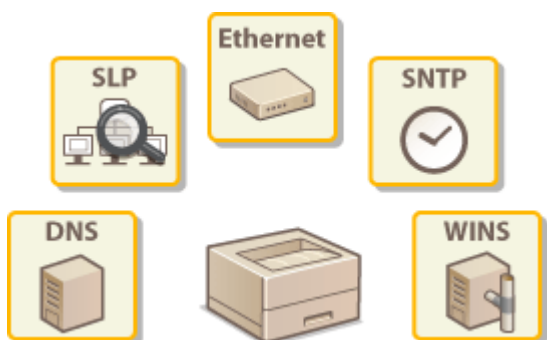
👉 ネットワークに接続する(P. 158)

■ 印刷するための設定をする



👉 パソコンから印刷するための設定をする(P. 172)

■ お使いの環境に合わせてさらに便利に使う

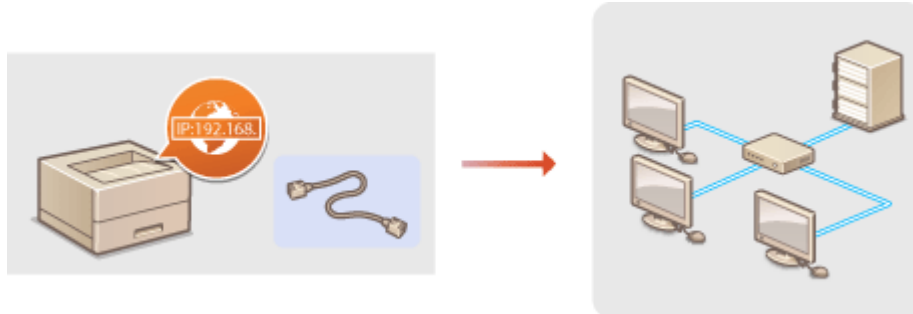


👉 使用するネットワーク環境に合わせる(P. 190)

ネットワークに接続する

55S7-028

本機は有線 LAN でネットワークに接続することができ、ネットワーク内で固有の IP アドレスを使用します。設定する IP アドレスについては、お使いのプロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。



ご注意

- 十分なセキュリティ対策が行われていないネットワークに接続すると、個人情報などのデータが第三者に漏えいする恐れがあります。



MEMO

- 本機にはルーターや LAN ケーブルは付属していません。別途ご用意ください。

■作業の前に確認してください

次の順序でネットワークへの接続作業を行います。



はじめに確認する

- パソコンとルーターは正しくつながっていますか？詳しくはそれぞれの機器に付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- パソコン側のネットワーク設定は完了していますか？設定が正しく完了していないと、以降の手順を行ってもネットワークでお使いいただくことができません。



MEMO

- お使いの環境によっては、ネットワークの通信方式（半二重／全二重）やイーサネットの種類（10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T）の設定を変更する必要があります（**▶イーサネットの設定をする(P. 191)**）。詳しくは、プロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本機の MAC アドレスを確認するとき
▶MAC アドレス(P. 372)
- IEEE 802.1X を導入したネットワークに接続するとき
▶IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 286)



有線 LAN に接続する

- ▶有線 LAN に接続する(P. 160)



IP アドレスを設定する

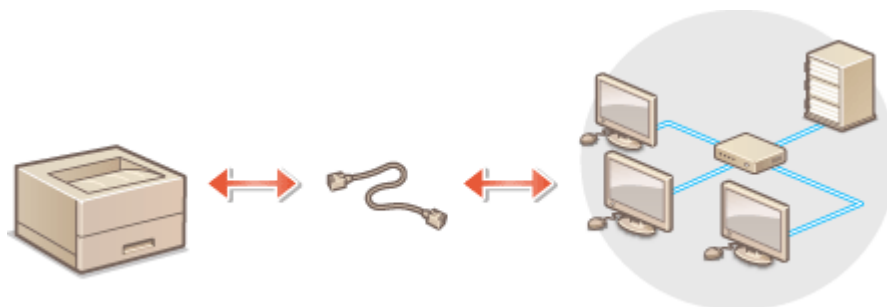
- お買い上げ時、IP アドレスは Auto IP で自動取得するように設定されていますが、一部のネットワーク環境ではお使いいただけない場合があります。IP アドレスを自分で入力して設定するか、DHCP などのプロトコルで自動取得するように設定してください。

- ▶IP アドレスを設定する(P. 162)

有線 LAN に接続する

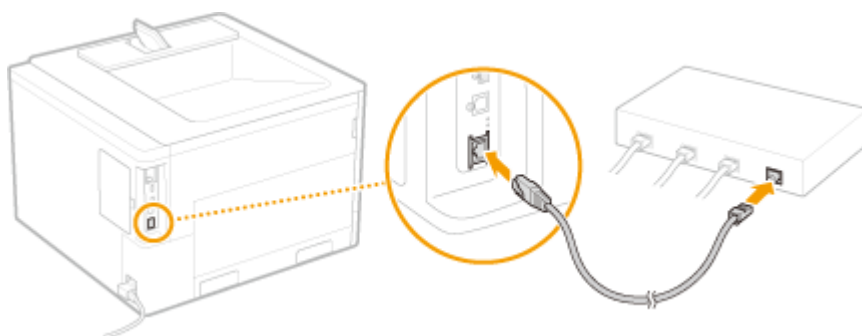
55S7-029

ルーターを介して本機とパソコンを接続します。接続には LAN ケーブルを使用します。

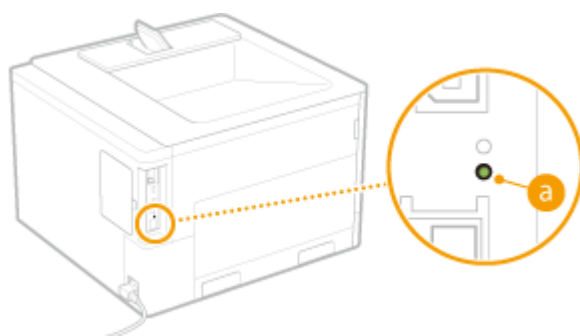


1 LAN ケーブルを接続する

- LAN ケーブルを使って、本機をルーターに接続します。
- コネクタがきちんとポートに収まるよう、カチッと音がするまで押し込んでください。



2 LNK ランプ (a) が点灯していることを確認する



MEMO

- LNK ランプが点灯しないときは、LAN 接続のトラブルが発生している可能性があります。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。

3 IP アドレスを設定する IP アドレスを設定する (P. 162)

- お買い上げ時、IP アドレスは Auto IP で自動取得するように設定されていますが、一部のネットワーク環境ではお使いいただけない場合があります。IP アドレスを自分で入力して設定するか、DHCP などのプロトコルで自動取得するように設定してください。



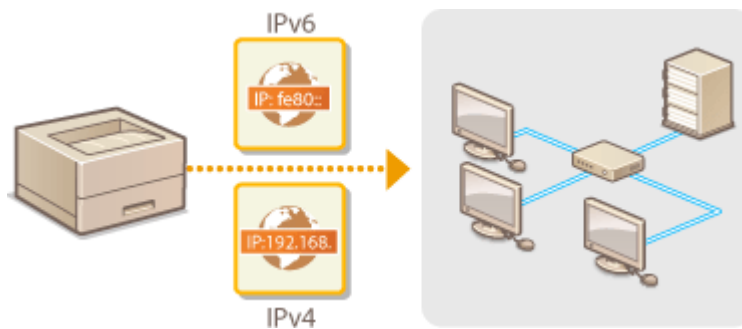
関連項目

- ▶ [ネットワークに接続する\(P. 158\)](#)

IP アドレスを設定する

55S7-02A

本機をネットワークに接続するには、そのネットワーク内で固有の IP アドレスが必要です。IP アドレスには「IPv4」と「IPv6」という 2 つのバージョンがありますので、お使いの環境に合わせて設定してください。なお、IPv6 アドレスを使うためには、IPv4 アドレスが適切に設定されている必要があります。



IPv4 アドレスを設定する

55S7-02C



IPv4 アドレスの設定方法には、DHCP などを使って自動で割り当てる方法と、自分で入力する方法がありますのでいずれかを選択してください。作業を始める前にまず LAN ケーブルのコネクタがポートにしっかり差し込まれているか再確認してください(**有線 LAN** に接続する(P. 160))。

IPv4 アドレスを設定する

1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲ / ▼ で <ネットワーク> を選び、**OK** を押す

- メッセージが表示されたら、**OK** を押します。

3 <TCP/IP 設定> ▶ <IPv4 設定> ▶ <IP モード> の順に進む

4 IP アドレスを設定する



a <自動>

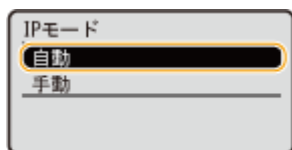
DHCP などによって IP アドレスを自動的に割り当てるときに選びます。

b <手動>

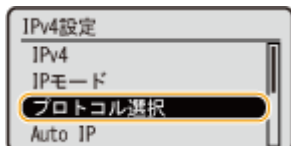
IP アドレスを自分で入力して設定するときを選びます。

■DHCP などによって自動的に割り当てる

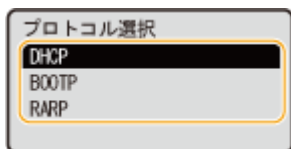
1 <自動> を選び、**OK** を押す



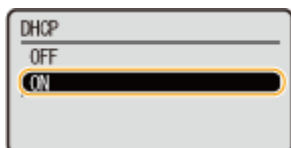
2 <プロトコル選択> を選び、**OK** を押す



- 3 < DHCP >、< BOOTP >、< RARP >のうちいずれか 1 つを選び、**OK** を押す
- DHCP、BOOTP、RARP のうち 1 つのみを使用することができます。選んだ項目の設定を< ON >にすると、残り 2 つの設定は自動的に< OFF >になります。

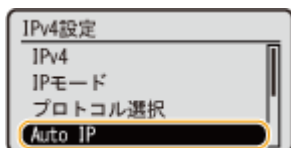


- 4 < ON >を選び、**OK** を押す



- 5 **ESC** を押す

- 6 < Auto IP >を選び、**OK** を押す



- 7 < ON >を選び、**OK** を押す



MEMO

DHCP を使うとき

本機の電源を入れなおすと、印刷できなくなることがあります。これは、今まで使用していた IP アドレスとは異なる IP アドレスが割り当てられたためです。DHCP を使用するときは、ネットワーク管理者にお問い合わせのうえ、次のいずれかの設定を行ってください。

- DNS 動的更新機能の設定をする **▶DNS の設定をする(P. 194)**
- DHCP サーバーで、本機に常に同じ IP アドレスを割り当てるように設定する

IP アドレスの自動割り当てに DHCP/BOOTP/RARP を使わないとき

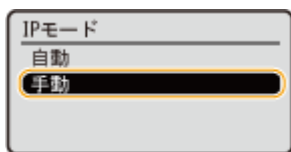
- すべてのプロトコルを< OFF >に設定してください。DHCP/BOOTP/RARP サーバーを使用できないときにいずれかのプロトコルを< ON >に設定すると、本機はネットワーク内でサービスが提供されているか確認しつづけるので、無駄な通信が発生します。

優先される IP アドレス

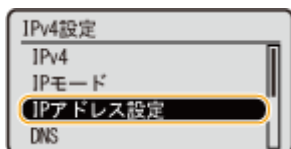
- Auto IP が有効でも、DHCP や BOOTP、RARP で取得された IP アドレスが優先されます。

■自分で入力して設定する

- 1 <手動>を選び、**OK** を押す

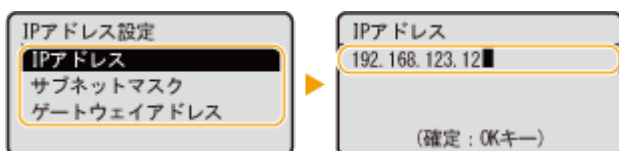


- 2 <IP アドレス設定>を選び、**OK** を押す



- 3 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する

- 設定する項目を選んで **OK** を押したあと、アドレスを入力して **OK** を押します。



MEMO

アドレスの入力方法

- ◀ / ▶ で入力したいフィールド（ピリオドで区切られた入力箇所）に移動し、テンキーで数値を入力します。

入力する IP アドレスがわからないとき

- ネットワークのルーターの設定から IP アドレスを決めることができます。▶ **本機に割り当てる IP アドレスを決める(P. 165)**

5 ハードリセットする ▶ハードリセットする(P. 510)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。

MEMO

正しく設定できたか確認するには

- パソコンでリモート UI のログイン画面を表示できるか確認してください（▶ **リモート UI を起動する(P. 308)**）。

プリンタードライバーをインストールしたあとに IP アドレスを変更したとき

- 使用するポートを設定しなおす必要があります。ポートの変更手順については、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。

本機に割り当てる IP アドレスを決める

本機の IP アドレスを固定して使うときは、以下に紹介する方法で IP アドレスを決めることができます。

■ IP アドレスを決めるには

IP アドレスは「192.168.1.45」のように「.」（ピリオド）で区切られた4つの数字の組み合わせで表現されます。それぞれの箇所に入れられる数字は、0～255です。通常、最初の3つの数字はネットワーク内で共通なので、ルーターなどと同じ数字にします。最後の「45」に該当する数字を他の接続機器と重複しないように決めてください。



■ ルーターの設定を調べる

固定の IP アドレスを使うには、ネットワーク内の IP アドレスの自動割り当て機能である DHCP の設定を調べます。IP アドレスの重複を避けるため、DHCP の割り当て範囲外の IP アドレスにする必要があります。ルーターが DHCP サーバーの役割をしていることが多いので、ルーターの設定を確認します。



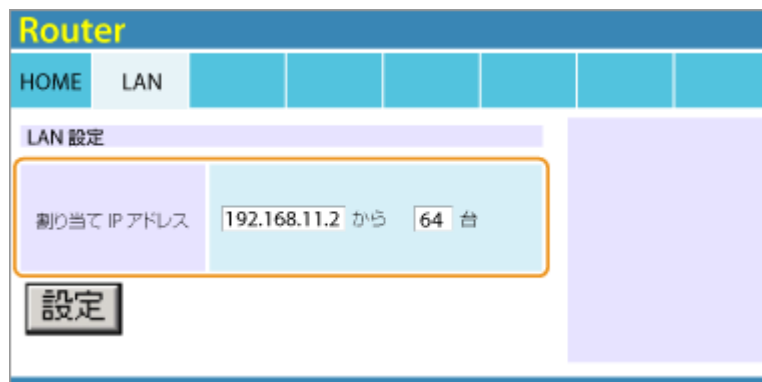
- ルーターの設定画面の表示方法は、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。

1 ルーターの設定画面を表示する

2 DHCP で割り当てる IP アドレスの範囲を確認する

- お使いのルーターによって、DHCP で割り当てる IP アドレスの範囲が設定されています。

ルーターの DHCP 設定画面例：



3 本機の IP アドレスを決める

- 手順2の画面例では、ルーターが DHCP で割り当てる IP アドレスの範囲は 192.168.11.2～192.168.11.65 なので、本機には 192.168.11.66～192.168.11.254 の範囲の IP アドレスを割り当てます。



関連項目

- ▶IPv6 アドレスを設定する(P. 168)
- ▶ネットワークステータスプリント(P. 573)
- ▶WINS の設定をする(P. 200)

IPv6 アドレスを設定する

55S7-02E



IPv6 アドレスはリモート UI を使って設定します。IPv6 アドレスを使うためには、IPv4 アドレスが適切に設定されている必要がありますのであらかじめ確認しておいてください（[IPv4 アドレスを設定する\(P. 163\)](#)）。IPv6 は、次のような複数のアドレスを登録できます。

種類	解説
リンクローカルアドレス	同一リンク内でのみ使用できるアドレスです（ルーターを越える範囲の通信には使用できません）。IPv6 アドレスを使用するときは自動的に設定されます。
手動アドレス	手動で入力するアドレスです。プレフィックス長およびデフォルトルーターアドレスを指定します。
ステートレスアドレス	ルーターから通知されるプレフィックスと本機の MAC アドレスから自動生成されるアドレスです。本機の再起動（または電源 ON）時に破棄されます。
ステートフルアドレス	DHCPv6 を使って DHCP サーバーから取得します。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [リモート UI を起動する\(P. 308\)](#)

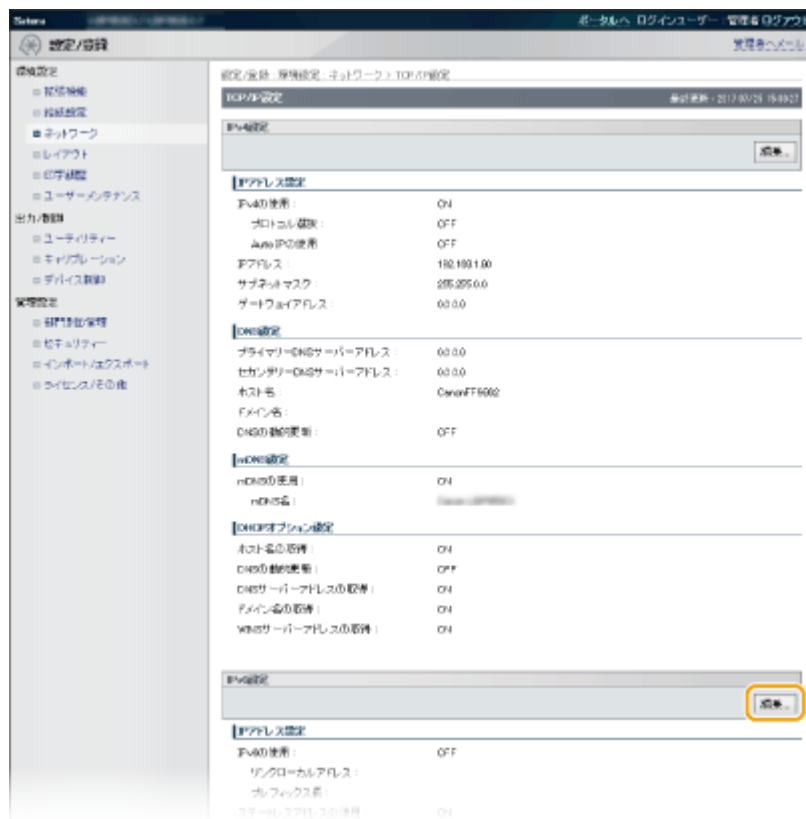
2 [設定/登録] をクリックする



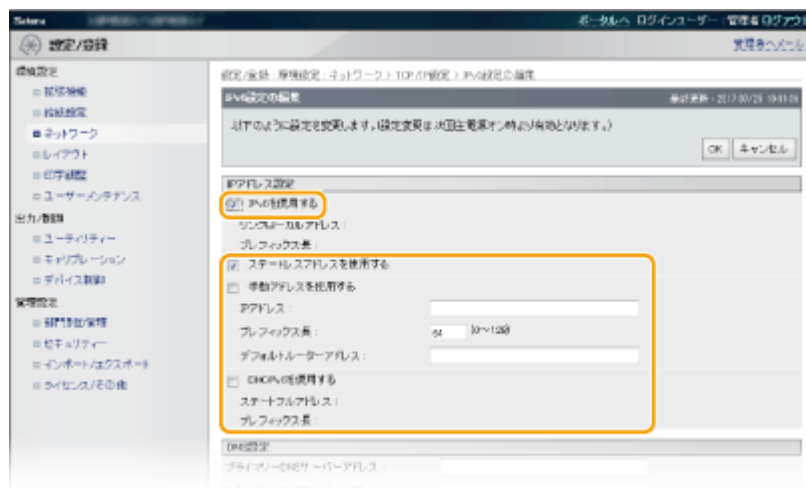
3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 [IPv6 設定] にある [編集] をクリックする



5 [IPv6 を使用する] にチェックマークを付け、必要な設定をする



[IPv6 を使用する]

本機で IPv6 を使用するときにはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[ステートレスアドレスを使用する]

ステートレスアドレスを使用するときにはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[手動アドレスを使用する]

アドレスを入力して設定するときにはチェックマークを付け、[IP アドレス]、[プレフィックス長]、[デフォルトルーターアドレス] を入力します。

[IP アドレス]

IPv6 アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）や「0000::0000」（すべて 0）のアドレス、または「0:0:0:0:0:ffff」や「0:0:0:0:0:0」で始まるアドレスは入力できません。

[プレフィックス長]

ネットワークアドレス部の長さを入力します。

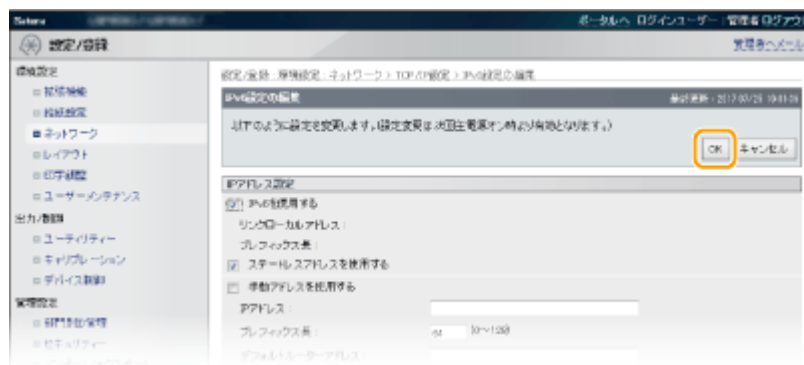
[デフォルトルーターアドレス]

必要に応じてデフォルトルーターをアドレスで指定します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）や「0000::0000」（すべて 0）のアドレス、または「0:0:0:0:0:ffff」や「0:0:0:0:0:0」で始まるアドレスは入力できません。

[DHCPv6 を使用する]

ステートフルアドレスを使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

6 [OK] をクリックする



7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒⇒⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



正しく設定できたか確認するには

- 本機の IPv6 アドレスを使ってリモート UI のログイン画面を表示できるか確認してください。▶ **リモート UI を起動する(P. 308)**

操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから IPv6 アドレスを有効／無効に切り替えることもできます。▶IPv6 設定(P. 356)

プリンタードライバーをインストールしたあとに IP アドレスを変更したとき

- 使用するポートを設定しなおす必要があります。ポートの変更手順については、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。



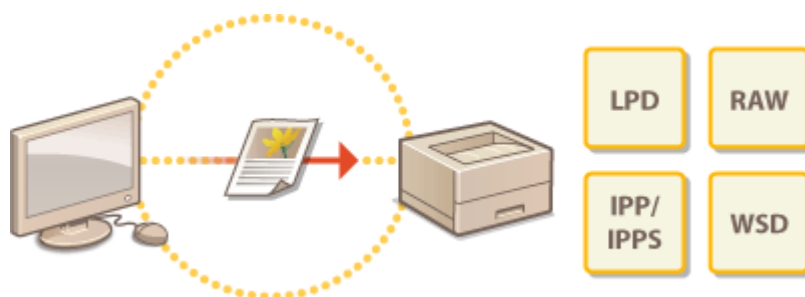
関連項目

- ▶IPv4 アドレスを設定する(P. 163)
- ▶ネットワークステータスプリント(P. 573)

パソコンから印刷するための設定をする

55S7-02F

本機をネットワークプリンターとして使用する場合、印刷プロトコルや印刷ポートの設定を行うことができます。また、ネットワーク内にプリントサーバーを設けることも可能です。ただし、基本的な準備作業はあらかじめ済ませておいてください。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。



MEMO

- 印刷プロトコルは、パソコンから本機に文書データを届けるための方法で、用途やネットワーク環境に応じて使い分けます。
- 印刷ポートとは、パソコンからプリンターへ文書データを受け渡すいわば出入口に相当する部分です。ネットワーク接続で印刷できないときは、このポートの設定に原因がある場合があります。

印刷プロトコルや Web サービスの設定をする

55S7-02H

パソコンから文書を印刷するときに使用する印刷プロトコルの設定をします。本機が対応している印刷プロトコルについては、**▶ネットワーク環境(P. 632)** を参照してください。ここでは LPD、RAW、IPP/IPPS、および WSD の設定を説明します。



FTP や BMLinkS を使うときは

- 設定方法については、以下の各項目を参照してください。
 - ▶FTP クライアントを使用する(P. 661)
 - ▶メーカー共通のドライバーを使用して印刷する (BMLinkS) (P. 135)

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



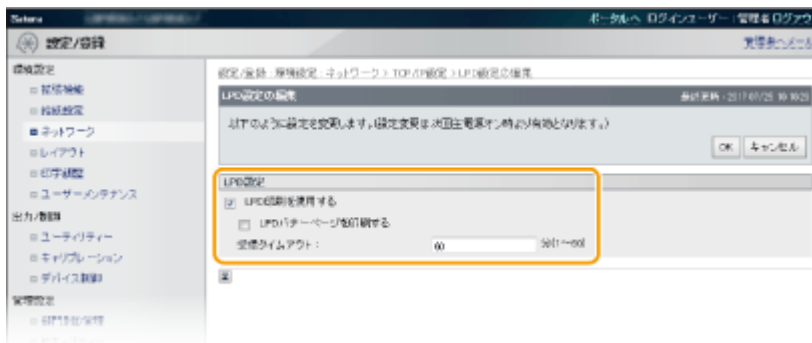
4 印刷プロトコルの設定をする

■LPD の設定をする

1 [LPD 設定] にある [編集] をクリックする



2 必要に応じて設定する



[LPD 印刷を使用する]

LPD を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[LPD バナーページを印刷する]

ユーザー名やファイル名などの情報も印刷するときはチェックマークを付けます。印刷しない場合はチェックマークを外してください。

[受信タイムアウト]

通信エラーなどで印刷データが受信できない場合に、自動的にジョブを終了させるまでの時間を設定します。

3 [OK] をクリックする

■RAW の設定をする

1 [RAW 設定] にある [編集] をクリックする



2 必要に応じて設定する



[RAW 印刷を使用する]

RAW を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[双方向通信を使用する]

本機の状態や印刷終了をパソコン側へ通知するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[受信タイムアウト]

通信エラーなどで印刷データが受信できない場合に、自動的にジョブを終了させるまでの時間を設定します。

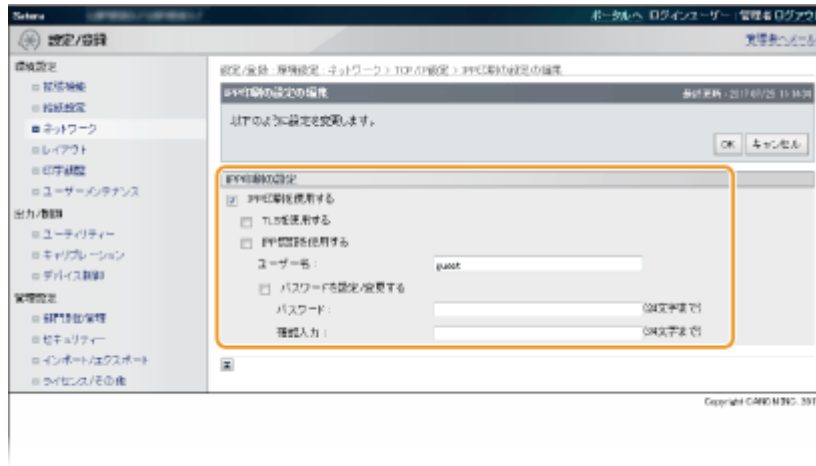
3 [OK] をクリックする

■IPP/IPPS の設定をする

1 [IPP 印刷の設定] にある [編集] をクリックする



2 必要に応じて設定する



【IPP 印刷を使用する】

IPP/IPPS を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

【TLS を使用する】

IPPS (TLS 暗号化通信を使った IPP 印刷) を使用するときにはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。



- IPPS を使用するときには、TLS 暗号化通信機能を有効にしてください。▶ [TLS で暗号化通信をする\(P. 271\)](#)



- 暗号化通信の鍵を生成するとき、[鍵のアルゴリズム] で [RSA] を選択する場合は、鍵の長さを [1024 bit] 以上に設定してください。お使いの OS によっては、鍵の長さが [512 bit] では正常に IPPS 印刷できない場合があります。

【IPP 認証を使用する】

IPP 印刷のユーザー認証機能を使用するときにはチェックマークを付け、ユーザー名とパスワードを設定します。使用しない場合はチェックマークを外してください。

【ユーザー名】

IPP 認証で使用するユーザー名を半角英数字で入力します。

【パスワードを設定/変更する】

パスワードを設定または変更するときにはチェックマークを付け、[パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

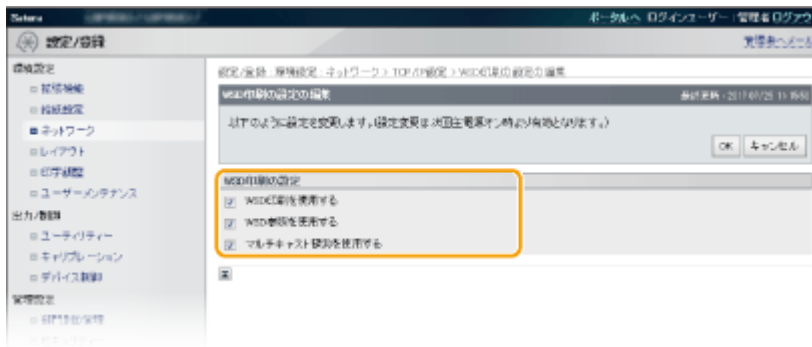
3 【OK】 をクリックする

■WSD の設定をする

1 【WSD 印刷の設定】にある【編集】をクリックする



2 必要に応じて設定する



[WSD 印刷を使用する]

WSD を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[WSD 参照を使用する]

WSD を使用してパソコンから本機の情報を取得するときはチェックマークを付けます。[WSD 印刷を使用する] にチェックマークが付いているときは必ずチェックマークが付きます。

[マルチキャスト探索を使用する]

マルチキャストによる本機の探索に対して応答するときは、チェックマークを付けます。チェックマークを外すと、本機がスリープ中にマルチキャスト探索パケットを受信してもスリープ状態を維持します。

3 [OK] をクリックする

5 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから LPD 印刷、RAW 印刷、IPP 印刷を有効／無効に切り替えることもできます。
 - ▶LPD 設定(P. 358)
 - ▶RAW 設定(P. 358)
 - ▶IPP 印刷(P. 359)
- 操作パネルの設定メニューで WSD の設定を行うこともできます。▶WSD(P. 360)



お使いのパソコンで行う作業

本機側の設定が完了すると、お使いのパソコンにも設定やパソコンのインストールが必要な場合があります。必要に応じてパソコンを設定してください。

- **印刷ポートの設定をする**
本機の IP アドレスが変更されたり、Windows のプリンターフォルダーでプリンターを追加したりすると、エラーが発生して印刷できないことがあります。これは「パソコン側でプリンタードライバーに設定した印刷ポートの種類が間違っている」など、印刷ポートの設定に問題がある場合に発生するトラブルです。このような場合は、印刷ポートを設定する必要があります。ポートの変更手順については、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。
- **Windows Vista/7/8/10 で WSD ネットワークデバイスを追加する**
WSD ポートを使用してプリンタードライバーをインストールします。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。
- **IPP/IPPS を使用する**
IPP 用のポートを指定してプリンタードライバーをインストールします。
 - ▶IPP/IPPS を使用する(P. 179)



関連項目

- ▶プリントサーバーを設定する(P. 186)

IPP/IPPS を使用する

55S7-02J

印刷プロトコルを IPP または IPPS にするには、お使いの OS に応じて以下の手順でプリンタードライバーをインストールする必要があります。プリンタードライバーは付属のユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM に収録されています。作業を始める前に、ユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM をパソコンにセットしてください。



ご注意

- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログオンしている必要があります。



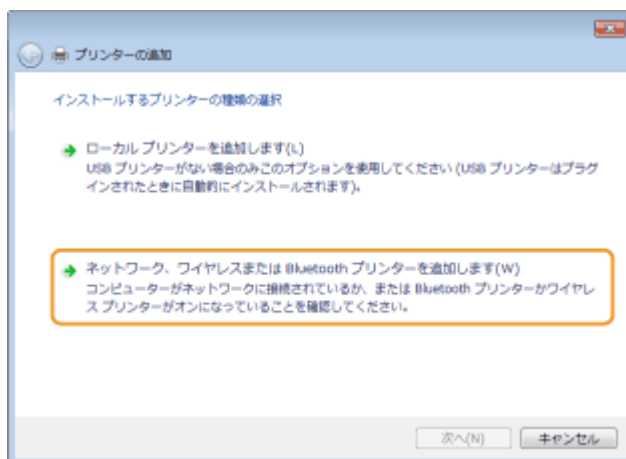
MEMO

- あらかじめリモート UI で IPP 印刷の設定を済ませておいてください。
 - ▶印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 173)
- CD-ROM/DVD-ROM をセットしたときに表示されるトップ画面は、終了してください。

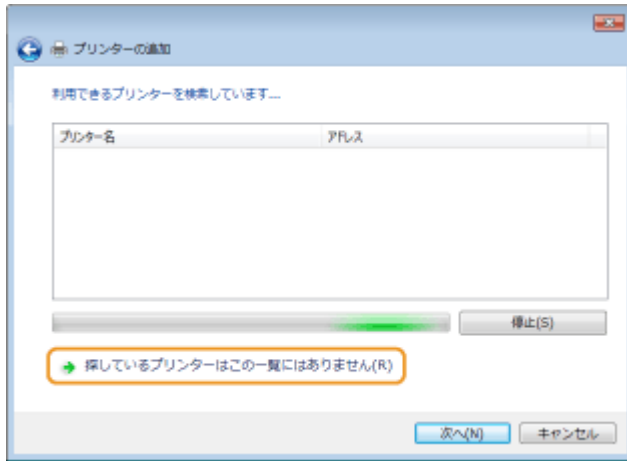
1 プリンターフォルダーを開く ▶プリンターフォルダーの表示方法(P. 676)

2 [プリンターの追加] をクリックする

3 Windows Vista/7/Server 2008 の場合、[ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します] をクリックする

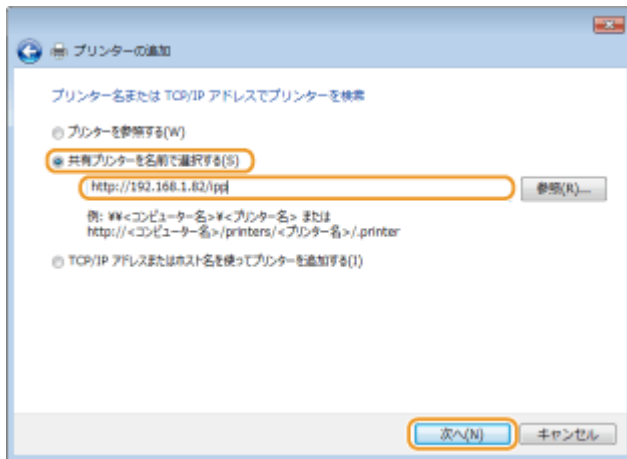


4 [探しているプリンターはこの一覧にはありません] または [プリンターが一覧にない場合] をクリックする



5 [共有プリンターを名前で作成する] を選び、接続先を入力して、[次へ] をクリックする

- IPP を使用するときには、接続先に「http://<本機の IP アドレス>/ipp」を入力します。
入力例：「http://192.168.1.82/ipp」
- IPPS を使用するときには、接続先に「https://<本機の IP アドレス>/ipp」を入力します。
入力例：「https://192.168.1.82/ipp」



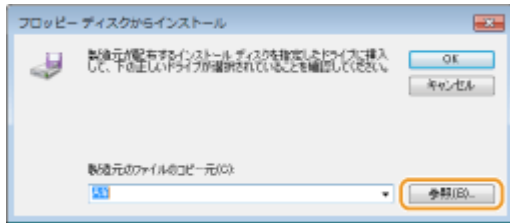
ご注意

- DNS サーバーを使用しているときは、<本機の IP アドレス>の代わりに<本機のホスト名.ドメイン名>を入力してください（入力例：「https://my_printer.example.com/ipp」）。

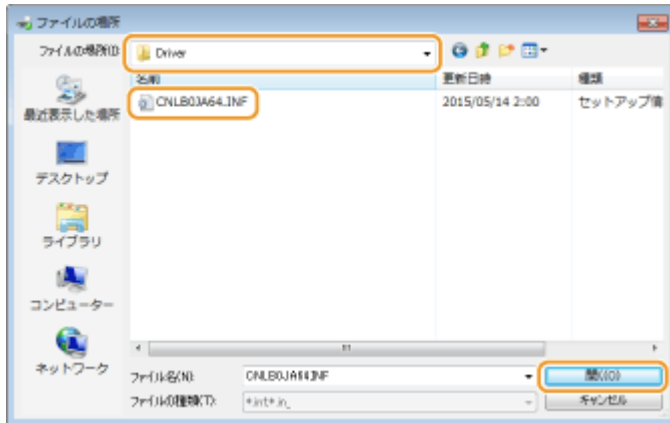
6 [ディスク使用] をクリックする



7 [参照] をクリックする



8 プリンタードライバーが収録されているフォルダーを指定し、INF ファイルを選んだあと、[開く] をクリックする



- フォルダーはお使いの OS に応じて、次のように指定してください。お使いの OS が 32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかわからないときは、[▶ プロセッサバージョンの確認方法\(P. 679\)](#) を参照してください。

32 ビット版 OS の場合

ユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM 内の [LIPSV] – [LIPSLX] または [LIPS4] – [32BIT] – [Driver] フォルダーを指定します。

64 ビット版 OS の場合

ユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM 内の [LIPSV] – [LIPSLX] または [LIPS4] – [x64] – [Driver] フォルダーを指定します。



IPP 認証機能を使用しているとき

- パスワードの入力を求められたら、ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。[▶ 印刷プロトコルや Web サービスの設定をする\(P. 173\)](#)

9 画面の指示に従って設定を進める

- ⇒ プリンタードライバーがインストールされます。IPPS を使うときは、パソコンに本機の公開鍵をインストールしてください。

■ 本機の公開鍵をインストールする

IPPS を使用する場合は、さらに本機の公開鍵をパソコンにインストールする必要があります。



- 鍵ペアの [共通名] には、本機に接続するときの「IP アドレス」または「ホスト名.ドメイン名」をあらかじめ設定しておく必要があります。▶**鍵ペアを生成する(P. 293)**

1 ウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力欄に「https://<本機の IP アドレス>/」と入力し、キーボードの [ENTER] を押す

- 入力例：「https://192.168.1.82/」



- DNS サーバーを使用しているときは、<本機の IP アドレス>の代わりに<本機のホスト名.ドメイン名>を入力してください（入力例：「https://my_printer.example.com/」）。

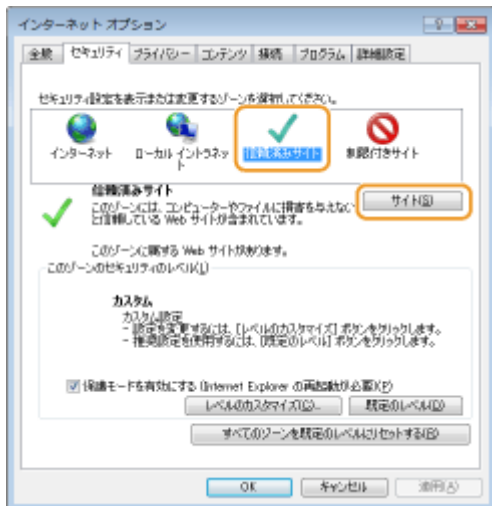
3 [このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)。] をクリックする

⇒ リモート UI のログイン画面が表示されます。

4 [ツール] メニュー ▶ [インターネットオプション] をクリックする



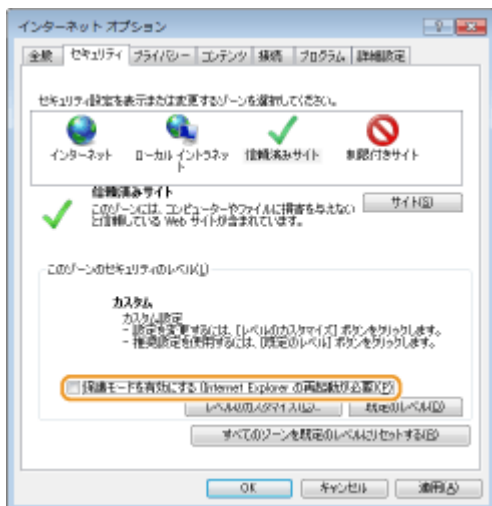
5 [セキュリティ] タブで [信頼済みサイト] を選び、[サイト] をクリックする



- 6 「https://<本機の IP アドレスまたはホスト名.ドメイン名>/」が表示されていることを確認し、**[追加]** ▶ **[閉じる]** をクリックする



- 7 **[保護モードを有効にする]** にチェックマークが付いているときは、チェックマークを外す



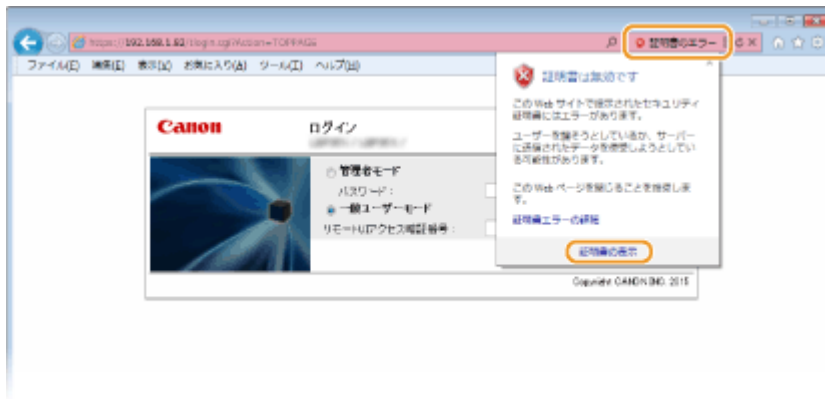
- 8 **[OK]** をクリックする

⇒ リモート UI の画面に戻ります。

- 9 ウェブブラウザをいったん終了させる

10 手順 1~3 と同じ操作をし、リモート UI を起動する

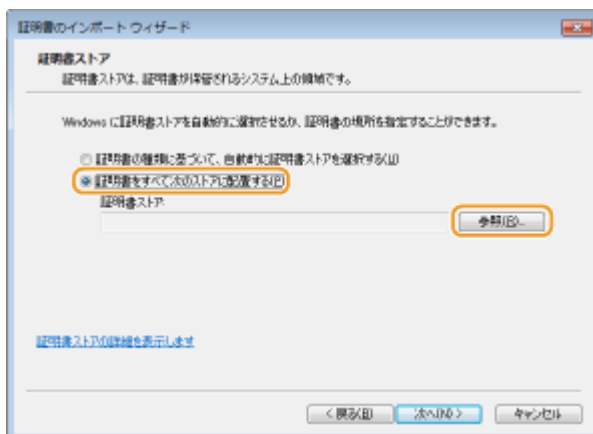
11 アドレス入力欄の右にある [証明書のエラー] ▶ [証明書の表示] をクリックする



12 [証明書のインストール] をクリックする

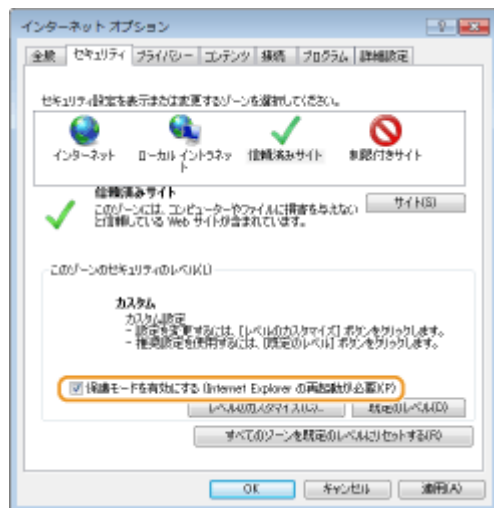
13 [次へ] をクリックする

14 [証明書をすべて次のストアに配置する] を選び、[参照] をクリックする



15 [信頼されたルート証明機関] を選び、画面の指示に従って証明書のインポートウィザードを完了させる

16 手順 7 で [保護モードを有効にする] のチェックマークを外したときは、チェックマークを付けなおす



関連項目

- ▶ [プリントサーバーを設定する\(P. 186\)](#)

プリントサーバーを設定する

55S7-02K

プリントサーバーを設定すると、印刷を行うパソコンにかかる負荷を軽減できます。ネットワークを介して他のパソコンにもプリンタードライバーをインストールできるようになりますので、パソコンごとに CD-ROM/DVD-ROM からプリンタードライバーをインストールする手間も省けます。プリントサーバーにするパソコンをネットワーク内から選び、そのパソコンに対してプリンターの共有設定を行います。



- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログインしている必要があります。
- プリントサーバーの OS とパソコンの OS が 32 ビット版と 64 ビット版とで異なる場合、ネットワークを介したプリンタードライバーのインストールができないことがあります。
- ドメイン環境でプリントサーバーを設定する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

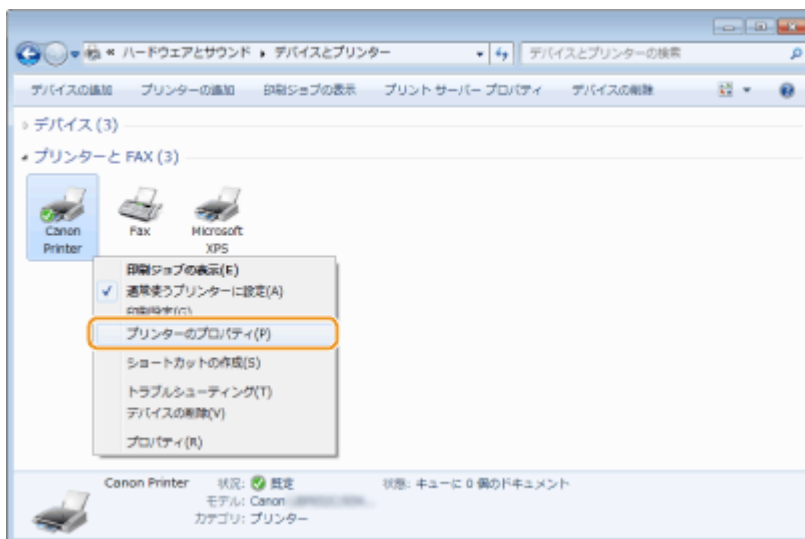


プリントサーバー利用時に部門別 ID 管理をするには

- プリンタードライバーをインストールする際に、Canon Driver Information Assist Service を追加する必要があります。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。

1 プリンターフォルダーを開く ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 676)

2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



3 [共有] タブをクリックし、[このプリンターを共有する] を選んだあと、共有名を入力する



 MEMO

[共有オプションの変更] が表示されたとき

- [共有オプションの変更] をクリックします。

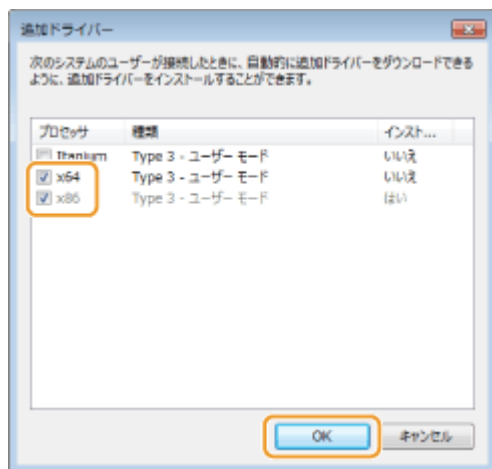


4 必要に応じて追加ドライバーをインストールする

- この作業は、プリントサーバーとはプロセッサバージョン（32ビット／64ビット）が異なるパソコンに、プリントサーバーを介してプリンタードライバーをインストールしたいときに必要です。

1 [追加ドライバー] をクリックする

2 追加ドライバーを選び、[OK] をクリックする



- 追加ドライバーはプリントサーバーの OS に応じて、次のように選択してください。

プリントサーバー	選択する追加ドライバー
32ビット版 OS	[x64] にチェックマークを付けます。

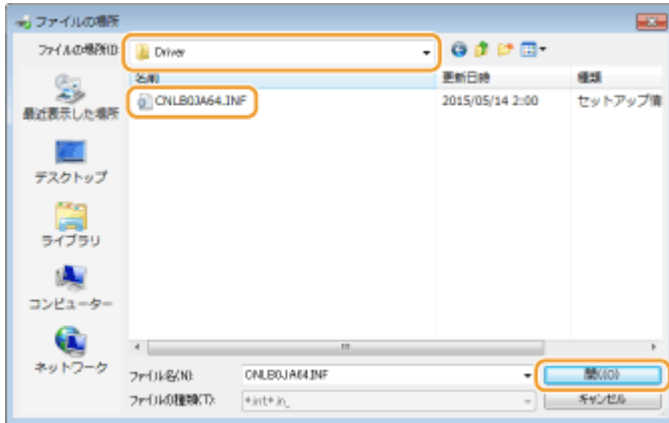
64 ビット版 OS	[プロセッサ] が [x86] の項目にチェックマークを付けます。
------------	-----------------------------------

MEMO

- 32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからないときは、**▶ プロセッサバージョンの確認方法 (P. 679)** を参照してください。

3 ユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM をセットし、[参照] をクリックする

4 追加ドライバーが収録されているフォルダーを指定し、INF ファイルを選んだあと、[開く] をクリックする



- 追加ドライバーが収録されているフォルダーはプリントサーバーの OS に応じて、次のように指定してください。

プリントサーバーが 32 ビット版 OS の場合

ユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM 内の [LIPSV] – [LIPSLX] または [LIPS4] – [x64] – [Driver] フォルダーを指定します。

プリントサーバーが 64 ビット版 OS の場合

ユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM 内の [LIPSV] – [LIPSLX] または [LIPS4] – [32BIT] – [Driver] フォルダーを指定します。

5 [OK] をクリックする

- ▶▶ 追加ドライバーのインストールが開始されます。自動的に [共有] タブに戻るまでお待ちください。

MEMO

[ユーザーアカウント制御] が表示されたとき

- [はい] をクリックします。

5 [OK] をクリックする

■ プリントサーバーを介してパソコンにドライバーをインストールする

1 プリントサーバーの共有プリンターを表示する ▶ プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法(P. 677)

2 共有プリンターをダブルクリックする

3 画面の指示に従ってプリンタードライバーをインストールする



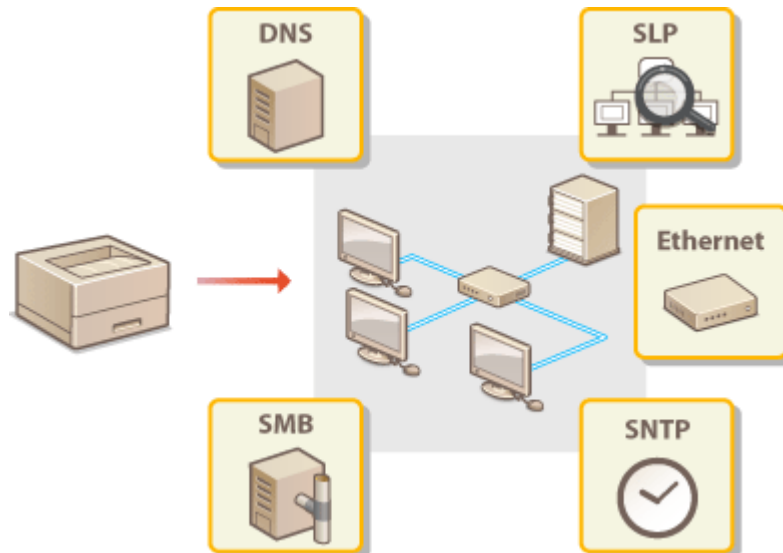
関連項目

▶ パソコンから印刷する(P. 78)

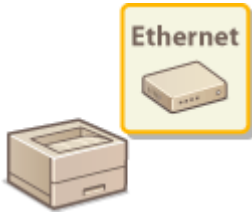
使用するネットワーク環境に合わせる

55S7-02L

ネットワークの規模や形態は、目的用途によってさまざまです。本機はできるかぎり多くの環境に適合するよう、多様な技術を取り入れています。あらかじめネットワーク管理者にご相談のうえ、お使いの環境に合わせて必要な設定を行ってください。



イーサネットの設定をする



イーサネットは LAN 内の通信方法を定めた規格です。本機では通信方式やイーサネットの種類を設定できます。通常は初期値（▶Ethernet ドライバー(P. 370)）のまま使用できますが、お使いの環境に合うよう、必要に応じて変更してください。

1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲ / ▼ で<ネットワーク>を選び、**OK** を押す

- メッセージが表示されたら、**OK** を押します。

3 < Ethernet ドライバー > ▶ < 自動検出 > の順に進む

4 自動または手動の設定をする



■イーサネットの設定を自動検出する

< ON > を選択し、**OK** を押します。使用できるイーサネットの通信方式や種類が検出されて自動的に設定されます。

■イーサネットの設定を手動でする

1 < OFF > を選び、**OK** を押す

2 通信方式を選ぶ

< 通信方式 > を選択して **OK** を押したあと、< 半二重 > または < 全二重 > を選択して **OK** を押します。



a < 半二重 >

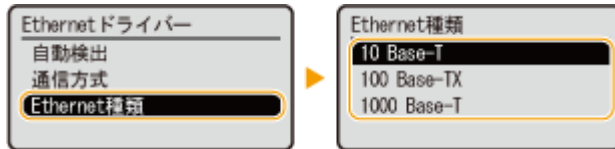
送信／受信を交互に行います。接続するルーターが半二重通信を使うように設定されているときに選びます。

b < 全二重 >

送信／受信を同時に行います。通常はこちらを選んでください。

3 イーサネットの種類を選ぶ

< Ethernet 種類 > を選択して **OK** を押したあと、イーサネットの種類を選択して **OK** を押します。



- < 1000 Base-T > に設定すると、< 通信方式 > が < 全二重 > に変更されます。

5 ハードリセットする **▶** ハードリセットする (P. 510)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



関連項目

▶ ネットワーク接続時の待機時間を設定する (P. 193)

ネットワーク接続時の待機時間を設定する

55S7-02S

スイッチングハブなどを数台つないでネットワークの冗長化を図った場合、パケットのループを回避するための仕組みが必要となります。そのためにはスイッチポートの役割決めが有効ですが、ネットワークに新しく機器を追加するなどの変更を行った直後はうまく通信できないことがあります。このようなネットワークに本機を接続するときは、通信開始までの待機時間を設定します。

1 ▶ (セットアップ) を押す

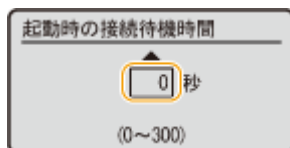
2 ▲ / ▼ で<ネットワーク>を選び、**OK** を押す

- メッセージが表示されたら、**OK** を押します。

3 <起動時の接続待機時間>を選び、**OK** を押す

4 ネットワークとの通信を開始するまでの待機時間を入力し、**OK** を押す

- テンキーで入力します。



5 ハードリセットする ◯ハードリセットする(P. 510)

- ⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



関連項目

- ◯イーサネットの設定をする(P. 191)

DNS の設定をする

55S7-02U

DNS (Domain Name System) は、ホスト名 (ドメイン名) と IP アドレスを対応させる名前解決サービスです。お使いのネットワークに応じて DNS や mDNS、DHCP オプションの設定を行います。IPv4 と IPv6 とで設定が分かれていますのでご注意ください。



1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 DNS の設定をする

■ IPv4 の DNS を設定する

1 [IPv4 設定] にある [編集] をクリックする



2 IPv4 の DNS を設定する



a [DNS 設定]

[プライマリー DNS サーバーアドレス]

DNS サーバーの IP アドレスを入力します。IP アドレスは操作パネルで設定することもできます (▶IPv4 設定(P. 353))。

[セカンダリー DNS サーバーアドレス]

セカンダリー DNS サーバーがあるときは、その IP アドレスを入力します。IP アドレスは操作パネルで設定することもできます (▶IPv4 設定(P. 353))。

[ホスト名]

DNS サーバーに登録するホスト名を、半角英数字で入力します。

[ドメイン名]

本機が属するドメイン名を、半角英数字で入力します (入力例: 「example.com」)。

[DNS の動的更新を行う]

DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに自動更新するにはチェックマークを付けます。

b [mDNS 設定]

[mDNS を使用する]

mDNS (multicast DNS) は DNS を使わずにホスト名を解決するプロトコルで、Bonjour などに採用されています。使用するときはチェックマークを付け、[mDNS 名] を半角英数字で入力します。[IPv4 を使用する] にチェックマークが付いているときだけチェックマークを付けることができます。

C [DHCP オプション設定]

[ホスト名を取得する]

DHCP サーバーからホスト名を取得する (オプション 12 を有効にする) ときはチェックマークを付けます。ホスト名を取得するかどうかは操作パネルで設定することもできます (**IPv4 設定(P. 353)**)。

[DNS の動的更新を行う]

本機に代わって DHCP サーバーにホスト名の対応付けの情報を自動更新させる (オプション 81 を有効にする) ときはチェックマークを付けます。DNS の動的更新を行うかどうかは操作パネルで設定することもできます (**IPv4 設定(P. 353)**)。

[DNS サーバーアドレスを取得する]

DHCP サーバーから DNS サーバーアドレスを取得する (オプション 6 を有効にする) ときはチェックマークを付けます。

[ドメイン名を取得する]

DHCP サーバーからドメイン名を取得する (オプション 15 を有効にする) ときはチェックマークを付けます。

[WINS サーバーアドレスを取得する]

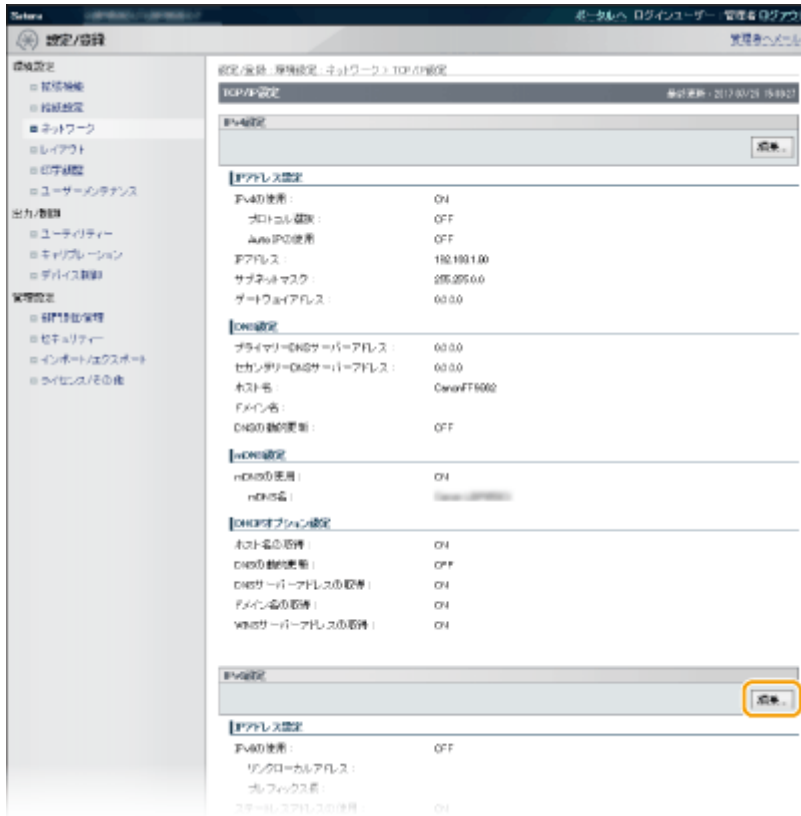
DHCP サーバーから WINS サーバーアドレスを取得する (オプション 44 を有効にする) ときはチェックマークを付けます。

3 [OK] をクリックする



■IPv6 の DNS を設定する

1 [IPv6 設定] にある [編集] をクリックする



2 IPv6 の DNS を設定する

- [IPv6 を使用する] にチェックマークが付いていないときは設定できません。▶IPv6 アドレスを設定する (P. 168)



a [DNS 設定]

[プライマリー DNS サーバーアドレス]

DNS サーバーの IP アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）や「0000::0000」（すべて 0）のアドレス、または「0:0:0:0:ffff」や「0:0:0:0:0:0」で始まるアドレスは入力できません。

[セカンダリー DNS サーバーアドレス]

セカンダリー DNS サーバーがあるときは、その IP アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）や「0000::0000」（すべて 0）のアドレス、または「0:0:0:0:ffff」や「0:0:0:0:0:0」で始まるアドレスは入力できません。

[IPv4 と同じホスト名/ドメイン名を使用する]

IPv4 と同じ設定にするときはチェックマークを付けます。

[ホスト名]

DNS サーバーに登録するホスト名を半角英数字で入力します。

[ドメイン名]

本機が属するドメイン名を半角英数字で入力します（入力例：「example.com」）。

[DNS の動的更新を行う]

DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに自動更新するにはチェックマークを付けます。DNS サーバーに登録したいアドレスの種類を指定するときは、必要に応じて [手動アドレスを登録する]、[ステートフルアドレスを登録する]、または [ステートレスアドレスを登録する] にチェックマークを付けます。

b [mDNS 設定]**[mDNS を使用する]**

mDNS (multicast DNS) は DNS を使わずにホスト名を解決するプロトコルで、Bonjour などに採用されています。使用するときはチェックマークを付けます。[IPv6 を使用する] にチェックマークが付いているときだけチェックマークを付けることができます。

[IPv4 と同じ mDNS 名を使用する]

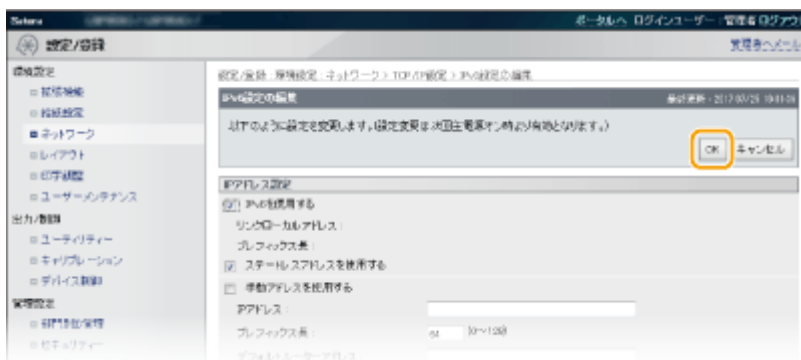
IPv4 と同じ設定にするときはチェックマークを付けます。別に設定するときは、チェックマークを外して [mDNS 名] を半角英数字で入力します。

c [DHCP オプション設定]**[DNS サーバーアドレスを取得する]**

DHCP サーバーから DNS サーバーアドレスを取得する（オプション 23 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

[ドメイン名を取得する]

DHCP サーバーからドメイン名を取得する（オプション 24 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

3 [OK] をクリックする

5 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。

関連項目

- ◉ IPv4 アドレスを設定する (P. 163)
- ◉ IPv6 アドレスを設定する (P. 168)
- ◉ ネットワークステータスプリント (P. 573)

WINS の設定をする

55S7-02W

WINS は NetBIOS 名（SMB ネットワークでのコンピューター名やプリンター名）を IP アドレスに変換する名前解決サービスです。WINS を使用するには、WINS サーバーの指定が必要です。



- IPv6 環境では使用できません。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



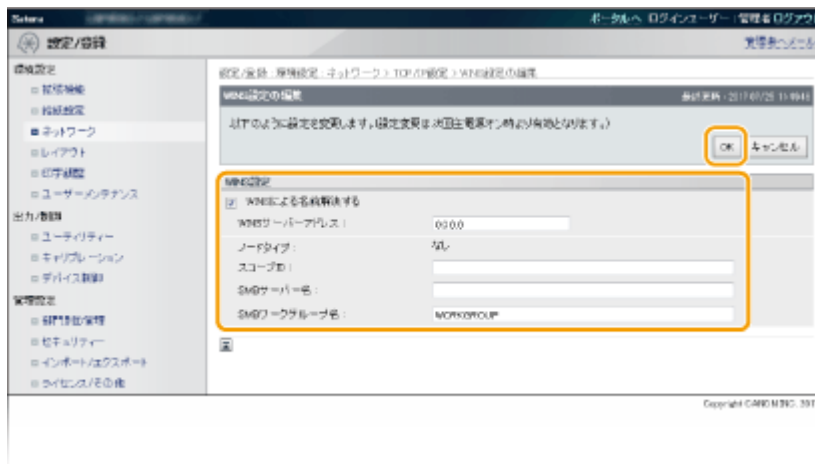
3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 [WINS 設定] の [編集] をクリックする



5 [WINS による名前解決する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力したあと、[OK] をクリックする



[WINS による名前解決する]

チェックマークを付けると WINS で名前解決を行います。WINS を使用しないときはチェックマークを外してください。

[WINS サーバーアドレス]

WINS サーバーの IP アドレス (IPv4) を入力します。



- DHCP サーバーから WINS サーバーの IP アドレスを取得したときは、DHCP サーバーから取得した IP アドレスが優先されます。

[スコープ ID]

お使いのネットワークを分割するときに、分割されたグループの範囲を示す識別子を入力します。パソコン側でスコープ ID を設定していないときは、空欄にしてください。

[SMB サーバー名]

WINS サーバー上に本機を登録するときは、SMB ネットワークでのサーバー名を入力します。



- 半角スペースは入力できません。
- [SMB 設定] の [サーバー名] が設定されているときは自動的に同じ名前が設定されています。逆に、ここでサーバー名を変更すると [SMB 設定] の [サーバー名] にも反映されます。

[SMB ワークグループ名]

WINS サーバー上に本機を登録するときは、SMB ネットワークで本機が属するワークグループ名を入力します。



- 半角スペースは入力できません。
- [SMB 設定] の [ワークグループ名] が設定されているときは自動的に同じ名前が設定されています。逆に、ここでワークグループ名を変更すると [SMB 設定] の [ワークグループ名] にも反映されます。

6 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから WINS 設定を有効／無効に切り替えることもできます。▶ [WINS による名前解決 \(P. 357\)](#)



- ▶ [SMB の設定をする \(P. 216\)](#)

SNTP の設定をする

55S7-02X



SNTP はネットワーク上のタイムサーバーを基準にして時刻を調整するためのプロトコルです。SNTP を使うと一定間隔でタイムサーバーを確認するので、常に正確な時刻を保つことができます。



- NTP サーバー（NTPv3）と SNTP サーバー（SNTPv3 および v4）の両方に対応しています。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



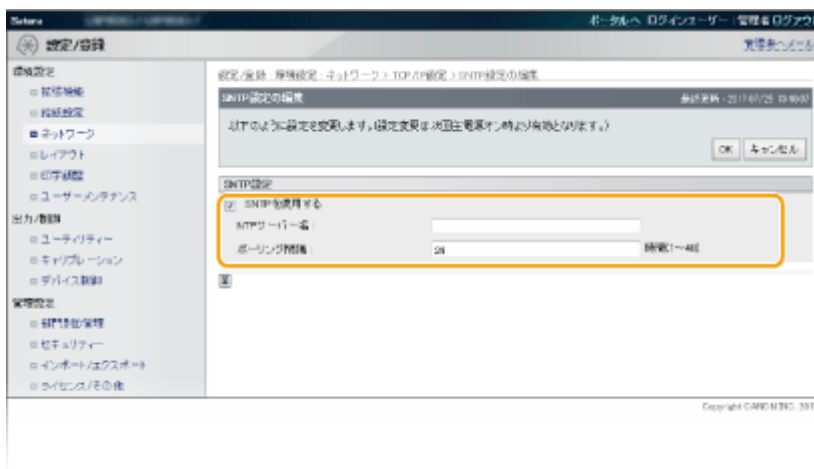
3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 [SNTP 設定] にある [編集] をクリックする



5 [SNTP を使用する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力する



[SNTP を使用する]

チェックマークを付けると SNTP を使用して時刻調整を行います。使用しないときはチェックマークを外してください。

[NTP サーバー名]

NTP または SNTP サーバーの IP アドレスを入力します。DNS サーバーを利用できるときは、IP アドレスの代わりに「ホスト名.ドメイン名」(または FQDN) を半角英数字で入力することもできます (入力例: 「ntp.example.com」)。

[ポーリング間隔]

何時間おきに時刻を調整するかを入力します。

6 [OK] をクリックする

7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。

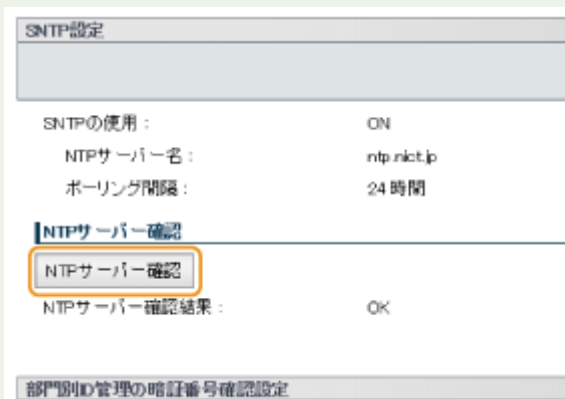


⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



NTP/SNTP サーバーと通信できるか確認するには

- 登録したサーバーとの通信状況を確認するときは、[設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックして表示される [SNTP 設定] の [NTP サーバー確認] をクリックします。正しく接続されているときは下の画面のように表示されます（ただし、このときは通信状況を確認するだけで、時刻合わせは行いません）。



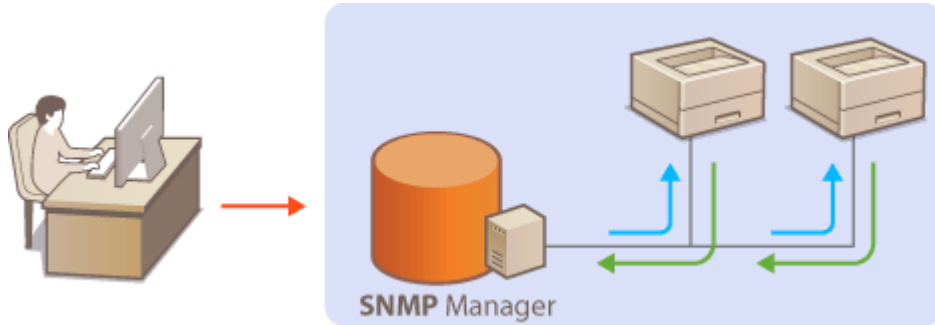
操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから SNTP 設定を有効/無効に切り替えることもできます。▶SNTP(P. 363)

SNMP で監視／制御する

55S7-02Y

Simple Network Management Protocol (SNMP) は、MIB と呼ばれる管理情報データベースをもとに、ネットワーク上の通信機器を監視・制御するためのプロトコルです。本機は SNMPv1 と、セキュリティー機能が強化された SNMPv3 に対応しており、印刷するときやリモート UI を使用するときなどにパソコンから本機の状態を確認できます。SNMPv1 と SNMPv3 はいずれか一方を使用することも、両方を併用することもできます。使用目的や環境に合わせてそれぞれの設定を行ってください。



SNMPv1

SNMPv1 はコミュニティ名と呼ばれる情報で通信範囲を決定しますが、コミュニティ名は平文でネットワークに流されるため、セキュリティー面では脆弱です。安全性を確保したい場合は SNMPv1 を無効にし、SNMPv3 を利用してください。

SNMPv3

SNMPv3 を使用すると、強固なセキュリティー機能を持つネットワーク機器管理を実現できます。設定はリモート UI から行います。あらかじめ TLS を有効にしておいてください ([▶TLS で暗号化通信をする\(P. 271\)](#))。

MEMO

- 本機の SNMP は、Trap 通知には対応していません。
- SNMP 管理ソフトウェアが利用できる場合は、これをインストールしたパソコンから本機の設定や監視、制御ができます。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [▶リモート UI を起動する\(P. 308\)](#)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [SNMP 設定] をクリックする

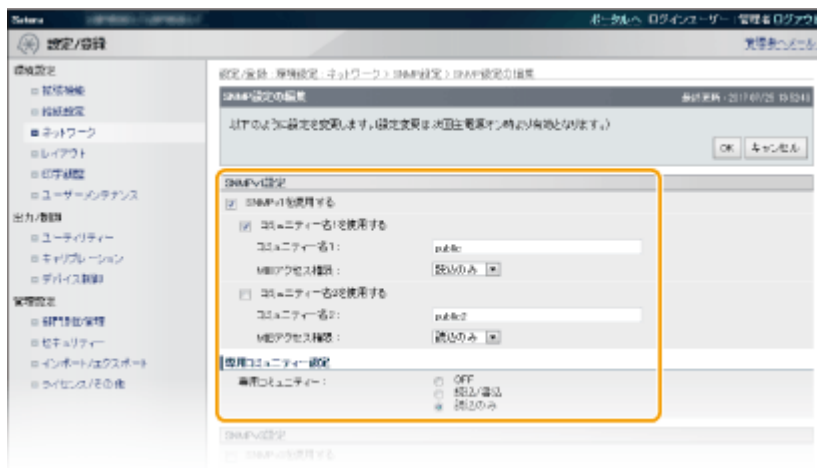


4 [編集] をクリックする



5 SNMPv1 の設定をする

- SNMPv1 設定を変更しないときは、次の手順に進みます。



[SNMPv1 を使用する]

SNMPv1 を使用するときにはチェックマークを付けます。このチェックマークが付いていないと SNMPv1 の他の項目は設定できません。

[コミュニティ名 1 を使用する] / [コミュニティ名 2 を使用する]

コミュニティ名を指定するときにはチェックマークを付けます。指定しないときはチェックマークを外してください。

[コミュニティ名 1] / [コミュニティ名 2]

コミュニティ名を半角英数字で入力します。

[MIB アクセス権限]

それぞれのコミュニティについて、MIB のアクセス権限を [読込/書込] または [読込のみ] から選びます。

[読込/書込]	MIB のオブジェクトへの読み込みと書き込みの両方を許可します。
[読込のみ]	MIB のオブジェクトへの読み込みだけを許可します。

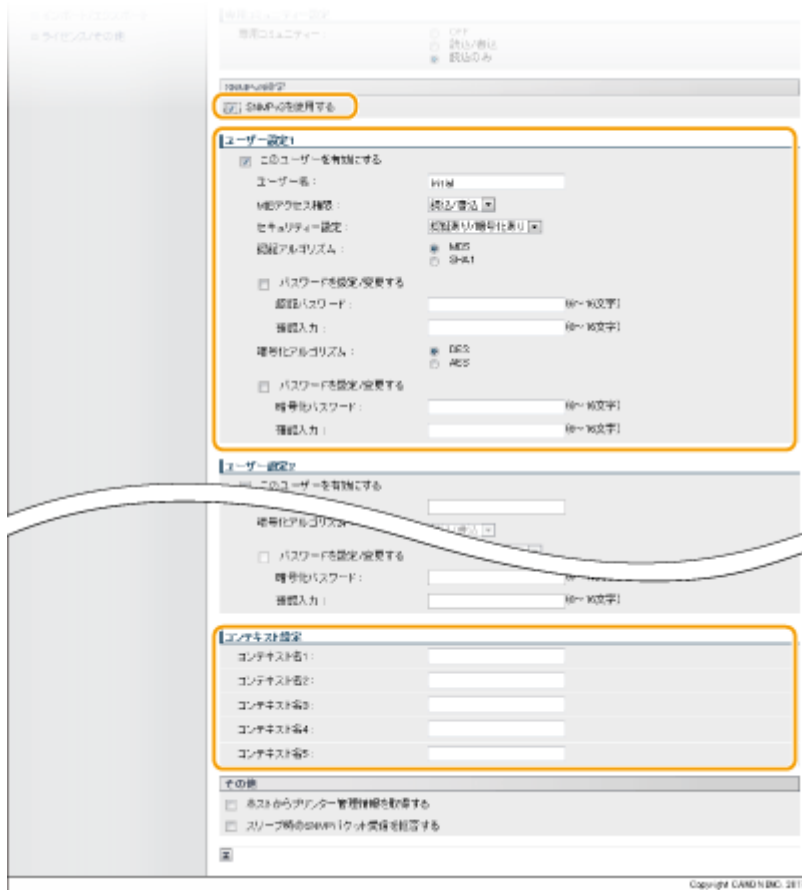
[専用コミュニティ]

専用コミュニティは imageWARE Enterprise Management Console など、キヤノンのソフトウェアを使用する管理者用に用意されたコミュニティです。MIB のアクセス権限を [OFF]、[読込/書込] または [読込のみ] から選びます。

[OFF]	専用コミュニティを使用しません。
[読込/書込]	専用コミュニティを使用して MIB のオブジェクトへの読み込みと書き込みの両方を許可します。
[読込のみ]	専用コミュニティを使用して MIB のオブジェクトへの読み込みだけを許可します。

6 SNMPv3 の設定をする

- SNMPv3 設定を変更しないときは、次の手順に進みます。



[SNMPv3 を使用する]

SNMPv3 を使用するときはチェックマークを付けます。このチェックマークが付いていないと SNMPv3 の他の項目は設定できません。

[このユーザーを有効にする]

[ユーザー設定 1] ~ [ユーザー設定 5] を有効にするときはチェックマークを付けます。無効にするときはチェックマークを外してください。

[ユーザー名]

ユーザー名を半角英数字で入力します。

[MIB アクセス権限]

MIB のアクセス権限を、[読込/書込] または [読込のみ] から選びます。

[読込/書込]	MIB のオブジェクトへの読み込みと書き込みの両方を許可します。
[読込のみ]	MIB のオブジェクトへの読み込みだけを許可します。

[セキュリティ設定]

認証と暗号化の有無の組み合わせを、[認証あり/暗号化あり]、[認証あり/暗号化なし] または [認証なし/暗号化なし] から選びます。

[認証アルゴリズム]

[セキュリティ設定] で [認証あり/暗号化あり] または [認証あり/暗号化なし] を選んだ場合に、お使いの環境に応じた認証アルゴリズムを選択します。

[暗号化アルゴリズム]

[セキュリティ設定] で [認証あり/暗号化あり] を選んだ場合に、お使いの環境に応じた暗号化アルゴリズムを選択します。

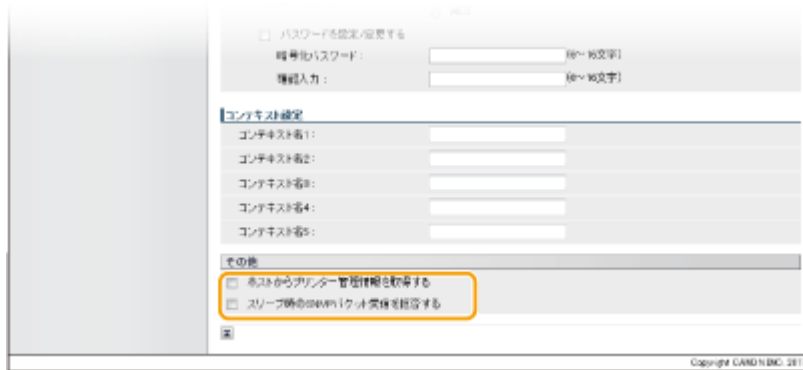
[パスワードを設定/変更する]

パスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[認証パスワード] または [暗号化パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。使用するアルゴリズム（認証／暗号化）ごとに設定します。

[コンテキスト名 1] ～ [コンテキスト名 5]
コンテキスト名を半角英数字で入力します。

7 プリンター管理情報取得の設定をする

- SNMP を使ってネットワーク上のパソコンから、印刷プロトコルやポートなどのプリンター管理情報を定期的に取得できます。



[ホストからプリンター管理情報を取得する]

SNMP を使って本機のプリンター管理情報を監視するときはチェックマークを付けます。監視しない場合はチェックマークを外してください。

[スリープ時の SNMP パケット受信を拒否する]

スリープモード中に受信した SNMP パケットを破棄するときはチェックマークを付けます。破棄しない場合はチェックマークを外してください。

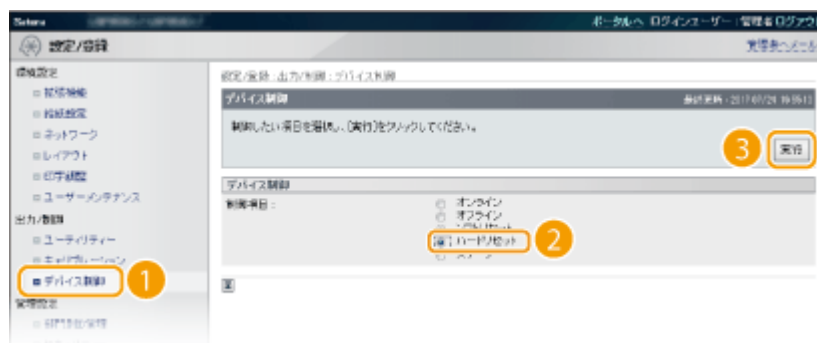


- [スリープ時の SNMP パケット受信を拒否する] にチェックマークを付けると、キヤノン製ソフトウェア (imageWARE Series) などの SNMP プロトコルを使用するアプリケーションから、本機へアクセスできない場合があります。

8 [OK] をクリックする

9 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



SNMPv1 を使用しないとき

- プリンタードライバーによる本機からの情報取得など、一部の機能が使用できなくなります。

操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューで SNMP の設定を行うこともできます。▶ **SNMP 設定(P. 366)**



SNMPv1 と SNMPv3 を併用するとき

- SNMPv1 の MIB アクセス権限を [読込のみ] に設定することをおすすめします。MIB へのアクセス権限は SNMPv1 と SNMPv3 で別々に設定できます (SNMPv3 ではさらにユーザーごとにも設定できます) が、SNMPv1 で [読込/書込] (フルアクセス権限) を設定すると本機のほぼすべての操作ができるため、SNMPv3 の特徴である強固なセキュリティ機能を生かすことができなくなります。



関連項目

- ▶ **TLS で暗号化通信をする(P. 271)**

デバイス管理ソフトウェアの設定をする

55S7-030

imageWARE Enterprise Management Console などのデバイス管理ソフトウェアを導入した環境では、サーバーを介してネットワーク上の機器の設定情報や障害情報など、さまざまな情報を収集・管理できます。このような環境に本機を接続すると、imageWARE Enterprise Management Console は Service Location Protocol (SLP) などのプロトコルを使って本機を探索し、電源状態についての情報などを収集します。このとき使用される SLP 通信の設定は、リモート UI を使って行います。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 SLP の設定をする

■ デバイス探索の設定をする

1 [マルチキャスト探索設定] にある [編集] をクリックする

2 [探索応答する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力する

[探索応答する]

チェックマークを付けるとデバイス管理ソフトウェアからの探索パケットに応答し、管理下に入ります。応答しないようにするときはチェックマークを外してください。

[スコープ名]

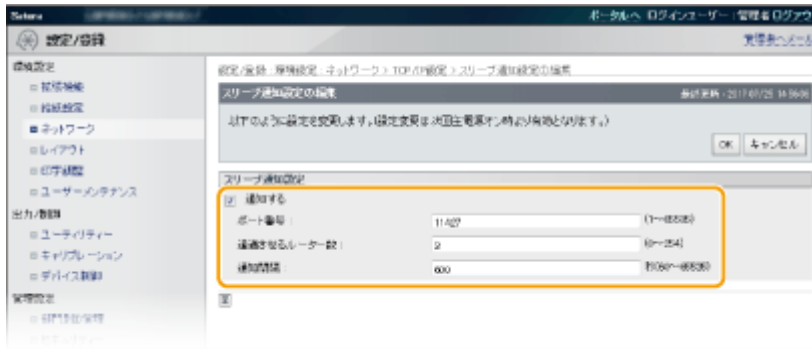
本機を特定のスコープに所属させる場合は、スコープ名を半角英数字で入力します。

3 [OK] をクリックする

■電源状態の通知設定をする

1 [スリープ通知設定] にある [編集] をクリックする

2 [通知する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力する



[通知する]

チェックマークを付けると本機の電源状態がデバイス管理ソフトウェアに通知されます。節電状態中における無駄な通信の削減や、総消費電力の抑制などの効果が期待できます。

[ポート番号]

管理ソフトウェアとの SLP 通信で使用するポート番号を入力します。

[通過させるルーター数]

SLP 通信パケットが最大で何台のルーターを通過できるかを指定します。

[通知間隔]

何秒おきに本機の電源状態を通知するかを入力します。

3 [OK] をクリックする

5 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから探索応答を有効／無効に切り替えることもできます。▶探索応答(P. 363)
- 操作パネルの設定メニューで電源状態の通知の設定を行うこともできます。▶スリープ通知設定(P. 364)



▶スリープモードにする(P. 70)

SMB の設定をする LBP853Ci / LBP852Ci

55S7-031

SMB は、ネットワーク内の複数デバイス間でファイルやプリンターを共有するためのプロトコルで、本機を SMB ネットワークの共有プリンターにするときに使用します。



- SMB は NetBIOS over TCP/IP のみに対応し、NetBEUI には対応していません。SMB の設定をする前に IP アドレスの設定を行ってください。▶ [IP アドレスを設定する\(P. 162\)](#)
- SMB はオプションの SD カードが装着されている場合にのみ有効になります。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ [リモート UI を起動する\(P. 308\)](#)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [SMB 設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [SMB サーバーを使用する] にチェックマークを付け、必要な設定をする



[SMB サーバーを使用する]

チェックマークを付けると SMB サーバーとして SMB ネットワークに表示されます。

[サーバー名]

SMB ネットワークに表示するサーバー名を入力します。ネットワーク上の他のパソコンやプリンターなどと重複しない名前を入力してください。



- 半角スペースは入力できません。
- [WINS 設定] の [SMB サーバー名] が設定されているときは自動的に同じ名前が設定されています。逆に、ここでサーバー名を変更すると [WINS 設定] の [SMB サーバー名] にも反映されます。

[ワークグループ名]

本機が属するワークグループ名を入力します。お使いの環境にワークグループがないときは、Windows 上でワークグループを作成して、そのワークグループ名を入力してください。



- 半角スペースは入力できません。
- [WINS 設定] の [SMB ワークグループ名] が設定されているときは自動的に同じ名前が設定されています。逆に、ここでサーバー名を変更すると [WINS 設定] の [SMB ワークグループ名] にも反映されます。

[コメント]

必要に応じて、本機に関するコメントを入力します。

[LM アナウンスを使用する]

本機の存在を LAN Manager に通知するときはチェックマークを付けます。通知が不要な場合はチェックマークを外すと、ネットワークの負荷が軽減されます。

[SMB 印刷を使用する]

本機で SMB 印刷を使用するときはチェックマークを付けます。

[プリンター名]

本機の名称を入力します。



- 半角スペースは入力できません。

6 [OK] をクリックする

7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒⇒⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。

⇒⇒ 続いて、▶印刷を行うパソコンの設定をする(P. 219) に進む



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから SMB サーバーを有効/無効に切り替えることもできます。▶SMB(P. 365)
- 操作パネルの設定メニューから SMB 印刷を有効/無効に切り替えることもできます。▶SMB(P. 365)



関連項目

▶WINS の設定をする(P. 200)

印刷を行うパソコンの設定をする

55S7-032

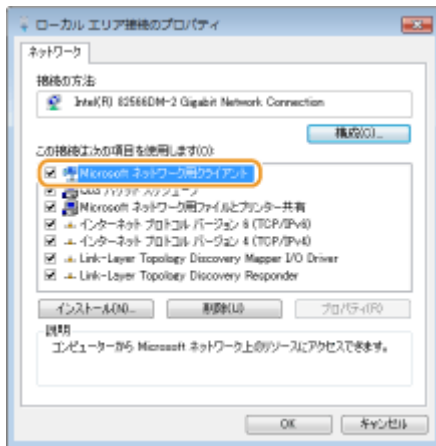
パソコンから SMB ネットワークを通して本機で印刷ができるように、パソコン側の接続設定とプリンタードライバーのインストールを行います。

- ▶SMB ネットワークに接続する(P. 219)
- ▶プリンタードライバーをインストールする(P. 220)

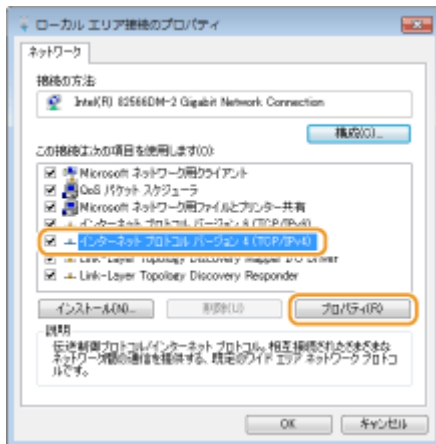
SMB ネットワークに接続する

1 [ローカルエリア接続のプロパティ] を表示する

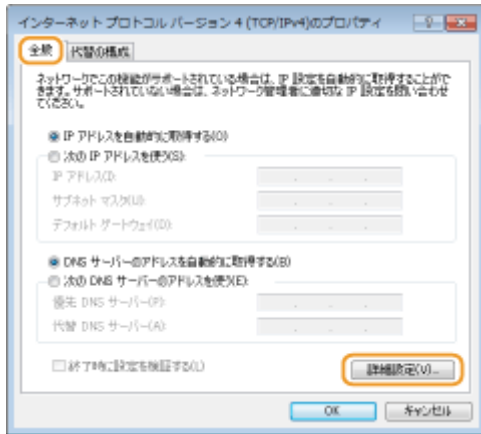
2 [Microsoft ネットワーク用クライアント] にチェックマークを付ける



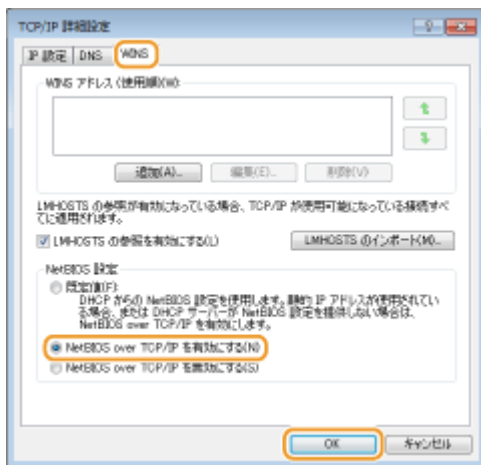
3 [インターネットプロトコルバージョン 4] または [インターネットプロトコル] にチェックマークを付け、[プロパティ] をクリックする



4 [全般] タブ ▶ [詳細設定] をクリックする



- 5 [WINS] タブをクリックし、[NetBIOS over TCP/IP を有効にする] を選んだあと、[OK] をクリックする



- 6 すべてのダイアログボックスが閉じるまで [OK] をクリックする



- パソコンの再起動を求める画面が表示されたときは、再起動してください。

プリンタードライバーをインストールする

プリンタードライバーのインストール方法については、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。



インストール中にポートを選択する画面が表示されたとき

- 次の操作を行ってください。
 - 1 [ポートの追加] をクリックする
 - 2 [ネットワーク] を選び、[OK] をクリックする

- 3 リストから SMB プロトコルの設定で指定した [ワークグループ名] ▶ [サーバー名] ▶ [プリンター名] を順に選ぶ ▶ SMB の設定をする (P. 216)

セキュリティ

セキュリティ	223
不正な使用を防止する	224
不正アクセス防止対策について	225
アクセス権限を設定する	227
管理者パスワードを設定する	228
部門別 ID 管理をする	231
リモート UI の暗証番号を設定する	238
ファイアウォールで通信制限する	240
IP アドレスでファイアウォールを設定する	241
MAC アドレスでファイアウォールを設定する	247
プロキシを設定する	251
機能を制限する	254
印刷動作を制限する	255
USB の使用を制限する	258
操作パネルの使用を制限する	261
HTTP 通信を無効にする	264
リモート UI を無効にする	265
LAN ポートが無効にする	266
印刷履歴を非表示にする	267
強固なセキュリティ機能を導入する	269
TLS で暗号化通信をする	271
IPSec の設定をする	276
IEEE 802.1X 認証の設定をする	286
鍵ペアと電子証明書の設定をする	292
鍵ペアを生成する	293
認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う	301
鍵ペアと CA 証明書を検証する	304

セキュリティ

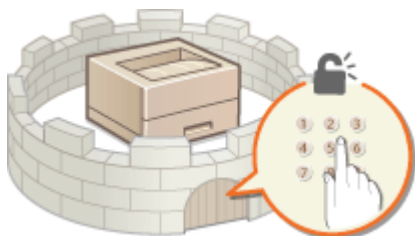
55S7-033

パソコンやプリンターなどの情報機器を通じて扱われる機密情報は、悪意のある第三者の標的となる場合があります。不正アクセスなどによる攻撃だけでなく、不注意や誤操作による情報漏えいが結果的に予想外の損失に結びつく恐れもあります。こうしたリスクに備えて本機にはさまざまなセキュリティ機能が搭載されています。お使いの環境に合わせて必要な対策を行ってください。



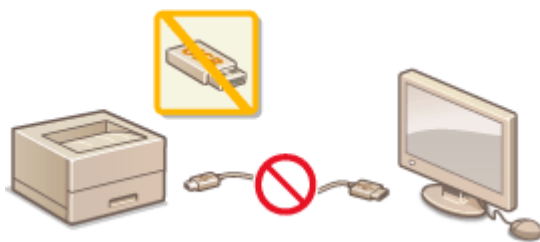
- 本機のセキュリティ機能と併せて、インターネットから社内ネットワーク内のプリンターや複合機にアクセスできないような環境を構築すると、最良のセキュリティ対策を築けます。▶不正アクセス防止対策について (P. 225)

■情報セキュリティ対策の基本を押さえる



- ▶不正な使用を防止する(P. 224)

■不注意／誤操作／悪用などのリスクに対処する



- ▶機能を制限する(P. 254)



- ▶暗証番号を入力して印刷する (セキュアプリント) (P. 101)

■強固なセキュリティ機能を導入する

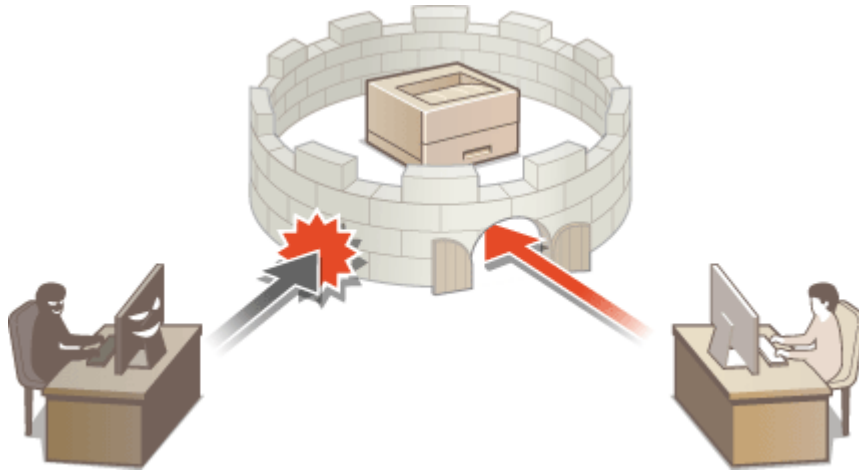


- ▶強固なセキュリティ機能を導入する(P. 269)

不正な使用を防止する

55S7-034

第三者が無断で本機を使用する、などの不正使用を制限できます。アクセス権限の設定やファイアウォールによる通信制限など、複数の手段を組み合わせることで外部からの不正侵入に対抗することも可能です。



不正アクセス防止対策について

55S7-035

外部ネットワークからの不正アクセス防止対策について記載しています。本機や他のプリンター、複合機をネットワーク環境でお使いの方、管理者の方は、ご利用の前に必ずお読みください。近年のプリンターや複合機は、ネットワークに接続することでコンピューターから印刷やリモート操作をしたり、スキャンした原稿をインターネット経由で送信したりなど、さまざまな機能を利用できるようになっています。その反面、ネットワーク上では外部からの不正アクセスや盗聴による脅威にもさらされるため、情報漏えい等のセキュリティリスクへの対策が不可欠です。以降では、ネットワーク環境でプリンターや複合機を使用する際に必ず行っていただきたい不正アクセス対策のポイントについて説明します。

外部からの不正アクセス対策のポイント

- プライベート IP アドレスで運用する(P. 225)
- ファイアウォールで通信を制限する(P. 226)
- TLS 暗号化通信を設定する(P. 226)
- 複合機が持つ情報を暗証番号で管理する(P. 226)

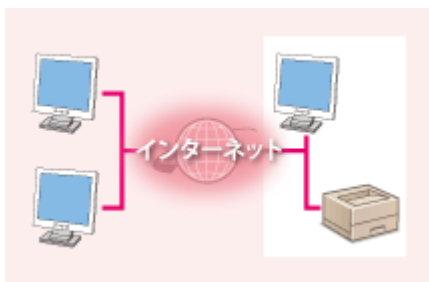


● **ご注意**

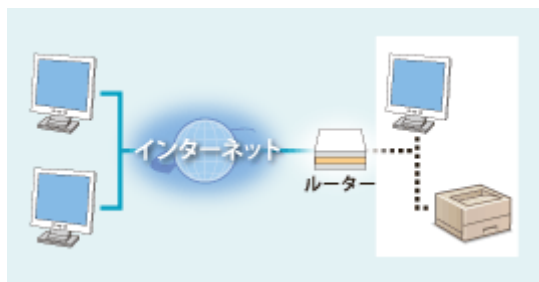
- 本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由して接続してください。

プライベート IP アドレスで運用する

IP アドレスとは、ネットワーク上の機器に割り当てられる番号のことで、インターネット接続に使われる IP アドレスを「グローバル IP アドレス」、社内 LAN などのローカルエリアネットワークで使われる IP アドレスを「プライベート IP アドレス」と呼びます。プリンター、複合機に設定されている IP アドレスがグローバル IP アドレスの場合は、インターネット上の不特定多数のユーザーからアクセス可能な状態であり、外部からの不正アクセスによる情報漏えいなどのリスクも高まります。一方で、プライベート IP アドレスが設定されているプリンター、複合機なら、社内 LAN などのローカルエリアネットワーク上のユーザーからしかアクセスすることができません。



【グローバル IP アドレス】
外部からアクセス可



【プライベート IP アドレス】
ローカルエリア内でのみアクセス可

基本的には、プリンター、複合機の IP アドレスにはプライベート IP アドレスを設定して運用してください。プライベート IP アドレスには、以下のいずれかの範囲のアドレスが使用されます。お使いのプリンター、複合機に設定されている IP アドレスがプライベート IP アドレスかどうかを確認してください。

■プライベート IP アドレスの範囲

- 10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ~ 172.31.255.255

- 192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

IP アドレスの確認手順については、**▶IP アドレスを設定する(P. 162)** を参照してください。



- プリンター、複合機にグローバル IP アドレスが設定されていても、ファイアウォール等で外部からのアクセスを防御する環境を構築すれば、不正アクセスのリスクは軽減されます。プリンター、複合機にグローバル IP アドレスを設定して運用したいときは、ネットワーク管理者にご相談ください。

ファイアウォールで通信を制限する

ファイアウォールとは、外部ネットワークからの不正アクセスを防止し、ローカルエリア内のネットワークへの攻撃や侵入を防ぐシステムです。お使いのネットワーク環境で、特定の外部 IP アドレスからの通信を制限することで、危険と思われる外部からのアクセスをあらかじめ遮断できます。キヤノンのプリンター、複合機に搭載された機能でも IP アドレスのフィルタリングができます。IP アドレスのフィルタリングについては、**▶IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 241)** を参照してください。

TLS 暗号化通信を設定する

TLS 通信については **▶強固なセキュリティー機能を導入する(P. 269)** を、設定手順については **▶TLS で暗号化通信をする(P. 271)** を参照してください。

複合機が持つ情報を暗証番号で管理する

万が一、悪意のある第三者から不正アクセスを受けたとしても、プリンター、複合機が持つさまざまな情報を暗証番号で保護しておけば、情報漏えいによるリスクを大幅に軽減できます。キヤノンのプリンター、複合機は、さまざまな情報を暗証番号で保護できるようになっています。

■各機能の暗証番号設定

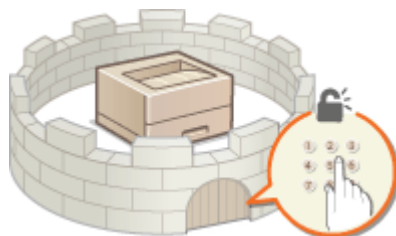
- リモート UI の暗証番号設定
詳細は、**▶リモート UI の暗証番号を設定する(P. 238)** を参照のうえ、設定してください。
- システム管理項目の暗証番号設定
詳細は、**▶管理者パスワードを設定する(P. 228)** を参照のうえ、設定してください。

上記は不正アクセス防止対策の一例です。その他の詳細は **▶セキュリティー(P. 223)** を参照のうえ、お使いの環境に合わせて必要な対策を行ってください。

アクセス権を設定する

55S7-036

アクセス権を持つユーザーだけが本機を利用できるようにして、第三者の不正使用を防ぎます。アクセス権は管理者パスワードや「部門 ID」と呼ばれるアカウント、リモート UI に対して設定します。アクセス権が設定されていると、印刷や設定変更をするときに、ID やパスワードの入力が必要になります。



管理者パスワードはシステム管理者専用、部門 ID は一般ユーザー用です。両方ともシステム管理者が設定します。また、「リモート UI アクセス暗証番号」を設定することで、リモート UI の使用も制限することができます。

管理者パスワード

リモート UI から本機の設定を行うには管理者パスワードが必要です。お買い上げ時には「7654321」に設定されていますが、このパスワードを変更することで、特定の管理者だけが設定を変更できるようになります。

▶ 管理者パスワードを設定する(P. 228)

一般ユーザーの部門 ID (部門別 ID 管理)

印刷を管理するためのアカウントです。複数設定することができ、ユーザー（またはグループ）ごとに使い分けが可能です。部門 ID が有効なときに印刷をしようとする部門 ID 入力画面が表示されますので、自分の部門 ID を入力します。プリンターの使用状況についても部門 ID 別に集計できますので管理の一助となります。

▶ 部門別 ID 管理をする(P. 231)

リモート UI の暗証番号 (リモート UI アクセス暗証番号)

リモート UI を使うための暗証番号です。暗証番号を知っているユーザーだけがリモート UI にアクセスできるようになります。

▶ リモート UI の暗証番号を設定する(P. 238)

管理者パスワードを設定する

55S7-037

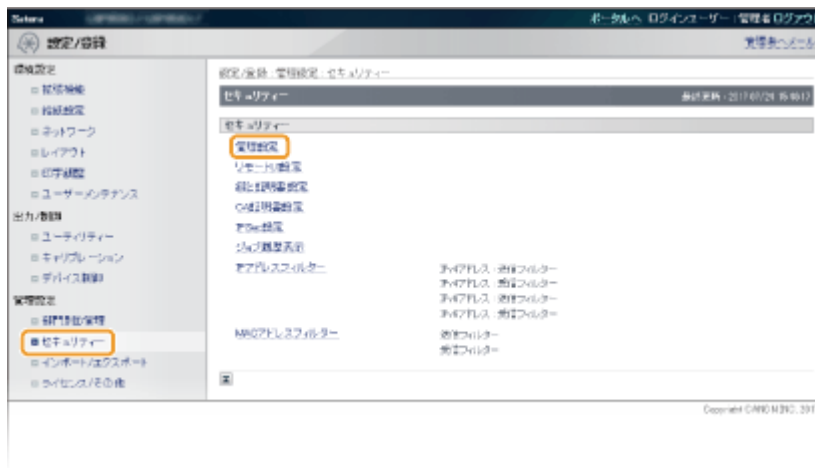
リモート UI から本機の設定を変更する場合には管理者権限が必要です。ここでは管理者権限でログインする場合のパスワード（管理者パスワード）を変更します。管理者パスワードは本機のセキュリティ上、特に重要です。管理者だけが管理者パスワードを知っているような体制にしてください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [管理設定] をクリックする

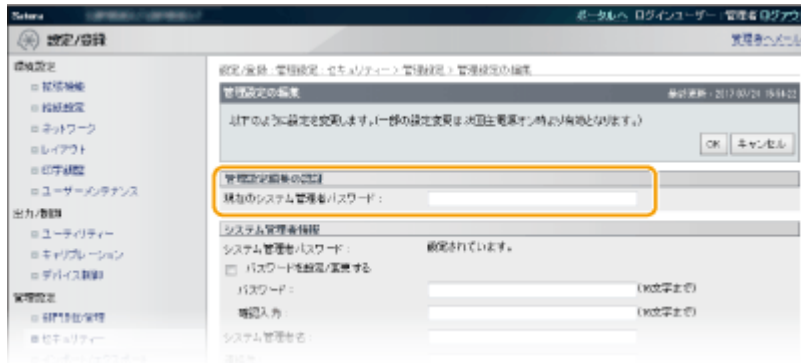


4 [編集] をクリックする



5 [現在のシステム管理者パスワード] に現在設定されているパスワードを入力する

- お買い上げ時は、「7654321」に設定されています。



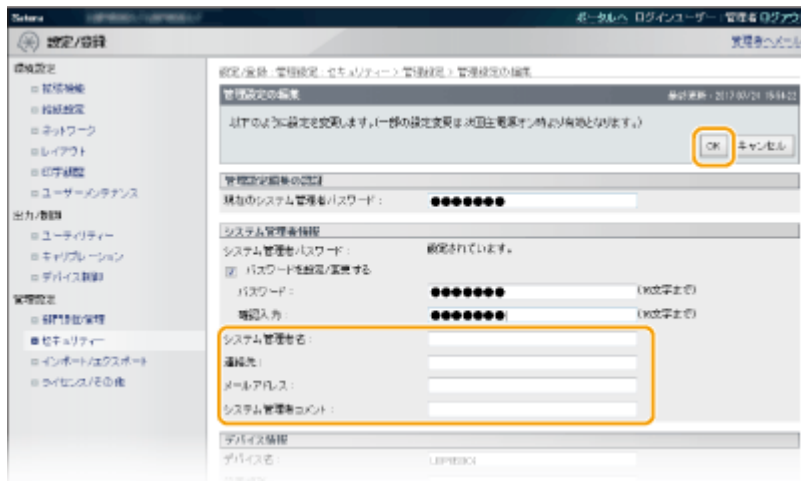
6 パスワードを入力する



[パスワードを設定/変更する]

パスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

7 必要に応じて管理者の名前や連絡先を入力し、[OK] をクリックする



[システム管理者名]

管理者の名前を入力します。

[連絡先]

管理者の連絡先を入力します。

[メールアドレス]

管理者のメールアドレスを半角英数字で入力します。

[システム管理者コメント]

管理者のコメントを入力します。



- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れた場合は、お買い求めの販売店または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。



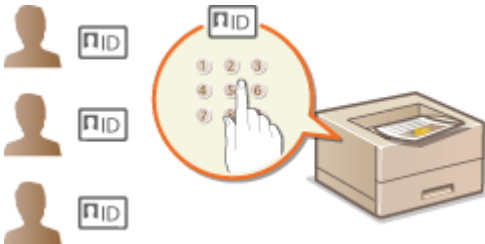
関連項目

- ▶ [アクセス権限を設定する\(P. 227\)](#)
- ▶ [管理者情報を確認する\(P. 320\)](#)

部門別 ID 管理をする

55S7-038

ユーザー（またはグループ）ごとに複数の部門 ID を使い分けて本機の使用状態を管理することができます。部門別 ID 管理中に本機を操作しようとするするとログイン画面が表示されますので、各ユーザーは自分の部門 ID を使ってログイン操作を行う必要があります。部門別 ID 管理を行うと、印刷の使用状況が部門 ID 別に記録されます。部門別 ID 管理をするには、まず管理対象とする部門 ID をすべて登録し、そのあとに部門別 ID 管理を有効にします。パソコンからの印刷に対しても部門別 ID 管理を行いたいときは、このほかにもさらに設定が必要です。



- ▶ 部門 ID と暗証番号を登録／編集する (P. 231)
- ▶ 部門別 ID 管理を有効にする (P. 233)
- ▶ パソコンからの印刷で部門別 ID 管理をする (P. 235)
- ▶ 部門 ID が不明な操作を遮断する (P. 236)



部門ごとの印刷状況を管理するには
▶ 部門ごとの印刷ページ数を確認する (P. 584)

部門 ID と暗証番号を登録／編集する

部門 ID を登録し、暗証番号を設定します。管理の対象とする部門 ID をすべて登録してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [部門別 ID 管理] をクリックし、部門 ID を登録／編集する



■部門 ID を登録する

- 1 [新規部門の登録] をクリックする
- 2 必要な情報を入力し、[OK] をクリックする



[部門 ID]

登録する部門 ID を半角数字で入力します。

[暗証番号を設定する]

暗証番号を設定するときはチェックマークを付け、[暗証番号] と [確認入力] の両方に同じ半角数字を入力します。暗証番号を設定しないときは空欄のままにしてください。

■登録した部門 ID の設定を編集する

- 1 編集する部門 ID のリンクをクリックする
- 2 必要に応じて設定を変更し、[OK] をクリックする



部門 ID を削除するには

- 削除したい部門 ID の右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。

部門別 ID 管理を有効にする

必要な部門 ID を登録したら、部門別 ID 管理を有効にします。

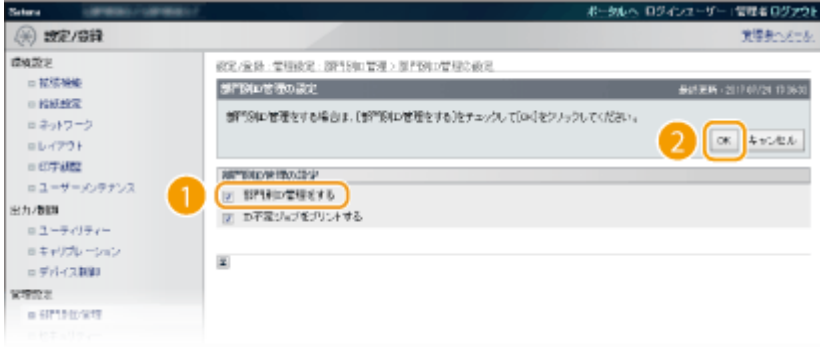
- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)
- 2 [設定/登録] をクリックする



- 3 [部門別 ID 管理] ▶ [設定] をクリックする



- 4 [部門別 ID 管理をする] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする



[部門別 ID 管理をする]

チェックマークを付けると部門別 ID 管理が有効になります。部門別 ID 管理をしないときはチェックマークを外してください。

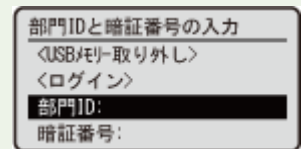


- [ID 不定ジョブをプリントする] については、●部門 ID が不明な操作を遮断する(P. 236) を参照してください。



部門別 ID 管理を有効にすると

- USB メモリー内のファイル、またはオプションの SD カードに保存した文書进行操作パネルから印刷するときに、認証画面が表示されます。部門 ID と暗証番号を入力した後、<ログイン>を選択し、**OK** を押してください。
- リモート UI に一般ユーザーモードでログインするときは、[部門 ID] と [暗証番号] の入力が必要になります。
●リモート UI を起動する(P. 308)

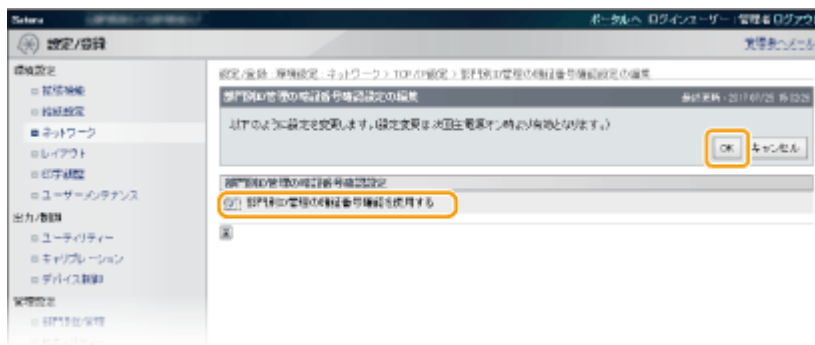


■ XPS プリンタードライバーを使用しているとき

XPS プリンタードライバーの使用時に部門別 ID 管理をする場合は、まず TLS 暗号化通信に使用する鍵ペアを設定してください (●TLS で暗号化通信をする(P. 271))。鍵ペアの設定が完了したら、次の設定を行ってください。



リモート UI に管理者モードでログインする (●リモート UI を起動する(P. 308)) ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [部門別 ID 管理の暗証番号確認設定] にある [編集] ▶ [部門別 ID 管理の暗証番号確認を使用する] にチェックマークを付ける ▶ [OK]



[部門別 ID 管理の暗証番号確認を使用する]

チェックマークを付けると XPS プリンタードライバーを使用した印刷に対して部門別 ID 管理が有効になります。部門別 ID 管理をしないときはチェックマークを外します。



- 本機に鍵ペアが存在しない場合には、[部門別 ID 管理の暗証番号確認を使用する] を有効にできません。●鍵ペアと電子証明書の設定をする(P. 292)

パソコンからの印刷で部門別 ID 管理をする

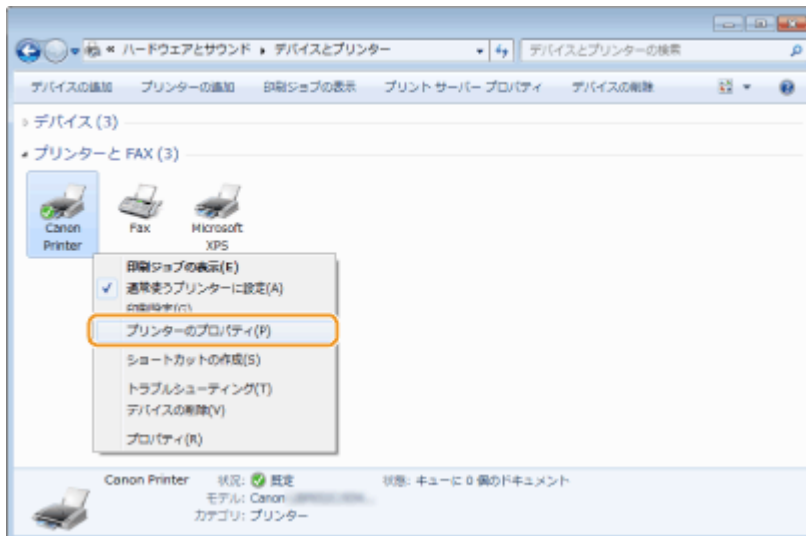
パソコンからの印刷に対して部門別 ID 管理を行うには、あらかじめパソコンにインストールしたプリンタードライバーで準備をします。必要に応じて部門 ID や暗証番号を設定してください。



- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログオンしている必要があります。

1 プリンターフォルダーを開く ▶プリンターフォルダーの表示方法(P. 676)

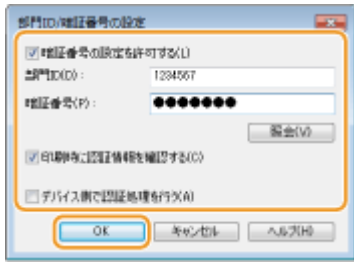
2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



3 [デバイスの設定] タブをクリックし、必要な設定をする



- 1 [ユーザー管理機能] で [部門別 ID 管理] を選び、下にある [設定] をクリックする
- 2 必要な情報を入力し、[OK] をクリックする



[暗証番号の設定を許可する]

暗証番号を設定するときにチェックマークを付けます。

[部門 ID]

部門 ID を半角数字で入力します。

[暗証番号]

必要に応じて部門 ID に対応する暗証番号を半角数字で入力します。

[照会]

クリックすると、正しい ID と暗証番号が入力されているか確認できます。ただし、本機とパソコンを USB または WSD (Web Services on Devices) ポートで接続しているときは使用できません。

[印刷時に認証情報を確認する]

チェックマークを付けると、パソコンから印刷する際、毎回ポップアップ画面が表示されます。

[デバイス側で認証処理を行う]

本機とパソコンを USB または WSD ポートで接続しているときにチェックマークを付けます。

3 [OK] をクリックする



正しく設定できたとき

- 部門別 ID 管理中にパソコンから印刷をしようとすると、次のようなポップアップ画面が表示されます（[印刷時に認証情報を確認する]にチェックマークが付いていないときは表示されません）。



部門 ID が不明な操作を遮断する

部門別 ID 管理中でも ID や暗証番号を入力せずにパソコンから印刷できるよう、お買い上げ時に設定されています。ID や暗証番号を入力しなければ印刷できないようにしたい場合は次の操作をしてください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 308)

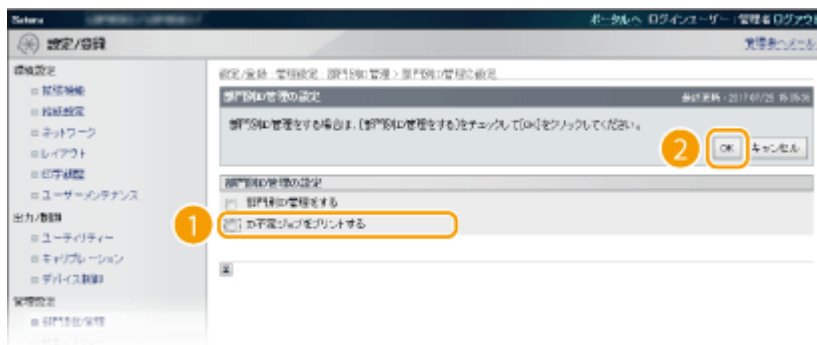
2 [設定/登録] をクリックする



3 [部門別 ID 管理] ▶ [設定] をクリックする



4 [ID 不定ジョブをプリントする] のチェックマークを外し、[OK] をクリックする



- チェックマークを外した場合、BMLinkS などの部門別 ID 管理に対応していない方法での印刷や、管理者モードでログインしたりリモート UI からのダイレクトプリントもできなくなります。



- アクセス権限を設定する(P. 227)
- 管理者パスワードを設定する(P. 228)

リモート UI の暗証番号を設定する

55S7-039

リモート UI にアクセスするための暗証番号を設定できます。すべてのユーザーが共通の暗証番号を使用します。



- 部門別 ID 管理を実施しているときは、ここでの設定は必要ありません。▶ [部門別 ID 管理をする\(P. 231\)](#)

1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲ / ▼ で <ネットワーク> を選び、 を押す

- メッセージが表示されたら、 を押します。

3 <リモート UI 設定> ▶ <リモート UI アクセス保護設定> の順に進む

4 <ON> を選び、 を押す



5 暗証番号を設定する

- 暗証番号を半角数字で入力し、 を押します。
- 確認のため、<暗証番号(確認入力)>が表示されますので、再度暗証番号を入力してください。



リモート UI 設定を初期化したとき

- リモート UI アクセス暗証番号も初期化されます。初期化したあとは、暗証番号を設定しなおしてください。▶ [メニューを初期化する\(P. 591\)](#)



関連項目

- ▶ アクセス権を設定する(P. 227)
- ▶ 管理者パスワードを設定する(P. 228)

ファイアウォールで通信制限する

55S7-03A

適切なセキュリティ対策を施さずにパソコンや通信機器をネットワークに接続すると、意図しない第三者から不正にアクセスされる恐れがあります。そこで、特定の IP アドレスや MAC アドレスを持つ機器だけに通信を許可するパケットフィルタリングを設定することで、そうしたリスクを低減させます。



IP アドレスでファイアウォールを設定する

55S7-03C

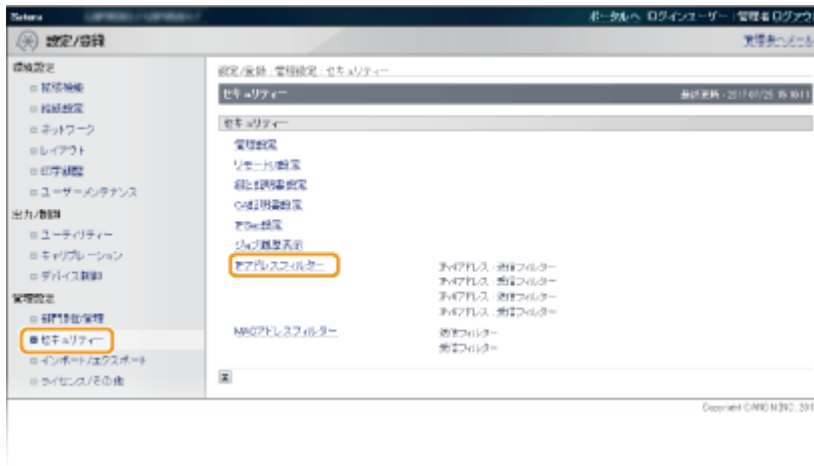
指定した IP アドレスを持つ機器との通信だけを許可し、それ以外の機器との通信を拒否します。逆に、特定の IP アドレスを持つ機器との通信だけを拒否し、それ以外の通信は許可することもできます。なお、IP アドレスは範囲を指定して設定することも可能です。データ受信の場合は、ポート番号を指定して設定することもできます。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [IP アドレスフィルター] をクリックする



4 設定したいフィルターの [編集] をクリックする



[IPv4 アドレス: 送信フィルタ]

IPv4 アドレスを指定して本機からパソコンへのデータ送信を制限します。

[IPv4 アドレス: 受信フィルタ]

IPv4 アドレスやポート番号を指定してパソコンからのデータ受信を制限します。

[IPv6 アドレス: 送信フィルタ]

IPv6 アドレスを指定して本機からパソコンへのデータ送信を制限します。

[IPv6 アドレス: 受信フィルタ]

IPv6 アドレスやポート番号を指定してパソコンからのデータ受信を制限します。

5 フィルターを設定する

■送信フィルタの場合

まず前提条件として「本機との通信を許可するのか、拒否するのか」のデフォルトポリシーを選択し、次に例外とする通信機器を IP アドレスで指定します。



- 1 [フィルターを使用する] にチェックマークを付け、[デフォルトポリシー] の [許可] または [拒否] をクリックする

[フィルターを使用する]

チェックマークを付けると通信制限が有効になります。通信制限をしないときはチェックマークを外してください。

[デフォルトポリシー]

前提条件として本機との通信を許可するのか拒否するのかを選択します。

[許可]	[例外アドレス] に入力した IP アドレスを持つ機器との通信（送信／受信）を制限します。それ以外の IP アドレスを持つ機器とは通信可能です。
[拒否]	[例外アドレス] に入力した IP アドレスを持つ機器とだけ通信（送信／受信）し、それ以外の IP アドレスを持つ機器との通信は制限します。

2 例外アドレスを設定する

- [登録するアドレス] に IP アドレス（またはその範囲）を入力し、[追加] をクリックします。



ご注意ください

- IP アドレスを間違えて設定すると、リモート UI からアクセスできなくなることがあります。この場合は、操作パネルから<アドレスフィルター>を<OFF>にしてください。▶[アドレスフィルター\(P. 371\)](#)

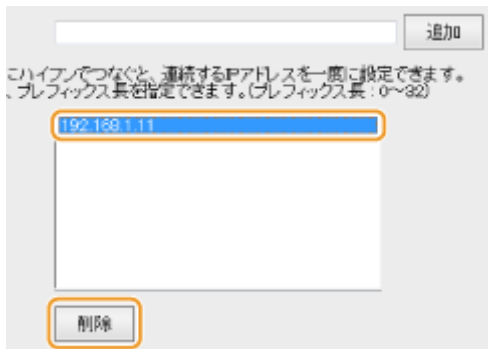


[デフォルトポリシー] の [拒否] を選んだとき

- ループバック／マルチキャスト／ブロードキャストアドレスは制限対象外です。

設定した IP アドレスを削除するとき

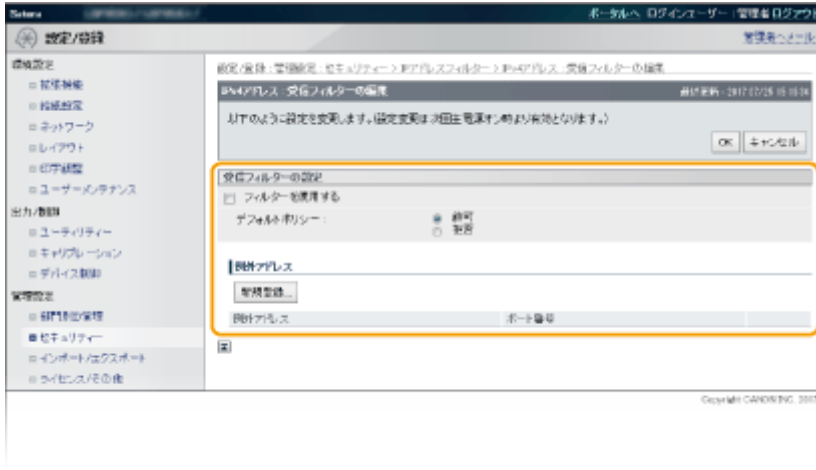
- 削除する IP アドレスを選び、[削除] をクリックします。



3 [OK] をクリックする

■受信フィルターの場合

[デフォルトポリシー] の [許可] を選ぶときは、本機との通信を制限する機器の IP アドレスを指定し、[デフォルトポリシー] の [拒否] を選ぶときは、本機と通信する機器の IP アドレスを指定します。



1 [新規登録] をクリックする

2 例外アドレスを設定する

- [登録するアドレス] に IP アドレス（またはその範囲）を入力します。
- ポート番号を設定する場合は、[ポート番号を指定する] にチェックマークを付け、[ポート番号] にポート番号を入力し、[追加] をクリックします。



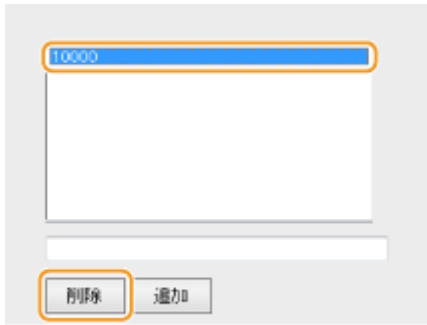
入力内容をよくお確かめください

- IP アドレスやポート番号を間違えて設定すると、リモート UI からアクセスできなくなることがあります。この場合は、操作パネルから<アドレスフィルター>を<OFF>にしてください。▶[アドレスフィルター \(P. 371\)](#)



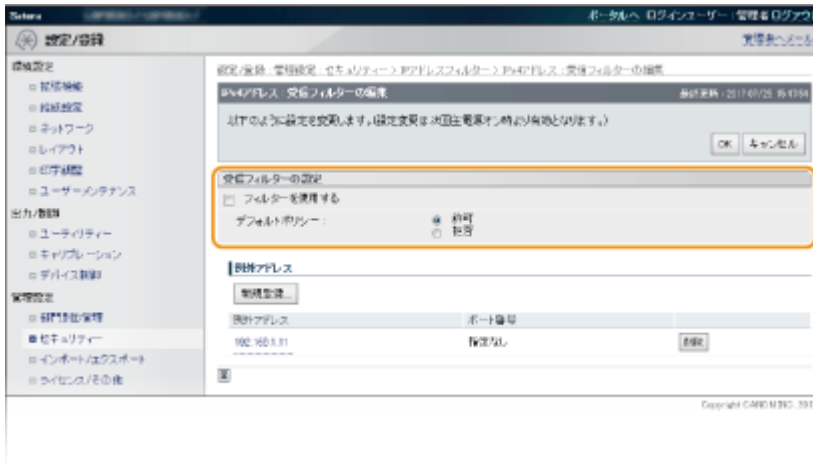
設定したポート番号を削除するとき

- 削除するポート番号を選び、[削除] をクリックします。



3 [OK] をクリックする

4 [フィルターを使用する] にチェックマークを付け、[デフォルトポリシー] の [許可] または [拒否] をクリックする



[フィルターを使用する]

チェックマークを付けると通信制限が有効になります。通信制限をしないときはチェックマークを外してください。

[デフォルトポリシー]

前提条件として本機との通信を許可するのか拒否するのを選択します。

[許可]	[例外アドレス] に入力した IP アドレスを持つ機器との通信 (送信/受信) を制限します。それ以外の IP アドレスを持つ機器とは通信可能です。
[拒否]	[例外アドレス] に入力した IP アドレスを持つ機器とだけ通信 (送信/受信) し、それ以外の IP アドレスを持つ機器との通信は制限します。



設定した IP アドレスを編集するとき

- [例外アドレス] のリンクをクリックし、必要に応じて設定を変更 ▶ [OK] をクリックします。

設定した IP アドレスを削除するとき

- 削除する IP アドレスの [削除] をクリックします。



5 [OK] をクリックする

6 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



MEMO

操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから IP アドレスによる通信制限を有効／無効に切り替えることもできます。▶ [アドレスフィルター\(P. 371\)](#)



関連項目

- ▶ [MAC アドレスでファイアウォールを設定する\(P. 247\)](#)

MAC アドレスでファイアウォールを設定する

55S7-03E

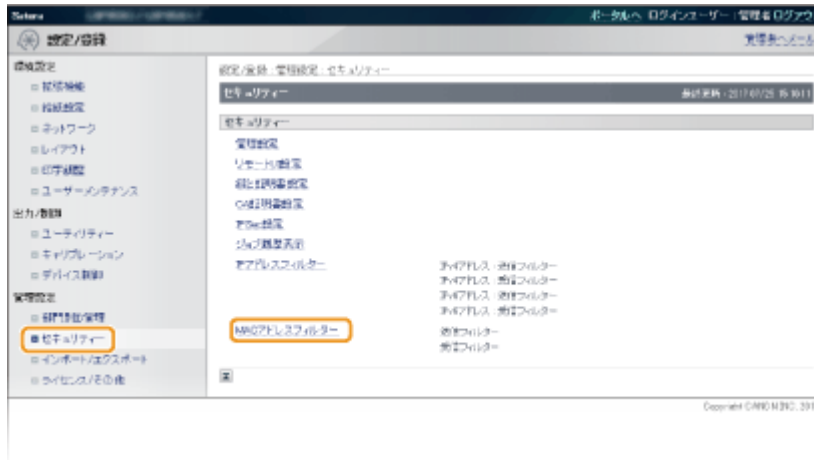
指定した MAC アドレスを持つ機器との通信だけを許可し、それ以外の機器との通信を拒否します。逆に、特定の MAC アドレスを持つ機器との通信だけを拒否し、それ以外は許可することもできます。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [MAC アドレスフィルター] をクリックする



4 設定したいフィルターの [編集] をクリックする



[送信フィルター]

MAC アドレスを指定して本機からパソコンへのデータ送信を制限します。

[受信フィルター]

MAC アドレスを指定してパソコンからのデータ受信を制限します。

5 フィルターを設定する

- まず前提条件として「本機との通信を許可するのか、拒否するのか」のデフォルトポリシーを選択し、次に例外とする通信機器を MAC アドレスで指定します。



- [フィルターを使用する] にチェックマークを付け、[デフォルトポリシー] の [許可] または [拒否] をクリックします。

[フィルターを使用する]

チェックマークを付けると通信制限が有効になります。通信制限をしないときはチェックマークを外してください。

[デフォルトポリシー]

前提条件として本機との通信を許可するのか拒否するののかを選択します。

[許可]	[例外アドレス] に入力した MAC アドレスを持つ機器との通信（送信／受信）を制限します。それ以外の MAC アドレスを持つ機器とは通信可能です。
[拒否]	[例外アドレス] に入力した MAC アドレスを持つ機器とだけ通信（送信／受信）し、それ以外の MAC アドレスを持つ機器との通信は制限します。

2 例外アドレスを設定します。

- [登録するアドレス] に MAC アドレスを入力し、[追加] をクリックします。
- アドレスは「-」（ハイフン）や「:」（コロン）で区切らずに入力してください。



入力内容をよくお確かめください

- MAC アドレスを間違えて設定すると、リモート UI からアクセスできなくなることがあります。この場合は、操作パネルから<アドレスフィルター>を<OFF>にしてください。▶[アドレスフィルター\(P. 371\)](#)

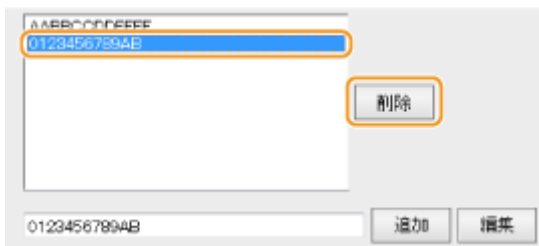


[デフォルトポリシー] の [拒否] を選んだとき

- マルチキャストおよびブロードキャストアドレスは制限対象外です。

設定した MAC アドレスを削除するとき

- 削除する MAC アドレスを選び、[削除] をクリックします。



3 [OK] をクリックします。

6 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



▶▶▶ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから MAC アドレスによる通信制限を有効/無効に切り替えることもできます。▶[アドレスフィルター\(P. 371\)](#)



-
- ◉ IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 241)

プロキシを設定する

55S7-03F

プロキシ（HTTP プロキシサーバー）とは、おもにウェブサイトの閲覧などでネットワークの外にある機器との HTTP 通信を代行するパソコンやソフトウェアなどのことです。ネットワーク外部に直接通信するのではなく、プロキシサーバーを中継して外部に接続します。プロキシを設定することで、外部ネットワークとの通信管理がしやすくなるだけでなく、不正アクセスの遮断やウィルス対策の集約化など、セキュリティを強化できます。Google Cloud Print を利用するときは、プロキシを設定しておくインターネットを介した印刷における安全性の向上が期待できます。プロキシサーバーのアドレスやポート番号、認証情報などはあらかじめ確認しておいてください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



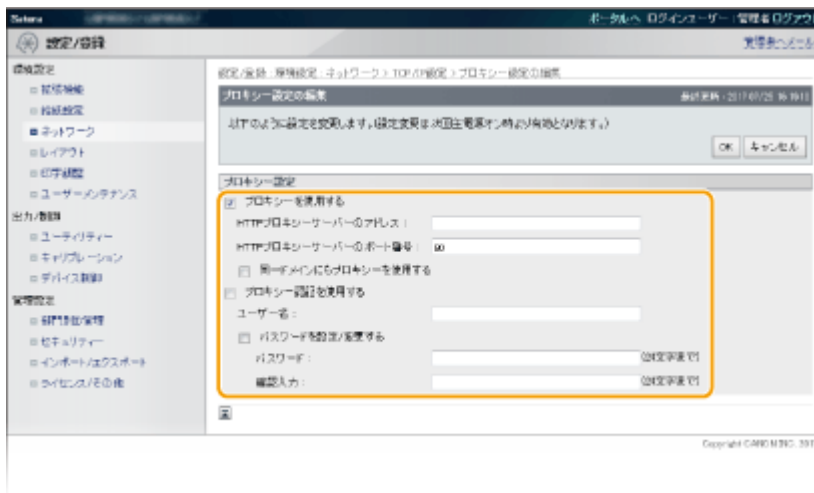
3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 [プロキシ設定] にある [編集] をクリックする



5 [プロキシを使用する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力する



[プロキシを使用する]

チェックマークを付けると、本機が HTTP 通信するときは指定したプロキシサーバーが使用されます。

[HTTP プロキシサーバーのアドレス]

使用するプロキシサーバーのアドレスを入力します。お使いの環境に応じて IP アドレスやホスト名などを設定してください。

[HTTP プロキシサーバーのポート番号]

使用するプロキシサーバーのポート番号を入力します。

[同一ドメインにもプロキシを使用する]

チェックマークを付けると、同じドメインにある機器と通信するときにも指定したプロキシサーバーが使用されます。

[プロキシ認証を使用する]

プロキシサーバーの認証機能を使用するときはチェックマークを付け、[ユーザー名] に認証するユーザー名を半角英数字で入力します。

[パスワードを設定/変更する]

プロキシ認証を使用する場合にパスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

6 [OK] をクリックする

7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



MEMO

操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューでプロキシの設定を行うこともできます。▶ [プロキシ設定\(P. 361\)](#)



関連項目

- ▶ [Google Cloud Print を使う\(P. 151\)](#)

機能を制限する

55S7-03H

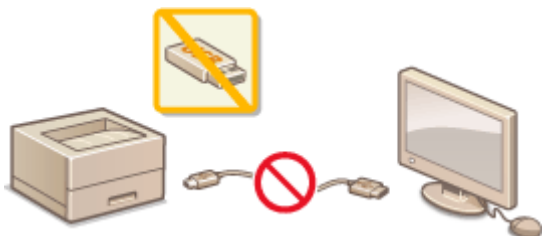
使用頻度が低い機能や悪用される恐れのある機能に対して使用条件を設定し、機能を制限することができます。また、機能自体を完全に使えなくすることもできます。

印刷を制限する



- ▶印刷動作を制限する(P. 255)

USB の使用を制限する



- ▶USB の使用を制限する(P. 258)

操作パネルの使用を制限する



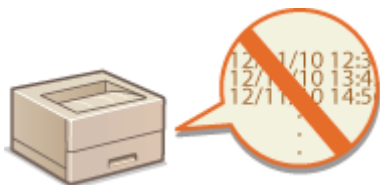
- ▶操作パネルの使用を制限する(P. 261)

HTTP 通信などのネットワークの使用を制限する



- ▶HTTP 通信を無効にする(P. 264)
- ▶リモート UI を無効にする(P. 265)
- ▶LAN ポートを無効にする(P. 266)

印刷履歴を非表示にする



- ▶印刷履歴を非表示にする(P. 267)

印刷動作を制限する

55S7-03J

受信した印刷データを自動的に印刷しないように設定することで、用紙の無駄を減らしたり、第三者が使用できないようにしたりできます。この機能を使うためには、オプションのSDカードの装着が必要です。▶SDカードを取り付ける(P.648)



MEMO

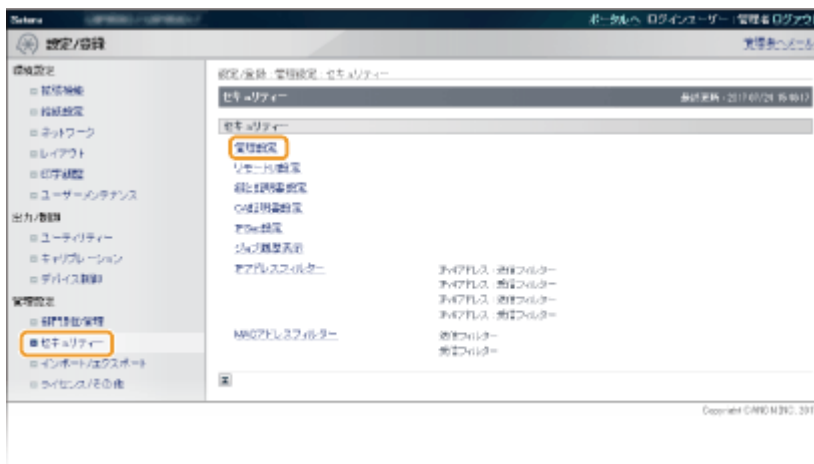
- 印刷動作を制限したときも設定リストやレポートのプリントを行うことはできます。▶レポートとリストをプリントする(P.573)

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P.308)

2 [設定/登録] をクリックする



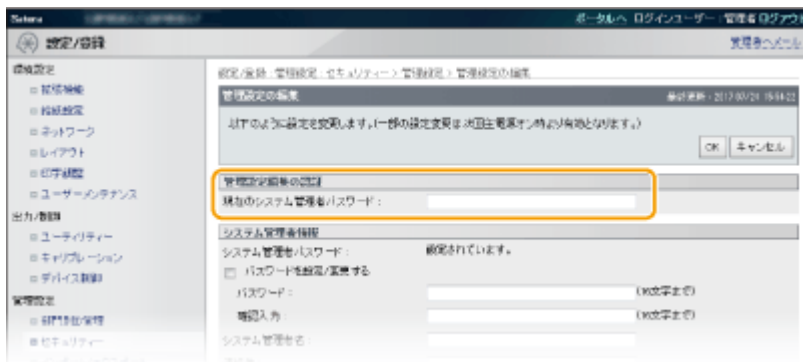
3 [セキュリティ] ▶ [管理設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [現在のシステム管理者パスワード] に管理者パスワードを入力する



6 [プリンタジョブを制限する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする



[プリンタジョブを制限する]

チェックマークを付けると本機の印刷動作を制限します。制限をしないときはチェックマークを外します。

7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



MEMO

印刷動作を制限したとき

- プリンタードライバーからは保存ジョブプリントのみが可能です。▶ **文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）（P. 105）**
- リモート UI からは PDF ファイルまたは XPS ファイルをボックスに保存する印刷のみが可能です。▶ **ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）（P. 115）**
- USB メモリーからのメディアプリントや E メール印刷はできません。



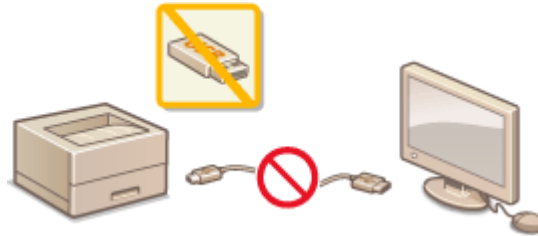
関連項目

- ▶ **文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）（P. 105）**

USB の使用を制限する

55S7-03K

USB 接続は、周辺機器とのデータ共有を手軽でかんたんなものにしますが、適切に管理されていない環境下では逆に情報漏えいの手段として悪用される恐れがあります。特に、USB メモリーの運用には注意が必要です。ここでは、本機の USB ポートを使った接続の制限や、USB メモリーの使用を禁止する方法を紹介します。



- ▶ パソコンとの USB 接続を制限する (P. 258)
- ▶ USB メモリーからの印刷を制限する (LBP853Ci / LBP852Ci) (P. 259)

パソコンとの USB 接続を制限する

本体の左側面にあるパソコン接続用の USB ポートを使えないようにします。パソコンとの USB 接続はできなくなりますが、本体右側面の USB ポート (LBP853Ci / LBP852Ci のみ) に USB メモリーを接続して使うことはできます。

- 1 ▶ (セットアップ) を押す
- 2 ▲ / ▼ で < インターフェイス > を選び、**OK** を押す
- 3 < インターフェイス選択 > を選び、**OK** を押す
 - メッセージが表示されたら、**OK** を押します。
- 4 < USB > を選び、**OK** を押す
- 5 < OFF > を選び、**OK** を押す



a < OFF >

左側面の USB ポートを使ったパソコン接続はできません。

b < ON >

左側面の USB ポートを使ってパソコン接続できます。

6 ハードリセットする ◀ハードリセットする(P. 510)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。

USB メモリーからの印刷を制限する (LBP853Ci / LBP852Ci)

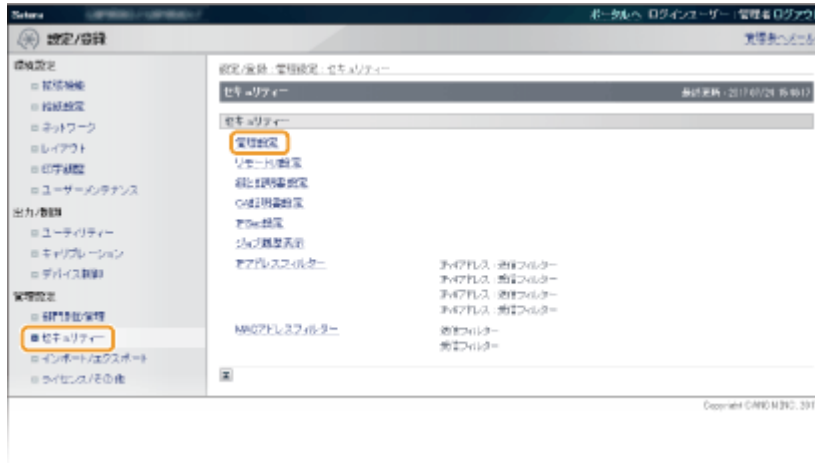
USB メモリーからデータを読み出しできないようにします。USB メモリーにあるデータは印刷できません。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



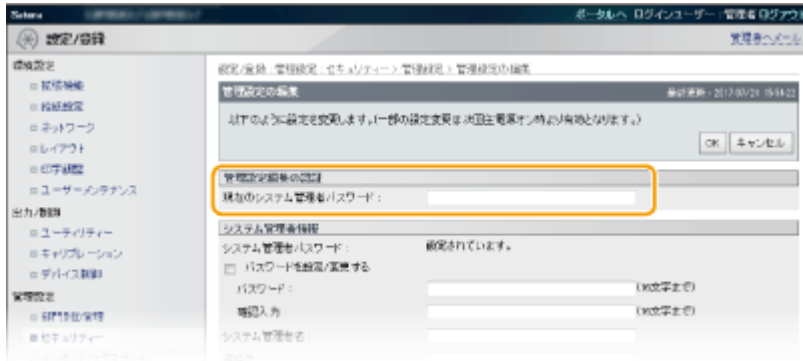
3 [セキュリティ] ▶ [管理設定] をクリックする



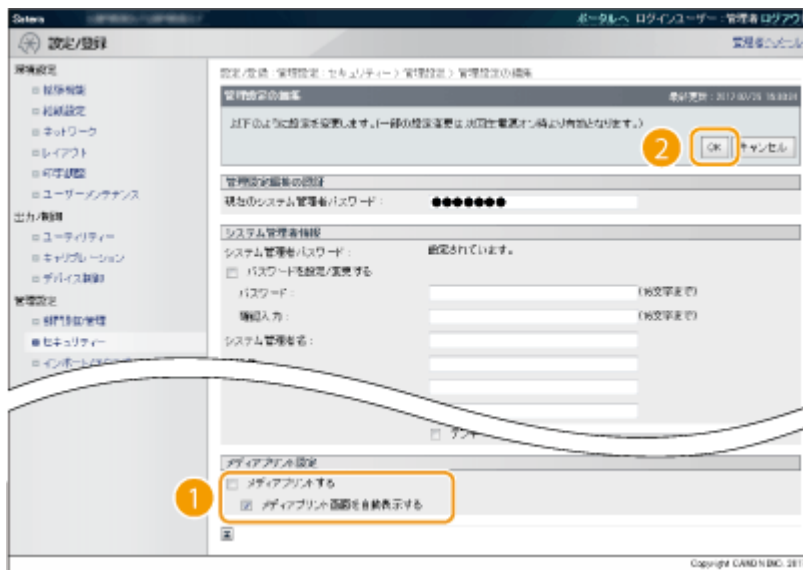
4 [編集] をクリックする



5 [現在のシステム管理者パスワード] に管理者パスワードを入力する



6 [メディアプリントする] のチェックマークを外し、[OK] をクリックする



[メディアプリントする]

チェックマークを外すと USB メモリーから直接印刷できなくなります。USB メモリーからの印刷を許可するときはチェックマークを付けます。[メディアプリント画面を自動表示する] にもチェックマークを付けると、USB メモリーを本機に取り付けたときにメディアプリントの画面が自動的に表示されるようになります。



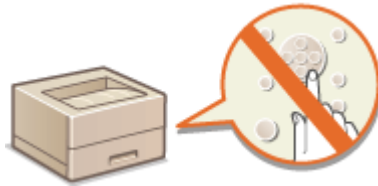
関連項目

- USB メモリーから印刷する (メディアプリント) (P. 89)

操作パネルの使用を制限する

55S7-03L

操作パネルのキーの使用を制限し、本機の設定が不用意に変更されるのを防ぎます。

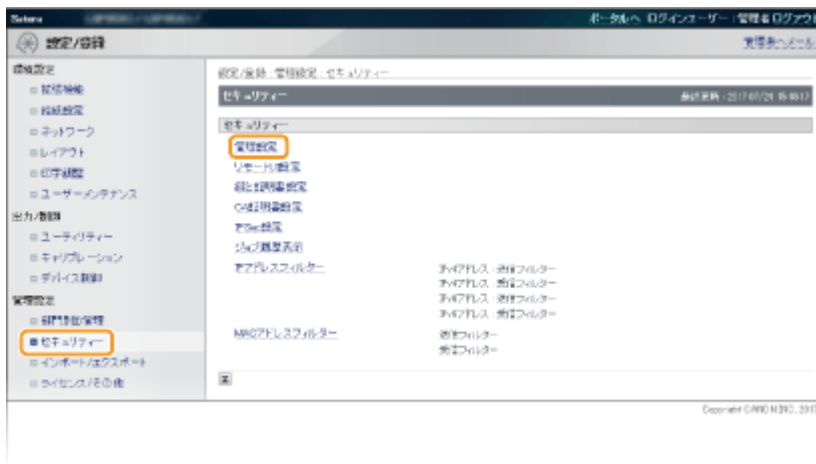


1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



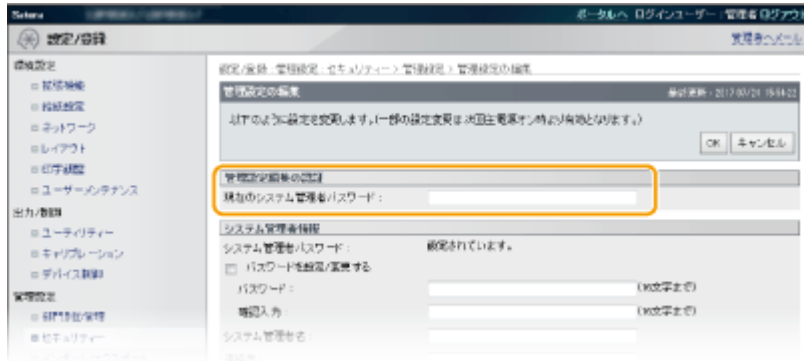
3 [セキュリティ] ▶ [管理設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [現在のシステム管理者パスワード] に管理者パスワードを入力する




6 使用を制限したいキーにチェックマークを付け、[OK] をクリックする



[ロックするキー]

チェックマークを付けたキーは、操作パネルで押しても動作しなくなります。使用制限を解除するときはチェックマークを外します。セットアップキーのロックは操作パネルで行うこともできます (▶管理設定(P. 347))。



- 各キーの機能について  **操作パネル(P. 27)**

HTTP 通信を無効にする

55S7-03R

HTTP はリモート UI から本機を操作するときなどに使われます。ネットワークを使用せず USB 接続で本機をお使いの場合や、HTTP 通信を使用しない場合は、その機能を無効にすることで、悪意のある第三者が未使用ポートから本機に侵入する危険性を減らすことができます。



- HTTP 通信を無効にすると、リモート UI の操作や WSD 印刷、Google Cloud Print での印刷などのネットワークを介した操作ができなくなります。

1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲ / ▼ で < ネットワーク > を選び、**OK** を押す

- メッセージが表示されたら、**OK** を押します。

3 < TCP/IP 設定 > ▶ < HTTP > の順に進む

4 < OFF > を選び、**OK** を押す



a < OFF >

HTTP 通信を無効にします。

b < ON >

HTTP 通信を有効にします。

5 ハードリセットする ◀ ハードリセットする (P. 510)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



関連項目

- ▶ リモート UI を使う (P. 307)
- ▶ メーカー共通のドライバーを使用して印刷する (BMLinkS) (P. 135)
- ▶ 印刷プロトコルや Web サービスの設定をする (P. 173)
- ▶ Google Cloud Print を使う (P. 151)
- ▶ XPS プリンタードライバーを使用しているとき (P. 234)

リモート UI を無効にする

55S7-03S

リモート UI を使うとパソコンのウェブブラウザから本機の設定を行うことができ便利ですが、そのためには本機とパソコンがネットワーク上で接続されていなければなりません。ネットワークを使わずに USB 接続で本機をお使いの場合はリモート UI を無効にすることができます。また、リモート UI を使う必要がない場合も、機能を無効にすることでネットワークを介した不正な遠隔操作などのリスクを低減し、セキュリティ効果を高めることができます。



1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲ / ▼ で <ネットワーク> を選び、**OK** を押す

- メッセージが表示されたら、**OK** を押します。

3 <リモート UI 設定> ▶ <リモート UI > の順に進む

4 <OFF > を選び、**OK** を押す



a <OFF >

リモート UI を無効にします。

b <ON >

リモート UI を有効にします。

5 ハードリセットする ◀ハードリセットする(P. 510)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



関連項目

- ▶ リモート UI を使う(P. 307)
- ▶ HTTP 通信を無効にする(P. 264)

LAN ポートが無効にする

55S7-03U

LAN ポートは、ネットワークを使用するために LAN ケーブルを接続するインターフェイスです。USB 接続で本機をお使いの場合であれば、LAN ポートが無効にすることでネットワークが完全に遮断されるので、悪意のある第三者が本機に侵入する危険性をなくすことができます。



- 1 ▶ (セットアップ) を押す
- 2 ▲ / ▼ で <インターフェイス> を選び、**OK** を押す
- 3 <インターフェイス選択> を選び、**OK** を押す
 - メッセージが表示されたら、**OK** を押します。
- 4 <ネットワーク> を選び、**OK** を押す
- 5 <OFF> を選び、**OK** を押す



- a** <OFF>
LAN ポートが無効にします。
 - b** <ON>
LAN ポートを有効にします。
- 6 ハードリセットする ▶ ハードリセットする(P. 510)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。

印刷履歴を非表示にする

55S7-03W

ユーザーのプライバシーを守るために、印刷履歴をリモート UI に表示しないようにしたり、印刷履歴リストをプリントできないようにしたりすることができます。非表示に設定しても印刷履歴は保持されているので、必要なときは管理者が履歴を確認することができます。

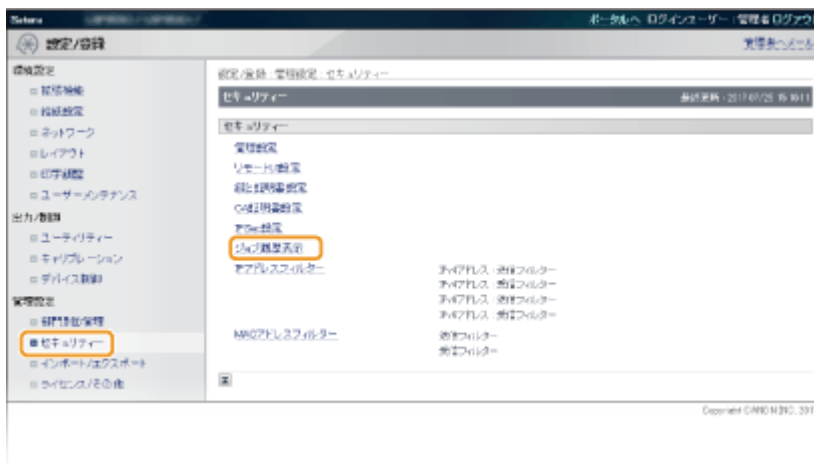


1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



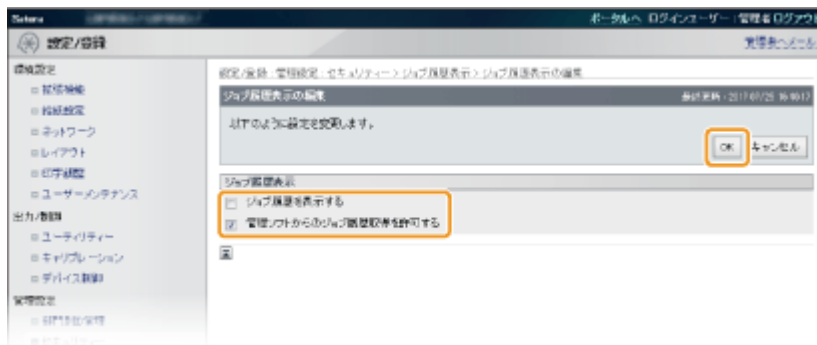
3 [セキュリティ] ▶ [ジョブ履歴表示] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [ジョブ履歴を表示する] のチェックマークを外し、[OK] をクリックする



[ジョブ履歴を表示する]

チェックマークを外すとリモート UI に印刷履歴が表示されなくなり、印刷履歴リストのプリントもできなくなります。印刷履歴を表示するときはチェックマークを付けてください。

[管理ソフトからのジョブ履歴取得を許可する]

チェックマークを付けると imageWARE Enterprise Management Console などのデバイス管理ソフトウェアで印刷履歴を取得することができます。管理ソフトが印刷履歴を取得できないようにするときはチェックマークを外してください。[ジョブ履歴を表示する] にチェックマークを付けた場合は自動的に本機能が有効となります。



関連項目

- ▶ 文書の履歴を確認する(P. 318)
- ▶ ジョブメニュー(P. 508)

強固なセキュリティ機能を導入する

55S7-03X

悪意のある第三者による通信内容の盗聴や改ざん、なりすまし…。これらは正規ユーザーに想定外の損失をもたらす恐れがあります。大切なデータや情報を守るため、本機にはネットワークのセキュリティを高めるさまざまな対策が用意されています。

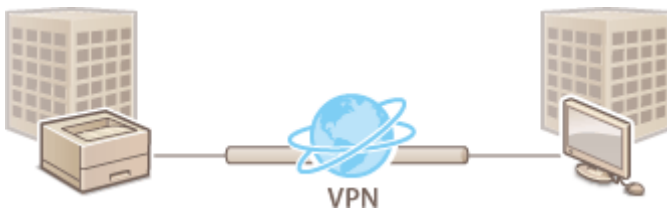
TLS 暗号化通信

ウェブブラウザや電子メールクライアントなどでデータを暗号化してネットワーク上で送受信する方法です。TLS 暗号化を使えば、リモート UI などからパソコンから本機にアクセスするときも安全に通信できるようになります。▶ [TLS で暗号化通信をする\(P. 271\)](#)



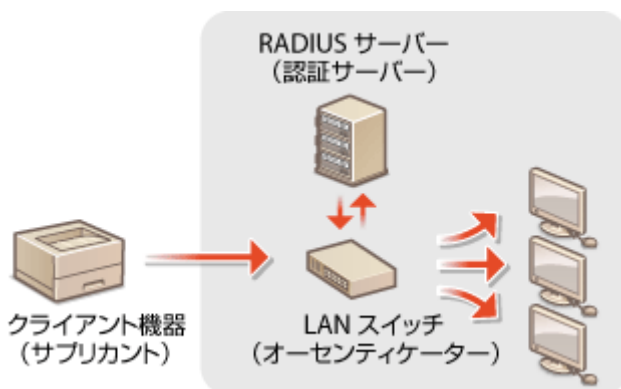
IPSec 通信 LBP853Ci / LBP852Ci

TLS 暗号化通信はウェブブラウザや電子メールクライアントなど、特定のアプリケーションで暗号化する技術ですが、IPSec 通信は IP プロトコルのレベルで暗号化を行います。そのため、さらに汎用性の高いセキュリティを実現できます。▶ [IPSec の設定をする\(P. 276\)](#)



IEEE 802.1X 認証

IEEE 802.1X を導入したネットワークに機器を接続して通信を始めようとすると、まずその機器が正しいユーザーであるかどうか確認されます。確認は RADIUS サーバーに問い合わせることで行われ、正しいユーザーであれば認証されます。認証が下りないかぎり LAN スイッチは機器からの通信要求を遮断します。このようなネットワークに本機はクライアントとして接続できます。▶ [IEEE 802.1X 認証の設定をする\(P. 286\)](#)



🔑 鍵ペアと電子証明書の設定をする(P. 292)

TLS で暗号化通信をする

55S7-03Y

リモート UI によるパソコンのウェブブラウザとの通信やインターネットを經由して印刷する IPP 印刷を Transport Layer Security (TLS) を使って暗号化できます。TLS はネットワーク上で情報を暗号化して送受信するための仕組みです。リモート UI を使って IPSec 通信 (事前共有鍵方式) (LBP853Ci / LBP852Ci のみ) の設定をしたり、IEEE 802.1X 認証 (TTLS/PEAP) や SNMPv3 の設定をしたりするときは TLS を有効にする必要があります。TLS 暗号化通信を行うには、使用する鍵ペアを指定してから TLS を有効にします。使用する鍵ペアはあらかじめ用意しておいてください (**鍵ペアと電子証明書の設定をする(P. 292)**)。



- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **リモート UI を起動する(P. 308)**
- 2 **[設定/登録]** をクリックする



- 3 **[ネットワーク]** ▶ **[TCP/IP 設定]** をクリックする



- 4 **[TLS 設定]** にある **[編集]** をクリックする



5 TLS 設定を編集する



【鍵と証明書設定 :】

鍵と証明書の一覧から使用する鍵を選びます。

- 鍵と証明書の一覧から使用する鍵を選んだあと、[使用鍵設定] をクリックしてください。



証明書の内容を確認するには

- [鍵の名前] のリンクか証明書のアイコンをクリックすると、証明書の詳細情報確認や検証ができます。▶ **鍵ペアと CA 証明書を検証する(P. 304)**

【使用鍵設定】が表示されない場合

- すでに [リモート UI 設定] または [IPP 印刷の設定] で TLS が有効になっている場合は表示されません。使用する鍵を変更する場合は手順 6 を参照し、[リモート UI 設定] または [IPP 印刷の設定] の [TLS を使用する] のチェックマークを外してください。

[使用可能なバージョン:]

TLS で使用可能なバージョンを選びます。

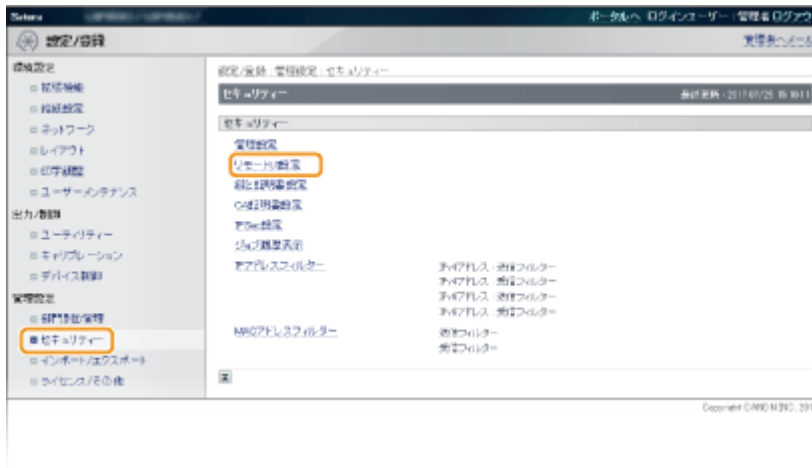
[使用を制限する暗号化アルゴリズム:]

TLS で使用を制限したい暗号化アルゴリズムを選びます。制限しない場合は [なし] を選んでください。

6 TLS を有効にする

■ リモート UI の通信に TLS を使う

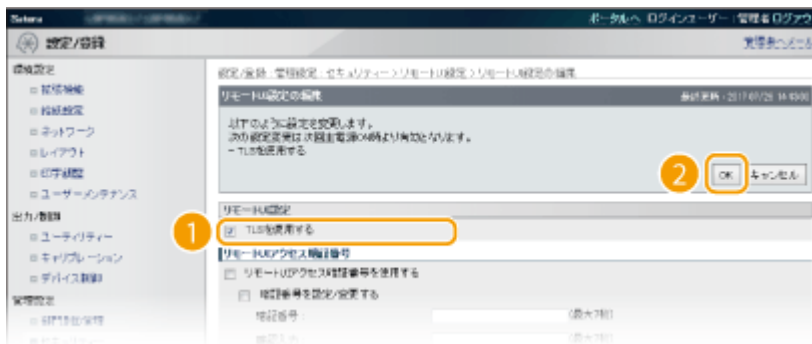
1 [セキュリティ] ▶ [リモート UI 設定] をクリックする



2 [編集] をクリックする



3 [TLS を使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする



[TLS を使用する]

リモート UI の通信に TLS を使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

■暗号化通信できる機能に TLS を使う

IPP 印刷するときを使う場合


TLS を使用して IPP 印刷するときを設定します。その他の IPP 印刷の設定については、**▶印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 173)** を参照してください。



[ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPP 印刷の設定] にある [編集] ▶ [TLS を使用する] にチェックマークを付ける ▶ [OK]

BMLinkS で印刷するときを使う場合

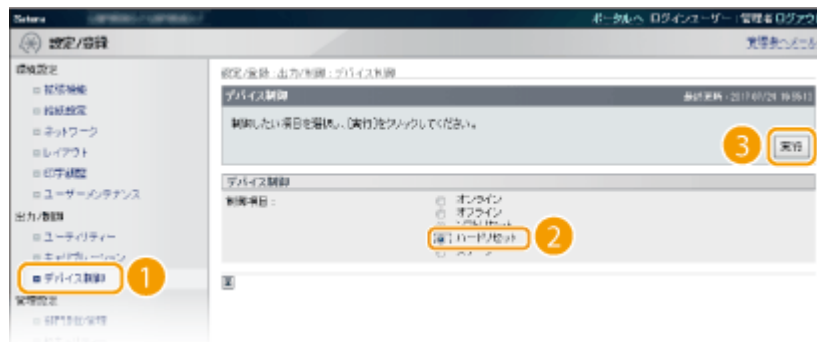
TLS を使用して BMLinkS で印刷するときを設定します。その他の BMLinkS の設定については、**▶メーカー共通のドライバを使用して印刷する (BMLinkS) (P. 135)** を参照してください。



[ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [BMLinkS 設定] にある [編集] ▶ [TLS を使用する] にチェックマークを付ける ▶ [OK]

7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



▶▶ ハードリセット後に設定が有効となります。

MEMO

操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューからリモート UI の TLS 暗号化通信を有効/無効に切り替えることもできます。**▶リモート UI 設定(P. 369)**

TLS を有効にしてリモート UI を起動したとき

- TLS 有効時にリモート UI を起動すると、セキュリティー証明書に関する警告メッセージが表示されることがあります。この場合はアドレス入力欄に入力した URL に間違いがないか確認してから、操作を続行してください。**▶リモート UI を起動する(P. 308)**



関連項目

- ▶ [鍵ペアを生成する\(P. 293\)](#)
- ▶ [認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う\(P. 301\)](#)
- ▶ [IPSec の設定をする\(P. 276\)](#)
- ▶ [IEEE 802.1X 認証の設定をする\(P. 286\)](#)
- ▶ [SNMP で監視／制御する\(P. 206\)](#)

IPSec の設定をする LBP853Ci / LBP852Ci

55S7-097

IP Security Protocol (IPSec) はインターネットなどのネットワークで暗号化通信をするためのプロトコルです。TLS 暗号化通信がウェブブラウザや電子メールクライアントなど、特定のアプリケーションで暗号化する技術であるのに対し、IPSec 通信は IP プロトコルのレベルで暗号化を行いますので、より汎用性の高いセキュリティを実現できます。本機の IPSec はパケットの IP ヘッダーを除いた部分だけを暗号化するトランスポートモードに対応し、本機と同じ VPN (仮想プライベートネットワーク) を構成するパソコンと直接接続します。あらかじめパソコン側の設定を済ませておいてください。



- ▶セキュリティポリシーを登録する(P. 276)
- ▶IPSec 通信を有効にする(P. 284)



IP アドレスフィルターと IPSec を併用するとき

- 受信では IPSec、送信では IP アドレスフィルターの設定が先に適用されます。▶IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 241)

セキュリティポリシーを登録する

本機で IPSec を使った暗号化通信を行うには、最初にセキュリティポリシー (SP) を作成してから、IPSec 設定を有効 (▶IPSec 通信を有効にする(P. 284)) に設定する必要があります。ポリシーはおもに次の内容で構成されます。IP アドレスやポート番号の組み合わせによって、複数のポリシーを登録することができます。複数のポリシーを作成した場合は、優先順位を設定します。

セレクター

どの IP パケットに IPSec 通信を適用するかを設定します。本機や通信相手側の IP アドレスだけでなく、ポート番号も指定できます。

IKE

鍵交換プロトコルとして使用する IKEv1 の設定をします。選択する認証方式によって必要な準備や設定方法が異なりますのでご注意ください。

[事前共有鍵方式]

本機と通信相手とで共有鍵と呼ばれる共通のキーワードを使用する認証方式です。あらかじめリモート UI の通信に TLS を使えるように設定しておいてください (▶TLS で暗号化通信をする(P. 271))。

[電子署名方式]

本機と通信相手側が電子署名を互いに送信／検証し合って相互認証を行います。使用する鍵ペアを用意しておいてください (▶認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う(P. 301))。

プロトコルやオプションの設定

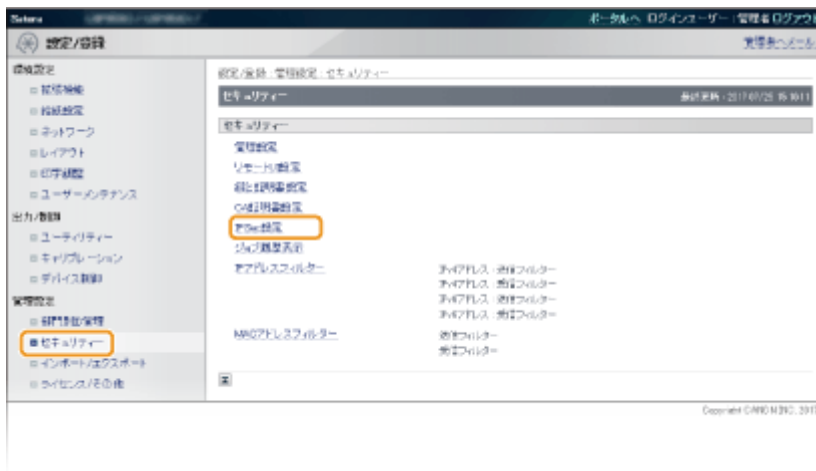
IPSec 通信で使用する ESP と AH という 2 つのプロトコルの設定をします。ESP と AH を併用することはできません。PFS を使用すればセキュリティをさらに強化できます。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [IPSec 設定] をクリックする



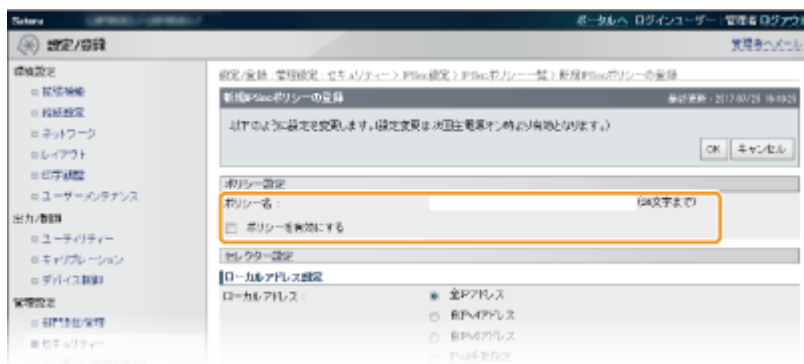
4 [IPSec ポリシー一覧] をクリックする



5 [新規 IPsec ポリシーの登録] をクリックする



6 [ポリシー名] を入力し、[ポリシーを有効にする] にチェックマークを付ける



[ポリシー名]

ポリシーを区別するための名称を半角英数字で入力します。

[ポリシーを有効にする]

ポリシーを有効にするときはチェックマークを付けます。このポリシーを使用しない場合はチェックマークを外してください。

7 セレクトターの設定をする



[ローカルアドレス]

ポリシーを適用する本機の IP アドレスの種類を、次の中から選びます。

[全 IP アドレス]	すべての IP パケットに IPSec を適用します。
[自 IPv4 アドレス]	本機の IPv4 アドレスを使って送受信するすべての IP パケットに IPSec を適用します。
[自 IPv6 アドレス]	本機の IPv6 アドレスを使って送受信するすべての IP パケットに IPSec を適用します。
[IPv4 手動指定]	IPSec を適用する IPv4 アドレスを単独または範囲で入力指定します。[手動指定アドレス] に IPv4 アドレス（またはその範囲）を入力してください。
[IPv6 手動指定]	IPSec を適用する IPv6 アドレスを単独または範囲で入力指定します。[手動指定アドレス] に IPv6 アドレス（またはその範囲）を入力してください。

[手動指定アドレス]

[ローカルアドレス] で [IPv4 手動指定] または [IPv6 手動指定] を選んだときは、ポリシーを適用する IP アドレスを入力します。

[サブネット指定]

手動で IPv4 アドレスの範囲を指定する場合、サブネットマスクを使って範囲を設定することもできます。サブネットマスクは「.」（ピリオド）で数字を区切って入力します（入力例：「255.255.255.240」）。

[リモートアドレス]

ポリシーを適用する通信相手側の IP アドレスの種類を、次の中から選びます。

[全 IP アドレス]	すべての IP パケットに IPSec を適用します。
[全 IPv4 アドレス]	IPv4 アドレスを使って送受信するすべての IP パケットに IPSec を適用します。
[全 IPv6 アドレス]	IPv6 アドレスを使って送受信するすべての IP パケットに IPSec を適用します。
[IPv4 手動指定]	IPSec を適用する IPv4 アドレスを単独または範囲で入力指定します。[手動指定アドレス] に IPv4 アドレス（またはその範囲）を入力してください。

[IPv6 手動指定]	IPSec を適用する IPv6 アドレスを単独または範囲で入力指定します。[手動指定アドレス] に IPv6 アドレス（またはその範囲）を入力してください。
-------------	---

[手動指定アドレス]

[リモートアドレス] で [IPv4 手動指定] または [IPv6 手動指定] を選んだときは、ポリシーを適用する IP アドレスを入力します。

[サブネット指定]

手動で IPv4 アドレスの範囲を指定する場合、サブネットマスクを使って範囲を設定することもできます。サブネットマスクは「.」（ピリオド）で数字を区切って入力します（入力例：「255.255.255.240」）。

[ローカルポート] / [リモートポート]

HTTP や SMTP など、プロトコルごとに IPSec 通信をする / しないを判断するポリシーを作成したいときは、[単一指定] をクリックしてポリシーを適用するプロトコルのポート番号をローカル（本機側） / リモート（通信相手側）で入力します。



- マルチキャスト / ブロードキャストアドレスを指定したパケットは、IPSec が適用されません。

8 IKE の設定をする



[IKE モード]

鍵交換プロトコルの動作モードです。通常は「メインモード」を選びます。



- 「アグレッシブモード」は、IP アドレスが固定されていない場合などに設定しますが、「メインモード」よりもセキュリティが低くなります。

[認証方式]

本機の認証方法を [事前共有鍵方式] または [電子署名方式] から選んで設定します。



- [IKE モード] で「アグレッシブモード」を選んでいるときは、[事前共有鍵方式] では共有鍵が暗号化されません。

[認証/暗号化アルゴリズム]

鍵交換で使用するアルゴリズムを自動で設定するときは「自動指定する」にチェックマークを付けます。チェックマークを付けると、アルゴリズムは次のように設定されます。

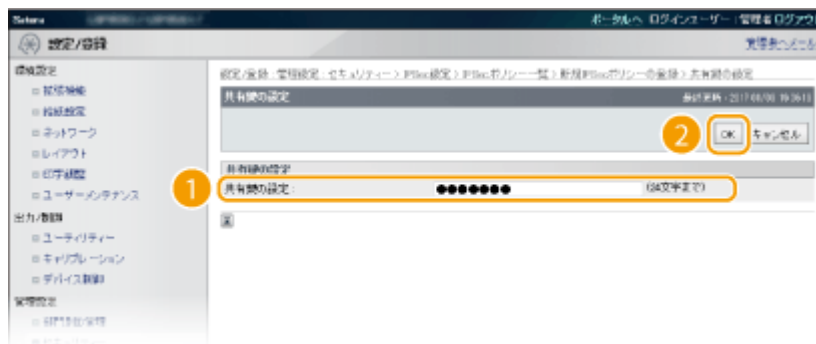
[認証]	[SHA1 と MD5]
[暗号]	[3DES-CBC と AES-CBC]
[DH グループ]	[Group2(1024)]

手動で設定する場合は「自動指定する」のチェックマークを外し、アルゴリズムを選びます。

[認証]	ハッシュアルゴリズムを選びます。
[暗号]	暗号化アルゴリズムを選びます。
[DH グループ]	鍵の強度を決定する Diffie-Hellman グループを選びます。

■ 「事前共有鍵方式」で認証する

- 1 「認証方式」で「事前共有鍵方式」を選び、「共有鍵の設定」をクリックする
- 2 共有鍵として使用する文字列を半角英数字で入力し、「OK」をクリックする



■ 「電子署名方式」で認証する

- 1 「認証方式」で「電子署名方式」を選び、「鍵と証明書」をクリックする
- 2 使用する鍵ペアを選び、「使用鍵設定」をクリックする



証明書の内容を確認するには

- [鍵の名前] のリンクが証明書のアイコンをクリックすると、証明書の詳細情報確認や検証ができます。▶
鍵ペアと CA 証明書を検証する(P. 304)

9 IPSec 通信の設定をする



[PFS を使用する]

セッションキーに対して Perfect Forward Secrecy (PFS) を設定するときはチェックマークを付けます。PFS を使用するとより安全ですが、通信に負荷がかかります。通信相手の機器でも PFS が有効であることをあらかじめ確認しておいてください。PFS を使用しない場合はチェックマークを外してください。

[有効期間]

データ用通信路として使用する SA の有効期間を設定します。必要に応じて [時間で指定する] と [サイズで指定する] のどちらか片方または両方にチェックマークを付けます。両方にチェックマークを付けると、設定した値に先に達した方が適用されます。

[時間で指定する]	有効期間を分単位で入力します。IPSec SA および IKE SA の両方に適用されます。
[サイズで指定する]	有効期間をメガバイト単位で入力します。IPSec SA だけに適用されます。



[サイズで指定する] だけにチェックマークを付けたとき

- IKE SA の有効期間はサイズの指定ができないため、[時間で指定する] の初期値 (480 分) が適用されます。

[認証/暗号化アルゴリズム]

IPSec 通信で使用するプロトコルとそのアルゴリズムを選びます。

■ 自動で設定するとき

[自動] を選択します。

[ESP 認証]	ESP が有効となり、認証アルゴリズムは [SHA1 と MD5] に設定されます。
[ESP 暗号]	ESP が有効となり、暗号化アルゴリズムは [3DES-CBC と AES-CBC] に設定されます。

■ ESP を使用するとき

[ESP] を選択し、認証および暗号化のアルゴリズムを選びます。

[ESP 認証]	ESP による認証で使用するハッシュアルゴリズムを選びます。
[ESP 暗号]	ESP の暗号化アルゴリズムを選びます。

■AHを使用するとき

[AH] を選択し、[AH 認証] から AH による認証で使用するハッシュアルゴリズムを選びます。

[接続モード]

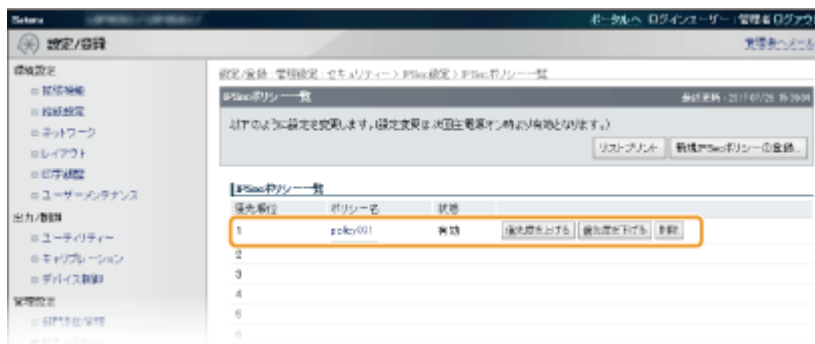
IPSec の接続モードです。本機は IP ヘッダーを除いた部分だけを暗号化する「トランスポートモード」に対応しますが、IP パケット全体を暗号化する「トンネルモード」には対応していません。

10 [OK] をクリックする

- 他のポリシーを登録するときは、手順 5 に戻ります。

11 [IPSec ポリシー一覧] に一覧表示されているポリシーの優先順位を設定する

- 送受信するパケットに IPSec 通信を適用するかどうかの判断は、上位のポリシーから優先的に行われます。[優先度を上げる] または [優先度を下げる] をクリックしてポリシーの位置を上下してください。



ポリシーを編集するとき

- [ポリシー名] のリンクをクリックすると、設定内容の編集ができます。

ポリシーを削除するとき

- 削除したいポリシーの右側にある [削除] をクリックします。

12 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。

IPSec 通信を有効にする

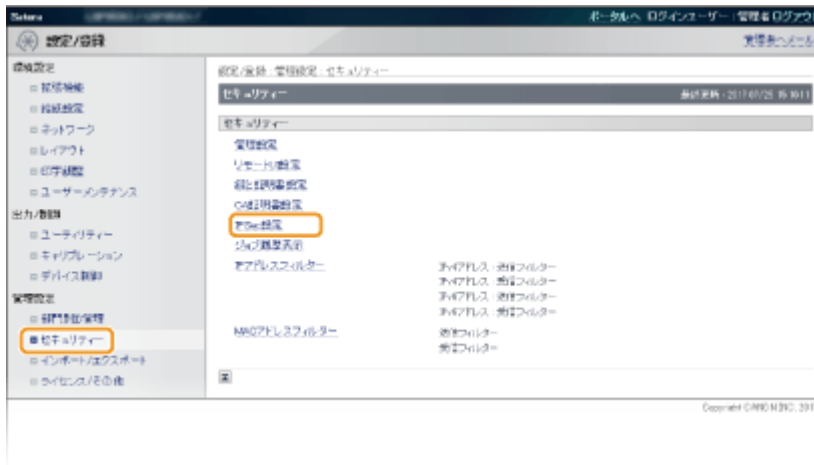
セキュリティポリシーを登録したら、IPSec 通信を有効にしてください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



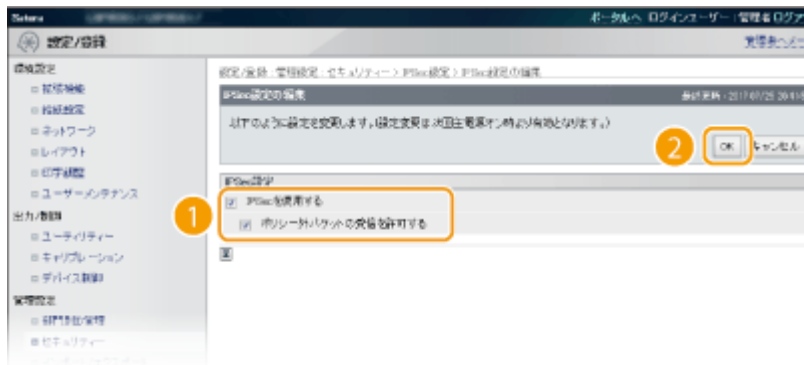
3 [セキュリティ] ▶ [IPSec 設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [IPSec を使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする



[IPSec を使用する]

本機で IPSec を使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[ポリシー外パケットの受信を許可する]

IPSec を使用する場合にチェックマークを付けると、ポリシーに該当しないパケットも送受信します。ポリシーに該当しないパケットを送受信しないようにするときは、チェックマークを外してください。

6 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから IPSec 通信を有効/無効に切り替えることもできます。▶IPSec(P. 363)



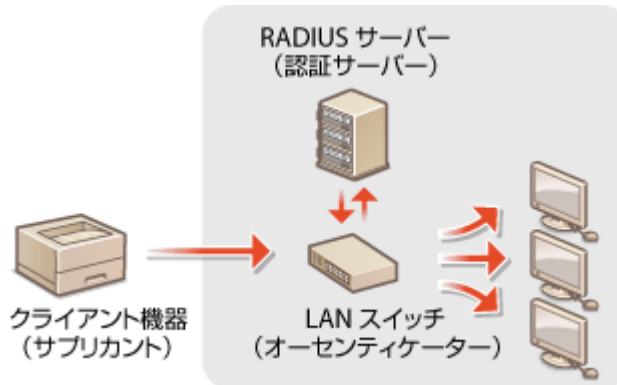
関連項目

- ▶鍵ペアと電子証明書の設定をする(P. 292)
- ▶IPSec ポリシーリスト(P. 500)

IEEE 802.1X 認証の設定をする

55S7-041

IEEE 802.1X 認証を導入したネットワークにクライアントとして本機を接続し、セキュリティーを確保することができます。IEEE 802.1X ネットワークは、RADIUS サーバー（認証サーバー）、LAN スイッチ（オーセンティケーター）、クライアント機器（サブリカント）の 3 つの要素で構成されます。IEEE 802.1X ネットワーク上のクライアント機器が通信を始めようとするとき、まずその機器が正しいユーザーであるかどうか確認されます。確認は RADIUS サーバーに問い合わせることで行われ、正しいユーザーであれば認証されます。認証が下りないかぎり LAN スイッチは機器からの通信要求を遮断します。



認証サーバーに設定してある認証方式を次の中から選び、あらかじめ必要な鍵ペアや CA 証明書を用意しておいてください（[▶ 認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う \(P. 301\)](#)）。

TLS

本機と認証サーバーがそれぞれの証明書を使って互いに認証を行います。本機の認証には認証局発行の鍵ペアが必要ですのであらかじめ用意しておいてください。一方、サーバーの認証にはプリインストールされた CA 証明書またはリモート UI からインストールした CA 証明書が使用されます。

TTLS

本機の認証にユーザー名とパスワードを使用し、サーバー認証には CA 証明書を使用する認証方式です。内部プロトコルとして MSCHAPv2 または PAP を選択できます。PEAP との併用も可能です。あらかじめリモート UI 通信に対して TLS を設定しておいてください（[▶ TLS で暗号化通信をする \(P. 271\)](#)）。

PEAP

必要な設定は併用できる TTLS とほぼ同じですが、内部プロトコルには MSCHAPv2 を使用します。あらかじめリモート UI 通信に対して TLS を設定しておいてください（[▶ TLS で暗号化通信をする \(P. 271\)](#)）。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [▶ リモート UI を起動する \(P. 308\)](#)

2 [設定/登録] をクリックする



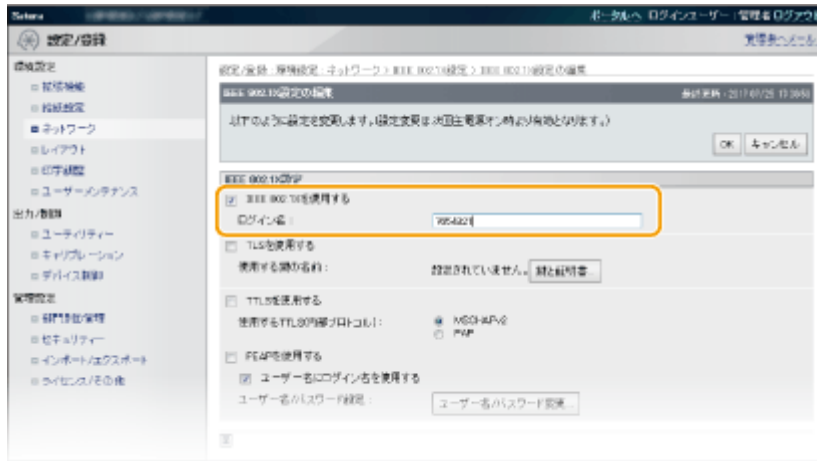
3 [ネットワーク] ▶ [IEEE 802.1X 設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [IEEE 802.1X を使用する] にチェックマークを付け、[ログイン名] を入力したあと、必要な設定をする



[IEEE 802.1Xを使用する]

IEEE 802.1X 認証を使用するときはチェックマークを付けます。

[ログイン名]

ユーザーを識別するための名称（EAP Identity）を半角英数字で入力します。

■ TLS を設定する

- 1 [TLSを使用する] にチェックマークを付け、[鍵と証明書] をクリックする
 - TLSを使用する場合は、TTLSとPEAPを併用することはできません。
- 2 鍵と証明書の一覧から使用する鍵を選び、[使用鍵設定] をクリックする

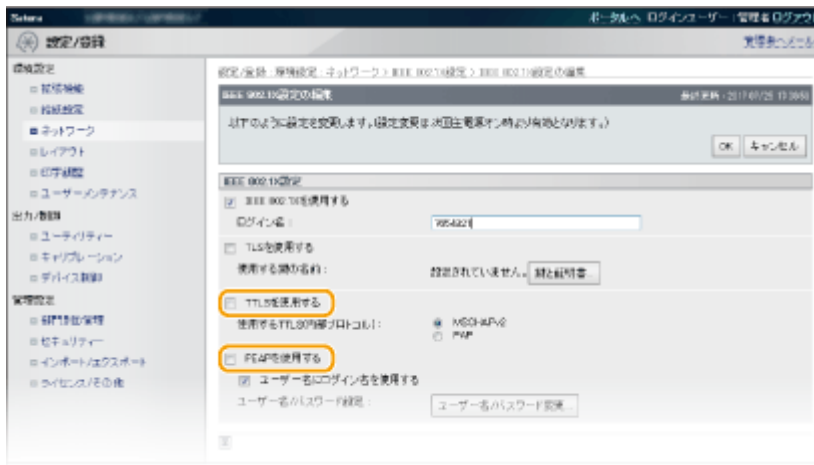


証明書の内容を確認するには

- [鍵の名前] のリンクか証明書のアイコンをクリックすると、証明書の詳細情報確認や検証ができます。▶
鍵ペアと CA 証明書を検証する(P. 304)

■ TTLS/PEAP を設定する

- 1 [TTLSを使用する] または [PEAPを使用する] にチェックマークを付ける



TTLsを使用する場合の内部プロトコル

- MSCHAPv2 または PAP を選択できます。PAP を使用したいときは、[PAP] をクリックしてください。

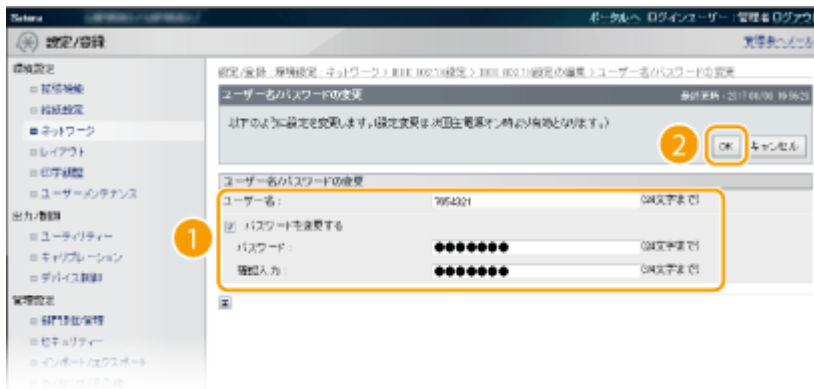


2 [ユーザー名/パスワード変更] をクリックする

- IEEE 802.1X 認証のログイン名とは違うユーザー名を設定するときは、[ユーザー名にログイン名を使用する] のチェックマークを外します。IEEE 802.1X 認証のログイン名と同じユーザー名にするときは、チェックマークを付けた状態にしてください。



3 ユーザー名やパスワードを設定し、[OK] をクリックする



[ユーザー名]

ユーザー名を半角英数字で入力します。

[パスワードを変更する]

パスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

6 [OK] をクリックする



7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから IEEE 802.1X 認証を有効／無効に切り替えることもできます。▶
IEEE802.1X(P. 371)



関連項目

- ▶ **鍵ペアと電子証明書の設定をする(P. 292)**

鍵ペアと電子証明書の設定をする

55S7-042

離れた場所にいる相手と暗号化通信を行うには、あらかじめ暗号化に使う鍵を保護されていないネットワーク上で送受信しなければなりません。この問題を解決するのが公開鍵暗号方式です。公開鍵暗号方式では、鍵ペアや電子証明書を使って盗聴、改ざん、なりすましなどの攻撃から大切なデータを保護し、通信の安全性を高めることができます。

鍵ペア



鍵ペアとは、データを暗号化したり元に戻したりするときに使う「公開鍵」と「秘密鍵」という一対の鍵のことです。暗号化したデータはペアのもう一方の鍵がないと元に戻せないため、安全にデータをやりとりできます。鍵ペアは TLS 暗号化通信や IEEE 802.1X 認証の TLS 方式、IPSec 通信 (LBP853Ci / LBP852Ci のみ) の電子署名方式などで使用します。登録できる鍵ペアはプリインストールされている鍵ペアと合わせて最大 8 つです ([👉 認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う \(P. 301\)](#))。TLS 暗号化通信用であれば、本機で自己生成することもできます ([👉 鍵ペアを生成する \(P. 293\)](#))。

CA 証明書



CA 証明書などの電子証明書は、本人認証に必要な運転免許証などの身分証明書に例えることができます。電子証明書には電子署名が含まれており、通信中に改ざんやなりすましがあった場合はこれらを検出できます。また、電子証明書を第三者が不正利用することは非常に困難です。認証局 (CA) の公開鍵を含む電子証明書を特に CA 証明書と呼び、Google Cloud Print での印刷や IEEE 802.1X 認証などで本機の通信相手となる機器を認証するときに使用します。プリインストールされている 72 の証明書と合わせて最大 150 の CA 証明書を登録できます ([👉 認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う \(P. 301\)](#))。

鍵ペアを生成する

55S7-043

Transport Layer Security (TLS) を使った暗号化通信に必要な鍵ペアを生成できます。TLS は、リモート UI を使って本機にアクセスするときや、IPP 印刷するときなどに使用できます。本機に登録できる鍵ペアはプリインストールされている鍵ペアと合わせて 8 つまでです。「ネットワーク通信用」に生成した鍵ペアでは自己署名証明書が使われます。「鍵と証明書署名要求 (CSR)」では、本機で生成した鍵ペアに対して認証局発行の電子証明書を申請することができます。

- ▶ ネットワーク通信用の鍵生成(P. 293)
- ▶ 鍵と証明書署名要求 (CSR) による鍵生成(P. 296)

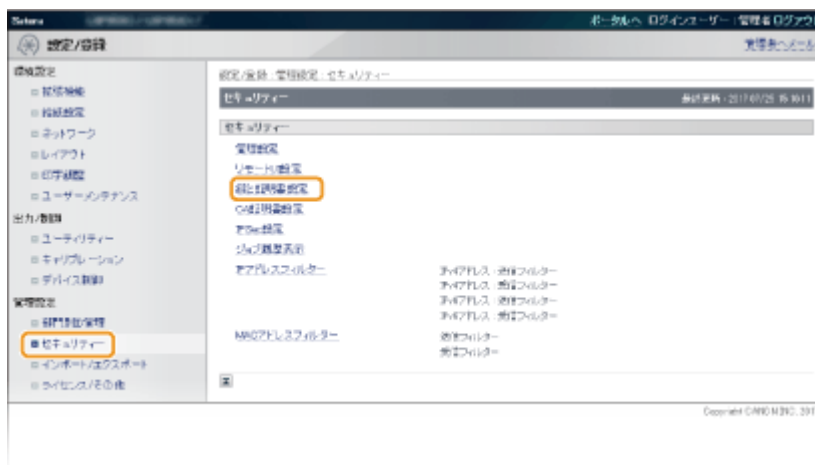
ネットワーク通信用の鍵生成

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティー] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする



4 [鍵生成] をクリックする



登録されている鍵ペアを削除するとき

- 削除したい鍵ペアの右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。
- 使用中の鍵ペアには「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵ペアに変更してから削除してください。

5 [ネットワーク通信用] を選び、[OK] をクリックする



6 鍵と証明書の設定をする



a [鍵の設定]

[鍵の名前]

鍵に付ける名称を半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

[署名アルゴリズム]

プルダウンメニューから署名アルゴリズムを選びます。

[鍵のアルゴリズム]

鍵の生成アルゴリズムは RSA または ECDSA です。鍵長をプルダウンメニューから選びます。鍵長は数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。



- [署名アルゴリズム] で [SHA384] または [SHA512] を選んだときは、鍵の長さを [512 bit] に設定することはできません。

b [証明書の設定]

[有効期限開始日(yyyy/mm/dd)]

証明書の有効期間の開始日を入力します。

[有効期限終了日(yyyy/mm/dd)]

証明書の有効期間の終了日を入力します。[有効期限開始日(yyyy/mm/dd)] より前に設定することはできません。

[国/地域名]

インターネット国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

[都道府県] / [市町村]

必要に応じて所在地を半角英数字で入力します。

[組織] / [組織単位]

必要に応じて組織名を半角英数字で入力します。

[共通名]

必要に応じて証明書の主体者の名称を半角英数字で入力します。「Common Name」や「CN」、「一般名」と呼ぶこともあります。



IPPS 印刷を使用するときは、[共通名] に IPPS で接続するときの「IP アドレス」または「ホスト名.ドメイン名」を入力する必要があります。

- IP アドレス固定のときは「IP アドレス」を入力します。
- DNS サーバーを使用しているときは「ホスト名.ドメイン名」を入力します。▶ **IPP/IPPS を使用する(P. 179)**

7 [OK] をクリックする

- 鍵ペアの生成には 10 分 ~ 15 分程度かかることがあります。
- 生成した鍵ペアは本機に自動的に登録されます。

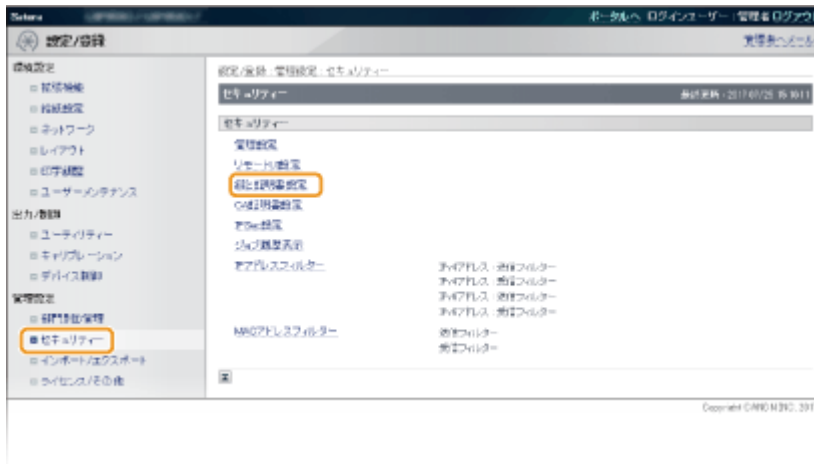
鍵と証明書署名要求 (CSR) による鍵生成

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

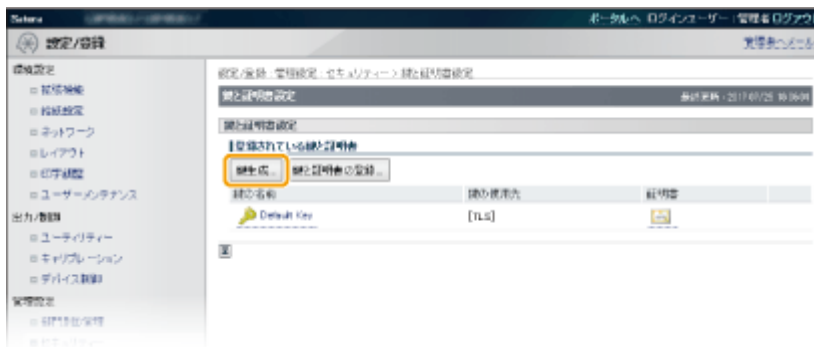
2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする



4 [鍵生成] をクリックする



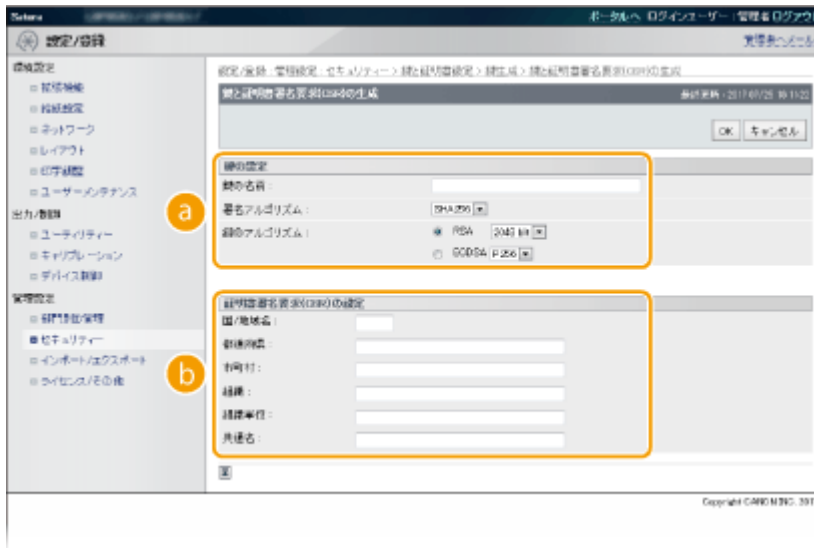
登録されている鍵ペアを削除するとき

- 削除したい鍵ペアの右側にある「削除」▶「OK」をクリックします。
- 使用中の鍵ペアには「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵ペアに変更してから削除してください。

5 [鍵と証明書署名要求(CSR)] を選び、[OK] をクリックする



6 鍵と証明書の設定をする



a [鍵の設定]

[鍵の名前]

鍵に付ける名称を半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

[署名アルゴリズム]

プルダウンメニューから署名アルゴリズムを選びます。

[鍵のアルゴリズム]

鍵の生成アルゴリズムは RSA または ECDSA です。鍵長をプルダウンメニューから選びます。鍵長は数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。



- [署名アルゴリズム] で [SHA384] または [SHA512] を選んだときは、鍵の長さを [512 bit] に設定することはできません。

b [証明書署名要求(CSR)の設定]

【国/地域名】

インターネット国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

【都道府県】 / 【市町村】

必要に応じて所在地を半角英数字で入力します。

【組織】 / 【組織単位】

必要に応じて組織名を半角英数字で入力します。

【共通名】

必要に応じて証明書の主体者の名称を半角英数字で入力します。「Common Name」や「CN」、「一般名」と呼ぶこともあります。



IPPS 印刷を使用するときは、[共通名] に IPPS で接続するときの「IP アドレス」または「ホスト名.ドメイン名」を入力する必要があります。

- IP アドレス固定のときは「IP アドレス」を入力します。
- DNS サーバーを使用しているときは「ホスト名.ドメイン名」を入力します。▶IPP/IPPS を使用する(P. 179)

7 【OK】 をクリックする

- 鍵ペアの生成には 10 分 ~ 15 分程度かかることがあります。

8 【ファイルに保存】 をクリックする

- ファイルを保存するダイアログボックスが表示されるので、保存先を選んで【保存】をクリックします。



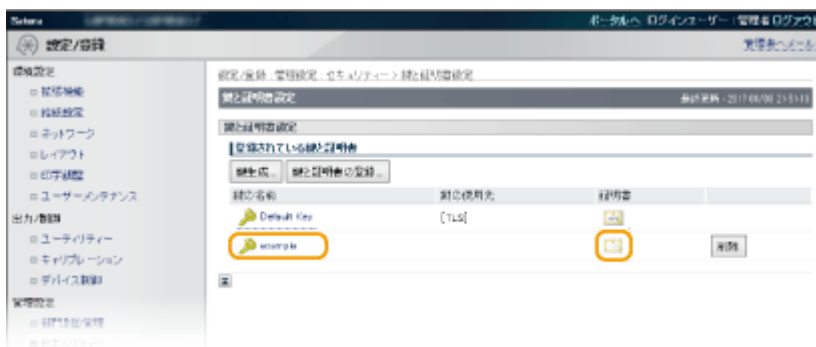
⇒ 証明書署名要求（CSR）のファイルがパソコンに保存されます。

9 保存したファイルを添付して認証局に申請する

■ 認証局から発行された電子証明書を登録する

証明書署名要求 (CSR) で生成した鍵ペアは証明書を登録するまで使うことができません。認証局から電子証明書が発行されたら、次の手順で登録します。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)
- 2 [設定/登録] をクリックする
- 3 [セキュリティ] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする
- 4 登録する証明書の [鍵の名前] または [証明書] をクリックする



- 5 [証明書の登録] をクリックする



- 6 [ファイルのパス] の [参照] をクリックし、証明要求した証明書のファイルを指定したあと、[登録] をクリックする



 関連項目

- ▶ 認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う (P. 301)
- ▶ 鍵ペアと CA 証明書を検証する (P. 304)
- ▶ TLS で暗号化通信をする (P. 271)
- ▶ IPSec の設定をする (P. 276)

認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う

55S7-044

鍵ペアや電子証明書を発行機関から入手して使用することができます。入手した鍵ペアや CA 証明書のファイルはリモート UI を使って本機にインストール／登録します。本機で使用できる鍵ペアと証明書の条件をあらかじめ確認しておいてください（**鍵と証明書の登録について(P. 628)**）。鍵ペアはプリインストールされている鍵ペアと合わせて 8 つまで、CA 証明書はプリインストールされている 72 の証明書と合わせて 150 まで登録できます。



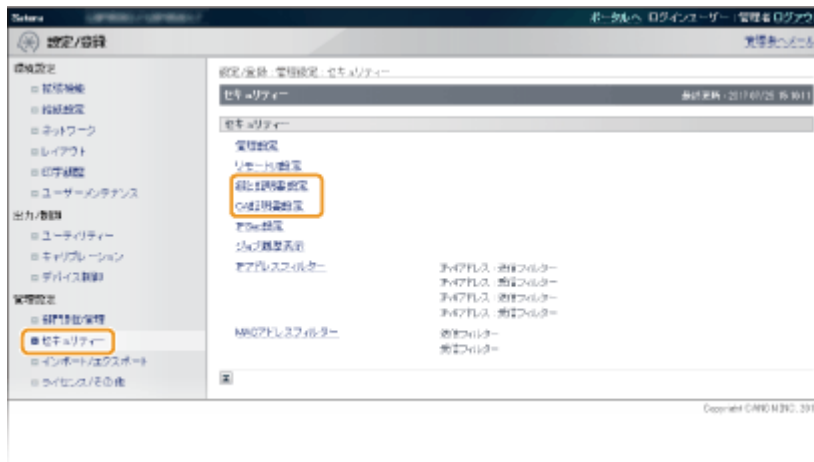
1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶** リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [鍵と証明書設定] または [CA 証明書設定] をクリックする

- 鍵ペアをインストールするときは [鍵と証明書設定] を、CA 証明書をインストールするときは [CA 証明書設定] をクリックします。



4 [鍵と証明書の登録] または [CA 証明書登録] をクリックする



登録されている鍵ペアや CA 証明書を削除するとき

- 削除したい鍵ペアまたは CA 証明書の右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。
- 使用中の鍵ペアには「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵ペアに変更してから削除してください。

5 [インストール] をクリックする



鍵ペアや CA 証明書のファイルを削除するには

- 削除したいファイルの右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。

6 [参照] をクリックし、インストールするファイルを指定したあと、[インストール開始] をクリックする

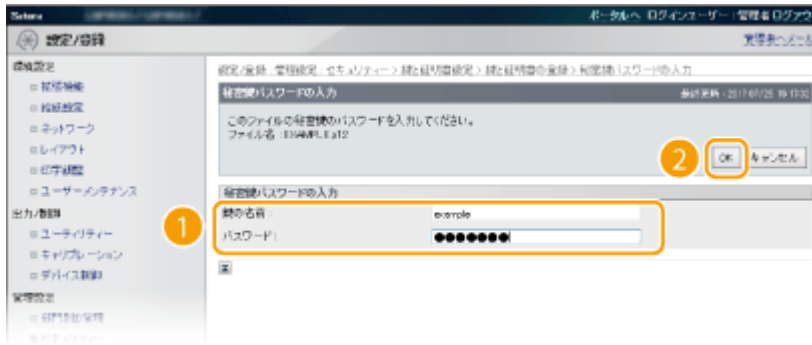


- パソコンから本機に鍵ペアまたは CA 証明書がインストールされます。

7 鍵ペアまたは CA 証明書を登録する

■ 鍵ペアを登録する

- 1 登録したい鍵ペアの右側にある [登録] をクリックする
- 2 鍵の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックする



[鍵の名前]

本機に登録するときの鍵の名称を半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

[パスワード]

登録するファイルに設定されている秘密鍵のパスワードを半角英数字で入力します。

■ CA 証明書を登録する

登録したい CA 証明書の右側にある [登録] をクリックします。



関連項目

- ▶ 鍵ペアを生成する (P. 293)
- ▶ 鍵ペアと CA 証明書を検証する (P. 304)
- ▶ TLS で暗号化通信をする (P. 271)
- ▶ IPSec の設定をする (P. 276)
- ▶ IEEE 802.1X 認証の設定をする (P. 286)

鍵ペアと CA 証明書を検証する

55S7-045

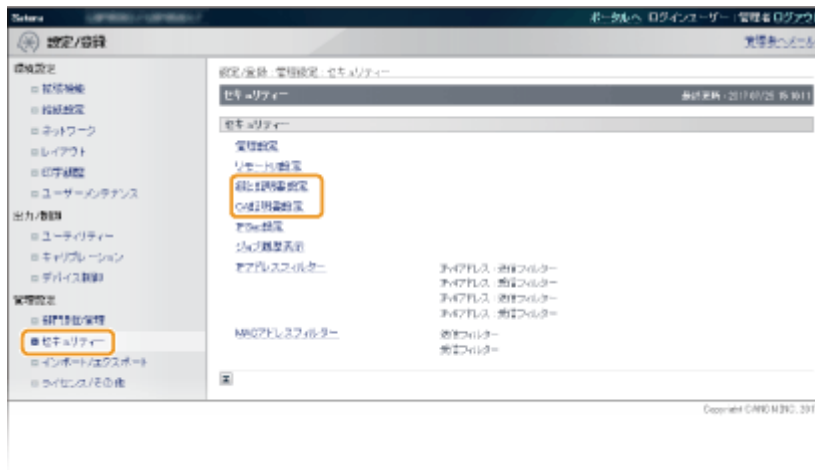
登録した鍵ペアや CA 証明書は、詳細情報を確認したり、有効期限や署名などを検証したりできます。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)
- 2 [設定/登録] をクリックする



- 3 [セキュリティ] ▶ [鍵と証明書設定] または [CA 証明書設定] をクリックする

- 鍵ペアを検証するときは [鍵と証明書設定] を、CA 証明書を検証するときは [CA 証明書設定] をクリックします。



- 4 検証したい鍵ペアや証明書のアイコンをクリックする



- 証明書の詳細情報が表示されます。

5 証明書の詳細情報を確認し、[証明書の検証] をクリックする



- 検証結果が表示されます。



関連項目

- ▶ 鍵ペアを生成する(P. 293)
- ▶ 認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う(P. 301)

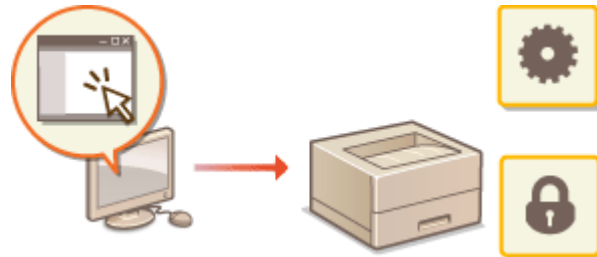
リモート UI を使う

リモート UI を使う	307
リモート UI を起動する	308
リモート UI の画面	311
待機中の文書や本機の状態を確認する	317
一般ユーザーが文書を操作できるようにする	322
本機の設定を変更する	324
設定データの保存／読み込みをする	326
設定データを保存する	327
設定データを読み込む	329

リモート UI を使う

55S7-046

パソコンのウェブブラウザを使って本機を遠隔操作し、待機中の文書を確認したり、本体状況を確認したりすることができます。本機の各種設定を行うことも可能です。ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力すると「リモート UI」が起動しますので、これを使って遠隔操作します。デスクに居ながらにして本機を操作できますので大変便利です。リモート UI の動作環境については、[▶サポート環境\(P. 631\)](#) を参照してください。



リモート UI でできること

- ▶待機中の文書や本機の状態を確認する(P. 317)
- ▶本機の設定を変更する(P. 324)
- ▶設定データの保存／読み込みをする(P. 326)

リモート UI の使いかた

- ▶リモート UI を起動する(P. 308)
- ▶リモート UI の画面(P. 311)

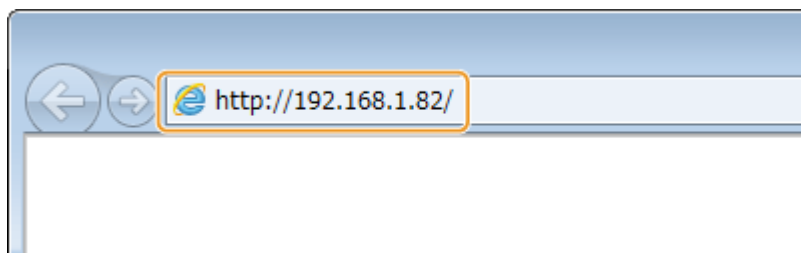
リモート UI を起動する

55S7-047

遠隔操作は、ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力し、リモート UI を起動させて行います。操作の前に、あらかじめ本機に設定されている IP アドレスを確認しておいてください（**ネットワークステータスプリント(P. 500)**）。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 ウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力欄に「http://<本機の IP アドレス>/」と入力し、キーボードの [ENTER] を押す



- IPv6 アドレスを使用している場合は、IP アドレスを [] で囲み、次のような形式で入力してください：http://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]/



DNS サーバーを使用しているときは

- <本機の IP アドレス>の代わりに<本機のホスト名.ドメイン名>を入力することもできます（入力例：「http://my_printer.example.com」）。

セキュリティに関するメッセージが表示されたときは

- リモート UI の通信が暗号化されている場合（**TLS で暗号化通信をする(P. 271)**）に、エラーメッセージが表示されることがあります。証明書や TLS の設定に問題がないときは、ウェブサイトの閲覧を続行してください。

3 リモート UI にログインする

■部門別 ID 管理が設定されていない場合

[管理者モード] または [一般ユーザーモード] をクリックします。



a [管理者モード]

リモート UI のすべての操作および設定ができます。[パスワード] に管理者パスワードを入力してください。



- お買い上げ時の管理者パスワードは「7654321」に設定されています。▶**管理者パスワードを設定する(P. 228)**

b [一般ユーザーモード]

印刷文書の確認、本機状態の確認、各種設定内容の確認ができます。待機中の印刷文書を確認したり、待機をやめて印刷を中止したりしたいときは、[ユーザー名] に文書のユーザー名を入力してください（文書のユーザー名には、パソコンのログオンユーザー名などが、印刷時に自動的に設定されています）。



[ユーザー名] について

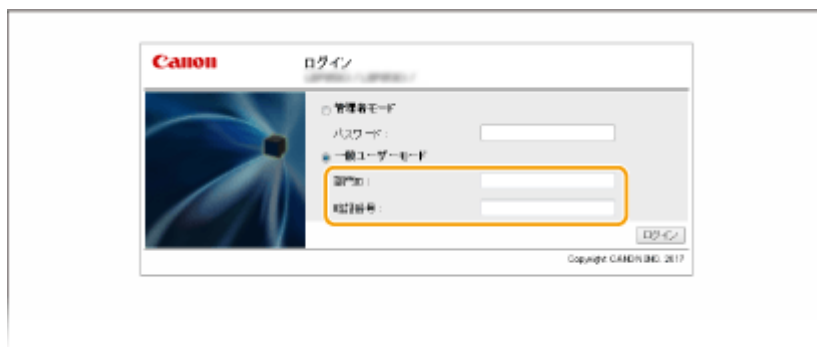
- お買い上げ時は、一般ユーザーは文書の操作ができないように設定されているため [ユーザー名] は表示されません。一般ユーザーモードで文書进行操作したいときは、管理者モードでログインし [一般ユーザーによるジョブ操作を許可する] を有効にしてください。▶**一般ユーザーが文書进行操作できるようにする(P. 322)**

c [リモート UI アクセス暗証番号]

[リモート UI アクセス暗証番号] が表示されている場合は、暗証番号を入力してください（▶**リモート UI の暗証番号を設定する(P. 238)**）。

■**部門別 ID 管理が設定されている場合**

登録されている [部門 ID] と [暗証番号] を入力します（▶**部門別 ID 管理をする(P. 231)**）。



4 [ログイン] をクリックする

▶▶ リモート UI のメイン画面（ポータルページ）が表示されます。▶**リモート UI の画面(P. 311)**

The screenshot displays the Satera remote management web interface. At the top, the Satera logo is on the left, and device information (Device Name, Model Name, and IP Address) is on the right. The main content area is divided into several sections:

- デバイス基本情報 (Device Basic Information):** Shows the device is in Sleep Mode (スリープモード) and has no error messages (エラーはありません).
- 消耗品情報 (Consumables Information):** Includes a table for drum units:

消耗品名	残量	規格	容量	規格
ドラム1	なし	A4	ブルー	
ドラム2	残り	A4	ブルー	
ドラム3	残り	A4	ブルー	
ドラム4	残り	A4	ブルー	
- トナーカートリッジ情報 (Toner Cartridge Information):** Shows four cartridges (イエロー, マゼンタ, シアン, ブラック) all at 100% capacity.
- Fラムカートリッジ情報 (Drum Cartridge Information):** Shows four drum units (Fラム1, Fラム2, Fラム3, Fラム4) all at 100% capacity.
- 印刷機ナー容器状態 (Printer Container Status):** Indicates that the container is used (使用済).
- 備考 (Remarks):** A note stating 'システム管理からのお知らせ' (Notification from system management).
- サポートリンク (Support Links):** Provides a URL for support: <http://satera.jp>.

On the right side of the interface, there are several control buttons: 状況確認/中止 (Status Check/Cancel), 設定/全休 (Settings/Power Off), アプリケーション (Applications), ネットワーク (Network), and 管理用アプリケーション (Management Applications) with a Service Management Service icon.

リモート UI の画面

55S7-048

リモート UI のおもな画面について説明します。

- ▶ ポータルページ (メイン画面) (P. 311)
- ▶ [状況確認/中止] ページ(P. 313)
- ▶ [設定/登録] ページ(P. 314)
- ▶ [ボックス] ページ(P. 315)
- ▶ [ダイレクトプリント] ページ(P. 316)

ポータルページ (メイン画面)



1 [ログアウト]

リモート UI をログアウトして、ログインページに戻ります。

2 [管理者へメール]

[セキュリティ] の [管理設定] に設定されている管理者宛にメールを作成します。

3 更新アイコン

表示中のページを最新の情報に更新します。

4 デバイス基本情報

本機の現在の状況と、エラー情報が表示されます。エラーが発生している場合は、エラー情報ページへのリンクが表示されます。

5 消耗品情報

用紙についての情報（残量やサイズなど）、トナーカートリッジなどの消耗品の状態が表示されます。

6 掲示板

[設定/登録] ▶ [ライセンス/その他] の [掲示板/サポートリンク] に設定されている管理者からのお知らせが表示されます。

7 サポートリンク

[設定/登録] ▶ [ライセンス/その他] の [掲示板/サポートリンク] に設定されている本機のサポート情報へのリンクが表示されます。

8 [状況確認/中止]

[状況確認/中止] ページが開きます。印刷状況の確認、履歴の確認、処理の中止ができます。

9 [設定/登録]

[設定/登録] ページが開きます。管理者モードでログインしているときは、設定内容を変更したり、設定データの保存／読み込みをしたりなどの操作ができます。▶ **本機の設定を変更する(P. 324)**

10 [ボックス] (オプションの SD カード装着時のみ)

[ボックス] ページが開きます。本機に保存した文書の印刷や削除ができます。▶ **文書を本機に保存して印刷する(保存ジョブプリント) (P. 105)**

11 [ダイレクトプリント]

パソコンに保存されているファイルを開かずにそのまま本機で印刷できます。▶ **ファイルを開かずに印刷する(ダイレクトプリント) (P. 115)**

12 [Service Management Service]

MEAP アプリケーション（機能拡張ソフトウェア）を管理するときに使う Service Management Service (SMS) を起動します。 **MEAP アプリケーション管理機能ガイド**

[状況確認/中止] ページ



1 [ポータルへ]

ポータルページ（メイン画面）に戻ります。

2 メニュー

項目をクリックすると、その内容が右側のページに表示されます。▶**待機中の文書や本機の状態を確認する (P. 317)**

3 階層表示

表示中のページ階層が表示され、現在どのページを表示しているかを確認できます。

4 更新アイコン

表示中のページを最新の情報に更新します。

5 上へアイコン

ページの下の方を見ているときにこのボタンをクリックすると、ページの最上部に戻ることができます。

[設定/登録] ページ



1 [ポータルへ]

ポータルページ（メイン画面）に戻ります。

2 メニュー

項目をクリックすると、その内容が右側のページに表示されます。▶ **本機の設定を変更する(P. 324)**

3 階層表示

表示中のページ階層が表示され、現在どのページを表示しているかを確認できます。

4 上へアイコン

ページの下の方を見ているときにこのボタンをクリックすると、ページの最上部に戻ることができます。



[設定/登録] ページのメニューについて

- 管理者モードでログインした場合にのみ、設定内容を変更できます。
- 一般ユーザーモードでログインした場合は、[ユーティリティ]、[キャリブレーション]、[デバイス制御]、[部門別 ID 管理] および [インポート/エクスポート] は表示されません。

[ボックス] ページ



1 [ポータルへ]

ポータルページ（メイン画面）に戻ります。

2 [ボックス]

ボックスの一覧を表示します。各ボックスを開いて、保存した文書の詳細情報の確認や印刷、削除ができます。▶
文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）(P. 105)

3 階層表示

表示中のページ階層が表示され、現在どのページを表示しているかを確認できます。

4 更新アイコン

表示中のページを最新の情報に更新します。

5 ボックス番号

ボックス番号を入力し、[開く] をクリックすると、入力した番号のボックスを開くことができます。

6 ボックス一覧

[ボックス番号] のリンクをクリックすると、ボックスを開くことができます。

7 上へアイコン

ページの下の方を見ているときにこのボタンをクリックすると、ページの最上部に戻ることができます。

[ダイレクトプリント] ページ



1 [ポータルへ]

ポータルページ（メイン画面）に戻ります。

2 メニュー

ダイレクトプリントするファイル形式の設定ページを表示します。▶ **ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント） (P. 115)**

3 階層表示

表示中のページ階層が表示され、現在どのページを表示しているかを確認できます。

4 上へアイコン

ページの下の方を見ているときにこのボタンをクリックすると、ページの最上部に戻ることができます。

待機中の文書や本機の状態を確認する

55S7-049

- ▶印刷文書の状況を確認する(P. 317)
- ▶文書の履歴を確認する(P. 318)
- ▶エラー情報を確認する(P. 319)
- ▶最大印刷速度などを確認する(P. 319)
- ▶管理者情報を確認する(P. 320)
- ▶印刷ページ数を確認する(P. 320)
- ▶トナーカートリッジ／ドラムカートリッジの履歴を確認する(P. 321)



- 文書のファイル名は途中までしか表示されないことがあります。また、印刷したアプリケーション名がファイル名に付加されることがあります。

印刷文書の状況を確認する

パソコンから印刷した文書の印刷状況（印刷中／印刷待機中）を確認したり、文書の削除や割り込みをしたりすることができます。



リモート UI にログインする（▶[リモート UI を起動する\(P. 308\)](#)）▶ [状況確認/中止] ▶ [ジョブ状況]



a [中止]

印刷中や待機中の文書を削除できます。

b [割り込み] *

現在印刷中の文書を一時停止し、操作した文書を先に印刷します。印刷中に割り込まれた文書は、割り込んだ文書の印刷が終わると、残りのページの印刷が再開されます。

c [追い越し] *

待機中の文書の印刷順番を 1 つ繰り上げます。

d [一時停止] * / [再開] *

[一時停止] を押すと印刷を停止します。[再開] を押すと印刷を再開します。



- セキュア文書や暗号化セキュア文書は、[再開] をクリックすると暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

* 操作パネルの設定メニューにある<割り込み印刷>が<許可しない>のときは表示されません (● [割り込み印刷\(P. 345\)](#))。



- 部門別 ID 管理の設定に関係なく、すべての印刷文書の状況が表示されます。
- お買い上げ時は、一般ユーザーモードでは印刷文書の削除や割り込みなどの操作ができないように設定されています。文書の操作を行いたいときは、管理者モードでログインし [一般ユーザーによるジョブ操作を許可する] を有効にしてください。▶ [一般ユーザーが文書进行操作できるようにする\(P. 322\)](#)
- 一般ユーザーモードで、[ユーザー名] を入力してログインした場合、そのユーザーが印刷した文書だけが表示されます。
- 一時停止中の文書とセキュア文書で [受付番号] をクリックすると、文書の詳細情報が表示されます。ユーザー名や印刷枚数などの情報を確認できます。

文書の履歴を確認する

印刷履歴や Eメールの受信履歴が一覧表示されます。



リモート UI にログインする (▶ [リモート UI を起動する\(P. 308\)](#)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [ジョブ履歴]



a [ジョブ履歴] (プリント)

印刷の種類ごとに印刷履歴を表示できます。

b [ジョブ履歴] (E メール受信)

Eメールの受信履歴が表示されます。受信時にエラーが発生したときは[受信結果]にエラーコードが表示されます。▶Eメール受信のエラーコードについて(P. 629)

c [表示切替] (印刷履歴のみ)

プルダウンメニューから印刷の種類を選び、[表示切替]をクリックすると、それぞれの履歴の一覧に切り替わります。



- オプションのSDカードを装着していないときは、シャットダウンするか、ハードリセットをすると履歴は消去されます。
- 一般ユーザーモードでログインしていて、[一般ユーザーによるジョブ操作を許可する]を有効にしている場合、ログインしているユーザー以外のジョブは、ドキュメント名が「*****」のように伏せ字で表示されます。▶一般ユーザーが文書进行操作できるようにする(P. 322)

エラー情報を確認する

エラーが発生しているとき、ポータルページ(メイン画面)の[エラー情報]に表示されているメッセージをクリックすると、このページが表示されます。▶ポータルページ(メイン画面)(P. 311)



リモート UI にログインする (▶リモート UI を起動する(P. 308)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [エラー情報]



最大印刷速度などを確認する

最大印刷速度や本機の装備などの情報が表示されます。



リモート UI にログインする (▶リモート UI を起動する(P. 308)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [デバイス装備]



管理者情報を確認する

本体とシステム管理者についての情報が表示されます。ここに表示されている情報は、[設定/登録] ページの [セキュリティー] ▶ [管理設定] で設定したものです (▶ [管理者パスワードを設定する\(P. 228\)](#))。

リモート UI にログインする (▶ [リモート UI を起動する\(P. 308\)](#)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [デバイス情報]



印刷ページ数を確認する

今までに印刷された文書の合計ページ数が表示されます。



リモート UI にログインする (▶ **リモート UI を起動する(P. 308)**) ▶ [状況確認/中止] ▶ [カウンター確認]



トナーカートリッジ／ドラムカートリッジの履歴を確認する

トナーカートリッジ／ドラムカートリッジの利用実績などを確認できます。



リモート UI にログインする (▶ **リモート UI を起動する(P. 308)**) ▶ [状況確認/中止] ▶ [カートリッジログ]



関連項目

▶ **リモート UI の画面(P. 311)**

一般ユーザーが文書を操作できるようにする

55S7-04A

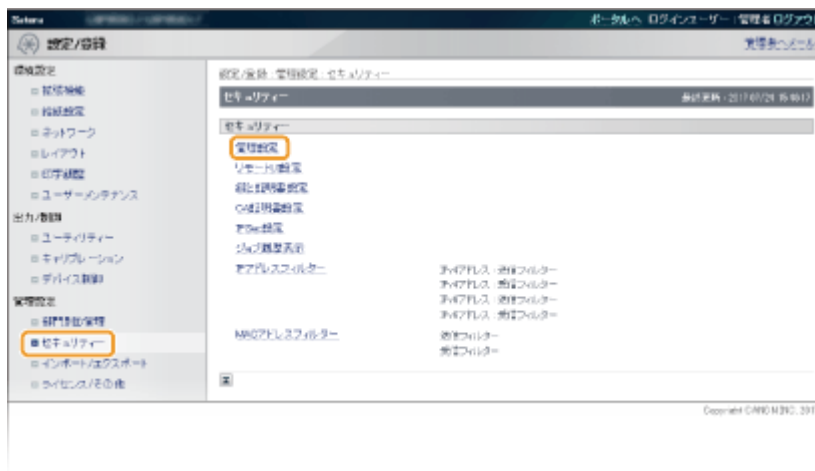
リモート UI に一般ユーザーモードでログインしたときにも、文書の削除や割り込みなどの操作ができるように設定します。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



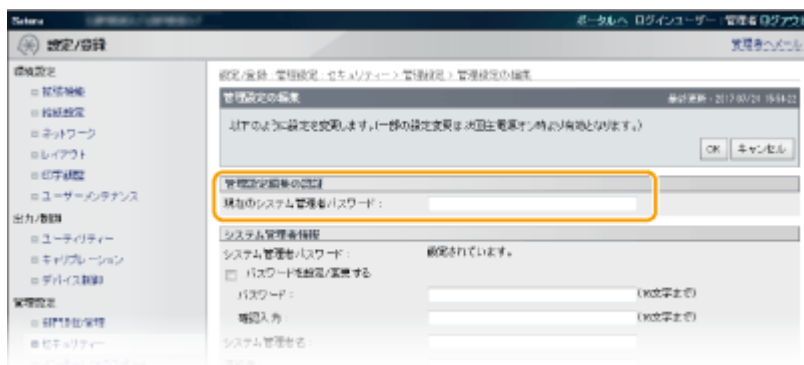
3 [セキュリティ] ▶ [管理設定] をクリックする



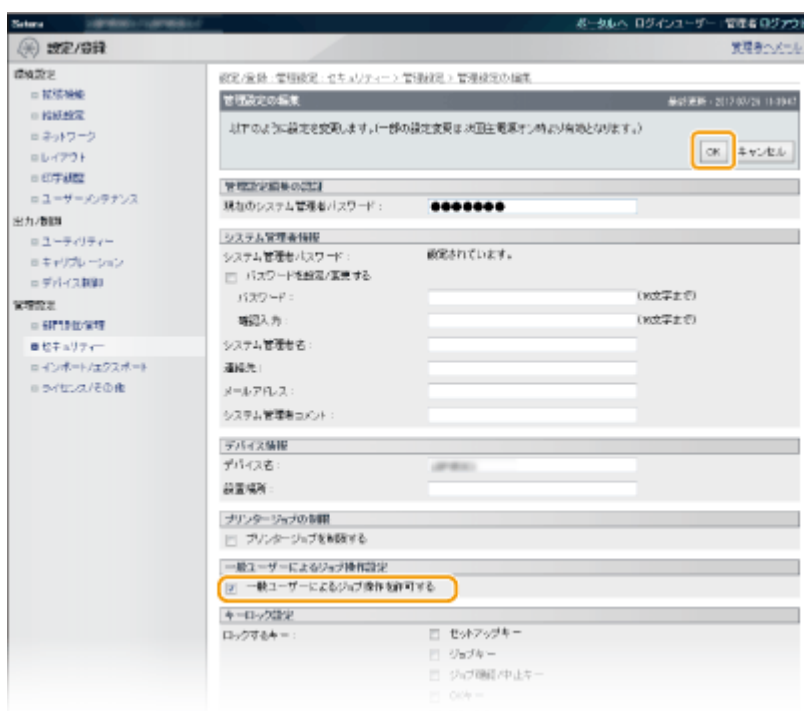
4 [編集] をクリックする



5 [現在のシステム管理者パスワード] に管理者パスワードを入力する



6 [一般ユーザーによるジョブ操作を許可する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする



[一般ユーザーによるジョブ操作を許可する]

チェックマークを付けるとユーザー名が一致する文書に対して、一般ユーザーが文書进行操作できるようになります。一般ユーザーによる文書の操作を許可しないときはチェックマークを外してください。



関連項目

▶ リモート UI の画面(P. 311)

本機の設定を変更する

55S7-04C

リモート UI を使って、パソコン側から本機のさまざまな設定を登録／変更できます。ほとんどの項目は本機の操作パネルで設定できますが、リモート UI でしか設定できない項目もあります。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



3 設定したい項目をクリックして表示し、[編集] をクリックする



- 設定メニューの詳細については、以下の各項目を参照してください。

メニュー項目	参照先
環境設定	
拡張機能	▶ 拡張機能(P. 334)
給紙設定	▶ 給紙選択メニュー(P. 513)
ネットワーク	▶ ネットワーク(P. 353)
レイアウト	▶ レイアウト(P. 375)

メニュー項目	参照先
印字調整	<ul style="list-style-type: none"> ▶印字調整(P. 379)
ユーザーメンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ▶ユーザーメンテナンス(P. 397)
出力/制御	
ユーティリティー	<ul style="list-style-type: none"> ▶レポートとリストをプリントする(P. 573) ▶ジョブメニュー(P. 508)
キャリブレーション	<ul style="list-style-type: none"> ▶色ずれや色味を補正する(P. 566)
デバイス制御	<p>本機の状態を制御することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ [オンライン] キー(P. 28) ▶ソフトリセット(P. 510) ▶スリープモードにする(P. 70)
管理設定	
部門別 ID 管理	<ul style="list-style-type: none"> ▶部門別 ID 管理をする(P. 231)
セキュリティー	<ul style="list-style-type: none"> ▶セキュリティー(P. 223)
インポート/エクスポート	<ul style="list-style-type: none"> ▶設定データの保存/読み込みをする(P. 326)
ライセンス/その他 (LBP853Ci / LBP852Ci) 掲示板/サポートリンク (LBP851C)	<p>ポータルページ (メイン画面) に表示される掲示板のお知らせやサポートページへのリンクを変更できます。</p>

 関連項目

- ▶リモート UI の画面(P. 311)
- ▶設定メニュー一覧(P. 332)

設定データの保存／読み込みをする

55S7-04E

本機の各種設定値を書き出して（エクスポート）、パソコンに保存できます。また、パソコンに保存したデータを読み込む（インポート）ことも可能です。同一機種間であれば、本機からエクスポートしたデータは他機にもインポート可能ですので、各種設定値を複数のマシンにかんたんにコピーすることができます。なお、この機能を使うためには管理者モードでログインしている必要があります。

▶設定データを保存する(P. 327)

▶設定データを読み込む(P. 329)



ご注意ください

インポートやエクスポートが完了するまでは電源を切らない

- 処理が完了するまで数分かかることがあります。処理中に電源を切ると、データが破損したり、本機が故障したりする恐れがあります。

インポート中やエクスポート中は本機の操作をしない

- インポートやエクスポートをする前に、本機が印刷などの処理中でないことを確認してください。



MEMO

操作パネルでインポート／エクスポートするとき

- 本機の操作パネルから USB メモリーを介して設定データの保存／読み込みをすることもできます。▶**設定のインポート/エクスポート(P. 419)**

設定データを保存する

55S7-04F

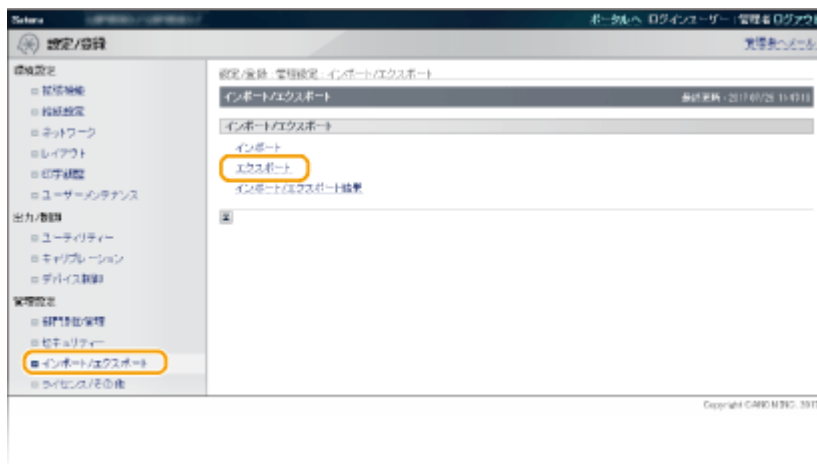
本機の各種設定値を書き出して（エクスポート）、パソコンに保存できます。大切な設定データは定期的にバックアップをしておくことをおすすめします。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

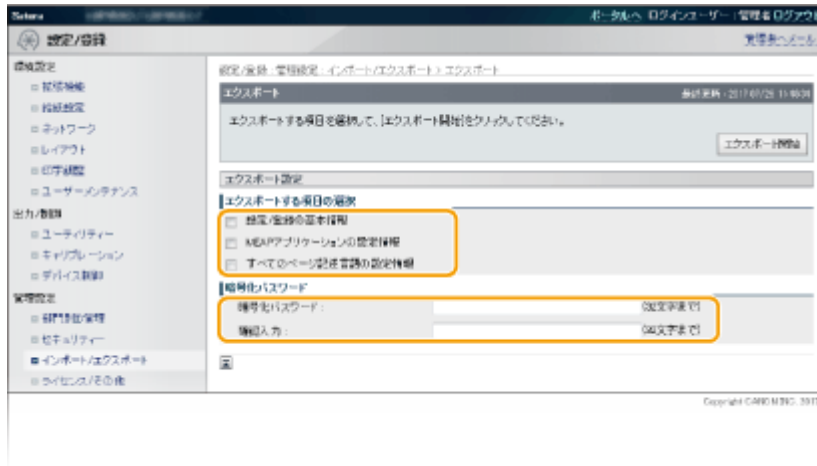
2 [設定/登録] をクリックする



3 [インポート/エクスポート] ▶ [エクスポート] をクリックする



4 エクスポートする項目を選び、暗号化パスワードを設定する



[設定/登録の基本情報]

[設定/登録] から設定できる項目の設定値をエクスポートするときは、チェックマークを付けます。

[MEAP アプリケーションの設定情報]

MEAP アプリケーションの設定値をエクスポートするときは、チェックマークを付けます。

[すべてのページ記述言語の設定情報]

🔴 **動作モード専用の設定(P. 430)** から設定できる項目の設定値をエクスポートするときは、チェックマークを付けます。

[暗号化パスワード]

エクスポートデータを暗号化するパスワードを半角英数字で入力します。同じパスワードを [確認入力] に入力してください。パスワードを設定しないと、データのエクスポートはできません。



- パスワードはエクスポートしたデータをインポートする際に必要となります。 🔴 **設定データを読み込む(P. 329)**

5 [エクスポート開始] をクリックする

6 画面の指示に従って、データを保存する場所を指定する

⇒ 本機の設定値や登録内容のデータが保存されます。



- 🔴 **リモート UI の画面(P. 311)**
- 🔴 **設定メニュー一覧(P. 332)**

設定データを読み込む

55S7-04H

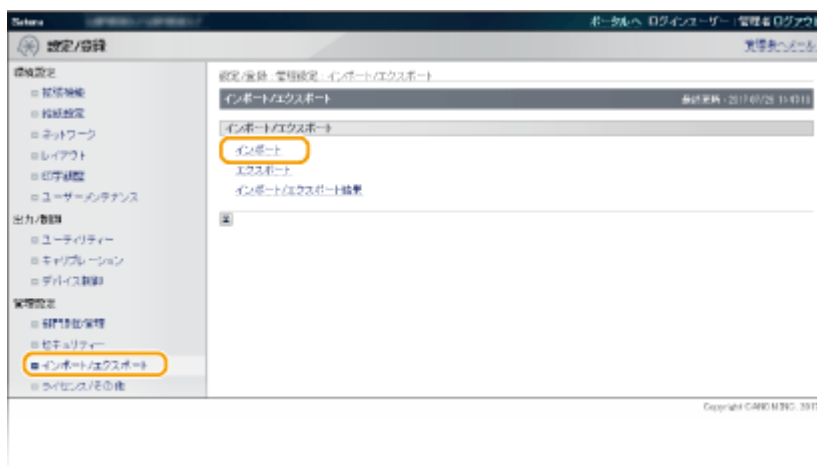
本機から書き出したデータを読み込みます（インポート）。また、同一機種間であれば、他機の各種設定値を本機で読み込むこともできます。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

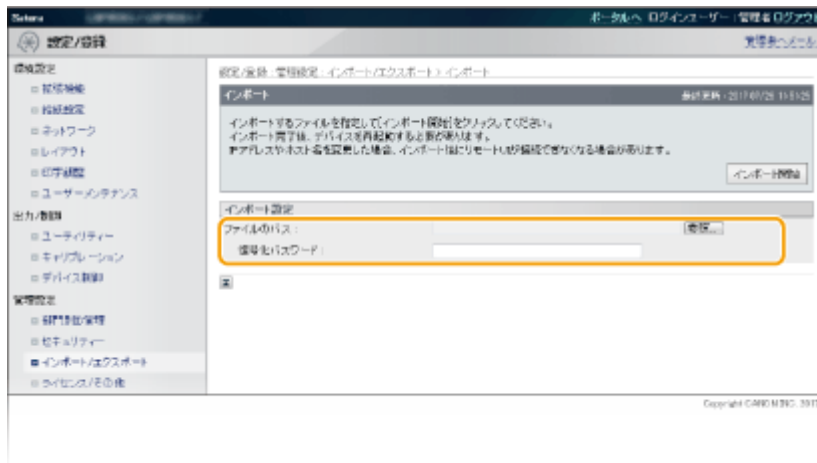
2 [設定/登録] をクリックする



3 [インポート/エクスポート] ▶ [インポート] をクリックする



4 インポートするファイルを指定し、パスワードを入力する



[ファイルのパス]

[参照] をクリックしてファイルを選択します。

[復号化パスワード]

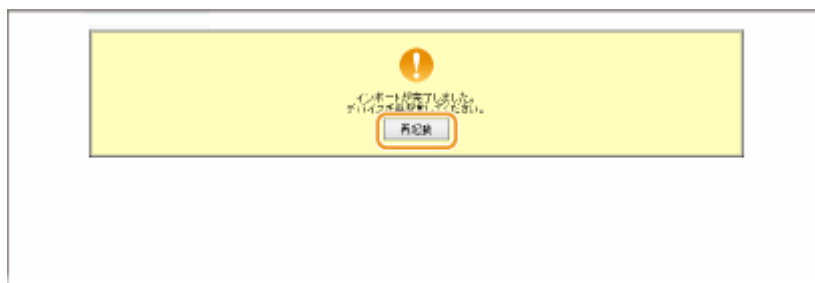
エクスポートしたときに設定したパスワードを入力します。

5 [インポート開始] をクリックする

6 [OK] をクリックする

⇒ 選択した設定ファイルのデータが本機に読み込まれます。

7 [再起動] をクリックする



⇒ 再起動後に設定が有効となります。



関連項目

- ▶ リモート UI の画面(P. 311)
- ▶ 設定メニュー一覧(P. 332)

設定メニュー一覧

設定メニュー一覧	332
セットアップメニュー	333
拡張機能	334
給紙	352
ネットワーク	353
レイアウト	375
印字調整	379
インターフェイス	394
ユーザーメンテナンス	397
設定メニューの優先順位	426
動作モード	427
動作モード専用の設定	430
LIPSLX 設定	431
LIPS4 設定	432
ESC/P 設定	447
Imaging 設定	461
XPS 設定	472
PDF 設定	483
MEAP 設定	495
カウンター確認	497
パネル設定初期化	498
ユーティリティーメニュー	499
ジョブメニュー	508
リセットメニュー	510
給紙選択メニュー	513

設定メニュー一覧

55S7-04J

本機にはさまざまな設定項目があり、それぞれについて詳細な調整を行うことができます。各項目は操作パネルのメニュー画面で操作します。



設定項目を一覧で確認するには

- このマニュアルには、設定メニューをまとめた PDF も付属しています。あわせて参考にしてください。▶ **メニュールートマップ(P. 685)**

設定の優先順位

- 同じ設定項目であれば、プリンタードライバーの設定が、操作パネルの設定よりも優先されます。
- メディアプリントやダイレクトプリントでは、印刷時の設定や TIFF データ内に保存されている設定が、操作パネルの設定よりも優先されます。

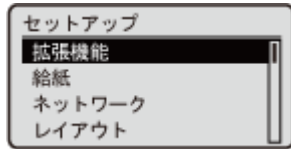


便利な機能

- 現在の設定内容をプリントして確認することができます。
 - ▶ **共通ステータスプリント(P. 500)**
 - ▶ **ネットワークステータスプリント(P. 500)**

セットアップメニュー

55S7-04K

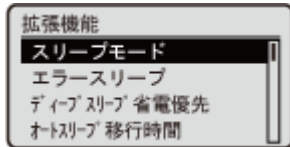


本機の動作環境や印刷に関する各種設定を変更することができます。操作パネルで ▶ (セットアップ) を押すと、設定項目が機能別にまとめられたセットアップメニューが表示されます。

- ▶ 拡張機能(P. 334)
- ▶ 給紙(P. 352)
- ▶ ネットワーク(P. 353)
- ▶ レイアウト(P. 375)
- ▶ 印字調整(P. 379)
- ▶ インターフェイス(P. 394)
- ▶ ユーザーメンテナンス(P. 397)
- ▶ 動作モード(P. 427)
- ▶ 動作モード専用の設定(P. 430)
- ▶ MEAP 設定(P. 495)
- ▶ カウンター確認(P. 497)
- ▶ パネル設定初期化(P. 498)

拡張機能

55S7-04L



スリープモードやエラー時の動作に関する設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| ▶ スリープモード (P. 334) | ▶ 割り込み印刷(P. 345) |
| ▶ エラースリープ(P. 335) | ▶ セキュアプリント消去時間(P. 346) |
| ▶ ディープスリープ省電優先(P. 335) | ▶ ジョブ履歴保証(P. 346) |
| ▶ オトスリープ移行時間(P. 335) | ▶ USB 接続する PC の OS(P. 346) |
| ▶ USB 使用時のスリープ移行(P. 336) | ▶ ページ記述言語(PnP)(P. 347) |
| ▶ タイマー設定(P. 336) | ▶ 管理設定(P. 347) |
| ▶ 自動エラースキップ(P. 338) | ▶ RMT-SW(P. 348) |
| ▶ 表示言語(P. 338) | ▶ 画面調整(P. 348) |
| ▶ ブザー(P. 338) | ▶ アニメーション表示(P. 349) |
| ▶ 警告表示(P. 338) | ▶ トナー残量アイコン表示(P. 349) |
| ▶ 警告処理(P. 342) | ▶ 設定完了通知(P. 349) |
| ▶ 日付/時刻設定(P. 344) | ▶ 用紙設定の確認表示(P. 350) |
| ▶ 主電源 ON 時の高速起動(P. 344) | ▶ スクロール文字速度(P. 350) |
| ▶ SD カードの使用(P. 345) | ▶ Canon Genuine Mode(P. 350) |
| ▶ PDL リソースデータ保存先(P. 345) | |

スリープモード

スリープモードは本体内部の動作を一部休止して消費電力量を抑える機能です。スリープモードの段階を設定します。▶ **スリープモードにする**(P. 70)

レベル高 (ディープスリープ) レベル中 (プリンタースリープ)



スリープモードのレベルについて

- 節電効果は<レベル中 (プリンタースリープ)>が低く、<レベル高 (ディープスリープ)>が高くなります。

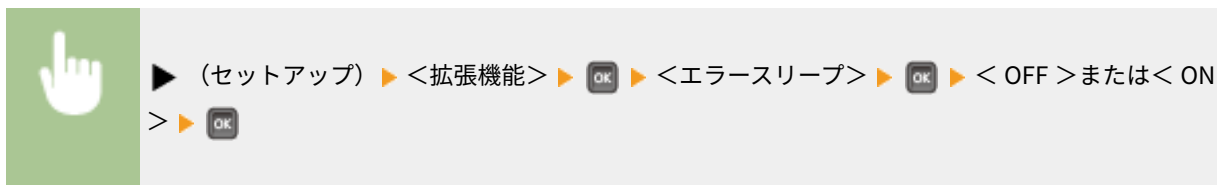
ネットワーク関連のユーティリティソフトウェアをお使いの場合

- スリープモードを<レベル高 (ディープスリープ)>に設定した場合、ソフトウェアによっては通信に失敗することがあります。

エラースリープ

エラー発生時に自動的にスリープモードになるかどうかを設定します。

OFF
ON




ディープスリープ省電優先

本機とパソコンを USB で接続しているときの消費電力を、より抑えるかどうか設定することができます。

OFF
ON



- < ON >に設定して印刷を実行するとスリープモードが解除されないことがあります。その場合は操作パネルの  を押してスリープモードを解除してください。

オートスリープ移行時間

キー操作もなく、印刷もしない状態が一定時間続くと、自動的に節電状態（オートスリープ）になります。オートスリープになるまでの時間を指定します。お買い上げ時の設定でお使いになることをおすすめします。▶スリープモードにする(P. 70)

1分
5分
10分
15分
30分
60分
120分

USB 使用時のスリープ移行*

ネットワークを介してパソコンから USB 機器にアクセスする USB over NW を使用しているときに、スリープモードへの移行を許可するかどうかを設定します。▶ [拡張機能設定\(P. 394\)](#)

許可しない
許可する



タイマー設定

スリープモードに関する動作や時間と、一定時間操作が行われないと基本画面に戻る機能（オートクリア）の設定を行います。

ウェイクアップタイマー

指定した時刻にスリープモードを解除するかどうかを設定します。▶ [スリープモードにする\(P. 70\)](#)

OFF
ON

ウェイクアップ時刻

<ウェイクアップタイマー>を<ON>に設定したときに、スリープモードを解除する時刻を設定します。▶ [スリープモードにする\(P. 70\)](#)

00:00~12:00~23:59

オートクリア移行時間

一定時間キー操作をしないと、自動的に各メニュー画面などから基本画面に戻ったり、オフラインからオンラインに戻ったりします（オートクリア）。オートクリアされるまでの時間を指定します。オートクリアさせたくないときは<なし>に設定してください。

なし
10 秒
20 秒
30 秒
40 秒
50 秒
1 分
2 分
3 分
4 分
5 分
6 分
7 分

8分
9分

スリープタイマー

指定した時刻に自動的にスリープモードにするかどうかを設定します。▶スリープモードにする(P. 70)

OFF
ON

スリープ時刻

<スリープタイマー>を< ON >に設定したときに、スリープモードにする時刻を設定します。▶スリープモードにする(P. 70)

00:00~12:00~23:59

キャリブレーションタイマー

指定した時刻に自動的にキャリブレーションを行うかどうかを設定します。

OFF
ON

キャリブレーション時刻

<キャリブレーションタイマー>を< ON >に設定したときに、キャリブレーションを行う時刻を設定します。

00:00~12:00~23:59



自動エラースキップ

印刷中にエラーが発生すると印刷は止まりますが、＜ON＞に設定しておくともエラーが発生しても印刷を継続することができます。この設定によって印刷が継続できるエラーについて、詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。

OFF
ON



表示言語

操作パネルの画面や設定リストに表示される言語を切り替えるときに設定します。

English
日本語



ブザー

紙づまりや誤操作など、トラブルを知らせる音を鳴らすかどうかを設定します。

OFF
ON



警告表示

本機が警告状態になったときにメッセージでお知らせするかどうかを設定します。

トナーカートリッジ交換予告

トナーカートリッジの寿命が近づいたときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶  ▶ <警告表示> ▶  ▶ <トナーカートリッジ交換予告> ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶ 

トナーカートリッジ寿命到達

トナーカートリッジが寿命に達したときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶  ▶ <警告表示> ▶  ▶ <トナーカートリッジ寿命到達> ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶ 

ドラムカートリッジ交換予告

ドラムカートリッジの交換時期が近づいたときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶  ▶ <警告表示> ▶  ▶ <ドラムカートリッジ交換予告> ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶ 

ドラムカートリッジ寿命到達

ドラムカートリッジが寿命に達したときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶  ▶ <警告表示> ▶  ▶ <ドラムカートリッジ寿命到達> ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶ 

定着器交換予告

定着器の交換時期が近づいたときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



ITB ユニット交換予告

ITB ユニットの交換時期が近づいたときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



回収トナー容器交換予告

回収トナー容器の交換時期が近づいたときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



2次転写外ローラー予告

2次転写外ローラーの交換時期が近づいたときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



給紙ローラー交換予告

給紙ローラーの交換時期が近づいたときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



定着器寿命警告

定着器が寿命に達したときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



ITB 寿命警告

ITB ユニットが寿命に達したときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



カセット用紙なし

給紙カセットの用紙がなくなったときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



E メール通信エラー

E メール印刷で通信エラーが発生したときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



警告処理

消耗品寿命のメッセージが表示されたときの動作について設定します。

トナーカートリッジ交換予告

トナーカートリッジの寿命が近づいたときに、自動的に印刷を停止するかどうかを設定します。

印刷継続
印刷停止



a <印刷継続>

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、<X トナーカートリッジの寿命が近づいています。>が表示されますが、印刷は継続します。

b <印刷停止>

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、<X トナーカートリッジの寿命が近づいています。>が表示され、一時的に印刷が停止します。印刷を継続するには (オンライン) を押します。

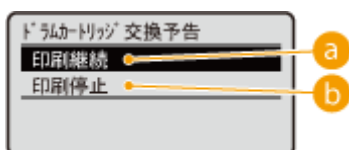


- 上記メッセージの「X」には、CMYKの色が表示されます。

ドラムカートリッジ交換予告

ドラムカートリッジの交換時期が近づいたときに、自動的に印刷を停止するかどうかを設定します。

印刷継続
印刷停止



a <印刷継続>

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、<ドラムカートリッジ N の寿命が近づいています。>が表示されますが、印刷は継続します。

b <印刷停止>

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、<ドラムカートリッジ N の寿命が近づいています。>が表示され、一時的に印刷が停止します。印刷を継続するには (オンライン) を押します。

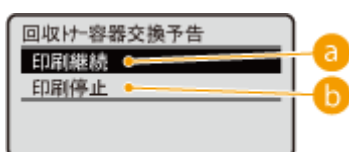


- 上記メッセージの「N」には、1~4 の数字が表示されます。

回収トナー容器交換予告

回収トナー容器の交換時期が近づいたときに、自動的に印刷を停止するかどうかを設定します。


印刷継続
印刷停止



a <印刷継続>

回収トナー容器の交換時期が近づくと、<回収トナー容器の交換時期が近づいています。>が表示されますが、印刷は継続します。

b <印刷停止>

回収トナー容器の交換時期が近づくと、<回収トナー容器の交換時期が近づいています。>が表示され、一時的に印刷が停止します。印刷を継続するには  (オンライン) を押します。

日付/時刻設定

現在の日付と時刻を設定します。

日付

現在の日付を、年月日の順で設定します。カーソルは ◀ / ▶ で移動し、日付の指定はテンキーで行います。

2001 01/01~2030 12/31



時刻 (24 時間)

現在の時刻を、24 時間表示で設定します。カーソルは ◀ / ▶ で移動し、時刻の指定はテンキーで行います。

00:00:00~23:59:59



主電源 ON 時の高速起動

高速起動を設定すると、電源スイッチを押してから画面操作できるようになるまでの時間を短縮できます。▶ **本機を高速起動する(P. 39)**

OFF
ON

SD カードの使用 *

SD カードを使用するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶ ▶ <SD カードの使用> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <OFF>または<ON> ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

PDL リソースデータ保存先 *

SD カードを装着しているときに、PDL リソースデータ（フォントやパターンデータ）の保存先を設定します。リソースデータを高速で登録したいときは<RAM>に、リソースデータの容量が多いときは<SD カード>に設定します。

RAM
SD カード



▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶ ▶ <PDL リソースデータ保存先> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <RAM>または<SD カード> ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)



保存先を<SD カード>から<RAM>に切り替えたとき

- SD カードに保存されているリソースデータは自動的に削除されます。

割り込み印刷 *

割り込み印刷機能の使用を許可するかどうかを設定します。

許可しない
許可する



セキュアプリント消去時間*

セキュア文書の印刷データが自動的に消去されるまでの時間を設定します。▶ **セキュア文書の保存時間を変更する(P. 103)**

1 時間
2 時間
3 時間
6 時間
12 時間
24 時間

ジョブ履歴保証*

シャットダウンのタイミングによっては、印刷履歴が残らなかったり、総印刷ページ数がカウントされなかったりすることがあります。この機能を< ON >に設定すると、印刷履歴や総印刷ページ数のカウントが保証されます。ただし、印刷速度が遅くなります。

OFF
ON



USB 接続する PC の OS

本機と USB 接続するとき使用するパソコンの OS を選択します。

Mac OS
Windows
その他



- お使いのパソコンの OS と本機の設定を一致させてください。一致していないと、パソコンで本機が正しく検出されません。

- OS X 10.10 以前のバージョンで、USB 接続によるプリンタードライバーからの印刷を行う場合は、＜その他＞に設定してください。




▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶  ▶ <USB 接続する PC の OS > ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ 接続するパソコンの OS を選択 ▶  ▶ ハードリセット (▶  **ハードリセットする(P. 510)**)

ページ記述言語(PnP)

本機とパソコンを USB で接続したときや、WSD ネットワーク上で本機を検索したときに、どのプリンタードライバーをインストールするかを設定します。

LIPSLX
LIPSLX (V4)
LIPS4*
XPS (Direct)



▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶  ▶ <ページ記述言語(PnP)> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ ページ記述言語を選択 ▶  ▶ ハードリセット (▶  **ハードリセットする(P. 510)**)

管理設定

不用意な設定の変更を防ぐために、操作パネルの ▶ (セットアップ) キーをロックすることができます。

セットアップキーのロック

< ON > に設定すると、操作パネルで ▶ (セットアップ) を押しても動作しなくなります。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶  ▶ <管理設定> ▶  ▶ <セットアップキーのロック> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶ 

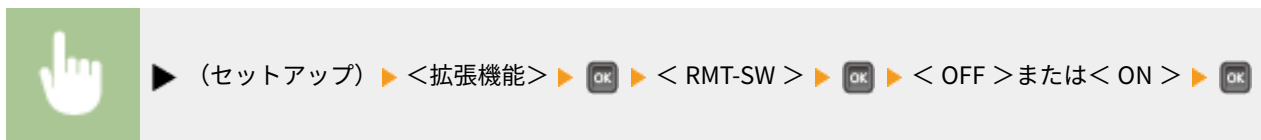


- < ON > に設定した場合、セットアップキーのロックはリモート UI からのみ解除できます。▶ **操作パネルの使用を制限する(P. 261)**

RMT-SW

< OFF >に設定したままお使いください。サービス担当が遠隔から機器メンテナンスする場合に< ON >にさせていただく場合があります。

OFF
ON



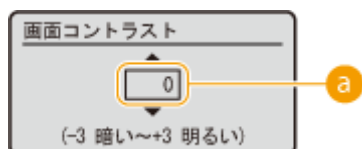
画面調整

ディスプレイのコントラストや明るさを調整します。

画面コントラスト

設置場所に応じて、ディスプレイのコントラスト（明暗の差）を調整します。

-3~0~+3



a コントラストの調整

明るくするときは「+」に設定します。暗くするときは「-」に設定してください。

バックライトの明るさ

ディスプレイのバックライトの明るさを3段階の中から選びます。バックライトを点灯させたくないときは< OFF >に設定してください。

OFF
レベル1
レベル2
レベル3






▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶  ▶ <画面調整> ▶  ▶ <バックライトの明るさ> ▶  ▶ 明るさを選択 ▶ 

アニメーション表示

紙づまりが発生したときやトナーカートリッジなどを交換するときに、ディスプレイに手順を示すアニメーションを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶  ▶ <アニメーション表示> ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶ 

トナー残量アイコン表示

ディスプレイの右下にトナーカートリッジの状態を示すアイコンを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶  ▶ <トナー残量アイコン表示> ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶ 

設定完了通知

設定変更時に表示されるメッセージの表示秒数を設定します。< OFF >に設定すると、メッセージは表示されなくなります。

設定しました。

OFF
1 秒
2 秒
3 秒



用紙設定の確認表示

給紙カセットをセットしたときに、用紙設定の確認を促すメッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



スクロール文字速度*

ディスプレイに表示される文字が右から左へスクロールする場合の速度を3種類の中から選びます。

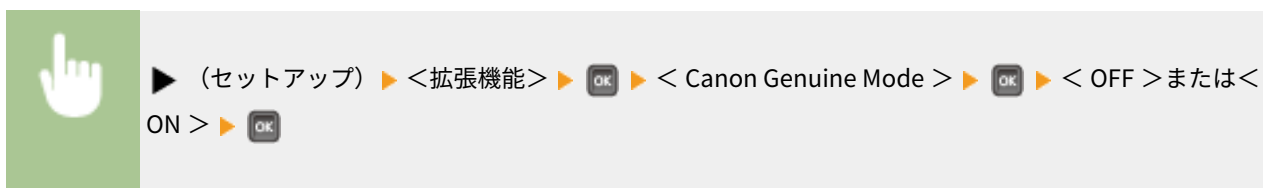
遅い
普通
速い



Canon Genuine Mode

純正カートリッジ向けのモードです。

OFF
ON

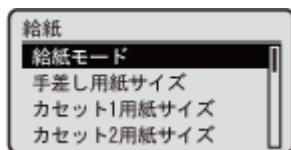




- サービス担当が設定を変更させていただく場合があります。メニューが表示されていない場合は、本機の管理者にお問い合わせください。

給紙

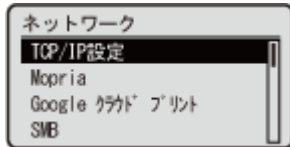
55S7-04R



▶ **給紙選択メニュー(P. 513)** を参照してください。

ネットワーク

55S7-04S



ネットワークに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



<ネットワーク>が表示されない場合

- <インターフェイス選択>の<ネットワーク>が< OFF >に設定されているときは、セットアップメニューに<ネットワーク>は表示されません。▶**インターフェイス選択(P. 394)**

項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| ▶ TCP/IP 設定(P. 353) | ▶ ソフトウェアの登録/更新(P. 369) |
| ▶ Mopria(P. 365) | ▶ Ethernet ドライバー(P. 370) |
| ▶ Google クラウド プリント(P. 365) | ▶ スリープ時の優先設定(P. 370) |
| ▶ SMB(P. 365) | ▶ IEEE802.1X(P. 371) |
| ▶ SNMP 設定(P. 366) | ▶ アドレスフィルター(P. 371) |
| ▶ スプール機能(P. 368) | ▶ MAC アドレス(P. 372) |
| ▶ 並列受信(P. 368) | ▶ E メール印刷設定(P. 372) |
| ▶ 起動時の接続待機時間(P. 369) | ▶ NetEye(P. 373) |
| ▶ リモート UI 設定(P. 369) | ▶ ネットワーク設定初期化(P. 374) |

TCP/IP 設定

IP アドレスの設定など、本機を TCP/IP ネットワークで使用するための設定をします。

IPv4 設定

IPv4 を使ったネットワークで本機を使用するための各種設定を行います。

IPv4

本機で IPv4 を使用するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ **OK** ▶ メッセージを確認 ▶ **OK** ▶ < TCP/IP 設定 > ▶ **OK** ▶ < IPv4 設定 > ▶ **OK** ▶ < IPv4 > ▶ **OK** ▶ < OFF > または < ON > ▶ **OK** ▶ ハードリセット (▶**ハードリセットする(P. 510)**)

IP モード

IP アドレスの設定方法を選びます。▶IPv4 アドレスを設定する(P. 163)

自動
手動

プロトコル選択*

< IP モード > が < 自動 > に設定されているときに選択します。選択したプロトコルを < ON > に設定すると、残り 2 つの設定は自動的に < OFF > になります。▶IPv4 アドレスを設定する(P. 163)

DHCP

OFF
ON

BOOTP

OFF
ON

RARP

OFF
ON

Auto IP*

自動的に IP アドレスを取得するかどうかを設定します。< IP モード > が < 自動 > に設定されているときは < ON > に設定します。▶IPv4 アドレスを設定する(P. 163)

OFF
ON

IP アドレス設定

TCP/IP ネットワークでパソコンやプリンターなどの通信機器を特定するための IP アドレスを設定します。▶IPv4 アドレスを設定する(P. 163)

IP アドレス

0.0.0.0～255.255.255.255

サブネットマスク

0.0.0.0～255.255.255.255

ゲートウェイアドレス

0.0.0.0～255.255.255.255

DNS

ホスト名を IP アドレスに変換する Domain Name System (DNS) のサーバーアドレスを設定します。カーソルは ◀ / ▶ で移動し、アドレスの指定はテンキーで行います。その他の DNS に関する設定はリモート UI から行う必要があります。▶DNS の設定をする(P. 194)

プライマリー DNS サーバーアドレス


0.0.0.0~255.255.255.255

セカンダリー DNS サーバーアドレス

0.0.0.0~255.255.255.255

 ▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <IPv4 設定> ▶  ▶ <DNS> ▶  ▶ 設定するサーバーを選択 ▶  ▶ アドレスを設定 ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

mDNS 設定*

DNS サーバーがない環境で DNS の機能を使うための設定をします。  **DNS の設定をする(P. 194)**

mDNS

OFF
ON

 ▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <IPv4 設定> ▶  ▶ <mDNS 設定> ▶  ▶ <mDNS> ▶  ▶ <OFF> または <ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

mDNS 名*

< mDNS > が < ON > の場合に設定します。

 ▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <IPv4 設定> ▶  ▶ <mDNS 設定> ▶  ▶ <mDNS 名> ▶  ▶ 名前を設定 ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

DHCP オプション

DHCP が有効な場合に、DHCP オプション機能を使ってホスト名の取得や動的更新をするかどうかを設定します。

ホスト名の取得

OFF
ON


DNS の動的更新

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <IPv4 設定> ▶  ▶ <DHCP オプション> ▶  ▶ <ホスト名の取得>または<DNS の動的更新> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする (P. 510)**)

IPv6 設定





IPv6 を導入したネットワークで本機を使用するかどうかを設定します。IPv6 のアドレス設定はリモート UI から行う必要があります。  **IPv6 アドレスを設定する(P. 168)**

IPv6


本機で IPv6 を使用するかどうかを設定します。

OFF ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <IPv6 設定> ▶  ▶ <IPv6> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

mDNS 設定 *

DNS サーバーがない環境で DNS の機能を使うための設定をします。  **DNS の設定をする(P. 194)**

mDNS

OFF ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <IPv6 設定> ▶  ▶ <mDNS 設定> ▶  ▶ <mDNS> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

IPv4 と同じ mDNS 名使用 *


OFF ON











▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < IPv6 設定 > ▶  ▶ < mDNS 設定 > ▶  ▶ < IPv4 と同じ mDNS 名使用 > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)


mDNS 名 *

< IPv4 と同じ mDNS 名使用 > が < OFF > の場合に設定します。



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < IPv6 設定 > ▶  ▶ < mDNS 設定 > ▶  ▶ < mDNS 名 > ▶  ▶ 名前を設定 ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

WINS による名前解決

ネットワークで NetBIOS と TCP/IP を併用しているときに、NetBIOS 名を IP アドレスに変換する Windows Internet Name Service (WINS) を使用するかどうかを設定します。WINS を使用するときに適用される詳細な設定はリモート UI から行う必要があります。  **WINS の設定をする(P. 200)**

OFF
ON




▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < WINS による名前解決 > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

FTP

FTP から印刷や本機の設定変更をするかどうかを設定します。

FTP 印刷

FTP から印刷するかどうかを設定します。FTP 印刷をするときのユーザー名やパスワードの設定はリモート UI から行う必要があります。  **FTP サーバーの準備をする(P. 662)**

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < FTP > ▶  ▶ < FTP 印刷 > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

FTP 経由の設定を許可

FTP から本機の設定を変更するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定>
▶ ▶ <FTP> ▶ ▶ <FTP 経由の設定を許可> ▶ ▶ <OFF>または<ON>
▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

LPD 設定

ハードウェアや OS などのプラットフォームに依存しない印刷プロトコルである LPD を使用するかどうかを設定します。また、通信エラーなどで印刷データが受信できない場合に、自動的にジョブを終了させるまでの時間を設定します。LPD 使用時のバナーページ印刷に関する設定は、リモート UI から行う必要があります。 **印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 173)**

LPD 印刷

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定>
▶ ▶ <LPD 設定> ▶ ▶ <LPD 印刷> ▶ ▶ <OFF>または<ON> ▶ ▶ ハードリ
セット (**ハードリセットする(P. 510)**)

受信タイムアウト *

1 ~ 60 (分)



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定>
▶ ▶ <LPD 設定> ▶ ▶ <受信タイムアウト> ▶ ▶ タイムアウト時間を設
定 ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

RAW 設定

Windows 独自の印刷データ形式である RAW を使用するかどうかを設定します。また、通信エラーなどで印刷データが受信できない場合に、自動的にジョブを終了させるまでの時間を設定します。双方向通信についての設定は、リモート UI から行う必要があります。 **印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 173)**

RAW 印刷

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <RAW 設定> ▶ ▶ <RAW 印刷> ▶ ▶ <OFF>または<ON> ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

受信タイムアウト *

1 ~ 60 (分)



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <RAW 設定> ▶ ▶ <受信タイムアウト> ▶ ▶ タイムアウト時間を設定 ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

BMLinkS

メーカー共通のドライバーで印刷が可能な BMLinkS を使用するかどうかを設定します。本機の設置場所の情報など、その他の BMLinkS に関する設定はリモート UI から行う必要があります。 **メーカー共通のドライバーを使用して印刷する (BMLinkS) (P. 135)**

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <BMLinkS> ▶ ▶ <OFF>または<ON> ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

IPP 印刷


外部のネットワークからインターネットを経由して印刷が可能な IPP を使用するかどうかを設定します。通信データの TLS による暗号化やユーザー認証機能の設定はリモート UI から行う必要があります。 **印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 173)**

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <IPP 印刷> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

WSD

WSD プロトコルを使った自動検索や情報取得の対象にするかどうかを設定します。  **印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 173)**

WSD 印刷

WSD を使って本機で印刷するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <WSD> ▶  ▶ <WSD 印刷> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

WSD 参照 *

WSD を使ってパソコンから本機の情報取得するかどうかを設定します。 <WSD 印刷>を<ON>に設定していると、<WSD 参照>は<ON>に固定され、設定メニューに項目は表示されません。

OFF
ON











▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <WSD> ▶  ▶ <WSD 参照> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)


マルチキャスト探索

マルチキャストによる本機の探索に応答するかどうかを設定します。

OFF
ON




▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < WSD > ▶  ▶ <マルチキャスト探索> ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)



MEMO


- < OFF > に設定すると、本機がスリープ中にマルチキャスト探索パケットを受信してもスリープ状態を維持します。

HTTP

HTTP を使用するかどうかを設定します。HTTP はリモート UI や WSD 印刷などでパソコンとの通信をするときに必要です。  **HTTP 通信を無効にする(P. 264)**

OFF
ON


プロキシ設定








HTTP 通信を中継するプロキシサーバーを使うための設定をします。  **プロキシを設定する(P. 251)**

プロキシ


本機が HTTP 通信をするときにプロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。


OFF
ON










▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < プロキシ設定 > ▶  ▶ < プロキシ > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

サーバーアドレス*

使用するプロキシサーバーのアドレスを設定します。お使いの環境に応じて IP アドレスやドメイン名などを設定してください。カーソルは ◀ / ▶ で移動し、アドレスの入力はテンキーで行います ( **文字を入力する(P. 35)**)。



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < プロキシ設定 > ▶  ▶ < サーバーアドレス > ▶  ▶ サーバーアドレスを入力 ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

ポート番号*

使用するプロキシサーバーのポート番号を設定します。

1~80~65535



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <プロキシ設定> ▶ ▶ <ポート番号> ▶ ▶ ポート番号を入力 ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

同ドメイン*

同じドメインを構成する機器と HTTP 通信する場合でもプロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。

プロキシを使用
プロキシを使用しない



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <プロキシ設定> ▶ ▶ <同ドメイン> ▶ ▶ <プロキシを使用>または<プロキシを使用しない> ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

プロキシ認証*

プロキシサーバーの認証機能を使用するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <プロキシ設定> ▶ ▶ <プロキシ認証> ▶ ▶ < OFF >または< ON > ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

ユーザー名*


プロキシ認証を使用するときは、認証するユーザー名を 24 文字以内の半角英数字で入力します。ユーザー名の入力はテンキーで行います (**文字を入力する(P. 35)**)。









▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <プロキシ設定> ▶ ▶ <ユーザー名> ▶ ▶ ユーザー名を入力 ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

パスワード*

プロキシ認証を使用する場合にパスワードを設定するときは、24文字以内の半角英数字を入力します。パスワードの入力はテンキーで行います（[🔴文字を入力する\(P. 35\)](#)）。



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <プロキシ設定> ▶  ▶ <パスワード> ▶  ▶ パスワードを入力 ▶  ▶ ハードリセット（[🔴ハードリセットする\(P. 510\)](#)）

SNTP

ネットワーク上のタイムサーバーから時刻を取得するかどうかを設定します。サーバーのアドレス設定はリモート UI から行う必要があります。[🔴SNTP の設定をする\(P. 203\)](#)

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <SNTP> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット（[🔴ハードリセットする\(P. 510\)](#)）

探索応答

ネットワーク上でマルチキャスト探索が行われたときに、探索パケットに応答するかどうかを設定します。本機を特定のスコープに所属させるためのスコープ名の設定はリモート UI から行う必要があります。[🔴デバイス管理ソフトウェアの設定をする\(P. 212\)](#)

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <探索応答> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット（[🔴ハードリセットする\(P. 510\)](#)）

IPSec*

IPSec で構築した VPN（仮想プライベートネットワーク）を介してパソコンと暗号化通信を使用するかしないかを設定します。セキュリティポリシーの登録や設定はリモート UI から行う必要があります。[🔴IPSec の設定をする\(P. 276\)](#)

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <IPSec> ▶ ▶ <OFF>または<ON> ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

スリープ通知設定

本機の電源状態を imageWARE に通知する SLP 通信の設定をします。節電状態中における無駄な通信の削減や、総消費電力の抑制などの効果が期待できます。 **デバイス管理ソフトウェアの設定をする(P. 212)**

スリープ通知

SLP 通信を使用するかどうかを設定します。<ON>に設定すると本機の電源状態が imageWARE に通知されます。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <スリープ通知設定> ▶ ▶ <スリープ通知> ▶ ▶ <OFF>または<ON> ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

ポート番号 *

管理ソフトウェアとの SLP 通信で使用するポート番号を入力します。

1~11427~65535



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <スリープ通知設定> ▶ ▶ <ポート番号> ▶ ▶ テンキーでポート番号を入力 ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

通過させるルーター数 *

SLP 通信パケットが最大で何台のルーターを通過できるかを 0~254 の範囲で指定します。

0~3~254











▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <スリープ通知設定> ▶ ▶ <通過させるルーター数> ▶ ▶ テンキーで通過させるルーター数を入力 ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

通知間隔*


何秒おきに本機の電源状態を通知するかを 60～65535（秒）の範囲で入力します。

60～600～65535






▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ <スリープ通知設定> ▶  ▶ <通知間隔> ▶  ▶ テンキーで通知間隔を入力 ▶  ▶ ハードリセット ( ハードリセットする(P. 510))

Mopria


Mopria®を使用するかどうかを設定します。  Mopria®で印刷する(P. 141)

OFF
ON




▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < Mopria > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( ハードリセットする(P. 510))

Google クラウド プリント

クラウドプリントを使用するかどうかを設定します。  クラウドプリントの設定を変更する(P. 151)

- クラウド プリントを使用
OFF
ON
- 登録状況

SMB*

本機を SMB ネットワークの共有プリンターとして使用するかどうかを設定します。サーバー名やワークグループ名など、その他の SMB に関する設定はリモート UI から行う必要があります。  SMB の設定をする(P. 216)

SMB サーバー

本機を SMB サーバーとして SMB ネットワークに表示するかどうかを設定します。

OFF
ON










▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <SMB> ▶  ▶ <SMBサーバー> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする (P. 510)**)

SMB 印刷*


SMB 印刷を有効にするかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <SMB> ▶  ▶ <SMB印刷> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする (P. 510)**)

SNMP 設定

SNMP 対応ソフトウェアで本機を監視／制御するための設定をします。  **SNMP で監視／制御する (P. 206)**


SNMPv1 設定








SNMPv1 を使うための設定をします。所属するコミュニティ名および管理情報データベース (MIB) へのアクセス権限の設定はリモート UI から行う必要があります。

SNMPv1

SNMPv1 を使用するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <SNMP 設定> ▶  ▶ <SNMPv1 設定> ▶  ▶ <SNMPv1> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする (P. 510)**)








専用コミュニティ設定

専用コミュニティは imageWARE Enterprise Management Console など、キヤノンのソフトウェアを使用する管理者用に用意されたコミュニティです。管理情報データベース (MIB) のアクセス権限を選びます。

専用コミュニティ

OFF
読込/書込
読込のみ



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <SNMP 設定> ▶  ▶ <SNMPv1 設定> ▶  ▶ <専用コミュニティ設定> ▶  ▶ <専用コミュニティ> ▶  ▶ アクセス権限を選択 ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)


SNMPv3 設定







SNMPv3 を使うための設定をします。SNMPv3 を使用するとき適用される詳細な設定はリモート UI から行う必要があります。

SNMPv3


SNMPv3 を使用するかどうかを設定します。

OFF
ON





▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <SNMP 設定> ▶  ▶ <SNMPv3 設定> ▶  ▶ <SNMPv3> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)










ユーザー設定 1~5 *

SNMPv3 で使用するユーザー情報の認証パスワードと暗号化パスワードを設定します。ユーザー情報はリモート UI で登録しておく必要があります。  **SNMP で監視/制御する(P. 206)**

認証パスワード/暗号化パスワード

パスワードは 6~16 文字の半角英数字で入力します。パスワードの入力はテンキーで行います ( **文字を入力する(P. 35)**)。










▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <SNMP 設定> ▶  ▶ <SNMPv3 設定> ▶  ▶ ユーザー設定番号を選択 ▶  ▶ ユーザー名を確認 ▶  ▶ <認証パスワード>または<暗号化パスワード> ▶  ▶ パスワードを入力 ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)


スリープ時パケット受信拒否

スリープモード中に受信した SNMP パケットを破棄するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <SNMP 設定> ▶  ▶ <スリープ時パケット受信拒否> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)



MEMO

- <ON>に設定すると、キヤノン製ソフトウェア (imageWARE Series) などの SNMP プロトコルを使用するアプリケーションから、本機へアクセスできない場合があります。

スプール機能*

受信した印刷データの格納場所を SD カードの領域まで広げるかどうかを設定します。<ON>に設定すると、より多くの印刷データを受信することができます。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <スプール機能> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)


並列受信

複数の印刷データを本機に送信したときに、効率的に処理するかどうかを設定します。<OFF>に設定すると、受信した順番どおりに印刷されますが、印刷速度が遅くなる場合があります。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <並列受信> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)



MEMO

- <OFF>に設定しても、保存ジョブプリントを行っているときなど、状況によっては受信した順番どおりに保存されない場合があります。

起動時の接続待機時間

通信開始までの待ち時間を設定します。本機を接続したネットワーク環境に合わせて設定してください。▶ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 193)

0~300 (秒)

リモート UI 設定

リモート UI を使うための設定をします。リモート UI を使うとウェブブラウザから本機の設定ができます。

リモート UI

リモート UI を使うかどうかを設定します。▶リモート UI を無効にする(P. 265)

OFF
ON

リモート UI アクセス保護設定

リモート UI にアクセスするときに暗証番号を使用するかどうかを設定します。▶リモート UI の暗証番号を設定する(P. 238)

OFF
ON

TLS の使用 *

リモート UI の通信に TLS を使用するかどうかを設定します。TLS による暗号化通信を行うには、リモート UI で TLS に使用する鍵ペアを指定しておく必要があります (▶TLS で暗号化通信をする(P. 271))。

OFF
ON



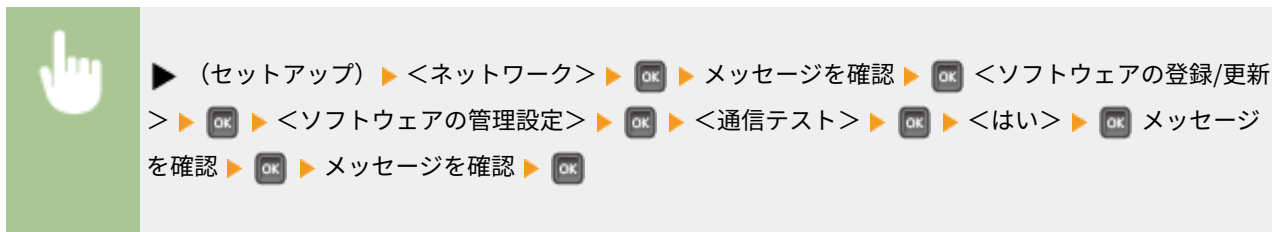
▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <リモート UI 設定> ▶ ▶ < TLS の使用> ▶ ▶ < OFF >または< ON > ▶ ▶ ハードリセット (▶ハードリセットする(P. 510))

ソフトウェアの登録/更新 *

MEAP アプリケーションの登録や更新時に接続する配信サーバーへの通信確認を行います。

ソフトウェアの管理設定

通信テスト



Ethernet ドライバー

イーサネットの通信方式（半二重／全二重）や種類（10 Base-T/100 Base-TX/1000 Base-T）を設定します。▶ **イーサネットの設定をする(P. 191)**

自動検出

通信方式と種類を自動検出するかどうかを設定します。

OFF
ON

通信方式*

手動で設定する場合にイーサネットの通信方式を選びます。

半二重
全二重

Ethernet 種類*

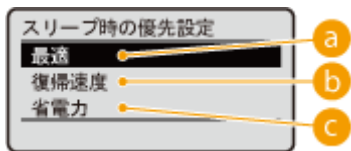
手動で設定する場合にイーサネットの種類を選びます。

10 Base-T
100 Base-TX
1000 Base-T

スリープ時の優先設定

スリープモードから復帰するときの速度を優先するか、スリープ中の省電力を優先するかを設定します。

最適
復帰速度
省電力



a 最適

スリープモードからの復帰が速くなります。ハブやルーターなど、本機と直接接続されている機器が EEE (Energy Efficient Ethernet) 機能に対応しているときは、消費電力をより抑えることができます。通常はこの設定でお使いください。

b 復帰速度

スリープモードからの復帰が速くなります。

c 省電力

スリープ中の通信速度を抑えることにより、電力の消費をより小さくします。



- 本項目は、<スリープモード>を<レベル高 (ディープスリープ)>に設定しているときに有効です。▶ **スリープモードにする(P. 70)**

IEEE802.1X

IEEE 802.1X 認証を使用するかどうかを設定します。IEEE 802.1X 認証を使用するときに適用される詳細な設定はリモート UI から行う必要があります。▶ **IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 286)**

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ **OK** ▶ メッセージを確認 ▶ **OK** ▶ < IEEE802.1X > ▶ **OK** ▶ メッセージを確認 ▶ **OK** ▶ < OFF > または < ON > ▶ **OK** ▶ ハードリセット (▶ **ハードリセットする(P. 510)**)

アドレスフィルター

IP アドレスや MAC アドレスを使った通信制限を有効にするかどうかを設定します。制限するアドレスの設定はリモート UI から行う必要があります。▶ **ファイアウォールで通信制限する(P. 240)**

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <アドレスフィルター> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

MAC アドレス


通信機器固有の番号である MAC アドレスを確認します。

(表示のみ)



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <MAC アドレス> ▶ 

E メール印刷設定

E メール印刷機能を使うための設定をします。メールサーバーの設定など、その他の E メール印刷に関する設定はリモート UI から行う必要があります。  **E メールを受信して印刷する (E メール印刷) (P. 129)**

POP3 受信間隔


メールサーバーへ自動的に接続する間隔を分単位で設定します。サーバーのメールボックスに新着メールがあれば、自動受信して印刷します。

0~90 (分)



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <E メール印刷設定> ▶  ▶ <POP3 受信間隔> ▶  ▶ テンキーで自動受信する間隔を入力 ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)



- 「0」に設定したときは自動受信を行いませんので、手動で E メールを受信してください。  **E メールを手動で受信する(P. 133)**

POP3 受信

POP3 メールサーバーからの E メール印刷を有効にするかどうかを設定します。

OFF

ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ < E メール印刷設定 > ▶ ▶ < POP3 受信 > ▶ ▶ < OFF > または < ON > ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

SMTP 受信

SMTP プロトコルでの E メール印刷を有効にするかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ < E メール印刷設定 > ▶ ▶ < SMTP 受信 > ▶ ▶ < OFF > または < ON > ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

NetEye

遠隔監視サーバーへの通信を行ったり、通信履歴を表示したりします。

通信テスト

遠隔監視サーバーへの通信確認を行います。この項目を実行すると、本機の情報定期的に遠隔監視サーバーへ送信されるようになります。ご利用にはサービスを提供するサーバーと本機が通信できるようにする必要があります。詳しい設定内容については **本機を準備する(P. 599)** を参照してください。



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ < NetEye > ▶ ▶ < 通信テスト > ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ < はい > ▶

通信ログ

<通信テスト> で発生したエラー情報などの通信履歴を表示します。

(表示のみ)



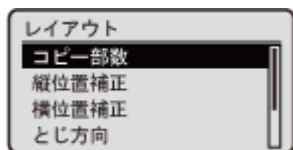
▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ < NetEye > ▶ ▶ < 通信ログ > ▶ ▶ ログを選択 ▶ ▶ 時刻を選択 ▶

ネットワーク設定初期化

ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。 [▶ネットワーク設定を初期化する\(P. 592\)](#)

レイアウト

55S7-04U



とじしろの余白や印字位置など、印刷するときの体裁に関する設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶ コピー部数(P. 375)
- ▶ 縦位置補正／横位置補正(P. 375)
- ▶ とじ方向(P. 376)
- ▶ とじしろ(P. 377)
- ▶ 特殊両面処理(P. 378)

コピー部数

印刷部数を設定します。



縦位置補正／横位置補正

給紙部にかかわらず、すべての印刷における印字位置を 0.5 mm 単位でずらすように設定できます。



a <縦位置補正>

タテ方向に印字位置をずらします。

b <横位置補正>

ヨコ方向に印字位置をずらします。

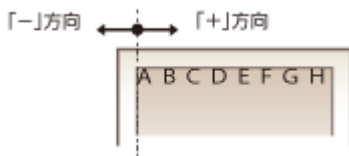
c 設定値の入力

<縦位置補正>の場合、用紙の上から下方向へずらすときは「+」に設定します。<横位置補正>の場合、用紙の左から右方向へずらすときは「+」に設定します。反対の方向へずらすときは「-」に設定してください。

<縦位置補正>



<横位置補正>



より細かく印字位置を設定する

- <ユーザーメンテナンス>の<印字位置調整>で、給紙部ごとに細かく印字位置を設定することができます。ただし、設定できる範囲はタテ方向が -5.0 mm ~ +5.0 mm、ヨコ方向が -3.5 mm ~ +3.5 mm の間になります。▶**印字位置調整(P. 397)**

とじ方向

印刷文書をホチキスなどでとじる場合、とじ位置を用紙の長辺と短辺のどちらにするのかを設定します。とじ位置の余白調整をする<とじしろ>と組み合わせて設定します。

長辺とじ
短辺とじ



▶ (セットアップ) ▶ <レイアウト> ▶ **OK** ▶ <とじ方向> ▶ **OK** ▶ <長辺とじ>または<短辺とじ> ▶ **OK**



a <長辺とじ>

用紙の長辺をとじたいときに設定します。



b <短辺とじ>

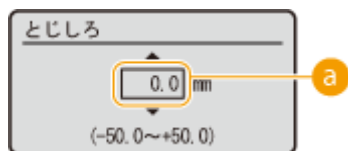
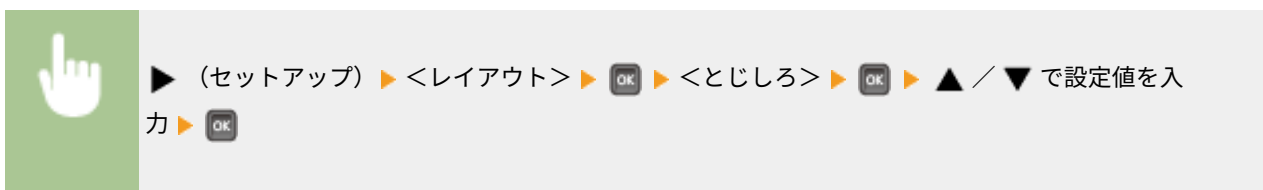
用紙の短辺をとじたいときに設定します。



とじしろ

印刷データをずらすことで、<とじ方向>で設定した辺の余白幅を調整します。「0.0」に設定しているときは余白に変化はありません。

-50.0~0.0~+50.0 (mm)







a 設定値の入力

印刷データをずらす方向と幅を設定します。設定値が「+」の数値か「-」の数値かによって、余白を広げる辺が変わります。余白幅の調整は0.5 mm 単位で設定することができます。

■タテ向きの文書するとき

設定値	長辺とじ	短辺とじ
「+」の数値に設定	用紙の左端 (左とじ用) 	用紙の上端 (上とじ用)
「-」の数値に設定	用紙の右端 (右とじ用) 	用紙の下端 (下とじ用)

■ヨコ向きの文書するとき

設定値	長辺とじ	短辺とじ
「+」の数値に設定	用紙の左端（上とじ用） 	用紙の上端（右とじ用） 
「-」の数値に設定	用紙の右端（下とじ用） 	用紙の下端（左とじ用） 

特殊両面処理

奇数のページ数の文書を両面印刷するときに、最後のページを片面印刷で処理するかどうかを設定します。＜ON＞に設定すると、通常の両面印刷よりも早く印刷が完了します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <レイアウト> ▶  ▶ <特殊両面処理> ▶  ▶ < OFF > または < ON >
> ▶ 

MEMO

文書が偶数ページ数でも片面処理で終わるとき

最後のページが以下のような場合は、偶数ページ数でも片面印刷で処理されます。

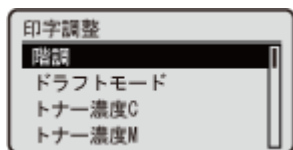
- 白紙ページの場合
- 両面印刷できない用紙サイズなどの理由で、印刷できないページの場合

ロゴマークなどが印刷されている用紙を使うとき

- < ON > に設定して最後のページを片面印刷で処理すると、ページの向きやプリントする面が他のページと異なってしまうことがあります。そのような場合は < OFF > に設定してください。

印字調整

55S7-04W



階調やトナー濃度など、印刷の品質に関する設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- 他の設定項目によっては表示されません。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ▶ 階調(P. 379) ▶ ドラフトモード(P. 380) ▶ トナー濃度 X (X=C M Y K) (P. 380) ▶ トナー濃度 X (微調整) (X=C M Y K) (P. 380) ▶ カラーモード(P. 380) ▶ 中間調選択(P. 381) ▶ グレー補償(P. 382) | <ul style="list-style-type: none"> ▶ CMS(P. 383) ▶ グラデーション設定(P. 388) ▶ アドバンスドスムージング(P. 389) ▶ トナー印字量補正(P. 390) ▶ ライン処理(P. 391) ▶ 画質警告(P. 391) ▶ 特殊スムージングモード(P. 392) |
|--|---|

階調

印刷データを処理するときの階調を設定します。

高階調 1
高階調 2



a <高階調 1>

写真などを一般的な品質で印刷します。

b <高階調 2>

写真などをより高い品質で印刷したいときに設定します。

ドラフトモード

大量に印刷するときなど、レイアウトなどの仕上がりを事前に確認してから印刷したいときに設定します。トナーを節約して印刷するため、細い線や濃度の薄い部分が不鮮明になることがあります。

OFF
ON



トナー濃度 X (X=C M Y K) *

印刷時の CMYK 各色のトナー濃度を調整します。<ドラフトモード>が< ON >のときは表示されません。🔴印刷濃度を調整する(P. 564)

-8~0~+8

トナー濃度 X (微調整) (X=C M Y K) *

印刷時の CMYK 各色のトナー濃度を 3 段階に分かれた濃度域別に微調整します。<ドラフトモード>が< ON >のときは表示されません。🔴印刷濃度を調整する(P. 564)

- 高濃度
-8~0~+8
- 中濃度
-8~0~+8
- 低濃度
-8~0~+8

カラーモード

カラーで印刷するか、白黒で印刷するかを設定します。

自動(カラー/白黒)
カラー
白黒





a <自動(カラー/白黒)>

原稿の種類によってカラー印刷と白黒印刷を自動的に切り替えます。

b <カラー>

カラーで印刷します。

c <白黒>

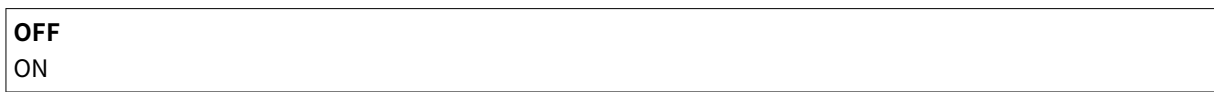
カラーの原稿でも白黒で印刷します。

中間調選択

中間調（画像の明るい部分と暗い部分の中間の領域）の再現方法を選びます。

誤差拡散

文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭線を印刷するのに適しています。



MEMO

- <誤差拡散>を使用した場合、定着させたトナー、質感の安定性が下がる場合があります。

解像度/階調*

<誤差拡散>を<OFF>に設定した場合に、中間調の再現方法を選びます。1つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • テキスト <ul style="list-style-type: none"> 解像度 階調 • グラフィックス <ul style="list-style-type: none"> 解像度 階調 |
|---|

- イメージ
解像度
階調



a 画像の種類

設定を変更する対象を選びます。<テキスト>は文字、<グラフィックス>は線や図形、<イメージ>は写真などの画像が対象となります。

b <解像度>

テキストの輪郭をくっきりさせて精細な印刷をします。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。

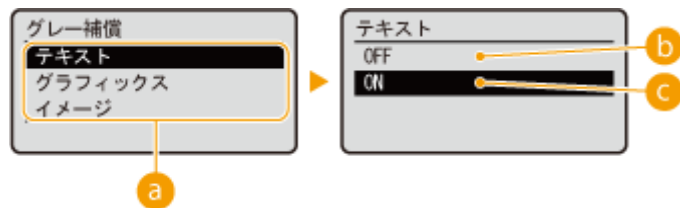
c <階調>

階調や輪郭をなめらかに印刷します。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。

グレー補償

色情報が「R = G = B」のブラックまたはグレーのデータを、K（ブラック）のトナー 1 色で印刷するか、CMYK のトナー 4 色で印刷するかを選びます。1 つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

- テキスト
OFF
ON
- グラフィックス
OFF
ON
- イメージ
OFF
ON



a 画像の種類

設定を変更する対象を選びます。<テキスト>は文字、<グラフィックス>は線や図形、<イメージ>は写真などの画像が対象となります。

b < OFF >

CMYKのトナー4色で印刷します。<ON>のときよりも暗い色の階調の再現性が向上します。

c < ON >

K（ブラック）のトナー1色で印刷します。カラー（CMY）のトナーによる色ずれを防ぐことができます。

CMS

色補正の処理方法を設定します。画像の種類別に設定することができる項目は、設定を変更する対象を選びます。

CMS(マッチング)選択

プリンター側とホスト側（プリンタードライバー）のどちらで色補正の処理を行うかを設定します。

プリンター ホスト

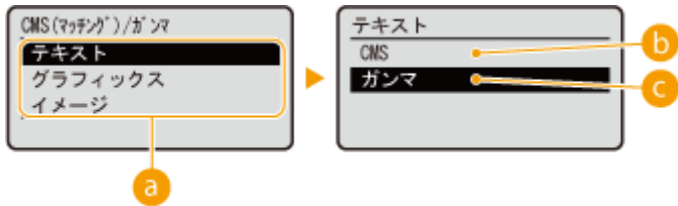


CMS(マッチング)/ガンマ

カラー印刷時の処理モードを選びます。1つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

・テキスト CMS ガンマ ・グラフィックス CMS
--

ガンマ ・イメージ CMS ガンマ



a 画像の種類

設定を変更する対象を選びます。<テキスト>は文字、<グラフィックス>は線や図形、<イメージ>は写真などの画像が対象となります。

b < CMS >

プロファイルを使用して色のマッチングを行います。

c <ガンマ>

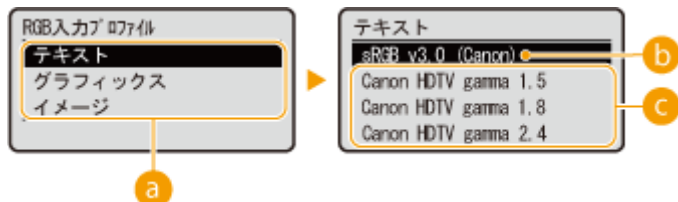
ガンマ値を設定して明るさの強弱で色の調整を行います。

RGB 入力プロファイル

RGB データに対して、ディスプレイの画質に合わせた適切なプロファイルを選びます。1つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

・テキスト sRGB v3.0 (Canon) Canon HDTV gamma 1.5 Canon HDTV gamma 1.8 Canon HDTV gamma 2.4
・グラフィックス sRGB v3.0 (Canon) Canon HDTV gamma 1.5 Canon HDTV gamma 1.8 Canon HDTV gamma 2.4
・イメージ sRGB v3.0 (Canon) Canon HDTV gamma 1.5 Canon HDTV gamma 1.8

Canon HDTV gamma 2.4



a 画像の種類


設定を変更する対象を選びます。<テキスト>は文字、<グラフィックス>は線や図形、<イメージ>は写真などの画像が対象となります。

b < sRGB v3.0 (Canon) >

一般的なディスプレイの業界標準画質に設定されます。sRGB 対応ディスプレイをお使いの場合、表示される色に近い色味で印刷することができます。

c < Canon HDTV gamma 1.5~2.4 >

印刷結果とディスプレイに表示された色を比べて、明るさを調整したいときに設定します。設定値が大きいほど暗く印刷されます。

 **MEMO**

- < CMS(マッチング)/ガンマ >を< CMS >に設定したときに有効になります。

出力プロファイル

印刷データに対して適切なプロファイルを選びます。1つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

- テキスト
Normal
Photo
- グラフィックス
Normal
Photo
- イメージ
Normal
Photo



a 画像の種類


設定を変更する対象を選びます。<テキスト>は文字、<グラフィックス>は線や図形、<イメージ>は写真などの画像が対象となります。

b < Normal >

ディスプレイに表示された色に近い色味でマッチングを行い、印刷します。

c < Photo >

写真のような色味でマッチングを行い、印刷します。



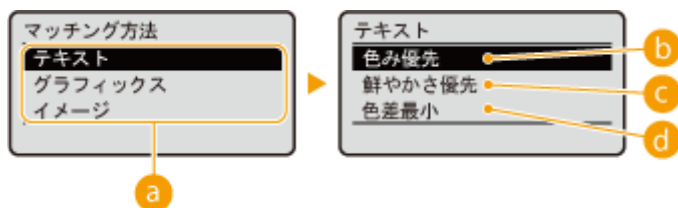
MEMO

- < CMS(マッチング)/ガンマ >を< CMS >に設定したときに有効になります。

マッチング方法

< RGB 入力プロファイル >で色のマッチングを行うときに、どの要素を優先させるかを選びます。1つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

- テキスト
 - 色み優先**
 - 鮮やかさ優先
 - 色差最小
- グラフィックス
 - 色み優先**
 - 鮮やかさ優先
 - 色差最小
- イメージ
 - 色み優先**
 - 鮮やかさ優先
 - 色差最小



a 画像の種類

設定を変更する対象を選びます。<テキスト>は文字、<グラフィックス>は線や図形、<イメージ>は写真などの画像が対象となります。

b <色み優先>

色味を優先させてマッチングを行います。

c <鮮やかさ優先>

鮮やかさを優先させてマッチングを行います。

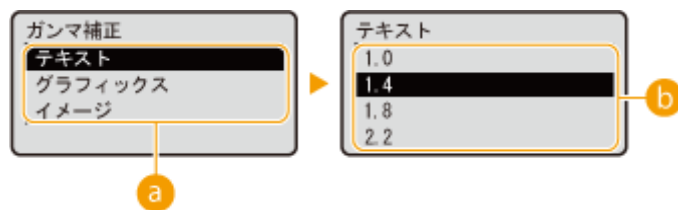
d <色差最小>

原稿と印刷の色の差が最小となるようにマッチングを行います。

ガンマ補正

原稿中の最も明るい部分や最も暗い部分を損なわないように、印刷結果の明るさを調節することができます。1つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

- テキスト
 - 1.0
 - 1.4**
 - 1.8
 - 2.2
- グラフィックス
 - 1.0
 - 1.4**
 - 1.8
 - 2.2
- イメージ
 - 1.0
 - 1.4**
 - 1.8
 - 2.2




a 画像の種類

設定を変更する対象を選びます。<テキスト>は文字、<グラフィックス>は線や図形、<イメージ>は写真などの画像が対象となります。

b < 1.0 > ~ < 2.2 >

印刷結果の明るさを調整したいときに設定します。< 1.4 >が標準（補正なし）の状態、設定値が大きいほど暗く印刷されます。



MEMO

- < CMS(マッチング)/ガンマ > を < ガンマ > に設定したときに有効になります。

グラデーション設定

線や図形、写真などの画像のグラデーションをなめらかに印刷するスムージング処理の設定を行います。

グラデーション

スムージング処理を行うかどうかを設定します。<スムーズ1>よりも<スムーズ2>の方がよりなめらかなグラデーションになるような処理を行います。

OFF
 スムーズ1
 スムーズ2



グラフィックスに適用*

<グラデーション>を<スムーズ1>または<スムーズ2>に設定した場合に、スムージング処理を線や図形に適用するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <印字調整> ▶  ▶ <グラデーション設定> ▶  ▶ <グラフィックスに適用> ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶ 

イメージに適用*

<グラデーション>を<スムーズ 1>または<スムーズ 2>に設定した場合に、スムージング処理を写真などの画像に適用するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <印字調整> ▶  ▶ <グラデーション設定> ▶  ▶ <イメージに適用> ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶ 

アドバンスドスムージング

線や図形、文字の輪郭をなめらかに印刷するスムージング処理の設定を行います。

アドバンスドスムージング

スムージング処理を行うかどうかを設定します。<スムーズ 1>よりも<スムーズ 2>の方がよりなめらかな輪郭になるような処理を行います。

OFF
スムーズ 1
スムーズ 2



▶ (セットアップ) ▶ <印字調整> ▶  ▶ <アドバンスドスムージング> ▶  ▶ <アドバンスドスムージング> ▶  ▶ 処理方法を選択 ▶ 

グラフィックスに適用*

<アドバンスドスムージング>を<スムーズ 1>または<スムーズ 2>に設定した場合に、スムージング処理を線や図形に適用するかどうかを設定します。

OFF
ON



テキストに適用*

<アドバンスドスムージング>を<スムーズ1>または<スムーズ2>に設定した場合に、スムージング処理を文字に適用するかどうかを設定します。

OFF
ON



トナー印字量補正

濃度が濃い部分を印刷するとき、どのようにトナーの量を補正するかを設定します。

標準
階調優先
テキスト優先



a <標準>

文字や線に対しては解像度を保つようなトナーの量で印刷し、それ以外のデータに対しては色味を保つようなトナーの量で印刷します。

b <階調優先>

すべてのデータに対して色味を保つようなトナーの量で印刷します。

c <テキスト優先>

すべてのデータに対して解像度を保つようなトナーの量で印刷します。

ライン処理

線に対する画像処理を設定します。

解像度優先
階調優先



a <解像度優先>

線に対して文字と同様の解像度を保つような画像処理を行います。

b <階調優先>

線に対して図形と同様の色味や階調を保つような画像処理を行います。

画質警告

処理に必要なメモリーが不足したときに、自動的に画質を落として印刷を継続するかどうかを設定します。

印刷継続
印刷停止



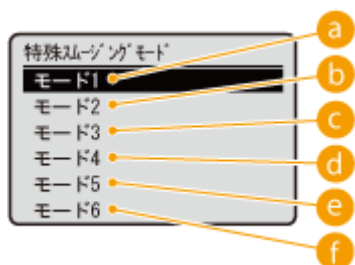
- <印刷停止>に設定すると、メモリーが不足した場合にエラーメッセージを表示して印刷が停止します。 (オンライン) を押すと画質を落として印刷を再開することができます。

特殊スムージングモード

印字ムラが出たり、なめらかに印刷できなかつたりするときに設定を変更します。

モード 1

モード 2
モード 3
モード 4
モード 5
モード 6



a <モード 1 >

通常はこちらを選んでください。

b <モード 2 >

濃度が濃い図形や大きい文字、太い線の内部がなめらかに印刷されない場合に設定します。



c <モード 3 >

次の症状が同時に発生する場合に設定します。

- 濃度が濃い図形や大きい文字、太い線の内部がなめらかに印刷されない



- 濃度が薄い図形や文字、線の周囲がなめらかに印刷されない



- 背景に塗りがある文字や線がなめらかに印刷されない



d <モード 4>

濃度が薄い図形や文字、線の周囲がなめらかに印刷されない場合に設定します。



e <モード 5>

写真などの画像や図形、グラデーション、網かけパターンに帯状のムラが出る場合に設定します。



f <モード 6>

全体的になめらかに印刷されない場合に設定します。

MEMO

- <モード 2>や<モード 4>に設定すると、濃度が薄い部分に色ムラが出る場合があります。
- <モード 3>に設定すると、濃度が薄い部分や網かけパターンに色ムラが出る場合があります。
- <モード 5>に設定すると、文字や線、図形の周囲がなめらかに印刷されない場合があります。
- <モード 6>に設定すると、色ムラが出る場合があります。

インターフェイス

55S7-04X

インターフェイス
インターフェイス選択
 タイムアウト
 コネクション認識
 拡張受信バッファ

パソコンや USB とのインターフェイスに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- ▶ **インターフェイス選択**(P. 394)
- ▶ **タイムアウト**(P. 395)
- ▶ **コネクション認識**(P. 396)
- ▶ **拡張受信バッファ**(P. 396)

インターフェイス選択

本機に使用するインターフェイスを選択します。

USB

USB ポートを使用するかどうかを設定します。▶ **パソコンとの USB 接続を制限する**(P. 258)

OFF
ON

ネットワーク

LAN ポートを使用するかどうかを設定します。▶ **LAN ポートを無効にする**(P. 266)

OFF
ON

USB 拡張機能 *

USB 機器を使用する機能の選択や、使用するドライバーの選択の設定を行います。

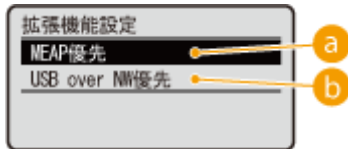
拡張機能設定

USB 機器を接続したときに、MEAP アプリケーションと USB over NW のどちらを優先するかを設定します。

MEAP 優先
 USB over NW 優先



▶ (セットアップ) ▶ <インターフェイス> ▶ ▶ <インターフェイス選択> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <USB 拡張機能> ▶ ▶ <拡張機能設定> ▶ ▶ <MEAP 優先>または<USB over NW 優先> ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)



a < MEAP 優先 >

MEAP アプリケーションを優先する場合に設定します。

b < USB over NW 優先 >

USB over NW を優先する場合に設定します。本機の USB ポートに接続した USB 機器を、パソコンから使用することができる機能です。

USB 外部記憶デバイス

USB メモリーを使用するときのデバイスドライバーについて設定します。

MEAP ドライバー

USB メモリーを本機に取り付けたときに、MEAP 専用のデバイスドライバーを使うかどうかを設定します。USB メモリーからパソコンを介さずに直接印刷 (メディアプリント) をするような場合は、< OFF > に設定しておきます。




▶ (セットアップ) ▶ <インターフェイス> ▶ ▶ <インターフェイス選択> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <USB 拡張機能> ▶ ▶ <USB 外部記憶デバイス> ▶ ▶ <MEAP ドライバー> ▶ ▶ < OFF > または < ON > ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 510)**)

タイムアウト

LIPS モード以外で動作中に、印刷データの受信が中断されたときの動作を設定します。

タイムアウト

印刷データの受信が一定時間中断された場合に、印刷をキャンセルするかどうかを設定します。





▶ (セットアップ) ▶ <インターフェイス> ▶  ▶ <タイムアウト> ▶  ▶ <タイムアウト> ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶ 

タイムアウト時間*

タイムアウトするまでの時間を設定します。

5~15~300 (秒)



▶ (セットアップ) ▶ <インターフェイス> ▶  ▶ <タイムアウト> ▶  ▶ <タイムアウト時間> ▶  ▶ テンキーで時間を設定 ▶ 

コネクション認識

LAN 接続での印刷時に、「オーバーレイプリントが正しくできない」などの問題や文字化けが発生することがあります。そのような場合は、この項目を< OFF >に設定してください。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <インターフェイス> ▶  ▶ <コネクション認識> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

拡張受信バッファ*

本機に搭載されたメモリーに対し、パソコンからの印刷データを受け取る領域の容量を増やすかどうかを設定します。< ON >に設定すると、大量のデータや複雑なデータを送るときに、パソコンが印刷データの処理や送信から開放されるまでの時間を早めることができます。

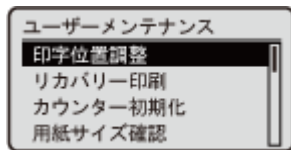
OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <インターフェイス> ▶  ▶ <拡張受信バッファ> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 510)**)

ユーザーメンテナンス

55S7-04Y



給紙部ごとの印字位置の補正や印刷品質を改善させる設定など、本機の調整に関する設定項目を一覧で説明します。ここでの設定項目は、本機がオフラインのときに変更することができます。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- ▶ 印字位置調整(P. 397)
- ▶ リカバリー印刷(P. 398)
- ▶ カウンター初期化(P. 398)
- ▶ 用紙サイズ確認(P. 399)
- ▶ 連続印字時白抜け補正(P. 400)
- ▶ 用紙サイズ置換(P. 400)
- ▶ 自動用紙種類検知モード(P. 400)
- ▶ 縦送り印字優先モード(P. 401)
- ▶ 画像特殊処理(P. 401)
- ▶ 転写特殊処理(P. 402)
- ▶ 用紙しわ補正(P. 402)
- ▶ 定着特殊処理 4(P. 403)
- ▶ 転写不良改善(P. 403)
- ▶ 白黒カラー切替モード(P. 404)
- ▶ 帯電クリーニング(P. 404)
- ▶ ドラムすじ補正(P. 405)
- ▶ 濃度特殊処理(P. 405)
- ▶ SD カードメンテナンス(P. 405)
- ▶ 特殊印字処理(P. 406)
- ▶ 特殊印字モード E(P. 412)
- ▶ ファームウェア更新(P. 412)
- ▶ 初回キャリブレーション(P. 413)
- ▶ 給紙方法切替(P. 413)
- ▶ スタンバイ時温度調節(P. 414)
- ▶ ジョブ一覧表示(P. 415)
- ▶ 用紙搬送補正(P. 415)
- ▶ 厚紙 3 色ずれ改善モード(P. 416)
- ▶ 色ずれ補正(P. 416)
- ▶ 白黒印字濃度ムラ補正(P. 417)
- ▶ POP 印刷速度(P. 417)
- ▶ POP 印刷印字ムラ改善(P. 418)
- ▶ トナー交換予告切替(P. 418)
- ▶ 自動 POP キャリブレーション(P. 419)
- ▶ 設定のインポート/エクスポート(P. 419)
- ▶ キャリブレーション実行頻度(P. 420)
- ▶ クリーニング予告(P. 420)
- ▶ クリーニング予告時期(P. 421)
- ▶ トナー交換予告時期(P. 421)
- ▶ トナー交換予告時期指定(P. 421)
- ▶ ドラム交換予告時期(P. 422)
- ▶ ドラム交換予告時期指定(P. 422)
- ▶ トナーカートリッジ寿命時印刷(P. 422)
- ▶ カセットヒーター設定(P. 423)
- ▶ カセットヒーター詳細(P. 424)
- ▶ 低速バンディング軽減(P. 424)
- ▶ 余白よごれ改善モード(P. 424)
- ▶ 結露対策モード(P. 425)

印字位置調整

給紙部ごとに印字位置を調整します。▶ **印字位置を調整する(P. 568)**

縦位置補正(両面)

両面印刷の 1 ページ目 (オモテ面) に印刷するときのタテ方向の印字位置を調整します。2 ページ目 (ウラ面) の印字位置は、印刷時の給紙部の設定に従います。

-5.0~**0.0**~+5.0 (mm)

横位置補正(両面)

両面印刷の1ページ目（オモテ面）に印刷するときのヨコ方向の印字位置を調整します。2ページ目（ウラ面）の印字位置は、印刷時の給紙部の設定に従います。

- 手差し
-3.5～**0.00**～+3.5 (mm)
- カセット 1～5*
-3.5～**0.00**～+3.5 (mm)

縦位置補正(手差し)

手差しトレイから印刷するときのタテ方向の印字位置を調整します。

-5.0～**0.0**～+5.0 (mm)

横位置補正(手差し)

手差しトレイから印刷するときのヨコ方向の印字位置を調整します。

-3.5～**0.00**～+3.5 (mm)

縦位置補正(カセット 1～5) *

給紙カセットから印刷するときのタテ方向の印字位置を調整します。

-5.0～**0.0**～+5.0 (mm)

横位置補正(カセット 1～5) *

給紙カセットから印刷するときのヨコ方向の印字位置を調整します。

-3.5～**0.00**～+3.5 (mm)

リカバリー印刷

紙づまりが起きたときやエラーが発生したときに、印刷が中断したページを再度印刷するかどうかを設定します。

OFF
ON



カウンター初期化

消耗部品の印刷ページ数を初期化します。

2次転写外ローラー

同一の2次転写外ローラーで印刷したページ数を初期化します。この操作は2次転写外ローラーを交換した場合に行います。



手差しトレイ給紙ローラー

同一の手差しトレイ給紙ローラーで印刷したページ数を初期化します。この操作は手差しトレイ給紙ローラーを交換した場合に行います。



カセット 1~5 給紙ローラー *

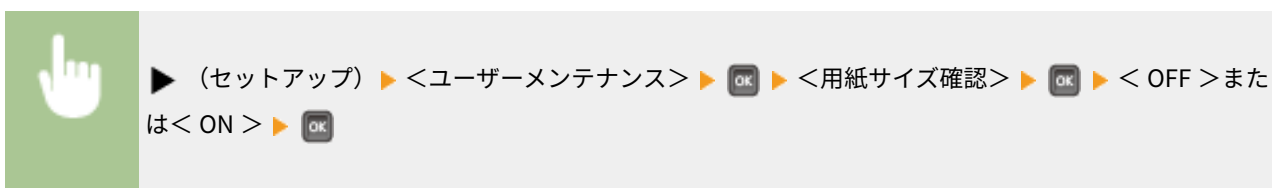
同一のカセット給紙ローラーで印刷したページ数を初期化します。この操作はカセット給紙ローラーを交換した場合に行います。



用紙サイズ確認

用紙サイズが<フリーサイズ>に設定されている給紙部から印刷したときに、給紙された用紙のサイズを確認するかどうかを設定します。<ON>に設定すると、給紙された用紙のサイズが印刷データと異なる場合、用紙サイズを確認するメッセージを表示して印刷が停止します。

OFF
ON



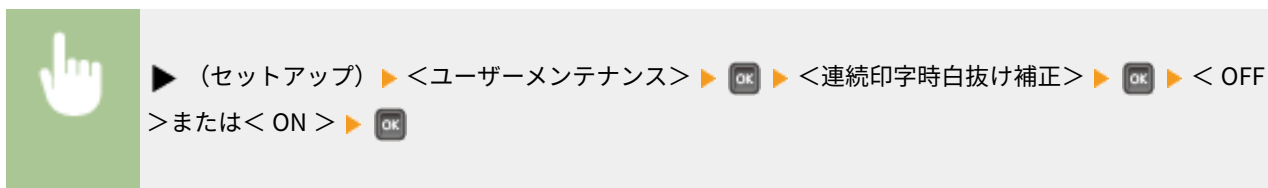


- 給紙された用紙と印刷データのサイズにあまり差がないときは、設定が＜ON＞であってもメッセージは表示されず印刷を継続することがあります。

連続印字時白抜け補正

連続印刷時に印字ムラが出ることがあります。その場合は、＜ON＞に設定すると改善されることがあります。

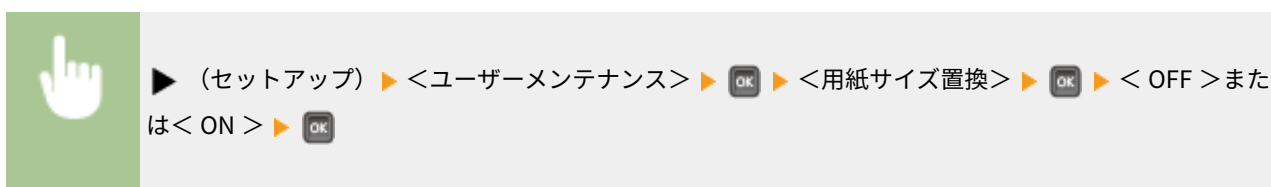
OFF
ON



用紙サイズ置換

A4 とレターサイズの用紙を互いに代用して印刷するかどうかを設定します。＜ON＞を選ぶと、「パソコンから印刷しようと A4 用紙を指定したがセットされていないかった」というとき、代わりにレターサイズの用紙に印刷されます。

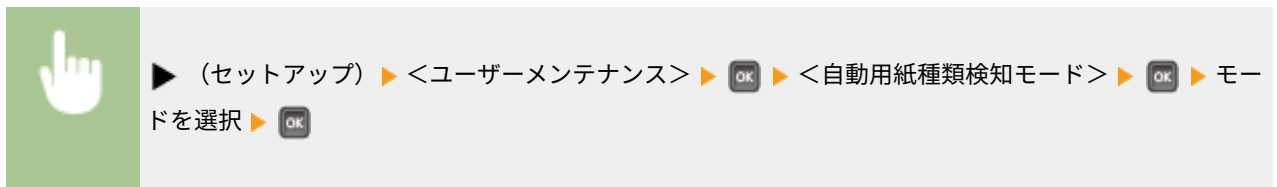
OFF
ON



自動用紙種類検知モード

使用する頻度の高い用紙サイズなどに応じて、自動用紙種類検知（ **自動用紙種類検知(P. 517)**）の機能を最適化します。通常は、お買い上げ時の設定でお使いになることをおすすめします。

モード 1
モード 2
モード 3



a <モード 1>

A4 や A3 サイズの<普通紙 L><普通紙 L2>をよく使う場合に設定します。

b <モード 2>

A4 や A3 サイズの<普通紙>をよく使う場合に設定します。

c <モード 3>

レターやレジャーサイズの<普通紙>をよく使う場合に設定します。

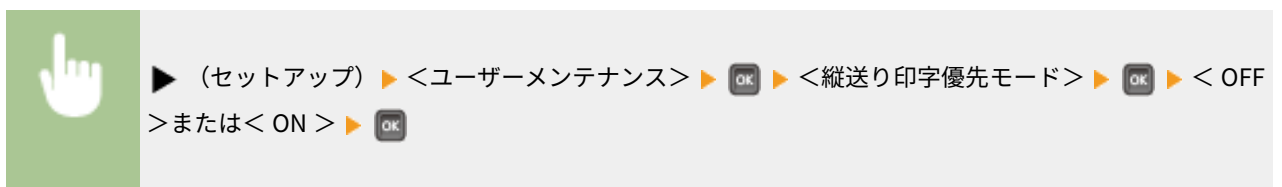


- 本項目は、▶ **給紙選択メニュー(P. 513)** の<自動用紙種類検知>を< OFF >以外の設定にしたときに有効になります。
- お買い上げ時の設定を変更すると、用紙種類が正しく判別されない場合があります。

縦送り印字優先モード

タテとヨコ両方のセットができる用紙サイズを印刷するときに、ヨコ置き用の紙を優先して給紙したい場合、この項目を< ON >に設定してください。この設定は<給紙モード>が<自動>の場合にのみ適用されます。

OFF
ON



画像特殊処理

濃い文字や線の中央が抜けて印刷される場合に、この項目を設定してください。改善効果は<レベル 1>よりも<レベル 2>の方が強くなります。

OFF

レベル 1

レベル 2



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ ▶ <画像特殊処理> ▶ ▶ レベルを選択 ▶



MEMO

- 改善効果を強くすると、印刷濃度が薄くなります。

転写特殊処理

低湿度環境で使用しているときに、画像や文字がにじむことがあります。その場合は、< ON > に設定すると改善されることがあります。

OFF

ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ ▶ <転写特殊処理> ▶ ▶ < OFF > または < ON > ▶



MEMO

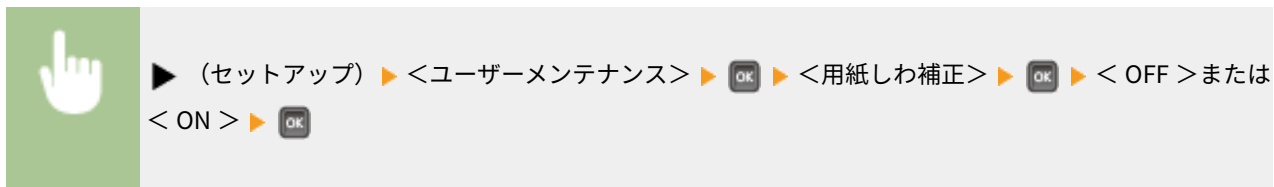
- < ON > に設定すると、高湿度環境で使用しているときに濃度が薄くなったりムラが発生したりすることがあります。

用紙しわ補正

普通紙や薄い紙などの用紙に印刷したときに、印刷された用紙にしわが発生することがあります。その場合は、< ON > に設定すると改善されることがあります。

OFF

ON

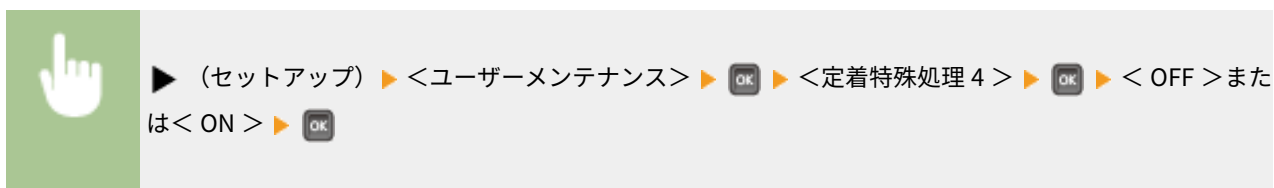


- 一部の設定項目を< ON >に設定していると、この設定が有効にならない場合があります。▶ **設定メニューの優先順位(P. 426)**

定着特殊処理 4

低湿度環境で使用しているときに、印刷しない部分に残像が現れることがあります。その場合は、< ON >に設定すると改善されることがあります。

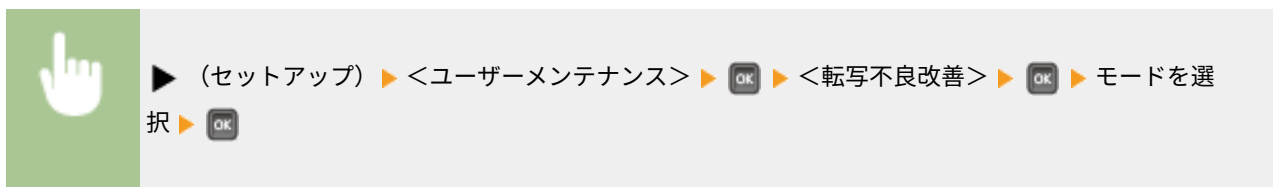
OFF
ON



転写不良改善

本機を長時間使用していないときなどに両面印刷を行うと、画像が部分的に白く抜けることがあります。その場合は、この項目を設定すると改善されることがあります。改善効果は<モード 1 >よりも<モード 2 >の方が強くなります。

OFF
モード 1
モード 2

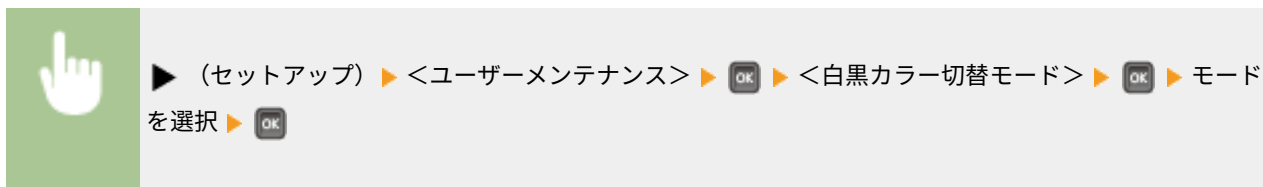


- この項目を設定すると、両面印刷時に印刷が開始されるまでに時間がかかることがあります。

白黒カラー切替モード

白黒とカラーの印刷データが混在する場合に、印刷速度を優先して印刷するか、CMYのトナーカートリッジ使用量を抑えて印刷するかどうかを設定します。

モード1
モード2



a <モード1>

印刷速度を優先して印刷します。

b <モード2>

CMYのトナーカートリッジの使用量を抑えて印刷できることがあります。

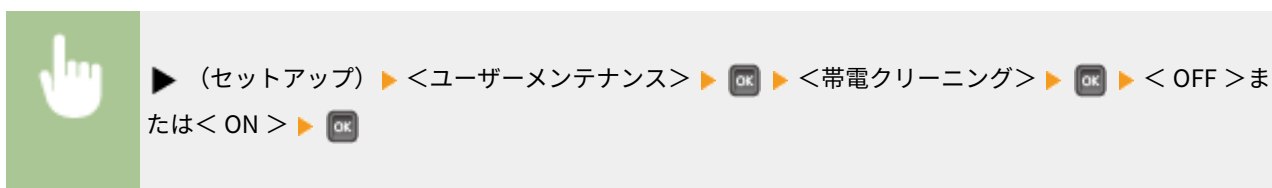


- <モード2>に設定すると、印刷速度が遅くなる場合があります。

帯電クリーニング

白地の部分が全体的に薄く色づくことがあります。その場合は、<ON>に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



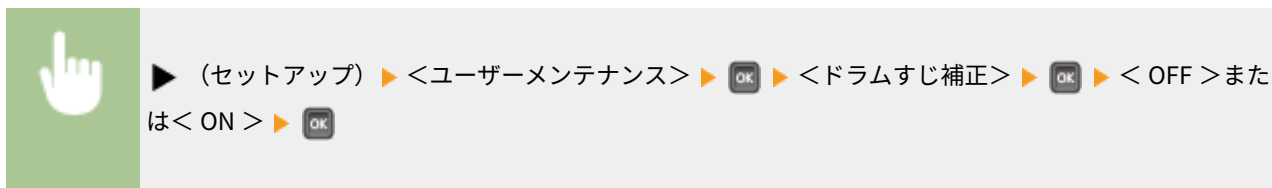


- < ON >に設定すると、印刷濃度が薄くなる場合があります。

ドラムすじ補正

すじ状の汚れが発生する場合、< ON >に設定すると改善されることがあります。

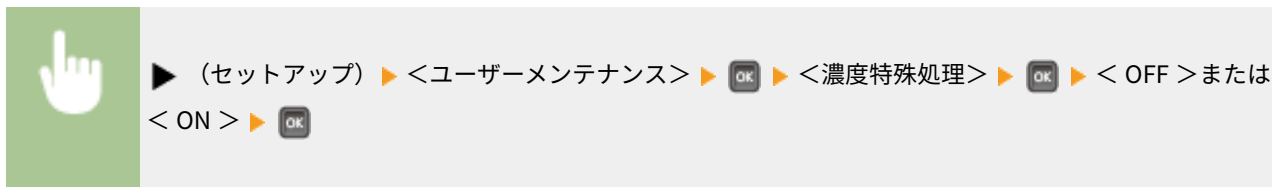
OFF
ON



濃度特殊処理

高湿度環境で使用しているときに、濃度が薄くなったりムラが発生したりすることがあります。その場合は、< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



- < ON >に設定すると、低湿度環境で使用しているときに画像や文字がにじむことがあります。

SD カードメンテナンス *

SD カードにエラーが発生したり、SD カードを廃棄したりする場合に、データをすべて消去することができます。

フォーマット

SD カードの初期化を行います。SD カードに保存されているデータはすべて消去されます。



廃棄時消去

SDカードのデータを消去します。通常では消すことができないデータの断片をすべて消去してから廃棄したいときに、必要に応じて行ってください。▶SDカードのデータをすべて消去する(P. 651)

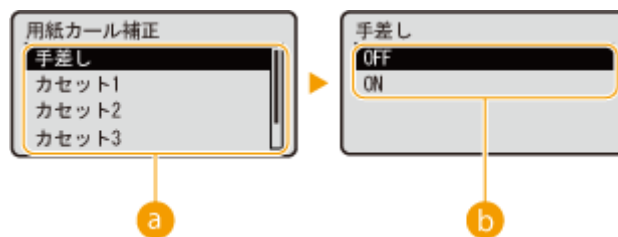
特殊印字処理

正しく印刷できないときに設定する項目がまとめられています。

用紙カール補正

普通紙や薄い紙などに印刷したときに、用紙がカールすることがあります。その場合は、カールが発生した給紙部を<ON>に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



a 給紙部の選択

設定したい給紙部を選びます。

b 設定の切替

カール補正する場合は、<ON>に設定します。

MEMO

- <ON>に設定すると、印刷が開始されるまでに時間がかかることがあります。また、印刷速度が遅くなる場合があります。
- 一部の設定項目を<ON>に設定していると、この設定が有効にならない場合があります。▶設定メニューの優先順位(P. 426)

用紙カール補正 2

<用紙カール補正>を設定してもカールが改善されない場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



- < ON >に設定すると、印刷速度が遅くなることがあります。また、印刷がかすれることがあります。

コート紙特殊処理

用紙の種類や使用環境によっては、印刷された画像のトナーがはがれることがあります。その場合は、< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



- 一部の設定項目を< ON >に設定していると、この設定が有効にならない場合があります。▶ [設定メニューの優先順位\(P. 426\)](#)

ラフ紙補正

厚めのラフ紙に印刷する場合、使用環境によっては、以下の症状が発生することがあります。その場合は、< ON >に設定すると改善されることがあります。

- 印刷された画像のトナーがはがれる
- 濃度が薄くなる
- 印刷した用紙がカールする

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶  ▶ <特殊印字処理> ▶  ▶ <ラフ紙補正> ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶ 




MEMO

- < ON >に設定すると、印刷速度が遅くなります。


封筒特殊処理

湿った封筒を使用している場合に、封筒のふたが貼り付いてしまうときは、< ON >に設定してください。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶  ▶ <特殊印字処理> ▶  ▶ <封筒特殊処理> ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶ 



MEMO

- < ON >に設定すると、印刷がかすれることがあります。
- 一部の設定項目を< ON >に設定していると、この設定が有効にならない場合があります。▶ [設定メニューの優先順位\(P. 426\)](#)


定着分離モード

出力された用紙同士が貼り付いてしまう場合、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶  ▶ <特殊印字処理> ▶  ▶ <定着分離モード> ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶ 



MEMO

- < ON >に設定すると、印刷速度が遅くなる場合があります。

- 一部の設定項目を< ON >に設定していると、この設定が有効にならない場合があります。▶ **設定メニューの優先順位(P. 426)**

H/H 薄紙特殊処理

温度や湿度が高い環境で薄い紙を使用すると、定着器内部に用紙がつまることがあります。その場合は、< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ ▶ <特殊印字処理> ▶ ▶ <H/H 薄紙特殊処理> ▶ ▶ < OFF >または< ON > ▶



- 一部の設定項目を< ON >に設定していると、この設定が有効にならない場合があります。▶ **設定メニューの優先順位(P. 426)**

用紙分離改善モード

印刷時に紙づまりが起きる場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ ▶ <特殊印字処理> ▶ ▶ <用紙分離改善モード> ▶ ▶ < OFF >または< ON > ▶

光沢紙特殊処理

温度や湿度が高い環境で使用しているときに、白地の部分が全体的に薄く色づくことがあります。その場合は、< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ ▶ <特殊印字処理> ▶ ▶ <光沢紙特殊処理> ▶ ▶ < OFF >または< ON > ▶



- < ON >に設定すると、印刷濃度が薄くなる場合があります。

白すじ補正

印刷された画像に、白いすじ（線）が入ることがあります。その場合は、< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ ▶ <特殊印字処理> ▶ ▶ <白すじ補正> ▶ ▶ < OFF >または< ON > ▶



- < ON >に設定すると、残像が現れることがあります。

すじ補正

印刷された用紙にすじが現れたときに、定着器をクリーニングしても改善されないことがあります。その場合は、< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ ▶ <特殊印字処理> ▶ ▶ <すじ補正> ▶ ▶ < OFF >または< ON > ▶




- < ON >に設定すると、印刷速度が遅くなります。また、残像があらわれることがあります。

普通紙印字ムラ補正 2

印刷された用紙に光沢ムラが出る場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON

 ▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶  ▶ <特殊印字処理> ▶  ▶ <普通紙印字ムラ補正 2 > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶ 


 **MEMO**


- 一部の設定項目を< ON >に設定していると、この設定が有効にならない場合があります。▶ **設定メニューの優先順位(P. 426)**

残像補正 3

印刷した画像が同一ページ内に残像として現れる場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON

 ▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶  ▶ <特殊印字処理> ▶  ▶ <残像補正 3 > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶ 

 **MEMO**


- < ON >に設定すると、ムラが発生することがあります。

定着特殊処理 2

使用環境によっては、印刷された画像のトナーがはがれることがあります。その場合は、< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON

 ▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶  ▶ <特殊印字処理> ▶  ▶ <定着特殊処理 2 > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶ 

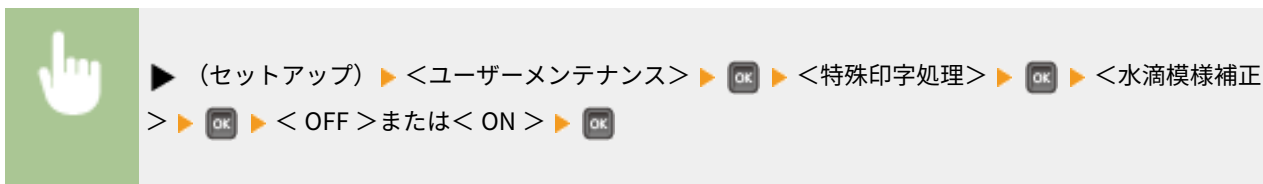
 **MEMO**

- 一部の設定項目を < ON > に設定していると、この設定が有効にならない場合があります。▶ **設定メニューの優先順位(P. 426)**

水滴模様補正

印刷された画像に、水滴のような形状のムラが発生する場合は、この項目を < ON > に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



- < ON > に設定すると、画質が変わることがあります。

特殊印字モード E

連続印刷時に残像が現れる場合は、この項目を設定すると改善されることがあります。改善効果は < モード 1 > よりも < モード 2 > の方が強くなります。

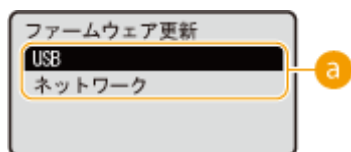
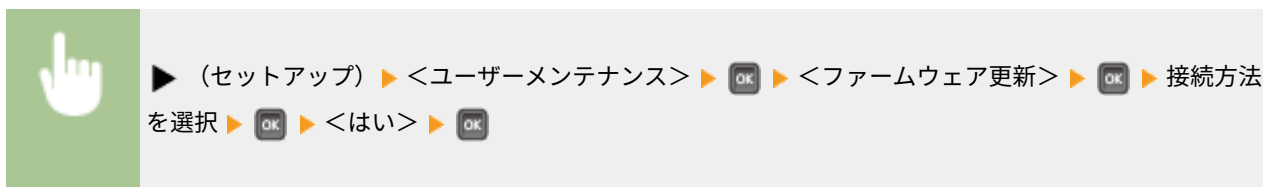
OFF
モード 1
モード 2



- < モード 1 > または < モード 2 > に設定すると、印字にムラが発生することがあります。

ファームウェア更新

本機のファームウェアをバージョンアップします。

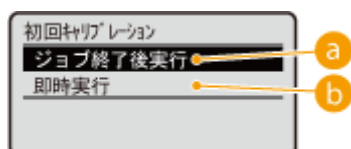
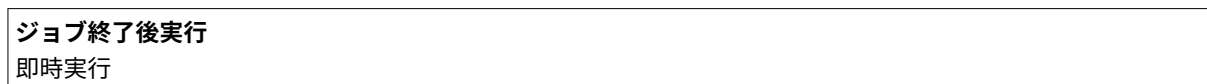


a 接続方法の選択

ファームウェア更新を実行するパソコンとの接続方法を選びます。

初回キャリブレーション

電源を入れたあと、自動的にキャリブレーションを行うタイミングを選びます。



a <ジョブ終了後実行>

電源を入れてから最初の印刷が終了したあとに、自動的にキャリブレーションを行います。

b <即時実行>

電源を入れた直後に、自動的にキャリブレーションを行います。



- <即時実行>に設定すると、印刷可能な状態になるまでに時間がかかります。

給紙方法切替

ロゴマーク付きの用紙に印刷するときを設定します。通常、ロゴマーク付きの用紙を印刷するときは、片面印刷と両面印刷でセットする用紙のオモテ/ウラを変更しなければなりません。<印刷面優先>に設定すれば、いずれの場合もロゴマーク面

がウラになるようにセットするだけで済みます。詳細については、**▶ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 58)** を参照してください。

速度優先
印刷面優先



a 給紙部の選択

設定したい給紙部を選びます。

b <速度優先>

ロゴマークなどが印刷されている用紙を使うときは、片面印刷と両面印刷でセットする用紙の面を変更する必要があります。



- オモテ／ウラ面を考慮する必要のない用紙に印刷する場合は、<速度優先>に設定しておくことをおすすめします。

c <印刷面優先>

片面印刷と両面印刷でセットする用紙の面を変更する必要がありません。






- 両面印刷できないサイズや種類の用紙（**▶用紙について(P. 615)**）をセットしている給紙部に対して<印刷面優先>を設定しても無効となり、<速度優先>の動作となります。この場合、用紙は<速度優先>の向きでセットしてください（**▶ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 58)**）。
- <印刷面優先>に設定すると、片面印刷の速度が遅くなります。

スタンバイ時温度調節

定着器の温度調節を行うかどうかを設定します。< ON >に設定すると、印刷開始までの時間が早くなる場合があります。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶  ▶ <スタンバイ時温度調節> ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶ 


MEMO




- < ON > に設定すると、本機の起動中の消費電力が大きくなります。

ジョブ一覧表示


操作パネルの  (ジョブ確認/中止) を押したときに、印刷中や印刷待ちのデータを一覧表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶  ▶ <ジョブ一覧表示> ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶ 


MEMO




- < OFF > に設定した場合に、 (ジョブ確認/中止) を押すと、現在印刷中の文書を中止します。

用紙搬送補正

手差しトレイから印刷するときに、紙づまりがひんぱんに発生する場合は、この項目を < ON > に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶  ▶ <用紙搬送補正> ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶ 



- < ON >に設定すると、印刷速度が遅くなります。

厚紙 3色ずれ改善モード

特定の厚紙を使って印刷するとき色ずれが起こる場合に、設定を変更すると改善されることがあります。

モード 1
モード 2



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ ▶ <厚紙 3色ずれ改善モード> ▶ ▶ <モード 1>または<モード 2> ▶



- 印刷に使う用紙によって、改善効果が変わることがあります。思うような印刷結果が得られないときは、<モード 1>と<モード 2>を切り替えて印刷してください。

色ずれ補正

色ずれが発生する場合、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ ▶ <色ずれ補正> ▶ ▶ < OFF >または< ON > ▶



- < ON >に設定すると、印刷速度が遅くなることがあります。

白黒印字濃度ムラ補正

<印字調整>の<カラーモード>（**▶カラーモード(P. 380)**）や、メディアプリントの印刷設定にある<カラーモード>（**▶USB メモリーから印刷する（メディアプリント）(P. 89)**）が<自動(カラー/白黒)>または<白黒>に設定されている場合、印刷したときにムラが発生したり、横すじが入ったりすることがあります。その場合は、設定を変更すると改善されることがあります。

OFF
モード 1
モード 2



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ **OK** ▶ <白黒印字濃度ムラ補正> ▶ **OK** ▶ モード
を選択 ▶ **OK**



- <モード 1>で使用する場合は、使用する給紙部の<自動用紙種類検知>の設定を< OFF >にしてください。**▶自動用紙種類検知(P. 517)**
- <モード 1>および<モード 2>に設定している場合、使用する用紙の種類によっては、白黒印刷時も CMYK 各色のトナーを消費します。また、印刷速度が遅くなる場合があります。
- < OFF >に設定すると、白黒印刷時にムラが発生することがあります。

POP 印刷速度

プリンタードライバー側で [POP 印刷最適化] の設定を行って印刷したときに、満足な印刷結果になっていない場合は<モード 2>に設定することをおすすめします。より鮮やかな色合いで POP を印刷することができます。[POP 印刷最適化] の詳細については、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。

モード 1
モード 2



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ **OK** ▶ < POP 印刷速度 > ▶ **OK** ▶ <モード 1>ま
たは<モード 2 > ▶ **OK**



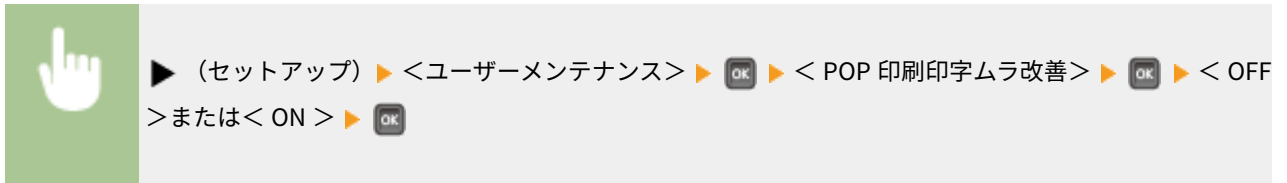
- <モード 2>に設定すると、印刷速度が遅くなります。
- [POP 印刷最適化] の設定を行っている場合は、以下の項目を設定することをおすすめします。

- <トナー交換予告切替>
- <自動 POP キャリブレーション>

POP 印刷印字ムラ改善

[POP 印刷最適化] の設定を行って POP 印刷しているときに、印刷結果の濃度にムラがある場合は< ON >に設定します。

OFF
ON



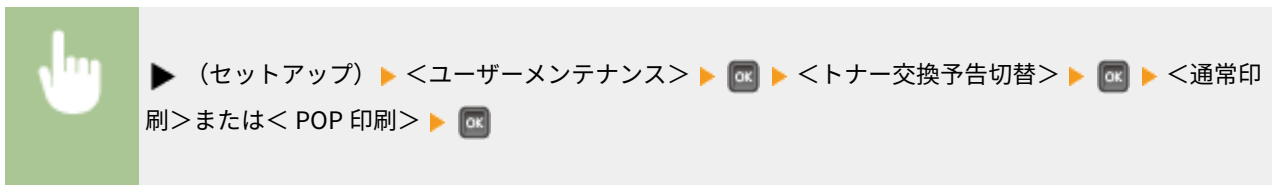
MEMO

- < ON >に設定すると、印刷結果の濃度が薄くなる場合があります。
- [POP 印刷最適化] の設定を行っている場合は、以下の項目を設定することもお勧めします。
 - <トナー交換予告切替>
 - <自動 POP キャリブレーション>

トナー交換予告切替

トナーカートリッジ残量が少なくなったときのメッセージの表示タイミングを変更します。< POP 印刷>に設定すると、< 通常印刷>よりも早いタイミングでメッセージが表示されます。プリンタードライバー側で [POP 印刷最適化] の設定を行った場合は、トナーカートリッジの残量が少ないと満足な印刷結果が得られないことがあるため、< POP 印刷>に設定することをお勧めします。[POP 印刷最適化] の詳細については、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。

通常印刷
POP 印刷



MEMO

- < POP 印刷>に設定すると、以下の項目の設定は無効となります。
 - <トナー交換予告時期> ▶ **トナー交換予告時期(P. 421)**

- <トナー交換予告時期指定> ▶ **トナー交換予告時期指定(P. 421)**
- < POP 印刷 > に設定した場合は、以下の項目を設定することもおすすめします。
 - < POP 印刷速度 >
 - < 自動 POP キャリブレーション >

自動 POP キャリブレーション

自動的に行われるキャリブレーションの内容を切り替えます。通常のキャリブレーションに加えて、POP の印刷で発生した色味の違いを補正するキャリブレーションを実施します。プリンタードライバー側で [POP 印刷最適化] の設定を行っているときは、常に < ON > に設定することをおすすめします。[POP 印刷最適化] の詳細については、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。

OFF
ON



MEMO

- < ON > に設定すると、キャリブレーションにかかる時間が長くなります。また、トナーカートリッジの寿命に影響することがあります。
- [POP 印刷最適化] の設定を行っている場合は、以下の項目を設定することもおすすめします。
 - < トナー交換予告切替 >

設定のインポート/エクスポート

本機に登録されているデータや各種設定値などを書き出して（エクスポート）、USB メモリーに保存できます。もちろん、書き出したデータは読み込む（インポート）ことができます。また、同一機種間であれば、本機から書き出したデータを他機で読み込んだり、他機のデータを本機で読み込んだりすることができます。


インポート

本機から USB メモリーに書き出したデータを読み込みます。





エクスポート

本機に登録されているデータや各種設定値などを USB メモリーに保存します。



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ **OK** ▶ <設定のインポート/エクスポート> ▶ **OK** ▶ <エクスポート> ▶ **OK** ▶ パスワードを入力 ▶ **OK** ▶ パスワード (確認入力) ▶ **OK** ▶ メッセージを確認


MEMO

- 本体側面の USB ポートのどちらも使用できます (LBP853Ci / LBP852Ci のみ)。両方のポートに USB メモリーが接続されているときは、右側面の USB ポートに対してインポート／エクスポートが行われます。
- USB メモリーを接続したときに、< USB メモリーから印刷できます。 >の画面が表示された場合は、 (機能選択) を押してください。(LBP853Ci / LBP852Ci のみ)
- 設定のインポート/エクスポートの詳細は、 **設定データの保存／読み込みをする(P. 326)** を参照してください。

キャリブレーション実行頻度

自動的にキャリブレーションを行う頻度を設定します。色ずれなどが発生しやすい場合は、この項目を<高い>または<さらに高い>に設定してください。

標準
高い
さらに高い

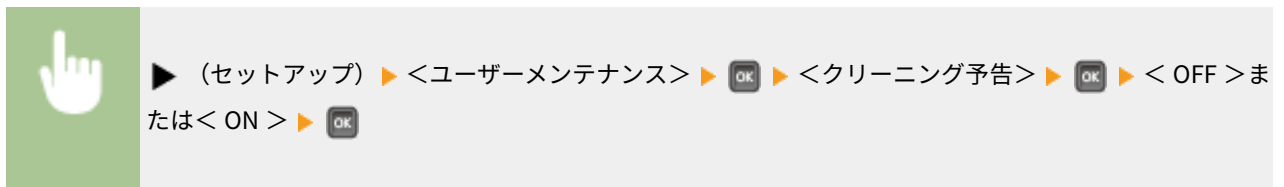


▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ **OK** ▶ <キャリブレーション実行頻度> ▶ **OK** ▶ 頻度を設定 ▶ **OK**

クリーニング予告

定着器のクリーニングを促すメッセージを表示するかどうかを設定します。

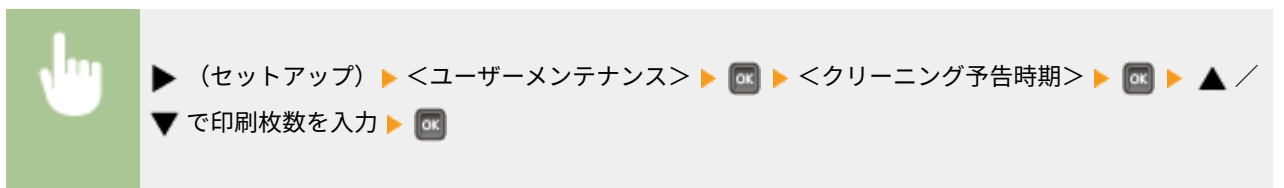
OFF
ON



クリーニング予告時期*

<クリーニング予告>を<ON>に設定したときに、定着器のクリーニングを促すメッセージを表示するタイミングを1,000ページ単位で設定できます。共通ステータスプリントではメッセージが表示されるまでの残りページ数を確認することができます（[▶共通ステータスプリント\(P. 573\)](#)）。

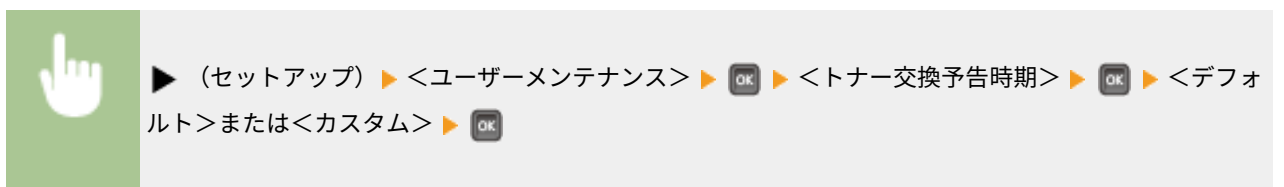
1000～50000（ページ）



トナー交換予告時期

トナーカートリッジ残量が少なくなったときのメッセージの表示タイミングを変更する場合に<カスタム>に設定します。

デフォルト
カスタム



トナー交換予告時期指定*

<トナー交換予告時期>を<カスタム>に設定したときに、メッセージを表示するタイミングを設定します。

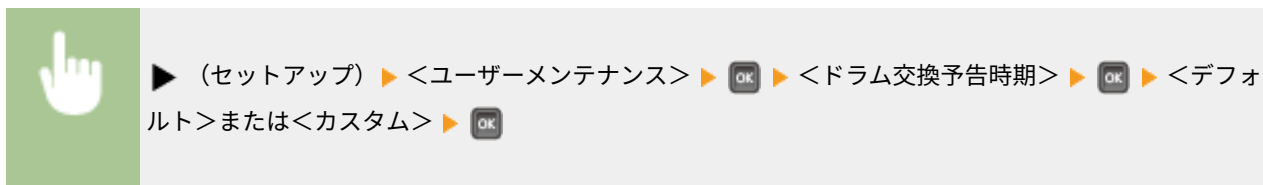
1～20～99（%）



ドラム交換予告時期

ドラムカートリッジの交換時期が近づいたときのメッセージの表示タイミングを変更する場合に<カスタム>に設定します。

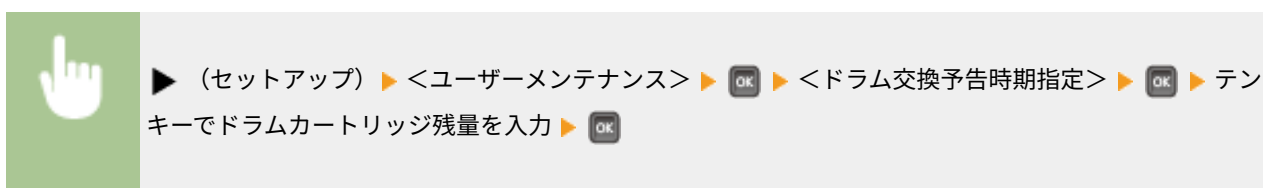
デフォルト
カスタム



ドラム交換予告時期指定*

<ドラム交換予告時期>を<カスタム>に設定したときに、メッセージを表示するタイミングを設定します。

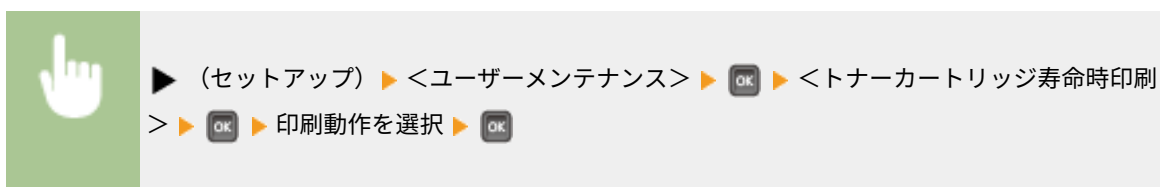
1~20~99 (%)



トナーカートリッジ寿命時印刷

トナーカートリッジが寿命に達したときに、印刷を継続するかどうかを設定します。


継続
一時停止
停止



a <継続>


トナーカートリッジが寿命に達すると、< X トナーカートリッジを交換してください。 >が表示されますが、印刷は継続します。

b <一時停止>

トナーカートリッジが寿命に達すると、< X トナーカートリッジの寿命です。交換して下さい。 >が表示され、一時的に印刷が停止します。印刷を継続するには  (オンライン) を押します。

c <停止>

トナーカートリッジが寿命に達すると、< X トナーカートリッジを交換してください。 >が表示され、印刷が停止します。このメッセージが表示されているときは、続けて印刷することはできません。



MEMO

- 上記メッセージの「X」には、CMYKの色が表示されます。




- 印刷を継続した場合、印刷品質が低下することがあります。

カセットヒーター設定 *

オプションの環境ヒーターの接続状況を設定します。環境ヒーターの電源を入れている場合は< ON >に設定します。

OFF

ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶  ▶ <カセットヒーター設定> ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶ 



- < OFF >に設定すると、印刷し続けたときに本体が高温になり、本体内でトナーが溶着することがあります。< OFF >に設定した場合は、環境ヒーターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

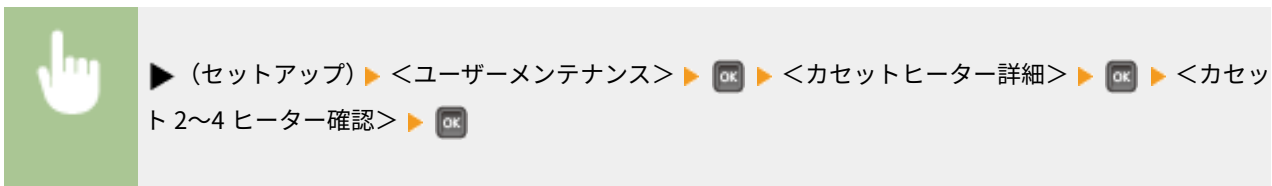
カセットヒーター詳細*

オプションの環境ヒーターの装着状態の確認や設定をすることができます。

カセット 2~4 ヒーター確認

オプションのペーパーフィーダーや 2 段カセットペディスタルに環境ヒーターを装着しているかどうかを確認できます。

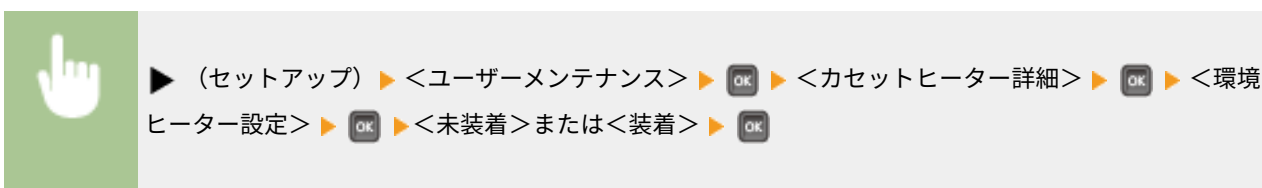
(表示のみ)



環境ヒーター設定

本体の給紙カセットに環境ヒーターを装着している場合は<装着>に設定します。

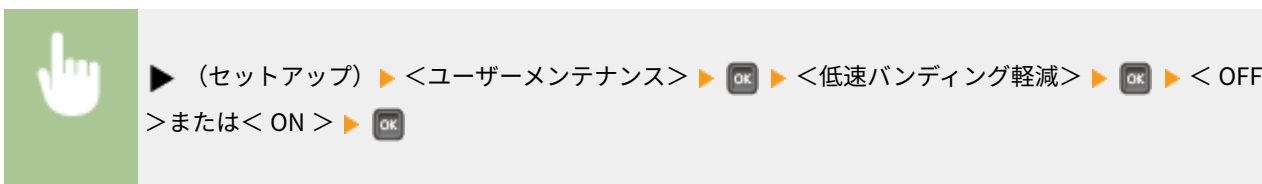
未装着
装着



低速バンディング軽減

用紙の種類や本機の設定によっては、印刷された用紙に横すじが入ることがあります。その場合は、< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



余白よごれ改善モード

用紙の余白に汚れが発生する場合に、設定を変更すると改善されることがあります。

OFF

モード1

モード2



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ ▶ <余白よごれ改善モード> ▶ ▶ モード
を選択 ▶



MEMO

- <モード1>または<モード2>に設定して連続印刷する場合、特定のページ数以上を印刷するとクリーニングが発生するため、印刷速度が遅くなります。

結露対策モード

本体内の水滴によって画像が薄くなる場合があります。その場合は、<自動>に設定すると改善されることがあります。

OFF

自動



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ ▶ <結露対策モード> ▶ ▶ <OFF>また
は<自動> ▶

設定メニューの優先順位

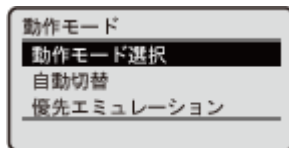
55S7-050

次の設定項目には優先順位があります。複数の項目を < ON > にしている場合、優先順位が一番高い項目のみ有効になります。優先順位は「1」が最も高く、順に低くなります。

優先順位	設定項目
1	定着特殊処理 2 ● 定着特殊処理 2(P. 411)
2	コート紙特殊処理 ● コート紙特殊処理(P. 407)
3	用紙カール補正 ● 用紙カール補正(P. 406)
4	H/H 薄紙特殊処理 ● H/H 薄紙特殊処理(P. 409)
5	用紙しわ補正 ● 用紙しわ補正(P. 402)
6	封筒特殊処理 ● 封筒特殊処理(P. 408)
7	定着分離モード ● 定着分離モード(P. 408)
8	普通紙印字ムラ補正 2 ● 普通紙印字ムラ補正 2(P. 410)

動作モード

55S7-051



動作モード（LIPS モードやエミュレーションモードなど）の切り替えに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- ▶ **動作モード選択(P. 428)**
- ▶ **自動切替(P. 428)**
- ▶ **優先エミュレーション(P. 428)**

■ 動作モードの種類

動作モードの詳細については、▶ **動作モードについて(P. 686)** も参照してください。

自動切り替えモード	<動作モード選択>で<自動選択>に設定したときのモードです。パソコンから送信されたデータが、LIPS コマンド、ESC/P エミュレーションコマンド、オプションのエミュレーションコマンドのいずれを使用しているかを自動的に判別して、動作モードを切り替えます。アプリケーションから印刷する場合、通常はこのモードでお使いください。
< LIPS > *	キヤノンが独自に開発したページプリンターをコントロールするためのモードです。付属のプリンタードライバや対応アプリケーションから印刷するときに有効です。
< N201 > *	PC-PR201/80A プリンターをエミュレートする（まねをする）モードです。
< ESC/P > *	IBM-PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）、AX パソコンで標準的に使用されている ESC/P 準拠プリンターの動作をエミュレートするモードです。
< I5577 > *	IBM5577 プリンターをエミュレートするモードです。
< HP-GL > *	HP-7550B（HP-GL）プロッタをエミュレートするモードです。
< HP-GL/2 > *	HP Designjet 800（HP-GL/2）プリンターをエミュレートするモードです。
< HEX-DUMP > *	パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、16 進コードで印刷するヘキサダンプモードです。自動切り替えモードの対象外です。
< LIPS-DUMP > *	パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、LIPS のコントロールコマンドの形式で印刷する LIPS ダンプモードです。コントロールコマンドで LIPS II ⁺ 、LIPS III、LIPS4 を使用しているときのみ有効です。自動切り替えモードの対象外です。
< PDF >	ダイレクトプリントやメディアプリントで PDF ファイルを印刷するときに有効なモードです。
< XPS >	ダイレクトプリントやメディアプリントで XPS ファイルを印刷するときに有効なモードです。

動作モード選択

本機が動作するモードを設定します。 **▶動作モードを固定する(P. 690)**

自動選択

LIPS *
N201 *
ESC/P *
I5577 *
HP-GL *
HP-GL/2 *
HEX-DUMP *
LIPS-DUMP *
PDF
XPS

自動切替

自動切り替えモードのときに、動作モードごとに自動切り替えの対象とするかどうかを設定します。 **▶不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す(P. 688)**

OFF
ON



- すべてのモードを< OFF >に設定したときは、< 優先エミュレーション >で設定しているモードで動作します。

優先エミュレーション

自動切り替えモードのときに、本機がコントロールコマンドを識別できなかった場合は、優先的に切り替えるモードを設定します。 **▶優先的に切り替える動作モードを設定する(P. 688)**

なし

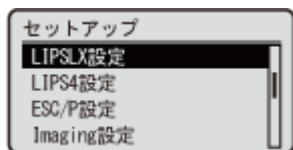
LIPS *
N201 *
ESC/P *
I5577 *
HP-GL *
HP-GL/2 *
PDF
XPS



- <なし>に設定していて、コントロールコマンドを識別できなかったときは、本機が自動的に動作モードを決定します。

動作モード専用の設定

55S7-052



セットアップメニューで、各動作モード専用の設定を行うことができます。動作モード専用の設定項目は各モード別にまとめられています。

- ▶ LIPSLX 設定(P. 431)
- ▶ LIPS4 設定(P. 432)
- ▶ ESC/P 設定(P. 447)
- ▶ Imaging 設定(P. 461)
- ▶ XPS 設定(P. 472)
- ▶ PDF 設定(P. 483)

LIPSLX 設定

55S7-053



コントロールコマンドで LIPSLX を使用しているときに有効となる設定項目について説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

白紙節約

印刷データの中に白紙ページがあるときに、そのページを排出しないようにするかどうかを設定します。

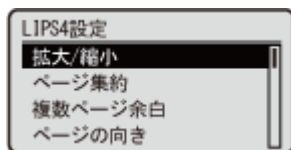
OFF
ON



LIPS4 設定

LBP853Ci / LBP852Ci

55S7-054



コントロールコマンドの LIPS II⁺、LIPS III、LIPS4 に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- 他の設定項目によっては表示されません。

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| ▶ 拡大/縮小 (P. 432) | ▶ 漢字グラフィックセット (P. 441) |
| ▶ ページ集約(P. 433) | ▶ 行数(P. 441) |
| ▶ 複数ページ余白(P. 434) | ▶ 桁数(P. 442) |
| ▶ ページの向き(P. 436) | ▶ 自動改ページ(P. 444) |
| ▶ オーバーレイ 1/オーバーレイ 2 (P. 436) | ▶ 自動改行(P. 444) |
| ▶ カラーオーバーレイ(P. 437) | ▶ CR 機能(P. 444) |
| ▶ スタートアップマクロ(P. 437) | ▶ LF 機能(P. 445) |
| ▶ 漢字コード(P. 438) | ▶ 網かけ解像度(P. 445) |
| ▶ 文字サイズ(P. 439) | ▶ ジョブタイムアウト(P. 446) |
| ▶ 漢字書体(P. 440) | ▶ 白紙節約(P. 446) |
| ▶ ANK 書体(P. 440) | |

拡大/縮小

指定したサイズに合わせて、印刷データを自動的に拡大/縮小します。

OFF
 →A3
 →B4
 →A4
 →B5
 →A5
 →はがき
 →往復はがき
 →4面はがき
 →リーガル
 →レター



MEMO

- 印刷データのサイズが定型サイズ（A4 や B5 など）でない場合は、正しく拡大／縮小されないことがあります。
- 拡大／縮小の処理は、データの左上端を基点として処理します。
- アプリケーションからのコマンドの内容によっては、正しく拡大／縮小して印刷されないことがあります。
- 拡大／縮小率が 25 % ～ 200 % の範囲を超える場合は、拡大／縮小は行われず等倍で印刷されます。

ページ集約

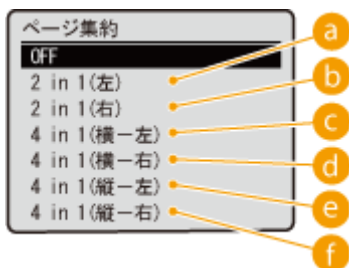
複数のページを縮小して、1 枚の用紙に印刷します。

OFF

- 2 in 1 (左)
- 2 in 1 (右)
- 4 in 1 (横-左)
- 4 in 1 (横-右)
- 4 in 1 (縦-左)
- 4 in 1 (縦-右)



▶ (セットアップ) ▶ < LIPS4 設定 > ▶ **OK** ▶ < ページ集約 > ▶ **OK** ▶ 集約方法を選択 ▶ **OK**



a < 2 in 1 (左) >

2 ページ分のデータを左または上から並べて印刷します。



b < 2 in 1 (右) >

2 ページ分のデータを右または下から並べて印刷します。



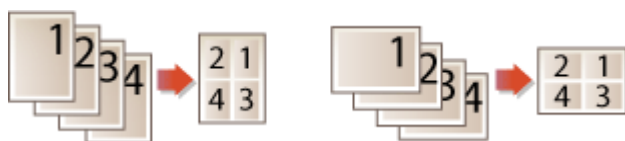
c < 4 in 1 (横-左) >

4 ページ分のデータを、左上からヨコ方向に並べて印刷します。



d < 4 in 1 (横-右) >

4 ページ分のデータを、右上からヨコ方向に並べて印刷します。



e < 4 in 1 (縦-左) >

4 ページ分のデータを、左上からタテ方向に並べて印刷します。



f < 4 in 1 (縦-右) >

4 ページ分のデータを、右上からタテ方向に並べて印刷します。



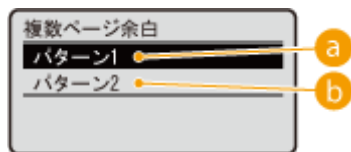
 **MEMO**

- 異なるサイズのページデータを並べて 1 ページに印刷することはできません。
- 拡大／縮小とページ集約を同時に設定した場合に、縮小率が 25 % より小さくなるときは、ページ集約は行われず正しい印刷結果にはなりません。

複数ページ余白

ページ集約で印刷する場合の、並べたページ間の余白を設定します。

パターン 1
パターン 2



a <パターン 1 >

各ページが接する部分に余白を付けてレイアウトします。



b <パターン 2 >

各ページが接する部分に余白を付けずにレイアウトします。



MEMO

- <パターン 2 >に設定した場合でも、用紙の長辺と短辺の比率によっては、余白が付くことがあります。

MEMO

- <パターン 1 >と<パターン 2 >とでは余白のとりかたが異なるため、データの縮小率が異なります。<パターン 1 >よりも<パターン 2 >の方が若干データが大きくなります。

ページの向き

印刷する向きを設定します。

縦
横



a < 縦 >

印刷データがタテ向きのときに指定します。

b < 横 >

印刷データがヨコ向きのときに指定します。

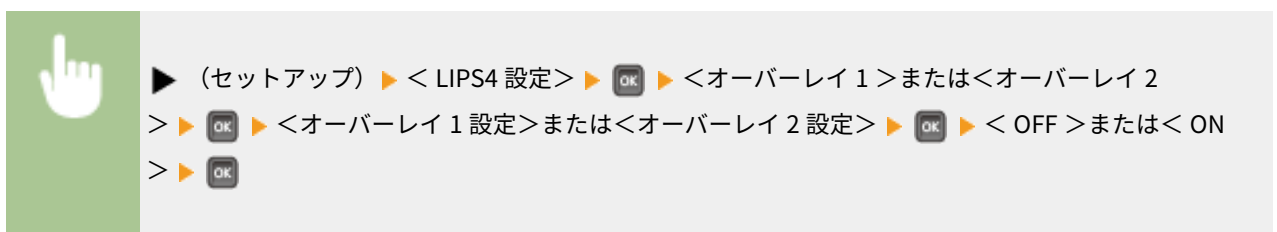
オーバーレイ 1 / オーバーレイ 2

あらかじめ本機に登録されたタイトルや表などのフォーマットに、あとから別のデータを重ねて印刷する機能をオーバーレイプリントといいます。フォーマットの作成や登録は、アプリケーション側から LIPS のコントロールコマンドで行います。ページごとにフォーマットデータを送る必要がないため、効率よく印刷することができます。

オーバーレイ 1 設定 / オーバーレイ 2 設定

オーバーレイプリントを行うかどうかを設定します。

OFF
ON



オーバーレイ 1 番号 * / オーバーレイ 2 番号 *

< オーバーレイ 1 設定 > / < オーバーレイ 2 設定 > を < ON > に設定した場合に、オーバーレイプリントで使用するフォーマットデータの番号を指定します。

0~32767



▶ (セットアップ) ▶ < LIPS4 設定 > ▶ ▶ < オーバーレイ 1 > または < オーバーレイ 2 > ▶ ▶ < オーバーレイ 1 番号 > または < オーバーレイ 2 番号 > ▶ ▶ テンキーで番号を入力 ▶



- 本体のメモリーに登録しているフォーマットデータは、電源を切るか、ハードリセット操作を行うと削除されます。
- オーバーレイ領域に登録しているフォーマットデータの内容や番号、サイズは、オーバーレイリストやオーバーレイプリントで確認することができます。▶ **LIPS モード専用のリスト(P. 577)**
- 登録するフォーマットを LIPS のコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションのプログラマーズマニュアルを参照してください。

カラーオーバーレイ

オーバーレイプリントのモノクロのフォーマットを登録する際に、モノクロデータをカラーモードで使用可能にするかどうかを設定します。この項目では、モノクロのフォーマットをカラー化するかどうかを設定するだけで、登録そのものは行いません。フォーマットの作成や登録は、アプリケーション側から LIPS のコントロールコマンドで行います。また、オーバーレイプリントを行うかどうかは、< オーバーレイ 1 > と < オーバーレイ 2 > で設定します (▶ **オーバーレイ 1 / オーバーレイ 2(P. 436)**)。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ < LIPS4 設定 > ▶ ▶ < カラーオーバーレイ > ▶ ▶ < OFF > または < ON > ▶



- < 印字調整 > の < カラーモード > (▶ **カラーモード(P. 380)**) を < カラー > に設定したときに有効になります。

スタートアップマクロ

スタートアップマクロとは、あらかじめパソコン側で作成した LIPS のコントロールコマンドのプログラムを、本機のマクロ領域に登録しておき、リセットコマンド (ハードリセット、ソフトリセット、パラメータリセット) で実行する機能です。登

録は、アプリケーション側から LIPS のコントロールコマンドで行います。本項目では、リセットが行われるたびに実行するマクロ番号を指定します。マクロを使用しない場合は「0」を指定してください。

0~30~32767



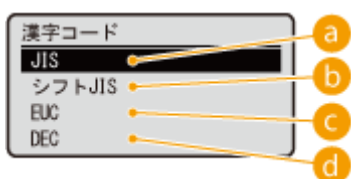
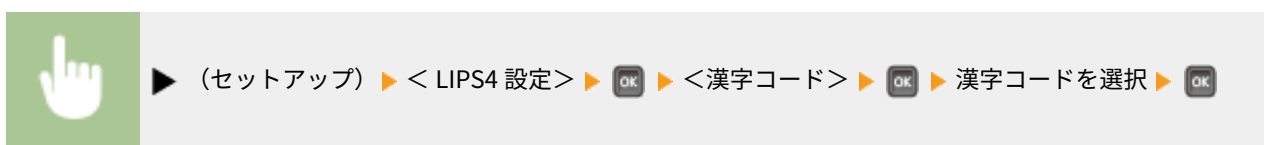
MEMO

- 登録したマクロの番号やサイズなどは、マクロリストで確認することができます。▶ **LIPS モード専用のリスト (P. 577)**
- 登録するマクロを LIPS のコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションのプログラマーズマニュアルを参照してください。

漢字コード

パソコンで使用している漢字コード体系に応じて、漢字コードを設定します。

JIS
シフト JIS
EUC
DEC



a < JIS >

標準的な漢字コードです。通常はこちらに設定します。

b < シフト JIS >

Windows などで使われる漢字コードです。アプリケーションを使わず、MS-DOS の文字データをそのまま印刷するときに設定します。

C < EUC >

UNIX で使われる漢字コードです。UNIX のワークステーションやパソコンを使用するときに設定します。

d < DEC >

DEC 漢字コードを採用しているワークステーションを使用するときに設定します。

文字セットの割り当てについて

漢字コードを変更すると、漢字コード体系に応じて、以下の割り当てテーブルに沿った文字セットが割り当てられます。

	シフト JIS	JIS	EUC	DEC
G0	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
G1	半角カナ	半角カナ	全角漢字	半角カナ
G2	全角漢字	全角漢字	半角カナ	全角漢字
G3	漢字縮小	漢字縮小	全角漢字	全角漢字
GL	G0	G0	G0	G0
GR	G1	G1	G1	G3
ペア	G0~G1	G0~G1	解除	解除



- <シフト JIS >に設定した場合は、LIPS の C1 制御命令は使用できなくなりますが、ビット長を 7 ビット形式で送信すれば、LIPS のコマンドとして動作します。
- < JIS >以外に設定したときに、JIS で規定されていない拡張文字などは印刷されません。
- 設定値にない漢字コードを使用する場合は、アプリケーション側で文字セットを割り当ててください。
- JIS 漢字コードには「新 JIS」と「旧 JIS」があります。新 JIS と旧 JIS の切り替えは、<漢字グラフィックセット >で設定します。
- UNIX では EUC を採用していますが、中には OS のデバイスドライバーが JIS 漢字コードなどに変換するものもあります。詳しくは、パソコンの取扱説明書を参照してください。

文字サイズ

印刷する文字の大きさを設定します。1 ポイントは約 0.35 mm (1/72 インチ) です。

8 ポイント
10 ポイント
 12 ポイント



MEMO

- コントロールコマンドで LIPS II⁺を使用しているときは、LIPS III または LIPS4 を使用しているときと比べて、実際に印刷される大きさが次のように異なります。

設定値	LIPS III/LIPS4	LIPS II ⁺
< 8 ポイント >	8 ポイント	7.2 ポイント
< 10 ポイント >	10 ポイント	9.6 ポイント
< 12 ポイント >	12 ポイント	12 ポイント

漢字書体

全角文字の書体を設定します。

明朝
ゴシック



ANK 書体

半角英数字や半角カナなどの書体を設定します。「ANK」とは、アルファベット (Alphabet)、数字 (Numeric)、カナ (Kana) および記号を含めた半角文字の総称です。

明朝
ゴシック
ラインプリンター



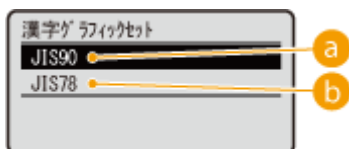
■ 書体見本

明朝	123	ABC	ミンョウタイ
ゴシック	123	ABC	ゴシックタイ
ラインプリンター	123	ABC	ラインプリンター

漢字グラフィックセット

<漢字コード>が<JIS>のときに使用する漢字グラフィックセットを設定します。

JIS90
JIS78



a < JIS90 >

JIS 漢字コードを「新 JIS」に設定します。新 JIS コードは、旧 JIS コードに特殊記号や罫線、漢字などを追加、変更したものです。

b < JIS78 >

JIS 漢字コードを「旧 JIS」に設定します。



グラフィックセットとコード表

- グラフィックセットとは、印刷データのコード（符号）に対して、どの文字を割り当てるかという取り決めです。それを示したものがコード表です。新 JIS (JIS90) と旧 JIS (JIS78) の漢字コード表は、オンラインマニュアルサイトで各動作モードのマニュアルを参照してください。

行数

印刷する行数を設定します。

行数選択

1 インチあたりの行数、または 1 ページあたりの行数を設定します。「lpi」は Line Per Inch の略で、1 インチ (25.4 mm) あたりの行数を表します。

6 lpi

8 lpi
任意設定



a < 6 lpi >

1 インチあたり 6 行印刷します。

b < 8 lpi >

1 インチあたり 8 行印刷します。

c < 任意設定 >

1 ページに < 任意設定値 > で設定している行数印刷します。

任意設定値 *

< 行数選択 > で < 任意設定 > を選んだ場合に、1 ページに印刷する行数を指定します。

10~99



桁数

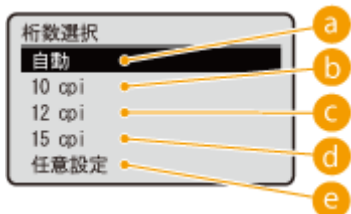
印刷する文字数を設定します。文字数の設定は半角文字に対してのみ適用されます。全角文字についてはフォント幅に応じて印刷されます。

桁数選択

1 インチあたりの文字数、または 1 行あたりの文字数を設定します。「cpi」は Characters Per Inch の略で、1 インチ (25.4 mm) あたりの文字数を表します。

自動
10 cpi
12 cpi
15 cpi

任意設定



a < 自動 >

現在選択しているフォントに応じた文字数で印刷します。

b < 10 cpi >

1 インチあたり 10 文字印刷します。

c < 12 cpi >

1 インチあたり 12 文字印刷します。

d < 15 cpi >

1 インチあたり 15 文字印刷します。

e < 任意設定 >

1 行に<任意設定値>で設定している文字数印刷します。

任意設定値 *

<桁数選択>で<任意設定>を選んだ場合に、1 行に印刷する文字数を指定します。

10~200



自動改ページ

印字位置が **印刷範囲(P. 620)** の下端を超えようとした場合に、改ページコード (FF) を受信しなくても、自動的に改ページして印刷するかどうかを設定します。

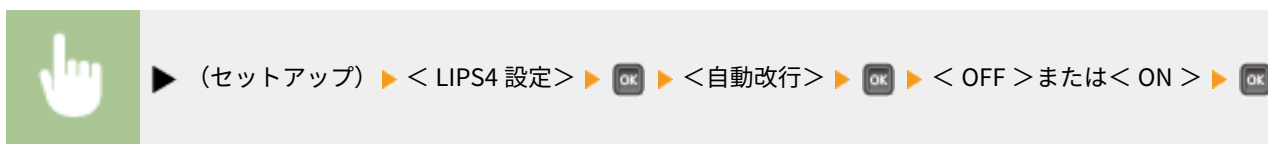
OFF
ON



自動改行

印字位置が右余白または **印刷範囲(P. 620)** の右端を超えようとした場合に、復帰コード (CR) や改行コード (LF) を受信しなくても、自動的に次の行の一文字目に印字位置を移動して印刷するかどうかを設定します。

OFF
ON



CR 機能

復帰コード (CR) を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

CRのみ
CR+LF



a < CR のみ >

復帰コード（CR）を受信したとき、印字位置をその行の一字目に移動します。

b < CR+LF >

復帰コード（CR）を受信したとき、印字位置を次の行の一字目に移動します。

LF 機能

改行コード（LF）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

LF のみ
LF+CR



a < LF のみ >

改行コード（LF）を受信したとき、印字位置を次の行に移動します。桁位置（左右の位置）はそのままです。

b < LF+CR >

改行コード（LF）を受信したとき、印字位置を次の行の一字目に移動します。

網かけ解像度

網かけや飾り罫線のパターンの解像度を設定します。

クイック
ファイン





a <クイック>

解像度 300 dpi 用にデザインされたパターンを使用します。LIPS III 従来機とのデザイン上の互換性を保てます。

b <ファイン>

解像度 600 dpi 用にデザインされたパターンを使用します。<クイック>よりも高品位に印刷できます。

ジョブタイムアウト

印刷データの受信が中断されたときに、<インターフェイス>の<タイムアウト>の設定を LIPS モードでも有効にするかどうかを設定します (▶**タイムアウト(P. 395)**)。LIPS モードからほかのエミュレーションモードへの自動切り替えがうまく行われないような場合に、この項目を<ON>に設定してください。

OFF
ON



白紙節約

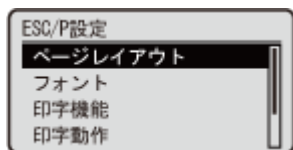
印刷データの中に白紙ページがあるときに、そのページを排出しないようにするかどうかを設定します。

OFF
ON



ESC/P 設定 LBP853Ci / LBP852Ci

55S7-055



ESC/P エミュレーションモードに関する設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



拡張 ESC/P について

- オプションのコントロール ROM を装着すると、< ESC/P 設定 > に設定項目が追加されます。追加される項目については、オンラインマニュアルサイトで各動作モードのマニュアルを参照してください。

項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- 他の設定項目によっては表示されません。

▶ ページレイアウト(P. 447)

▶ フォント(P. 453)

▶ 印字機能(P. 455)

▶ 印字動作(P. 456)

▶ VFC(P. 457)

▶ その他(P. 459)

ページレイアウト

用紙サイズや印字領域などを設定します。

ページフォーマット

ESC/P 準拠プリンター用の用紙サイズで作成されたデータを、本機用の用紙サイズに変換します。

実寸縦

実寸横

10 インチ→A4 縦

15 インチ→A4 横

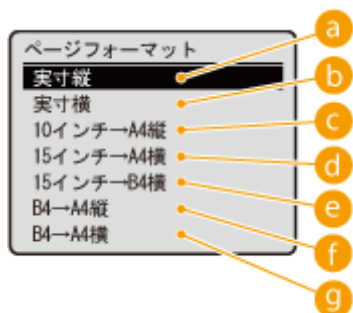
15 インチ→B4 横

B4→A4 縦

B4→A4 横



▶ (セットアップ) ▶ < ESC/P 設定 > ▶ **OK** ▶ < ページレイアウト > ▶ **OK** ▶ < ページフォーマット > ▶ **OK** ▶ ページフォーマットを選択 ▶ **OK**



a <実寸縦>

元のサイズのまま、用紙をタテに使って印刷します。



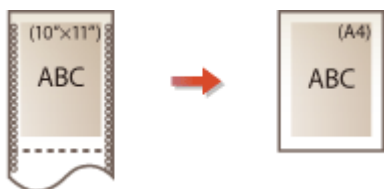
b <実寸横>

元のサイズのまま、用紙をヨコに使って印刷します。



c <10 インチ→A4 縦>

10 インチ × 11 インチの連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小して印刷します。



d <15 インチ→A4 横>

15 インチ × 11 インチの連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小して印刷します。



e <15 インチ→B4 横>

本機では B4 の印刷ができません。この項目は選択しないようにしてください。

f < B4→A4 縦 >

B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙をタテにを使って印刷します。



g < B4→A4 横 >

B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙をヨコにを使って印刷します。



 MEMO

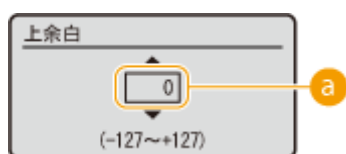
- ページフォーマットの設定によって、レイアウトなどの印刷結果が異なります。それぞれの設定によって、どのように印刷されるかは、▶ESC/P エミュレーションのページフォーマット(P. 691) を参照してください。
- < 10 インチ→A4 縦>、< 15 インチ→A4 横>、< B4→A4 縦>、< B4→A4 横>では、用紙の余白を有効にを使って印刷できるワイド領域モードが使えます。

上余白

それぞれのページフォーマットで設定されている 1 行目 (TOF) の上端を基準に、印字開始位置を上下方向にずらします。

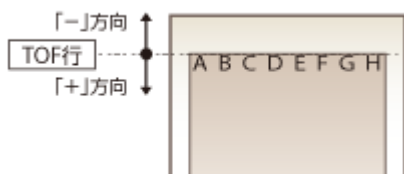
-127~0~+127

 ▶ (セットアップ) ▶ < ESC/P 設定 > ▶ **OK** ▶ < ページレイアウト > ▶ **OK** ▶ < 上余白 > ▶ **OK** ▶ ▲ / ▼ で設定値を入力 ▶ **OK**



a 設定値の入力

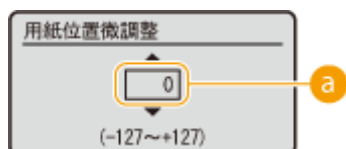
印字開始位置を用紙の上から下方向へずらすときは「+」に設定します。反対の方向へずらすときは「-」に設定してください。設定値が 1 増えるごとに印字開始位置が約 0.35 mm (1/72 インチ) 移動します。



用紙位置微調整

用紙の左マージンを基準として、ページフォーマットで設定されている印字開始位置を左右方向にずらします。

-127~0~+127



a 設定値の入力

印字開始位置を用紙の右から左方向へずらすときは「+」に設定します。反対の方向へずらすときは「-」に設定してください。設定値が1増えるごとに印字開始位置が約0.35 mm (1/72 インチ) 移動します。



領域

印字領域を設定します。

標準
ワイド





a <標準>

ページフォーマットの設定に従ったレイアウトで印刷します。

b <ワイド>

▶印刷範囲(P. 620) いっぱいに印刷します。<実寸縦>/<実寸横>以外のページフォーマットで有効です。

右マージン既定値

ページフォーマットが<実寸縦>または<実寸横>のときの右マージンの位置を設定します。



a <136 桁>

136 桁目の位置を右マージンとします。

b <右端>

▶印刷範囲(P. 620) の右端を右マージンとします。

用紙サイズ

ページフォーマットが<実寸縦>または<実寸横>のときの印刷する用紙サイズを設定します。ほかのページフォーマットのときは<A4>に設定してください。



 ▶ (セットアップ) ▶ < ESC/P 設定 > ▶  ▶ < ページレイアウト > ▶  ▶ < 用紙サイズ > ▶  ▶ 用紙サイズを選択 ▶ 

2 ページ印刷設定

2 ページ分の印刷データを原寸で並べて 1 ページに割り付けるかどうかを設定します。印刷データが A4 サイズまたは B5 サイズの場合にかぎり有効です。A4 サイズのときは A3 サイズの用紙に、B5 サイズのときは B4 サイズの用紙に 2 ページ分印刷されます。

OFF
左
右

 ▶ (セットアップ) ▶ < ESC/P 設定 > ▶  ▶ < ページレイアウト > ▶  ▶ < 2 ページ印刷設定 > ▶  ▶ < OFF > または 割り付けかたを選択 ▶ 



a < OFF >

割り付けしません。

b < 左 >

左または上から割り付けて印刷します。



c < 右 >

右または下から割り付けて印刷します。



 **MEMO**

- A4 と B5 サイズのデータを並べて 1 ページに印刷することはできません。

フォント

フォントに関する設定をします。

漢字書体

漢字などの全角文字の書体を設定します。

明朝 ゴシック 丸ゴシック フォント ID



a <明朝>

全角文字の書体を明朝体に設定します。

b <ゴシック>

全角文字の書体をゴシック体に設定します。

c <丸ゴシック>

全角文字の書体を丸ゴシック体に設定します。

d <フォント ID >

全角文字を<フォント ID >で指定している書体に設定します。

フォント ID *

<漢字書体>を<フォント ID >に設定した場合に、書体の ID 番号を指定します。

1~2~999



▶ (セットアップ) ▶ < ESC/P 設定 > ▶  ▶ < フォント > ▶  ▶ < フォント ID > ▶  ▶ テンキーで書体の ID 番号を入力 ▶ 

MEMO

- 本機に内蔵の標準フォントの ID 番号は、明朝体が「2」で、ゴシック体が「4」です。オプションフォント用の ID 番号については、使用するオプションフォントの取扱説明書を参照してください。
- 使用できない ID 番号を指定したときは、明朝体になります。

漢字サイズ

漢字などの全角文字のサイズを設定します。<システム>に設定すると、ページフォーマットの設定によって決められている文字サイズになります。

システム

8 ポイント
10 ポイント
12 ポイント



▶ (セットアップ) ▶ < ESC/P 設定 > ▶  ▶ < フォント > ▶  ▶ < 漢字サイズ > ▶  ▶ サイズを選択 ▶ 

文字コード

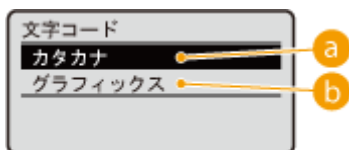
印刷データの 1 バイトコードの文字に対して、カタカナまたは拡張グラフィックスのどちらの文字セットを使用するかを設定します。

カタカナ

グラフィックス



▶ (セットアップ) ▶ < ESC/P 設定 > ▶  ▶ < フォント > ▶  ▶ < 文字コード > ▶  ▶ < カタカナ > または < グラフィックス > ▶ 



a <カタカナ>

データに 1 バイトコードの文字があったとき、カタカナの 1 バイトコード表に対応した文字で印刷します。

b <グラフィックス>

データに1バイトコードの文字があったとき、拡張グラフィックスの1バイトコード表に対応した文字で印刷します。



- この項目は、ESC/P 準拠プリンターの DIP スイッチの文字コード設定機能に対応しています。
- カタカナと拡張グラフィックスの文字セットを表した1バイトコード表は、オンラインマニュアルサイトで各動作モードのマニュアルを参照してください。

国別文字

1バイトコード表に割り当てられている国別文字対応の部分に、各国の文字セットを指定します。

日本

ノルウェー
 デンマーク 2
 スペイン 2
 ラテンアメリカ
 USA
 フランス
 ドイツ
 UK
 デンマーク
 スウェーデン
 イタリア
 スペイン



▶ (セットアップ) ▶ < ESC/P 設定 > ▶ ▶ < フォント > ▶ ▶ < 国別文字 > ▶ ▶ 国別文字
 セットを選択 ▶



- 国別文字の割り当てを示した1バイトコード表は、オンラインマニュアルサイトで各動作モードのマニュアルを参照してください。

印字機能

イメージデータの補正と文字幅について設定します。

イメージの補正

本機と ESC/P 準拠プリンターの解像度が異なるため、矩形罫線や網かけなどのイメージデータは拡大して印刷されます。このとき、イメージデータを補正するかどうかを設定します。

OFF
ON



MEMO

イメージデータの補正は、次の現象の改善に有効です。ただし、症状が改善されない場合もあります。

- 罫線が離れる
- 網かけ上にすじ（白い部分）が入る
- 網かけに線が入る

縮小文字

1 バイトコードの文字の横幅を 1/2 程度に縮小して印刷するかどうかを設定します。

OFF
ON



MEMO

- この項目は、ESC/P 準拠プリンターの DIP スイッチの縮小印刷機能に対応しています。

印字動作

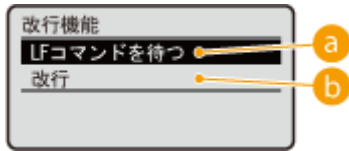
印字位置の制御について設定します。

改行機能

自動的に改行するかどうかを設定します。

LF コマンドを待つ

改行



a < LF コマンドを待つ >

パソコンから改行コード (LF) が送られるまで改行しません。復帰コード (CR) を受信したときは復帰のみ行い、印字位置をその行の一字目目に移動します。

b < 改行 >

印字位置が右マージンまたは **印刷範囲(P. 620)** の右端を超えようとしたとき、改行コード (LF) を受信しなくても、自動的に次の行の一字目目に移動します。



- この項目は、ESC/P 準拠プリンターの DIP スイッチの自動改行機能に対応しています。

VFC

連続用紙やカット紙のページ長に関する設定をします。

連続用紙長

ページフォーマットが < 10 インチ → A4 縦 > または < 15 インチ → A4 横 > のときの、連続用紙のページ長を設定します。

設定方法

ページ長をページフォーマットで決められている行数にするか、任意の行数にするかを設定します。

システム
任意設定





a <システム>

ページ長をページフォーマットや印字領域の設定によって決められている行数に設定します。▶**ページフォーマットと印字範囲(P. 707)**

b <任意設定>

ページ長を<任意設定値>で指定している行数に設定します。

任意設定値*

<設定方法>で<任意設定>を選んだ場合に、ページ長の行数を設定します。

1~66~199 (行)



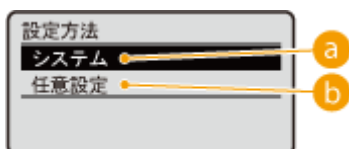
単票用紙長

ページフォーマットが<実寸縦>、<実寸横>、<B4→A4 縦>、または<B4→A4 横>のときの、カット紙のページ長を設定します。

設定方法

ページ長をページフォーマットで決められている行数にするか、任意の行数にするかを設定します。

システム
任意設定



a <システム>

ページ長をページフォーマットや用紙サイズ、印字領域の設定によって決められている行数に設定します。▶**ページフォーマットと印字範囲(P. 707)**

b <任意設定>

ページ長を<任意設定値>で指定している行数に設定します。

任意設定値*

<設定方法>で<任意設定>を選んだ場合に、ページ長の行数を設定します。

1~66~199 (行)



ミシン目スキップ

ページ長で設定されている行数のうち、下端から印刷しない（ミシン目をスキップする）行数を設定します。

ミシン目スキップ

ミシン目スキップを行うかどうかを設定します。

OFF
ON



スキップ量*

<ミシン目スキップ>を<ON>に設定した場合に、印刷しない行数を設定します。

1~31 (行)



その他

印刷に使用する外字の登録方法を設定します。

登録レベル

コントロールコマンドで登録した文字（外字）を、印刷ごとに削除するのか、電源を切るまで保存するのかを設定します。

一時 永久



a <一時>

印刷している間だけ外字を保存し、印刷が終了すると削除します。

b <永久>

本機の電源を切るまで外字を保存します。登録する文字データと通常の印刷データとを別々に送信するような場合は、<永久>に設定してください。



- <永久>に設定した場合に登録内容を削除したいときは、ハードリセット（ **ハードリセットする(P. 510)**）してください。

カラーモード自動時

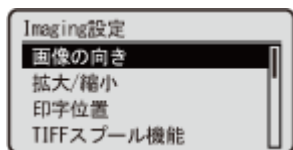
<印字調整>の<カラーモード>（ **カラーモード(P. 380)**）が<自動(カラー/白黒)>に設定されている場合に、ESC/P エミュレーションモードで受信したデータをカラーで印刷するか、白黒で印刷するかを設定します。なお、<カラーモード>が<カラー>または<白黒>に設定されているときは、この設定にかかわらず<カラーモード>の設定に従って印刷されます。

フルカラー 白黒



Imaging 設定

55S7-056



メディアプリントやダイレクトプリント、および E メール印刷で印刷できる画像ファイル (JPEG/TIFF ファイル) に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| ▶ 画像の向き (P. 461) | ▶ RGB 入力プロファイル (P. 465) |
| ▶ 拡大/縮小 (P. 462) | ▶ CMYK シミュレーションプロファイル (P. 466) |
| ▶ 印字位置 (P. 462) | ▶ 出力プロファイル (P. 467) |
| ▶ TIFF スプール機能 (P. 463) | ▶ マッチング方法 (P. 467) |
| ▶ 警告表示 (P. 464) | ▶ 中間調選択 (P. 468) |
| ▶ E メール本文印刷 (P. 464) | ▶ 写真補正 (カラーのみ) (P. 469) |
| ▶ E メール本文印刷制限 (P. 465) | ▶ グレースケール変換方式 (P. 470) |
| ▶ 印字領域拡大 (P. 465) | |

画像の向き

画像の印刷方向を設定します。

自動
縦
横



a <自動>

画像の幅と高さから、印刷方向を自動的に決定します。

b <縦>

タテ長の画像のときに指定します。

C <横>

ヨコ長の画像のときに指定します。



- <縦>または<横>の指定と画像データの向きが違う場合は、画像は縮小して印刷されます。

拡大/縮小

画像の拡大/縮小を設定します。なお、画像のタテヨコ比は固定されたまま拡大/縮小されます。

OFF
自動



a < OFF >

画像が用紙の ▶印刷範囲(P. 620) に収まっているときはそのままのサイズで印刷します。印刷範囲より大きいサイズのときは縮小して印刷されます。

b < 自動 >

用紙の印刷範囲に合わせて拡大/縮小印刷されます。

印字位置

画像を印刷する位置を設定します。

自動
中央
左上



a < 自動 >

TIFF データに印刷位置の指定情報が含まれているときはその位置に印刷し、そうでないときは用紙の中央に印刷します。JPEG データのときは常に用紙の中央に印刷します。

b < 中央 >

画像を中央に印刷します。

c < 左上 >

画像を左上に印刷します。

TIFF スプール機能

TIFF データを印刷するときに、本機または SD カードに格納してから処理するかどうかを設定します。印刷時にエラーが出る場合に、この項目を < ON > に設定してください。



a < OFF >

TIFF データを受信しながら連続で処理するため、処理時間が短くなります。

b < ON >

TIFF データをすべて受信してから処理するため、エラー発生を減らすことができます。SD カード装着時は、SD カードにデータが格納されます。



- SD カードを装着していないときは、40 MB を超えるファイルは印刷できない場合があります。

警告表示

エラーが発生したときの動作を設定します。

OFF
印刷
パネル



a < OFF >

画像を印刷せず、エラーも表示しません。

b < 印刷 >

エラー内容を印刷し、画像は印刷しません。

c < パネル >

画像を印刷せず、操作パネルにエラーメッセージを表示します。

E メール本文印刷

E メール印刷をするときに、Eメールの本文を印刷するかどうかを設定します。< OFF >に設定すると、添付画像のみが印刷されるようになります。

OFF
ON



E メール本文印刷制限*

< E メール本文印刷 > が < ON > に設定されているときに、本文の印刷ページ数を制限するかどうかを設定します。< ON > に設定すると、本文の印刷ページ数が5ページまでに制限されるようになります。

OFF
ON



印字領域拡大

● **印刷範囲(P. 620)** を用紙サイズいっぱいに広げて印刷するかどうかを設定します。

OFF
ON

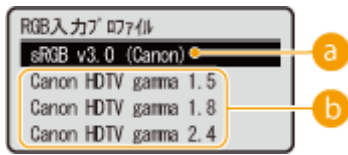


- < ON > に設定すると、原稿によっては用紙の端が一部欠けて印刷されたり、用紙が部分的に汚れたりすることがあります。

RGB 入力プロファイル

RGB データに対して、ディスプレイの画質に合わせたプロファイルを選びます。

sRGB v3.0 (Canon)
 Canon HDTV gamma 1.5
 Canon HDTV gamma 1.8
 Canon HDTV gamma 2.4



a < sRGB v3.0 (Canon) >

一般的なディスプレイの業界標準画質に設定されます。sRGB 対応ディスプレイをお使いの場合、表示される色に近い色味で印刷することができます。

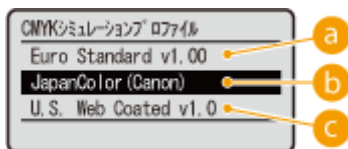
b < Canon HDTV gamma 1.5~2.4 >

印刷結果とディスプレイに表示された色を比べて、明るさを調整したいときに設定します。設定値が大きいほど暗く印刷されます。

CMYK シミュレーションプロファイル

CMYK のデータを印刷する際のシミュレーションターゲットを選びます。このシミュレーションに従って CMYK データをデバイス依存の CMYK カラーモデルに変換します。

Euro Standard v1.00
JapanColor(Canon)
 U.S. Web Coated v1.0



a < Euro Standard v1.00 >

Euro Standard プロファイルを設定します。ヨーロッパの印刷標準に近い色味で印刷します。

b < JapanColor(Canon) >

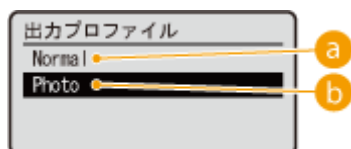
JapanColor プロファイルを設定します。日本の印刷標準に近い色味で印刷します。

C < U.S. Web Coated v1.0 >

U.S. Web Coated プロファイルを設定します。米国の印刷標準に近い色味で印刷します。

出力プロファイル

印刷データに対して適切なプロファイルを選びます。



a < Normal >

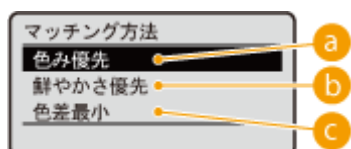
ディスプレイに表示された色に近い色味でマッチングを行い、印刷します。

b < Photo >

写真のような色味でマッチングを行い、印刷します。

マッチング方法

< RGB 入力プロファイル >で色のマッチングを行うときに、どの要素を優先させるかを選びます。



a <色み優先>

色味を優先させてマッチングを行います。

b <鮮やかさ優先>

鮮やかさを優先させてマッチングを行います。

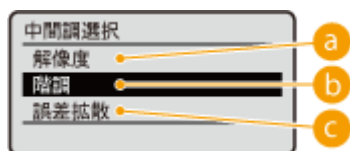
c <色差最小>

RGB カラー値をできるだけ正確に再現するようにマッチングを行います。

中間調選択

中間調（画像の明るい部分と暗い部分の中間の領域）の再現方法を選びます。

解像度
階調
誤差拡散



a <解像度>

テキストの輪郭をくっきりさせて精細な印刷をします。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。

b <階調>

階調や輪郭をなめらかに印刷します。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。

c <誤差拡散>

文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭線を印刷するのに適しています。



- <誤差拡散>を使用した場合、定着させたトナー、質感の安定性が下がる場合があります。

写真補正(カラーのみ)*

写真などの画像を補正する機能の設定を行います。本項目はSDカード装着時に表示されます。

オートフォトモード

自動的に画像のコントラストやカラーバランス、彩度、階調を補正して印刷するかどうかを設定します。

OFF
ON



赤目補正

フラッシュ撮影時に光が目にあたり人物などの目が赤くなることを赤目といいます。自動的に画像の赤目部分を検出して補正するかどうかを設定します。補正レベルは3段階から選ぶことができます。

赤目補正

赤目補正を行うかどうかを設定します。

OFF
ON



赤目補正レベル*

< 赤目補正 > を < ON > に設定した場合の補正レベルを設定します。

弱く
標準
強く



顔明るく補正

露出不足や逆光などにより人物の顔が暗くなった画像を印刷する場合に、顔の部分が明るくなるように画像全体の明るさを補正するかどうかを設定します。補正レベルは3段階から選ぶことができます。

顔明るく補正

顔部分を明るくする補正を行うかどうかを設定します。

OFF
ON



顔明るく補正レベル*

< 顔明るく補正 > を < ON > に設定した場合の補正レベルを設定します。

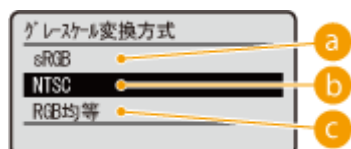
弱く
標準
強く



グレースケール変換方式*

カラーの印刷データをモノクロに変換するときの方式を設定します。

sRGB
NTSC
RGB 均等



a < sRGB >

色の違いを考慮した、なめらかな階調になるようにモノクロ変換されます。

b < NTSC >

テレビ映像（NTSC方式）と同等の見た目になるようにモノクロ変換されます。

c < RGB 均等 >

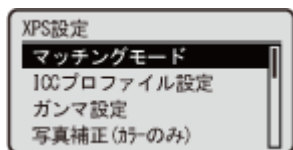
明るさのみを基準にし、RGB がすべて均等になるようにモノクロ変換されます。



- <印字調整>の<カラーモード>（▶[カラーモード\(P. 380\)](#)）を<白黒>に設定したときに有効になります。

XPS 設定

55S7-057



メディアプリントやダイレクトプリントで印刷できる XPS ファイルに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



MEMO

項目にアスタリスク (*) が付いているとき

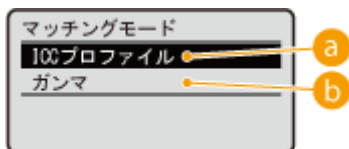
- 他の設定項目によっては表示されません。

- ▶ マッチングモード(P. 472)
- ▶ ICC プロファイル設定(P. 473)
- ▶ ガンマ設定(P. 476)
- ▶ 写真補正(カラーのみ)(P. 477)
- ▶ 中間調選択(P. 478)
- ▶ グレー補償(P. 480)
- ▶ アドバンスドスムージング(P. 480)
- ▶ グレースケール変換方式(P. 481)

マッチングモード

カラー印刷時の処理モードを選びます。

ICC プロファイル
ガンマ



a < ICC プロファイル >

プロファイルを使用して色のマッチングを行います。

b < ガンマ >

ガンマ値を設定して明るさの強弱で色の調整を行います。

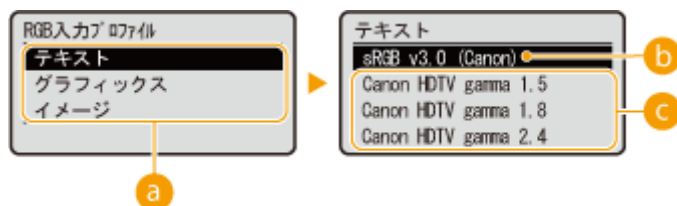
ICC プロファイル設定

色のマッチングを行うときのプロファイルや、マッチング時に優先させる要素を設定します。1つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

RGB 入力プロファイル

RGB データに対して、ディスプレイの画質に合わせたプロファイルを選びます。

- テキスト
 - sRGB v3.0 (Canon)**
 - Canon HDTV gamma 1.5
 - Canon HDTV gamma 1.8
 - Canon HDTV gamma 2.4
- グラフィックス
 - sRGB v3.0 (Canon)**
 - Canon HDTV gamma 1.5
 - Canon HDTV gamma 1.8
 - Canon HDTV gamma 2.4
- イメージ
 - sRGB v3.0 (Canon)**
 - Canon HDTV gamma 1.5
 - Canon HDTV gamma 1.8
 - Canon HDTV gamma 2.4



a < 画像の種類 >

設定を変更する対象を選びます。<テキスト>は文字、<グラフィックス>は線や図形、<イメージ>は写真などの画像が対象となります。

b < sRGB v3.0 (Canon) >

一般的なディスプレイの業界標準画質に設定されます。sRGB 対応ディスプレイをお使いの場合、表示される色に近い色味で印刷することができます。

C < Canon HDTV gamma 1.5~2.4 >

印刷結果とディスプレイに表示された色を比べて、明るさを調整したいときに設定します。設定値が大きいほど暗く印刷されます。



- <マッチングモード>を< ICC プロファイル>に設定したときに有効になります。

出力プロファイル

印刷データに対して適切なプロファイルを選びます。

- テキスト
Normal
Photo
- グラフィックス
Normal
Photo
- イメージ
Normal
Photo



a < 画像の種類 >

設定を変更する対象を選びます。<テキスト>は文字、<グラフィックス>は線や図形、<イメージ>は写真などの画像が対象となります。

b < Normal >

ディスプレイに表示された色に近い色味でマッチングを行い、印刷します。

c < Photo >

写真のような色味でマッチングを行い、印刷します。

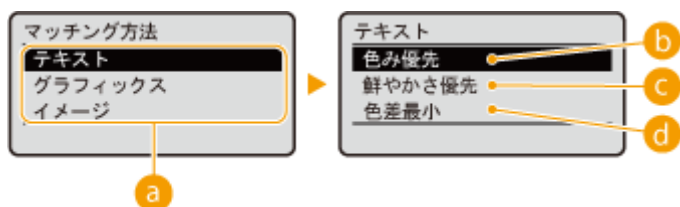


- <マッチングモード>を<ICC プロファイル>に設定したときに有効になります。

マッチング方法

<RGB 入力プロファイル>で色のマッチングを行うときに、どの要素を優先させるかを選びます。

- テキスト
 - 色み優先
 - 鮮やかさ優先
 - 色差最小
- グラフィックス
 - 色み優先
 - 鮮やかさ優先
 - 色差最小
- イメージ
 - 色み優先
 - 鮮やかさ優先
 - 色差最小



a <画像の種類>

設定を変更する対象を選びます。<テキスト>は文字、<グラフィックス>は線や図形、<イメージ>は写真などの画像が対象となります。

b <色み優先>

色味を優先させてマッチングを行います。

c <鮮やかさ優先>

鮮やかさを優先させてマッチングを行います。

d <色差最小>

RGB カラー値をできるだけ正確に再現するようにマッチングを行います。

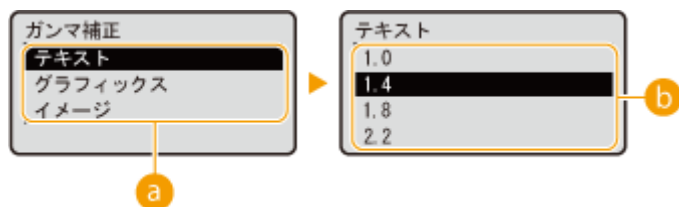
ガンマ設定

ガンマ値を設定して明るさの強弱で色の調整を行うかどうかを設定します。

ガンマ補正

原稿中の最も明るい部分や最も暗い部分を損なわないように、印刷結果の明るさを調節することができます。1つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

- テキスト
 - 1.0
 - 1.4**
 - 1.8
 - 2.2
- グラフィックス
 - 1.0
 - 1.4**
 - 1.8
 - 2.2
- イメージ
 - 1.0
 - 1.4**
 - 1.8
 - 2.2




a <画像の種類>

設定を変更する対象を選びます。<テキスト>は文字、<グラフィックス>は線や図形、<イメージ>は写真などの画像が対象となります。

b < 1.0 > ~ < 2.2 >

印刷結果の明るさを調整したいときに設定します。< 1.4 >が標準（補正なし）の状態で、設定値が大きいほど暗く印刷されます。



MEMO

- < マッチングモード > を < ガンマ > に設定したときに有効になります。

写真補正(カラーのみ)

写真などの画像を補正する機能の設定を行います。

オートフォトモード

自動的に画像のコントラストやカラーバランス、彩度、階調を補正して印刷するかどうかを設定します。

OFF

ON



▶ (セットアップ) ▶ < XPS 設定 > ▶  ▶ < 写真補正(カラーのみ) > ▶  ▶ < オートフォトモード > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶ 

赤目補正

フラッシュ撮影時に光が目にあたり人物などの目が赤くなることを赤目といいます。自動的に画像の赤目部分を検出して補正するかどうかを設定します。補正レベルは3段階から選ぶことができます。

赤目補正

赤目補正を行うかどうかを設定します。

OFF

ON



▶ (セットアップ) ▶ < XPS 設定 > ▶  ▶ < 写真補正(カラーのみ) > ▶  ▶ < 赤目補正 > ▶  ▶ < 赤目補正 > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶ 

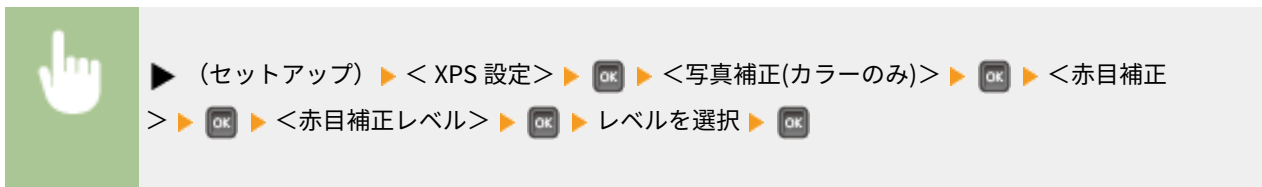
赤目補正レベル*

< 赤目補正 > を < ON > に設定した場合の補正レベルを設定します。

弱く

標準

強く



顔明るく補正

露出不足や逆光などにより人物の顔が暗くなった画像を印刷する場合に、顔の部分が明るくなるように画像全体の明るさを補正するかどうかを設定します。補正レベルは3段階から選ぶことができます。

顔明るく補正

顔部分を明るくする補正を行うかどうかを設定します。

OFF
ON



顔明るく補正レベル*

< 顔明るく補正 > を < ON > に設定した場合の補正レベルを設定します。

弱く
標準
強く



中間調選択

中間調（画像の明るい部分と暗い部分の中間の領域）の再現方法を選びます。

誤差拡散

文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭線を印刷するのに適しています。

OFF
ON



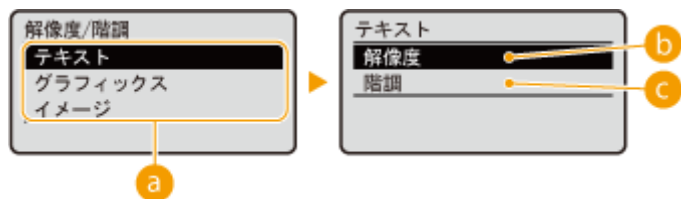
MEMO

- < 誤差拡散 > を使用した場合、定着させたトナー、質感の安定性が下がる場合があります。

解像度/階調*

< 誤差拡散 > を < OFF > に設定した場合に、中間調の再現方法を選びます。1つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

- テキスト
解像度
階調
- グラフィックス
解像度
階調
- イメージ
解像度
階調



a 画像の種類

設定を変更する対象を選びます。< テキスト > は文字、< グラフィックス > は線や図形、< イメージ > は写真などの画像が対象となります。

b < 解像度 >

テキストの輪郭をくっきりさせて精細な印刷をします。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。

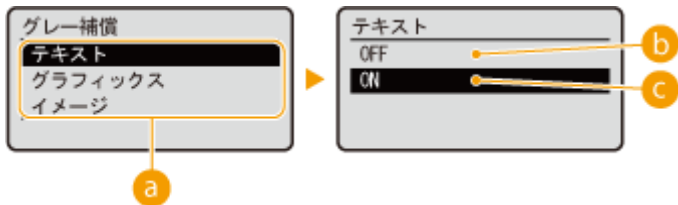
C <階調>

階調や輪郭をなめらかに印刷します。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。

グレー補償

色情報が「R = G = B」のブラックまたはグレーのデータを、K（ブラック）のトナー 1 色で印刷するか、CMYK のトナー 4 色で印刷するかを選びます。1 つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

- テキスト
OFF
ON
- グラフィックス
OFF
ON
- イメージ
OFF
ON



a 画像の種類

設定を変更する対象を選びます。<テキスト>は文字、<グラフィックス>は線や図形、<イメージ>は写真などの画像が対象となります。

b < OFF >

CMYK のトナー 4 色で印刷します。< ON > のときよりも暗い色の階調の再現性が向上します。

c < ON >

K（ブラック）のトナー 1 色で印刷します。カラー（CMY）のトナーによる色ずれを防ぐことができます。

アドバンスドスムージング

線や図形、文字の輪郭をなめらかに印刷するスムージング処理の設定を行います。

アドバンスドスムージング

スムージング処理を行うかどうかを設定します。＜スムーズ 1＞よりも＜スムーズ 2＞の方がよりなめらかな輪郭になるような処理を行います。

OFF
スムーズ 1
 スムーズ 2



グラフィックスに適用 *

＜アドバンスドスムージング＞を＜スムーズ 1＞または＜スムーズ 2＞に設定した場合に、スムージング処理を線や図形に適用するかどうかを設定します。

OFF
ON



テキストに適用 *

＜アドバンスドスムージング＞を＜スムーズ 1＞または＜スムーズ 2＞に設定した場合に、スムージング処理を文字に適用するかどうかを設定します。

OFF
ON

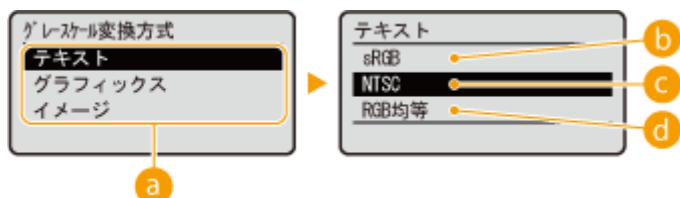


グレースケール変換方式

カラーの印刷データをモノクロに変換するときの方式を設定します。

• テキスト
 sRGB
NTSC

RGB 均等
• グラフィックス
sRGB
NTSC
RGB 均等
• イメージ
sRGB
NTSC
RGB 均等



a 画像の種類

設定を変更する対象を選びます。＜テキスト＞は文字、＜グラフィックス＞は線や図形、＜イメージ＞は写真などの画像が対象となります。

b < sRGB >

色の違いを考慮した、なめらかな階調になるようにモノクロ変換されます。

c < NTSC >

テレビ映像（NTSC 方式）と同等の見た目になるようにモノクロ変換されます。

d < RGB 均等 >

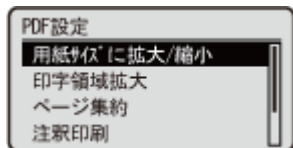
明るさのみを基準にし、RGB がすべて均等になるようにモノクロ変換されます。



- < 印字調整 > の < カラーモード > （▶ カラーモード (P. 380) ）を < 白黒 > に設定したときに有効になります。

PDF 設定

55S7-058



メディアプリントやダイレクトプリントで印刷できる PDF ファイルに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- 他の設定項目によっては表示されません。

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| ▶ 用紙サイズに拡大/縮小 (P. 483) | ▶ ブラックオーバープリント (P. 489) |
| ▶ 印字領域拡大 (P. 483) | ▶ 明るさ (P. 490) |
| ▶ ページ集約 (P. 484) | ▶ 中間調選択 (P. 490) |
| ▶ 注釈印刷 (P. 484) | ▶ コンポジットオーバープリント (P. 492) |
| ▶ ICC プロファイル設定 (P. 484) | ▶ アドバンスドスムージング (P. 492) |
| ▶ テキストに純ブラック (P. 489) | ▶ グレースケール変換方式 (P. 493) |

用紙サイズに拡大/縮小

用紙の ▶ **印刷範囲**(P. 620) に合わせて、拡大/縮小するかどうかを設定をします。なお、原稿のタテヨコ比は固定されたまま拡大/縮小されます。

OFF
ON



印字領域拡大

- ▶ **印刷範囲**(P. 620) を用紙サイズいっぱい広げて印刷するかどうかを設定します。

OFF
ON



MEMO

- < ON > に設定すると、原稿によっては用紙の端が一部欠けて印刷されたり、用紙が部分的に汚れたりすることがあります。

ページ集約

複数のページを縮小して1枚の用紙に左上から並べて印刷するかどうかを設定します。たとえば、< 4 in 1 > とは「1枚の用紙に4ページを収める」という意味です。



注釈印刷

注釈を印刷するかどうかを設定します。< 自動 > に設定すると、PDF ファイルの注釈が印刷されます。



ICC プロファイル設定

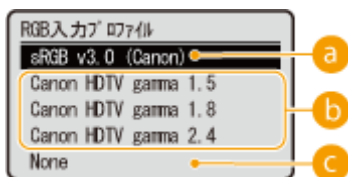
色のマッチングを行うときのプロファイルや、マッチング時に優先させる要素を設定します。

RGB 入力プロファイル

RGB データに対して、ディスプレイの画質に合わせたプロファイルを選びます。

sRGB v3.0 (Canon)

Canon HDTV gamma 1.5
 Canon HDTV gamma 1.8
 Canon HDTV gamma 2.4
 None



a < sRGB v3.0 (Canon) >

一般的なディスプレイの業界標準画質に設定されます。sRGB 対応ディスプレイをお使いの場合、表示される色に近い色味で印刷することができます。

b < Canon HDTV gamma 1.5~2.4 >

印刷結果とディスプレイに表示された色を比べて、明るさを調整したいときに設定します。設定値が大きいほど暗く印刷されます。

c < None >

RGB 入力プロファイルを適用せずに、RGB データから CMYK への色分解を行います。

CMYK シミュレーションプロファイル

CMYK のデータを印刷する際のシミュレーションターゲットを選びます。このシミュレーションに従って CMYK データをデバイス依存の CMYK カラーモデルに変換します。

Euro Standard v1.00
 JapanColor(Canon)
 U.S. Web Coated v1.0
None





a < Euro Standard v1.00 >

Euro Standard プロファイルを設定します。ヨーロッパの印刷標準に近い色味で印刷します。

b < JapanColor(Canon)>


JapanColor プロファイルを設定します。日本の印刷標準に近い色味で印刷します。

c < U.S. Web Coated v1.0 >

U.S. Web Coated プロファイルを設定します。米国の印刷標準に近い色味で印刷します。

d < None >

CMYK シミュレーションプロファイルを適用せずに、デバイス依存の CMYK カラーで印刷します。



 **MEMO**

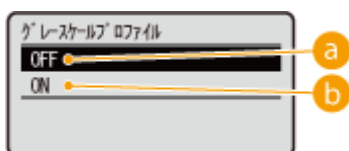
- < None >に設定すると、データによっては暗い色の階調がつぶれることがあります。

グレースケールプロファイル

グレイのデータを、本機のグレースケールプロファイルを使って CMYK のデータに変換するかどうかを設定します。

OFF
ON

 ▶ (セットアップ) ▶ < PDF 設定 > ▶  ▶ < ICC プロファイル設定 > ▶  ▶ <グレースケールプロファイル> ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶ 



a < OFF >

CMYK のデータに変換せず、K (ブラック) のトナー 1 色で印刷します。

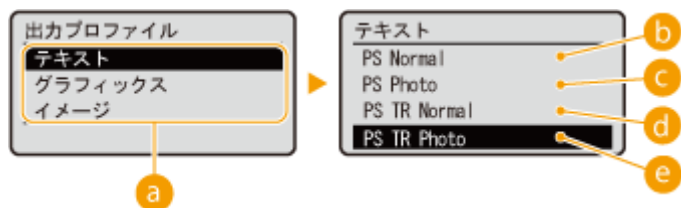
b < ON >

本機のグレースケールプロファイルを使って CMYK のデータに変換します。ただし、<出力プロファイル>や<テキストに純ブラック>の設定によっては、K（ブラック）のトナー 1 色で印刷します。

出力プロファイル

印刷データに対して適切なプロファイルを選びます。1 つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

- テキスト
 - PS Normal
 - PS Photo
 - PS TR Normal
 - PS TR Photo**
- グラフィックス
 - PS Normal
 - PS Photo
 - PS TR Normal
 - PS TR Photo**
- イメージ
 - PS Normal
 - PS Photo
 - PS TR Normal
 - PS TR Photo**



a < 画像の種類 >

設定を変更する対象を選びます。<テキスト>は文字、<グラフィックス>は線や図形、<イメージ>は写真などの画像が対象となります。

b < PS Normal >

ディスプレイに表示された色に近い色味でマッチングを行い、印刷します。

c < PS Photo >

写真のような色味でマッチングを行い、印刷します。

d < PS TR Normal >

ディスプレイに表示された色に近い色味でマッチングを行い、さらに文字や細い線のトナーのにじみを抑えて印刷します。

e < PS TR Photo >

写真のような色味でマッチングを行い、さらに文字や細い線のトナーのにじみを抑えて印刷します。



MEMO

次のいずれかに設定されているときは、この項目の設定は無効となります。

- < RGB 入力プロファイル > が < None > に設定されている
- < CMYK シミュレーションプロファイル > が < None > に設定されている
- < グレースケールプロファイル > が < OFF > に設定されている

マッチング方法

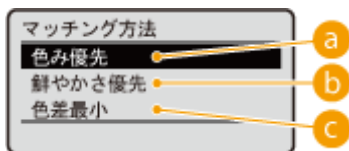
< RGB 入力プロファイル > で色のマッチングを行うときに、どの要素を優先させるかを選びます。

色み優先

- 鮮やかさ優先
- 色差最小



(セットアップ) ▶ < PDF 設定 > ▶ ▶ < ICC プロファイル設定 > ▶ ▶ < マッチング方法 > ▶ ▶ マッチング方法を選択 ▶



a < 色み優先 >

色味を優先させてマッチングを行います。

b < 鮮やかさ優先 >

鮮やかさを優先させてマッチングを行います。

C <色差最小>

原稿と印刷の色の差が最小となるようにマッチングを行います。

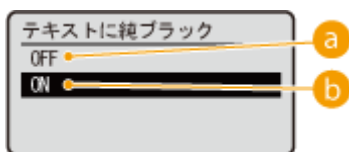


- < RGB 入力プロファイル > が < None > に設定されているときは、この項目の設定は無効となります。

テキストに純ブラック

色情報が「R = G = B = 0%」、「C = M = Y = 100%」または「C = M = Y = 0% / K = 100%」の黒色の文字を、K（ブラック）のトナー 1 色で印刷するか、< 出力プロファイル > の設定に従って印刷するかを選びます。

OFF
ON



a < OFF >

< 出力プロファイル > の設定に従って印刷します。印刷データによっては、< ON > のときよりも印刷結果が良くなることがあります。

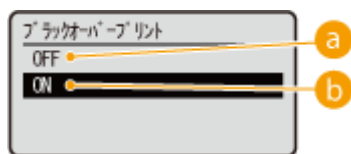
b < ON >

黒色の文字を K（ブラック）のトナー 1 色で印刷します。カラー（CMY）のトナーによる文字の周りの色ずれを防ぐことができます。通常はこちらの設定をおすすめします。

ブラックオーバープリント*

黒色の文字がカラーの背景や図形に重なっているときの印刷方法を設定します。< テキストに純ブラック > が < OFF > のときは表示されません。

OFF
ON



a < OFF >

カラーの背景や図形から黒色の文字の部分を白く抜いて印刷してから、白く抜いた部分に黒色の文字を印刷します。< ON >に設定したときよりも薄く印刷されたり、文字の縁が白く抜けたりすることがあります。



b < ON >

カラーの背景や図形をすべて印刷してから、ブラック (K) のトナーのみを使って黒色の文字を背景や図形の上に重ねて印刷します。



明るさ

画像全体の明るさを 5% 間隔で調整します。設定値が小さいほど明るくなり、大きいほど暗くなります。

85~100~115 (%)



中間調選択

中間調 (画像の明るい部分と暗い部分の中間の領域) の再現方法を選びます。

誤差拡散

文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭線を印刷するのに適しています。

OFF
ON



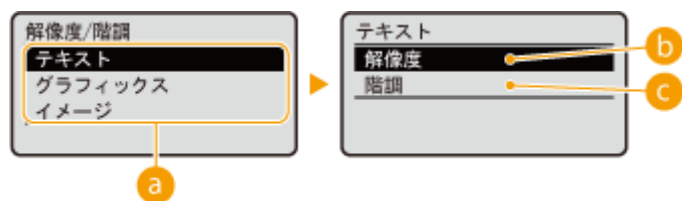
MEMO

- < 誤差拡散 > を使用した場合、定着させたトナー、質感の安定性が下がる場合があります。

解像度/階調*

< 誤差拡散 > を < OFF > に設定した場合に、中間調の再現方法を選びます。1つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

- テキスト
解像度
階調
- グラフィックス
解像度
階調
- イメージ
解像度
階調



a 画像の種類

設定を変更する対象を選びます。< テキスト > は文字、< グラフィックス > は線や図形、< イメージ > は写真などの画像が対象となります。

b < 解像度 >

テキストの輪郭をくっきりさせて精細な印刷をします。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。

C <階調>

階調や輪郭をなめらかに印刷します。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。

コンポジットオーバープリント

オーバープリントが設定されている CMYK のデータを、コンポジット出力のままオーバープリントするかどうかを設定します。

OFF
ON



MEMO

- < CMYK シミュレーションプロファイル > が < None > 以外に設定されているときは、この項目を < ON > に設定してもオーバープリントされません。

アドバンスドスムージング

線や図形、文字の輪郭をなめらかに印刷するスムージング処理の設定を行います。

アドバンスドスムージング

スムージング処理を行うかどうかを設定します。< スムーズ 1 > よりも < スムーズ 2 > の方がよりなめらかな輪郭になるような処理を行います。

OFF
スムーズ 1
スムーズ 2



グラフィックスに適用*

< アドバンスドスムージング > を < スムーズ 1 > または < スムーズ 2 > に設定した場合に、スムージング処理を線や図形に適用するかどうかを設定します。

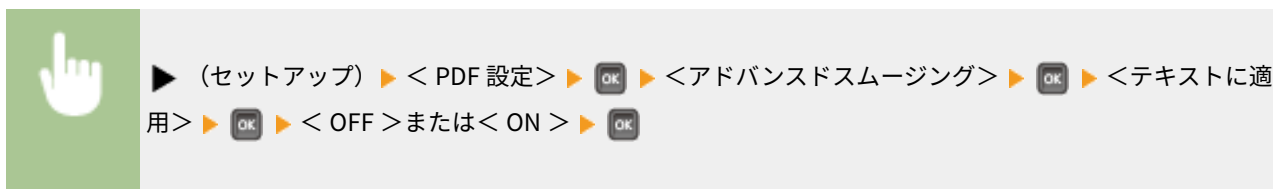
OFF
ON



テキストに適用*

<アドバンスドスムージング>を<スムーズ 1>または<スムーズ 2>に設定した場合に、スムージング処理を文字に適用するかどうかを設定します。

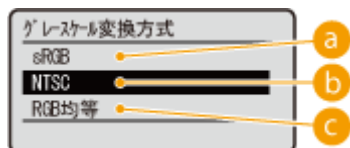
OFF
ON



グレースケール変換方式*

カラーの印刷データをモノクロに変換するときの方式を設定します。

sRGB
NTSC
RGB均等



a < sRGB >

色の違いを考慮した、なめらかな階調になるようにモノクロ変換されます。


b < NTSC >

テレビ映像 (NTSC 方式) と同等の見た目になるようにモノクロ変換されます。

< RGB 均等 >

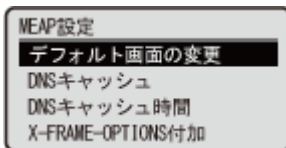
明るさのみを基準にし、RGB がすべて均等になるようにモノクロ変換されます。



- <印字調整>の<カラーモード>（ **カラーモード(P. 380)**）を<白黒>に設定したときに有効になります。

MEAP 設定

55S7-059



MEAP を導入しているときの基本画面に関する設定項目を説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

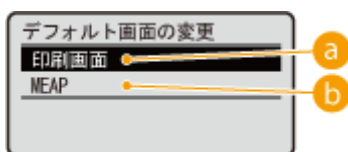
- 他の設定項目によっては表示されません。

- ▶ **デフォルト画面の変更**(P. 495)
- ▶ **DNS キャッシュ**(P. 496)
- ▶ **DNS キャッシュ時間**(P. 496)
- ▶ **X-FRAME-OPTIONS 付加**(P. 496)

デフォルト画面の変更

本機が起動したときに操作パネルのディスプレイに表示される画面を設定します。

印刷画面
MEAP




a < 印刷画面 >

印刷待機画面（基本画面）が表示されます。


b < MEAP >

MEAP アプリケーションがインストールされているときは、MEAP アプリケーションの画面が表示されます。



- ディスプレイの表示は、操作パネルの  (機能選択) を押すことで、画面を切り替えることができます。

DNS キャッシュ

MEAP アプリケーションで検索に成功した DNS 情報をメモリーに保持するかどうか設定できます。< ON(時間指定)> を選ぶと、一時的に保持することもでき、その場合は有効期限を設定できます ( **DNS キャッシュ時間(P. 496)**)。

OFF
ON(時間無制限)
ON(時間指定)



DNS キャッシュ時間*

< DNS キャッシュ > が < ON(時間指定)> の場合に、DNS 情報をメモリーに保持する時間を設定します。

1~60~120 (秒)



X-FRAME-OPTIONS 付加

HTTP サーバーがレスポンス返すときに、ヘッダーに X-FRAME-OPTIONS を付加するかどうかを設定します。X-FRAME-OPTIONS を付加すると、他のサーバーが生成したコンテンツに重なることを防ぐことができます。

OFF
ON



カウンター確認

55S7-05A

カウンター確認
101:トータル1
108:トータル(白黒1)
149:トータルA(フル+モノカラー1)

これまでに印刷した総ページ数を確認できます。



<カウンター確認>項目について

- この項目と **ユーティリティーメニュー(P. 499)** の<カウンター確認>は、いずれも同じ内容です。
- 項目にアスタリスク (*) が付いているとき
- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

101:トータル 1

印刷の総ページ数を確認できます。

(表示のみ)

108:トータル(白黒 1) *

白黒印刷のページ数を確認できます。

(表示のみ)

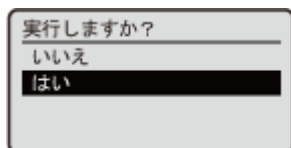
149:トータル A(フル+モノカラー 1) *

カラー印刷のページ数を確認できます。

(表示のみ)

パネル設定初期化

55S7-05C



セットアップメニューの設定値をお買い上げ時の値に戻します（初期化）。[▶メニューを初期化する\(P. 591\)](#)

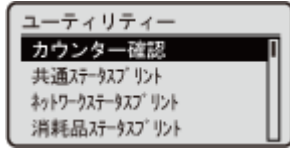


初期化されない設定値について

- <ネットワーク>と<印字位置調整>は初期化されません。<ネットワーク>を初期化したいときは、[▶ネットワーク設定を初期化する\(P. 592\)](#) を参照してください。<印字位置調整>を初期化したいときは、手動でお買い上げ時の値に設定しなおしてください（[▶印字位置調整\(P. 397\)](#)）。

ユーティリティーメニュー

55S7-05E



総印刷ページ数の表示や、内部のシステム情報を印刷して確認することができます。操作パネルで ◀ (ユーティリティー) を押すと、ユーティリティーメニューが表示されます。ここでの項目は、本機がオンラインのときに表示することができます。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| ▶ カウンター確認(P. 499) | ▶ トナー漏れ対策クリーニング(P. 504) |
| ▶ 共通ステータスプリント(P. 500) | ▶ ITB クリーニング(P. 504) |
| ▶ ネットワークステータスプリント(P. 500) | ▶ カートリッジ交換後調整(P. 504) |
| ▶ 消耗品ステータスプリント(P. 500) | ▶ E メール印刷ユーティリティー(P. 504) |
| ▶ IPSec ポリシーリスト(P. 500) | ▶ 印字位置調整プリント(P. 505) |
| ▶ キャリブレーション(P. 500) | ▶ カウント管理レポート(P. 505) |
| ▶ LIPS ユーティリティー(P. 500) | ▶ カウンターレポート(P. 505) |
| ▶ ESC/P ユーティリティー(P. 501) | ▶ MEAP システム情報プリント(P. 505) |
| ▶ N201 ユーティリティー(P. 501) | ▶ カートリッジログプリント(P. 505) |
| ▶ i5577 ユーティリティー(P. 502) | ▶ 総印刷ページ数(P. 505) |
| ▶ HP-GL ユーティリティー(P. 503) | ▶ シリアル No.(P. 505) |
| ▶ HP-GL/2 ユーティリティー(P. 503) | ▶ 消耗品情報(P. 506) |
| ▶ クリーニング(P. 504) | |

カウンター確認

これまでに印刷した総ページ数を確認できます。 ▶ **すべての印刷ページ数を確認する(P. 584)**



- この項目と ▶ **セットアップメニュー(P. 333)** の<カウンター確認>は、いずれも同じ内容です。

101:トータル 1

印刷の総ページ数を確認できます。

(表示のみ)

108:トータル(白黒 1) *

白黒印刷のページ数を確認できます。

(表示のみ)

149:トータル A(フル+モノカラー 1) *

カラー印刷のページ数を確認できます。

(表示のみ)

共通ステータスプリント

本機の設定項目（[●セットアップメニュー\(P. 333\)](#)）とその内容などのリストをプリントします。トナーカートリッジの状態や印刷ページ数、本機に搭載されているメモリー（RAM）の容量などの情報も確認できます。[●共通ステータスプリント\(P. 573\)](#)

ネットワークステータスプリント

本機のネットワークに関する設定項目（[●ネットワーク\(P. 353\)](#)）とその内容のリストをプリントします。アドレスフィルターや IPSec の設定状況など、セキュリティーに関する情報も確認できます。[●ネットワークステータスプリント\(P. 573\)](#)

消耗品ステータスプリント

トナーカートリッジの状態や警告メッセージ、新しいトナーカートリッジの購入先などの情報をプリントします。[●消耗品ステータスプリント\(P. 574\)](#)

IPSec ポリシーリスト *

本機に登録されている IPSec 設定のポリシー名と設定内容（[●IPSec の設定をする\(P. 276\)](#)）のリストをプリントします。[●IPSec ポリシーリスト\(P. 575\)](#)

キャリブレーション

印刷物の色がずれたり、原稿と印刷物の色味が著しく異なるときに画質を補正します。[●色ずれや色味を補正する\(P. 566\)](#)

POP 印刷キャリブレーション

POP の印刷で発生した色ずれや色味の違いを補正するときに行います。

フルキャリブレーション

色ずれや色味の違いを補正するときに行います。

LIPS ユーティリティー *

コントロールコマンドで LIPS II⁺、LIPS III、LIPS4 を使用するときの設定内容や、本機に登録している内部情報のリストをプリントします。[●LIPS モード専用のリスト\(P. 577\)](#)

ステータスプリント

本機の設定項目（[●LIPS4 設定\(P. 432\)](#)）とその内容のリストをプリントします。

フォントリスト

LIPS モードで使用できるフォントのリストをプリントします。

オーバーレイリスト

オーバーレイのフォーマットデータが登録されている場合に、フォーマットの番号やサイズなどのリストをプリントします。

マクロリスト

マクロデータが登録されている場合に、マクロの番号やサイズなどのリストをプリントします。

フォームリスト

フォームデータが登録されている場合に、フォームの名称とサイズのリストをプリントします。

オーバーレイプリント

<LIPS4 設定> ([▶LIPS4 設定\(P. 432\)](#)) の<オーバーレイ 1>/<オーバーレイ 2>に登録されているフォーマットデータをプリントします。

カラーサンプル

LIPS モードで使用できる代表的なカラーパターンのサンプルなどをプリントします。

ESC/P ユーティリティ *

ESC/P エミュレーションモードの設定内容のリストをプリントします。コントロール ROM を装着している場合に、オーバーレイのフォーマットデータが登録されているときは、フォーマットデータをプリントすることもできます。

ステータスプリント

本機の設定項目 ([▶ESC/P 設定\(P. 447\)](#)) とその内容のリストをプリントします。 [▶ESC/P ステータスプリント\(P. 580\)](#)

オーバーレイプリント *

<ESC/P 設定>の<ユーザーオーバーレイ 1>および<ユーザーオーバーレイ 2>に登録されているフォーマットデータをプリントします。



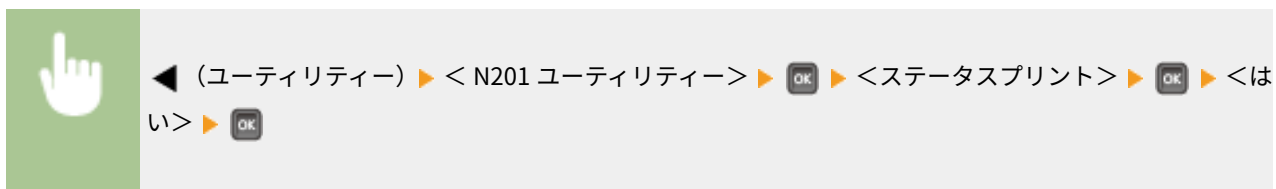
- <ユーザーオーバーレイ 1>および<ユーザーオーバーレイ 2>は、コントロール ROM を装着しているときにのみ設定できます。

N201 ユーティリティ *

コントロール ROM を装着している場合に、N201 エミュレーションモードの設定内容のリストをプリントします。オーバーレイのフォーマットデータが登録されているときは、フォーマットデータをプリントすることもできます。

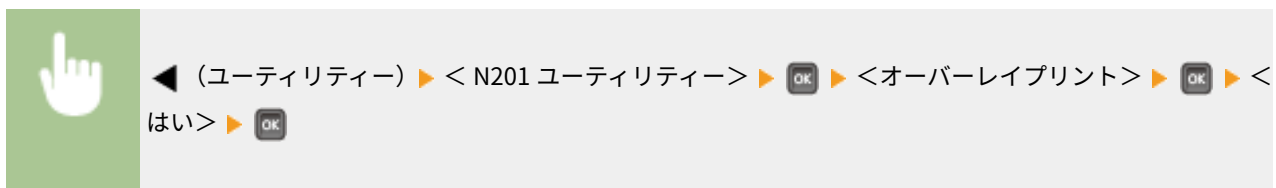
ステータスプリント

本機の N201 エミュレーションモードの設定項目とその内容のリストをプリントします。



オーバーレイプリント

N201 エミュレーションモードの設定項目の<ユーザーオーバーレイ 1 >および<ユーザーオーバーレイ 2 >に登録されているフォーマットデータをプリントします。



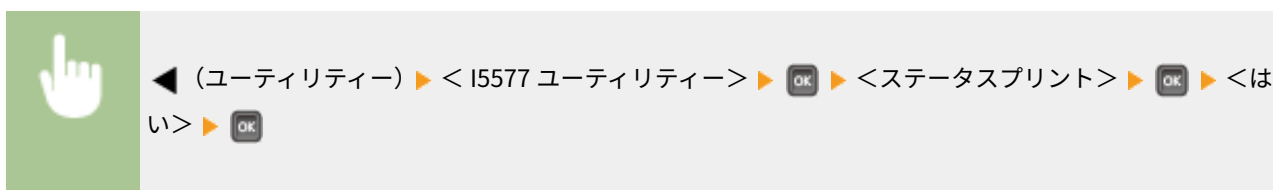
- フォーマットデータが登録されていないときは、手順を実行しても何もプリントされません。

15577 ユーティリティ *

コントロール ROM を装着している場合に、15577 エミュレーションモードの設定内容のリストをプリントします。オーバーレイのフォーマットデータが登録されているときは、フォーマットデータをプリントすることもできます。

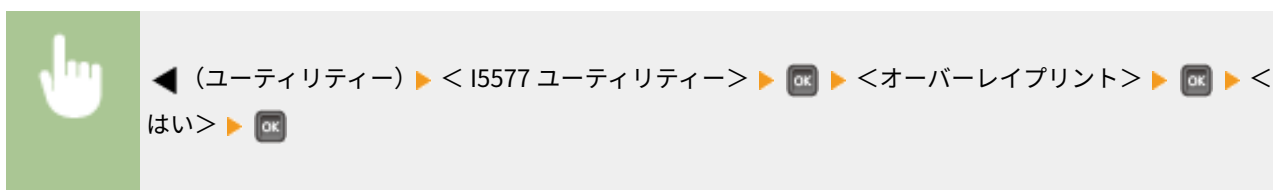
ステータスプリント

本機の 15577 エミュレーションモードの設定項目とその内容のリストをプリントします。



オーバーレイプリント

15577 エミュレーションモードの設定項目の<ユーザーオーバーレイ 1 >および<ユーザーオーバーレイ 2 >に登録されているフォーマットデータをプリントします。



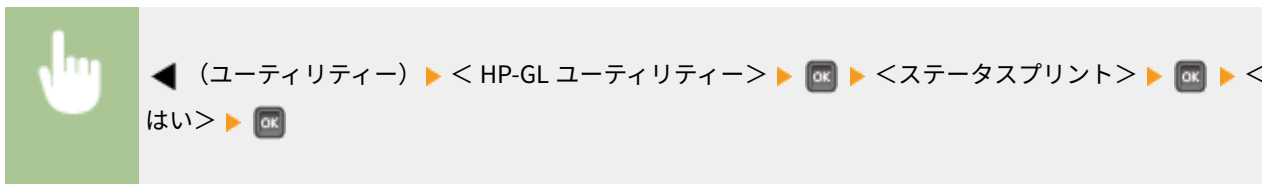
- フォーマットデータが登録されていないときは、手順を実行しても何もプリントされません。

HP-GL ユーティリティ^{*}

コントロール ROM を装着している場合に、HP-GL エミュレーションモードの設定内容のリストをプリントします。サンプルデータをプリントして機能の確認をすることもできます。

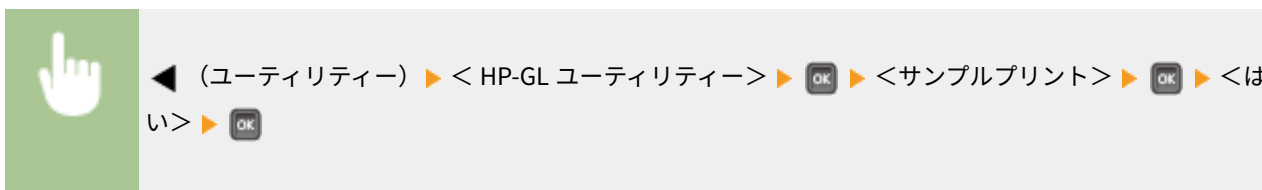
ステータスプリント

本機の HP-GL エミュレーションモードの設定項目とその内容のリストをプリントします。



サンプルプリント

HP-GL エミュレーションモードの機能を使用したサンプルデータをプリントします。

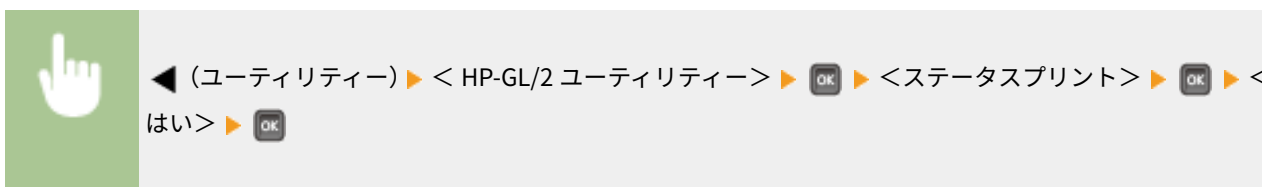


HP-GL/2 ユーティリティ^{*}

コントロール ROM を装着している場合に、HP-GL/2 エミュレーションモードの設定内容のリストをプリントします。サンプルデータをプリントして機能の確認をすることもできます。

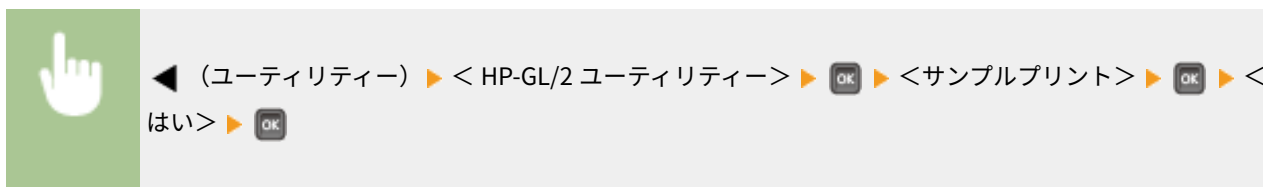
ステータスプリント

本機の HP-GL/2 エミュレーションモードの設定項目とその内容のリストをプリントします。



サンプルプリント

HP-GL/2 エミュレーションモードの機能を使用したサンプルデータをプリントします。



クリーニング

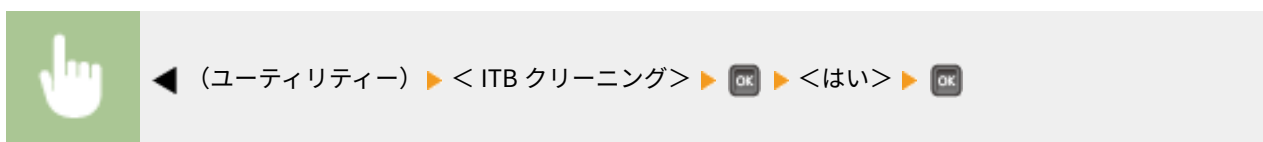
印刷された用紙に黒点状の汚れや黒いすじが現れるような場合に、定着器をクリーニングします。▶ [定着器\(P. 529\)](#)

トナー漏れ対策クリーニング

本機を長距離移動させる場合に、トナー漏れを防止することができます。▶ [本機を移動する\(P. 560\)](#)

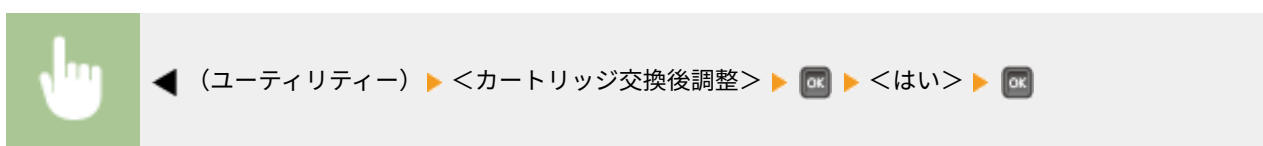
ITB クリーニング

印字品質が良くない場合に、ITB ユニットのクリーニングします。



カートリッジ交換後調整

POP の印刷が思った通りの濃さで印刷されなかった場合に、トナー濃度を調整します。



E メール印刷ユーティリティ

E メールを手動受信したり、Eメールの受信履歴の一覧を印刷したりします。

E メール受信

POP3 メールサーバーから E メールを手動で受信して印刷します。▶ [E メールを手動で受信する\(P. 133\)](#)

E メール受信履歴リスト

本機で受信した Eメールの件名や受信日時などの履歴リストをプリントします。▶ [Eメール印刷履歴リスト\(P. 583\)](#)

印字位置調整プリント

現在の印字位置を示すマークをプリントします。▶[印字位置を調整する\(P. 568\)](#)

カウント管理レポート*

部門別 ID 管理を実施している場合に、印刷したページ数の部門ごとのレポートをプリントします。▶[カウント管理レポート\(P. 576\)](#)

カウンターレポート

これまでに印刷した総ページ数をレポートで確認できます。▶[カウンターレポート\(P. 576\)](#)

MEAP システム情報プリント*

MEAP 機能を使用している場合に、インストールされている MEAP アプリケーションや、MEAP のシステムアプリケーションに関する情報のリストをプリントします。▶[MEAP システム情報プリント\(P. 576\)](#)

カートリッジログプリント

トナーカートリッジ／ドラムカートリッジの利用実績などをリストでプリントします。▶[カートリッジログプリント\(P. 577\)](#)

総印刷ページ数*

これまでに印刷した総ページ数を表示します。



シリアル No.

本機のシリアルナンバーを表示します。

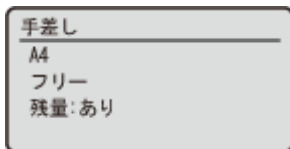


消耗品情報

用紙やトナーカートリッジなどに関する情報を表示します。

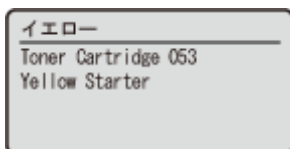
給紙情報

給紙部ごとに用紙サイズや用紙種類の現在の設定、および用紙の残量を表示します。▶[用紙を確認する\(P. 587\)](#)



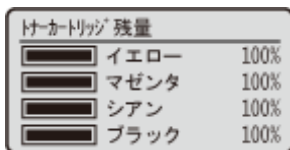
トナーカートリッジ型番

本機のトナーカートリッジの型番を表示します。▶[トナーカートリッジの型番を確認する\(P. 587\)](#)



トナーカートリッジ残量

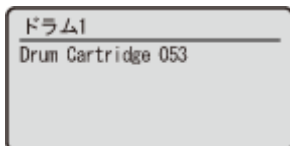
トナーカートリッジの状態を表示します。▶[トナーカートリッジの状態を確認する\(P. 588\)](#)



- 表示されるトナーカートリッジの状態は目安であり、実際と異なる場合があります。

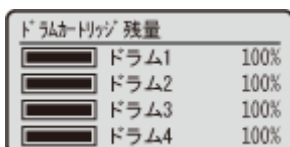
ドラムカートリッジ型番

本機のドラムカートリッジの型番を表示します。▶[ドラムカートリッジの型番を確認する\(P. 588\)](#)



ドラムカートリッジ残量

ドラムカートリッジの状態を表示します。▶[ドラムカートリッジの状態を確認する\(P. 588\)](#)

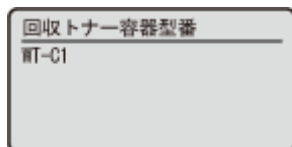




- 表示されるドラムカートリッジの状態は目安であり、実際と異なる場合があります。

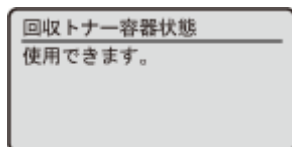
回収トナー容器型番

本機の回収トナー容器の型番を表示します。▶[回収トナー容器の型番を確認する\(P. 589\)](#)



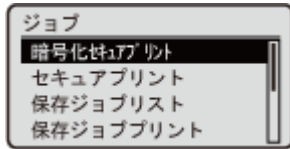
回収トナー容器状態

回収トナー容器の状態を表示します。▶[回収トナー容器の状態を確認する\(P. 589\)](#)



ジョブメニュー

55S7-05F



SD カードに保存した文書を印刷したり、印刷履歴をプリントしたりすることができます。操作パネルで ▲ (ジョブ) を押すと、ジョブメニューが表示されます。ここでの項目は、本機がオンラインのときに表示することができます。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- 「*1」：お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。
- 「*2」：リモート UI の [ジョブ履歴を表示する] がオフのときは表示されません。▶印刷履歴を非表示にする (P. 267)

- ▶暗号化セキュアプリント (P. 508)
- ▶セキュアプリント (P. 508)
- ▶保存ジョブリスト (P. 508)
- ▶保存ジョブプリント (P. 508)
- ▶ジョブ印刷履歴リスト (P. 508)
- ▶保存ジョブ印刷履歴リスト (P. 509)
- ▶レポート印刷履歴リスト (P. 509)
- ▶E メール印刷履歴リスト (P. 509)

暗号化セキュアプリント *1

パソコンから本機に送った暗号化セキュア文書を印刷します。▶セキュア文書を本機から取り出す (P. 102)

セキュアプリント *1

パソコンから本機に送ったセキュア文書を印刷します。▶セキュア文書を本機から取り出す (P. 102)

保存ジョブリスト *1

本機の SD カードに保存されている文書のリストをプリントします。▶保存ジョブリスト (P. 581)

保存ジョブプリント *1

本機の SD カードに保存されている文書を印刷します。▶本機に保存した文書を印刷する (P. 107)

ジョブ印刷履歴リスト *2

パソコンから印刷した文書の履歴リストをプリントします。▶ジョブ印刷履歴リスト (P. 581)

保存ジョブ印刷履歴リスト *1 *2

本機の SD カードに保存されている文書の印刷履歴リストをプリントします。▶[保存ジョブ印刷履歴リスト\(P. 582\)](#)

レポート印刷履歴リスト *2

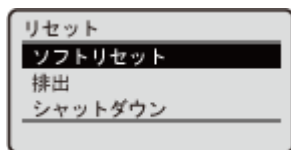
設定リストやレポートの印刷履歴リストをプリントします。▶[レポート印刷履歴リスト\(P. 582\)](#)

E メール印刷履歴リスト *2

E メールを受信して印刷した履歴リストをプリントします。▶[E メール印刷履歴リスト\(P. 583\)](#)

リセットメニュー

55S7-05H



全処理を中止してメモリー内のデータを消去する、電源を切る、などの操作ができます。操作パネルで ▼ (リセット) を押すと、リセットメニューが表示されます。

- ▶ ソフトリセット(P. 510)
- ▶ 排出(P. 511)
- ▶ シャットダウン(P. 512)



- < Ennnn-nnnn > (n は数字) のメッセージが表示されているときは、<シャットダウン>のみ実行できます。

ソフトリセット

印刷完了前のデータをすべて消去します (ソフトリセット)。また、変更した設定を有効にするときの再起動 (ハードリセット) も、この項目から行います。



- ソフトリセットやハードリセットを行うと印刷完了前のデータがすべて消去されるので、ほかのユーザーが本機を使っていないことを確認してから実行してください。

■ ソフトリセットする

印刷中、印刷待ち、および受信中の印刷データをすべて消去したいときに実行します。




■ ハードリセットする

変更した本機の設定を有効にしたいときや、本機のメモリー上に登録されているデータをすべて消去したいときに行います。

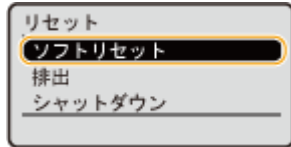
1 ▼ (リセット) を押す



MEMO

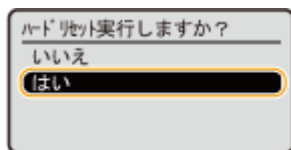
- 設定メニューが表示されているときは、（オンライン）を押し、基本画面に戻ってから操作してください。

2 ▲ / ▼ で<ソフトリセット>を選んでいる状態で、 を 5 秒以上押し続けてから、指を離す



⇒ 指を離すと、<ハードリセット実行しますか？>が表示されます。

3 <はい>を選び、 を押す



⇒ ハードリセットを実行すると、本機が再起動されます。



MEMO

- ソフトリセットやハードリセットを実行すると、オプションの SD カードに保存してあるセキュア文書も削除されます。

排出

パソコン側で印刷を中止した場合や、受信中に通信が途切れた場合には、本機のメモリーにデータが残って印刷が終了しないことがあります。そのままでは次の印刷ができないため、「排出」を行ってメモリーに残っているデータを強制的に印刷します。




MEMO

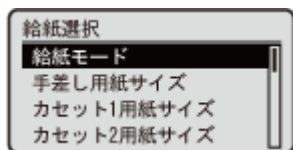
- 排出できないときはソフトリセットを行ってください。
- 排出を行っても本機のメモリーにデータが残っている（本機の [ジョブ] ランプが点灯している）ときは、ソフトリセットを行ってください。


シャットダウン

電源を切るときは、電源スイッチからではなく、「シャットダウン」を行います。▶ [電源を切る \(シャットダウンする\)](#)
(P. 37)

給紙選択メニュー

55S7-05J



給紙モードや本機にセットした用紙サイズなどに関する設定項目を一覧で説明します。操作パネルで  (給紙選択) を押すと、給紙選択メニューが表示されます。太字はお買い上げ時の設定です。



共通の設定項目について

- 設定項目は **● セットアップメニュー(P. 333)** の<給紙>と同じです。ここで設定した内容は<給紙>にも反映されます。

項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- オプションや他の設定項目によっては表示されません。




- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| ● 給紙モード(P. 513) | ● 自動用紙種類検知(P. 517) |
| ● 手差し用紙サイズ(P. 514) | ● デフォルト用紙種類(P. 519) |
| ● カセット 1~5 用紙サイズ(P. 514) | ● 手差し用紙種類(P. 519) |
| ● デフォルト用紙サイズ(P. 515) | ● カセット 1~5 用紙種類(P. 520) |
| ● 手差し優先(P. 516) | ● 手動両面印刷 (手差し) (P. 520) |
| ● 用紙不一致時手差し(P. 516) | ● 両面印刷(P. 521) |
| ● 用紙カセット自動選択(P. 517) | |

給紙モード

どの給紙部から給紙するかを設定します。印刷する用紙サイズや用紙種類に合わせて給紙部を自動的に切り替えたいときは、<自動>に設定してください。

自動
手差し
カセット 1
カセット 2*
カセット 3*
カセット 4*
カセット 5*



 (給紙選択) ▶ <給紙モード> ▶  ▶ 給紙部を選択 ▶ 

手差し用紙サイズ

手差しトレイにセットした用紙のサイズを設定します。 **▶手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する(P. 66)**

- A6
- A5
- A5R
- B5
- B5R
- A4
- A4R
- B4
- A3
- LTR
- LTRR
- LGL
- 11x17
- EXEC
- EXECR
- 305x457 mm
- フリーサイズ
- ユーザー設定サイズ
- ユーザー設定サイズ R
- はがき
- 往復はがき
- 4面はがき
- 封筒 角形 2号
- 封筒 長形 3号
- 封筒 洋形長 3号
- 封筒 ISO-C5
- 封筒 Monarch
- 封筒 No.10
- 封筒 DL
- India-LGL
- インデックスカード
- STMT
- STMTR
- FLSC
- 8K
- 16K
- 16KR

カセット 1~5 用紙サイズ *

本体の給紙カセットまたはオプションのペーパーフィーダーや2段カセットペディスタルにセットした用紙のサイズを設定します。 **▶給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する(P. 63)**

本体の給紙カセット

- A5R

- B5R
- EXECR
- フリーサイズ
- 自動**
- ユーザー設定サイズ
- ユーザー設定サイズ R
- India-LGL
- FLSC
- 8K
- 16K
- 16KR

ペーパーフィーダー／2 段カセットペディスタルの給紙カセット

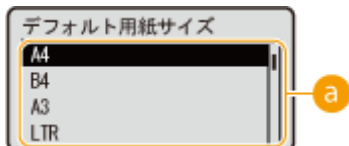
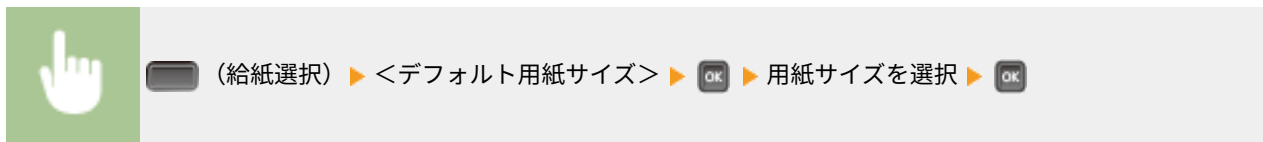
- A5R
- B5R
- EXECR
- フリーサイズ
- 自動**
- ユーザー設定サイズ
- ユーザー設定サイズ R
- India-LGL
- FLSC
- 8K
- 16K
- 16KR

デフォルト用紙サイズ

デフォルトの用紙サイズを設定します。プリンタードライバーが使えない OS やモバイル機器など、用紙のサイズを設定できない機器から印刷するときに、ここで設定した用紙サイズで印刷されます。

- A6
- A5
- B5
- A4**
- B4
- A3
- LTR
- LGL
- 11x17
- EXEC
- 305x457 mm
- はがき
- 往復はがき
- 4 面はがき
- 封筒 角形 2 号
- 封筒 長形 3 号
- 封筒 洋形長 3 号
- 封筒 ISO-C5
- 封筒 Monarch
- 封筒 No.10

封筒 DL
 India-LGL
 インデックスカード
 STMT
 FLSC
 8K
 16K



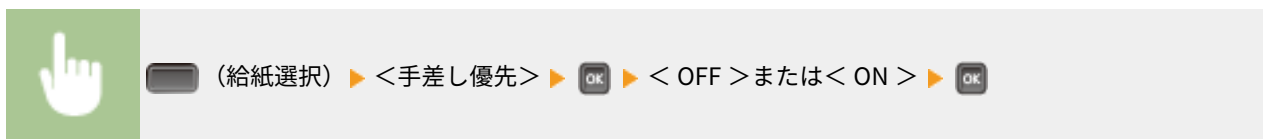
a 用紙サイズを選択

印刷に使用する用紙のサイズに応じて設定します。

手差し優先

<給紙モード>が<自動>に設定されているときに、手差しトレイからの給紙を優先するかどうかを設定します。< ON >に設定すると、手差しトレイと給紙カセットの両方に同じサイズの用紙がセットされている場合は、手差しトレイから給紙されます。

OFF
 ON



- <用紙不一致時手差し>を< ON >に設定しているときは、<手差し優先>を< ON >に設定しても給紙カセットが優先されます。

用紙不一致時手差し

<給紙モード>が<自動>に設定されているときに、この設定を< ON >にしておくと、文書サイズにあった用紙がカセットにセットされていない場合には、自動的に手差しトレイが選択されます。

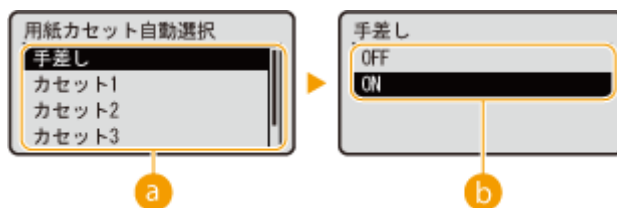
OFF
 ON



用紙カセット自動選択

<給紙モード>が<自動>に設定されているときに、この設定を< ON >にしておくと、文書サイズにあった用紙がセットされている給紙部を本機が自動的に選択します。また、用紙がなくなったときに、他の給紙部に同じ用紙がセットされていれば、自動的にそちらに切り替えて印刷されます。

OFF
ON



a 給紙部の選択

設定したい給紙部を選びます。

b 設定の切替

a で選んだ給紙部を自動選択の対象にするには、< ON >に設定します。

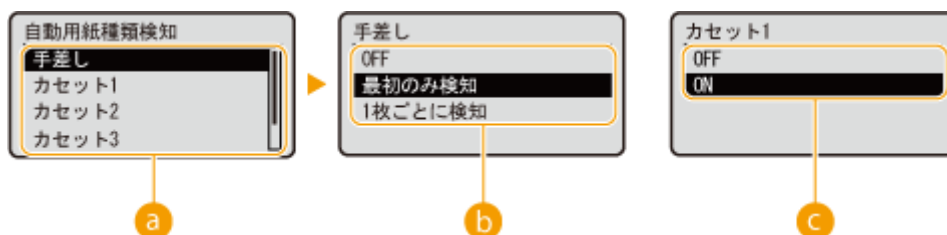
自動用紙種類検知

普通紙や厚紙をセットしたときに、自動的に用紙種類を判別するかどうかを設定します。この機能を使用するときは、給紙部の用紙種類を<フリー>に設定してください。また、プリンタードライバーの【用紙種類】は【パネル優先】に設定してください。

- 用紙について(P. 615)
- 手差し用紙種類(P. 519)
- カセット 1～5 用紙種類(P. 520)
- 印刷の基本操作(P. 79)

•手差し
OFF
最初のみ検知
1 枚ごとに検知

- カセット 1
OFF
ON
- カセット 2*
OFF
ON
- カセット 3*
OFF
ON
- カセット 4*
OFF
ON
- カセット 5*
OFF
ON



a 給紙部の選択

設定したい給紙部を選びます。

b 設定の切替（手差しトレイ）

<最初のみ検知>に設定すると、給紙された1枚目で用紙種類が判別されます。<1枚ごとに検知>に設定すると、給紙されるたびに用紙種類が判別されます。

c 設定の切替（カセット 1~5*）

<ON>に設定すると、給紙された1枚目で用紙種類が判別されます。



- 本機能を有効にすると印刷速度が遅くなることがあります。また、<1枚ごとに検知>に設定すると、印刷速度が遅くなります。

- 本機能を有効にすると正しく印刷できない場合があります。正しく印刷できない場合は、本機能を＜OFF＞に設定し、プリンタードライバーから用紙種類を設定して印刷してください。

デフォルト用紙種類

デフォルトの用紙種類を設定します。プリンタードライバーが使えないOSやモバイル機器など、用紙の種類を設定できない機器から印刷するときに、ここで設定した用紙種類で印刷されます。

普通紙
普通紙 L
 普通紙 L2
 厚紙 1
 厚紙 2
 厚紙 3
 厚紙 4
 厚紙 5
 はがき
 封筒
 コート紙 1
 コート紙 2
 コート紙 3
 ラベル用紙
 ラフ紙 1
 ラフ紙 2



a 用紙種類の選択

印刷に使用する用紙の種類に応じて、プリンタードライバーの用紙設定と同じように設定します。▶**用紙をセットする(P. 41)**



- プリンタードライバー側で [用紙種類] が [パネル優先] に設定されている場合、本機側で給紙部の用紙種類が＜フリー＞に設定されていると、この項目で設定した用紙種類で印刷されます。

手差し用紙種類

手差しトレイにセットした用紙の種類を設定します。▶**手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する(P. 66)**

普通紙

普通紙 L
 普通紙 L2
 厚紙 1
 厚紙 2
 厚紙 3
 厚紙 4
 厚紙 5
 はがき
 封筒
 コート紙 1
 コート紙 2
 コート紙 3
 ラベル用紙
 ラフ紙 1
 ラフ紙 2
 フリー

カセット 1~5 用紙種類*

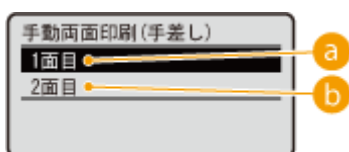
給紙カセットにセットした用紙の種類を設定します。▶ [給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する\(P. 63\)](#)

普通紙
 普通紙 L
 普通紙 L2
 厚紙 1
 厚紙 2
 厚紙 3
 厚紙 4
 ラベル用紙
 ラフ紙 1
 ラフ紙 2
 フリー

手動両面印刷（手差し）

手差しトレイから手動で両面印刷する場合に、プリントする面を指定します。

1 面目
 2 面目



a < 1 面目 >

オモテ面（最初に印刷する面）に印刷するときに指定します。

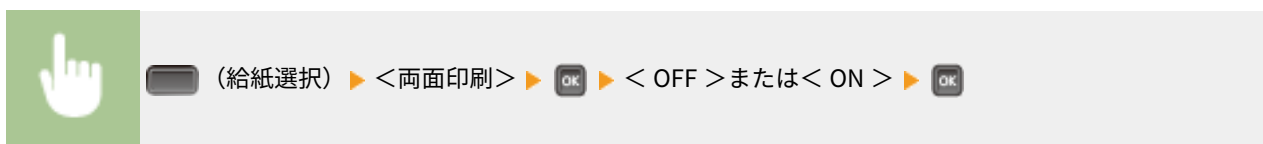
b < 2 面目 >

ウラ面（一度印刷した用紙のウラ面）に印刷するときに指定します。

両面印刷

用紙の両面に印刷するかどうかを設定します。

OFF
ON



困ったときは (Q&A)

困ったときは (Q&A) 523

困ったときは (Q&A)

55S7-05K

トラブルが発生した場合は、お問い合わせいただく前に、まず本章で対処方法を確認してください。

メンテナンス

メンテナンス	525
日常のお手入れ	527
本体	528
定着器	529
用紙搬送部	530
トナーカートリッジの交換	535
トナーカートリッジを交換する	541
ドラムカートリッジの交換	544
ドラムカートリッジを交換する	549
回収トナー容器の交換	552
回収トナー容器を交換する	554
定着器の交換	556
ITB ユニットの交換	558
本機を移動する	560
印刷品質を調整する	563
印刷濃度を調整する	564
色ずれや色味を補正する	566
印字位置を調整する	568
レポートとリストをプリントする	573
印刷ページ数を確認する	584
消耗品を確認する	587
設定を初期化する	590
メニューを初期化する	591
ネットワーク設定を初期化する	592
無償保証や保守サービスについて	593
無償保証について	594
キヤノンサービスパック (CSP)	595
キヤノン・ケア・ギャランティ (CCG)	597
NETEYE について	598
本機を準備する	599

メンテナンス

55S7-063

本体のお手入れや各種設定の初期化など、本機の保守・管理について説明しています。また、キヤノンの保守サービス、無償保証についてもご紹介しています。

■ 基本的手入れ ▶ 日常のお手入れ(P. 527)



- 本体が汚れた ▶ **本体(P. 528)**
- 印刷された用紙に黒点状の汚れが付着した ▶ **定着器(P. 529)**

■ トナーカートリッジを交換する



- トナーカートリッジの状態を確認したい ▶ **トナーカートリッジの交換(P. 535)**
- 交換のしかた ▶ **トナーカートリッジを交換する(P. 541)**

■ ドラムカートリッジを交換する

- ドラムカートリッジの状態を確認したい ▶ **ドラムカートリッジの交換(P. 544)**
- 交換のしかた ▶ **ドラムカートリッジを交換する(P. 549)**

■ 回収トナー容器を交換する

- 交換メッセージが表示された ▶ **回収トナー容器の交換(P. 552)**
- 交換のしかた ▶ **回収トナー容器を交換する(P. 554)**

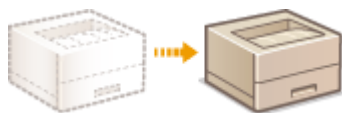
■ 定着器を交換する

- 交換メッセージが表示された ▶ **定着器の交換(P. 556)**
- 交換のしかた ▶ **定着器の交換方法(P. 637)**

■ ITB ユニットの交換する

- 交換メッセージが表示された ▶ **ITB ユニットの交換(P. 558)**
- 交換のしかた ▶ **ITB ユニットの交換方法(P. 638)**

■本機を移動する



- お手入れや事務所の移設などで本機を移動する **▶本機を移動する(P. 560)**

■印刷品質を調整する **▶印刷品質を調整する(P. 563)**

- 印刷時のトナー濃度を調整したい **▶印刷濃度を調整する(P. 564)**
- 色がずれたり色味が異なるので補正したい **▶色ずれや色味を補正する(P. 566)**
- 印字位置がずれて印刷されるので調整したい **▶印字位置を調整する(P. 568)**

■レポートやリストをプリントする



- 各種設定値のリストなどをプリントする **▶レポートとリストをプリントする(P. 573)**

■印刷の総ページ数を確認する

- これまでに行った印刷の総ページ数を確認したい **▶印刷ページ数を確認する(P. 584)**

■設定を初期化する

- 設定メニューなどを、お買い上げ時の設定に戻したい **▶設定を初期化する(P. 590)**

■その他

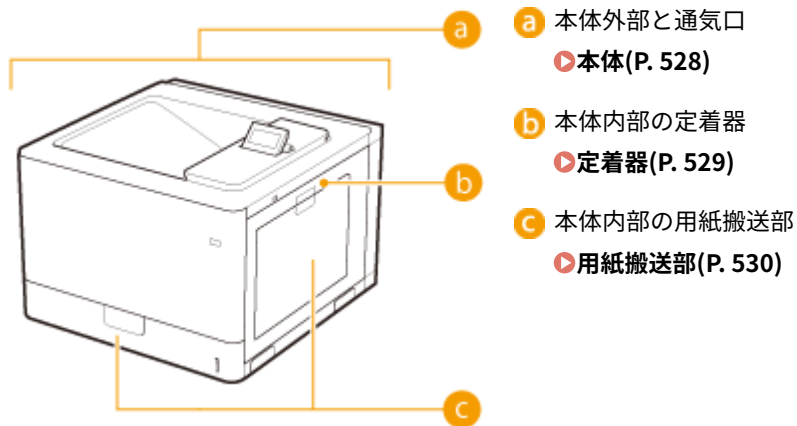
- **▶無償保証や保守サービスについて(P. 593)**
- **▶NETEYE について(P. 598)**

日常のお手入れ

55S7-064

印刷品質の低下を防ぎ、快適で安全にお使いいただくために、本機を定期的に清掃してください。なお、お手入れの前に、安全に関する注意事項を確認してください。▶**保守／点検について(P. 10)**

お手入れする場所



本体

55S7-065

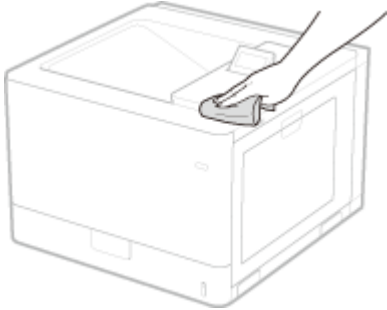
本体の表面を定期的に拭いて、きれいな状態を保ってください。また、通気口のホコリはこまめに拭き取ってください。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 電源を切るときは電源スイッチは使わずに、操作パネルからシャットダウンの操作で切ります。●電源を切る（シャットダウンする）(P. 37)

2 本体表面と通気口を拭く

- 水または薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞って拭きます。
- 通気口の場所は ●本体背面(P. 22) を参照してください。



3 水分が完全に乾くまで待つ

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

定着器

55S7-066

定着器が汚れていると、印刷された用紙に黒点状の汚れが現れることがあります。このような場合、以下の手順で定着器をクリーニングしてください。待機中の印刷データがある場合、クリーニングはできませんのでご注意ください。なお、クリーニングにはA4またはレターサイズ用の紙が必要です。あらかじめ手差しトレイにセットしておいてください。



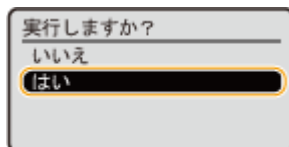
- クリーニングはトナーカートリッジを消耗します。あらかじめ、残量があることを確認してください。▶トナーカートリッジの状態を確認する(P. 539)

1 ◀ (ユーティリティ) を押す

2 ▲ / ▼ で<クリーニング>を選び、**OK** を押す

3 セットした用紙サイズを選び、**OK** を押す

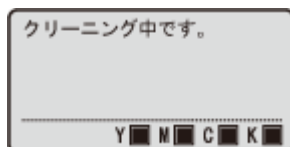
4 <はい>を選び、**OK** を押す



⇒ ディスプレーに<クリーニング用紙をセットしてオンラインキーを押してください。>と表示されます。

5 (オンライン) を押す

⇒ 用紙がゆっくりと送られて、定着器のクリーニングが開始されます。



- クリーニングは途中で中止することはできません。完了するまでお待ちください。

用紙搬送部

55S7-067

ラベル用紙を頻繁に使用している場合は、ラベル用紙ののりが用紙搬送部に付着し、紙づまりの原因になることがあります。ラベル用紙を使用したあとは、以下の手順で用紙搬送部からのりを拭き取ってください。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 電源を切るときは電源スイッチは使わずに、操作パネルからシャットダウンの操作で切ります。▶電源を切る（シャットダウンする）(P. 37)

2 用紙搬送部に付いたのりを拭き取る

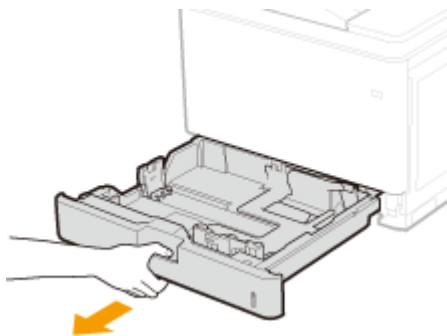
- 水または薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞って拭き取ります。

■給紙カセットの場合



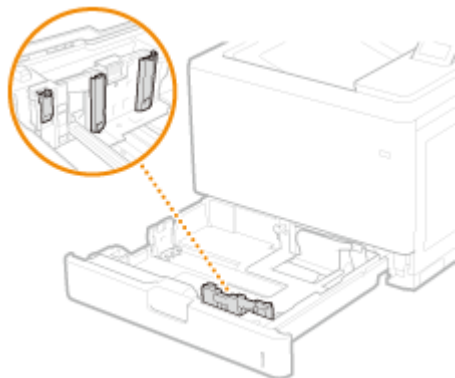
- オプションのペーパーフィーダーや2段カセットペディスタルについても、以下の手順で拭き取ってください。

1 給紙カセットを止まるまで引き出す



2 用紙ガイドに付いたのりを拭き取る

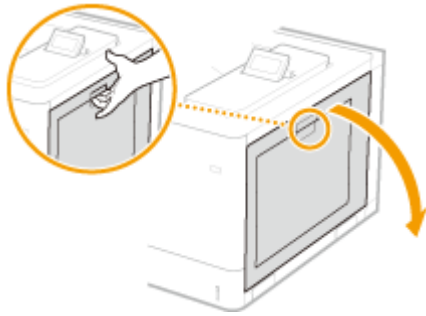
- 用紙がセットされている場合は、用紙を取り除いてから拭き取ってください。



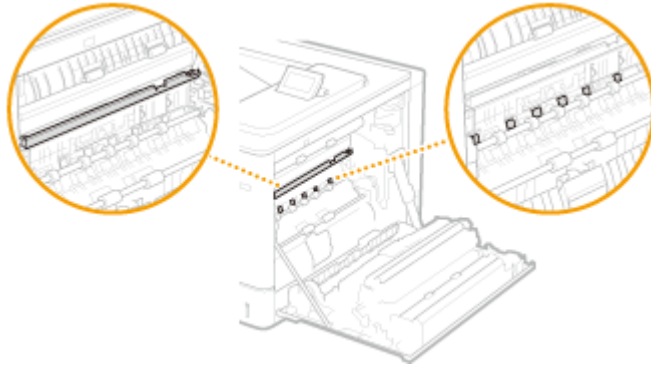
3 給紙カセットをセットする

- 用紙がセットされていた場合は、用紙をセットしてください。▶給紙カセットにセットする(P. 43)

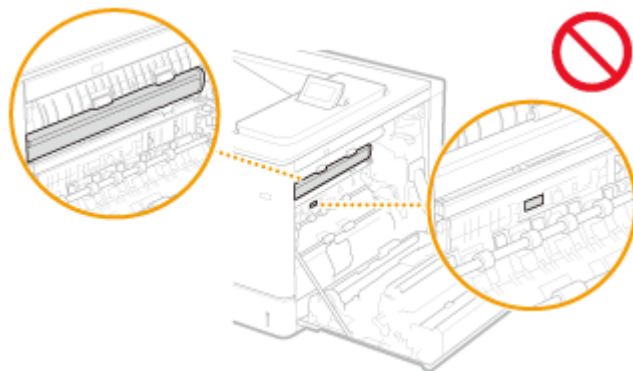
4 右カバーを開ける



5 本体内部に付いたのりを拭き取る



- 本体内部に付いたのりを拭き取る際は、ITB ユニットや自動用紙種類検知センサー部分には触れないように注意してください。



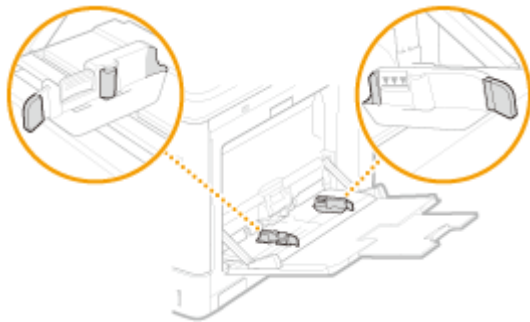
6 右カバーを閉める

■手差しトレイの場合

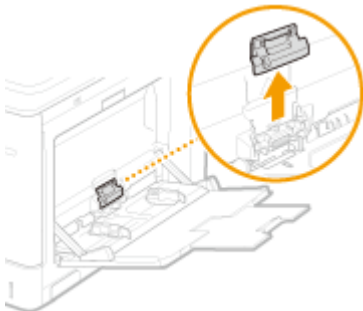
1 カバーを開ける



2 用紙ガイドに付いたのりを拭き取る



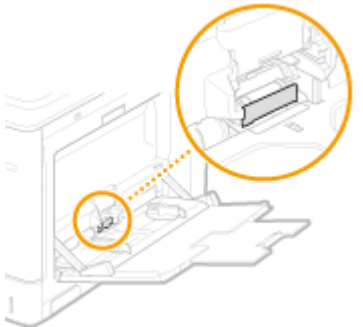
3 給紙ローラーのカバーを外す



4 上部の給紙ローラーを引き抜く



5 給紙ローラーに付いたのりを拭き取る

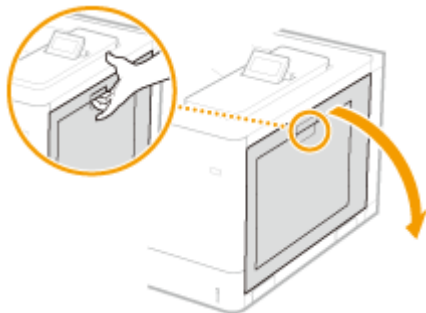


6 取り外した給紙ローラーをセットする

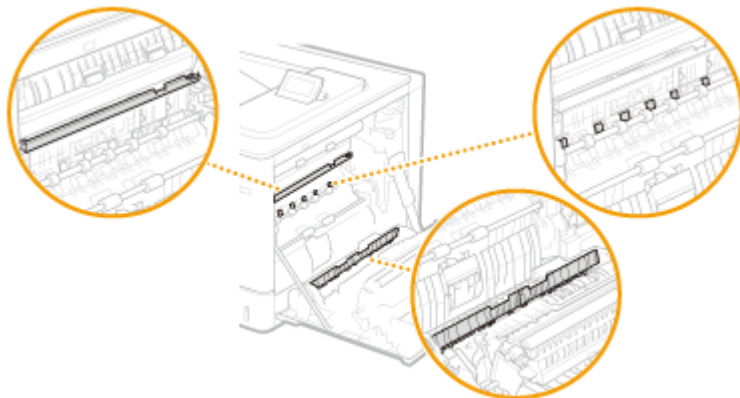
7 給紙ローラーのカバーをセットする

8 カバーを閉める

9 右カバーを開ける

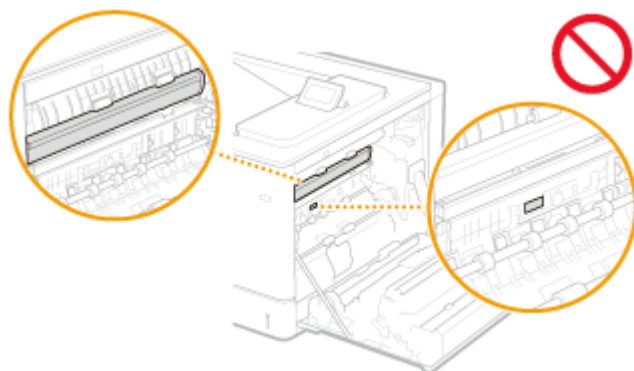


10 本体内部に付いたのりを拭き取る



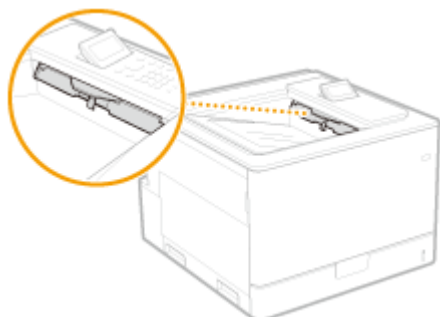
ご注意

- 本体内部に付いたのりを拭き取る際は、ITB ユニットや自動用紙種類検知センサー部分には触れないように注意してください。



11 右カバーを閉める

3 排紙トレイに付いたのりを拭き取る



4 水分が完全に乾くまで待つ

5 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

トナーカートリッジの交換

55S7-068

トナーカートリッジの交換時期が近づくとディスプレイにメッセージが表示されます。そのままご使用になりますと印刷品質が低下することがありますのでご注意ください。なお、トナーカートリッジの状態をディスプレイで確認することもできます。

- ▶メッセージが表示されたときは(P. 535)
- ▶印刷結果に以下のような症状が現れるときは(P. 539)
- ▶トナーカートリッジの状態を確認する(P. 539)

■メッセージが表示されたときは

メッセージに従って、新しいトナーカートリッジの用意や交換を行ってください。▶トナーカートリッジを交換する(P. 541) ▶消耗品(P. 633)



- 以下のメッセージの「X」には、CMYKの色が表示されます。

< X トナーカートリッジの寿命が近づいています。 >

表示された色のトナーカートリッジの交換時期が近づいています。新しいトナーカートリッジを用意してください。大量に印刷するときは、交換することをおすすめします。

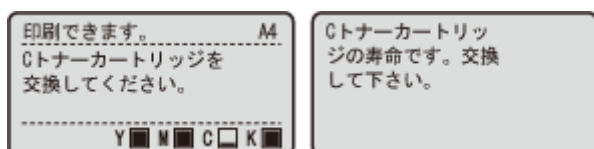


- <印刷できます>が表示されていないときは、印刷はいったん停止します。印刷を継続するときは (オンライン) を押してください。
- どちらのメッセージが表示されるかは、操作パネルの設定メニューにある<警告処理>の設定によります。▶警告処理(P. 342)
- トナーカートリッジが残り何%になったらこのメッセージを表示させるかを任意に設定することもできます。▶トナー交換予告時期指定(P. 421)

< X トナーカートリッジを交換してください。 >

< X トナーカートリッジの寿命です。交換して下さい。 >

表示された色のトナーカートリッジが寿命に達しました。交換することをおすすめします。





● **ご注意**

- このメッセージが表示されていても続けて印刷できますが、印刷品質が低下することがあります。
- Eメールやファクス文書の受信はできなくなります。▶**Eメールを受信して印刷する (Eメール印刷) (P. 129)**



MEMO

- <Xトナーカートリッジの寿命です。交換して下さい。>が表示されたときは、印刷はいったん停止します。印刷を継続するときは (オンライン) を押してください。
- どちらのメッセージが表示されるかは、操作パネルの設定メニューにある<トナーカートリッジ寿命時印刷>の設定によります。▶**トナーカートリッジ寿命時印刷(P. 422)**

<Xトナーカートリッジを交換してください。>

表示された色のトナーカートリッジが寿命に達しました。交換してください。

Cトナーカートリッジを交換してください。



● **ご注意**

- このメッセージが表示されているときは、続けて印刷することはできません。



MEMO

- このメッセージが表示されるかは、操作パネルの設定メニューにある<トナーカートリッジ寿命時印刷>の設定によります。▶**トナーカートリッジ寿命時印刷(P. 422)**

<印刷可能。ドラムカートリッジX故障の可能性あり。>

このメッセージは、トナーカートリッジが寿命に達した場合に表示されます。新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。▶**トナーカートリッジを交換する(P. 541)**

印刷できます。 A4
 印刷可能。ドラムカートリッジ1
 故障の可能性あり。
 Y M C K



● **ご注意**

- このメッセージは、トナーカートリッジの交換を推奨するメッセージです。ドラムカートリッジの交換を推奨するメッセージではありませんのでご注意ください。
- このメッセージが表示されていても続けて印刷できますが、印刷品質が低下することがあります。また、ドラムカートリッジの故障の原因になることがあります。

 MEMO

- メッセージに表示されたドラムカートリッジの番号に対応するトナーカートリッジの色は以下のとおりです。


ドラムカートリッジの番号	交換対象のトナーカートリッジの色
ドラムカートリッジ 1	Y (イエロー) のトナーカートリッジ
ドラムカートリッジ 2	M (マゼンタ) のトナーカートリッジ
ドラムカートリッジ 3	C (シアン) トナーカートリッジ
ドラムカートリッジ 4	K (ブラック) のトナーカートリッジ

<印刷可能ですが、ドラムカートリッジ X が故障する可能性があります>

このメッセージは、トナーカートリッジが寿命に達した場合に表示されます。新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。▶トナーカートリッジを交換する(P. 541)

印刷可能ですが、ドラムカートリッジ 1 が故障する可能性があります

 **ご注意**

- このメッセージは、トナーカートリッジの交換を推奨するメッセージです。ドラムカートリッジの交換を推奨するメッセージではありませんのでご注意ください。
-  (オンライン) を押すと印刷を継続できますが、印刷品質が低下することがあります。また、ドラムカートリッジの故障の原因になることがあります。

 MEMO

- メッセージに表示されたドラムカートリッジの番号に対応するトナーカートリッジの色は以下のとおりです。

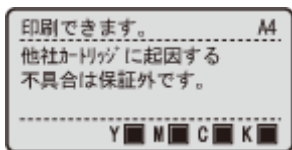
ドラムカートリッジの番号	交換対象のトナーカートリッジの色
ドラムカートリッジ 1	Y (イエロー) のトナーカートリッジ
ドラムカートリッジ 2	M (マゼンタ) のトナーカートリッジ
ドラムカートリッジ 3	C (シアン) トナーカートリッジ

ドラムカートリッジ 4

K (ブラック) のトナーカートリッジ

<他社カートリッジに起因する不具合は保証外です。>

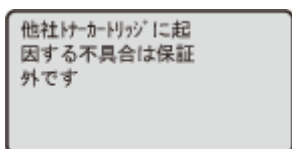
印刷品質を保証できないトナーカートリッジがセットされている可能性があります。交換することをおすすめします。



- このメッセージが表示されていても続けて印刷できますが、印刷品質が低下することがあります。また、本機の故障の原因となることがあります。

<他社トナーカートリッジに起因する不具合は保証外です>

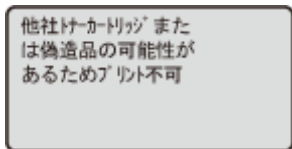
印刷品質を保証できないトナーカートリッジがセットされている可能性があります。交換することをおすすめします。



- (オンライン) を押すと印刷を継続できますが、印刷品質が低下することがあります。また、本機の故障の原因となることがあります。

<他社トナーカートリッジまたは偽造品の可能性があるためプリント不可>

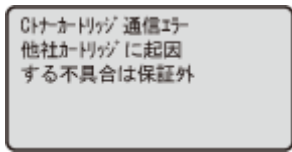
印刷品質を保証できないトナーカートリッジがセットされている可能性があります。交換することをおすすめします。



- このメッセージが表示されているときは、続けて印刷することはできません。▶ **Canon Genuine Mode(P. 350)**

< X トナーカートリッジ通信エラー他社カートリッジに起因する不具合は保証外 >

印刷品質を保証できないトナーカートリッジがセットされている可能性があります。交換することをおすすめします。



■ 印刷結果に以下のような症状が現れるときは

トナーカートリッジが寿命に近づいています。メッセージは表示されていなくても、トナーカートリッジを交換する目安としてください。▶ トナーカートリッジを交換する(P. 541)

すじ（線）が入る／印字ムラが出る



かすれる



ムラが出る



印刷しない部分に残像が現れる



部分的に白く抜ける



印字が全体的に薄く色づく



■ トナーカートリッジの状態を確認する

トナーカートリッジの状態は基本画面で確認できます。特に、大量に印刷する前には、新しいトナーカートリッジを用意しておく必要がないか確認してください。



a カートリッジ状態表示

トナーカートリッジの状態を表示します。お使いの環境によっては、トナーがなくなる前に他の内部の部品が寿命に達する場合があります。



- 表示されるトナーカートリッジの状態は目安であり、実際と異なる場合があります。

- トナーカートリッジの状態は<消耗品情報>の<トナーカートリッジ残量>でも確認できます。▶**消耗品情報(P. 506)**



関連項目

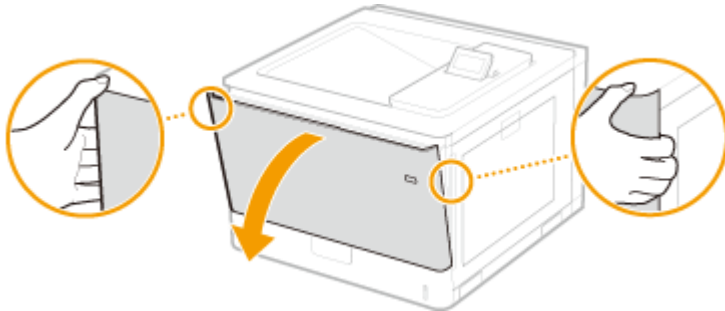
- ▶**消耗品(P. 633)**

トナーカートリッジを交換する

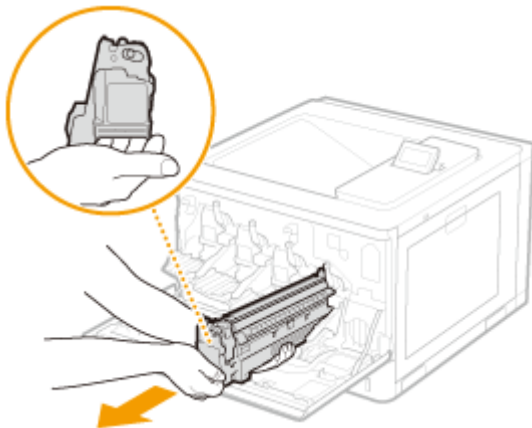
55S7-069

交換を始める前に、トナーカートリッジの取り扱いに関する注意事項をご確認ください。▶**保守／点検について(P. 10)** ▶**消耗品について(P. 11)**

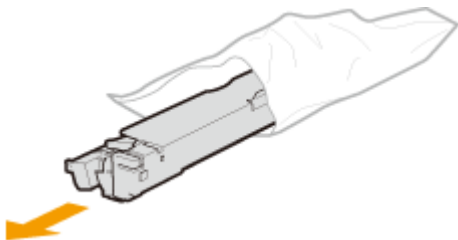
1 前カバーを最後まで開ける



2 トナーカートリッジを引き出す

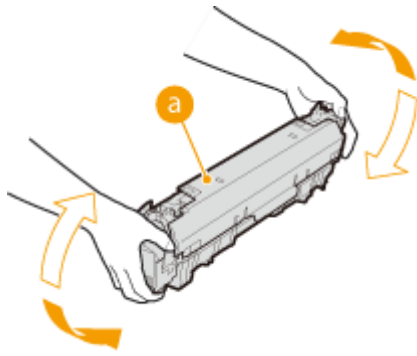


3 新しいトナーカートリッジを梱包材から取り出す

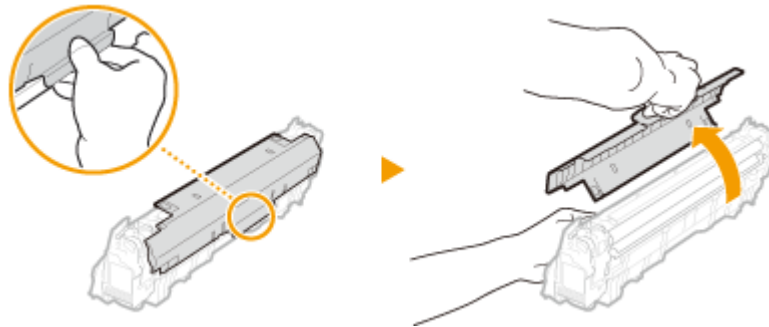


4 トナーカートリッジを 5~6 回振って内部のトナーを均一にならし、平らな場所に置く

- 保護部材 (a) はまだ取り外さないでください。

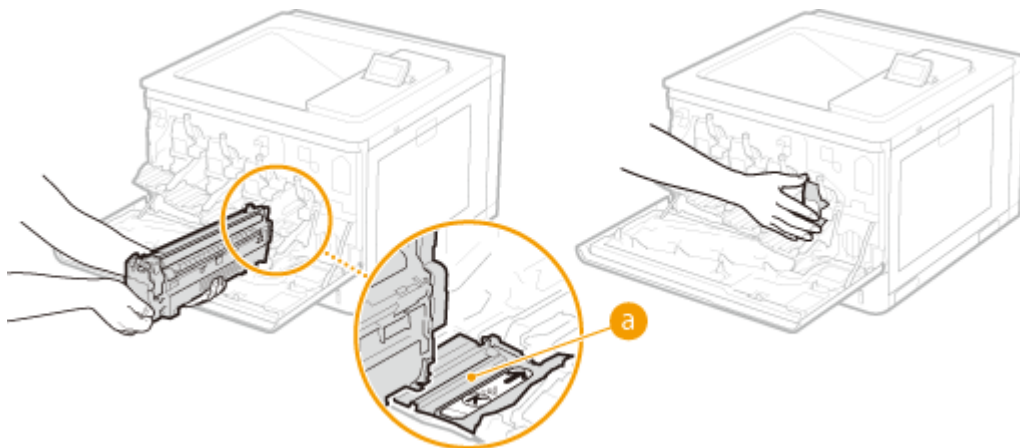


5 保護部材を取り外す

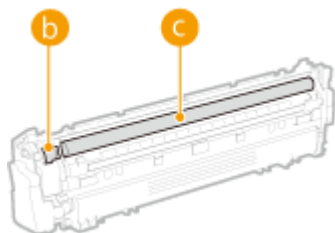


6 トナーカートリッジを取り付ける

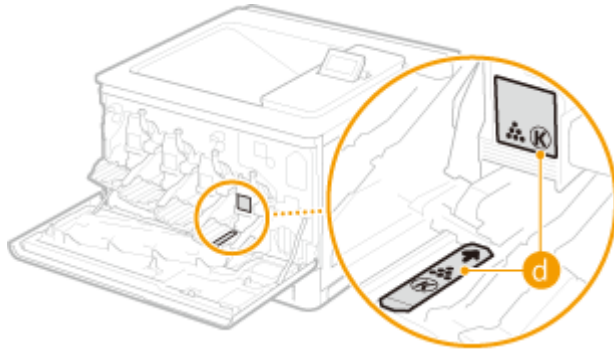
- トナーカートリッジガイド (a) に合わせて水平に置き、奥に当たるまで確実に押し込みます。



- ギア (b) やローラー部分 (c) を触ったり、スロットの枠などにぶつけないように注意してください。



- トナーカートリッジと同じ色のラベル (d) が貼ってあるスロットに取り付けてください。



7 前カバーを閉める

ドラムカートリッジの交換

55S7-06A

ドラムカートリッジの寿命が近づくとディスプレイにメッセージが表示されます。そのままご使用になりますと印刷品質が低下することがありますのでご注意ください。なお、ドラムカートリッジの状態をディスプレイで確認することもできます。



- 使用中および使用済みのドラムカートリッジは、ほかの色のドラムカートリッジとして再利用しないでください。印刷品質が低下することがあります。

- ▶メッセージが表示されたときは(P. 544)
- ▶印刷結果に以下のような症状が現れるときは(P. 548)
- ▶ドラムカートリッジの状態を確認する(P. 548)

■メッセージが表示されたときは

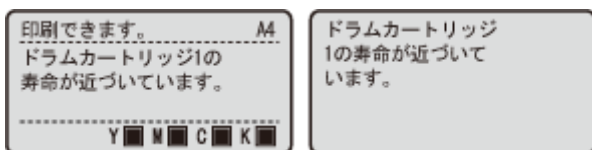
メッセージに従って、新しいドラムカートリッジの用意や交換を行ってください。▶**ドラムカートリッジを交換する**(P. 549) ▶**消耗品**(P. 633)



- 以下のメッセージの「N」には、1～4の数字が表示されます。

<ドラムカートリッジ N の寿命が近づいています。>

表示されたスロットのドラムカートリッジの交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジを用意してください。大量に印刷するときは、交換することをおすすめします。

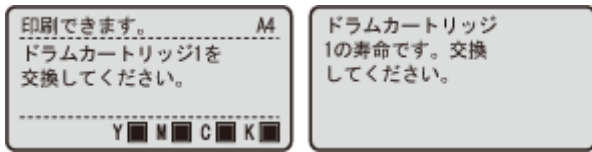


- <印刷できます>が表示されていないときは、印刷はいったん停止します。印刷を継続するときは (オンライン) を押してください。
- どちらのメッセージが表示されるかは、操作パネルの設定メニューにある<警告処理>の設定によります。▶**警告処理**(P. 342)
- ドラムカートリッジが残り何%になったらこのメッセージを表示させるかを任意に設定することもできます。▶**ドラム交換予告時期指定**(P. 422)

<ドラムカートリッジ N を交換してください。>

<ドラムカートリッジ N の寿命です。交換してください。>

表示されたスロットのドラムカートリッジが寿命に達しました。交換することをおすすめします。




ご注意

- このメッセージが表示されていても続けて印刷できますが、印刷品質が低下することがあります。
- Eメールやファクス文書の受信はできなくなります。▶Eメールを受信して印刷する (Eメール印刷) (P. 129)

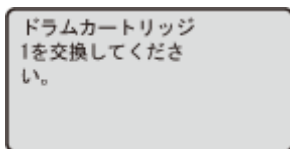


MEMO

- <ドラムカートリッジ N の寿命です。交換してください。>が表示されたときは、印刷はいったん停止します。印刷を継続するときは  (オンライン) を押してください。

<ドラムカートリッジ N を交換してください。>

表示されたスロットのドラムカートリッジが寿命に達しました。交換してください。

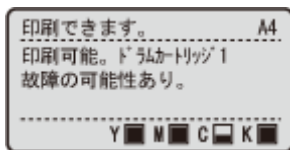


ご注意

- このメッセージが表示されているときは、続けて印刷することはできません。

<印刷可能。ドラムカートリッジ X 故障の可能性あり。>

このメッセージは、トナーカートリッジが寿命に達した場合に表示されます。新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。▶トナーカートリッジを交換する(P. 541)



ご注意

- このメッセージは、トナーカートリッジの交換を推奨するメッセージです。ドラムカートリッジの交換を推奨するメッセージではありませんのでご注意ください。
- このメッセージが表示されていても続けて印刷できますが、印刷品質が低下することがあります。また、ドラムカートリッジの故障の原因になることがあります。

 MEMO

- メッセージに表示されたドラムカートリッジの番号に対応するトナーカートリッジの色は以下のとおりです。


ドラムカートリッジの番号	交換対象のトナーカートリッジの色
ドラムカートリッジ 1	Y (イエロー) のトナーカートリッジ
ドラムカートリッジ 2	M (マゼンタ) のトナーカートリッジ
ドラムカートリッジ 3	C (シアン) トナーカートリッジ
ドラムカートリッジ 4	K (ブラック) のトナーカートリッジ

<印刷可能ですが、ドラムカートリッジ X が故障する可能性があります>

このメッセージは、トナーカートリッジが寿命に達した場合に表示されます。新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。▶トナーカートリッジを交換する(P. 541)

印刷可能ですが、ドラムカートリッジ 1 が故障する可能性があります

 **ご注意**

- このメッセージは、トナーカートリッジの交換を推奨するメッセージです。ドラムカートリッジの交換を推奨するメッセージではありませんのでご注意ください。
-  (オンライン) を押すと印刷を継続できますが、印刷品質が低下することがあります。また、ドラムカートリッジの故障の原因になることがあります。

 MEMO

- メッセージに表示されたドラムカートリッジの番号に対応するトナーカートリッジの色は以下のとおりです。

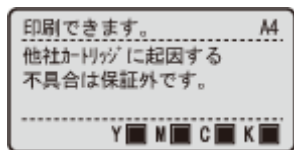
ドラムカートリッジの番号	交換対象のトナーカートリッジの色
ドラムカートリッジ 1	Y (イエロー) のトナーカートリッジ
ドラムカートリッジ 2	M (マゼンタ) のトナーカートリッジ
ドラムカートリッジ 3	C (シアン) トナーカートリッジ

ドラムカートリッジ 4

K (ブラック) のトナーカートリッジ

<他社カートリッジに起因する不具合は保証外です。>

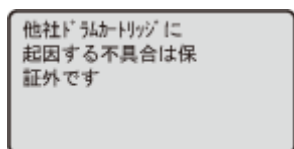
印刷品質を保証できないドラムカートリッジがセットされている可能性があります。交換することをおすすめします。



- このメッセージが表示されていても続けて印刷できますが、印刷品質が低下することがあります。また、本機の故障の原因となることがあります。

<他社ドラムカートリッジに起因する不具合は保証外です>

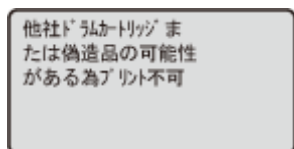
印刷品質を保証できないドラムカートリッジがセットされている可能性があります。交換することをおすすめします。



- (オンライン) を押すと印刷を継続できますが、印刷品質が低下することがあります。また、本機の故障の原因となることがあります。

<他社ドラムカートリッジまたは偽造品の可能性がある為プリント不可>

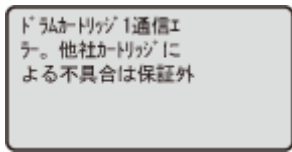
印刷品質を保証できないドラムカートリッジがセットされている可能性があります。交換することをおすすめします。



- このメッセージが表示されているときは、続けて印刷することはできません。▶ **Canon Genuine Mode(P. 350)**

<ドラムカートリッジ N 通信エラー。他社カートリッジによる不具合は保証外>

印刷品質を保証できないドラムカートリッジがセットされている可能性があります。交換することをおすすめします。



■印刷結果に以下のような症状が現れるときは

ドラムカートリッジが寿命に近づいています。メッセージは表示されていなくても、ドラムカートリッジを交換する目安としてください。▶**ドラムカートリッジを交換する(P. 549)**

すじ（線）が入る／印字ムラが出る



かすれる



ムラが出る



印刷しない部分に残像が現れる



部分的に白く抜ける



■ドラムカートリッジの状態を確認する

ドラムカートリッジの状態は<消耗品情報>の<ドラムカートリッジ残量>で確認できます。特に、大量に印刷する前には、新しいドラムカートリッジを用意しておく必要がないか確認してください。▶**消耗品情報(P. 506)**



関連項目

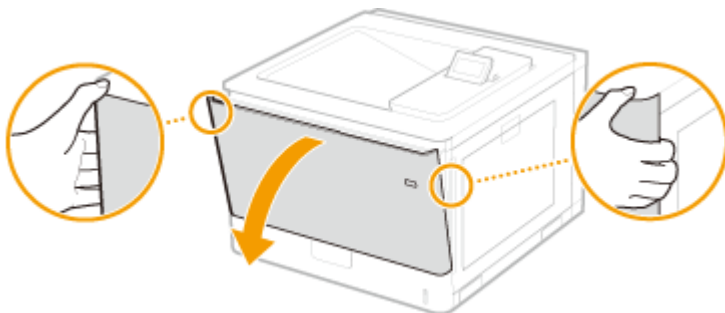
▶**消耗品(P. 633)**

ドラムカートリッジを交換する

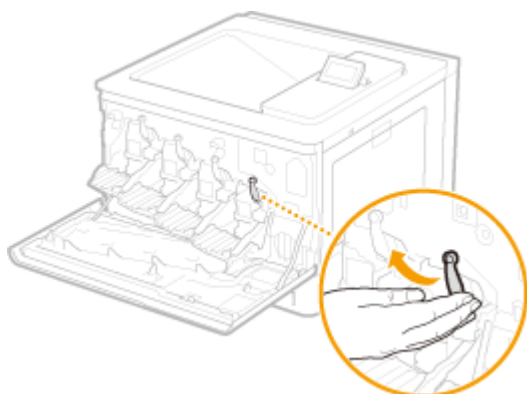
55S7-06C

交換を始める前に、ドラムカートリッジの取り扱いに関する注意事項をご確認ください。▶**保守／点検について(P. 10)** ▶**消耗品について(P. 11)**

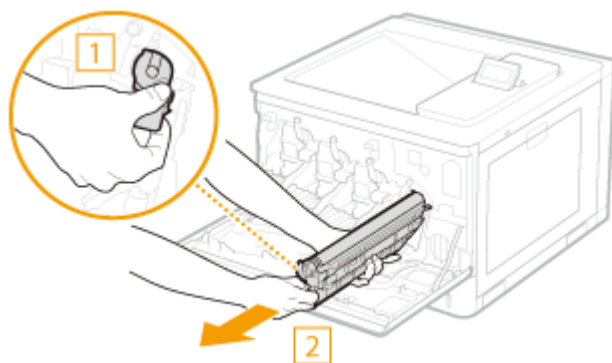
1 前カバーを最後まで開ける



2 ドラムレバーを解除する



3 ドラムカートリッジを引き出す

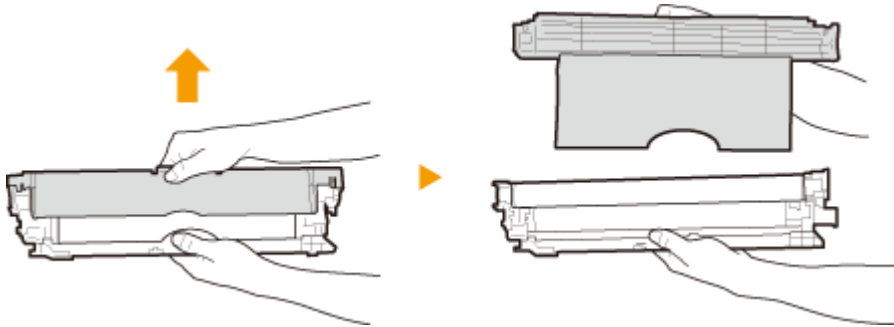


- ドラムカートリッジを引き出す前に、前カバーが最後まで開いていることを確認してください。前カバーが最後まで開いていない状態で引き出すと、ドラムカートリッジが破損する恐れがあります。
- ドラムカートリッジは必ず両手で持ち、ゆっくりと水平に引き出してください。勢いよく引き出すと、ドラムカートリッジが破損する恐れがあります。

4 新しいドラムカートリッジを梱包材から取り出す

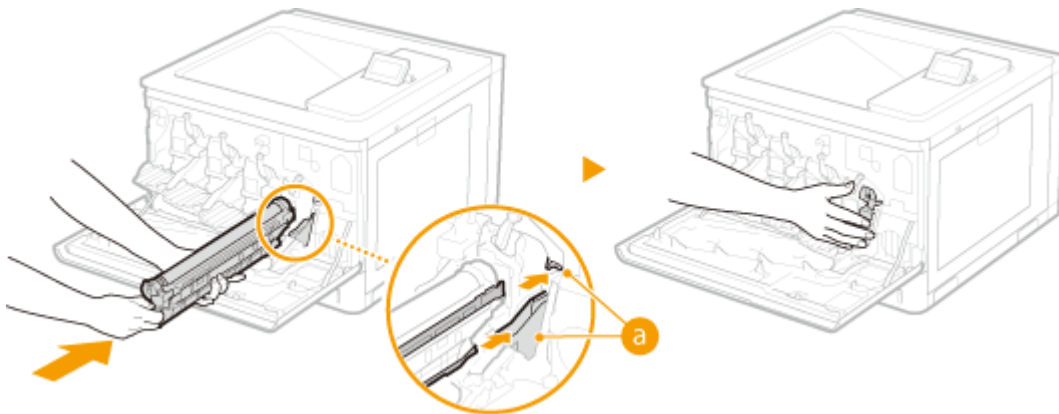


5 保護部材を取り外す

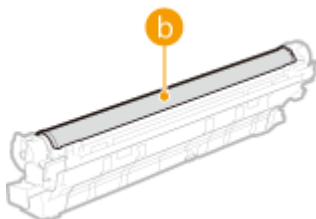


6 ドラムカートリッジを取り付ける

- ドラムカートリッジガイド (a) に合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。



- ドラムカートリッジを取り付ける前に、前カバーが最後まで開いていることを確認してください。前カバーが最後まで開いていない状態で取り付けると、ドラムカートリッジが破損する恐れがあります。
- ドラム表面 (b) を触ったり、スロットの枠などにぶつけないように注意してください。ドラム表面 (b) が傷つくと、故障の原因になることがあります。



- ドラムカートリッジは必ず両手で持ち、ゆっくりと水平に押し込んでください。勢いよく押し込むと、ドラムカートリッジが破損する恐れがあります。
- 使用中および使用済みのドラムカートリッジは、ほかの色のドラムカートリッジとして再利用しないでください。印刷品質が低下することがあります。

7 ドラムレバーをロックする

8 前カバーを閉める

回収トナー容器の交換

55S7-06E

回収トナー容器の空き容量が少なくなるとディスプレイにメッセージが表示されます。なお、回収トナー容器の状態をディスプレイで確認することもできます。

- ▶メッセージが表示されたときは(P. 552)
- ▶回収トナー容器の状態を確認する(P. 552)

■メッセージが表示されたときは

メッセージに従って、新しい回収トナー容器の用意や交換準備を行ってください。▶[回収トナー容器を交換する\(P. 554\)](#)

- ▶[消耗品\(P. 633\)](#)

<回収トナー容器の交換時期が近づいています。>

回収トナー容器の交換時期が近づいています。新しい回収トナー容器を用意してください。大量に印刷するときは、交換することをおすすめします。



- <印刷できます。>が表示されていないときは、印刷はいったん停止します。印刷を継続するときは (オンライン) を押してください。
- どちらのメッセージが表示されるかは、操作パネルの設定メニューにある<警告処理>の設定によります。
▶[警告処理\(P. 342\)](#)

<回収トナー容器交換>

<回収トナー容器を交換してください。>

回収トナー容器が満杯になりました。新しい回収トナー容器に交換してください。



■回収トナー容器の状態を確認する

回収トナー容器の状態は<消耗品情報>の<回収トナー容器状態>で確認できます。特に、大量に印刷する前には、新しい回収トナー容器を用意しておく必要がないか確認してください。▶[消耗品情報\(P. 506\)](#)



関連項目

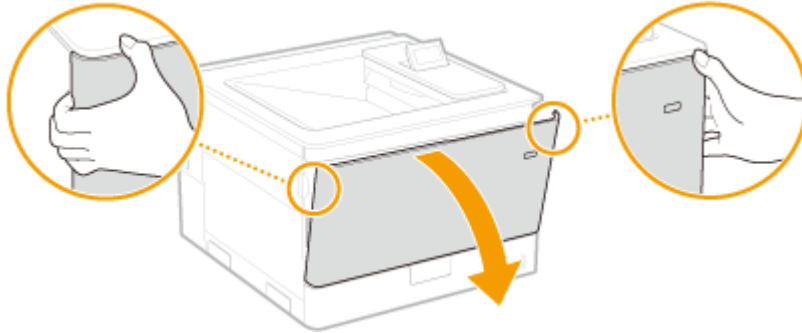
▶消耗品(P. 633)

回収トナー容器を交換する

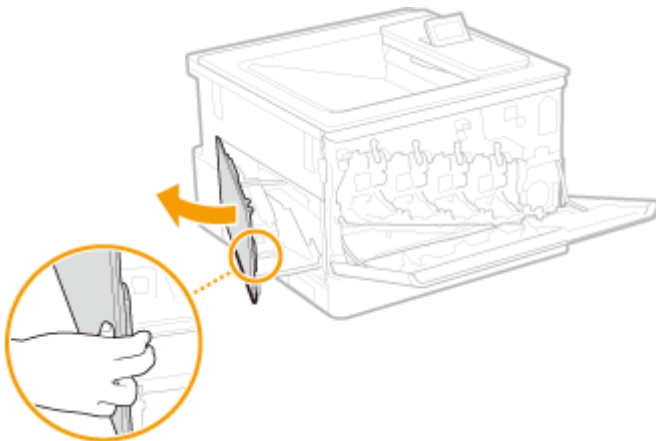
55S7-06F

交換を始める前に、取り扱いに関する注意事項をご確認ください。▶保守／点検について(P. 10) ▶消耗品について(P. 11)

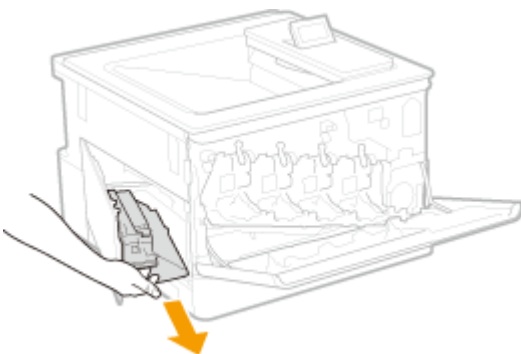
1 前カバーを最後まで開ける



2 左カバーを開ける

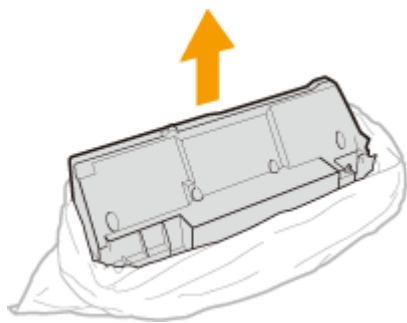


3 回収トナー容器を取り外す



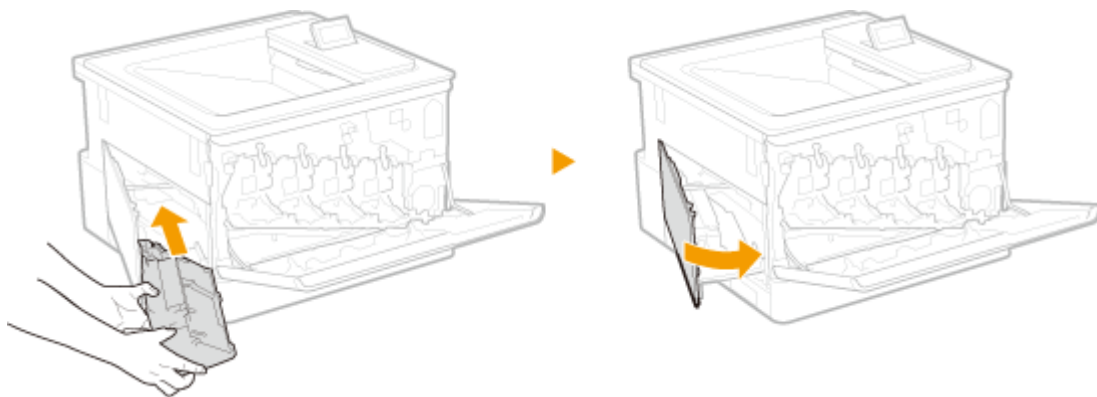
- 回収トナー容器は傾けないでください。容器内のトナーがこぼれることがあります。
- 回収トナー容器は、容器内のトナーがこぼれないように、ビニール袋などに入れてください。

4 新しい回収トナー容器を梱包材から取り出す

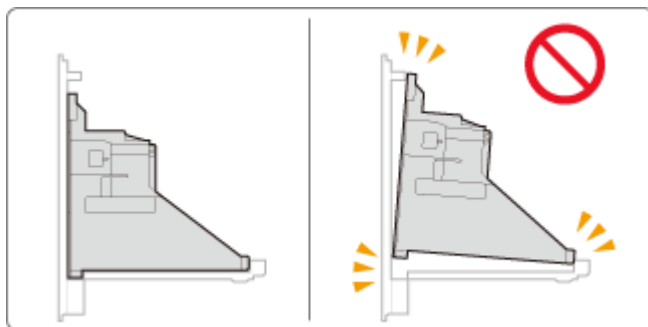


- 回収トナー容器は分解、改造しないでください。

5 新しい回収トナー容器を取り付けて閉める



- 左カバーと下側のトレイにぴったり沿わせて挿入してください。



6 前カバーを閉める

定着器の交換

55S7-06H

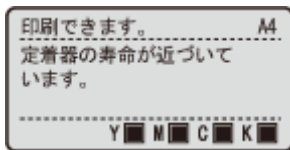
定着器の交換時期が近づくとディスプレイにメッセージが表示されます。

■メッセージが表示されたときは

メッセージに従って、新しい定着器の用意や交換準備を行ってください。 **消費部品(P. 637)**

<定着器の寿命が近づいています。>

定着器の交換時期が近づいています。新しい定着器を用意してください。大量に印刷するときは、交換することをおすすめします。



- このメッセージが表示されていても続けて印刷できますが、印刷品質が低下することがあります。

<定着器を交換してください。>

<定着器の寿命です。交換してください。>

定着器が寿命に達しました。交換することをおすすめします。



- このメッセージが表示されていても続けて印刷できますが、印刷品質が低下することがあります。



- <定着器の寿命です。交換してください。>が表示されたときは、印刷はいったん停止します。印刷を継続するときは (オンライン) を押してください。

<定着器を交換してください。>

定着器が寿命に達しました。交換してください。

定着器を交換してください。



- このメッセージが表示されているときは、続けて印刷することはできません。

<他社定着器または偽造品の可能性があるためプリント不可>

印刷品質を保証できない定着器がセットされている可能性があります。交換することをおすすめします。

他社定着器または
偽造品の可能性がある
ためプリント不可



- このメッセージが表示されているときは、続けて印刷することはできません。▶ **Canon Genuine Mode(P. 350)**



関連項目

▶ **消耗部品(P. 637)**

ITB ユニットの交換

55S7-06J

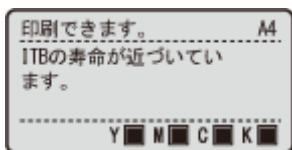
ITB ユニットの交換時期が近づくとディスプレイにメッセージが表示されます。

■メッセージが表示されたときは

メッセージに従って、新しい ITB ユニットの用意や交換準備を行ってください。▶[消耗部品\(P. 637\)](#)

< ITB の寿命が近づいています。 >

ITB ユニットの交換時期が近づいています。新しい ITB ユニットの用意を行ってください。大量に印刷するときは、交換することをおすすめします。



- このメッセージが表示されていても続けて印刷できますが、印刷品質が低下することがあります。

< ITB を交換してください。 >

< ITB の寿命です。交換してください。 >

ITB ユニットが寿命に達しました。交換することをおすすめします。



- このメッセージが表示されていても続けて印刷できますが、印刷品質が低下することがあります。



- < ITB の寿命です。交換してください。 >が表示されたときは、印刷はいったん停止します。印刷を継続するときは (オンライン) を押してください。



関連項目

▶消耗部品(P. 637)

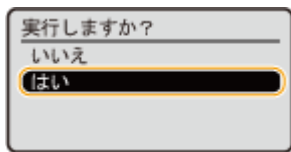
本機を移動する

55S7-06K

本機は重量物です。けがなどの事故を未然に防ぐためにも、移動するときは必ず次の手順に従ってください。なお、移動する前に、安全に関する注意事項を確認してください。🔴安全にお使いいただくために(P. 2)

1 長距離移動する場合は<トナー漏れ対策クリーニング>を行う

- 1 ◀ (ユーティリティ) を押す
- 2 ▲ / ▼ で<トナー漏れ対策クリーニング>を選び、OK を押す
- 3 <はい>を選び、OK を押す



⇒ クリーニングが開始されます。



- クリーニングは途中で中止することはできません。完了するまでお待ちください。

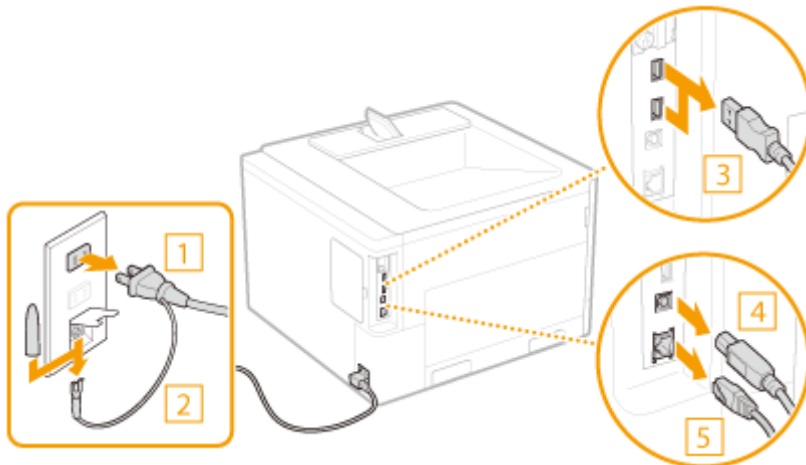
2 本機とパソコンの電源を切る

- 本機の電源を切るときは電源スイッチは使わずに、操作パネルからシャットダウンしてください。🔴電源を切る(シャットダウンする) (P. 37)

3 接続されているケーブルやコードをイラストの番号順に抜く

- USB 機器 (3) ~ LAN ケーブル (5) の有無は接続環境によって異なります。

- 1 電源プラグ
- 2 アース線
- 3 USB 機器
- 4 USB ケーブル
- 5 LAN ケーブル





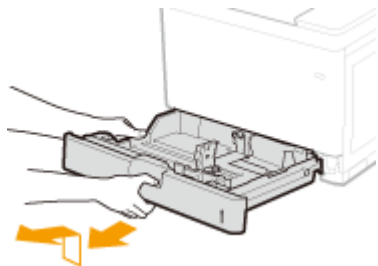
ご注意

- 安全のため、電源コードを電源ソケットから取り外さないでください。
- 本機を移動するときは、電源コードを束ねて、傷つけないようにしてください。

4 長距離を移動する場合はトナーカートリッジとドラムカートリッジを取り出す

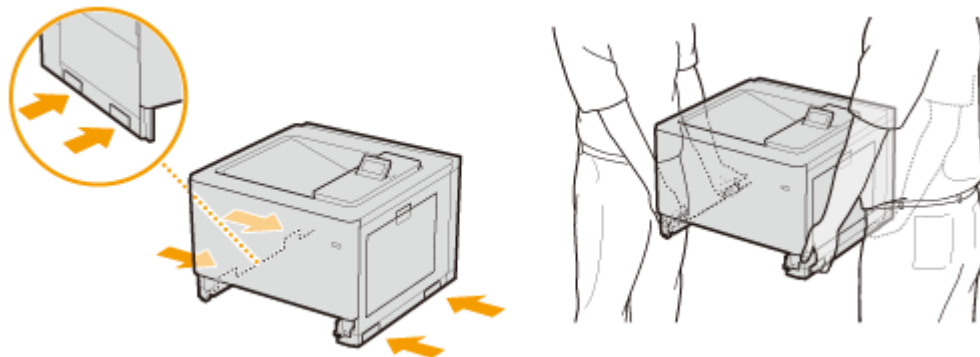
- ▶ トナーカートリッジを交換する(P. 541)
- ▶ ドラムカートリッジを交換する(P. 549)

5 給紙カセットを引き出し、手前側を持ち上げて取り外す



6 カバーや手差しトレイなどをすべて閉じ、移動場所に運ぶ

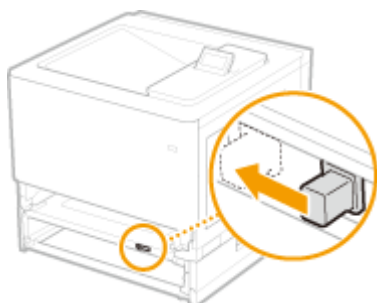
- 本機は重量物（▶ 本体(P. 612)）です。無理のないように運んでください。
- 本体の運搬用取っ手に手を差し込んで、必ず2人以上で運んでください。



ご注意

オプションのペーパーフィーダーまたは2段カセットペディスタルを装着している場合

- 本体を持ち上げる前に本体とペーパーフィーダーまたは2段カセットペディスタルとのロックを解除し、別に運んでください。



7 移動場所にゆっくりおろす

- 移動後の設置手順については、「はじめにお読みください」を参照してください。▶ [マニュアルの種類と内容 \(P. 653\)](#)

印刷品質を調整する

55S7-06L

思った通りの濃さで印刷されなかったり、原稿と色味が異なったり、印字位置がずれるなど、納得のいく印刷結果が得られない場合、下記の調整を試してください。

■ 濃度調整

トナー濃度を調整します。濃度域別に微調整することもできます。▶印刷濃度を調整する(P. 564)

■ 色ずれ／色味補正

色ずれや色味が異なる場合に補正します。▶色ずれや色味を補正する(P. 566)

■ 印字位置調整

給紙部ごとの印字位置を調整します。▶印字位置を調整する(P. 568)

印刷濃度を調整する

55S7-06R

印刷結果が濃かったり、薄かったりする場合に、CMYK 各色のトナー濃度を調整できます。濃度域を 3 分割して微調整することもできます。



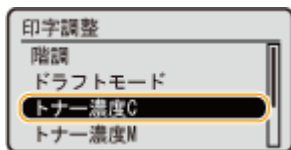
- <ドラフトモード>が<ON>に設定されていると、この項目は設定できません。▶[ドラフトモード\(P.380\)](#)

1 ▶ (セットアップ) を押す

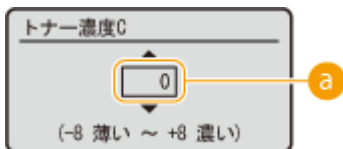
2 ▲ / ▼ で<印字調整>を選び、**OK** を押す

3 濃度を調整する

- 調整したい色のトナー濃度を選び、**OK** を押す



- ▲ / ▼ で濃度を調整する



a 濃度の調整

濃くするときは「+」に設定します。薄くするときは「-」に設定してください。

- OK** を押す

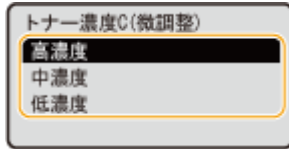
■濃度域別に微調整する

トナー濃度を高濃度／中濃度／低濃度の 3 つの濃度域別に微調整することができます。

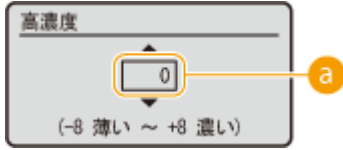
- ▲ / ▼ で調整したい色のトナー濃度(微調整)を選び、**OK** を押す



- 濃度域を選び、**OK** を押す



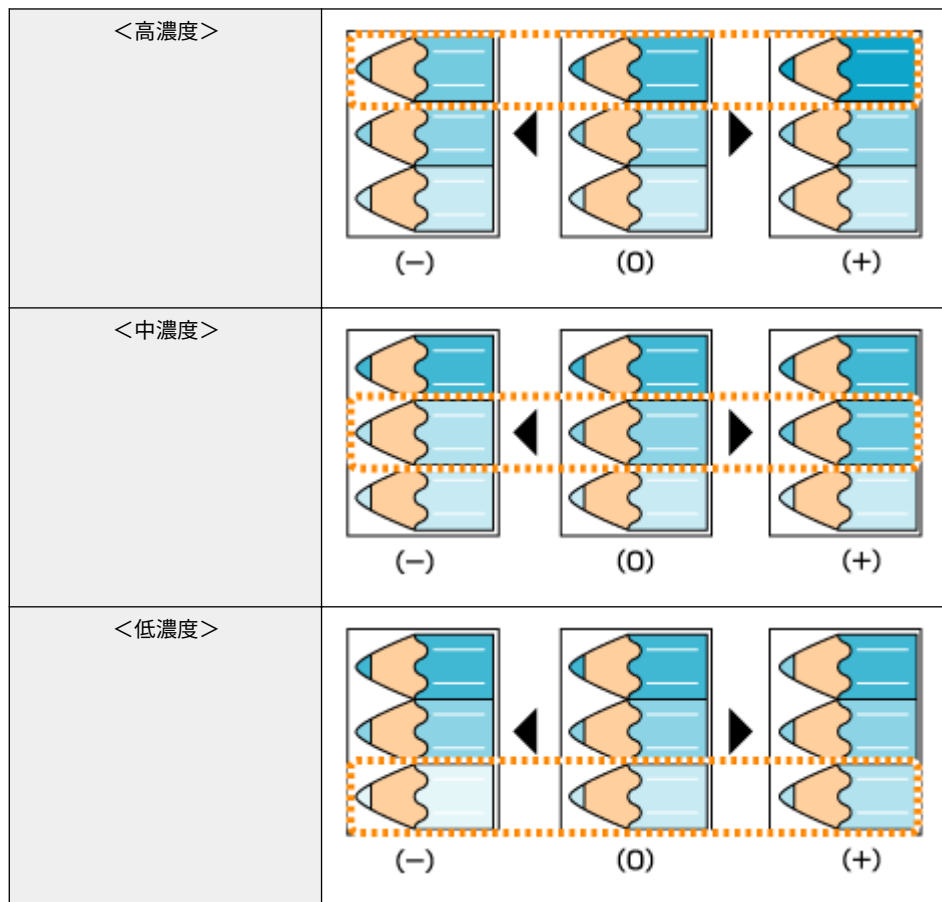
3 ▲ / ▼ で濃度を調整する



a 濃度の調整

濃くするときは「+」に設定します。薄くするときは「-」に設定してください。

■各濃度域の調整例



4 を押す

- 他の濃度域を調整するときは、手順2~4の操作を繰り返します。

色ずれや色味を補正する

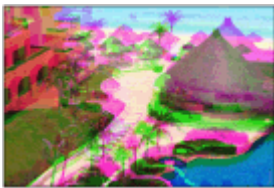
55S7-06S

色ずれが発生したときや、原稿と色味が異なる画像が印刷されたときは、キャリブレーションを行うことで補正することができます。

色ずれの補正

色ずれとは、色ごとに印刷位置が微妙にずれた結果、焦点がはっきりしないぼやけた印刷結果になる現象です。色ずれが発生したときは補正が必要です。

色ずれした画像



色ずれしていない画像



色味の補正

色味とは、赤、黄、緑、青、紫といった色の濃淡のことです。原稿と画像の色味が異なっていたり、一部の色が濃くなったり、全体的に薄く見えるときは補正が必要です。

色味が再現されていない



原稿



色味が再現されている



- 本機は、使用状況や環境の変化に応じて自動補正（キャリブレーション）が実行されます。
- 自動／手動にかかわらず、補正を実行するとトナーカートリッジおよびドラムカートリッジが使用されます。補正がひんぱんに実行されると、トナーカートリッジおよびドラムカートリッジの寿命に影響することがあります。
- トナーカートリッジやドラムカートリッジの残量が少ないときに補正を行うと、色のバランスが崩れることがあります。このような症状が現れた場合は、残量が少ないトナーカートリッジやドラムカートリッジを交換することをおすすめします。
 - ▶ トナーカートリッジの状態を確認する(P. 588)
 - ▶ ドラムカートリッジの状態を確認する(P. 588)

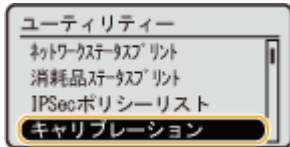


- 電源を入れた直後に補正（キャリブレーション）を実行するように設定したり、実行する頻度を設定したりすることもできます。
 - ▶ 初回キャリブレーション(P. 413)

🔴 キャリブレーション実行頻度(P. 420)

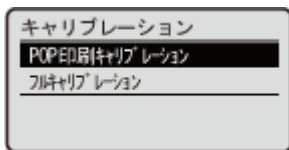
1 ◀ (ユーティリティ) を押す

2 ▲ / ▼ で<キャリブレーション>を選び、**OK** を押す



3 キャリブレーションの種類を選び、**OK** を押す

- POP の印刷で発生した色味の違いを補正したい場合は、< POP 印刷キャリブレーション > を選びます。



- < POP 印刷キャリブレーション > は < フルキャリブレーション > よりも補正が完了するまでの時間がかかります。

4 <はい>を選び、**OK** を押す

⇒ 補正が実行されます。



便利な機能

- 指定した時刻に自動的にキャリブレーションを行うことができます。
 - 🔴 **キャリブレーションタイマー(P. 337)**
 - 🔴 **キャリブレーション時刻(P. 337)**
- 自動的に行われるキャリブレーションは通常、<フルキャリブレーション>の内容で行われますが、<POP印刷キャリブレーション>の内容に変更することもできます。
 - 🔴 **自動 POP キャリブレーション(P. 419)**

印字位置を調整する

55S7-06U

かたよって印刷されたり、印刷範囲からはみ出てしまったりする場合、印字位置の調整を行ってください。印字位置は給紙部ごとに調整することができます。



- ▶ステップ1：現在の印字位置を印刷する(P. 568)
- ▶ステップ2：調整が必要な方向と距離を確認する(P. 569)
- ▶ステップ3：給紙部ごとに印字位置を調整する(P. 570)


ステップ1：現在の印字位置を印刷する

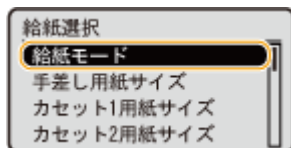
「印字位置調整プリント」を印刷することで、調整が必要な方向と距離を確認できます。




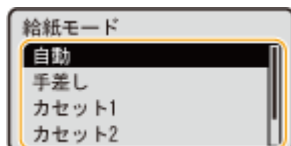
- 両面印刷時の印字位置を確認するときは、あらかじめ操作パネルの設定メニューにある<両面印刷>を<ON>に設定しておきます。▶両面印刷(P. 521)

1  (給紙選択) を押す

2 ▲ / ▼ で<給紙モード>を選び、 を押す



3 印字位置を確認したい給紙部を選び、 を押す

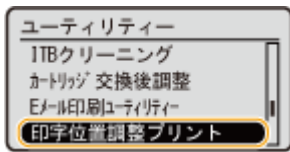


4  (オンライン) を押す

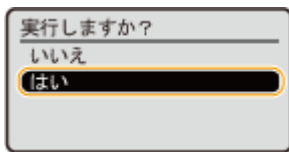
⇒ 基本画面に戻ります。

5 ◀ (ユーティリティ) を押す

6 <印字位置調整プリント>を選び、**OK** を押す



7 <はい>を選び、**OK** を押す



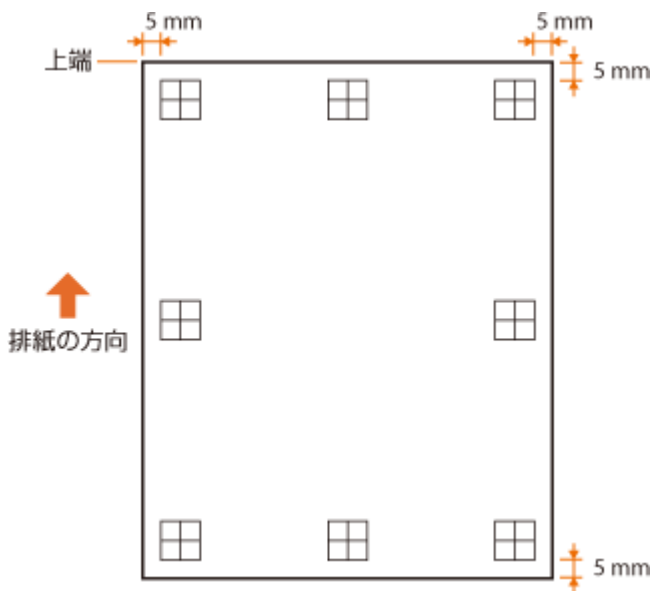
⇒ 印字位置調整プリントが出力されます。

ステップ 2：調整が必要な方向と距離を確認する

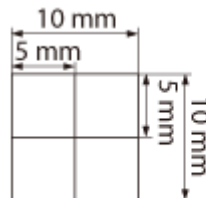
印字位置調整プリントには印字位置確認用のマーク「田」が印刷されます。このマークの位置によって、調整する方向と距離を決めます。すべてのマークが用紙の端から 5 mm の位置に印刷されているのが正常な状態です。

印字位置調整プリントの見かた

排紙された用紙の先端が、印字位置調整プリントの上端になります。用紙を手に取りときは、どの辺が上端が覚えておいてください。



- 印字位置確認用のマーク「田」の大きさは次のとおりです。



印字位置がかたよっているとき

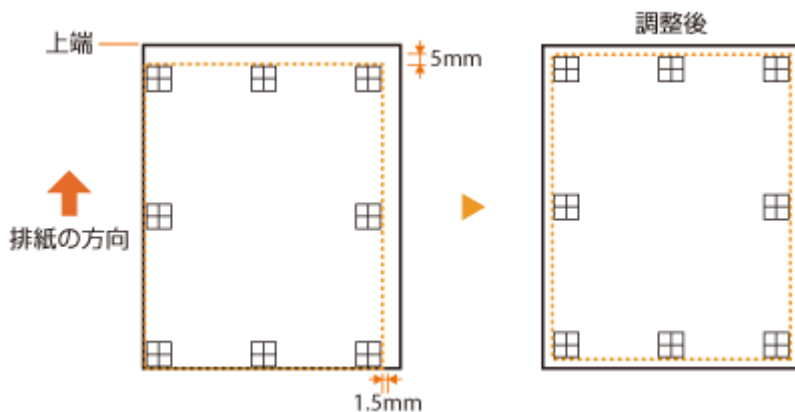
印字位置確認用のマークがかたよって印刷されているときは、印字位置の調整が必要です。印字位置の調整は、方向を「+」または「-」、距離を「mm」で指定します。上下にずらす場合（縦位置補正）は、上方向を「-」、下方向を「+」で指定します。左右にずらす場合（横位置補正）は、左方向を「-」、右方向を「+」で指定します。

タテ方向（<縦位置補正>）

ヨコ方向（<横位置補正>）



次の例では、印字位置を 5 mm 上に、また 1.5 mm 右にずらす必要があるため、<縦位置補正>を「-5.0 mm」、<横位置補正>を「+1.50 mm」に指定します。



ステップ 3：給紙部ごとに印字位置を調整する

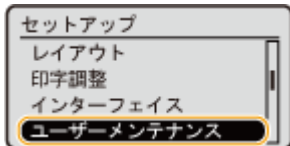
調整が必要な方向と距離を確認したら、印字位置を調整します。タテ方向では -5.0 mm ~ +5.0 mm の範囲で 0.1 mm 単位、ヨコ方向では -3.5 mm ~ +3.5 mm の範囲で 0.25 mm 単位に指定できます。

1 オフラインにする

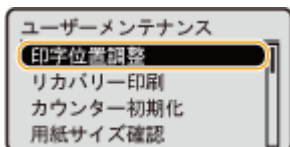
- (オンライン) が点灯しているときに、 (オンライン) を押します。

2 ▶ (セットアップ) を押す

3 ▲ / ▼ で<ユーザーメンテナンス>を選び、 を押す

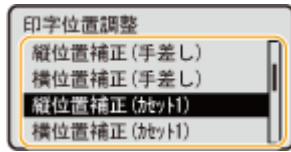


4 <印字位置調整>を選び、 を押す



5 調整したい方向と給紙部の組み合わせを選び、**OK** を押す

- ＜横位置補正(両面)＞は、給紙部を選択して印字位置を調整します。



両面印刷時の印字位置調整について

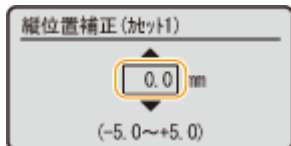
- ＜縦位置補正(両面)＞と＜横位置補正(両面)＞は、1 ページ目（オモテ面）の印字位置を調整できます。2 ページ目（ウラ面）の印字位置は、給紙部の設定で調整されます。

■ 印字位置調整例

1 ページ目（オモテ面）	＜縦位置補正（両面）＞の設定値
2 ページ目（ウラ面）	＜縦位置補正（手差し）＞の設定値

6 調整する数値を設定し、**OK** を押す

- 印字位置調整プリントの印刷結果をもとに、▲ / ▼ で数値を入力します。
- ＜縦位置補正(両面)＞の場合、入力した数値ですべての給紙部の印字位置が調整されます。



- 他の位置や給紙部の調整をするときは、手順 5～6 を繰り返します。

7 **□**（オンライン）を押す

⇒ 基本画面に戻ります。

8 もう一度 **□**（オンライン）を押す

⇒ オンラインになります。

9 印字位置調整プリントを出力し、正しく調整できたか確認する ▶ **ステップ 1**：現在の印字位置を印刷する(P. 568)



すべての印刷の位置を調整する

- 操作パネルの設定メニューにある<縦位置補正>/<横位置補正>で、給紙部にかかわらず、すべての印刷における印字位置を調整することができます。タテ方向/ヨコ方向ともに -50.0 mm ~ +50.0 mm の間で、0.5 mm 単位で調整可能です。▶**縦位置補正/横位置補正(P. 375)**

レポートとリストをプリントする

55S7-06W

消耗品の状態や本機の設定項目の設定内容がレポートやリストとしてプリントされます。

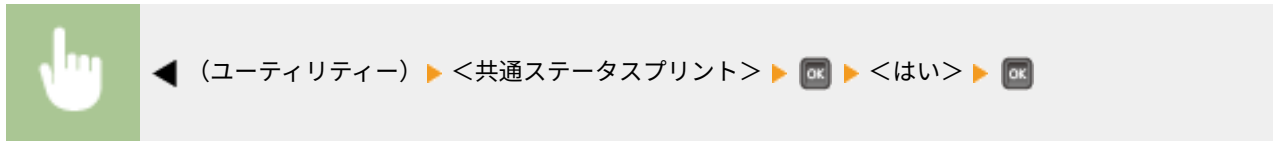


項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- 「*1」：お使いの機種やオプションによっては表示されません。
- 「*2」：リモート UI の [ジョブ履歴を表示する] がオフのときは表示されません。 **▶印刷履歴を非表示にする (P. 267)**

共通ステータスプリント

本機の設定項目 (**▶セットアップメニュー(P. 333)**) とその内容などをリストで確認できます。トナーカートリッジの状態や印刷ページ数、本機に搭載されているメモリー (RAM) の容量などの情報もプリントされます。設定項目名の先頭に「*」が付いているものは、初期値から設定が変更されている項目です。

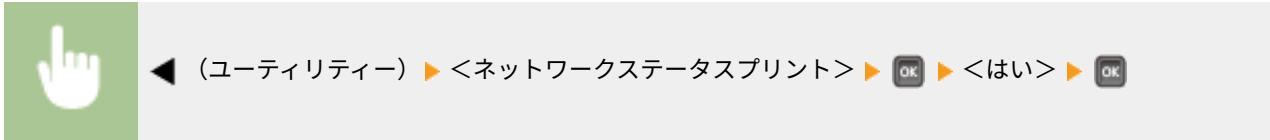


出力例：

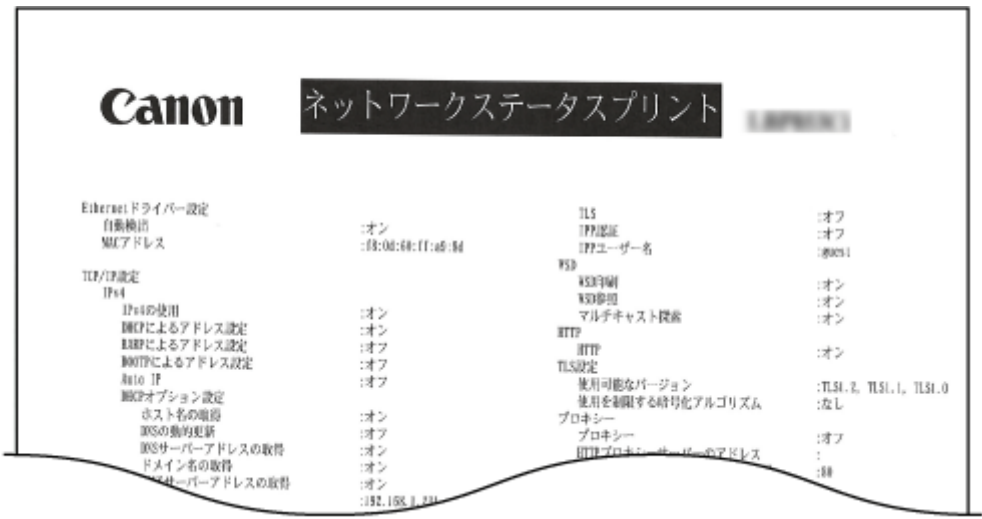
Canon		ステータスプリント		L8500/013	
Main Controllerバージョン	: 03.18/01 004.76	警告表示			
BOSバージョン	: 1.00.00	トナーが交換予告	:	05	
オプションセットバージョン	: 09/01.20	トナーが寿命経過	:	05	
フロントバージョン	: 3651007	トナーが交換予告	:	05	
RAM容量	: 1GB 96	トナーが寿命経過	:	05	
モデル	: 日本	定着部交換予告	:	05	
デバイス		110ユニット交換予告	:	05	
製造会社	: Canon	回収付・容量交換予告	:	05	
製品名	: [REDACTED]	2次集約外排出口予告	:	05	
表示名	: [REDACTED]	輸送ローラー交換予告	:	05	
シリアルナンバー	: XNAG00097	定着部寿命警告	:	05	
搭載コントローラー		110寿命警告	:	05	
LIPS4	: Ver. 1.00.00	カセット相感なし	:	05	
LIPS4K	: Ver. 03.000/00.100	エラー非通信エラー	:	05	
ESC/P	: Ver. 01.00	警告表示			
		トナーが交換予告	:	自動解除	
		トナーが交換予告	:	自動解除	

ネットワークステータスプリント

本機のネットワークに関する設定項目 (**▶ネットワーク(P. 353)**) とその内容をリストで確認できます。アドレスフィルターや IPSec の設定状況など、セキュリティに関する情報もプリントされます。

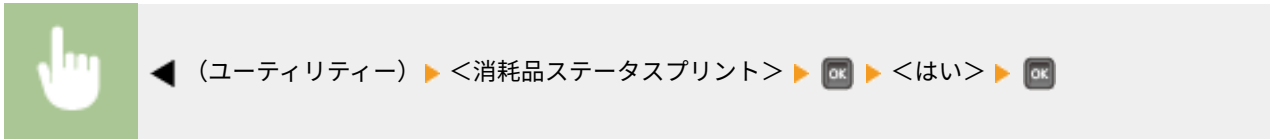


出力例：

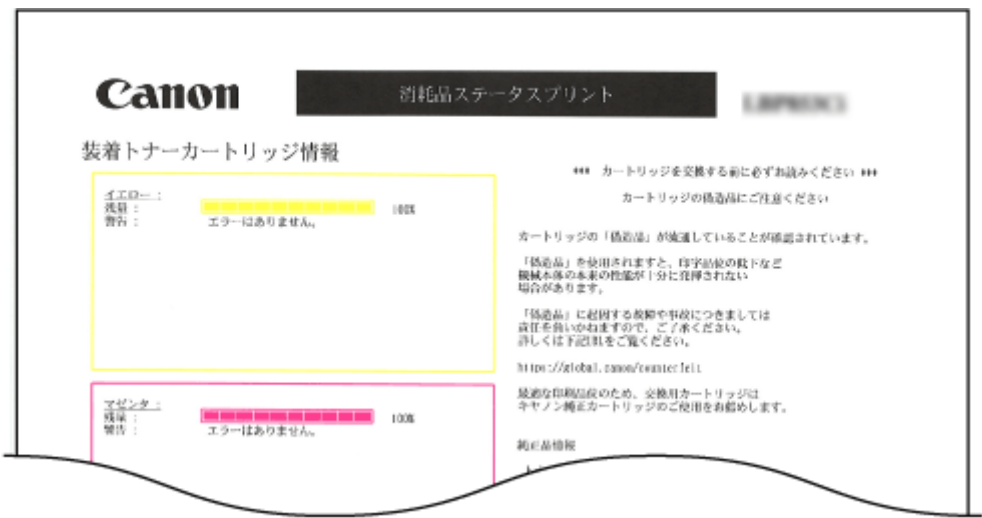


消耗品ステータスプリント

トナーカートリッジとドラムカートリッジの状態や警告メッセージ、新しいカートリッジの購入先などの情報をリストで確認できます。

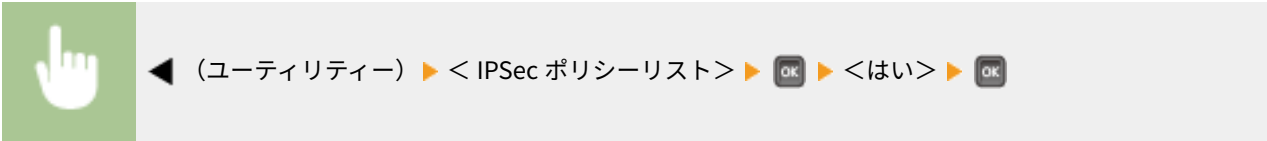


出力例：



IPSec ポリシーリスト *1

本機に登録されている IPSec 設定のポリシー名と設定内容をリストで確認できます。

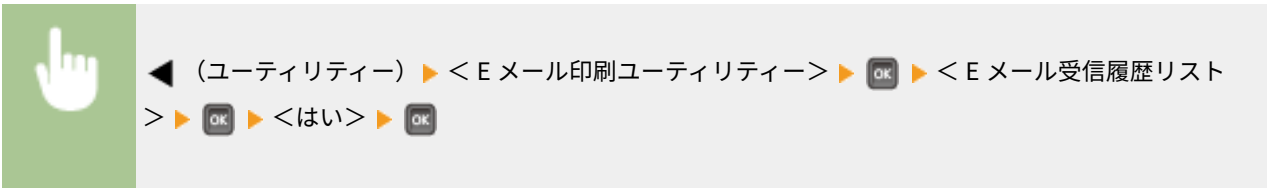


出力例：



Eメール受信履歴リスト

本機で受信した Eメールの件名や受信日時などの履歴をリストで確認できます。



出力例：



カウント管理レポート *1

部門別 ID 管理を実施している場合は、印刷したページ数を部門ごとにレポートで確認できます。

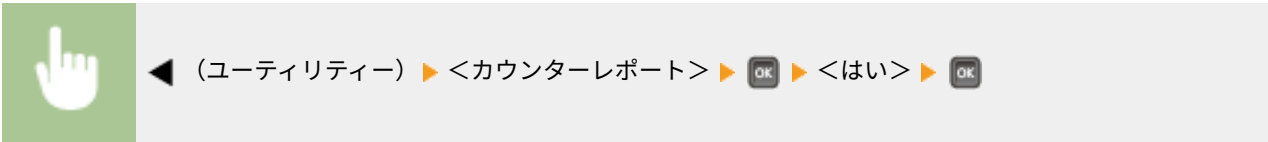


出力例：

Canon カウント管理レポート			
部門ID	トータル印刷面数	カラー印刷面数	白黒印刷面数
不定IDジョブ	0	0	0
ユーティリティー、Eメール印刷	0	0	0

カウンターレポート

これまでに印刷した総ページ数をレポートで確認できます。

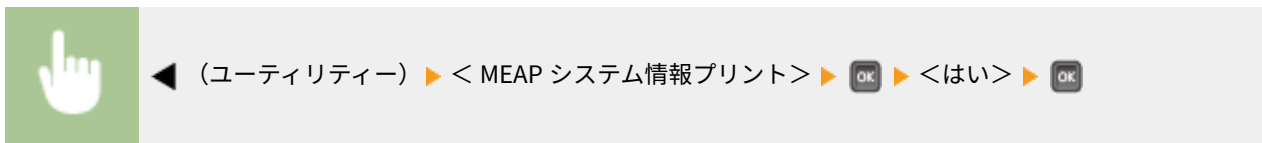


出力例：

Canon カウンターレポート		
Main Controllerバージョン: R2.18/H B34.76		モデル: 日本
DCONバージョン: 1.80.00		
シリアルナンバー: NNAA000007		
デバイス名: [REDACTED]		
2019/04/12 10:40:25		
101	トータル1	146
108	トータル(白黒1)	101
149	トータルA(フルカラー+モノカラー1)	45

MEAP システム情報プリント *1

MEAP 機能を使用している場合は、インストールされている MEAP アプリケーションや、MEAP のシステムアプリケーションに関する情報をリストで確認できます。

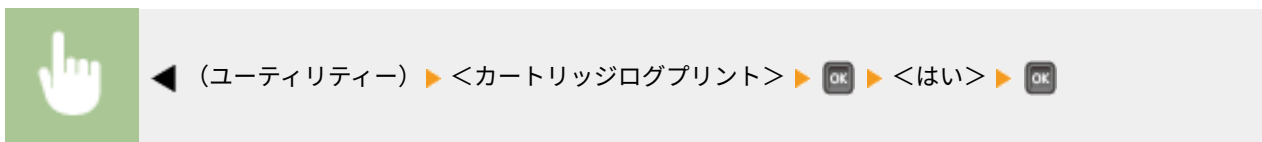


出力例：

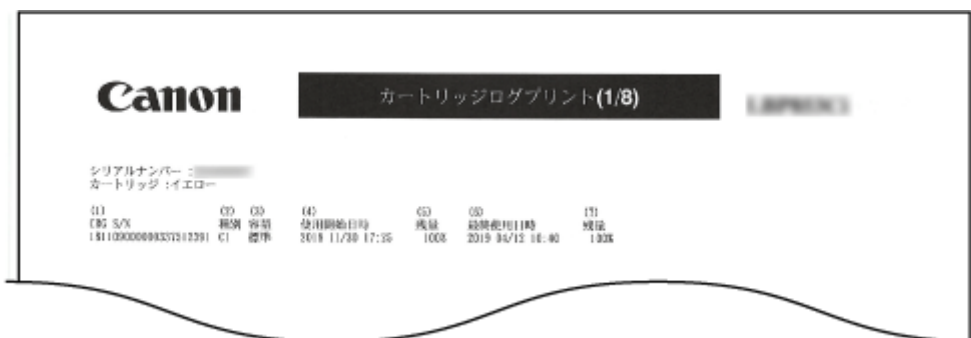


カートリッジログプリント

トナーカートリッジやドラムカートリッジの利用実績などをリストで確認できます。



出力例：



LIPS モード専用のリスト *1

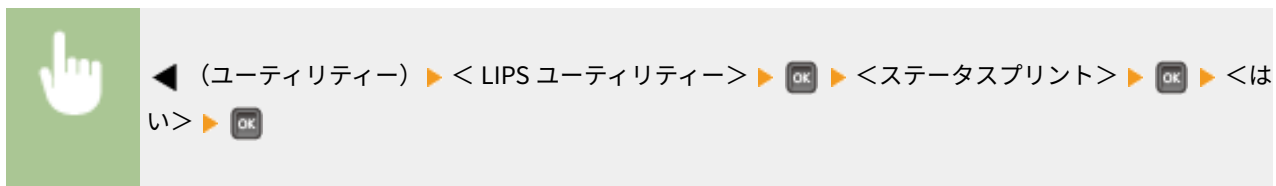
コントロールコマンドで LIPS II⁺、LIPS III、LIPS4 を使用するときの設定内容や、オーバーレイのフォーマットデータなどの本機に登録している内部情報が次のようなリストとしてプリントされます。

- ステータスプリント(P. 578)
- フォントリスト(P. 578)
- オーバーレイリスト(P. 579)

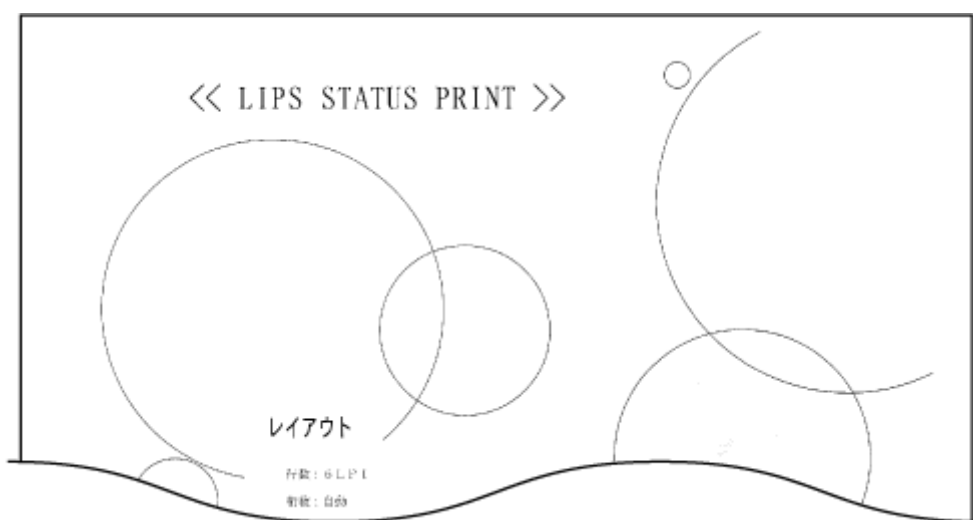
- ▶マクロリスト(P. 579)
- ▶フォームリスト(P. 580)
- ▶オーバーレイプリント(P. 580)
- ▶カラーサンプル(P. 580)

■ステータスプリント

本機の設定項目（▶LIPS4 設定(P. 432)）とその内容をリストで確認できます。

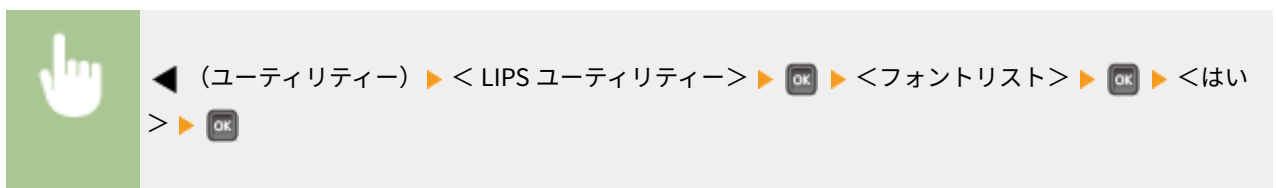


出力例：



■フォントリスト

LIPS モードで使用できるフォントをリストで確認できます。

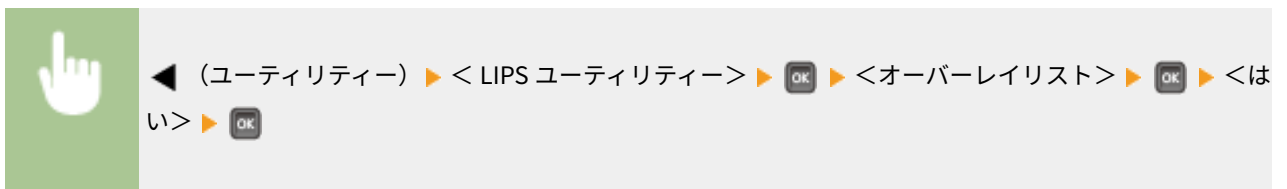


出力例：

FONT LISTS							PAGE. 001
LIPS III・IV 内蔵：スケーラブル							
Gr.Set	Pitch	Size	Style	StrokeW.	Typeface# (Sub)	SAMPLE	
Wincho-Medium-E, BMA	FIX	scalable	0	0	80(10)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ	
Wincho-Medium-E, KATA	FIX	scalable	3	0	80(10)	ア行ハ行カ行キ行ク行ケ行コ行ク行レ	
Wincho-Medium-E, HIRA	FIX	scalable	3	0	80(10)	ア行ハ行カ行キ行ク行ケ行コ行ク行レ	
Wincho-Medium-HPS, BMA	PS	scalable	0	0	80(10)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ	
Wincho-Medium-HPS, KATA	PS	scalable	0	0	80(10)	ア行ハ行カ行キ行ク行ケ行コ行ク行レ	
Wincho-Medium-HPS, HIRA	PS	scalable	0	0	80(10)	ア行ハ行カ行キ行ク行ケ行コ行ク行レ	

■ オーバーレイリスト

オーバーレイのフォーマットデータが登録されている場合は、フォーマットの番号やサイズなどをリストで確認できます。

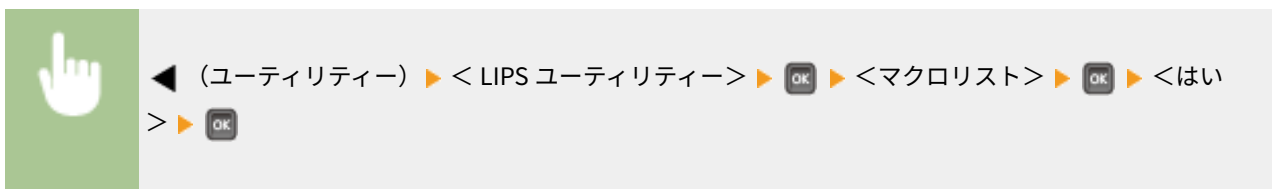


MEMO

- フォーマットデータが登録されていないときは、手順を実行しても何もプリントされません。

■ マクロリスト

マクロデータが登録されている場合は、マクロの番号やサイズなどをリストで確認できます。

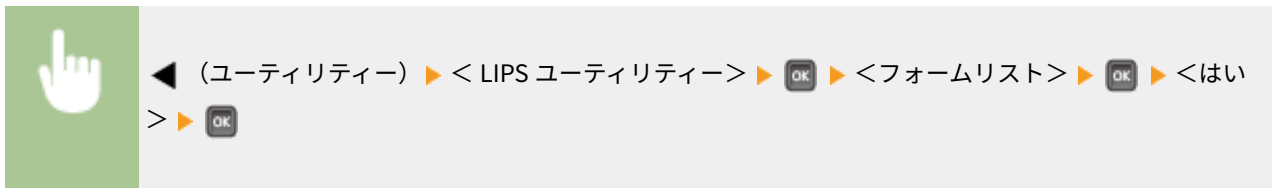


MEMO

- マクロデータが登録されていないときは、手順を実行しても何もプリントされません。

■ フォームリスト

フォームデータが登録されている場合は、フォームの名称とサイズを一覧で確認できます。

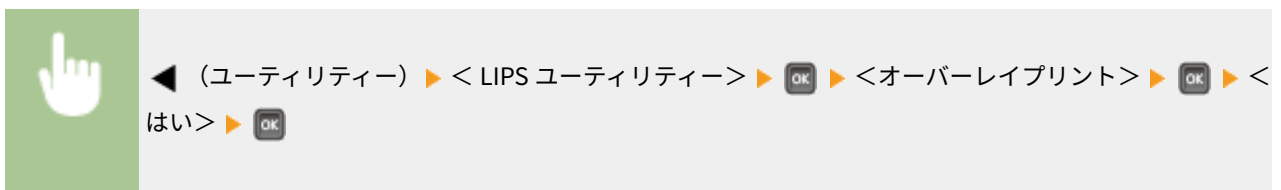


MEMO

- フォームデータが登録されていないときは、手順を実行しても何もプリントされません。

■ オーバーレイプリント

< LIPS4 設定 > の < オーバーレイ 1 > / < オーバーレイ 2 > に登録されているフォーマットデータをプリントして確認できます。▶ **オーバーレイ 1 / オーバーレイ 2 (P. 436)**

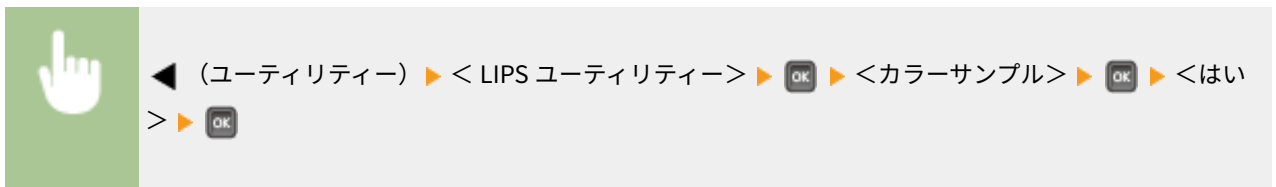


MEMO

- フォーマットデータが登録されていないときは、手順を実行しても何もプリントされません。

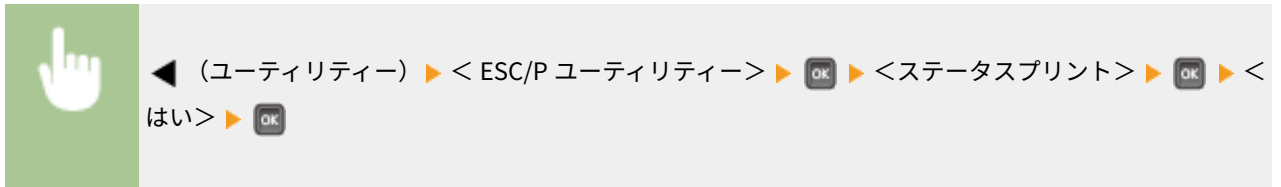
■ カラーサンプル

LIPS モードで使用できる代表的なカラーパターンのサンプルなどをプリントします。



ESC/P ステータスプリント *1

ESC/P エミュレーションモードの設定項目 (▶ **ESC/P 設定 (P. 447)**) とその内容をリストで確認できます。



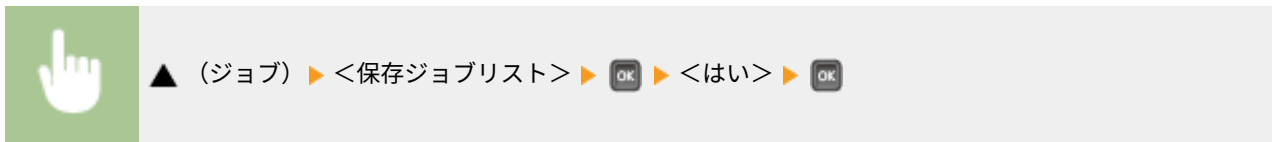
出力例：

ESC/P ステータスプリント Ver. 01.00

メニュー項目		登録状態
項目	目	
ページフォーマット	実寸縦	
上余白	0	
用紙位置微調整	0	
領域	標準	
右マージン既定値	136桁	
用紙サイズ	A4	
2ページ印刷指定	しない	
漢字書体	明朝	
フォントID	2	
漢字サイズ	システム	
文字コード	カタカナ	
国別文字	日本	
イメージの補正	しない	
縮小文字印刷		

保存ジョブリスト *1

本機の SD カードに保存されている文書のリストをプリントします。



出力例：

Canon 保存ジョブリスト

Box No.	ボックス名	ドキュメント名	状態	ユーザー名	総ページ数	保存日時
0		文書 1.rtf	保存済み	MEI1870	1	2015/06/08 09:31
		文書 1.rtf	保存済み	MEI1870	1	2015/06/08 09:31
		文書 2.rtf - メモ帳	保存済み	MEI1870	1	2015/06/08 09:35
		文書 2.rtf - メモ帳	保存済み	MEI1870	1	2015/06/08 09:35
1		文書 1.rtf	保存済み	MEI1870	1	2015/06/08 09:34

ジョブ印刷履歴リスト *2

パソコンから印刷した文書の履歴リストをプリントします。



出力例：

Canon		印刷履歴リスト		LBP7000	
履歴種類 : 印刷ジョブ/ダイレクトプリント					
ドキュメント名	ユーザー名	総ページ数	開始時刻	終了時刻	印刷結果
文書 1.rtf	User1	1	2015/06/02 11:10	2015/06/02 11:10	OK
文書 1.rtf	User1	1	2015/06/02 09:38	2015/06/02 09:38	OK
example.pdf	DIRECT PRINT	2	2015/06/01 18:15	2015/06/01 18:15	OK
example.pdf	DIRECT PRINT	0	2015/06/01 18:08	2015/06/01 18:08	中止

保存ジョブ印刷履歴リスト *1 *2

本機の SD カードに保存されている文書の印刷履歴リストをプリントします。



出力例：

Canon		印刷履歴リスト		LBP7000	
履歴種類 : 保存ジョブ					
ドキュメント名	ユーザー名	総ページ数	開始時刻	終了時刻	印刷結果
文書 2.txt - メモ帳	No Name	1	2015/06/08 09:38	2015/06/08 09:38	OK
文書 2.txt - メモ帳	No Name	1	2015/06/08 09:38	2015/06/08 09:38	OK
文書 1.rtf	No Name	1	2015/06/08 09:38	2015/06/08 09:38	OK
文書 1.rtf	No Name	1	2015/06/08 09:38	2015/06/08 09:38	OK
文書 1.rtf	No Name	1	2015/06/08 09:38	2015/06/08 09:38	OK

レポート印刷履歴リスト *2

設定リストやレポートの印刷履歴リストをプリントします。



出力例：

ドキュメント名	ユーザー名	総ページ数	開始時刻	終了時刻	印刷結果
ReportPrint	So Name	1	2015/06/02 14:40	2015/06/02 14:40	OK
ReportPrint	So Name	1	2015/06/02 14:39	2015/06/02 14:39	OK
ReportPrint	So Name	1	2015/06/02 14:12	2015/06/02 14:12	OK
ReportPrint	So Name	19	2015/06/02 11:09	2015/06/02 11:09	OK
ReportPrint	So Name	1	2015/06/02 11:08	2015/06/02 11:08	OK

Eメール印刷履歴リスト *2

Eメールを受信して印刷した履歴リストをプリントします。



出力例：

ドキュメント名	ユーザー名	総ページ数	開始時刻	終了時刻	印刷結果
sample5	example (Sample@sample.c)	3	2015/07/13 05:06	2015/07/13 05:06	OK
sample4	example (Sample@sample.c)	3	2015/07/13 05:06	2015/07/13 05:06	OK
sample3	example (Sample@sample.c)	3	2015/07/13 05:06	2015/07/13 05:06	OK
sample2	example (Sample@sample.c)	3	2015/07/13 05:06	2015/07/13 05:06	OK
sample1	example (Sample@sample.c)	3	2015/07/13 05:04	2015/07/13 05:04	OK

関連項目

- ▶ ユーティリティーメニュー (P. 499)
- ▶ ジョブメニュー (P. 508)

印刷ページ数を確認する

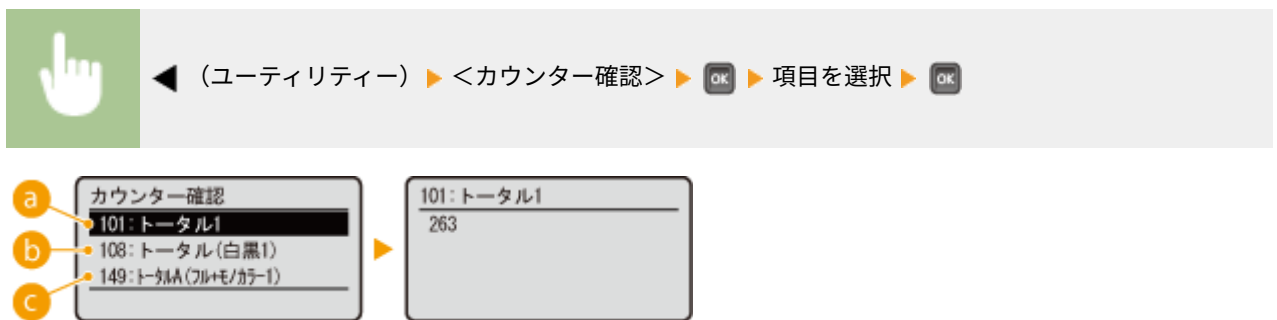
55S7-06X

印刷ページ数を確認できます。

- ▶すべての印刷ページ数を確認する(P. 584)
- ▶部門ごとの印刷ページ数を確認する(P. 584)

すべての印刷ページ数を確認する

これまでに行った印刷の総ページ数のほか、白黒・カラーそれぞれの印刷ページ数を確認できます。



a < 101:トータル 1 >

印刷の総ページ数を確認できます。

b < 108:トータル(白黒 1)>

白黒印刷のページ数を確認できます。

c < 149:トータル A(フル+モノカラー 1)>

カラー印刷のページ数を確認できます。

部門ごとの印刷ページ数を確認する

部門ごとに、これまで印刷したページ数を確認できます。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [部門別 ID 管理] をクリックする



⇒ [プリント面数] に部門 ID ごとの印刷ページ数が表示されます。

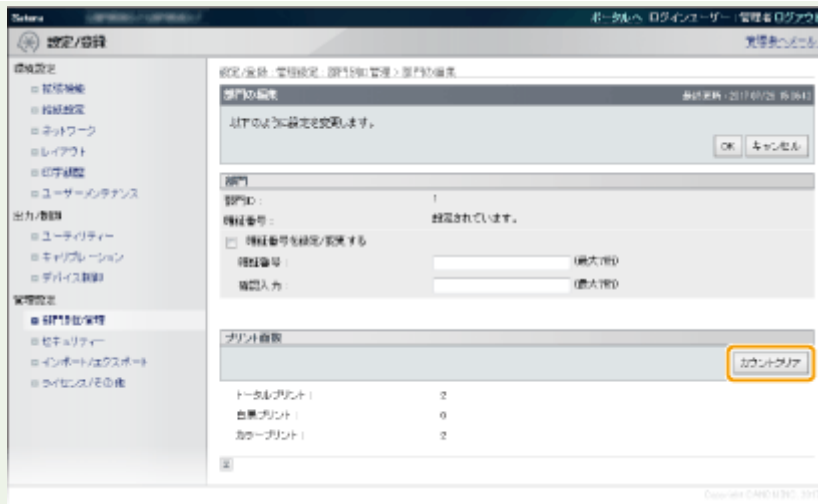


確認結果をプリントするには

▶ **カウント管理レポート(P. 576)**

カウント数をゼロに戻すには

- 部門ごとにカウントをゼロに戻したい場合は、[部門 ID] のリンクをクリックし、[カウントクリア] ▶ [OK] をクリックします。



- 全部門のカウントを一斉にゼロに戻す場合は、[カウントオールクリア] ▶ [OK] をクリックします。



消耗品を確認する

55S7-06Y

操作パネルで消耗品の情報を確認できます。

- ▶ 用紙を確認する(P. 587)
- ▶ トナーカートリッジの型番を確認する(P. 587)
- ▶ トナーカートリッジの状態を確認する(P. 588)
- ▶ ドラムカートリッジの型番を確認する(P. 588)
- ▶ ドラムカートリッジの状態を確認する(P. 588)
- ▶ 回収トナー容器の型番を確認する(P. 589)
- ▶ 回収トナー容器の状態を確認する(P. 589)

用紙を確認する

給紙部ごとに用紙サイズや用紙種類の現在の設定、および用紙の残量を表示します。



a 給紙部の選択

情報を表示する給紙部を選びます。

トナーカートリッジの型番を確認する

本機のトナーカートリッジの型番を表示します。



a 色の選択

型番を表示する色を選びます。

トナーカートリッジの状態を確認する

トナーカートリッジの状態を表示します。



トナーカートリッジ 残量	
イエロー	100%
マゼンタ	100%
シアン	100%
ブラック	100%

MEMO

- 表示される数値は目安であり、実際と異なる場合があります。

ドラムカートリッジの型番を確認する

本機のドラムカートリッジの型番を表示します。



ドラムカートリッジ 型番	ドラム1
ドラム1	Drum Cartridge 053
ドラム2	
ドラム3	
ドラム4	

a

a ドラムカートリッジの選択


型番を表示するドラムカートリッジを選びます。

ドラムカートリッジの状態を確認する

ドラムカートリッジの状態を表示します。



ドラムカートリッジ 残量	
ドラム1	100%
ドラム2	100%
ドラム3	100%
ドラム4	100%

 **MEMO**

- 表示される数値は目安であり、実際と異なる場合があります。

回収トナー容器の型番を確認する

本機の回収トナー容器の型番を表示します。



回収トナー容器型番
WT-C1

回収トナー容器の状態を確認する

回収トナー容器の状態を表示します。



回収トナー容器状態
使用できます。

設定を初期化する

55S7-070

設定内容を初期化して、お買い上げ時の値に戻すことができます。

- ▶メニューを初期化する(P. 591)
- ▶ネットワーク設定を初期化する(P. 592)

メニューを初期化する

55S7-071

各種設定項目（**▶セットアップメニュー(P. 333)**）の設定値を初期化して、お買い上げ時の値に戻すことができます。



初期化の実行中に電源スイッチを押さない

- 初期化中に電源が切れると、本機が故障することがあります。

リモート UI アクセス暗証番号を設定していたとき

- リモート UI アクセス暗証番号も初期化されます。初期化したあとは、リモート UI アクセス暗証番号を設定しなおしてください。**▶リモート UI の暗証番号を設定する(P. 238)**



- ネットワークに関する設定を初期化する場合は、**▶ネットワーク設定を初期化する(P. 592)**を行ってください。
- <印字位置調整>の設定を初期化する場合は、**▶印字位置調整(P. 397)**を行ってください。



▶ (セットアップ) ▶ <パネル設定初期化> ▶ **OK** ▶ <はい> ▶ **OK** ▶ ハードリセット (**▶ハードリセットする(P. 510)**)

ネットワーク設定を初期化する

55S7-072

ネットワークに関する設定項目（[▶ネットワーク\(P. 353\)](#)）の設定値を初期化して、お買い上げ時の値に戻すことができます。



印刷中や印刷データの受信中に初期化しない

- 文書が正しく印刷されなかったり、紙づまりや故障の原因になったりすることがあります。



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <ネットワーク設定初期化> ▶ ▶ <はい> ▶ ▶ ハードリセット（[▶ハードリセットする\(P. 510\)](#)）

無償保証や保守サービスについて

55S7-073

ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

ご愛用いただく製品向けに、保守サービスをパッケージ化した「キャノンサービスパック (CSP)」と契約型の保守サービス制度「キャノン・ケア・ギャランティ (CCG)」を用意しています。

「キャノンサービスパック (CSP)」や「キャノン・ケア・ギャランティ (CCG)」は、電話による障害の解決支援や設置先での修理対応、安定した運用稼働のための定期点検 (CCG のみ) を実施します。

- ▶無償保証について(P. 594)
- ▶キャノンサービスパック (CSP) (P. 595)
- ▶キャノン・ケア・ギャランティ (CCG) (P. 597)

無償保証について

55S7-074

弊社の機器登録用ウェブサイトにお客様が機器情報をご登録いただくことで、お買い上げ日から1年間無償保証サービスを提供いたします。

下記ホームページからご登録をお願いいたします。

canon.jp/biz-regists

ご登録後に保証書を電子発行（ウェブサイトでの閲覧および印刷）いたしますので、印刷の上、大切に保管願います。

無償保証の保守サービスをお受けになるためには、ご登録後に電子発行される保証書、お買い上げ日が確認できる書面（納品書、領収書等）をあわせて、お買い上げ販売店またはサービス実施店にご提示ください。

キヤノンサービスパック（CSP）

55S7-075

キヤノンサービスパック（以下 CSP）は、万一故障した場合の訪問料、作業料、部品代（*1）がパッケージ化された保守サービス商品です。無償保証期間を含めた複数年パック（3年、4年、5年）、または保証期間後の1年パックから選択することができます。

*1 キヤノンマーケティングジャパンが別途定める特定の部品料金はこの限りではありません。

CSP のメリット

安心 1：予期せぬ出費を防ぐ

修理復旧作業にかかる費用は CSP の料金に含まれているため、部品代（*1）やその交換にかかる費用は発生しません。あらかじめ保守料金を予算化でき、予期せぬ出費を防ぐことができます。（CSP は、故障が発生した際に修理・調整をおこなうサービスです）

安心 2：安心の技術力

キヤノン認定のカスタマーエンジニアがお客様先へ訪問し、機器の診断から修理作業まできめ細やかなサービスを提供します。お客様に部品の交換作業をお願いすることはありません。

安心 3：コールセンターの的確な対応

CSP は保守専用のコールセンターで障害の内容を承ります。障害の内容に応じて復旧方法のアドバイスやサービス実施店への修理手配などの的確な対応を行ないます。

修理受付時間：月～金曜日 9:00～17:30

- ご連絡先の電話番号はお客様 ID シールに記載しております。
- 祝祭日、年末年始等のキヤノンマーケティングジャパンが指定する休日を除きます。

安心 4：簡単購入、簡単登録

CSP はパッケージ化された商品のため簡単に購入することができます。また、契約書による契約手続きは不要で、CSP 購入後の保守登録は WEB、FAX、郵送で申請できます。

購入時の注意

購入タイミング

CSP スタンダードは対象製品の販売と同時にご購入ください。CSP 保証延長は、無償保証期間経過後に CSP 保証延長を付ける場合、無償保証期間が終了する 3ヶ月前から終了日までにご購入ください。CSP スタンダード 3年、4年パックの保守期間経過後に CSP を付ける場合は、保守期間が終了する 3ヶ月前から保守終了日までにご購入ください。

サービス提供可能期間

CSP のサービス提供可能期間は延長期間を含め、対象製品お買い上げより最大 5年間です。

CSP の登録期間

CSP のご購入後お早めにご登録ください。CSP の登録申請後に発送する ID シールに障害発生時の電話連絡先を記載しています。

購入後の注意

1.下記の事由による対象製品の故障または損傷については、CSPの対象外とさせていただきます。

- 対象製品取り扱い上の不注意または誤用
- 火災、天災地変等の不可抗力、その他キヤノン MJ またはサービス実施店の責によらざる事由
- キヤノン MJ 指定以外の製品、部品、付属品、消耗品（キヤノン MJ の定める規格に適合しない用紙や再生品のカートリッジ等）の使用
- キヤノン MJ またはサービス実施店以外の者が実施した改造、修理、分解、加工、設置、輸送・移動
- 電氣的ノイズ、公衆回線障害、その他外的要因

2.前項の他、下記の作業についても本サービスの対象外とさせていただきます。

- 対象製品の移動及び撤去作業
- 対象製品のオーバーホール及び改造作業

キヤノン・ケア・ギャランティ（CCG）

55S7-076

キヤノン・ケア・ギャランティ（以下 CCG）は、無償保証期間後にいつでも締結可能（*1）な年間契約型の保守サービス制度で、万一故障した場合の訪問料、作業料、部品代（*2）が含まれています。

*1 ご契約を申し込まれる機器が正常に稼働していない場合は、ご契約できません。

*2 キヤノンマーケティングジャパンが別途定める特定の部品料金はこの限りではありません。

キヤノン保守契約制度のメリット

安心 1：予期せぬ出費を防ぐ

修理復旧作業にかかる費用は CCG の料金に含まれているため、部品代（*2）やその交換にかかる費用は発生しません。あらかじめ保守料金を予算化でき、予期せぬ出費を防ぐことができます。（CCG は、故障が発生した際に修理・調整を行うサービスです）

安心 2：安心の技術力

キヤノン認定のカスタマーエンジニアがお客様先へ訪問し、製品の診断から修理作業まできめ細やかなサービスを提供します。お客様に部品の交換作業をお願いすることはありません。

安心 3：保守内容のカスタマイズ

保守料金の支払い方法（一括払い／月払い）や契約の自動更新、点検作業の追加など、お客様のご要望に合わせて契約内容をカスタマイズすることが可能です。（*3）

安心 4：時間外サービス

土日や夜間など、サービス実施時間を延長することができます。

- 別途追加契約が必要になります。（*3）

*3 条件によっては契約をお受けできない場合があります。

購入後の注意

1. 下記の事由による対象製品の故障または損傷については、CCG の対象外とさせていただきます。

- 対象製品取り扱い上の不注意または誤用
- 火災、天災地変等の不可抗力、その他キヤノン MJ またはサービス実施店の責によらざる事由
- キヤノン MJ 指定以外の製品、部品、付属品、消耗品（キヤノン MJ の定める規格に適合しない用紙や再生品のカートリッジ等）の使用
- キヤノン MJ またはサービス実施店以外の者が実施した改造、修理、分解、加工、設置、輸送・移動
- 電氣的ノイズ、公衆回線障害、その他外的要因

2. 前項の他、下記の作業についても本サービスの対象外とさせていただきます。

- 対象製品の移動及び撤去作業
- 対象製品のオーバーホール及び改造作業

NETEYE について

55S7-078

NETEYE（ネットアイ）は、お客様のデバイスを常に見守り、快適な稼動環境を提供するレーザービームプリンター／スモールオフィス向け複合機の法人向け総合サービスです。万が一故障が起きた際も、オペレーターが電話にて状況確認・復旧サポートし、デバイスの稼動停止時間を最小限に抑えます。更にファームウェアの更新情報などのデバイスの安定稼動に必要な情報をお届けします。

サービス内容

モニタリングサービス

異常時には状況確認のご連絡をし、メンテナンスも手配

稼動状況 Web 確認サービス

使用状況を専用サイトで閲覧・集計でき、運用コストを分析可能

プリンタードライバー・ファームウェア更新案内サービス

ドライバー等の最新情報が通知され、管理負荷が軽減

FAQ 案内サービス

よくある質問等の FAQ 情報が通知され、問い合わせ負荷が軽減



- 詳しくは、サービスサイトをご参照ください。
canon.jp/neteye

サービス開始方法

お申し込み

カスタマープレミアサイトからお申し込みください。

canon.jp/biz-regists

デバイス設定

ご利用にはサービスを提供するサーバーと本機が通信できるようにする必要があります。

なお、通信の確認操作はお申し込み前に実施して頂いても構いません。

● **本機を準備する(P. 599)**

本機を準備する

55S7-079

NETEYE（ネットアイ）を利用するには、監視サーバーと通信するためにネットワークの設定が必要です。また、設定が正しいかを確認するために通信テストを行ってください。

- ▶ **本機のネットワーク設定を行う(P. 599)**
- ▶ **監視サーバーとの通信テストをする(P. 599)**

本機のネットワーク設定を行う

本機をネットワークに接続していない場合、お使いの環境に合わせたネットワーク設定が必要です。設定内容について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 LAN に接続する ▶ **有線 LAN に接続する(P. 160)**

2 IP アドレスを設定する ▶ **IP アドレスを設定する(P. 162)**

- お買い上げ時の状態ではネットワークでお使いいただくことができません。特定の IP アドレスに固定するか、IP アドレスを自動取得するように設定します。



- DNS サーバーを使用しているときは、プライマリー DNS サーバーアドレス、セカンダリー DNS サーバーアドレスを設定してください。▶ **DNS の設定をする(P. 194)**
- プロキシサーバーを使用しているときは、プロキシサーバーのアドレス、プロキシサーバーのポート番号を設定してください。プロキシ認証機能を使用するときは、ユーザー名、パスワードの設定も必要です。▶ **プロキシを設定する(P. 251)**

3 ハードリセットする ▶ **ハードリセットする(P. 510)**

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。





- 本機のネットワークに関する設定項目とその内容はネットワークステータスプリントで確認できます。▶ **ネットワークステータスプリント(P. 573)**


監視サーバーとの通信テストをする


監視サーバーと正常に通信できることを確認します。

1 ▶ **(セットアップ) を押す**


2 ▲／▼で<ネットワーク>を選び、 を押す

- メッセージが表示されたら、 を押します。

3 < NetEye >を選び、 を押す

4 <通信テスト>を選び、 を押す

5 メッセージを確認して、 を押す

6 <はい>を選び、 を押す

⇒ 正しく接続されたときは、<終了しました。>と表示されます。



<実行できませんでした。>が表示されたとき

- <通信ログ>で表示されたエラーメッセージを確認してください。▶[通信ログ\(P. 373\)](#)
- ネットワークステータスプリント (▶[ネットワークステータスプリント\(P. 573\)](#)) でネットワークの設定を確認してください。
- ファイアウォールなど、お使いのネットワーク環境により通信が遮断されていないかをネットワーク管理者にお問い合わせください。
- トラブルが解消されない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

付録

付録	603
第三者のソフトウェアについて	604
活用術	605
節約してエコロジー	606
効率アップの使いこなし術	607
まだあるこんな使い方	609
おもな仕様	611
本体	612
用紙について	615
ペーパーフィーダー PF-G	621
2 段カセットペディスタル・AU	622
環境ヒーター EH-D	623
プリント機能	624
管理機能	628
サポート環境	631
ネットワーク環境	632
消耗品	633
消耗部品	637
オプションについて	639
オプション機器について	640
システムオプションについて	642
ROM を取り付ける	644
SD カードを取り付ける	648
マニュアルの種類と内容	653
ユーザズガイドの使いかた	654
ユーザズガイドの画面構成	655
ユーザズガイドの読みかた	658
MEAP アプリケーションを管理する	660
FTP クライアントを使用する	661
FTP サーバーの準備をする	662
FTP クライアントを使用して印刷する (FTP 印刷)	665
FTP クライアントを使用して設定する	667
その他	675
Windows の基本操作	676

メニュールートマップ	685
動作モードについて	686
自動切り替えがうまくできないとき	688
動作モードを固定する	690
ESC/P エミュレーションのページフォーマット	691
内蔵フォント ID と LIPS 内蔵フォント	709
ダンプリスト	715
おことわり	718

付録

55S7-07A

本機の仕様、ユーザズガイドの使いかた、免責事項や著作権など、お客様に知っておいていただきたい情報を記載しています。必要に応じてお読みください。

第三者のソフトウェアについて

55S7-07C

第三者のソフトウェアに関する情報を知りたいときは、次のアイコンをクリックしてください。

別途固有のライセンス条件が用意されている第三者のソフトウェアについて

LBP853Ci/LBP852Ci



LBP851C



このマニュアルに含まれる第三者のソフトウェアについて



活用術

55S7-07E

「節約してエコロジー」「効率アップの使いこなし術」「まだあるこんな使い方」の3つのカテゴリで本機を活用するヒントをご紹介します。用途やシーンに合わせて、便利で役に立つ活用術をお試しください。

節約してエコロジー

55S7-07F



用紙やトナーの使用量を抑える、電力量を少なくする、などの節約法をご紹介します。

01



両面印刷で用紙枚数を半分に

用紙の両面に印刷することができます。大量印刷はもちろん、数ページの少量印刷でも両面機能で積極的に用紙を節約してください。複数ページを1枚の用紙にまとめて印刷する集約印刷と組み合わせることも可能。最大32ページ分の文書が1枚にまとめられ大変エコロジーです。



▶パソコンから印刷する(P. 78)

02



節電モードでエコロジー

操作以外は徹底して消費電力を抑える「スリープモード」。電源を切ることなく手動または自動で最低限の電力消費に切り替わります。さらに長時間本機を使わないと自動的に電源を切る「オートシャットダウン」で効果をプラス！見えないところでコストダウン&省エネのお手伝いをします。



▶スリープモードにする(P. 70)

▶オートシャットダウンを設定する(P. 73)



GREEN NAVI

エコなオフィスを実現するキヤノン製品の活用方法や、新旧製品のエコ効果が比較できます。

効率アップの使いこなし術

55S7-07H



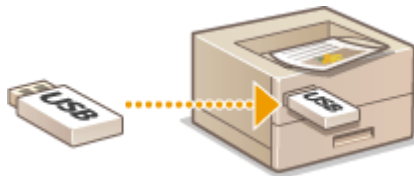
複雑な操作を簡単に。本機が効率アップのお手伝いをします。

01



アプリケーションなしでも印刷できる

PDF/TIFF/JPEG/XPS 形式のデータなら、リモート UI から直接本機に送って印刷できます。USB メモリーを本機に差し、パソコンを介さず直接印刷することもできます。ファイルを開く必要がないのでアプリケーションがなくても大丈夫。急ぎのときやパソコンが使えないときに大助かりです。



▶ ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）（P. 115）

▶ USB メモリーから印刷する（メディアプリント）（P. 89）

02



デスクにしながら本機を設定

デスクのパソコンから本機を遠隔管理できます。用紙やトナーカートリッジの状態を確認できるだけでなく、印刷の状況を元に割り込みや追い越しをさせることもできます。プリンターとパソコンを往復する手間を省いて、時間を節約しましょう。



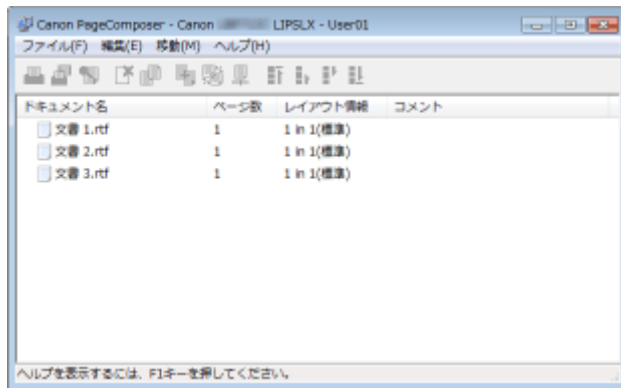
▶ リモート UI を使う（P. 307）

03



作業のショートカットで時短推進

たくさんの文書を続けて印刷する場合、一度の操作で済んだらとっても楽ですね。Canon PageComposer を使えば、複数の文書を結合し一度に印刷することができます。またファクスの送付状など繰り返し印刷する文書は本体の SD カードに保存して、いちいちパソコンやプリンタードライバーを起動せず操作パネルから直接印刷できます。無駄な作業をカットして職場の時短をお手伝いします。



▶ パソコンから印刷する(P. 78)

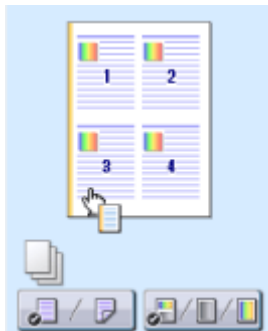
▶ 文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）(P. 105)

04



直感的な操作ですばやく印刷設定

プリンタードライバーのプレビューイメージ上の直感的な操作で、ページレイアウト、とじ方向や片面・両面の切り替えなどが容易に設定できます。かんたんなクリック操作でイメージをつかみながら設定できるので便利です。



▶ パソコンから印刷する(P. 78)

まだあるこんな使い方

55S7-07J



自宅、オフィス、外出先。さまざまなシーンで使える便利な機能がそろっています。

01



スマートフォン／タブレットを活用

タブレットを使って出張の移動時間に仕上げた企画書をすぐに印刷したい！そんなときは、キヤノンモバイルアプリケーションを使うと便利です。

PCレス、迅速、簡単！スピード時代に相応しい機能が仕事や趣味をいっそう充実させます。



▶モバイル機器と便利に連携(P. 139)

02



Google Cloud Print でどこでも手元から印刷

出張中、タブレットを使って車中で仕上げた企画書。取材の合間にスマートフォンで撮影した写真。Google Cloud Print を使えば、離れた場所からでもオフィスや自宅にある本機で印刷できます。



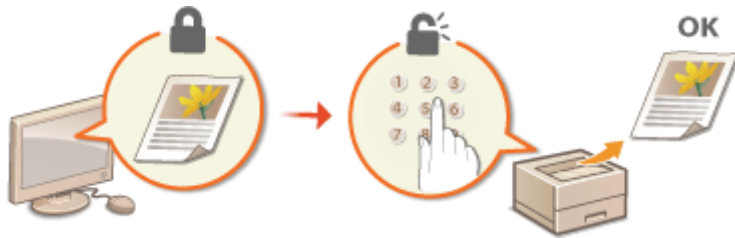
▶Google Cloud Print を使う(P. 151)

03



マル秘文書を印刷する

個人情報や機密文書は他人に見られるのが心配です。秘匿性の高い文書はセキュアプリントを使いましょう。パソコン上で印刷データに暗証番号をかけて本機に印刷指示すると、データは本体メモリーにいったん蓄積されます。操作パネルで同じ暗証番号を入力しない限り印刷されません。忙しくて印刷物を取りに行くのをすっかり忘れてしまっても大丈夫です。



▶ 暗証番号を入力して印刷する（セキュアプリント）（P. 101）

おもな仕様

55S7-07K

本製品が改良されて仕様変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になったりすることがありますので、ご了承ください。本製品に関する情報は、キヤノンホームページ (<https://global.canon/>) を参照してください。

■ 本体に関する仕様について

- ▶ 本体(P. 612)
- ▶ 用紙について(P. 615)

■ 本体に装着するオプション機器の仕様について

- ▶ ペーパーフィーダー PF-G(P. 621)
- ▶ 2 段カセットペディスタル・AU(P. 622)
- ▶ 環境ヒーター EH-D(P. 623)

■ 機能に関する仕様について

- ▶ プリント機能(P. 624)
- ▶ 管理機能(P. 628)

■ お使いになる環境について

- ▶ サポート環境(P. 631)
- ▶ ネットワーク環境(P. 632)

本体

55S7-07L



- 給紙箇所ごとの用紙サイズ・種類については「[用紙について\(P. 615\)](#)」を参照ください。

形式	デスクトップ
カラー対応	フルカラー
書き込み解像度	600 dpi × 600 dpi
階調	256 階調
使用可能な用紙	<p>用紙サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大：320.0 mm x 457.2 mm カセット最大：297.0 mm x 431.8 mm カセット最小：148.0 mm x 148.0 mm 手差し最小：64.0 mm x 120.0 mm <p>用紙坪量</p> <ul style="list-style-type: none"> 給紙カセット：60 g/m² ~ 256 g/m² *1 手差しトレイ：60 g/m² ~ 300 g/m²
用紙種類	用紙について(P. 615)
ウォームアップタイム *2	<p>主電源立ち上げ時</p> <p>34.0 秒以下</p> <p>スリープモードからの立ち上げ時</p> <p>4.0 秒以下</p>
ファーストプリントタイム (A4)	<p>LBP853Ci :</p> <ul style="list-style-type: none"> フルカラー：約 6.2 秒 白黒：約 5.5 秒 <p>LBP852Ci / LBP851C :</p> <ul style="list-style-type: none"> フルカラー：約 7.4 秒 白黒：約 6.7 秒
連続印刷速度 *3 (A4)	<p>LBP853Ci :</p> <ul style="list-style-type: none"> フルカラー：46 枚/分 白黒：46 枚/分

	LBP852Ci / LBP851C : <ul style="list-style-type: none"> ● フルカラー：36 枚/分 ● 白黒：36 枚/分
給紙方式／給紙容量 *4	給紙カセット 640 枚 (64 g/m ²) / 550 枚 (80 g/m ²) ×1 手差しトレイ 120 枚 (64 g/m ²) / 100 枚 (80 g/m ²) ×1
排紙方式／排紙容量 *4	排紙トレイ 200 枚 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) 100 枚 (90 g/m ² ~ 300 g/m ²)
電源	AC 100V、6.0 A、50 Hz / 60 Hz
消費電力 *2	最大消費電力： 1,500 W 以下 スリープモード時 約 2.0 W 電源スイッチ切断時 0.1 W 以下
エネルギー消費効率 (省エネ法 (平成 25 年 3 月 1 日付) で定められた測定方法による数値)	LBP853Ci : 122 kWh/年 (区分名：プリンタ B) LBP852Ci / LBP851C : 88 kWh/年 (区分名：プリンタ A)
大きさ (幅×奥行×高さ)	556 mm × 608 mm × 403 mm
質量	本体 *5 約 38.0 kg 消耗品 ● 消耗品(P. 633)
機械占有寸法	「はじめにお読みください」を参照 ● マニュアルの種類と内容(P. 653)

メモリー容量	RAM : 1 GB
使用環境	温度 : 10 °C ~ 30 °C 湿度 : 20 % ~ 80 % (相対湿度・結露しないこと)

*¹ 長さが 364.0 mm 以上の用紙をヨコ置きでセットする場合、199 g/m²以上の用紙は使用できません。

*² 使用環境、使用条件によって変わる場合があります。

*³A4 片面等倍時。普通紙、同一データを連続印刷した場合の自社試験による速度です。はがきや小サイズ紙など、用紙の種類・サイズ・送り方向などによっては印刷速度が低下します。また連続印刷時に、プリンター本体の温度調整や画質調整などのため動作を休止もしくは遅くさせる場合があります。

*⁴ 設置環境や使用する用紙によって異なることがあります。

*⁵ トナーカートリッジおよびドラムカートリッジを除く

用紙について

55S7-07R

■ 使用可能な用紙サイズ

給紙カセット、手差しトレイ、およびオプションなどで使用できる用紙サイズは以下のとおりです。

○：使用可能 ×：使用不可

用紙サイズ	給紙カセット *1	手差しトレイ	自動両面印刷 *2
A3	○	○	○
B4	○	○	○
A4	○	○	○
B5	○	○	○
A5	○	○	○
A6	×	○	×
レジャー (11x17)	○	○	○
リーガル (LGL)	○	○	○
レター (LTR)	○	○	○

*1 オプションのペーパーフィーダー PF-G/2 段カセットペディスタル・AU を含みます。

*2 用紙をセットしなおすことなく、自動で両面に印刷することができます。

*3 以下のサイズを使用できます。

- 用紙をタテ置きにセットした場合 (Generic Plus LIPSLX プリンタードライバー使用時のみ) :
幅 148.0 mm ~ 297.0 mm、長さ 148.0 mm ~ 297.0 mm
- 用紙をヨコ置きにセットした場合 :
幅 148.0 mm ~ 297.0 mm、長さ 148.0 mm ~ 431.8 mm

*4 以下のサイズを使用できます。

- 用紙をタテ置きにセットした場合 (Generic Plus LIPSLX プリンタードライバー使用時のみ) :
幅 120.0 mm ~ 320.0 mm、長さ 120.0 mm ~ 320.0 mm
- 用紙をヨコ置きにセットした場合 :
幅 64.0 mm ~ 320.0 mm、長さ 120.0 mm ~ 457.2 mm
幅 200.0 mm ~ 297.0 mm、長さ 457.3 mm ~ 1200.0 mm (長尺紙 : Generic Plus LIPSLX プリンタードライバー使用時のみ)

*5 以下のサイズを使用できます。

- 幅 148.0 mm ~ 320.0 mm、長さ 148.0 mm ~ 457.2 mm

用紙サイズ	給紙カセット ^{*1}	手差しトレイ	自動両面印刷 ^{*2}
ステートメント (STMT)	×	○	×
エグゼクティブ (EXEC)	○	○	○
Foolscap (FLSC)	○	○	○
305x457 mm /12x18 in	×	○	○
8K	○	○	○
16K	○	○	○
インデックスカード	×	○	×
Indian Legal (India-LGL)	○	○	○
はがき	×	○	×
往復はがき	×	○	×
4面はがき	×	○	×
封筒 長形 3号	×	○	×
封筒 洋形長 3号	×	○	×
封筒 角形 2号	×	○	×

^{*1} オプションのペーパーフィーダー PF-G/2 段カセットベディスタル・AU を含みます。

^{*2} 用紙をセットしなおすことなく、自動で両面に印刷することができます。

^{*3} 以下のサイズを使用できます。

- 用紙をタテ置きにセットした場合 (Generic Plus LIPSLX プリンタードライバー使用時のみ) :
幅 148.0 mm ~ 297.0 mm、長さ 148.0 mm ~ 297.0 mm
- 用紙をヨコ置きにセットした場合 :
幅 148.0 mm ~ 297.0 mm、長さ 148.0 mm ~ 431.8 mm

^{*4} 以下のサイズを使用できます。

- 用紙をタテ置きにセットした場合 (Generic Plus LIPSLX プリンタードライバー使用時のみ) :
幅 120.0 mm ~ 320.0 mm、長さ 120.0 mm ~ 320.0 mm
- 用紙をヨコ置きにセットした場合 :
幅 64.0 mm ~ 320.0 mm、長さ 120.0 mm ~ 457.2 mm
幅 200.0 mm ~ 297.0 mm、長さ 457.3 mm ~ 1200.0 mm (長尺紙 : Generic Plus LIPSLX プリンタードライバー使用時のみ)

^{*5} 以下のサイズを使用できます。

- 幅 148.0 mm ~ 320.0 mm、長さ 148.0 mm ~ 457.2 mm

用紙サイズ	給紙カセット ^{*1}	手差しトレイ	自動両面印刷 ^{*2}
封筒 No.10 (COM10)	×	○	×
封筒 Monarch	×	○	×
封筒 C5 (封筒 ISO-C5)	×	○	×
封筒 DL	×	○	×
ユーザー設定用紙	○ ^{*3}	○ ^{*4}	○ ^{*5}

^{*1} オプションのペーパーフィーダー PF-G/2 段カセットペディスタル・AU を含みます。

^{*2} 用紙をセットしなおすことなく、自動で両面に印刷することができます。

^{*3} 以下のサイズを使用できます。

- 用紙をタテ置きにセットした場合（Generic Plus LIPSLX プリンタードライバー使用時のみ）：
幅 148.0 mm ～ 297.0 mm、長さ 148.0 mm ～ 297.0 mm
- 用紙をヨコ置きにセットした場合：
幅 148.0 mm ～ 297.0 mm、長さ 148.0 mm ～ 431.8 mm

^{*4} 以下のサイズを使用できます。

- 用紙をタテ置きにセットした場合（Generic Plus LIPSLX プリンタードライバー使用時のみ）：
幅 120.0 mm ～ 320.0 mm、長さ 120.0 mm ～ 320.0 mm
- 用紙をヨコ置きにセットした場合：
幅 64.0 mm ～ 320.0 mm、長さ 120.0 mm ～ 457.2 mm
幅 200.0 mm ～ 297.0 mm、長さ 457.3 mm ～ 1200.0 mm（長尺紙：Generic Plus LIPSLX プリンタードライバー使用時のみ）

^{*5} 以下のサイズを使用できます。

- 幅 148.0 mm ～ 320.0 mm、長さ 148.0 mm ～ 457.2 mm



- プリンタードライバーによっては、一部の用紙が表示されないことがあります。使用したい用紙が表示されない場合は、適切なプリンタードライバーをキヤノンホームページよりダウンロードしてお使いください。ダウンロードできない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

■ 使用可能な用紙の種類

本機は、非塩素用紙を使用できます。



- 使用する用紙の種類によっては印字品質が低下する場合があります。

○：使用可能 ×：使用不可

用紙の種類		給紙カセット*1	手差しトレイ	自動両面印刷*2
普通紙 L2	60 g/m ²	○	○	○
普通紙 L*3	60 g/m ² ~ 74 g/m ²	○	○	○
普通紙*3	75 g/m ² ~ 90 g/m ²	○	○	○
厚紙 1	91 g/m ² ~ 120 g/m ²	○	○	○
厚紙 2	121 g/m ² ~ 163 g/m ²	○	○	○
厚紙 3	164 g/m ² ~ 220 g/m ²	○*4	○	×
厚紙 4	221 g/m ² ~ 256 g/m ²	○*4	○	×
厚紙 5	257 g/m ² ~ 300 g/m ²	×	○	×
コート紙 1	100 g/m ² ~ 130 g/m ²	×	○	○
コート紙 2	131 g/m ² ~ 160 g/m ²	×	○	○
コート紙 3	161 g/m ² ~ 220 g/m ²	×	○	○
ラフ紙 1	60 g/m ² ~ 74 g/m ²	○	○	○
ラフ紙 2	75 g/m ² ~ 103 g/m ²	○	○	○
ラベル用紙		○	○	×
はがき*5		×	○	×
封筒		×	○	×

*1 オプションのペーパーフィーダー PF-G/2 段カセットペディスタル・AU を含みます。

*2 用紙をセットしなおすことなく、自動で両面に印刷することができます。

*3 再生紙も使用できます。

*4 長さが 364.0 mm 以上の用紙をヨコ置きでセットする場合、199 g/m²以上の用紙は使用できません。

*5 インクジェット用の郵便はがきや郵便往復はがきは使用できません。

■ POP 印刷最適化で使用可能な用紙の種類

プリンタードライバー側で [POP 印刷最適化] の設定を行ったときに使用できる用紙の種類は以下のとおりです。



- [POP 印刷最適化] についての詳細は、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。
- [POP 印刷最適化] の設定を行ったときは、両面印刷はできません。
- ユーザー設定用紙として設定できるサイズの内用紙が使用できます。ただし、使用する用紙の幅が 199.0 mm 以下の場合、または 298.0 mm 以上の場合は、印刷の品質が低下することがあります。幅が 200.0 mm ～ 297.0 mm の用紙を使用することをおすすめします。

○：使用可能 ×：使用不可

用紙の種類 *1*2	用紙坪量	POP 印刷速度 *3	
		<モード 1>	<モード 2>
普通紙	75 g/m ² ～ 90 g/m ²	○ *4	○
厚紙 1	91 g/m ² ～ 120 g/m ²	○ *4	○
厚紙 2	121 g/m ² ～ 128 g/m ²	○ *4	○
	129 g/m ² ～ 163 g/m ²	× *5	○
コート紙 1	100 g/m ² ～ 130 g/m ²	× *6	○
コート紙 2	131 g/m ² ～ 160 g/m ²	× *6	○

*1 [POP 印刷最適化] の設定を行う場合は、使用する用紙の種類を指定する必要があります。

*2 使用できない用紙の種類を検知した場合は、エラーメッセージが表示されます。使用可能な用紙に変更してから印刷してください。

*3 設定変更などの詳細は **POP 印刷速度(P. 417)** を参照してください。

*4 使用環境によっては、印刷の品質が低下することがあります。十分な印刷結果が得られない場合は<モード 2>に設定することをおすすめします。

*5 使用環境に関係なく印字の品質が低下する場合があります。

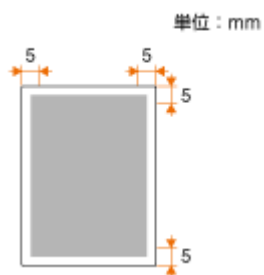
*6 <モード 1>に設定していても<モード 2>で印刷されます。

■ 用紙の種類と用紙設定

● 用紙をセットする(P. 41)

■印刷範囲

グレーで示した部分が印刷範囲です。



- 封筒 長形 3 号、封筒 洋形長 3 号の場合は上下の余白が 10 mm、左右 5 mm です。それ以外の封筒の場合は上下左右とも余白が 10 mm です。
- 幅が 312 mm 以上の用紙の場合は、左右の余白が 5 mm 以上になります。

ペーパーフィーダー PF-G

55S7-07S

用紙サイズ	<ul style="list-style-type: none">● 最大：297.0 mm × 431.8 mm● 最小：148.0 mm × 148.0 mm
用紙坪量	60 g/m ² ~ 256 g/m ²
給紙容量／給紙段数*	640 枚 (64 g/m ²) / 550 枚 (80 g/m ²) × 1
大きさ (幅×奥行×高さ)	556 mm × 585 mm × 125 mm
質量	約 10.0 kg

*設置環境や使用する用紙によって異なることがあります。

2 段カセットペディスタル・AU

55S7-07U

用紙サイズ	<ul style="list-style-type: none">● 最大：297.0 mm × 431.8 mm● 最小：148.0 mm × 148.0 mm
用紙坪量	60 g/m ² ~ 256 g/m ²
給紙容量／給紙段数*	640 枚 (64 g/m ²) / 550 枚 (80 g/m ²) × 2
大きさ (幅×奥行×高さ)	641 mm × 717 mm × 325 mm
質量	約 23.0 kg

*設置環境や使用する用紙によって異なることがあります。

環境ヒーター EH-D

55S7-07W

使用環境	<ul style="list-style-type: none">● 温度：5℃～30℃● 湿度：20%～80%（相対湿度・結露しないこと）
電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz 共通
消費電力*	約 16 W
電源コード長	約 2 m
質量	約 3.6 kg

*使用環境、使用条件によって変わる場合があります。

プリント機能

55S7-07X

■ LIPS LX プリンター機能

形式	内蔵型
プリントサイズ	🔗用紙について(P. 615)
連続印刷速度	本体の「連続印刷速度」と同じ 🔗本体(P. 612)
解像度	データ処理 600 dpi × 600 dpi
ページ記述言語	LIPS LX
内蔵フォント	なし
インターフェイス	USB USB 2.0 Hi-Speed 有線 LAN 10Base-T、100Base-TX、1000Base-T (IEEE 802.3 準拠)

■ LIPS V 機能

形式	内蔵型
プリントサイズ	🔗用紙について(P. 615)
連続印刷速度	本体の「連続印刷速度」と同じ 🔗本体(P. 612)
解像度	データ処理 600 dpi × 600 dpi
ページ記述言語	LIPS V (LIPS LX, LIPS IV, LIPS III, LIPS II+)

<p>内蔵フォント</p>	<p>和文</p> <p>平成明朝体 TMW3, 平成角ゴシック体 TMW5, 丸ゴシック体</p> <p>欧文</p> <p>Courier, Dutch, Swiss, Symbol</p> <p>その他</p> <p>ラインプリンタ, バーコード(EAN-128, CODE39, NW-7, JAN, 郵便バーコード, OCR フォント)</p>
<p>インターフェイス</p>	<p>USB</p> <p>USB 2.0 Hi-Speed</p> <p>有線 LAN</p> <p>10Base-T、100Base-TX、1000Base-T (IEEE 802.3 準拠)</p>

■メディアプリント機能

<p>印刷可能形式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● PDF (バージョン 1.7) ● JPEG ● TIFF ● XPS
---------------	--

■保存ジョブプリント機能

- 印刷データは、最大 1,000 個 (合計 3 GB) まで保存することができます。

■ダイレクトプリント機能

<p>印刷可能形式^{*1}</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● PDF (バージョン 1.7)^{*2} ● JPEG ● TIFF ● XPS
----------------------------	---

^{*1} データによっては正しく印刷されないことがあります。

^{*2} 本機で対応している PDF の暗号化アルゴリズムは、RC4 128bit/AES 128bit/AES 256bit です。



印刷できる 1 ファイルのサイズ上限は以下の通りです。

- PDF/XPS ファイル (SD カード装着時) : 2 GB
(SD カード非装着時) : 20 MB
- JPEG ファイル (SD カード装着時) : 2 GB

- (SD カード非装着時) : 2 GB
- TIFF ファイル*¹ (SD カード装着時) : 2 GB
- (SD カード非装着時) : 2 GB

*¹ TIFF ファイルの構造によっては、サイズの上限を超えていなくても印刷できないことがあります。その場合は < TIFF スプール機能 > を < ON > にして再度印刷してください。● **TIFF スプール機能(P. 463)**

■ E メール印刷機能

E メール印刷の概要

全体

- 半角カタカナは全角カタカナで印刷されます。
- Eメールの本文には、メールヘッダの情報もあわせて印刷されます。
- HTML形式のメール本文はテキスト形式で印刷されます。
- Eメール本文中で1行（改行なし）の文字数が、全角500文字（半角1,000文字）を超える場合、自動的に改行されるため、次行の文字が正しく印刷されないことがあります。

< TIFF スプール機能 > が < ON > の場合

- Eメールの本文データが25MBを超える場合、または1メールのサイズが1.5GBを超える場合、本文は印刷されません。
- Eメールのヘッダデータが20KBを超える場合、20KB以降のヘッダデータは印刷されません。
- SDカードを未装着の場合、40MBを超えるTIFFファイルは印刷されないことがあります。
- SDカードに十分な空きスペースがない場合、Eメール印刷はできません。



- トナーカートリッジが寿命に近づくと、Eメールを受信できなくなります。

対応エンコード形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 7bit ● 8bit ● binary ● uuencode ● x-uuencode ● base64 ● quoted-printable
対応文字セット*	<ul style="list-style-type: none"> ● us-ascii ● iso-2022-jp ● Shift_JIS ● SJIS ● EUC-JP ● eucJP
印刷可能な添付画像の形式	<ul style="list-style-type: none"> ● JPEG ● TIFF

*文字セットの指定がない場合は、「us-ascii」で処理されます。



添付画像について

- ファイルの構造によっては印刷できないものもあります。
- 1メールにつき3ファイルまで印刷できます（4ファイル目以降の添付ファイルは印刷されません）。
- SDカードを装着している場合、印刷可能なファイルサイズは、1ファイルあたり100MB以下です。

管理機能

55S7-098

■ ファイアウォールを設定する場合

- 指定できる IP アドレス (IP アドレスの範囲) は IPv4 と IPv6 とでそれぞれ最大 16 です。
- 指定できる MAC アドレスは最大 16 です。

■ 鍵と証明書の登録について

- 鍵や CA 証明書をパソコンからインストールする場合は、次の条件を満たしているか確認してください。

形式	CA 証明書：X.509 DER 形式/PEM 形式
ファイルの拡張子	<ul style="list-style-type: none"> ● 鍵：「.p12」、「.pfx」 ● CA 証明書：「.cer」、「.pem」
公開鍵のアルゴリズム (および鍵長)	<ul style="list-style-type: none"> ● RSA (512 ビット、1024 ビット、2048 ビット、4096 ビット) ● DSA (1024 ビット、2048 ビット、3072 ビット) ● ECDSA (P256、P384、P521)
証明書の署名アルゴリズム	<ul style="list-style-type: none"> ● RSA：SHA-1、SHA-256、SHA-384*、SHA-512*、MD2、MD5 ● DSA：SHA-1 ● ECDSA：SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512

*SHA384 および SHA512 は、RSA の鍵長が 1024 ビット以上の場合にだけ使用できます。



- 証明書失効リスト (CRL) には対応していません。

■ 「弱い暗号」の定義について

<弱い暗号の使用を禁止>を<ON>にしたとき、使用禁止の対象となるアルゴリズムは次のとおりです。

ハッシュ	MD4、MD5、SHA-1
HMAC	HMAC-MD5
共通鍵暗号	RC2、RC4、DES
公開鍵暗号	RSA 暗号 (512 ビット/1024 ビット)、RSA 署名 (512 ビット/1024 ビット)、DSA (512 ビット/1024 ビット)、DH (512 ビット/1024 ビット)



- <弱い暗号の鍵/証明書禁止>を<ON>にしても、ルート証明書の署名に使われるハッシュアルゴリズム SHA-1 は使用できます。

■ジョブ履歴の表示上限数

[プリントジョブ/ダイレクトプリント]	パソコンや USB メモリーから印刷した文書の履歴が最大 200 件まで表示されます。
[保存ジョブ]	本機に保存されている文書の印刷履歴が最大 200 件まで表示されます (SD カード装着時のみ)。
[レポート]	設定リストやレポートの印刷履歴が最大 16 件 (SD カード装着時は最大 128 件) まで表示されます。
[E メール印刷]	E メールを受信して印刷した履歴が最大 16 件 (SD カード装着時は最大 128 件) まで表示されます。

■E メール受信のエラーコードについて

エラーコードの詳細は以下のとおりです。

エラーコード	原因	処置
407	POP3 メールサーバーとの接続が切れた	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ● 同じ E メールデータの度で何度もエラーが発生する場合は、Eメールのデータが正常かどうかを確認してください。
	E メール受信時、10 分間に 1 Kbyte (1024 byte) のデータを受信できなかった	
408	POP3 メールサーバーから「ERR」の応答が返ってきた	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
412	E メール受信時、10 分間に 1 Kbyte (1024 byte) のデータを受信できなかった	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ● 同じ E メールデータの度で何度もエラーが発生する場合は、Eメールのデータが正常かどうかを確認してください。
420	Eメールのデータサイズが 1.5 GB を超えた	SD カード装着時は、送信する Eメールのデータサイズを 1.5 GB 以下にしてください。
421	Eメールの本文のサイズが 25 MB を超えた	SD カード装着時は、送信する Eメールの本文のサイズを 25 MB 以下にしてください。
422	添付ファイルのファイルサイズが 100 MB を超えた	SD カード装着時は、添付ファイルのファイルサイズを 1 ファイルあたり 100 MB 以下にしてください。
423	非サポートの形式の添付ファイルが送られてきた	印刷できる添付ファイルの形式は、JPEG または TIFF のみです。Eメールを送信するときは、他の形式のファイルは添付しないでください。
424	添付ファイルが 3 個を超えた	4 個目以降の添付ファイルは印刷されません。
430	送信者が不明の Eメールが送られてきた	Eメールを送信するときは、送信者が入力されるようにしてください。

431	分割メールを受信した	Eメールを分割しないで送信するように、次の対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> 送信するEメールの容量を減らします(分割されない容量まで減らします)。 Eメールを分割しないで送信するようアプリケーションを設定します。
	対応していないエンコードや文字コードが含まれたEメールが送られてきた	送信するEメールは、本機に対応したエンコードや文字コードにしてください。▶Eメール印刷の概要(P. 626)
	対応していない形式のEメールを受信した	Eメールの形式を確認してください。Eメールはテキスト形式で送信することをおすすめします。
432	不正なデータが送られてきた	送信したEメールのデータが正常かどうかを確認してください。
433	HTML形式のEメールが送信された	本機はHTML形式のEメールには対応していません(HTML形式のメール本文はテキスト形式で印刷されます)。
434	Eメールの本文がない	本文がないEメールを受信しました。
435	不正なファクス文書が転送されてきた	添付ファイルがTIFF形式でないか、印刷可能サイズを超えています。
436	転送されたファクス文書に添付ファイルがない	添付ファイルがないため印刷されません。
440	何らかの理由で印刷がキャンセルされた	Eメールを送りなおしてください。
441	処理中に何らかのエラーが発生した	Eメールを送りなおしてください。
499	本機に何らかのエラーが発生した	本体のディスプレイを確認して、表示されているメッセージに応じた対処をしてください。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。



- 複数のエラーが発生した場合は、番号の若いエラーコードのみが表示されます。
- エラーコードは、Eメール受信履歴リストでも確認できます。▶Eメール受信履歴リスト(P. 575)

サポート環境

55S7-099

リモート UI の使用環境 ^{*1}	<p>Windows</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows Vista / 7 / 8 / 10 : Internet Explorer 7.0 以降
ユーザズガイドの使用環境	<p>Windows</p> <ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer 9 以降 Microsoft Edge Firefox Firefox ESR Chrome^{*2} <p>macOS</p> <ul style="list-style-type: none"> Safari Firefox Chrome^{*2} <p>Linux</p> <ul style="list-style-type: none"> Firefox <p>iOS</p> <ul style="list-style-type: none"> Safari^{*2} <p>Android</p> <ul style="list-style-type: none"> Chrome^{*2}

*1 ウェブブラウザの設定で Cookie と JavaScript を利用できるようにしておいてください。

*2 インターネット上のマニュアル閲覧時のみ

ネットワーク環境

55S7-09A

■ ネットワーク仕様

インターフェイス	10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T 共用 (RJ-45)
対応プロトコル	通信プロトコル <ul style="list-style-type: none">● TCP/IP (フレームタイプ: Ethernet II) プリントアプリケーション <ul style="list-style-type: none">● LPD● Raw● IPP● IPPS● WSD● Mopria● Google Cloud Print● AirPrint● Windows10 Mobile Print

消耗品

55S7-082

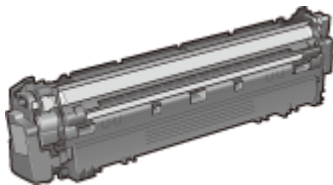
本機の消耗品やその交換目安について説明します。消耗品は、本機をお買い上げの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。消耗品のお取り扱いおよび保管に際しては、注意事項をお守りください（**●消耗品について(P. 11)**）。最適な印刷品位のため、交換用トナー、カートリッジ及びパーツは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします。



MEMO

- 本機の設置環境や印刷する用紙サイズ、原稿の種類によって、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。
- 画像の品質保持のために、環境の変化に応じて自動補正（キャリブレーション）が実行されます。また、電源を入れたときやスリープから復帰したときにも自動補正が実行される場合があります。補正実行時にはトナーカートリッジおよびドラムカートリッジを使用するため、寿命に影響することがあります。
- 白黒印刷時にもカラー用のトナーカートリッジおよびドラムカートリッジの寿命に影響することがあります。白黒印刷を多用すると、カラー用のトナーカートリッジ各色およびドラムカートリッジ各色の印字可能枚数が少なくなる場合があります。

■ トナーカートリッジ



付属のトナーカートリッジ

付属のトナーカートリッジの平均印字可能枚数*および質量は、次のとおりです。

* 国際標準化機構（International Organization for Standardization）により発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準（ISO/IEC 19798）に準拠し、A4 サイズの普通紙を使用、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合の枚数です。

■ LBP853Ci

- ブラック
 - 平均印字可能枚数
15,000 枚
 - 質量
約 1.1 kg
- イエロー、マゼンタ、シアン
 - 平均印字可能枚数
13,000 枚
 - 質量
約 1.0 kg

■ LBP852Ci / LBP851C

- ブラック

- 平均印字可能枚数
7,000 枚
- 質量
約 1.1 kg
- イエロー、マゼンタ、シアン
 - 平均印字可能枚数
5,000 枚
 - 質量
約 1.0 kg

交換用のトナーカートリッジ

最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。

■ LBP853Ci

キヤノン純正トナーカートリッジ	平均印字可能枚数* および質量
Canon Toner Cartridge 053 H Black (キヤノン トナーカートリッジ 053 H ブラック)	平均印字可能枚数
	33,000 枚
	質量
	約 1.5 kg
Canon Toner Cartridge 053 H Yellow (キヤノン トナーカートリッジ 053 H イエロー) Canon Toner Cartridge 053 H Magenta (キヤノン トナーカートリッジ 053 H マゼンタ) Canon Toner Cartridge 053 H Cyan (キヤノン トナーカートリッジ 053 H シアン)	平均印字可能枚数
	32,000 枚
	質量
	約 1.4 kg

■ LBP852Ci / LBP851C

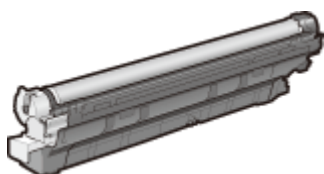
キヤノン純正トナーカートリッジ	平均印字可能枚数* および質量
Canon Toner Cartridge 059 Black (キヤノン トナーカートリッジ 059 ブラック)	平均印字可能枚数
	7,000 枚
	質量
	約 1.1 kg
Canon Toner Cartridge 059 Yellow (キヤノン トナーカートリッジ 059 イエロー) Canon Toner Cartridge 059 Magenta (キヤノン トナーカートリッジ 059 マゼンタ) Canon Toner Cartridge 059 Cyan (キヤノン トナーカートリッジ 059 シアン)	平均印字可能枚数
	5,000 枚
	質量
	約 1.0 kg
Canon Toner Cartridge 059 H Black (キヤノン トナーカートリッジ 059 H ブラック)	平均印字可能枚数
	15,500 枚

	質量 約 1.2 kg
Canon Toner Cartridge 059 H Yellow (キヤノントナーカートリッジ 059 H イエロー) Canon Toner Cartridge 059 H Magenta (キヤノントナーカートリッジ 059 H マゼンタ) Canon Toner Cartridge 059 H Cyan (キヤノントナーカートリッジ 059 H シアン)	平均印字可能枚数 13,500 枚 質量 約 1.1 kg



- トナーカートリッジを交換するとき **▶ トナーカートリッジを交換する(P. 541)**

■ ドラムカートリッジ



付属のドラムカートリッジ

付属のドラムカートリッジの平均印字可能枚数および質量は次のとおりです。

- 平均印字可能枚数*
70,000 枚
- 質量
約 0.6 kg

* 印刷可能枚数は、弊社評価基準において、A4 普通紙を 3 枚ずつ間隔をあけて（3 枚間欠）印刷した場合です。

交換用のドラムカートリッジ

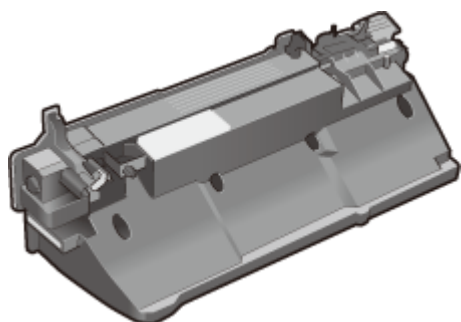
最適な印刷品位のため、交換用ドラムカートリッジは、キヤノン純正ドラムカートリッジのご使用をおすすめします。

キヤノン純正ドラムカートリッジ	平均印字可能枚数* および質量
Canon Drum Cartridge 053 (キヤノンドラムカートリッジ 053)	平均印字可能枚数 70,000 枚 質量 約 0.6 kg



- ドラムカートリッジを交換するとき **▶ ドラムカートリッジを交換する(P. 549)**

■回収トナー BOX WT-C1



回収トナー容器の平均印字可能枚数は、約 100,000 枚（A4 普通紙）です。



- 回収トナー容器を交換するとき  回収トナー容器を交換する(P. 554)

消耗部品

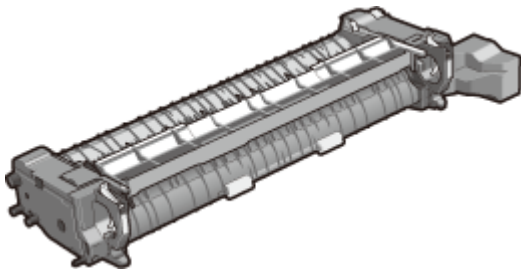
55S7-083

本機の消耗部品やその交換目安について説明します。消耗部品は、本機をお買い上げの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。



- 本機の設置環境や印刷する用紙サイズ、原稿の種類によって、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

■ 定着器 Fuser Kit UM-B1



平均印字可能枚数

定着器の平均印字可能枚数は、150,000 枚です。

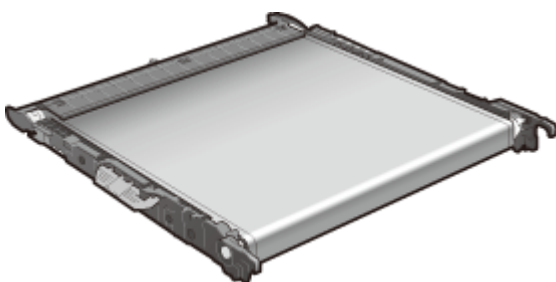
定着器の交換方法

定着器の交換方法を知りたいときは、次のアイコンをクリックしてください。



- 専門の担当サービスによる交換をご要望の場合は、本機をお買い求めの販売店などへ依頼してください。（部品代と技術料、訪問料金が別途必要となります。）

■ ITB ユニット ITB Kit UM-C1



平均印字可能枚数

ITB ユニットの平均印字可能枚数は、150,000 枚です。

ITB ユニットの交換方法

ITB ユニットの交換方法を知りたいときは、次のアイコンをクリックしてください。



- 専門の担当サービスによる交換をご要望の場合は、本機をお買い求めの販売店などへ依頼してください。（部品代と技術料、訪問料金が別途必要となります。）

オプションについて

55S7-084

本機にオプションを装着することで、より多くの機能が使えるようになります。

■どんなオプションがあるか知りたい

- ▶オプション機器について(P. 640)

■目的別にオプション機器を探したい

給紙カセットを追加したい

- ▶ペーパーフィーダー PF-G(P. 640)
- ▶2段カセットペディスタル・AU(P. 640)

湿度の高い環境に設置するとき

- ▶環境ヒーター EH-D(P. 641)

オプション機器について

55S7-085

本機の機能を十分にご活用いただくために、次のようなオプション機器を用意しています。オプション機器は、本機をお買い上げの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。

- ペーパーフィーダー PF-G(P. 640)
- 2 段カセットペディスタル・AU(P. 640)
- 環境ヒーター EH-D(P. 641)

ペーパーフィーダー PF-G



オプションのペーパーフィーダーを取り付けると、本体標準の給紙カセットとは異なるサイズの内紙をセットできるので、用紙交換の手間を軽減できます。

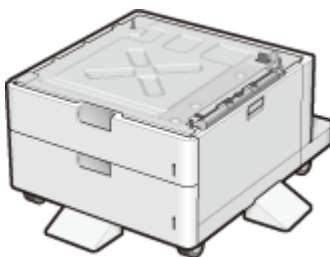


- ペーパーフィーダーは、3 台まで取り付けることができます。オプションの 2 段カセットペディスタルを使用する場合は、2 台まで取り付けが可能です。

取り付け方法

「はじめにお読みください」を参照してください。

2 段カセットペディスタル・AU



オプションの 2 段カセットペディスタルを取り付けると、本体標準の給紙カセットとは異なるサイズの内紙を 2 種類セットできるので、用紙交換の手間を軽減できます。

取り付け方法

「はじめにお読みください」を参照してください。

環境ヒーター EH-D



用紙の吸湿を低減させるためのヒーターです（本体とは別に電源が必要となります）。

取り付け方法

環境ヒーターの設置および設定方法を知りたいときは、次のアイコンをクリックしてください。



- ペーパーフィーダー PF-G、または2段カセットペディスタル・AU 装着時は、環境ヒーター EH-D は使用できません。

システムオプションについて

55S7-086

本機の機能を十分にご活用いただくために、次のようなオプション機器を用意しています。オプション機器は、本機をお買い上げの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。

- ▶ **コントロール ROM CR-HIY(P. 642)**
- ▶ **SD カード C(P. 642)**

コントロール ROM CR-HIY



コントロール ROM を取り付けると、エミュレーションモードが追加され、お使いのパソコンに対応した専用プリンターのように本機を動作させることができます。コントロール ROM には、次のエミュレーションモードが収録されています。

- PC-PR201/80A プリンターエミュレーション (拡張 N201)
- ESC/P 準拠プリンターエミュレーション (拡張 ESC/P)
- IBM5577 プリンターエミュレーション
- HP-7550B (HP-GL) プロッタエミュレーション
- HP Designjet 800 (HP-GL/2) プリンターエミュレーション

エミュレーションモードの詳細については、オンラインマニュアルサイトからエミュレーションガイド (PDF マニュアル) を参照してください。

取り付け方法

- ▶ **ROM を取り付ける(P. 644)**



- コントロール ROM は、1 個のみ取り付けることができます。

SD カード C



SD カードを取り付けると、以下の機能が使えるようになります。

- セキュアプリント
 - ▶ **暗証番号を入力して印刷する (セキュアプリント) (P. 101)**
- 保存ジョブプリント
 - ▶ **文書を本機に保存して印刷する (保存ジョブプリント) (P. 105)**
- 割り込み印刷
- 印刷データの追い越し、一時停止／再開
 - ▶ **印刷文書の状況を確認する(P. 317)**
- SMB 印刷
 - ▶ **SMB の設定をする(P. 216)**
- スプール機能
 - ▶ **スプール機能(P. 368)**

取り付け方法

🔴SDカードを取り付ける(P. 648)

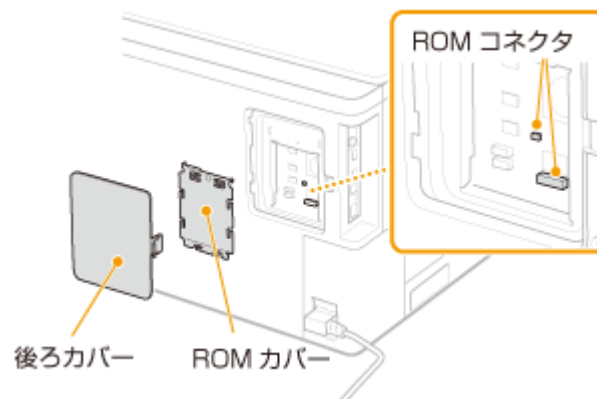


- SDカードを廃棄するときは、＜廃棄時消去＞を行ってデータを消去するか、物理的に破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。🔴SDカードを取り付ける(P. 648)

ROM を取り付ける

55S7-087

コントロール ROM を本機に取り付ける方法について説明します。ROM は本体背面の後ろカバー内にある ROM コネクタに取り付けます。作業を始める前に、**●設置について(P. 3)**の注意事項をお読みください。



取り付け時に次のことは行わない

- ネジなどの金属が基盤に触れないように作業してください。故障の原因となることがあります。
- 内部の部品、プリント配線、コネクタ、スイッチには触らないでください。故障の原因になることがあります。
- ROM カバーを開けたままで電源を入れないでください。故障の原因となることがあります。

静電気に注意する

ROM には、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、次のことをお守りください。

- 一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
- 作業中にディスプレイなど静電気を発生しやすいものに触れないでください。
- 静電気の影響を避けるために、ROM は取り付ける直前まで梱包材から取り出さないでください。

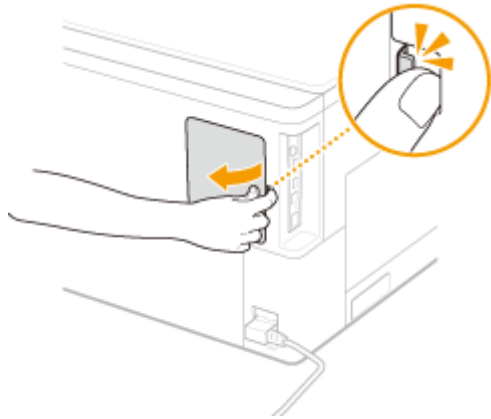
1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く



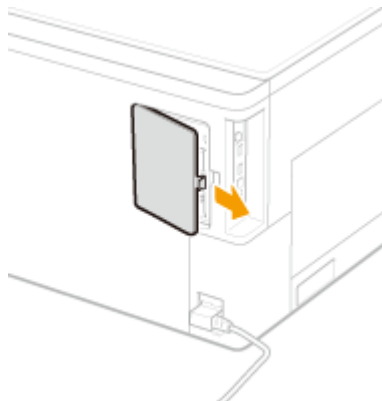
- 電源を切るときは電源スイッチは使わずに、操作パネルからシャットダウンの操作で切ります。**●電源を切る(シャットダウンする) (P. 37)**

2 後ろカバーを取り外す

- 1 ツメを押しながら、手前に少し開ける

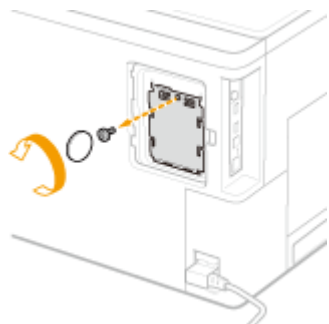


2 矢印の方向に取り外す

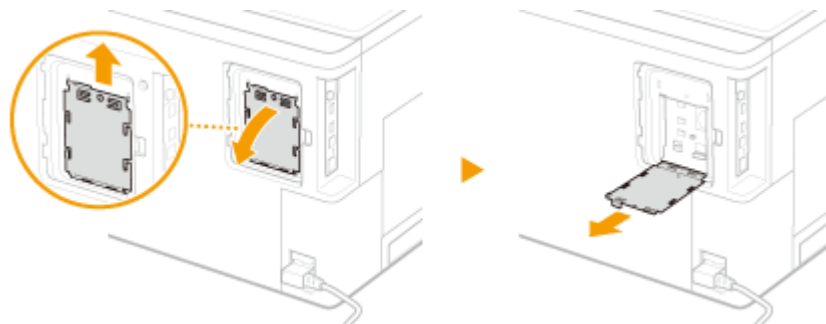


3 ROM カバーを取り外す

1 コインなどを使ってネジを取り外す

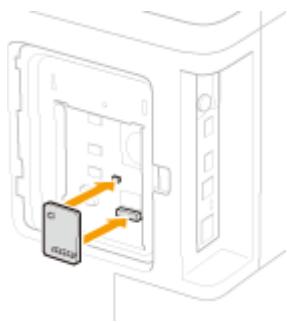


2 ROM カバーを開け、矢印の方向に取り外す



4 ROM を取り付ける

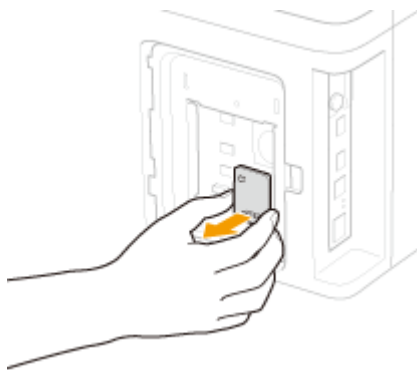
- 2 箇所の ROM コネクタに合わせて、奥までしっかりと押し込みます。



MEMO

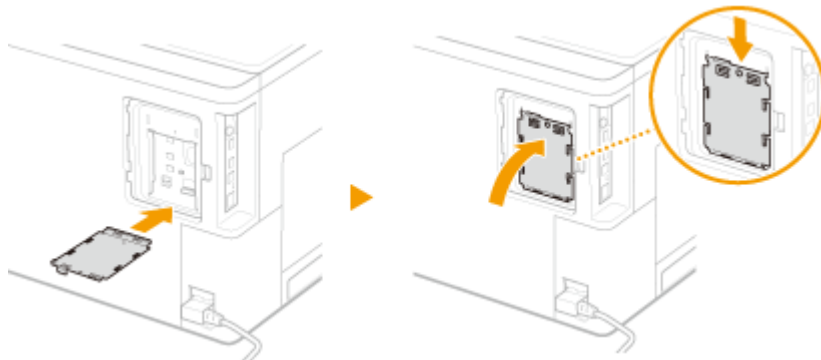
ROM を取り外すとき

- 図のように ROM の端を持って引き抜きます。

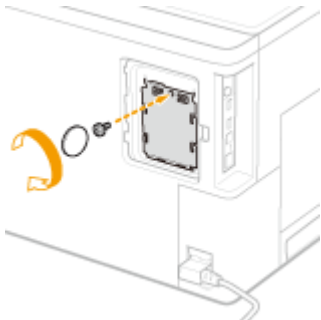


5 ROM カバーを取り付ける

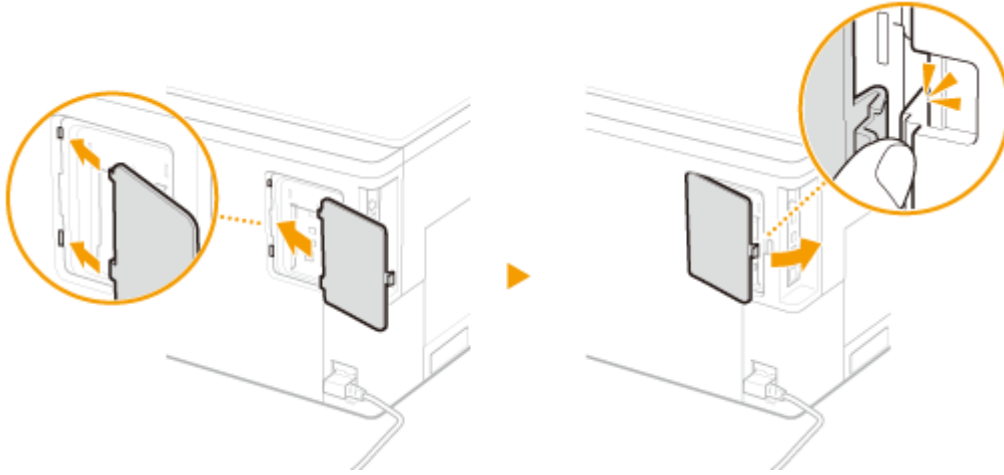
- 1 矢印の方向に ROM カバーのツメを差し込んで、閉める




- 2 コインなどを使ってネジを取り付ける




- 6 矢印の方向に後ろカバーを差し込んで、ツメを押しながら閉める



 **MEMO**

- SD カードも同時に設置するときは、 SD カードを取り付ける(P. 648) に進んでください。

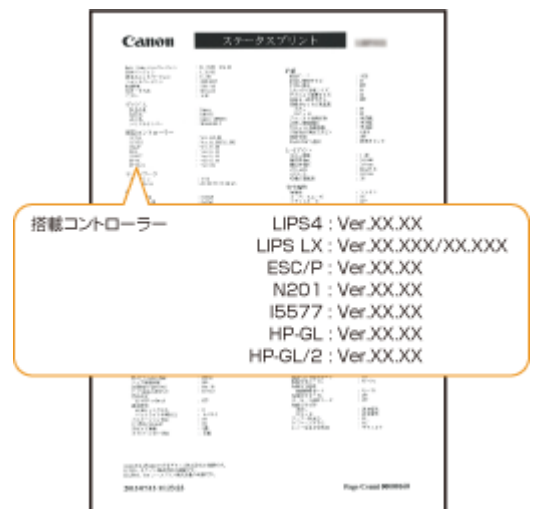
■ ROM が正しく取り付けられていることを確認する

 **共通ステータスプリント(P. 500)** を印刷し、「搭載コントローラー」にコントロール ROM のエミュレーション（「N201」など）が表示されていることを確認します。コントロール ROM のエミュレーションが表示されていれば、ROM は正しく取り付けられています。

 **MEMO**

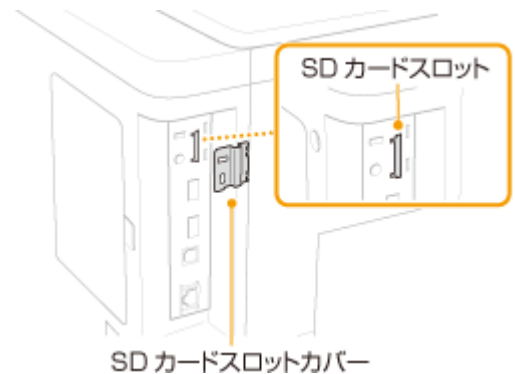
コントロール ROM のエミュレーションが表示されないとき

- ROM が正しく取り付けられていません。一度 ROM を取り外してから、取り付けなおしてください。



SD カードを取り付ける

SD カードの取り付けかたや初期化の方法などについて説明します。SD カードは本体左側面の SD カードスロットに取り付けます。作業を始める前に、**●設置について(P. 3)** の注意事項をお読みください。なお、本機から SD カード内に保存されるデータはすべて暗号化されます。これにより、パソコンなどに SD カードを接続してもデータを解読されることがないので、安心してお使いいただけます。



MEMO

- 取り付ける前に、SD カードが書き込み禁止になっていないか確認してください。書き込み禁止の場合は、ロックを解除してから取り付けてください。

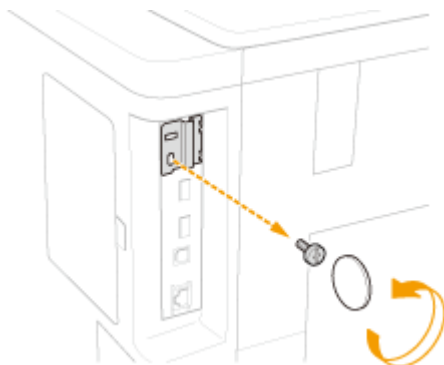
1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く



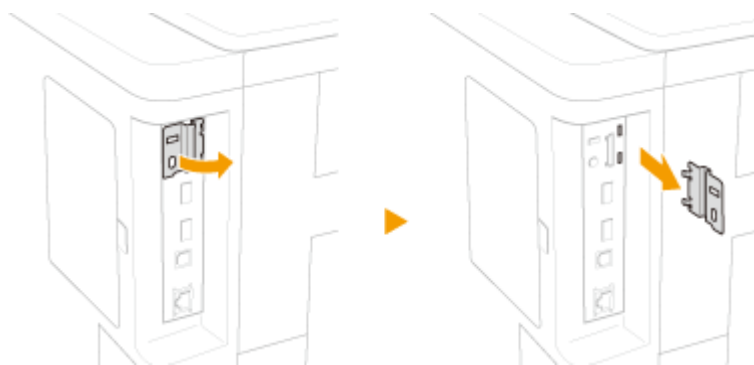
- 電源を切るときは電源スイッチは使わずに、操作パネルからシャットダウンの操作で切ります。**●電源を切る(シャットダウンする) (P. 37)**

2 SD カードスロットカバーを取り外す

1 コインなどを使ってネジを取り外す

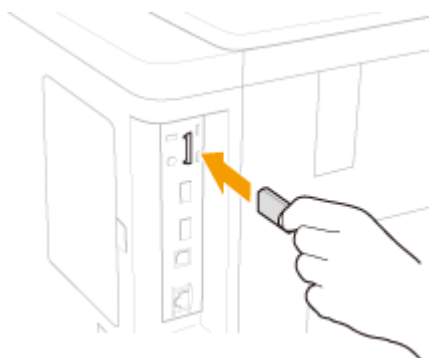


2 SD カードスロットカバーを開け、矢印の方向に取り外す



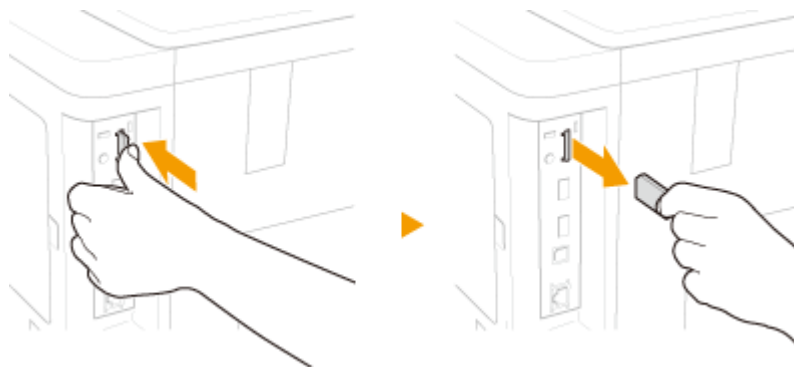
3 SDカードを取り付ける

- SDカードスロットにカチッと音がするまで差し込みます。



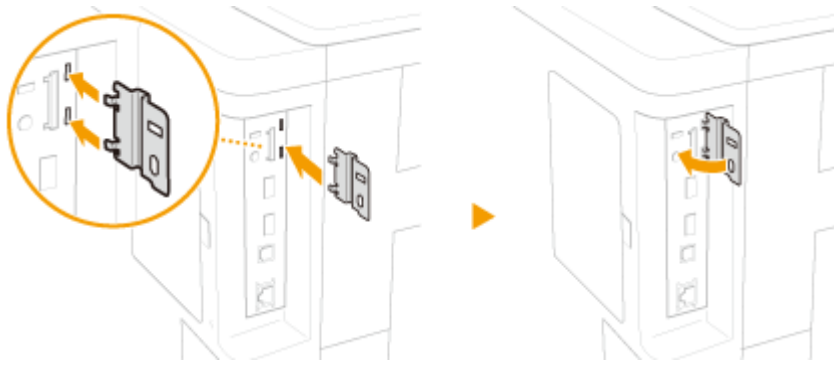
SDカードを取り外すとき

- カチッと音がするまで図のようにSDカードを押し込んでから、指を離して取り外します。

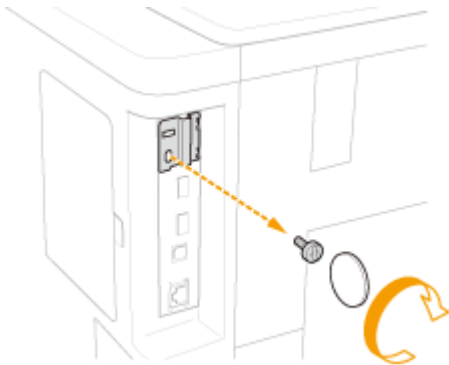


4 SDカードスロットカバーを取り付ける

- 1 SDカードスロットカバーのツメを差し込んで、閉める



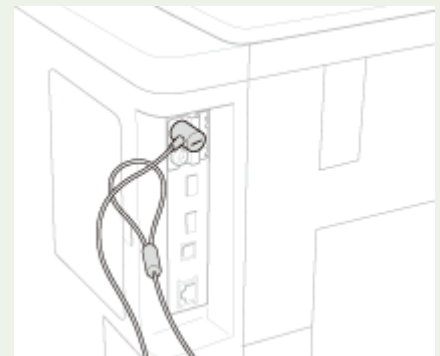
2 コインなどを使ってネジを取り付ける



MEMO

SD カード盗難防止用セキュリティスロットについて

- SD カードスロットカバーにはセキュリティスロットがあり、セキュリティワイヤーなどを取り付けることができます。
- セキュリティスロットの穴寸法は幅 3.4 mm、高さ 7.4 mm です。
- セキュリティスロットに関するお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。



■ SD カードを初期化する

SD カードの取り付け後に初めて電源を入れると、ディスプレイに「Format SD Card?」が表示されます。OK を押すと、SD カードを初期化します。初期化が完了すると、SD カードが使用できる状態になります。

Format SD Card?

OK Key: Yes
Back Key: No

MEMO

< Format SD Card? >が表示されないとき

- 操作パネルの設定メニューにある「SD カードメンテナンス」の「フォーマット」で SD カードを初期化してください。▶SD カードメンテナンス(P. 405)

■SDカードが正しく取り付けられていることを確認する

▶共通ステータスプリント(P. 573)を印刷し、「拡張機能グループ」の「SDカードの使用」が「ON」になっていれば、SDカードは正しく取り付けられています。



「SDカード」が表示されないとき

- SDカードが正しく取り付けられていません。一度SDカードを取り外してから、取り付けなおしてください。



■SDカードの情報を設定する

プリンタードライバーをインストールしたあとにSDカードを追加したときは、プリンタードライバーでSDカードの情報を設定する必要があります。▶オプション品を使うときは(P. 78)

■SDカードのデータをすべて消去する

SDカードを廃棄する前に、SDカード内のデータをすべて消去することができます。通常では消すことができないデータの断片まで消去するので、第三者にデータを読み取られる心配がなく、安全に廃棄することができます。



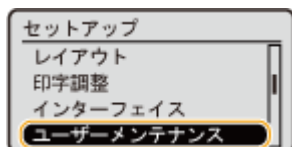
- オプションの「SDカードC」以外のSDカードでは、この機能を使うことはできません。

1 オフラインにする

- (オンライン) が点灯しているときに、 (オンライン) を押します。

2 ▶ (セットアップ) を押す

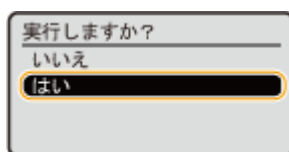
3 ▲ / ▼ で<ユーザーメンテナンス>を選び、OK を押す



4 <SDカードメンテナンス> ▶ <廃棄時消去>の順に進む

- メッセージが表示されたら、OK を押します。

5 <はい>を選び、を押す



⇒ 本機が再起動します。その後、電源が自動的に切れます。






- <廃棄時消去>を行うと、<SDカードの使用>が<OFF>になります。

マニュアルの種類と内容

55S7-089

本機では、次のマニュアルを提供しています。目的と用途に合わせてお使いください。

はじめにお読みください		はじめにこのマニュアルをお読みください。本機の設置手順を説明しています。 
ユーザーズガイド（本マニュアル）		ウェブブラウザを使って閲覧するマニュアルで、本機のすべての機能を説明しています。使用目的から調べたり、キーワードを入力して目的のページを検索したりできます。▶ ユーザーズガイドの使いかた(P. 654)

ユーザーズガイドの使いかた

55S7-08A

ユーザーズガイドはパソコンやモバイル機器で見るマニュアルで、本機のすべての機能が掲載されています。使用目的から調べることができ、キーワードを入力して目的のページをすばやく検索することもできます。ここでは、ユーザーズガイドの画面構成や読みかたについて説明します。また、ユーザーズガイドの表示を設定することもできます。

■ユーザーズガイドの画面構成

ユーザーズガイドを構成する画面や配置されているボタンなどの使いかたについて説明します。▶[ユーザーズガイドの画面構成\(P. 655\)](#)

■ユーザーズガイドの読みかた

ユーザーズガイドで使われているマークの意味や、操作パネル上のキーやパソコン画面上のボタンをどのように表記しているかなど、ユーザーズガイドをお読みになるうえで知っておいていただきたいことがらについて説明します。▶[ユーザーズガイドの読みかた\(P. 658\)](#)

■ユーザーズガイドの表示を設定する

ユーザーズガイドの文字サイズを変更したり、ユーザーズガイドを表示する機器に合わせた画面レイアウトに切り替えたりすることができます。



- PDF 形式のマニュアルを見るとき、Adobe Reader が使用できない場合は、Vivid Document Imaging Technologies 社製の PDF Preview などをお使いください。



探したい内容を見つける

もくじから探す

- 画面左に配置されている「もくじ」から項目を選ぶことで目的のページを探します。

検索して探す

- 「印刷設定」、「トナーカートリッジ」のようなキーワードを入力して検索すると、それを含むページが候補として表示されますので、その中から目的のページを探します。「ネットワークに接続」のような文章をキーワードとすることもできます。また、複数のキーワードをスペース（空白）で区切る AND 検索にも対応しています。検索画面の内容や操作方法については、▶[検索\(P. 656\)](#) を参照してください。

ユーザーズガイドの画面構成

55S7-08F

ユーザーズガイドはいくつかの画面に分かれていて、それぞれ内容が異なります。

トップページ

ユーザーズガイドを起動すると最初に表示されるページです。



■をクリックすると、章の下にある項目もすべて表示されます。■をクリックすると元の表示に戻ります。



クリックすると、もくじと検索の表示を切り替えることができます。もくじ表示中に ≡、検索表示中に 🔍 を連続してクリックすると、表示／非表示が切り替わります。



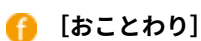
文字サイズやレイアウトなど、ユーザーズガイドの表示方法を設定できます。



ユーザーズガイドの見かたや検索のしかたなどが記載されています。



クリックすると、前後のページを表示します。



本機の使用にあたり、注意していただきたいことが記載されています。

本文ページ

機能の使いかたや設定方法が説明されています。



a ナビゲーション

どの章のどの項目を見ているのかを確認することができます。

b

クリックすると、該当するページにジャンプします。元に戻るときはウェブブラウザの [戻る] ボタンをクリックします。

c

▼ をクリックすると、隠れていた詳細説明が表示されます。▶ をクリックすると表示が閉じます。

d

現在表示しているページの先頭に戻ります。

検索

🔍 をクリックすると検索画面が表示されます。キーワード検索を利用して目的のページを探すときに使います。



a [キーワードを入力]

キーワードを入力して **Q** をクリックすると、検索結果が表示されます。複数のキーワードをスペース（空白）で区切ると、すべてのキーワードを含むページが検索できます。また、キーワードをダブルクォーテーションで囲むと完全に一致するページのみを検索できます。

b 検索結果

指定したキーワードを含むすべてのページが表示されますので、この中から目的のページを探し、項目名をクリックします。



- 指定したキーワードは、検索結果に太字で表示されます。

ユーザーズガイドの読みかた

55S7-08H

ユーザーズガイドで使われるマークやボタン、画面などについて説明します。なお、警告事項や注意事項については、本製品に同梱されている「はじめにお読みください」の「安全にお使いいただくために」にも掲載されています。あわせてご確認ください。

マークについて

安全上のご注意、取り扱い上の制限／注意、知っておくと便利なこと、などにはマークがついています。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



ご注意

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。



MEMO

操作の参考となることや補足説明が書かれています。



知っておくと便利な機能や、使いかたのヒントなどを記載しています。

キーについて


操作パネル上のキーやパソコン画面上のボタンなどを次のように表記しています。

種類	ユーザーズガイドでの表記例
操作パネル上のキー	 (セットアップ)
操作パネル上のディスプレイ	<タイマー設定> <用紙が足りなくなりました。>
パソコン画面上のボタンなど	[詳細設定]

▲／▼について

▲／▼は、設定などで目的の項目を選ぶときに使いますが、記載はそのページで初めて出てきた箇所でのみ記載し、2回目以降は省略しています。例では、手順2でのみ記載し、手順3では記載していません。

記載例：

- 1 ▶ (セットアップ) を押す
- 2 ▲ / ▼ で <ネットワーク> を選び、 を押す
- 3 < TCP/IP 設定 > ▶ < IPv4 設定 > ▶ < IP アドレス設定 > の順に進む

パソコンの画面について

ユーザーズガイドで使われているイラストは特に断りがないかぎり LBP853Ci のものを掲載しています。お使いの機種や OS によっては、掲載している画面内容と一部異なる場合があります。また、ドライバーやソフトウェアはバージョンアップによって画面内容が変更されている場合があります。

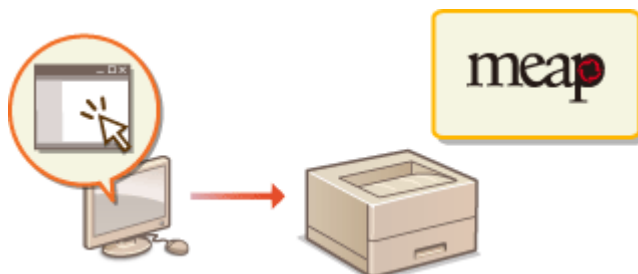
イラストについて

ユーザーズガイドで使われているイラストは特に断りがないかぎり LBP853Ci のものを掲載しています。ただし、機種によって違いがある場合は複数掲載し、「LBPXXXX / LBPXXXX」のように機種名も表示しています。また、トナーカートリッジのイラストは、Canon Toner Cartridge 053 H のものを掲載しています。

MEAP アプリケーションを管理する

55S7-08K

本機に MEAP アプリケーション（機能拡張ソフトウェア）をインストールし、さまざまな機能を追加することができます。たとえば、IC カードによる認証システムや、ログによる出力管理など、お客様のニーズに応じてカスタマイズが可能です。MEAP アプリケーションを管理するときはウェブブラウザを使ってパソコンから本機にアクセスします。詳しくは、**MEAP アプリケーション管理機能ガイド** を参照してください。



FTP クライアントを使用する

55S7-08L

FTP クライアントを使用して本機の FTP サーバーにアクセスし、文書の印刷やネットワークなどの設定を行うことができます。印刷も設定も OS に標準で搭載されているコマンドプロンプトで操作できるので、専用のドライバーやアプリケーションは必要ありません。



FTP サーバーの準備をする

本機と FTP クライアントが通信できるように設定します。▶[FTP サーバーの準備をする \(P. 662\)](#)

FTP クライアントを使用して印刷する (FTP 印刷)

本機へ FTP 経由で送信した文書を印刷します。▶[FTP クライアントを使用して印刷する \(FTP 印刷\) \(P. 665\)](#)

FTP クライアントを使用して設定する

本機の設定をテキスト形式でダウンロードし、編集できます。▶[FTP クライアントを使用して設定する \(P. 667\)](#)

FTP サーバーの準備をする

55S7-08R

お買い上げ時は、FTP クライアントからの操作ができない設定になっていますので、操作を許可するように設定します。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 308)

2 [設定/登録] をクリックする



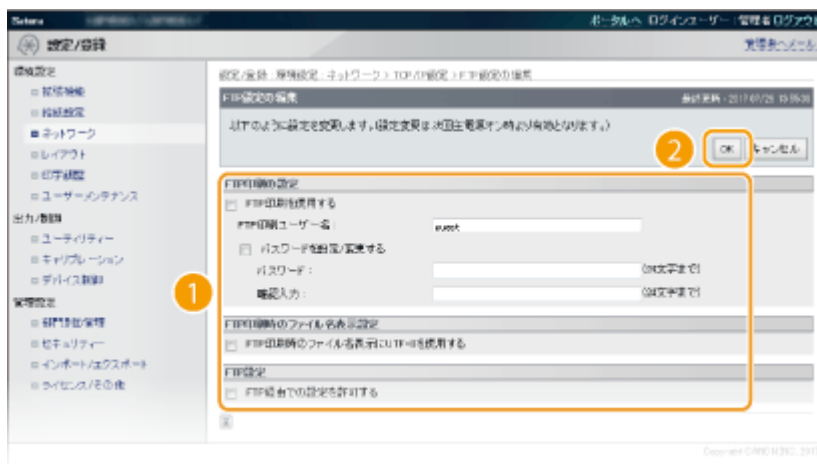
3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 [FTP 設定] にある [編集] をクリックする



5 必要な項目を設定し、[OK] をクリックする



[FTP印刷を使用する]

FTPクライアントを使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[FTP印刷ユーザー名]

FTP印刷をするときにFTPサーバーにログインするためのユーザー名を半角英数字で入力します。



- ユーザー名を「root」に設定することはできません。

[パスワードを設定/変更する]

FTP印刷パスワードを設定するときはチェックマークを付け、[パスワード]と[確認入力]の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。



- [パスワードを設定/変更する]にチェックマークを付け、[パスワード]と[確認入力]が空欄の状態では[OK]をクリックすると、パスワードは消去されます。

[FTP印刷時のファイル名表示にUTF-8を使用する]

印刷するファイル名の文字コードにUTF-8を使用しているときはチェックマークを付けます。

[FTP経由での設定を許可する]

FTPクライアントを使用した本機の設定変更を許可するときはチェックマークを付けます。許可しない場合はチェックマークを外してください。

6 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから FTP 印刷、FTP 設定を有効／無効に切り替えることもできます。▶ [FTP\(P. 357\)](#)



関連項目

- ▶ [FTP クライアントを使用して印刷する \(FTP 印刷\) \(P. 665\)](#)
- ▶ [FTP クライアントを使用して設定する\(P. 667\)](#)

FTP クライアントを使用して印刷する (FTP 印刷)

55S7-08S

FTP クライアントからネットワークを経由して TEXT/JPEG/TIFF 形式の文書を印刷できます。あらかじめ、本機に設定されている IP アドレスを確認してください ([▶ ネットワークステータスプリント\(P. 573\)](#))。IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 コマンドプロンプトを起動する

- [スタート] メニューから [すべてのプログラム] または [プログラム] ▶ [アクセサリ] ▶ [コマンドプロンプト] を選択します。



macOS をお使いのとき

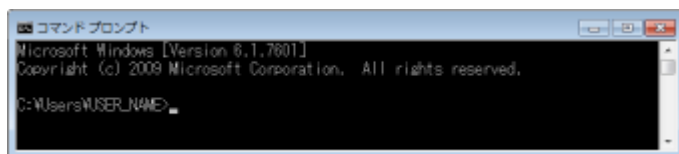
- ターミナルを起動してください。

UNIX をお使いのとき

- コンソール画面を表示してください。

2 コマンドプロンプトに表示されたディレクトリーに印刷したい文書をコピーする

- 画面の例では、C ドライブの「Users」内の「USER_NAME」フォルダーにコピーします。



3 「ftp <本機の IP アドレス>」を入力し、キーボードの [ENTER] キーを押す

- 入力例：「ftp 192.168.1.45」

4 FTP 印刷ユーザー名を入力し、[ENTER] キーを押す

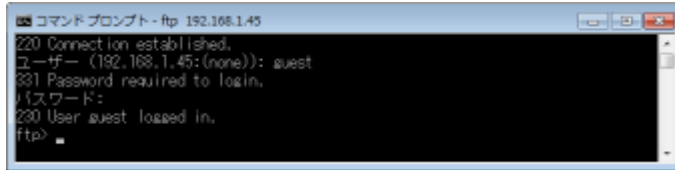
- お買い上げ時は「guest」に設定されています。



- Anonymous (アカウントのないユーザー) では、ログインできません。

5 FTP 印刷パスワードを入力し、[ENTER] キーを押す

- お買い上げ時は「7654321」に設定されています。
⇒ 「230 User < FTP 印刷ユーザー名 > logged in.」が表示されます。



```
コマンドプロンプト - ftp 192.168.1.45
220 Connection established.
ユーザー (192.168.1.45:(none)): guest
331 Password required to login.
パスワード:
230 User guest logged in.
ftp>
```

6 「bin」を入力し、[ENTER] キーを押す

⇒ 転送モードがバイナリモードに変更されます。



- TEXT 形式の文書を印刷するときもバイナリモードにする必要があります。

7 「put <印刷するファイル名>」を入力し、[ENTER] キーを押す

- 入力例：「put sample.txt」

⇒ 文書が印刷されます。

8 「quit」を入力し、[ENTER] キーを押す

9 「exit」を入力し、[ENTER] キーを押す

⇒ コマンドプロンプトが終了します。

FTP クライアントを使用して設定する

55S7-08U

FTP クライアントから TCP/IP ネットワークを経由して本機のネットワークなどの設定ができます。あらかじめ、本機に設定されている IP アドレスを確認してください（[▶ネットワークステータスプリント\(P. 573\)](#)）。IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 コマンドプロンプトを起動する

- [スタート] メニューから [すべてのプログラム] または [プログラム] ▶ [アクセサリ] ▶ [コマンドプロンプト] を選択します。



macOS をお使いのとき

- ターミナルを起動してください。

UNIX をお使いのとき

- コンソール画面を表示してください。

2 「ftp <本機の IP アドレス>」を入力し、キーボードの [ENTER] キーを押す

- 入力例：「ftp 192.168.1.45」

3 ユーザー名として「root」を入力し、[ENTER] キーを押す

4 管理者パスワードを入力し、[ENTER] キーを押す

- お買い上げ時は「7654321」に設定されています。[▶管理者パスワードを設定する\(P. 228\)](#)

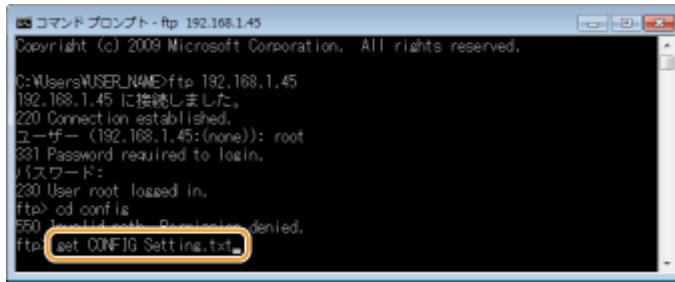
⇒「230 User root logged in.」が表示されます。

5 「cd config」を入力し、[ENTER] キーを押す

6 「get CONFIG <ファイル名>」を入力し、[ENTER] キーを押す

- 「CONFIG」はすべて大文字で入力してください。
- <ファイル名>には任意の文字を指定できます（入力例：「get CONFIG Setting.txt」）。

⇒設定ファイルがコマンドプロンプトを起動したときに表示されたディレクトリーにダウンロードされます。画面の例では、C ドライブの「Users」内の「USER_NAME」フォルダーにダウンロードされます。



7 ダウンロードした config ファイルをメモ帳などのテキストエディターで編集する

■ config ファイルの設定項目一覧

General Menu (一般設定)

項目名	設定値	お買い上げ時の設定
DEVICE_NAME (デバイス名)	文字の種類に応じて最大 128 文字	LBP853Ci / LBP852Ci / LBP851C
SYS_LOC (設置場所)	文字の種類に応じて最大 128 文字	(空欄)
SYS_CONTACT (管理者名)	文字の種類に応じて最大 128 文字	(空欄)
ROOT_PWD (管理者パスワード)	半角英数字で 16 文字以内	7654321
USER_JOB_CONT (一般ユーザーによるジョブ操作を許可する)	ON、OFF	OFF
LINK_URL1 (サポートリンク URL)	半角英数字で 512 文字以内	http://canon.jp

TCP/IP Menu (TCP/IP 設定)

項目名	設定値	お買い上げ時の設定
INT_ADDR (IP アドレス)	IP アドレス	0.0.0.0
NET_MASK (サブネットマスク)	IP アドレス	0.0.0.0
DEF_GW (ゲートウェイアドレス)	IP アドレス	0.0.0.0
DHCP_ENB (DHCP によるアドレス設定)	ON、OFF	OFF
RARP_ENB	ON、OFF	OFF

(RARP によるアドレス設定)		
BOOTP_ENB (BOOTP によるアドレス設定)	ON、OFF	OFF
DNS_PADDR (プライマリー DNS サーバーアドレス)	IP アドレス	0.0.0.0
DNS_SADDR (セカンダリー DNS サーバーアドレス)	IP アドレス	0.0.0.0
HOST_NAME (ホスト名)	半角英数字で 47 文字以内	「Canon」 + 「MAC アドレス 下 6 桁」
DOMAIN_NAME (ドメイン名)	半角英数字で 47 文字以内	(空欄)
DDNS_ENB (DNS の動的更新を行う)	ON、OFF	OFF
WINS_ENB (WINS による名前解決する)	ON、OFF	OFF
WINS_SERVER (WINS サーバーアドレス)	IP アドレス	0.0.0.0
ARP_PING_ENB (ARP/PING を使用する)	ON、OFF	OFF
LPD_ENB (LPD 印刷を使用する)	ON、OFF	ON
LPD_BANN (LPD バナーページを印刷する)	ON、OFF	OFF
RAW_ENB (RAW 印刷を使用する)	ON、OFF	ON
RAW_BIDIR_ENB (双方向通信を使用する)	ON、OFF	OFF
FTP_PRINT_ENB (FTP 印刷を使用する)	ON、OFF	OFF
FTP_PRINT_USER (FTP 印刷ユーザー名)	半角英数字で 24 文字以内	guest
FTP_PRINT_PWD (FTP 印刷パスワード)	半角英数字で 24 文字以内	7654321
BM_ENB (BMLinkS を使用する)	ON、OFF	OFF
BM_DISCOVERY_TIME (Discovery 送信間隔)	30、60、180、360、720、1440 (分)	30
BM_SET_COMPANY	文字の種類に応じて最大 256 文字	(空欄)

付録

(組織名)		
BM_SET_SECTION (支店名)	文字の種類に応じて最大 256 文字	(空欄)
BM_SET_BUILDING (ビル名)	文字の種類に応じて最大 256 文字	(空欄)
BM_SET_FLOOR (階数)	文字の種類に応じて最大 256 文字	(空欄)
BM_SET_BLOCK (ブロック名)	文字の種類に応じて最大 256 文字	(空欄)
IPP_ENB (IPP 印刷を使用する)	ON、OFF	ON
IPP_AUTH_ENB (IPP 認証を使用する)	ON、OFF	OFF
IPP_AUTH_ACCUNT1 (IPP 認証ユーザー名)	半角英数字で 24 文字以内 (IPP 認証を使用する場合は必ず入力)	guest
IPP_AUTH_PASSWD1 (IPP 認証パスワード)	半角英数字で 24 文字以内 (IPP 認証を使用する場合は必ず入力)	7654321
WSD_ENB (WSD 印刷を使用する)	ON、OFF	ON
WSD_BROWSING (WSD 参照を使用する)	ON、OFF	ON
WSD_MULTICAST_ DISCOVERY (マルチキャスト探索を使用する)	ON、OFF	ON
HTTP_ENB (HTTP を使用する)	ON、OFF	ON
SNTP_ENB (SNTP を使用する)	ON、OFF	OFF
SNTP_ADDR (NTP サーバー名)	IP アドレスまたはホスト名	(空欄)
SNTP_INTERVAL (ポーリング間隔)	1~48 (時間)	24
DISCOVERY_ENB (探索応答する)	ON、OFF	ON
DISCOVERY_SCOPE_ NAME (スコープ名)	半角英数字で 32 文字以内	default
EMAIL_PRINT_ENB (POP3 受信する)	ON、OFF	OFF

付録

EMAIL_POP_ADDR (POP3 サーバー名)	半角英数字で 48 文字以内	(空欄)
EMAIL_POP_ACCOUNT (POP3 ユーザー名)	半角英数字で 32 文字以内	(空欄)
EMAIL_POP_PASSWD (POP3 パスワード)	半角英数字で 32 文字以内	(空欄)
EMAIL_POP_INTERVAL (POP3 受信間隔)	0~90 (分)	0
EMAIL_POP_PORTNO (POP3 サーバーのポート番号)	0~65535	110
IPV4_USE (IPv4 を使用する)	ON、OFF	ON
IPV6_USE (IPv6 を使用する)	ON、OFF	OFF
IPV6_STATELESS_USE (ステートレスアドレスを使用する)	ON、OFF	ON
IPV6_MANUAL_ADDR_ USE (手動アドレスを使用する)	ON、OFF	OFF
IPV6_MANUAL_ADDR_ SET (IP アドレス)	IP アドレス	(空欄)
IPV6_MANUAL_ADDR_ PREFIX (プレフィックス長)	0~128	64
IPV6_MANUAL_ROUTER_ ADDR (デフォルトルーターアドレス)	IP アドレス	(空欄)
IPV6_DHCPV6_USE (DHCPv6 を使用する)	ON、OFF	OFF
IPV6_DNS_ADDRESS_ PRI (プライマリー DNS サーバーアドレス)	IP アドレス	(空欄)
IPV6_DNS_ADDRESS_ SEC (セカンダリー DNS サーバーアドレス)	IP アドレス	(空欄)
IPV6_DNS_NAME_ SAME_AS_IPV4 (IPv4 と同じホスト名/ドメイン名を使用する)	ON、OFF	OFF
IPV6_DNS_HOST_ NAME_V6	半角英数字で 47 文字以内	「Canon」 + 「MAC アドレス 下 6 桁」

(ホスト名)		
IPV6_DNS_DOMAIN_NAME_V6 (ドメイン名)	半角英数字で 47 文字以内	(空欄)
IPV6_DNS_DYNAMIC_SET (DNS の動的更新を行う)	ON、OFF	OFF
IPV6_DNS_STATELESS (ステートレスアドレスを登録する)	ON、OFF	OFF
IPV6_DNS_MANUAL (手動アドレスを登録する)	ON、OFF	OFF
IPV6_DNS_STATEFUL (ステートフルアドレスを登録する)	ON、OFF	OFF

SMB Server Menu (SMB 設定) (LBP853Ci / LBP852Ci)

項目名	設定値	お買い上げ時の設定
SMB_ENB (SMB を使用する)	ON、OFF	OFF
SMB_SERVER (サーバー名)	文字の種類に応じて最大 16 文字	(空欄)
SMB_WG (ワークグループ名)	文字の種類に応じて最大 16 文字	WORKGROUP
SMB_COMMENT (コメント)	文字の種類に応じて最大 192 文字	(空欄)
SMB_LM_ENB (LM アナウンスを使用する)	ON、OFF	OFF
SMB_PRINT_ENB (SMB 印刷を使用する)	ON、OFF	OFF
SMB_PRINTER (プリンター名)	文字の種類に応じて最大 13 文字	PRINTER

SNMP Menu (SNMP 設定)

項目名	設定値	お買い上げ時の設定
SNMP_V1_ENB (SNMPv1 を使用する)	ON、OFF	ON

SNMP_COMMUNITY1_ENB (コミュニティー名 1 を使用する)	ON、OFF	ON
SNMP_COMMUNITY1_ACCESS (MIB アクセス権限)	RW (読込/書込)、RO (読込のみ)	RO
SNMP_COMMUNITY1_NAME (コミュニティー名 1)	半角英数字で 32 文字以内	public
SNMP_COMMUNITY2_ENB (コミュニティー名 2 を使用する)	ON、OFF	OFF
SNMP_COMMUNITY2_ACCESS (MIB アクセス権限)	RW (読込/書込)、RO (読込のみ)	RO
SNMP_COMMUNITY2_NAME (コミュニティー名 2)	半角英数字で 32 文字以内	public2
SNMP_V3_ENB (SNMPv3 を使用する)	ON、OFF	OFF
SNMP_GET_PRT_MNG_INFO (ホストからプリンター管理情報を取得する)	ON、OFF	OFF

SPOOLER Menu (スプール設定)

項目名	設定値	お買い上げ時の設定
SPOOL_ENB (スプール機能を使用する)	ON、OFF	OFF

START TIMER Menu (起動時の接続待機時間設定)

項目名	設定値	お買い上げ時の設定
STRT_DELAY_TIME (起動時の接続待機時間)	0~300 (秒)	0

RUI Menu (リモート UI 設定)

項目名	設定値	お買い上げ時の設定
RUI_ENB	ON、OFF	ON

(リモート UI 使用)		
--------------	--	--

8 「put <ファイル名> CONFIG」を入力し、[ENTER] キーを押す

- <ファイル名>には編集したファイル名を指定します（入力例：「put Setting.txt CONFIG」）。
⇒ 設定ファイルがアップロードされます。

9 「get reset」を入力し、[ENTER] キーを押す

- ⇒ 本機が再起動します。再起動後に設定が有効となります。

10 本機の再起動を確認したら、キーボードの [CTRL] キーを押しながら [C] キーを押す

11 「quit」を入力し、[ENTER] キーを押す

12 「exit」を入力し、[ENTER] キーを押す

- ⇒ コマンドプロンプトが終了します。



関連項目

- ネットワーク(P. 353)

その他

55S7-08W

Windows の基本操作、免責事項や著作権などについて記載しています。また、設定メニューを一覧形式でまとめたメニュールートマップ (PDF ファイル) もここから表示できます。

Windows の基本操作

55S7-08X

- ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 676)
- ▶ [ネットワーク探索] を有効にする(P. 676)
- ▶ プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法(P. 677)
- ▶ [ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面の表示方法(P. 678)
- ▶ Windows のテストページの印刷方法(P. 678)
- ▶ プロセッサバージョンの確認方法(P. 679)
- ▶ コンピューター名の確認方法(P. 680)
- ▶ プリンターポートの確認方法(P. 681)
- ▶ 双方向通信の確認方法(P. 682)
- ▶ Windows ストアアプリから印刷するときは(P. 683)



- お使いのパソコンによっては操作が異なる場合があります。

■ プリンターフォルダーの表示方法

Windows Vista

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [プリンタ] をクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2

[スタート] ▶ [デバイスとプリンター] を選びます。


Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [デバイスとプリンターの表示] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [デバイスとプリンターの表示] を選びます。


Windows 10

[] ▶ [Windows システム ツール] ▶ [コントロールパネル] ▶ [ハードウェアとサウンド] ▶ [デバイスとプリンター] を選びます。

Windows Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [プリンタ] をダブルクリックします。

Windows Server 2016

[] を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [ハードウェア] ▶ [デバイスとプリンター] を選びます。

■ [ネットワーク探索] を有効にする

ネットワーク上のパソコンを確認するときは、[ネットワーク探索] を有効に設定してください。

Windows Vista

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 7/Server 2008 R2

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。


Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。


Windows 10

[

Windows Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] を選ぶ ▶ [ネットワークと共有センター] をダブルクリック ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows Server 2016

[

■ プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法

1 エクスプローラーを表示する

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [すべてのプログラム] または [プログラム] ▶ [アクセサリ] ▶ [エクスプローラ] を選びます。


Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [エクスプローラー] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

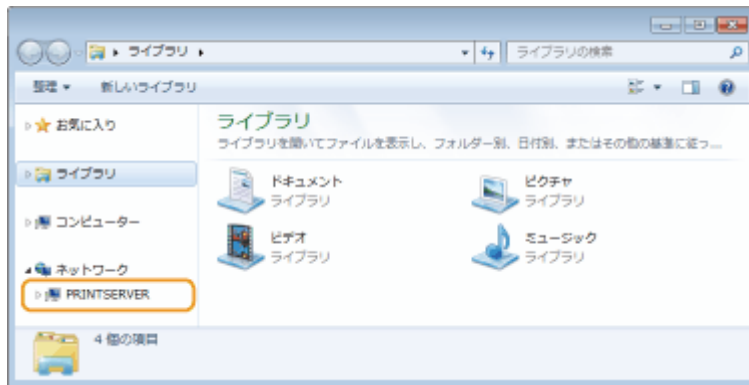
[スタート] を右クリック ▶ [エクスプローラー] を選びます。

Windows 10/Server 2016

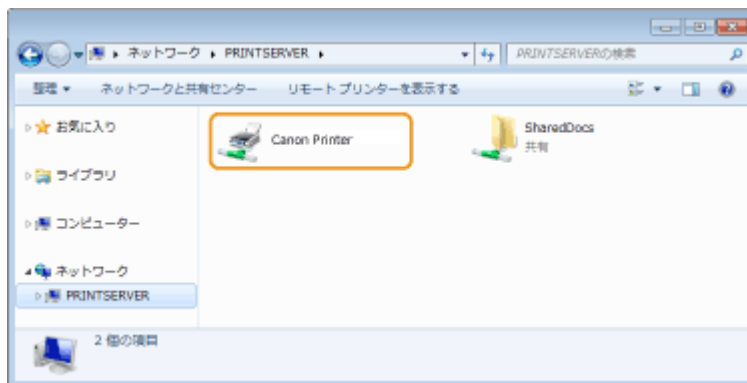
[

2 [ネットワーク] または [マイネットワーク] からプリントサーバーを選ぶ

- ネットワーク上のパソコンを確認するには、ネットワーク探索を有効にしたり、ネットワーク上でパソコンを検索したりする必要がある場合があります。



⇒⇒⇒ 共有プリンターが表示されます。



■ [ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面の表示方法

CD-ROM/DVD-ROM をセットしても、[ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面が表示されないときは、次の操作を行ってください。ここでは CD-ROM/DVD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM/DVD-ROM ドライブ名は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [プログラムとファイルの検索] または [検索の開始] に「D:\MInst.exe」と入力 ▶ キーボードの [ENTER] キーを押します。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [ファイル名を指定して実行] ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ [OK] をクリックします。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [ファイル名を指定して実行] ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ [OK] をクリックします。

Windows 10

[ここに入力して検索] をクリック ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ 検索結果に表示された [D:\MInst.exe] をクリックします。

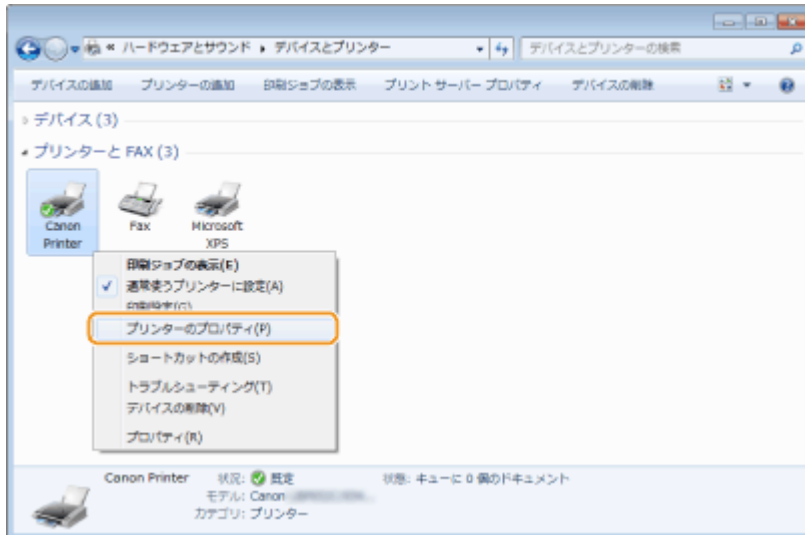
Windows Server 2016

[🔍] をクリック ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ 検索結果に表示された [D:\MInst.exe] をクリックします。

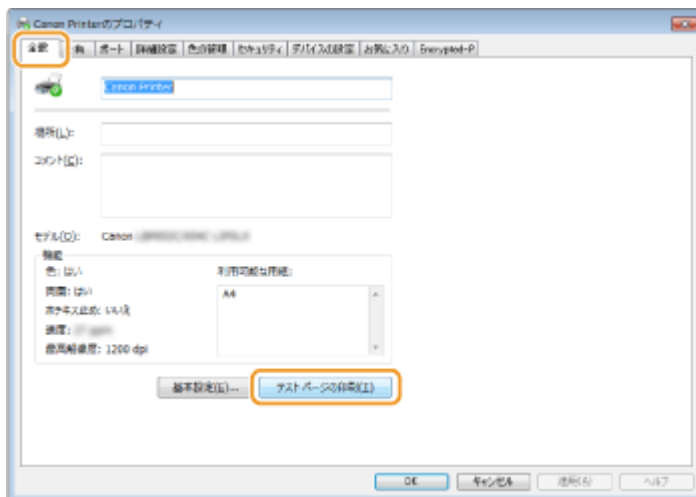
■ Windows のテストページの印刷方法

Windows のテストページを印刷して、プリンタードライバの動作を確認することができます。

- 1 給紙カセットまたは手差しトレイに、A4 サイズの用紙をセットする ▶用紙をセットする(P. 41)
- 2 プリンターフォルダーを表示する ▶プリンターフォルダーの表示方法(P. 676)
- 3 本機のプリンタードライバのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



- 4 [全般] タブで [テストページの印刷] をクリックする



⇒ テストページが印刷されます。

■ プロセッサバージョンの確認方法

お使いの Windows が、32 ビット版か 64 ビット版かわからない場合は、次の手順で確認することができます。

- 1 [コントロールパネル] を表示する

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 10/Server 2016

手順 2 へ進んでください。

2 [システム] を表示する**Windows Vista/7/8/Server 2008 R2/Server 2012**

[システムとメンテナンス] または [システムとセキュリティ] ▶ [システム] をクリックします。

Windows 10/Server 2016

[] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [バージョン情報] を選びます。

Windows Server 2008

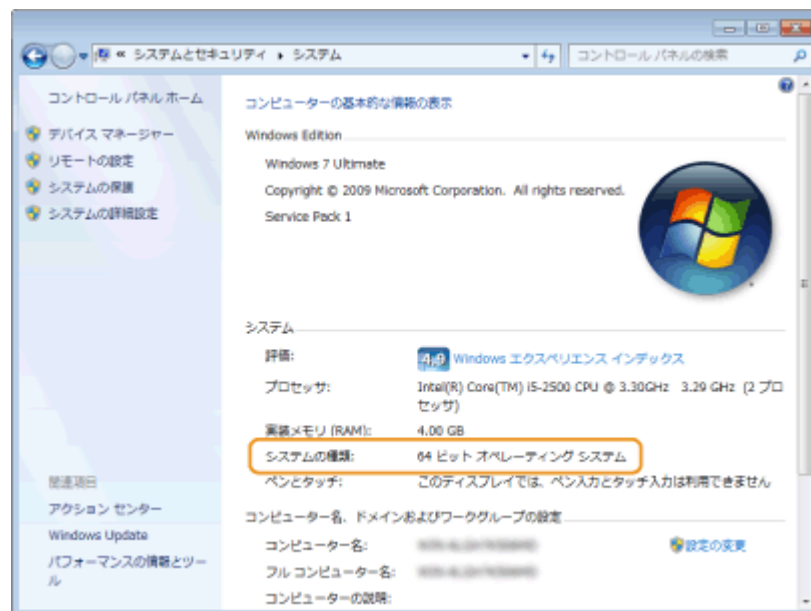
[システム] をダブルクリックします。

3 プロセッサバージョンを確認する**32 ビット版のとき**

[32 ビットオペレーティングシステム] と表示されます。

64 ビット版のとき

[64 ビットオペレーティングシステム] と表示されます。

**■ コンピューター名の確認方法****1 [コントロールパネル] を表示する****Windows Vista/7/Server 2008**

[スタート] ▶ [コントロールパネル] を選びます。


Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。


Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 10

[

Windows Server 2016

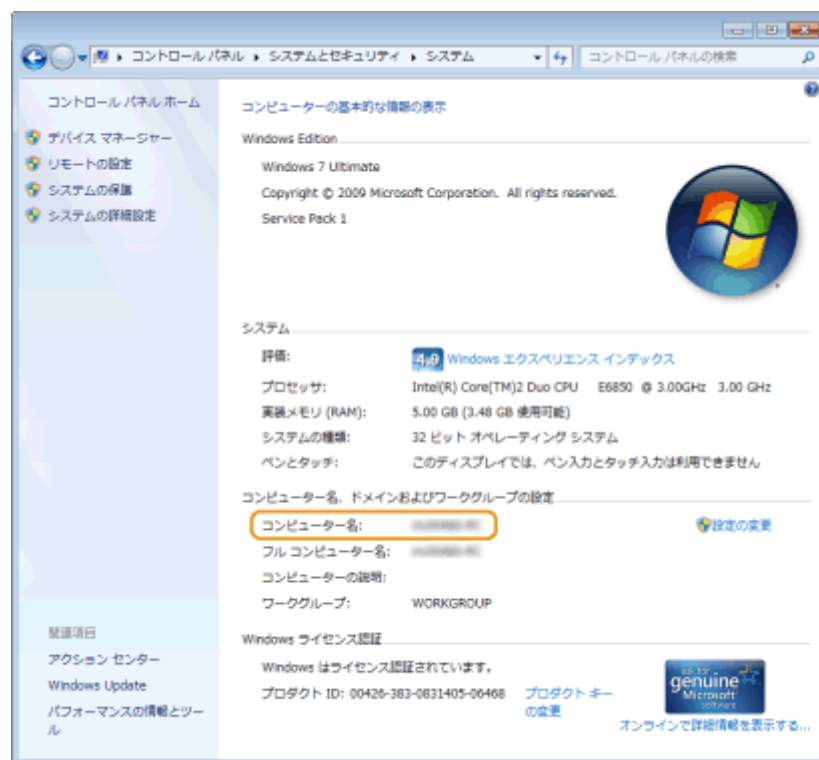
[

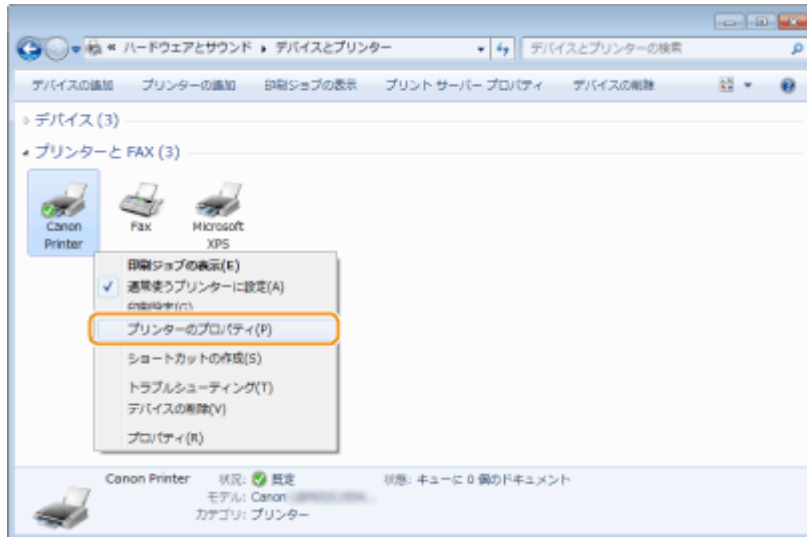
2 [システム] を表示する**Windows Vista/7/8/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2016**

[システムとメンテナンス] または [システムとセキュリティ] ▶ [システム] をクリックします。

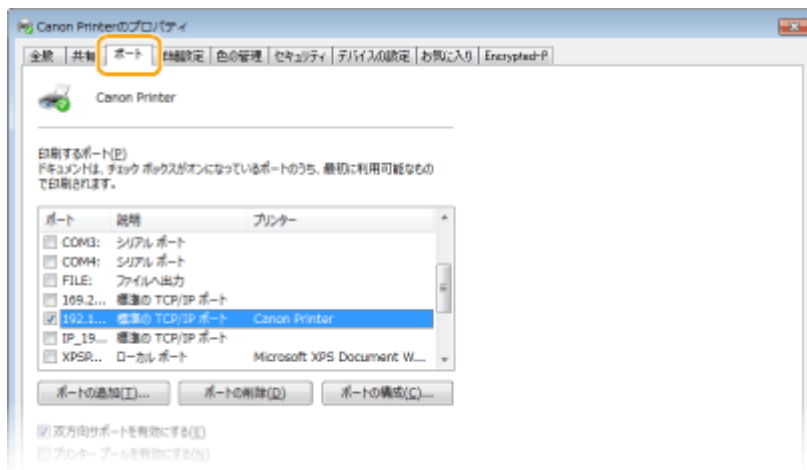
Windows Server 2008

[システム] をダブルクリックします。

3 コンピューター名を確認する**■ プリンターポートの確認方法****1 プリンターフォルダーを開く ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 676)****2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする**

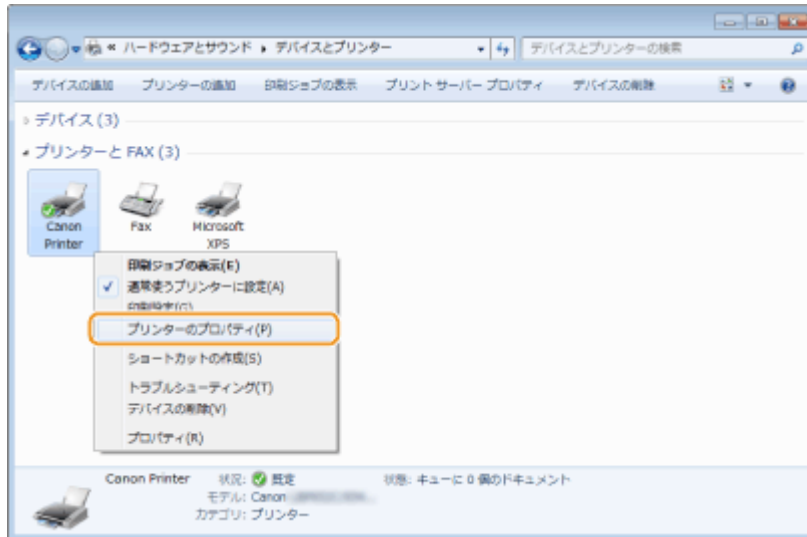


3 [ポート] タブでポートが正しく選択されていることを確認する

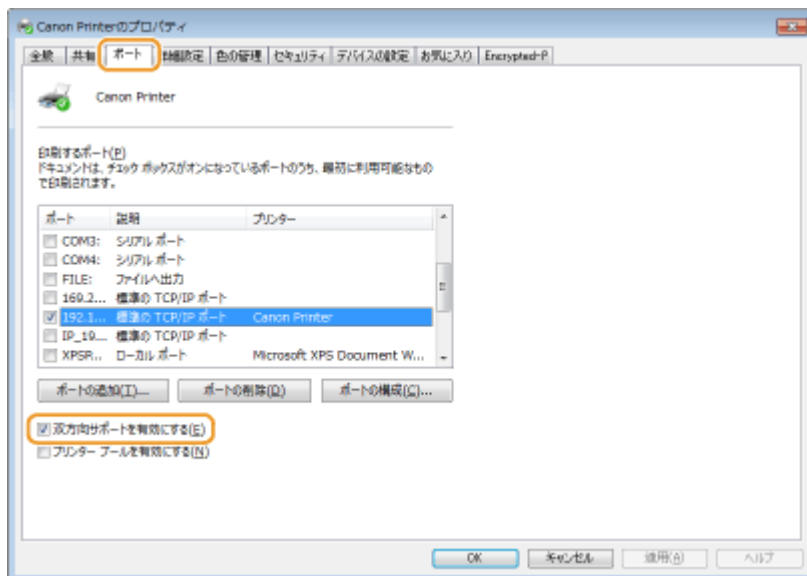


■ 双方向通信の確認方法

- 1 プリンターフォルダーを表示する ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 676)
- 2 本機のプリンタードライバのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



3 [ポート] タブで [両方向サポートを有効にする] にチェックマークが付いていることを確認する



■ Windows ストアアプリから印刷するときは

Windows 8/Server 2012

画面右側のチャームを表示 ▶ [デバイス] ▶ 本機のドライバー ▶ [印刷] をタップまたはクリックします。

Windows 8.1/Server 2012 R2

画面右側のチャームを表示 ▶ [デバイス] ▶ [印刷] ▶ 本機のドライバー ▶ [印刷] をタップまたはクリックします。

Windows 10

Windows ストアアプリの [印刷] ▶ 本機のドライバー ▶ [印刷] をタップまたはクリックします。



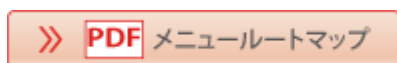
- この方法で印刷した場合は、使用できる印刷設定は制限されます。

- 「印刷するには入力が必要です。デスクトップへ移動します。」というメッセージが表示されたときは、デスクトップに移動し、表示されているダイアログボックスに従って操作してください。メッセージは印刷時にユーザー名を確認するように設定しているときなどに表示されます。

メニュールートマップ

55S7-08Y

本機の画面に表示される設定項目については、「メニュールートマップ」(PDF マニュアル) を参照してください。



動作モードについて

55S7-090

本機は、キヤノン独自の LIPS モードと、IBM PC/AT 互換機 (DOS/V パソコン) の ESC/P エミュレーションモードの 2 種類の動作モードを標準で内蔵しています (LBP853Ci / LBP852Ci のみ)。さらにオプションのコントロール ROM を装着すると、その他のエミュレーションモードを追加することができます。本機が印刷データを受信すると、データに応じた動作モードに自動的に切り替えて印刷しますので、通常はお買い上げ時の設定のままでご使用いただけます。

LIPS モード

LIPS は、LBP Image Processing System の略で、キヤノンが独自に開発したページプリンターをコントロールするためのコマンド体系です。Windows や macOS では、付属のプリンタードライバーをインストールすると、自動的に LIPS モードで印刷します。LIPS II⁺ 対応アプリケーションを使用する場合、従来のレーザーショットシリーズで行った印刷とは解像度が異なります。

ESC/P エミュレーションモード

IBM-PC/AT 互換機 (DOS/V パソコン)、AX パソコンで標準的に使用されている ESC/P 準拠プリンターの動作をエミュレートする (まねをする) モードです。このモードでは ESC/P 対応したアプリケーションからの印刷ができます。セイコーエプソン (株) が提唱する ESC/P-J84 のコマンド体系に準拠しています。

■ESC/P 準拠プリンターとの違い

ESC/P エミュレーションモードでは、ESC/P 準拠プリンターとは異なる点があります。印刷するときは次の点にご注意ください。

解像度の違いについて

ESC/P 準拠プリンターの解像度 180 dpi に対し、本機は解像度 600 dpi で、ページフォーマットごとの縮小率によってデータを変換します。これによって、印刷結果が ESC/P 準拠プリンターと異なることがあります。

- **イメージデータ**

解像度／縮小率によってドットパターンが変換されるため、線の太さやグラフィックパターンが異なって見えることがあります。

- **登録文字**

24 × 24 ドット構成の外字は、8 ポイント相当、32 × 32 ドット構成の外字は 10 ポイント相当のドット構成に変換されるため、印字したときに文字パターンが変化したように見えることがあります。ダウンロード文字セットも同様にドット構成が変換されます。

- **印字間隔など**

解像度／縮小率によって印字間隔が変換されるため、半端な値によって印字にずれを生じることがあります。

- **右マージン**

文字が右マージンをわずか (1 ドット未満) でも超える場合は、改行します。

文字パターンの違いについて

- **文字サイズ**

次のポイントで文字が印字されるため、ESC/P 準拠プリンターより若干小さめに見えることがあります。特に縮小モードでは、ページフォーマットの縮小率よりも小さな文字サイズになります。また、ローマン文字では英数のみ文字幅が細めになります。

<実寸縦>	10 ポイント
<実寸横>	
< 10 インチ→A4 縦>	

< 15 インチ→A4 横> < B4→A4 縦> < B4→A4 横>	8 ポイント
--	--------

- **フォントデザイン**

ESC/P 準拠プリンターとはフォントのデザインが異なります。このため、特殊文字などの字形や ANK/漢字のバランスが若干異なって見えるようになります。

- **2 バイトコードの未定義領域**

2 バイトコードの中で、ESC/P では未定義の領域に本機専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字すると本機特有のパターンが印字されます。

その他の制限

- **ESC/P スーパー**

ESC/P エミュレーションモードは ESC/P24-J84 仕様にも対応しているため、ESC/P スーパーのプリンター設定では正しく印刷されません。

その他のエミュレーションモード

コントロール ROM を取り付けることにより、PC-9800 シリーズ、PS/55 シリーズ、HP-GL、HP-GL/2 対応のアプリケーションから印刷できるようになります。

動作モードの設定を変更するには

- ▶ 自動切り替えがうまくできないとき (P. 688)
- ▶ 動作モードを固定する (P. 690)

動作モードの詳細情報

- ▶ ESC/P エミュレーションのページフォーマット (P. 691)
- ▶ 内蔵フォント ID と LIPS 内蔵フォント (P. 709)
- ▶ ダンプリスト (P. 715)



コントロールコマンドリスト

本機が標準で対応している 2 つのコントロールコマンド (LIPS、ESC/P エミュレーション) の機能、書式、コード、パラメータについては、オンラインマニュアルサイトで各動作モードのマニュアルを参照してください。LIPS コントロールコマンドのさらに詳細な書式、使用例については、「プログラマーズマニュアル」を参照してください。



関連項目

- ▶ システムオプションについて (P. 642)
- ▶ ROM を取り付ける (P. 644)

自動切り替えがうまくできないとき

55S7-091

動作モードの設定を<自動選択>（お買い上げ時の状態）で使用しているときに、ESC/P データが LIPS で印刷されるなど、動作モードの自動切り替えがうまくいかない場合は、次の設定を行ってください。

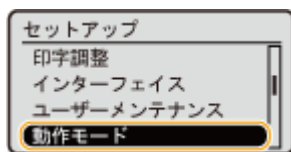
- ▶優先的に切り替える動作モードを設定する(P. 688)
- ▶不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す(P. 688)

優先的に切り替える動作モードを設定する

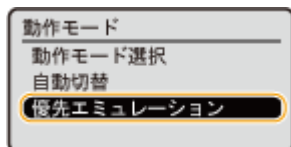
動作モードの設定を<自動選択>に設定した状態で、本機がコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える動作モードを設定しておくことができます。よく印刷するデータに合わせて、設定しておいてください。お買い上げ時は<なし>に設定されています。

1 ▶ (セットアップ) を押す

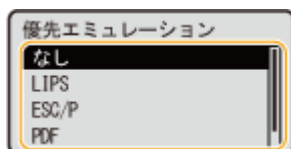
2 ▲ / ▼ で<動作モード>を選び、**OK** を押す



3 <優先エミュレーション>を選び、**OK** を押す



4 優先する動作モードを選び、**OK** を押す

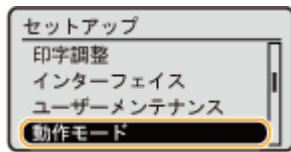


不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す

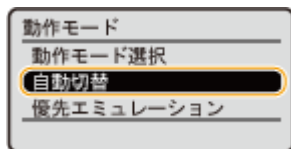
お買い上げ時は、すべての動作モードを自動切り替えの対象にしています。使わない動作モードは自動切り替えの対象から外してください。

1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲／▼で<動作モード>を選び、**OK**を押す



3 <自動切替>を選び、**OK**を押す



4 不要な動作モードを選び、**OK**を押す



5 <OFF>を選び、**OK**を押す



MEMO

設定を変更しても自動切り替えがうまくいかないとき

- 印刷データに合った動作モードに固定して印刷してください。▶[動作モードを固定する\(P. 690\)](#)

関連項目

▶[動作モード\(P. 427\)](#)

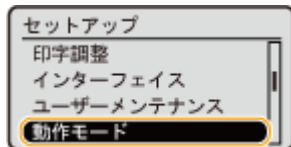
動作モードを固定する

55S7-092

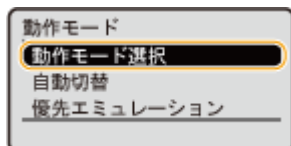
特定の動作モードでしか印刷しない場合は、動作モードを固定しておくことができます。

1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲ / ▼ で<動作モード>を選び、**OK** を押す



3 <動作モード選択>を選び、**OK** を押す



4 固定する動作モードを選び、**OK** を押す

- IBM-PC/AT 互換機 (DOS/V パソコン) や AX パソコンのときは、ESC/P エミュレーションモードに固定します (LBP853Ci / LBP852Ci のみ)。
- PC-9800 シリーズや PS/55 シリーズなどのパソコンのときは、オプションのコントロール ROM にある N201 や I5577 などのエミュレーションモードに固定します。



MEMO

- ESC/P エミュレーションモードで印刷する場合は、ページフォーマットの設定が必要です。▶ESC/P エミュレーションのページフォーマット(P. 691)

関連項目

- ◉動作モード専用の設定(P. 430)

ESC/P エミュレーションのページフォーマット

LBP853Ci / LBP852Ci

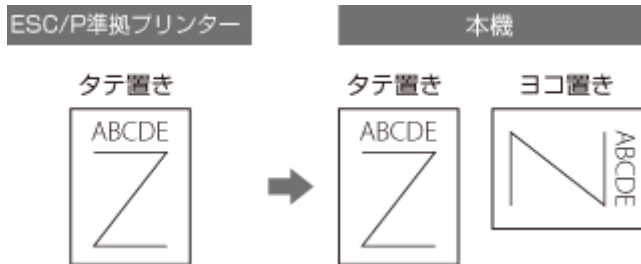
55S7-093

< ESC/P 設定 > の < ページフォーマット > によって、印刷データは次のように変換されます。▶ **ESC/P 設定(P. 447)**



- 用紙をタテに使う場合をポートレイト、ヨコに使う場合をランドスケープと呼びます。

<実寸縦>



ESC/P 準拠プリンターにカット紙をタテ置きにセットして使用していたときに選択します。ESC/P 準拠プリンターと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ポートレイトで印刷します。

用紙サイズ

A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズが使用できます。A3 サイズに印刷するときにワイド領域モードを設定できます。

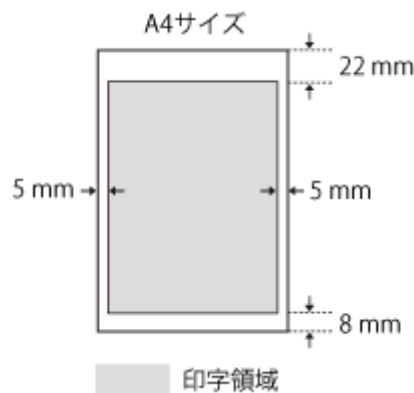
印字文字

初期状態で 10 ポイントのフォントです。

イメージの印字

プリンターの解像度が異なるため、ESC/P 準拠プリンターとは印字結果が若干異なります。

印字領域



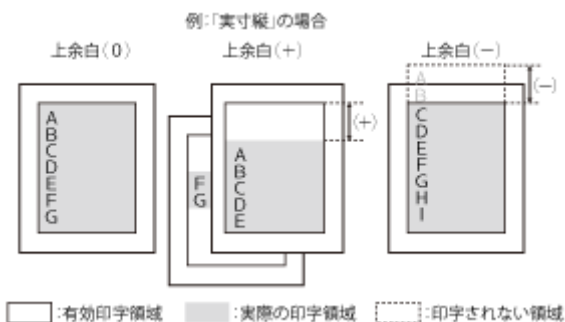
印字位置

一文字目の印字位置	先頭行 (TOF 行) の左マージン位置です。
-----------	-------------------------

右マージン	用紙サイズに関係なく、初期状態で 345.4 mm (13.6 インチ) または < ESC/P 設定 > やコントロールコマンドで設定した右マージン位置になります (印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません)。
ボトム位置	ESC/P 準拠プリンターのカットシートフィーダー「実寸縦」と同じです。ESC/P 準拠プリンターのカットシートフィーダーの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、または < ESC/P 設定 > やコントロールコマンドで設定したページ長になります。

上余白

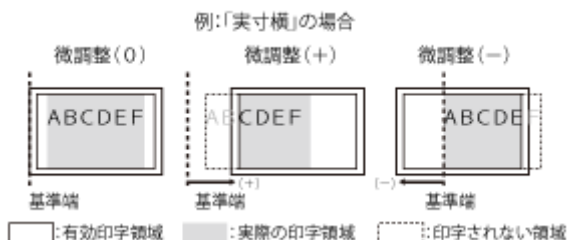
上余白を調整した結果は次のようになります。



- 上余白を増やした結果、印刷データがボトム位置を超える場合は、次ページの 1 行目の位置から印刷されます。
- 上余白を減らした場合、印字領域の上端を超えた部分は印刷されません。下端はボトム位置まで印刷されます (ただし、ページ長を設定していない場合)。

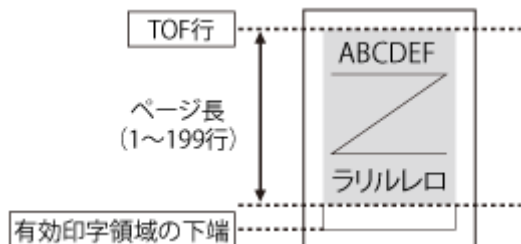
用紙位置微調整

用紙位置を調整した結果は次のようになります (実寸サイズで印刷するページフォーマットの場合)。



単票用紙長

- < システム > に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。
- < 設定方法 > を < 任意設定 > に設定して < 任意設定値 > を「1」～「199」に設定すると、1 ページに印刷する行数を 1～199 行の範囲で設定します。

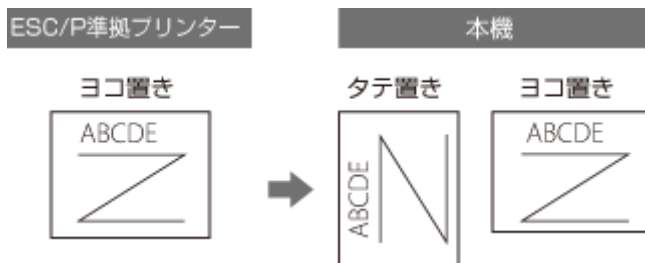


- 行間は1インチあたり6行（6 lpi）です（lpi は、Line Per Inch の略で、1インチあたりの行数を表す単位です）。
- 設定値が1 増えると、ページ長が約 4.2 mm（1/6 インチ） 増えます。

ミシン目スキップ

無効です。

<実寸横>



ESC/P 準拠プリンターにカット紙をヨコ置きにセットして使用していたときに選択します。ESC/P 準拠プリンターと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ランドスケープで印刷します。

用紙サイズ

A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズが使用できます。A3 サイズに印刷するときにワイド領域モードを設定できます。

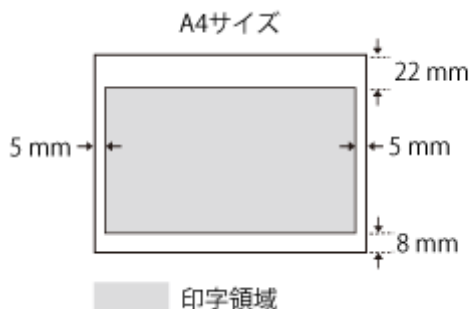
印字文字

初期状態で 10 ポイントのフォントです。

イメージの印字

プリンターの解像度が異なるため、ESC/P 準拠プリンターとは印字結果が若干異なります。

印字領域

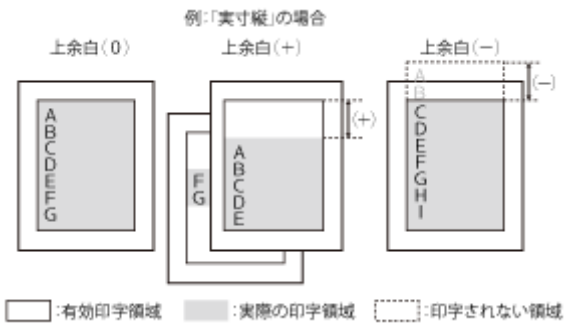


印字位置

一文字目の印字位置	先頭行（TOF 行）の左マージン位置です。
右マージン	用紙サイズに関係なく、初期状態で 345.4 mm（13.6 インチ）または< ESC/P 設定>やコントロールコマンドで設定した右マージン位置になります（印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません）。
ボトム位置	ESC/P 準拠プリンターのカットシートフィーダー「実寸縦」と同じです。ESC/P 準拠プリンターのカットシートフィーダーの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、または< ESC/P 設定>やコントロールコマンドで設定したページ長になります。

上余白

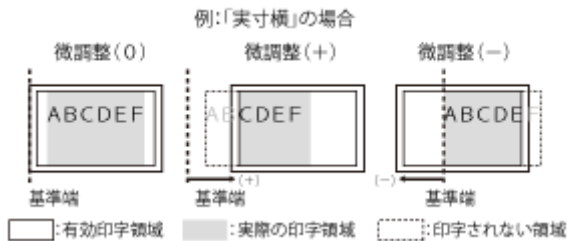
上余白を調整した結果は次のようになります。



- 上余白を増やした結果、印刷データがボトム位置を超える場合は、次ページの1行目の位置から印刷されます。
- 上余白を減らした場合、印字領域の上端を超えた部分は印刷されません。下端はボトム位置まで印刷されます(ただし、ページ長を設定していない場合)。

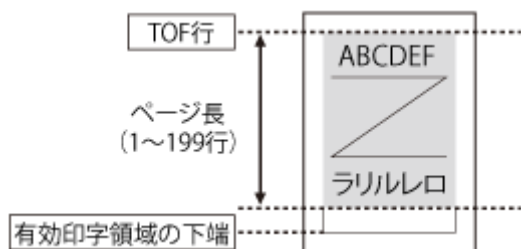
用紙位置微調整

用紙位置を調整した結果は次のようになります(実寸サイズで印刷するページフォーマットの場合)。



単票用紙長

- <システム>に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。
- <設定方法>を<任意設定>に設定して<任意設定値>を「1」～「199」に設定すると、1ページに印刷する行数を1～199行の範囲で設定します。



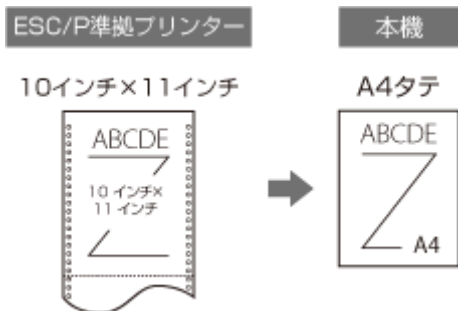
MEMO

- 行間は1インチあたり6行(6 lpi)です(lpiは、Line Per Inchの略で、1インチあたりの行数を表す単位です)。
- 設定値が1増えると、ページ長が約4.2 mm(1/6インチ)増えます。

ミシン目スキップ

無効です。

< 10 インチ→A4 縦 >



ESC/P 準拠プリンターに 10 インチ × 11 インチの連続用紙をセットして使用していたときに選択します。A4 サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは印字領域ほぼいっぱい）にポートレートで印刷します。

用紙サイズ

A3、B4、A4 サイズが使用できます。A3、B4 サイズを使用した場合でも、A4 サイズと同じ比率で縮小し印刷します（A4 より小さい用紙への印刷は保証しません）。

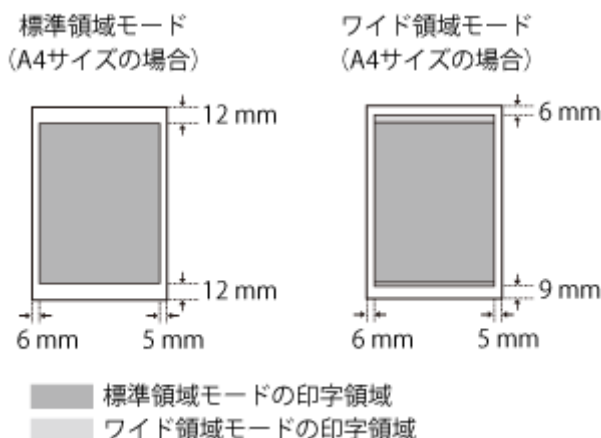
印字文字

初期状態で 10 ポイントのフォントを、文字間をつめて印字します。

イメージの印字

プリンターの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P 準拠プリンターの印字結果とは見た目が異なります。

印字領域

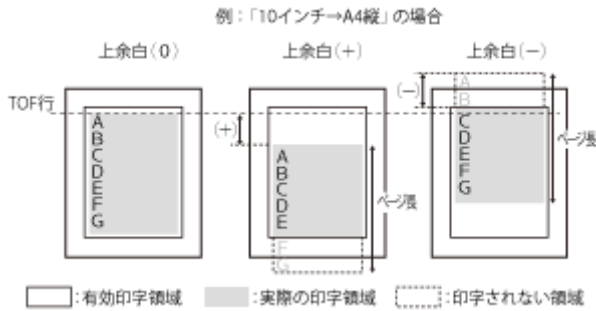


印字位置

一文字目の印字位置	標準領域モード 先頭行（TOF 行）の左マージン位置です。
右マージン	標準領域モード 用紙サイズに関係なく、初期状態で 345.4 mm（13.6 インチ）です（印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません）。 ワイド領域モード 印字領域は印字領域とほぼ同じです。
ボトム位置	標準領域モード 初期状態の印字開始位置から 279.4 mm（11 インチ）（実際用の紙上では 271.8 mm（10.7 インチ））下、または < ESC/P 設定 > やコントロールコマンドで設定したページ長になります。 ワイド領域モード 印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

上余白

上余白を調整した結果は次のようになります。

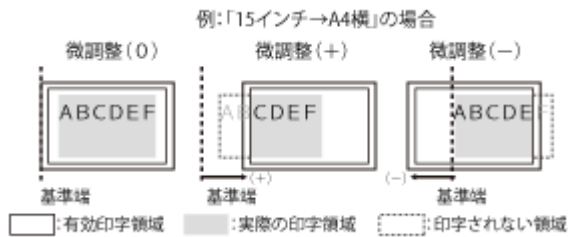


- 上余白を増やした場合、印刷データがボトム位置を超えると、ボトム位置からページ長（初期状態の1行目からボトム位置までの範囲）までのあふれたデータは印刷されません。
- 上余白を減らした場合、印字領域の上端を超えた部分のデータは印刷されません。このとき、下端はページ長までのデータを印刷します。

用紙位置微調整

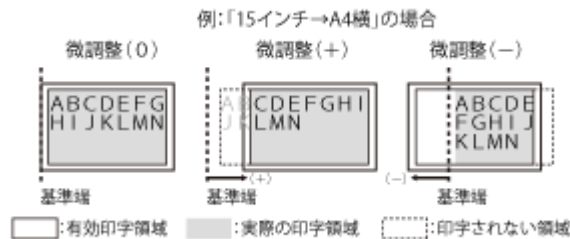
標準領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります（縮小印刷するページフォーマットの場合）。



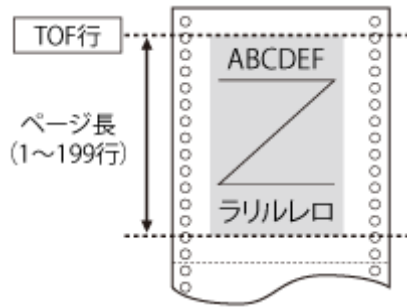
ワイド領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります。



連続用紙長

- <システム>に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。
- <設定方法>を<任意設定>に設定して<任意設定値>を「1」～「199」に設定すると、1ページに印刷する行数を1～199行の範囲で設定します。



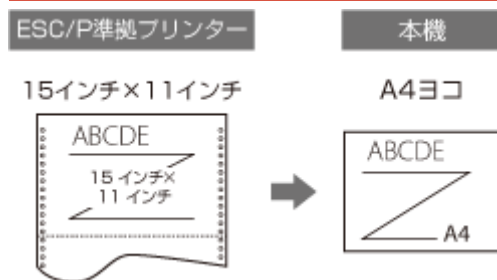
MEMO

- 行間は1インチあたり6行(6 lpi)です(lpiは、Line Per Inchの略で、1インチあたりの行数を表す単位です)。
- 設定値が1増えると、ページ長が約4.2 mm (1/6インチ) 増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ

有効です。

< 15インチ→A4横 >



ESC/P 準拠プリンターに15インチ×11インチの連続用紙をセットして使用していたときに選択します。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央(ワイド領域モードでは印字領域ほぼいっぱい)にランドスケープで印刷します。

用紙サイズ

A3、B4、A4サイズが使用できます。A3、B4サイズを使用した場合でも、A4サイズと同じ比率で縮小し印刷します(A4より小さい用紙への印刷は保証しません)。

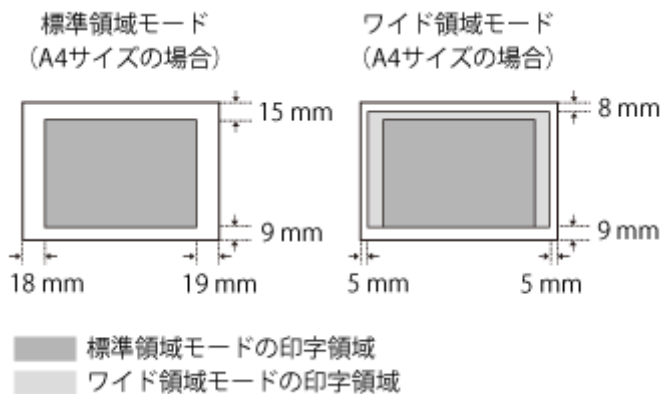
印字文字

初期状態で8ポイントのフォントを、行間をつめて印字します。

イメージの印字

プリンターの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P 準拠プリンターの印字結果とは見た目が異なります。

印字領域

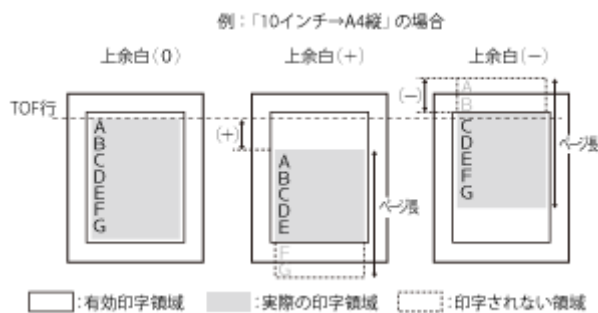


印字位置

一文字目の印字位置	標準領域モード 先頭行 (TOF 行) の左マージン位置です。
右マージン	標準領域モード 用紙サイズに関係なく、初期状態で 345.4 mm (13.6 インチ) です (印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません)。 ワイド領域モード 印字領域は印字領域とほぼ同じです。
ボトム位置	標準領域モード 初期状態の印字開始位置から 279.4 mm (11 インチ) (実際の用紙上では 210.8 mm (8.3 インチ)) 下、または < ESC/P 設定 > やコントロールコマンドで設定したページ長になります。 ワイド領域モード 印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

上余白

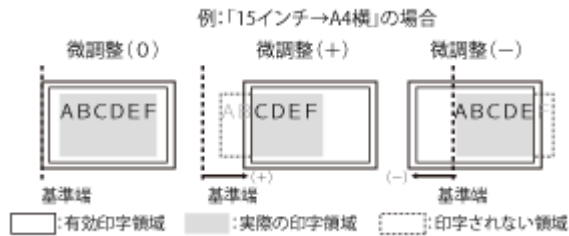
上余白を調整した結果は次のようになります。



- 上余白を増やした場合、印刷データがボトム位置を超えると、ボトム位置からページ長 (初期状態の 1 行目からボトム位置までの範囲) までのあふれたデータは印刷されません。
- 上余白を減らした場合、印字領域の上端を超えた部分のデータは印刷されません。このとき、下端はページ長までのデータを印刷します。

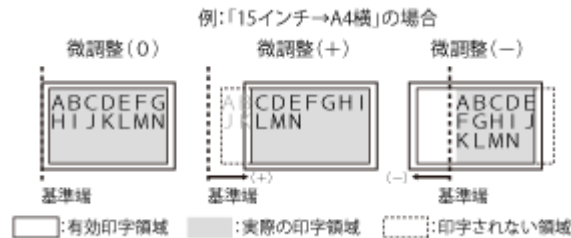
用紙位置微調整

- **標準領域モードでの印字動作**
用紙位置を調整した結果は次のようになります (縮小印刷するページフォーマットの場合)。



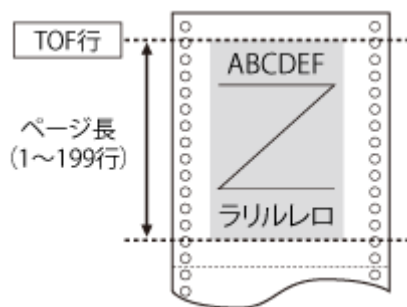
● **ワイド領域モードでの印字動作**

用紙位置を調整した結果は次のようになります。



連続用紙長

- <システム>に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。
- <設定方法>を<任意設定>に設定して<任意設定値>を「1」～「199」に設定すると、1ページに印刷する行数を1～199行の範囲で設定します。



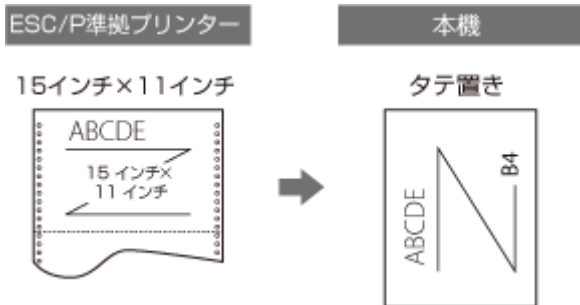
 **MEMO**

- 行間は1インチあたり6行(6 lpi)です(lpiは、Line Per Inchの略で、1インチあたりの行数を表す単位です)。
- 設定値が1増えると、ページ長が約4.2 mm (1/6インチ) 増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ

有効です。

< 15 インチ→B4 横 >



ESC/P 準拠プリンターに 15 インチ × 11 インチの連続用紙をセットして使用していたときに選択します。B4 サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープで印刷します。

用紙サイズ

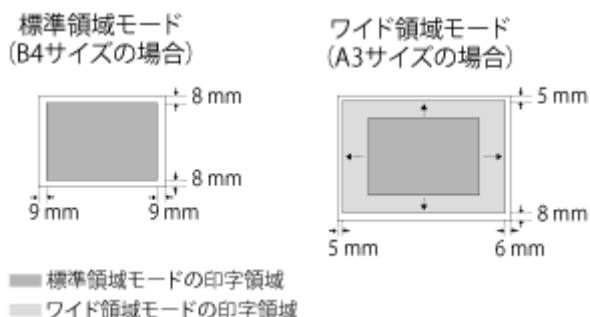
A3、B4 サイズが使用できます。A3 サイズを使用した場合でも B4 サイズと同じ比率で縮小し印刷します（B4 より小さい用紙への印刷は保証しません）。

印字文字

初期状態で 10 ポイントのフォントを、行間をつめて印字します。

イメージの印字

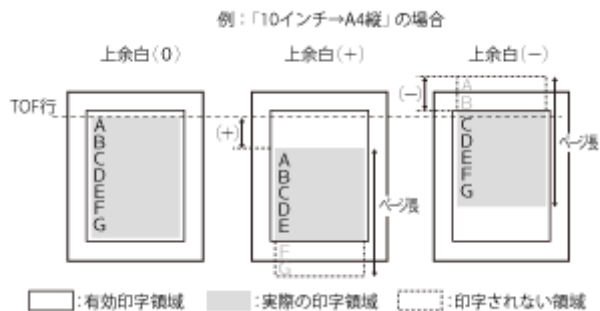
プリンターの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P 準拠プリンターの印字結果とは見た目が異なります。

印字領域**印字位置**

一文字目の印字位置	標準領域モード 先頭行（TOF 行）の左マージン位置です。
右マージン	標準領域モード 用紙サイズに関係なく、初期状態で 345.4 mm（13.6 インチ）です（印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません）。 ワイド領域モード 印字領域は印字領域とほぼ同じです。
ボトム位置	標準領域モード 初期状態の印字開始位置から 279.4 mm（11 インチ）（実際用の紙上では 266.7 mm（10.5 インチ））下、または < ESC/P 設定 > やコントロールコマンドで設定したページ長になります。 ワイド領域モード 印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

上余白

上余白を調整した結果は次のようになります。

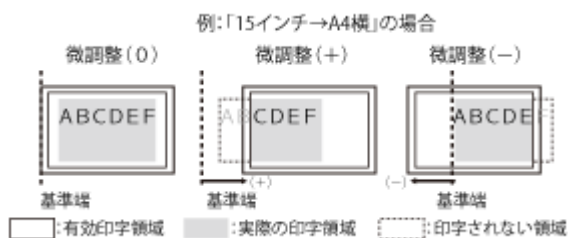


- 上余白を増やした場合、印刷データがボトム位置を超えると、ボトム位置からページ長（初期状態の1行目からボトム位置までの範囲）までのあふれたデータは印刷されません。
- 上余白を減らした場合、印字領域の上端を超えた部分のデータは印刷されません。このとき、下端はページ長までのデータを印刷します。

用紙位置微調整

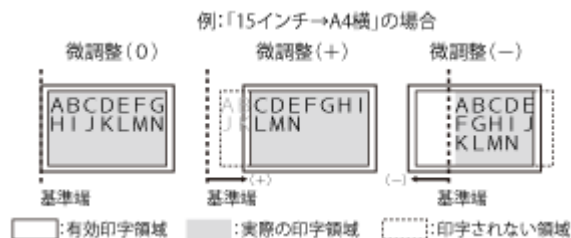
● 標準領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります（縮小印刷するページフォーマットの場合）。



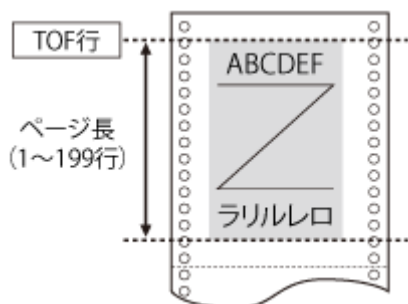
● ワイド領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります。



連続用紙長

- <システム>に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。
- <設定方法>を<任意設定>に設定して<任意設定値>を「1」～「199」に設定すると、1ページに印刷する行数を1～199行の範囲で設定します。

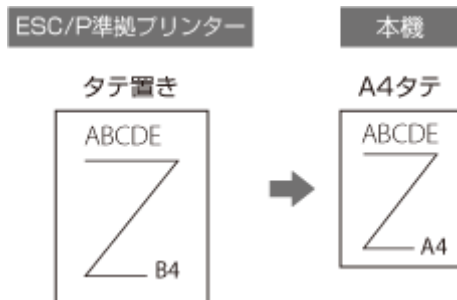



MEMO

- 行間は1インチあたり6行(6 lpi)です(lpiは、Line Per Inchの略で、1インチあたりの行数を表す単位です)。
- 設定値が1増えると、ページ長が約4.2 mm (1/6インチ) 増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ

有効です。

< B4→A4 縦 >


ESC/P 準拠プリンターに B4 サイズのカット紙をタテ置きにセットして使用していたときに選択します。A4 サイズに縮小し用紙のほぼ中央(ワイド領域では印字領域ほぼいっぱい)に、ポートレイトで印刷します。

用紙サイズ

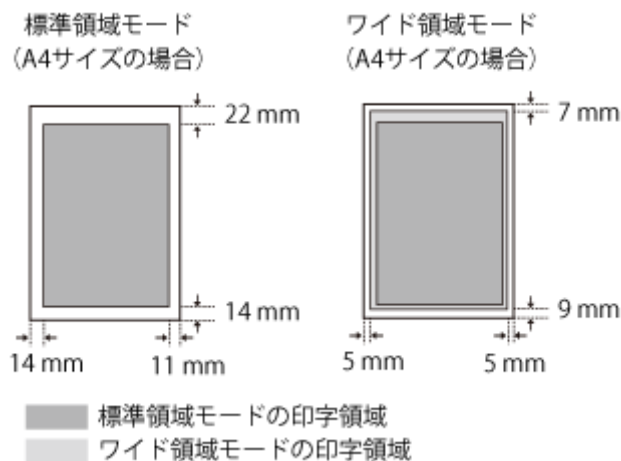
A3、B4、A4 サイズが使用できます。A3、B4 サイズを使用した場合でも、A4 サイズと同じ比率で縮小し印刷します(A4 より小さい用紙への印刷は保証しません)。

印字文字

初期状態で8ポイントのフォントを、若干縮小して印字します。

イメージの印字

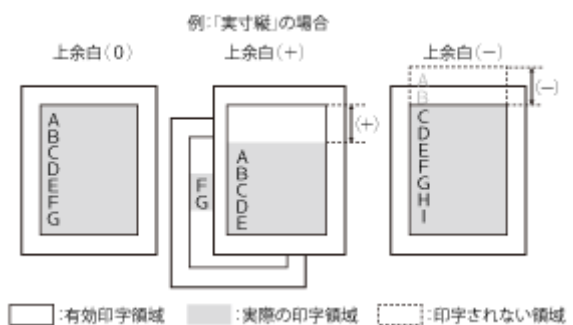
プリンターの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P 準拠プリンターの印字結果とは見た目が異なります。

印字領域

印字位置

一文字目の印字位置	標準領域モード 先頭行（TOF 行）の左マージン位置です。
右マージン	標準領域モード 用紙サイズに関係なく、初期状態で 345.4 mm（13.6 インチ）です（印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません）。 ワイド領域モード 印字領域は印字領域とほぼ同じです。
ボトム位置	標準領域モード ESC/P 準拠プリンターのカットシートフィーダーの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、または ESC/P 設定>やコントロールコマンドで設定したページ長になります。 ワイド領域モード 印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

上余白

上余白を調整した結果は次のようになります。

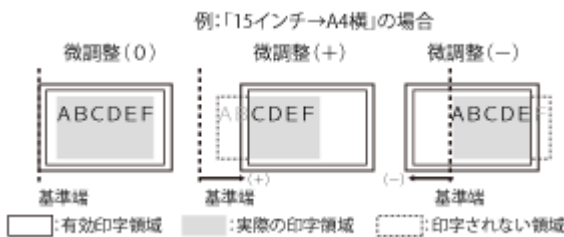


- 上余白を増やした結果、印刷データがボトム位置を超える場合は、次ページの 1 行目の位置から印刷されます。
- 上余白を減らした場合、印字領域の上端を超えた部分は印刷されません。下端はボトム位置まで印刷されます（ただし、ページ長を設定していない場合）。

用紙位置微調整

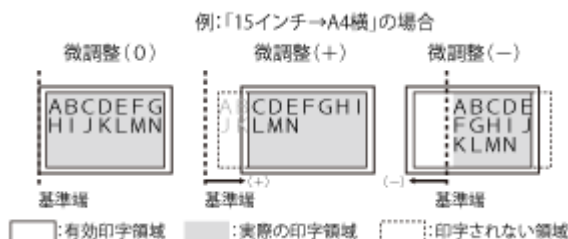
● **標準領域モードでの印字動作**

用紙位置を調整した結果は次のようになります（縮小印刷するページフォーマットの場合）。



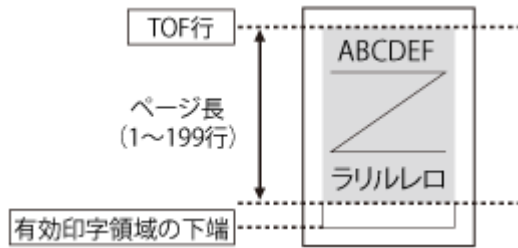
● **ワイド領域モードでの印字動作**

用紙位置を調整した結果は次のようになります。



単票用紙長

- <システム>に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。
- <設定方法>を<任意設定>に設定して<任意設定値>を「1」～「199」に設定すると、1 ページに印刷する行数を1～199 行の範囲で設定します。



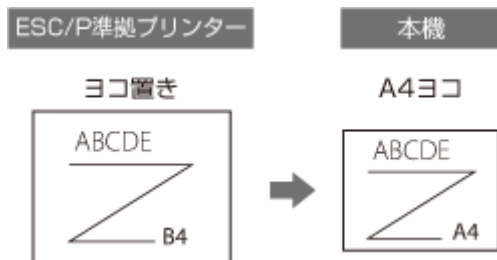
MEMO

- 行間は1インチあたり6行(6 lpi)です(lpiは、Line Per Inchの略で、1インチあたりの行数を表す単位です)。
- 設定値が1増えると、ページ長が約4.2 mm (1/6インチ) 増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ

ワイドモードで有効です。

< B4→A4 横 >



ESC/P 準拠プリンターに B4 サイズのカット紙をヨコ置きにセットして使用していたときに選択します。A4 サイズに縮小し、用紙のほぼ中央(ワイド領域モードでは印字領域ほぼいっぱい)に、ランドスケープで印刷します。

用紙サイズ

A3、B4、A4 サイズが使用できます。A3、B4 サイズを使用した場合でも、A4 サイズと同じ比率で縮小し印刷します(A4 より小さい用紙への印刷は保証しません)。

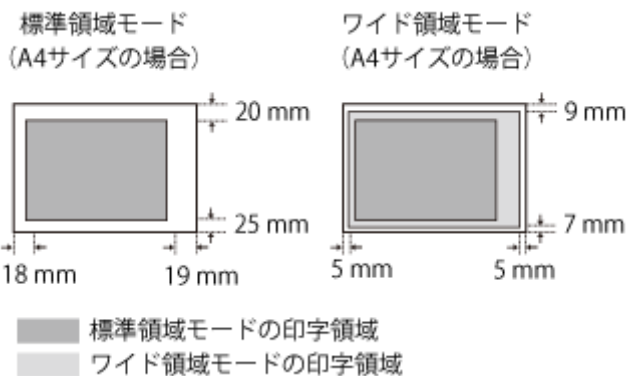
印字文字

初期状態で8ポイントのフォントを、若干縮小して印字します。

イメージの印字

プリンターの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P 準拠プリンターの印字結果とは見た目が異なります。

印字領域

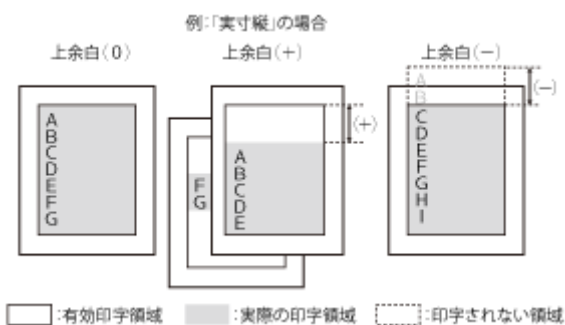


印字位置

一文字目の印字位置	標準領域モード 先頭行 (TOF 行) の左マージン位置です。
右マージン	標準領域モード 用紙サイズに関係なく、初期状態で 345.4 mm (13.6 インチ) です (印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません)。 ワイド領域モード 印字領域は印字領域とほぼ同じです。
ボトム位置	標準領域モード ESC/P 準拠プリンターのカットシートフィーダーの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、または ESC/P 設定>やコントロールコマンドで設定したページ長になります。 ワイド領域モード 印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

上余白

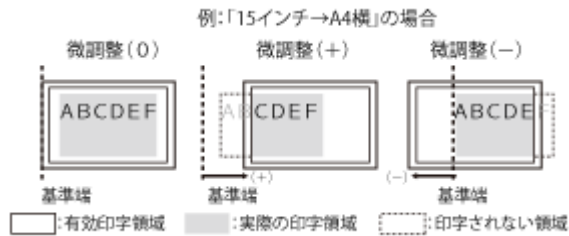
上余白を調整した結果は次のようになります。



- 上余白を増やした結果、印刷データがボトム位置を超える場合は、次ページの1行目の位置から印刷されます。
- 上余白を減らした場合、印字領域の上端を超えた部分は印刷されません。下端はボトム位置まで印刷されます (ただし、ページ長を設定していない場合)。

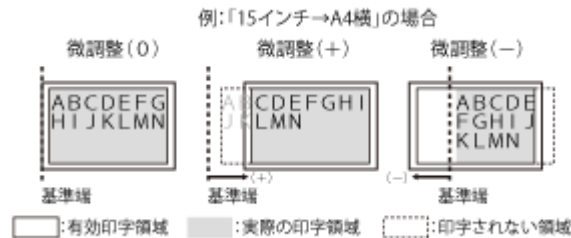
用紙位置微調整

- **標準領域モードでの印字動作**
用紙位置を調整した結果は次のようになります (縮小印刷するページフォーマットの場合)。



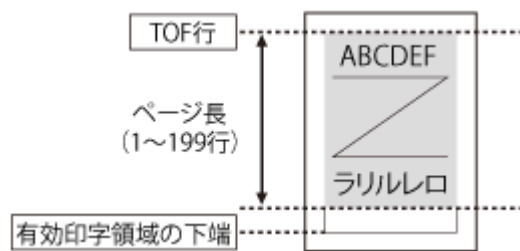
● **ワイド領域モードでの印字動作**

用紙位置を調整した結果は次のようになります。



単票用紙長

- <システム>に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。
- <設定方法>を<任意設定>に設定して<任意設定値>を「1」～「199」に設定すると、1ページに印刷する行数を1～199行の範囲で設定します。



MEMO

- 行間は1インチあたり6行(6 lpi)です(lpiは、Line Per Inchの略で、1インチあたりの行数を表す単位です)。
- 設定値が1増えると、ページ長が約4.2 mm(1/6インチ)増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ

ワイドモードで有効です。

MEMO

連続用紙のサイズについて

- 10インチ×11インチの連続用紙の1ページあたりのサイズは、254.0 mm×279.4 mmです。
- 15インチ×11インチの連続用紙の1ページあたりのサイズは、381.0 mm×279.4 mmです。

■ ページフォーマットと印字範囲

用紙のサイズが小さい場合、＜ESC/P 設定＞の＜領域＞を＜ワイド＞に設定しても、印字領域拡大の効果があまり上がらないことがあります。▶ESC/P 設定(P. 447)



表中の文字数／行数は、＜上余白＞、＜用紙位置微調整＞、＜右マージン既定値＞がお買い上げ時の設定の場合です。

標準領域モード

(桁数 10 cpi、行数 6 lpi)

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
実寸縦	文字数	112	97	78	67	54	35
	行数	92	78	63	54	42	28
実寸横	文字数	136	136	112	97	78	54
	行数	63	52	42	36	28	16
10 インチ→A4 縦	文字数	80	80	80	×	×	×
	行数	66	66	66	×	×	×
15 インチ→A4 横	文字数	136	136	136	×	×	×
	行数	66	66	66	×	×	×
15 インチ→B4 横	文字数	136	136	×	×	×	×
	行数	66	66	×	×	×	×
B4→A4 縦	文字数	97	97	97	×	×	×
	行数	78	78	82	×	×	×
B4→A4 横	文字数	136	136	136	×	×	×
	行数	52	52	52	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。

ワイド領域モード

(桁数 10 cpi、行数 6 lpi)

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
実寸縦	文字数	112	—	—	—	—	—
	行数	95	—	—	—	—	—
実寸横	文字数	161	—	—	—	—	—

	行数	66	—	—	—	—	—
10 インチ→A4 縦	文字数	115	99	80	×	×	×
	行数	98	94	68	×	×	×
15 インチ→A4 横	文字数	215	186	150	×	×	×
	行数	99	85	68	×	×	×
15 インチ→B4 横	文字数	161	139	×	×	×	×
	行数	77	66	×	×	×	×
B4→A4 縦	文字数	150	129	104	×	×	×
	行数	127	109	88	×	×	×
B4→A4 横	文字数	215	186	150	×	×	×
	行数	88	76	61	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。



関連項目

- ▶自動切り替えがうまくできないとき(P. 688)
- ▶動作モードを固定する(P. 690)

内蔵フォント ID と LIPS 内蔵フォント LBP853Ci / LBP852Ci

55S7-094

- ▶内蔵フォント ID について(P. 709)
- ▶文字セットの属性について(P. 710)
- ▶LIPS II +内蔵フォント一覧(P. 710)
- ▶LIPS III / LIPS4 内蔵フォント一覧(P. 712)



文字セットコード表

- 本機内蔵フォントのコード表 (LIPS、ESC/P) は、オンラインマニュアルサイトで各動作モードのマニュアルを参照してください。

内蔵フォント ID について

本機に内蔵されているフォントの ID 番号は次のとおりです。

フォント名称	フォントID	フォント見本書体
Mincho-Medium-H	001	ABCDEFGHIJKLMNOabcde _{fghij}
Mincho-Medium-HPS	013	ABCDEFGHIJKLMNOabcde _{fghij}
Mincho-Medium	002	あいうえおカキクケコ差氏巢背
Mincho-Medium-PS	014	あいうえおカキクケコ差氏巢背
Gothic-Medium-H	003	ABCDEFGHIJKLMNOabcde _{fghij}
Gothic-Medium-HPS	015	ABCDEFGHIJKLMNOabcde _{fghij}
Gothic-Medium	004	あいうえおカキクケコ差氏巢背
Gothic-Medium-PS	016	あいうえおカキクケコ差氏巢背
LinePrinter-Bold	020	ABCDEFGHIJKLMNOabcde _{fghij}
Garland-Medium-HP	021	ABCDEFGHIJKLMNOabcde _{fghij}
Garland-Medium-H	022	ABCDEFGHIJLJKLMNOabcde _{fghij}

文字セットの属性について

各文字セットは、次のような属性があります。

- **書体**
書体には、「明朝体」「ゴシック体」「ラインプリンター」「ガーランド」など多数の種類があります。
- **グラフィックセット**
あるグラフィックセットを選択すると、文字コードに対応するフォントパターンが決まります。グラフィックセットには、「ROMA」「KATA」「HIRA」といった各国語の文字に対応したものや、「N_hKEI」といった罫線や記号などがあります。
- **文字ピッチ**
文字を印刷する間隔です。固定ピッチでは、単位は「CPI (1インチあたりの文字数)」で示され、コマンドで固定した文字ピッチで印刷されます。「プロポーションアル」の文字ピッチは固定ピッチではなく、各文字によって異なります。
- **サイズ**
文字の大きさをポイント数で示します。単位は「ポイント」で示します。1ポイントは約0.35 mm (1/72インチ)です。「スケラブル」のときは、属性として一定の文字サイズはありません。
- **スタイル**
スタイルには「直立体 (Upright)」と「イタリック体 (Italic)」があります。
- **太さ**
文字の太さには「標準 (Medium)」「ボールド (Bold)」「ライト (Light)」があります。

LIPS II + 内蔵フォント一覧

文字セット名称のあとにはグラフィックセットを付けて使用します。

【例】 ALP10.XXX → ALP10.ROMA

1バイトビットマップフォント

【書体名】 ラインプリンター

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
ALP10.XXX	ROMA、N_USA、N_JPN、KATA	10.00	12.00	直立体	標準
ALP15.XXX		15.00	7.20		
ALP1125.XXX		11.25	9.60		

【書体名】 明朝体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
A1224M.XXX	ROMA、N_USA、N_JPN、KATA、HIRA、N_hKEI	20.00	7.20	直立体	標準
A1632M.XXX		15.00	9.60		
A2040M.XXX		12.00	12.00		

A2412M.XXX	ROMA、N_USA、N_JPN、KATA	10.00	3.60		
A3216M.XXX		7.50	4.80		
A4020M.XXX		6.00	6.00		

【書体名】ゴシック体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
A1224G.XXX	ROMA、N_USA、N_JPN、KATA、HIRA、N_hKEI	20.00	7.20	直立体	標準
A1632G.XXX		15.00	9.60		
A2040G.XXX		12.00	12.00		
A2412G.XXX	ROMA、N_USA、N_JPN、KATA	10.00	3.60		
A3216G.XXX		7.50	4.80		
A4020G.XXX		6.00	6.00		

【書体名】Garland

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Garland10.XXX	ROMA、N_Jpn、N_USA、N/GER、N/SWD、N/JPN、N/UK、N_UK、N_USA、N_SWD、N_JPN、N_GER、N_KATA、N_HIRA、N_GRF	10.00	10.80	直立体	標準
Garland12.XXX		12.00			
Garland17.XXX		17.15			
GarlandPS11.XXX		プロポーショナル			

2バイトビットマップフォント

【書体名】明朝体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
K24M.XXX	J78、J83	10.00	7.20	直立体	標準
K32M.XXX		7.50	9.60		
K40M.XXX		6.00	12.00		

【書体名】ゴシック体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
K24G.XXX	J78、J83	10.00	7.20	直立体	標準
K32G.XXX		7.50	9.60		
K40G.XXX		6.00	12.00		

LIPS III／LIPS4 内蔵フォント一覧

文字セット名称のあとにはグラフィックセットを付けて使用します。

【例】 Ncourier10.XXX → Ncourier10.ISO_UK

グラフィックセットの「a」～「f」については、MEMOの表を参照してください。

1 バイトビットマップフォント

【書体名】 Courier

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Ncourier10.XXX				直立体	標準
Ncourier10I.XXX	a b c d	10.00	12.00	イタリック体	
Ncourier10B.XXX					ボールド
Ncourier15.XXX	a b c	15.00	8.16	直立体	標準
Ncourier17.XXX	d	16.66	8.16		
Ncourier20.XXX	a b c	20.00	7.20		
	d	13.60	8.16		

1 バイトスケーラブルフォント

【書体名】 明朝体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Mincho-Medium-H.XXX	ROMA、KATA、HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
Mincho-Medium-HPS.XXX	ROMA、KATA	プロポーショナル			

【書体名】 ゴシック体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Gothic-Medium-H.XXX	ROMA、KATA、HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
Gothic-Medium-HPS.XXX	ROMA、KATA	プロポーショナル			

【書体名】 丸ゴシック体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ

RoundGothic-Light-H.XXX	ROMA、KATA、HIRA	固定	スケーラブル	直立体	ライト
-------------------------	----------------	----	--------	-----	-----

【書体名】 ラインプリンター

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
LinePrinter-Bold.XXX	ROMA、KATA	固定	スケーラブル	直立体	ボールド

【書体名】 Courier

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Ncourier.XXX		固定	スケーラブル	直立体	標準
Ncourier-Bold.XXX					ボールド
Ncourier-Italic.XXX				イタリック体	標準
Ncourier-BoldItalic.XXX					ボールド

【書体名】 Swiss

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Swiss.XXX		プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
Swiss-Bold.XXX					ボールド
Swiss-Oblique.XXX				イタリック体	標準
Swiss-BoldOblique.XXX					ボールド

【書体名】 Dutch

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Dutch-Roman.XXX		プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
Dutch-Bold.XXX					ボールド
Dutch-Italic.XXX				イタリック体	標準
Dutch-BoldItalic.XXX					ボールド

【書体名】 Symbol

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Symbol.XXX	SYML、SYMR	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準



- 1バイトビットマップフォント表と1バイトスケーラブルフォント表の「a」～「f」の部分には、次のようなグラフィックセットが入ります。

a	ISO_UK、ISO_USA、ISO_S/F、ISO_N/D、ISO_JPN、ISO_GER、ISO_FRC、ISO_ITY、ISO_SPN
b	88_UK、92_NL、92_UK、92_SWD、92_GER、92_FRC、96M_UK、96M_USA、96M_S/F、96M_N/D、96M_GER、96M_FRC、96X_USA、96P_UK96P_USA96P_S/F96P_NOR96P_GER96P_FRC
c	CN_CND、CN_NL、CN_SWS、CN_UK、CN_USA、CN_SWD、CN_N/D、CN_JPN、CN_GER、CN_FRC
d	IBMR1、IBMR2、IBM850、IBMP、IBM860、IBM863、IBM865、IBML
e	IBMR1、IBMR2、IBM850、IBM819、IBMP、IBM860、IBM863、IBM865、IBM1004、IBML、IBML2、Win31L、Win31R、TURKISH
f	PSR、PSL

2バイトスケーラブルフォント

【書体名】 明朝体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Mincho-Medium.XXX	J78、J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
Mincho-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			

【書体名】 角ゴシック体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Gothic-Medium.XXX	J78、J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
Gothic-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			

【書体名】 丸ゴシック体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
RoundGothic-Light.XXX	J78、J90	固定	スケーラブル	直立体	ライト

Version : /FT5J07 Page : 1

0000	FF	9	FF	9	nu	d1	J	F	I	F	nu	sh	sh	sh	nu	'	nu	'	nu	nu	FF	0	nu	C	nu	eq	ex	et				
0028	et	et	ex	eq	et	et	et	eq	eq	eq	ak	bl	ff	bs	bl	bl	bl	bl	si	vt	vt	ht	ff	d1	si							
0053	d2	d2	d1	si	d1	d1	d3	sy	fs	eb	d3	d4	sb	nk	d1	d1	cn	!	cn	sb	gs	gs	us	us	us							
0078	d3	eb	"	\$	"	rs	\$	fs	rs	us	rs	FF	0	nu	C	sh	eq	eq	eq	bl	ak	bl	so	bs	bs	so	rs					
0105	d4	d1	d4	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs				
0130	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs	rs				
0155	rs	rs	rs	FF	9	nu	d1	bs	nu	d3	nu	en	ex	sh	*	nu	sx	d1	sh	ex	d1	sh	FF	1	nu	us						
0181	nu	nu	sh	eq	sh	sh	sh	sh	sh	sh	nu	nu	nu	nu	nu	nu	nu	sh	sx	ex	et	eq	ak	bl								
0206	bs	ht	lf	vt	FF	1	nu	9	d1	nu	sx	sh	ex	ex	sx	et	ex	eq	eq	et	et	nu	nu	sh	9	sh						
0231	sx	ex	nu	et	d1	eq	d2	!	1	A	ak	d3	0	a	bl	*	u	d4	2	81	91	,	bs	#	B	7	#	nk	Δ	Δ	Δ	\$

- 現在選択されている給紙部の用紙サイズで印刷します。

枠囲みパターンについて

コマンドとして解釈できるものは、コマンド単位に枠で囲み印字されます。テキストモードからベクタモードへ、またはベクタモードからテキストモードへ移行した場合は、改行によって区別します。

改行・改ページを示す記号



lf (改行)、vt (垂直タブ)、nl (復帰改行) による改行を伴うコマンド、または ff (改ページ) による改ページを伴うコマンドがあった場合に印字されます。

【例】 lf |

異常終了を知らせる記号



命令終了コードが送られる前に、命令開始コードが送られた場合、または、16進コードのダウンロードで16進コード以外の文字が送られた場合に印字されます。

【例】

00000 ec[! ec[5 m ABCD

■ LIPS ダンプリストの文字・記号の表記

	0	1	7	8	9	F
0	nu(NUL)	d1(DLE)		80	dc(DCS)	
1	sh(SHO)	d1(DC1)		81	91	
2	sx(STX)	d2(DC2)		82	92	
3	ex(ETX)	d3(DC3)		83	93	
4	et(EOT)	d4(DC4)		ix(IDX)	94	
5	eq(ENQ)	nk(NAK)		nl(NEL)	95	
6	ak(ACK)	sy(SYN)		86	96	

	0	1	7	8	9	F
7	bl(BEL)	eb(ETB)		87	97	
8	bs(BS)	cn(CAN)		hs(HTS)	98	
9	ht(HT)	em(EM)		89	99	
A	lf(LF)	sb(SUB)		vs(VTS)	9A	
B	vt(VT)	ec(ESC)		pd(PLD)	cs(CSI)	
C	ff(FF)	fs(FS)		pu(PLU)	st(ST)	
D	cr(CR)	gs(GS)		ri(RI)	9D	
E	so(SO)	rs(RS)		s2(SS2)	9E	
F	si(SI)	us(US)	de(DEL)	s3(SS3)	9F	FF(DEL)

ベクタモードの LIPS ダンプリスト

- 命令は全角文字で印字されます
- パラメーターは 10 進コードで、文字パターンは 16 進コードでそれぞれ印字されます。
- パラメーターが 2 つ以上連続するときは、パラメーターの間にスペースが入ります。



- 通常の文字で印字されるデータはそのまま印字されます。
 - ダウンロードするデータが多い場合は、先頭から 20 バイトと最後から 20 バイトのみを印字し、その間のデータを印字しません。
 - 文字コード 20h (16 進コード) は「」、文字コード A0h (16 進コード) は「A0」で印字されます。
 - 制御コードは大文字で、省略記号は小文字で印字されます。
- 【例】** 改ページ → ff FFh (16 進コード) → FF

おことわり

55S7-096

■ 化学安全情報について

製品の安全データシート (SDS) は <https://canon.jp/ecology/>にて提供しております。

■ 国際エネルギースタートプログラムについて



国際エネルギースタートプログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。

■ IPv6 Ready Logo について



本製品搭載のプロトコルスタックは、IPv6 Forum が定める IPv6 Ready Logo Phase-2 を取得しています。

■ 高調波の抑制について

本機器は JIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

■ 物質エミッションの拡散に関する認定基準について

本製品は、エコマーク基準の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品推奨トナーを使用し、印刷を行った場合について、エコマーク基準に基づき試験を実施しました。)

■ 免責事項

- 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。
- PDF 形式のマニュアルを見られない場合は、Adobe Acrobat Reader をアドビシステムズ社のホームページ (<https://get.adobe.com/reader>) からダウンロードしてください。

■ 商標について

Adobe、Acrobat、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

Apple、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch、Safari、Mac、macOS および OS X は、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

iOS は、米国および他の国々で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。

「MEAP」は、キヤノンの複合機ならびにプリンターに搭載された「アプリケーションプラットフォーム」についてのキヤノン株式会社の商標です。

Mopria®, the Mopria® Logo and the Mopria® Alliance logo are registered trademarks and service marks of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited.

Google Cloud Print、Google Chrome、Android は、Google Inc.の登録商標または商標です。

下記の書体は米国 Bitstream Inc.よりライセンスを受けています。

Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman, Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol, Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text

下記の書体は米国 Bitstream Inc.の商標です。

Dutch 801, Swiss 721

© Copyright 1987, Bitstream Inc., Cambridge Massachusetts USA. All rights reserved.

本製品には、Monotype Imaging, Inc.の認可のもと、Universal Font Scaling Technology または UFST®が含まれています。

UFST®は Monotype Imaging, Inc.の商標であり、米国特許商標庁の管轄で登録されているものです。

UFST: Copyright © 1989 - 1996, 1997, 2003, 2004, 2008, all rights reserved, by Monotype Imaging Inc.



Java and all Java based trademarks and logos are trademarks or registered trademarks of Oracle and/or its affiliates.



Adobe、PostScript および PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または商標登録です。

Copyright © 2007 -08 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Protected by U.S. Patents 5,737,599; 5,781,785; 5,819,301; 5,929,866; 5,943,063; 6,073,148; 6,515,763; 6,639,593; 6,754,382; 7,046,403; 7,213,269; 7,242,415; Patents pending in the U.S. and other countries.

All instances of the name PostScript in the text are references to the PostScript language as defined by Adobe Systems Incorporated unless otherwise stated. The name PostScript also is used as a product trademark for Adobe Systems' implementation of the PostScript language interpreter.

Except as otherwise stated, any reference to a "PostScript printing device," "PostScript display device," or similar item refers to a printing device, display device or item (respectively) that contains PostScript technology created or licensed by Adobe Systems Incorporated and not to devices or items that purport to be merely compatible with the PostScript language.

Adobe, the Adobe logo, PostScript, the PostScript logo, and PostScript 3 are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

Linux is a registered trademark of Linus Torvalds. Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

All other trademarks are the property of their respective owners.

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 著作権

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

■ 原稿などを読み込む際の注意事項

著作物、通貨、有価証券、公文書などを原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられることがありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製すると、肖像権が問題となることがあります。

通貨、有価証券など

次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

公文書など

次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書

- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律について

- 刑法
- 郵便法
- 著作権法
- 郵便切手類模造等取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 印紙等模造取締法

■資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

使用済みプリンターの受け入れ場所について

使用済みとなったプリンターにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。



キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済みプリンターのリサイクルを推進しています。

使用済みのプリンターの回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

使用済みトナーカートリッジなどの回収について

使用済みとなったトナーカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。



キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。

使用済みトナーカートリッジの回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

使用済み回収トナー容器の回収について

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的と致しまして、使用済み回収トナー容器の回収を行なっております。

回収活動の詳細につきましては、次の PDF ファイルを参照してください。



This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at: <http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.
- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.
- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.
- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

第三者のサービスについて

お客様が、本製品を通じて、第三者のサービスを利用する場合、以下の条件が適用されます。

お客様が「許諾ソフトウェア」を通じて、第三者のコンテンツ(テキスト、画像、映像、音声、ソフトウェアを含みますが、これらに限定されません。)にアクセスし、および/または第三者のコンテンツを取得する場合、かかるコンテンツの所有者または適用される法律によって明示的に許可される場合を除き、以下の行為が禁止されます。

- ・ データ抽出、データベース作成などの方法でそのコンテンツの永続的なコピーを作成すること、およびキャッシュされたコピーをキャッシュ ヘッダーで許可された期間よりも長く保持すること。
- ・ 複製、翻訳、変更、派生物の作成、販売、リース、貸与、伝達、配布、公開展示、または第三者へのサブライセンスを行うこと。
- ・ 出典または所有者を偽ること。
- ・ 著作権、商標、またはその他の財産権の表示を削除、隠ぺい、または変更すること、および作者の表示、法的通知、またはその他の素材の出所または出典についての表示を偽造または削除すること

別途固有のライセンス条件が用意されている第三者のソフトウェアについて

第三者のソフトウェアおよびライセンス条件につきましては、下記「ソフトウェア一覧表」および対応するライセンス全文をご参照ください。

「ソフトウェア一覧表」

ソフトウェア	ライセンス全文 (許諾条件) 参照先: ページ
Adobe PostScript 3	4
HttpClient2.0 Alpha1 Release	10
Crypto API	12
expat	13
J2ME	14
libjingle	15
MD4	16
NET-SNMP	17
OpenSSL	24
servlet.jar	27

下記「ソフトウェア一覧表」に記載されたソフトウェアのソースコードの入手を希望される方は、以下の情報を記載の上、日本語または英語で下記メールアドレスまでご連絡ください。

<oipossg@canon.co.jp>

-購入されたモデル名

-本体背面のラベル上にある機番

第三者のソフトウェアおよびライセンス条件につきましては、下記「ソフトウェア一覧表」および対応するライセンス全文をご参照ください。

「ソフトウェア一覧表」

ソフトウェア	ライセンス全文 (許諾条件) 参照先: ページ
Linux	29
glibc	36
json-glib	
glib	44
OSGi Release 4	58

Adobe PostScript 3

Copyright 2007-2008 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

Portions include software under the following terms:

This product contains either BSAFE and/or TIPEM software by RSA Security Inc.

Portions of Pool.c_Copyright 1987 - NeXT, Inc., and portions of Graphics.c_Copyright 1988 NeXT, Inc. as an unpublished work. All Rights Reserved.

The Apache Software License, Version 1.1

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

Portions Copyright (c) 1998-2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)."

Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.

4. The names "Xerces" and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
5. Products derived from this software may not be called "Apache", nor may "Apache" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation and was originally based on software copyright (c) 1999, International Business Machines, Inc., <http://www.ibm.com>. For more information on the Apache Software Foundation, please see <http://www.apache.org/>.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

Portions Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright (c) 1985, 1986 The Regents of the University of California. All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by James A. Woods, derived from original work by Spencer Thomas and Joseph Orost.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Portions Copyright (c) 1993 X Consortium

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE X CONSORTIUM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of the X Consortium shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from the X Consortium.

NOTICE REGARDING SABLOTRON

March 27, 2003

Portions of this product are based on Modifications created from the Original Code known as the "Sablotron XSLT Processor". The Sablotron XSLT Processor is subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"). You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/MPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is the Sablotron XSLT Processor.

The Initial Developer of the Original Code is Ginger Alliance Ltd. Portions created by Ginger Alliance are Copyright (C)

2000 Ginger Alliance Ltd. All Rights Reserved.

Pursuant to sections 3.2 and 3.6 of the License, the Modifications created by Adobe Systems Incorporated are available as Source Code. The Modifications may be downloaded via the Internet from:

<http://partners.adobe.com/asn/tech/xml/sablotron/index.jsp>

The Original Code may be downloaded via the Internet from:

<https://sourceforge.net/projects/sablotron/>

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

Portions Copyright (c) 1982, 1986, 1987, 1988, 1989, 1990, 1991, 1992, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright (c) 2001 by Andrei Alexandrescu. This code accompanies the book:

Alexandrescu, Andrei. "Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied". Copyright (c) 2001. Addison-Wesley.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software for any purpose is hereby granted without fee,

provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. The author or Addison-Welsey Longman make no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Portions developed by the University of California, Berkeley.

Portions Copyright © 1991-2005 Unicode, Inc. All rights reserved. Distributed under the Terms of Use in <http://www.unicode.org/copyright.html>.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and associated documentation (the "Software") to deal in the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that (a) the above copyright notice(s) and this permission notice appear in all copies of the Data Files or Software, (b) both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in associated documentation, and (c) there is clear notice in each modified Data File or in the Software as well as in the documentation associated with the Data File(s) or Software that the data or software has been modified.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

Unicode and the Unicode logo are trademarks of Unicode, Inc., and may be registered in some jurisdictions. All other trademarks and registered trademarks mentioned herein are the property of their respective owners.

Adobe shall retain and reproduce, and require its Sublicensees to retain and reproduce JIM's following copyright notice within each copy of the licensed programs in any form, in whole or in part: "© 1981, 1990 JMI Consultants, Inc. All rights reserved."

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
Portions Copyright (c) 1990, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Chris Torek.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The Loki Library

Portions Copyright (c) 2001 by Andrei Alexandrescu // This code accompanies the book: Alexandrescu, Andrei. "Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied". Copyright (c) 2001. Addison-Wesley.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. The author or Addison-Wesley Longman make no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Updated Information/Additional Third Party Code Information available at <http://www.adobe.com/go/thirdparty> .

HttpClient2.0 Alpha1 Release

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) and is subject to the following terms and conditions.

Copyright (c) 2001 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgement:

"This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)."

Alternately, this acknowledgement may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgements normally appear.

4. The names "The Jakarta Project", "Commons", "Xerces", "Crimson", "Velocity", and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
5. Products derived from this software may not be called "Jakarta", "Commons", "Xerces" "Crimson", "Velocity", or "Apache", nor may "Jakarta", "Commons", "Xerces" "Crimson", "Velocity", or "Apache" appear in their names without prior written permission of the Apache Group.

NO WARRANTY

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation. For more information on the Apache Software Foundation, please see <http://www.apache.org/>.

COPYRIGHT INFORMATION

Copyright (c) 2000 The Legion Of The Bouncy Castle (<http://www.bouncycastle.org>)

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd
and Clark Cooper

Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

J2ME

Software is a "commercial item," as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101 (Oct. 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept. 1995).

Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users acquire Software with only those rights set forth herein.

Copyright 2004--2007, Google Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MD4

"RSA Data Security, Inc. MD4 Message-Digest Algorithm"

NET-SNMP

Various copyrights apply to this package, listed in various separate parts below. Please make sure that you read all the parts. Up until 2001, the project was based at UC Davis, and the first part covers all code written during this time. From 2001 onwards, the project has been based at SourceForge, and Networks Associates Technology, Inc hold the copyright on behalf of the wider Net-SNMP community, covering all derivative work done since then. An additional copyright section has been added as Part 3 below also under a BSD license for the work contributed by Cambridge Broadband Ltd. to the project since 2001. An additional copyright section has been added as Part 4 below also under a BSD license for the work contributed by Sun Microsystems, Inc. to the project since 2003.

Code has been contributed to this project by many people over the years it has been in development, and a full list of contributors can be found in the README file under the THANKS section.

---- Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like) ----

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University

Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL

WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

---- Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) ----

Portions of this code are copyright (c) 2001-2003, Cambridge Broadband Ltd.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) ----

Copyright © 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2003-2005, Sparta, Inc
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network
Center of Beijing University of Posts and Telecommunications.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and

Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 7: Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG, 2003

oss@fabasoft.com

Author: Bernhard Penz <bernhard.penz@fabasoft.com>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG or any of its subsidiaries, brand or product names may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE

LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

OpenSSL

OpenSSL License

```
/* =====  
* Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.  
*  
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without  
* modification, are permitted provided that the following conditions  
* are met:  
*  
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright  
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.  
*  
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright  
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in  
* the documentation and/or other materials provided with the  
* distribution.  
*  
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this  
* software must display the following acknowledgment:  
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project  
* for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"  
*  
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to  
* endorse or promote products derived from this software without  
* prior written permission. For written permission, please contact  
* openssl-core@openssl.org.  
*  
* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"  
* nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written  
* permission of the OpenSSL Project.  
*  
* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following  
* acknowledgment:  
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project  
* for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"  
*  
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
```

* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

* =====

*

* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*

*/

Original SSLey License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

* All rights reserved.

*

* This package is an SSL implementation written

* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

*

* This library is free for commercial and non-commercial use as long as

* the following conditions are aheared to. The following conditions

* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,

* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation

* included with this distribution is covered by the same copyright terms

* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*

* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in

* the code are not to be removed.

* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution

* as the author of the parts of the library used.

* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
* must display the following acknowledgement:
* "This product includes cryptographic software written by
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
* The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
* being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/

1. Java Platform Interface. Licensee may not modify the Java Platform Interface (JPI, identified as classes contained within the javax package or any subpackages of the javax package), by creating additional classes within the JPI or otherwise causing the addition to or modification of the classes in the JPI. In the event that Licensee creates any Java-related API and distribute such API to others for applet or application development, you must promptly publish broadly, an accurate specification for such API for free use by all developers of Java-based software.

2. Restrictions. Software is confidential copyrighted information of Sun and title to all copies is retained by Sun and/or its licensors. Licensee shall not modify, decompile, disassemble, decrypt, extract, or otherwise reverse engineer Software. Software may not be leased, assigned, or sublicensed, in whole or in part. Software is not designed or intended for use in on-line control of aircraft, air traffic, aircraft navigation or aircraft communications; or in the design, construction, operation or maintenance of any nuclear facility. Licensee warrants that it will not use or redistribute the Software for such purposes.

3. Disclaimer of Warranty. Software is provided "AS IS," without a warranty of any kind. ALL EXPRESS OR IMPLIED

REPRESENTATIONS AND WARRANTIES, INCLUDING ANY IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT, ARE HEREBY EXCLUDED.

4. Termination. This License is effective until terminated. Licensee may terminate this License at any time by destroying all copies of Software. This License will terminate immediately without notice from Sun if Licensee fails to comply with any provision of this License. Upon such termination, Licensee must destroy all copies of Software.

5. Export Regulations. Software, including technical data, is subject to U.S. export control laws, including the U.S. Export Administration Act and its associated regulations, and may be subject to export or import regulations in other countries. Licensee agrees to comply strictly with all such regulations and acknowledges that it has the responsibility to obtain licenses to export, re-export, or import Software. Software may not be downloaded, or otherwise exported or re-exported (i) into, or to a national or resident of, Cuba, Iraq, Iran, North Korea, Libya, Sudan, Syria or any country to which the U.S. has embargoed goods; or (ii) to anyone on the U.S. Treasury Department's list of Specially Designated Nations or the U.S. Commerce Department's Table of Denial Orders.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an

appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the program's name and an idea of what it does.

Copyright (C) *yyyy name of author*

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) *year name of author*

Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands ``show w'` and ``show c'` should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than ``show w'` and ``show c'`; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright
interest in the program ``Gnomovision'`
(which makes passes at compilers) written
by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

glibc

json-glib

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- **a)** The modified work must itself be a software library.
- **b)** You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- **c)** You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- **d)** If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright

notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- **a)** Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- **b)** Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- **c)** Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- **d)** If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- **e)** Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- **a)** Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- **b)** Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the library's name and an idea of what it does.

Copyright (C) *year* *name of author*

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of

MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

glib

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the library GPL. It is numbered 2 because it goes with version 2 of the ordinary GPL.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Library General Public License, applies to some specially designated Free Software Foundation software, and to any other libraries whose authors decide to use it. You can use it for your libraries, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source

code. If you link a program with the library, you must provide complete object files to the recipients so that they can relink them with the library, after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

Our method of protecting your rights has two steps: (1) copyright the library, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

Also, for each distributor's protection, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free library. If the library is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original version, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that companies distributing free software will individually obtain patent licenses, thus in effect transforming the program into proprietary software. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License, which was designed for utility programs. This license, the GNU Library General Public License, applies to certain designated libraries. This license is quite different from the ordinary one; be sure to read it in full, and don't assume that anything in it is the same as in the ordinary license.

The reason we have a separate public license for some libraries is that they blur the distinction we usually make between modifying or adding to a program and simply using it. Linking a program with a library, without changing the library, is in some sense simply using the library, and is analogous to running a utility program or application program. However, in a textual and legal sense, the linked executable is a combined work, a derivative of the original library, and the ordinary General Public License treats it as such.

Because of this blurred distinction, using the ordinary General

Public License for libraries did not effectively promote software sharing, because most developers did not use the libraries. We concluded that weaker conditions might promote sharing better.

However, unrestricted linking of non-free programs would deprive the users of those programs of all benefit from the free status of the libraries themselves. This Library General Public License is intended to permit developers of non-free programs to use free libraries, while preserving your freedom as a user of such programs to change the free libraries that are incorporated in them. (We have not seen how to achieve this as regards changes in header files, but we have achieved it as regards changes in the actual functions of the Library.) The hope is that this will lead to faster development of free libraries.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, while the latter only works together with the library.

Note that it is possible for a library to be covered by the ordinary General Public License rather than by this special one.

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Library General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a

portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public

License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also compile or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the

user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

c) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

d) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this

License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Library General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and

"any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>  
Copyright (C) <year> <name of author>
```

```
This library is free software; you can redistribute it and/or  
modify it under the terms of the GNU Library General Public  
License as published by the Free Software Foundation; either  
version 2 of the License, or (at your option) any later version.
```

```
This library is distributed in the hope that it will be useful,  
but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of  
MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU  
Library General Public License for more details.
```

```
You should have received a copy of the GNU Library General Public  
License along with this library; if not, write to the  
Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330,  
Boston, MA 02111-1307 USA.
```

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

```
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the  
library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.
```


<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Copyright (c) 1997-2008 University of Cambridge.

↑ Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

* Copyright (C) 2007 Red Hat Inc.

*

- * Permission is hereby granted, free of charge, to any person
- * obtaining a copy of this software and associated documentation files
- * (the "Software"), to deal in the Software [↑](#) without restriction,

* including without limitation the rights to use, copy, modify, merge,
* publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software,
* and to permit persons to whom the Software is furnished to do so,
* subject to the following conditions:

*

* The above copyright notice and this permission notice shall be
* included in all copies or substantial portions of the Software.

*

* THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND,
* EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF
* MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND
* NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS
* BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN
* ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN
* CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE
* SOFTWARE.

Eclipse Public License - v 1.0

THE ACCOMPANYING PROGRAM IS PROVIDED UNDER THE TERMS OF THIS ECLIPSE PUBLIC LICENSE ("AGREEMENT"). ANY USE, REPRODUCTION OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM CONSTITUTES RECIPIENT'S ACCEPTANCE OF THIS AGREEMENT.

1. DEFINITIONS

"Contribution" means:

a) in the case of the initial Contributor, the initial code and documentation distributed under this Agreement, and

b) in the case of each subsequent Contributor:

i) changes to the Program, and

ii) additions to the Program;

where such changes and/or additions to the Program originate from and are distributed by that particular Contributor. A Contribution 'originates' from a Contributor if it was added to the Program by such Contributor itself or anyone acting on such Contributor's behalf. Contributions do not include additions to the Program which: (i) are separate modules of software distributed in conjunction with the Program under their own license agreement, and (ii) are not derivative works of the Program.

"Contributor" means any person or entity that distributes the Program.

"Licensed Patents" mean patent claims licensable by a Contributor which are necessarily infringed by the use or sale of its Contribution alone or when combined with the Program.

"Program" means the Contributions distributed in accordance with this Agreement.

"Recipient" means anyone who receives the Program under this Agreement, including all Contributors.

2. GRANT OF RIGHTS

a) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce, prepare derivative works of, publicly display, publicly perform, distribute and sublicense the Contribution of such Contributor, if any, and such derivative works, in source code and object code form.

b) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under Licensed Patents to make, use, sell, offer to sell, import and otherwise transfer the Contribution of such Contributor, if any, in source code and object code form. This patent license shall apply to the combination of the Contribution and the Program if, at the time the Contribution is

added by the Contributor, such addition of the Contribution causes such combination to be covered by the Licensed Patents. The patent license shall not apply to any other combinations which include the Contribution. No hardware per se is licensed hereunder.

c) Recipient understands that although each Contributor grants the licenses to its Contributions set forth herein, no assurances are provided by any Contributor that the Program does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Each Contributor disclaims any liability to Recipient for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, each Recipient hereby assumes sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any. For example, if a third party patent license is required to allow Recipient to distribute the Program, it is Recipient's responsibility to acquire that license before distributing the Program.

d) Each Contributor represents that to its knowledge it has sufficient copyright rights in its Contribution, if any, to grant the copyright license set forth in this Agreement.

3. REQUIREMENTS

A Contributor may choose to distribute the Program in object code form under its own license agreement, provided that:

- a) it complies with the terms and conditions of this Agreement; and
- b) its license agreement:
 - i) effectively disclaims on behalf of all Contributors all warranties and conditions, express and implied, including warranties or conditions of title and non-infringement, and implied warranties or conditions of merchantability and fitness for a particular purpose;
 - ii) effectively excludes on behalf of all Contributors all liability for damages, including direct, indirect, special, incidental and consequential damages, such as lost profits;
 - iii) states that any provisions which differ from this Agreement are offered by that Contributor alone and not by any other party; and
 - iv) states that source code for the Program is available from such Contributor, and informs licensees how to obtain it in a reasonable manner on or through a medium customarily used for software exchange.

When the Program is made available in source code form:

- a) it must be made available under this Agreement; and
- b) a copy of this Agreement must be included with each copy of the Program.

Contributors may not remove or alter any copyright notices contained within the Program.

Each Contributor must identify itself as the originator of its Contribution, if any, in a manner that reasonably allows subsequent Recipients to identify the originator of the Contribution.

4. COMMERCIAL DISTRIBUTION

Commercial distributors of software may accept certain responsibilities with respect to end users, business partners and the like. While this license is intended to facilitate the commercial use of the Program, the Contributor who includes the Program in a commercial product offering should do so in a manner which does not create potential liability for other Contributors. Therefore, if a Contributor includes the Program in a commercial product offering, such Contributor ("Commercial Contributor") hereby agrees to defend and indemnify every other Contributor ("Indemnified Contributor") against any losses, damages and costs (collectively "Losses") arising from claims, lawsuits and other legal actions brought by a third party against the Indemnified Contributor to the extent caused by the acts or omissions of such Commercial Contributor in connection with its distribution of the Program in a commercial product offering. The obligations in this section do not apply to any claims or Losses relating to any actual or alleged intellectual property infringement. In order to qualify, an Indemnified Contributor must: a) promptly notify the Commercial Contributor in writing of such claim, and b) allow the Commercial Contributor to control, and cooperate with the Commercial Contributor in, the defense and any related settlement negotiations. The Indemnified Contributor may participate in any such claim at its own expense.

For example, a Contributor might include the Program in a commercial product offering, Product X. That Contributor is then a Commercial Contributor. If that Commercial Contributor then makes performance claims, or offers warranties related to Product X, those performance claims and warranties are such Commercial Contributor's responsibility alone. Under this section, the Commercial Contributor would have to defend claims against the other Contributors related to those performance claims and warranties, and if a court requires any other Contributor to pay any damages as a result, the Commercial Contributor must pay those damages.

5. NO WARRANTY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, THE PROGRAM IS PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OR CONDITIONS OF TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Each Recipient is solely responsible for determining the appropriateness of using and distributing the Program and assumes all risks associated with its exercise of rights under this Agreement, including but not limited to the risks and costs of program errors, compliance with applicable laws, damage to or loss of data, programs or equipment, and unavailability or interruption of operations.

6. DISCLAIMER OF LIABILITY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, NEITHER RECIPIENT NOR ANY CONTRIBUTORS SHALL HAVE ANY LIABILITY FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING WITHOUT LIMITATION LOST PROFITS), HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM OR THE EXERCISE OF ANY RIGHTS GRANTED HEREUNDER, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

7. GENERAL

If any provision of this Agreement is invalid or unenforceable under applicable law, it shall not affect the validity or enforceability of the remainder of the terms of this Agreement, and without further action by the parties hereto, such provision shall be reformed to the minimum extent necessary to make such provision valid and enforceable.

If Recipient institutes patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Program itself (excluding combinations of the Program with other software or hardware) infringes such Recipient's patent(s), then such Recipient's rights granted under Section 2(b) shall terminate as of the date such litigation is filed.

All Recipient's rights under this Agreement shall terminate if it fails to comply with any of the material terms or conditions of this Agreement and does not cure such failure in a reasonable period of time after becoming aware of such noncompliance. If all Recipient's rights under this Agreement terminate, Recipient agrees to cease use and distribution of the Program as soon as reasonably practicable. However, Recipient's obligations under this Agreement and any licenses granted by Recipient relating to the Program shall continue and survive.

Everyone is permitted to copy and distribute copies of this Agreement, but in order to avoid inconsistency the Agreement is copyrighted and may only be modified in the following manner. The Agreement Steward reserves the right to publish new versions (including revisions) of this Agreement from time to time. No one other than the Agreement Steward has the right to modify this Agreement. The Eclipse Foundation is the initial Agreement Steward. The Eclipse Foundation may assign the responsibility to serve as the Agreement Steward to a suitable separate entity. Each new version of the Agreement will be given a distinguishing version number. The Program (including Contributions) may always be distributed subject to the version of the Agreement under which it was received. In addition, after a new version of the Agreement is published, Contributor may elect to distribute the Program (including its Contributions) under the new version. Except as expressly stated in Sections 2(a) and 2(b) above, Recipient receives no rights or licenses to the intellectual property of any Contributor under this Agreement, whether expressly, by implication, estoppel or otherwise. All rights in the Program not expressly granted under this Agreement are reserved.

This Agreement is governed by the laws of the State of New York and the intellectual property laws of the United States of America. No party to this Agreement will bring a legal action under this Agreement more than one year after the cause of action arose. Each party waives its rights to a jury trial in any resulting litigation.

第三者のサービスについて

お客様が、本製品を通じて、第三者のサービスを利用する場合、以下の条件が適用されます。

お客様が「許諾ソフトウェア」を通じて、第三者のコンテンツ（テキスト、画像、映像、音声、ソフトウェアを含みますが、これらに限定されません。）にアクセスし、および / または第三者のコンテンツを取得する場合、かかるコンテンツの所有者または適用される法律によって明示的に許可される場合を除き、以下の行為が禁止されます。

- ・ データ抽出、データベース作成などの方法でそのコンテンツの永続的なコピーを作成すること、およびキャッシュされたコピーをキャッシュ ヘッダーで許可された期間よりも長く保持すること。
- ・ 複製、翻訳、変更、派生物の作成、販売、リース、貸与、伝達、配布、公開展示、または第三者へのサブライセンスを行うこと。
- ・ 出典または所有者を偽ること。
- ・ 著作権、商標、またはその他の財産権の表示を削除、隠ぺい、または変更すること、および作者の表示、法的通知、またはその他の素材の出所または出典についての表示を偽造または削除すること

別途固有のライセンス条件が用意されている第三者のソフトウェアについて

第三者のソフトウェアおよびライセンス条件につきましては、下記「ソフトウェア一覧表」および対応するライセンス全文をご参照ください。

「ソフトウェア一覧表」

ソフトウェア	ライセンス全文 (許諾条件) 参照先: ページ
Adobe PostScript 3	4
expat	11
libjingle	12
MD4	13
NET-SNMP	14
OpenSSL	21

下記「ソフトウェア一覧表」に記載されたソフトウェアのソースコードの入手を希望される方は、以下の情報を記載の上、日本語または英語で下記メールアドレスまでご連絡ください。

<oipossg@canon.co.jp>

-購入されたモデル名

-本体背面のラベル上にある機番

第三者のソフトウェアおよびライセンス条件につきましては、下記「ソフトウェア一覧表」および対応するライセンス全文をご参照ください。

「ソフトウェア一覧表」

ソフトウェア	ライセンス全文 (許諾条件) 参照先: ページ
Linux	25
glibc	33
json-glib	
glib	42

Adobe PostScript 3

Copyright 2007-2008 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

Portions include software under the following terms:

This product contains either BSAFE and/or TIPEM software by RSA Security Inc.

Portions of Pool.c_Copyright 1987 - NeXT, Inc., and portions of Graphics.c_Copyright 1988 NeXT, Inc. as an unpublished work. All Rights Reserved.

The Apache Software License, Version 1.1

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

Portions Copyright (c) 1998-2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)."

Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.

4. The names "Xerces" and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
5. Products derived from this software may not be called "Apache", nor may "Apache" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,

PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation and was originally based on software copyright (c) 1999, International Business Machines, Inc., <http://www.ibm.com>. For more information on the Apache Software Foundation, please see <http://www.apache.org/>.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors. Portions Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright (c) 1985, 1986 The Regents of the University of California. All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by James A. Woods, derived from original work by Spencer Thomas and Joseph Orost.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Portions Copyright (c) 1993 X Consortium

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE X CONSORTIUM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of the X Consortium shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from the X Consortium.

NOTICE REGARDING SABLOTRON

March 27, 2003

Portions of this product are based on Modifications created from the Original Code known as the "Sablotron XSLT Processor". The Sablotron XSLT Processor is subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"). You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/MPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is the Sablotron XSLT Processor.

The Initial Developer of the Original Code is Ginger Alliance Ltd. Portions created by Ginger Alliance are Copyright (C) 2000 Ginger Alliance Ltd. All Rights Reserved.

Pursuant to sections 3.2 and 3.6 of the License, the Modifications created by Adobe Systems Incorporated are available as Source Code. The Modifications may be downloaded via the Internet from:

<http://partners.adobe.com/asn/tech/xml/sablotron/index.jsp>

The Original Code may be downloaded via the Internet from:

<https://sourceforge.net/projects/sablotron/>

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors. Portions Copyright (c) 1982, 1986, 1987, 1988, 1989, 1990, 1991, 1992, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote

products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright (c) 2001 by Andrei Alexandrescu. This code accompanies the book:

Alexandrescu, Andrei. "Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied". Copyright (c) 2001. Addison-Wesley.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. The author or Addison-Wesley Longman make no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Portions developed by the University of California, Berkeley.

Portions Copyright © 1991-2005 Unicode, Inc. All rights reserved. Distributed under the Terms of Use in <http://www.unicode.org/copyright.html>.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and associated documentation (the "Software") to deal in the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that (a) the above copyright notice(s) and this permission notice appear in all copies of the Data Files or Software, (b) both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in associated documentation, and (c) there is clear notice in each modified Data File or in the Software as well as in the documentation associated with the Data File(s) or Software that the data or software has been modified.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND,

EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

Unicode and the Unicode logo are trademarks of Unicode, Inc., and may be registered in some jurisdictions. All other trademarks and registered trademarks mentioned herein are the property of their respective owners.

Adobe shall retain and reproduce, and require its Sublicensees to retain and reproduce JIM's following copyright notice within each copy of the licensed programs in any form, in whole or in part: "© 1981, 1990 JMI Consultants, Inc. All rights reserved."

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors. Portions Copyright (c) 1990, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Chris Torek.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS

OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The Loki Library

Portions Copyright (c) 2001 by Andrei Alexandrescu // This code accompanies the book: Alexandrescu, Andrei. "Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied". Copyright (c) 2001. Addison-Wesley.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. The author or Addison-Wesley Longman make no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Updated Information/Additional Third Party Code Information available at <http://www.adobe.com/go/thirdparty> .

expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd
and Clark Cooper

Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

libjingle

Copyright 2004--2007, Google Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MD4

"RSA Data Security, Inc. MD4 Message-Digest Algorithm"

NET-SNMP

Various copyrights apply to this package, listed in various separate parts below. Please make sure that you read all the parts. Up until 2001, the project was based at UC Davis, and the first part covers all code written during this time. From 2001 onwards, the project has been based at SourceForge, and Networks Associates Technology, Inc hold the copyright on behalf of the wider Net-SNMP community, covering all derivative work done since then. An additional copyright section has been added as Part 3 below also under a BSD license for the work contributed by Cambridge Broadband Ltd. to the project since 2001. An additional copyright section has been added as Part 4 below also under a BSD license for the work contributed by Sun Microsystems, Inc. to the project since 2003.

Code has been contributed to this project by many people over the years it has been in development, and a full list of contributors can be found in the README file under the THANKS section.

---- Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like) -----

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University

Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

---- Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;

OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) -----

Portions of this code are copyright (c) 2001-2003, Cambridge Broadband Ltd.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) -----

Copyright © 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2003-2005, Sparta, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network

Center of Beijing University of Posts and Telecommunications.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without

modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 7: Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG, 2003

oss@fabasoft.com

Author: Bernhard Penz <bernhard.penz@fabasoft.com>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * The name of Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG or any of its subsidiaries, brand or product names may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

OpenSSL

OpenSSL License

/* =====

* Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without

* modification, are permitted provided that the following conditions

* are met:

*

* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright

* notice, this list of conditions and the following disclaimer.

*

* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright

* notice, this list of conditions and the following disclaimer in

* the documentation and/or other materials provided with the

* distribution.

*

* 3. All advertising materials mentioning features or use of this

* software must display the following acknowledgment:

* "This product includes software developed by the OpenSSL Project

* for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"

*

* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to

* endorse or promote products derived from this software without

* prior written permission. For written permission, please contact

* openssl-core@openssl.org.

*

* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"

* nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written

* permission of the OpenSSL Project.

*

* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following

* acknowledgment:

* "This product includes software developed by the OpenSSL Project

* for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

* =====

*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*
*/

Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*

* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.

* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
* as the author of the parts of the library used.

* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:

* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.

* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
* must display the following acknowledgement:
* "This product includes cryptographic software written by
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
* The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
* being used are not cryptographic related :-).

* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*

* The licence and distribution terms for any publically available version or

* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its

recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a)** You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license

would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the program's name and an idea of what it does.

Copyright (C) yyyy name of author

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2

of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful,
but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of
MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the
GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License
along with this program; if not, write to the Free Software
Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) *year name of author*
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details
type `show w'. This is free software, and you are welcome
to redistribute it under certain conditions; type `show c'
for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright
interest in the program `Gnomovision'
(which makes passes at compilers) written
by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

Glibc

json-glib

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances. For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms.

A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- **a)** The modified work must itself be a software library.
- **b)** You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- **c)** You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- **d)** If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- **a)** Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- **b)** Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- **c)** Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- **d)** If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- **e)** Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this

user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- **a)** Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- **b)** Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license

would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH

YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the library's name and an idea of what it does.

Copyright (C) *year* *name of author*

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in
the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written
by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

glib

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the library GPL. It is numbered 2 because it goes with version 2 of the ordinary GPL.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Library General Public License, applies to some specially designated Free Software Foundation software, and to any other libraries whose authors decide to use it. You can use it for your libraries, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis

or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link a program with the library, you must provide complete object files to the recipients so that they can relink them with the library, after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

Our method of protecting your rights has two steps: (1) copyright the library, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

Also, for each distributor's protection, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free library. If the library is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original version, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that companies distributing free software will individually obtain patent licenses, thus in effect transforming the program into proprietary software. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License, which was designed for utility programs. This license, the GNU Library General Public License, applies to certain designated libraries. This license is quite different from the ordinary one; be sure to read it in full, and don't assume that anything in it is the same as in the ordinary license.

The reason we have a separate public license for some libraries is that they blur the distinction we usually make between modifying or adding to a program and simply using it. Linking a program with a library, without changing the library, is in some sense simply using the library, and is analogous to running a utility program or application program. However, in a textual and legal sense, the linked executable is a combined work, a

derivative of the original library, and the ordinary General Public License treats it as such.

Because of this blurred distinction, using the ordinary General Public License for libraries did not effectively promote software sharing, because most developers did not use the libraries. We concluded that weaker conditions might promote sharing better.

However, unrestricted linking of non-free programs would deprive the users of those programs of all benefit from the free status of the libraries themselves. This Library General Public License is intended to permit developers of non-free programs to use free libraries, while preserving your freedom as a user of such programs to change the free libraries that are incorporated in them. (We have not seen how to achieve this as regards changes in header files, but we have achieved it as regards changes in the actual functions of the Library.) The hope is that this will lead to faster development of free libraries.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, while the latter only works together with the library.

Note that it is possible for a library to be covered by the ordinary General Public License rather than by this special one.

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Library General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs

(which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and

distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest

your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also compile or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

c) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

d) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on

which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the

Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot

impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Library General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO

WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Library General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Library General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Library General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Copyright (c) 1997-2008 University of Cambridge.

↑ Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

* Copyright (C) 2007 Red Hat Inc.

*

* Permission is hereby granted, free of charge, to any person
* obtaining a copy of this software and associated documentation files
* (the "Software"), to deal in the Software [↑](#) without restriction,
* including without limitation the rights to use, copy, modify, merge,
* publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software,
* and to permit persons to whom the Software is furnished to do so,
* subject to the following conditions:

*

* The above copyright notice and this permission notice shall be
* included in all copies or substantial portions of the Software.

*

* THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND,
* EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF
* MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND
* NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS

* BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN
* ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN
* CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE
* SOFTWARE.



MEAP アプリケーション管理機能ガイド

ユーザーズガイド

もくじ

こんなことができます	2
SMS の起動と終了	5
SMS を起動する前に (準備)	7
HTTP 通信を設定する	8
SMS を起動 (ログイン) する	9
お読みください (SMS を起動 (ログイン) する)	13
SMS を終了 (ログアウト) する	14
MEAP アプリケーションの設定	16
MEAP アプリケーションのインストール	19
お読みください (MEAP アプリケーションのインストール)	22
MEAP アプリケーションのアンインストール	23
MEAP アプリケーションの開始/停止	25
MEAP アプリケーションを開始する	26
MEAP アプリケーションを停止する	27
MEAP アプリケーションの詳細情報を確認する	29
MEAP アプリケーションのライセンスの設定	31
ライセンスファイルを追加する	32
ライセンスファイルを無効化する	34
無効化したライセンスファイルをダウンロードする	37
無効化したライセンスファイルを削除する	40
MEAP アプリケーションの認証情報を設定する	43
システム管理設定	47
MEAP アプレットの表示順を変更する	48
ログインサービスの確認	50
拡張システムアプリケーションの設定	51
拡張システムアプリケーションの開始/停止	52
拡張システムアプリケーションを開始する	53
拡張システムアプリケーションを停止する	54
拡張システムアプリケーションのインストール	55
拡張システムアプリケーションのアンインストール	57
各種情報を確認する	58
システム情報を確認する	59
アプリケーション情報を確認する	60
ライセンスファイルを確認する	61
SMS 用のパスワードを変更する	62
MEAP アプリケーションの設定情報を削除する	64
MEAP アプリケーションのログデータを管理する	66
ログデータをダウンロードする	67

ログデータを削除する	69
------------------	----

エラーメッセージ一覧 72

[ログイン] ページに関するエラー	74
[MEAP アプリケーション管理] ページに関するエラー	76
[MEAP アプリケーションのインストール] ページに関するエラー	78
[認証情報の設定] ページに関するエラー	83
[ライセンス管理] ページに関するエラー	84
[拡張システムアプリケーション管理] ページに関するエラー	86
[ライセンス確認]、[パスワードの変更] ページに関するエラー	92
[MEAP アプリケーションの設定情報管理] ページに関するエラー	94
[MEAP アプリケーションのログ管理] ページに関するエラー	95
その他のエラー	96

ガイドの使いかた 98

本ガイドの動作環境	99
本ガイドの画面構成	100
トップページ	101
トピックページ	102
サイトマップ	104
検索方法	105
本ガイドの読みかた	107

免責事項 109

商標 111

こんなことができます

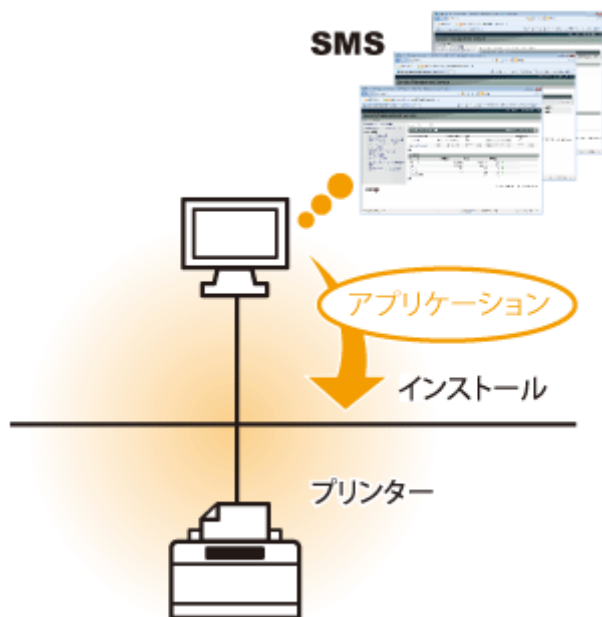
こんなことができます 2

こんなことができます

0XL3-000

SMS (Service Management Service) は、お手持ちの Web ブラウザーからネットワークを經由してプリンターにアクセスし、MEAP アプリケーション（以下、アプリケーションと呼びます。）のインストール、管理などを行うことができるソフトウェアです。SMS を使用するためのソフトウェア (Web サーバー) はプリンターに内蔵されていますので、Web ブラウザー以外のソフトウェアを用意する必要はありません。

ネットワーク上のプリンターがコンピューターとつながっていれば、SMS を使えます。SMS を使って以下の操作が行えます。



ネットワーク上のコンピューターからアプリケーション情報を確認できます

ネットワーク経由でプリンターにアクセスして、インストールされているアプリケーションの状況や各種情報を表示できます。

SMS を起動し、[ログイン] ページでパスワードを入力してログインすると、次のようなトップページが表示されます。



(1) [MEAP アプリケーション管理]

プリンターにインストールされているアプリケーションの状況などが表示されます。

- ▶ 「MEAP アプリケーションの設定(P. 16)」

(2) [MEAP アプリケーションのインストール]

MEAP アプリケーションのインストールを行います。

- ▶ 「MEAP アプリケーションのインストール(P. 19)」

(3) [システム管理]

システムアプリケーションの設定や各種情報の表示、SMS 用ログインパスワードの変更など、MEAP のシステム管理設定を行います。

- ▶ 「システム管理設定(P. 47)」

アプリケーションをインストール／アンインストールできます

本プリンターに対応するアプリケーションをコンピューターからインストール／アンインストールできます。

- ▶ 「MEAP アプリケーションのインストール(P. 19)」
- ▶ 「MEAP アプリケーションのアンインストール(P. 23)」

インストールしたアプリケーションやライセンスファイルを更新できます

インストールしているアプリケーションのライセンスが失効した場合などに、再度インストールして更新できます。

- ▶ 「ライセンスファイルを追加する(P. 32)」

SMS の起動と終了

SMS の起動と終了	5
SMS を起動する前に（準備）	7
HTTP 通信を設定する	8
SMS を起動（ログイン）する	9
お読みください（SMS を起動（ログイン）する）	13
SMS を終了（ログアウト）する	14

SMS の起動と終了

0XL3-001

SMS を使用するには、ログインする必要があります。

- ✦ **SMS を起動する前に（準備）(P. 7)**
- ✦ **SMS を起動（ログイン）する(P. 9)**
- ✦ **SMS を終了（ログアウト）する(P. 14)**



メモ

Web ブラウザーの設定について

以下のように設定されている必要があります。

- JavaScript が有効な状態になっている
- セッションごとのクッキー（Cookie）の使用が有効な状態になっている
- プロキシサーバーを使用しているときは、Web ブラウザーのプロキシサーバーの設定で、[例外]（プロキシを使用しないアドレス）にプリンターの IP アドレスを追加します。
ネットワーク環境によって設定が異なるため、ネットワーク管理者に相談してください。

SMS の起動について

同時に複数のユーザーがログインすることはできません。

SMS の自動ログアウトについて

SMS を使用中に約 5 分以上アクセスしないとタイムアウトとなり、自動的にログアウトします。そのときは、[ログイン] ページから再度ログインします。

Web ブラウザーの [戻る] は使用しない

Web ブラウザーの [戻る] を使用して移動すると、SMS が正しく動作しなくなることがあります。

SMS のシステム環境

SMS は、以下のシステム環境での動作を保証しています。

Web ブラウザー	<ul style="list-style-type: none"> ● Internet Explorer 7 以降 ● Safari 4.0.5 以降
OS	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows Vista SP2 ● Windows 7 SP1 ● Windows 8 ● Windows 10

- Mac OS X v 10.5 以降

SMS を起動する前に（準備）

OXL3-002

SMS を起動する前に、以下の設定を行います。

Step1	ネットワークの設定をします。	▶ 「電子マニュアル」
Step2	ネットワークステータスプリントでプリンターの IP アドレスを確認します。	▶ 「電子マニュアル」
Step3	Web ブラウザーからプリンターにアクセスできるように設定します。	▶ 「HTTP 通信を設定する(P. 8)」

HTTP 通信を設定する

OXL3-003

Web ブラウザーから MEAP の機能を使用するためには、HTTP 通信を有効にする必要があります。

次の手順で設定を行ってください（工場出荷時の設定は＜ON＞です）。

1 [セットアップ] キーを押して、▲ / ▼ で＜ネットワーク＞を選択し、[OK] キーを押します。

メッセージが表示されたら、[OK] キーを押します。

2 ▲ / ▼ で＜TCP/IP 設定＞を選択し、[OK] キーを押します。

3 ▲ / ▼ で＜HTTP＞を選択し、[OK] キーを押します。

4 ▲ / ▼ で＜ON＞を選択し、[OK] キーを押します。

＜ON＞	HTTP を使用します。
＜OFF＞	HTTP を使用しません。

5 ハードリセット、またはプリンターを再起動します。

ハードリセット後、またはプリンターの再起動後に設定が有効になります。



メモ

ハードリセットの詳細について

詳しくは、「電子マニュアル」を参照してください。

SMS を起動（ログイン）する

0XL3-004

SMS の起動方法は、次の 2 通りあります。

- ▶ Web ブラウザーから直接 SMS を起動する(P. 9)
- ▶ リモート UI から SMS を起動する(P. 10)

起動する前に、「**お読みください（SMS を起動（ログイン）する）（P. 13）**」をご覧ください。

Web ブラウザーから直接 SMS を起動する

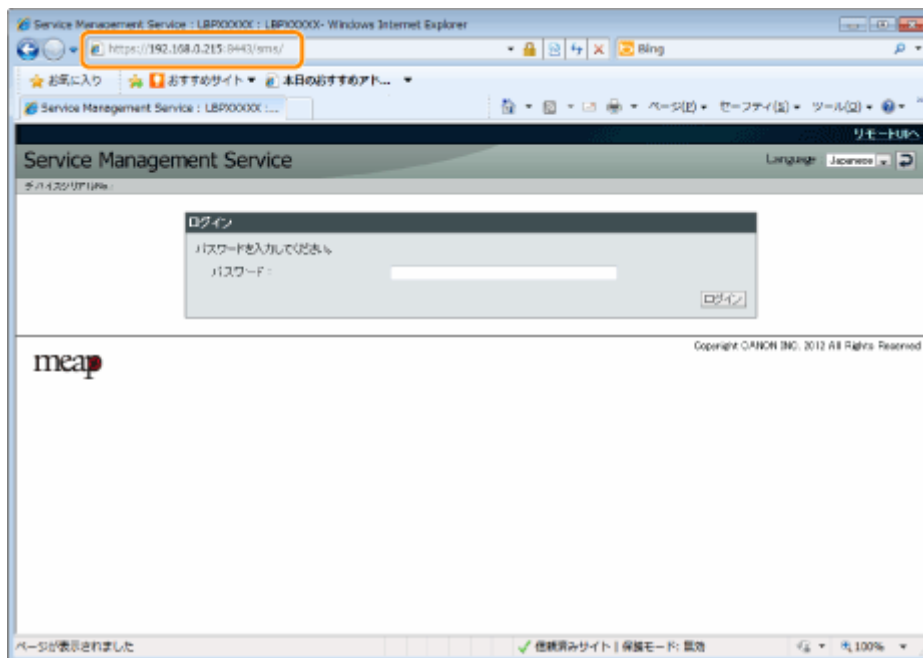
1 Web ブラウザーを起動します。

2 アドレス入力欄に「**https://<プリンターの IP アドレス>:8443/sms/**」を入力して、キーボードの [ENTER] キーを押します。

- 入力例：https://192.168.0.215:8443/sms/

※ DNS サーバーにプリンターのホスト名が登録されている場合は、IP アドレスのかわりに [ホスト名.ドメイン名] を入力することもできます。

- 入力例：「http://my_printer.xy_dept.company.com:8443/sms/」



? SMS が起動されないとき

次のことを確認してください。

- HTTP 通信が有効になっている
 - 「**HTTP 通信を設定する(P. 8)**」
- コンピューターとプリンターがネットワーク経由で正しく接続されている
- プリンターの電源が入っている

- IP アドレスまたは [ホスト名.ドメイン名] が正しく入力されている

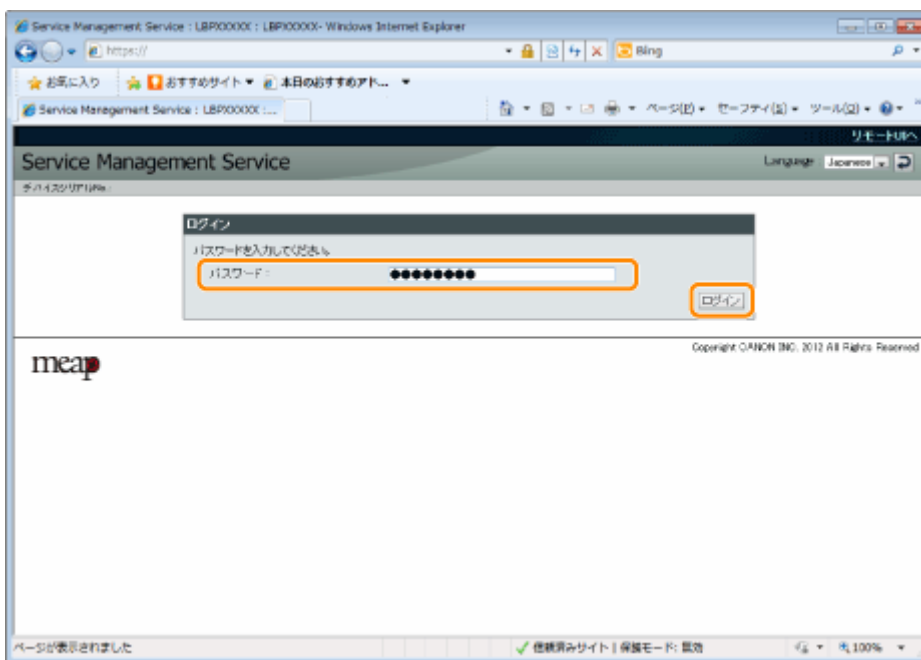
メモ

デバイスシリアル番号について

プリンターのデバイスシリアル番号が、画面左上に表示されます。(デバイスシリアル番号は、ライセンス管理システムからライセンスファイルを取得するときに必要です。)

3 パスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。

※ 工場出荷時の設定は、「MeapSmsLogin」です。(大文字と小文字の区別をします。)



? ログインできなかったとき

パスワードが正しくないためにログインできなかった場合は、パスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。

正しいパスワードを入力して、[ログイン] をクリックしてください。

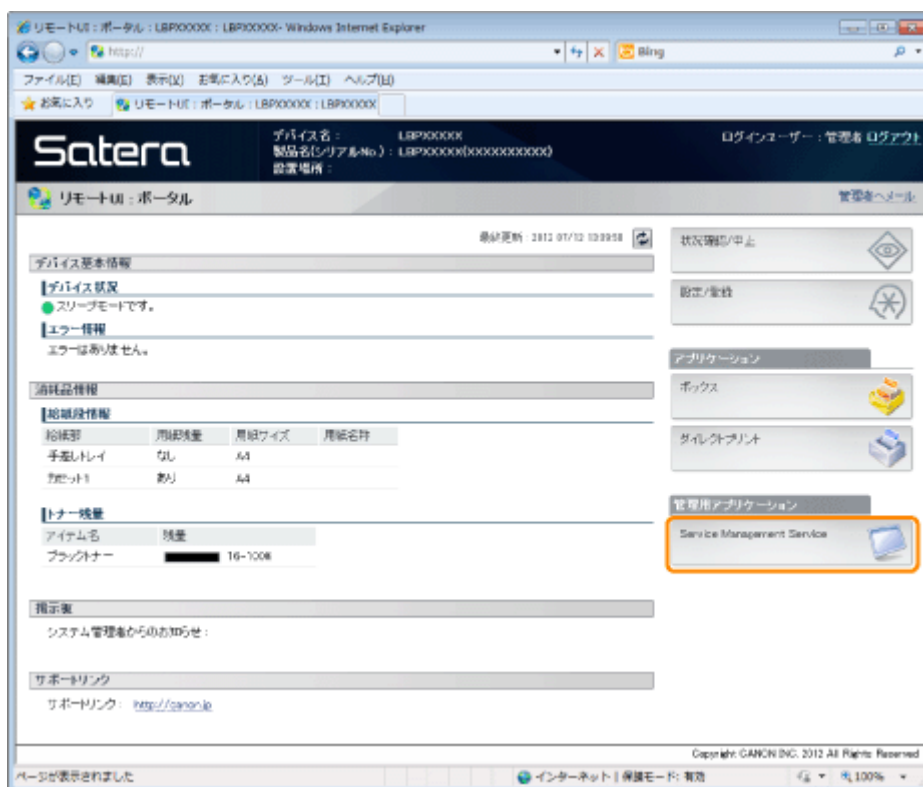
- ※ ログインページを表示させてから約5分以内にログインしないと、正しいパスワードを入力してもログインすることができなくなります。
- ※ パスワードを初期化するには、スイッチライセンスファイルが必要です。パスワードの再入力を求めるメッセージが表示されている画面で、[パスワードの初期化] の [参照] をクリックしたあと、スイッチライセンスファイルを選択し、[初期化] をクリックします。

リモート UI から SMS を起動する

1 リモート UI を起動して、管理者モードでログオンします。

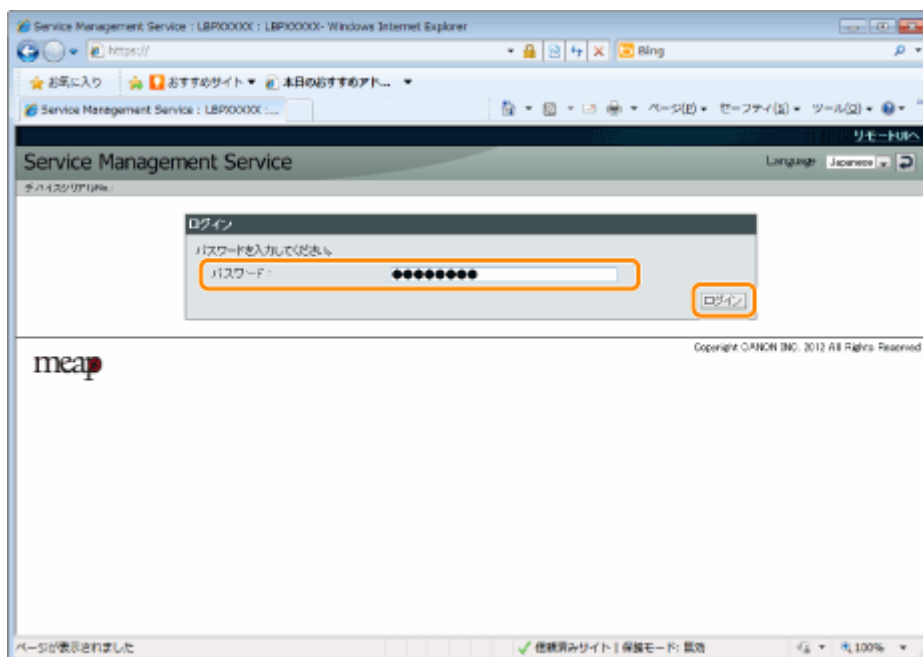
- 「電子マニュアル」

2 ポータルページの [Service Management Service] をクリックします。



3 パスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。

※ 工場出荷時の設定は、「MeapSmsLogin」です。(大文字と小文字の区別をします。)



? ログインできなかったとき

パスワードが正しくないためにログインできなかった場合は、パスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。

正しいパスワードを入力して、[ログイン] をクリックしてください。

- ※ ログインページを表示させてから約5分以内にログインしないと、正しいパスワードを入力してもログインすることができなくなります。
- ※ パスワードを初期化するには、スイッチライセンスファイルが必要です。パスワードの再入力を求めるメッセージが表示されている画面で、[パスワードの初期化] の [参照] をクリックしたあと、スイッチライセンスファイルを選択し、[初期化] をクリックします。

お読みください (SMS を起動 (ログイン) する)

0XL3-005

重要

SMS のパスワードについて

- 誤った使用を防ぐため、管理者の方はご使用を始めるときにパスワードを変更してください。パスワードを変更する場合は、「**SMS 用のパスワードを変更する(P. 62)**」を参照してください。
- このパスワードは、プリンターに対して不正な操作が行われるのを防ぐためのものです。管理者以外の方にはお知らせしないようにしてください。
- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、SMS を使用することができなくなります。この場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

SMS を終了（ログアウト）する

OXL3-006

SMS を終了するときは、[SMS からログアウト] をクリックします。

※ [SMS からログアウト] をクリックせずに Web ブラウザーを閉じると、SMS はしばらくの間使用できなくなります。



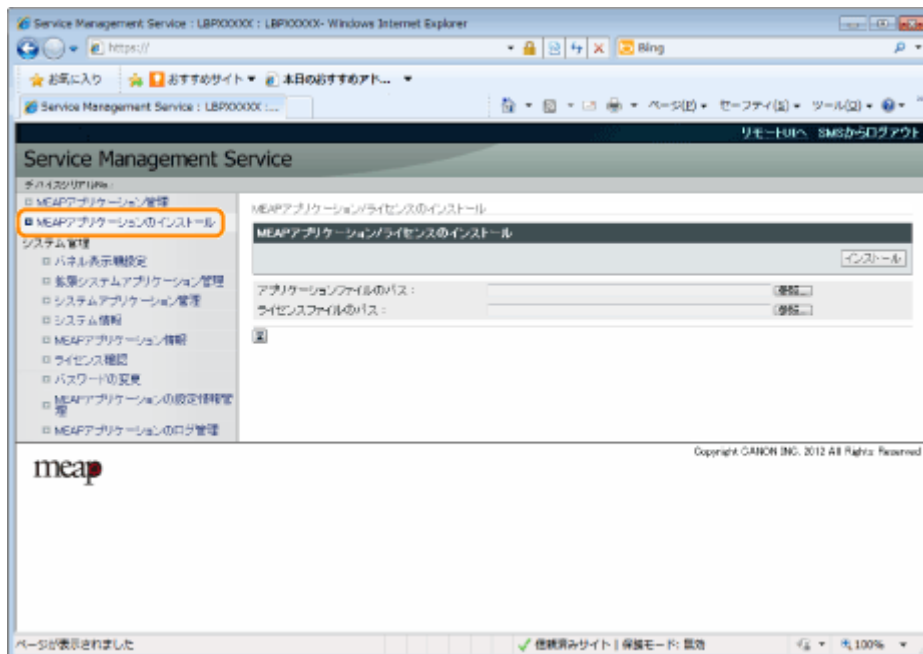
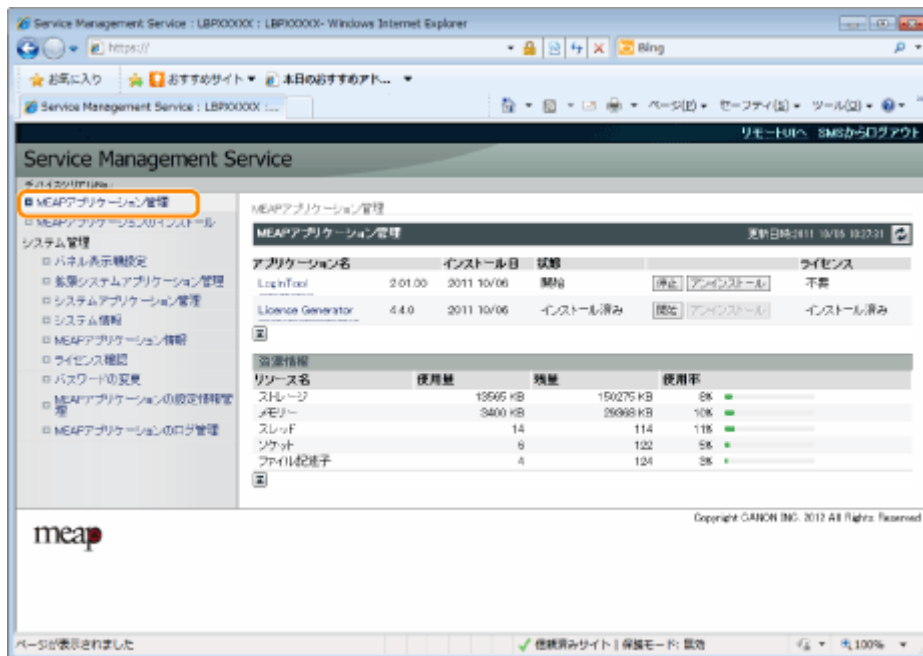
MEAP アプリケーションの設定

MEAP アプリケーションの設定	16
MEAP アプリケーションのインストール	19
お読みください (MEAP アプリケーションのインストール)	22
MEAP アプリケーションのアンインストール	23
MEAP アプリケーションの開始/停止	25
MEAP アプリケーションを開始する	26
MEAP アプリケーションを停止する	27
MEAP アプリケーションの詳細情報を確認する	29
MEAP アプリケーションのライセンスの設定	31
ライセンスファイルを追加する	32
ライセンスファイルを無効化する	34
無効化したライセンスファイルをダウンロードする	37
無効化したライセンスファイルを削除する	40
MEAP アプリケーションの認証情報を設定する	43

MEAP アプリケーションの設定


OXL3-007

MEAP アプリケーションの設定は、[MEAP アプリケーション管理] メニューと [MEAP アプリケーションのインストール] メニューから行います。



[MEAP アプリケーション管理] メニューの表示項目

[アプリケーション名]	アプリケーションの名前が表示されます。
[インストール日]	アプリケーションがインストールされた日が表示されます。
[状態]	<p>アプリケーションの状態が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [インストール済み]: アプリケーションをインストール後、一度も開始したことがない状態。

	<p>またはアプリケーションを停止したあとプリンター電源を切り、再起動したあとに一度も開始されていない状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [開始] : アプリケーションが起動している状態。 ● [停止] : アプリケーションが停止している状態。 ● [開始中] : アプリケーションが起動途中の状態。 ● [停止中] : アプリケーションが停止途中の状態。 						
<p>[ライセンス]</p>	<p>アプリケーションのライセンスの状態が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [インストール済み] : 有効なライセンスファイルがインストールされている状態。 ● [未インストール] : ライセンスファイルが無効になっている状態。 ● [超過] : インストールされているライセンスファイルに有効期限があり、かつ複数のカウンターの種類が設定されている状態で、一部のカウンター値がカウンター上限を超えている状態。 ● [失効] : インストールされているライセンスファイルの有効期限が切れている。 または、現在のカウンター値がライセンスファイルの上限値を超えている。 * 複数の種類のカウンターに対して上限値が設定されている場合、カウンターの種類すべてに対してカウンター上限値を超えた時点で失効となります。 ● [不要] : 動作にライセンスファイルが不要なアプリケーション。 						
<p>[資源情報]</p>	<p>アプリケーションの資源使用状況が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [ストレージ] : ストレージ使用量。単位はキロバイト (KB)。 ● [メモリー] : メモリー使用量。単位はキロバイト (KB)。 ● [スレッド] : スレッド数。 ● [ソケット] : ソケット数。 ● [ファイル記述子] : ファイル記述子数。 <div style="background-color: #e1f5fe; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p> メモ</p> <p>[資源情報] の更新タイミングについて [資源情報] の項目は、以下のタイミングで更新されます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項目</th> <th style="width: 50%;">更新タイミング</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[ストレージ]</td> <td>アプリケーションのインストール / アンインストール時</td> </tr> <tr> <td>[メモリー] [スレッド]</td> <td>アプリケーションの開始 / 停止時</td> </tr> </tbody> </table> </div>	項目	更新タイミング	[ストレージ]	アプリケーションのインストール / アンインストール時	[メモリー] [スレッド]	アプリケーションの開始 / 停止時
項目	更新タイミング						
[ストレージ]	アプリケーションのインストール / アンインストール時						
[メモリー] [スレッド]	アプリケーションの開始 / 停止時						

項目	更新タイミング
[ソケット] [ファイル記述子]	

[MEAP アプリケーションのインストール] メニューの設定項目

[MEAP アプリケーション/ライセンスのインストール]	<p>MEAP アプリケーションのインストールを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [インストール] : インストールするアプリケーションファイルとライセンスファイルを指定して、[インストール] をクリックするとインストールが開始されます。 • [アプリケーションファイルのパス] : インストールするアプリケーションファイルを指定します。 • [ライセンスファイルのパス] : ライセンスファイルを指定します。
------------------------------	---

[MEAP アプリケーション管理] メニューと [MEAP アプリケーションのインストール] メニューで行う設定の詳細は、次の項目を参照してください。

- ❖ **MEAP アプリケーションのインストール (P. 19)**
- ❖ **MEAP アプリケーションのアンインストール(P. 23)**
- ❖ **MEAP アプリケーションの開始/停止(P. 25)**
- ❖ **MEAP アプリケーションの詳細情報を確認する(P. 29)**
- ❖ **MEAP アプリケーションのライセンスの設定(P. 31)**
- ❖ **MEAP アプリケーションの認証情報を設定する(P. 43)**

MEAP アプリケーションのインストール

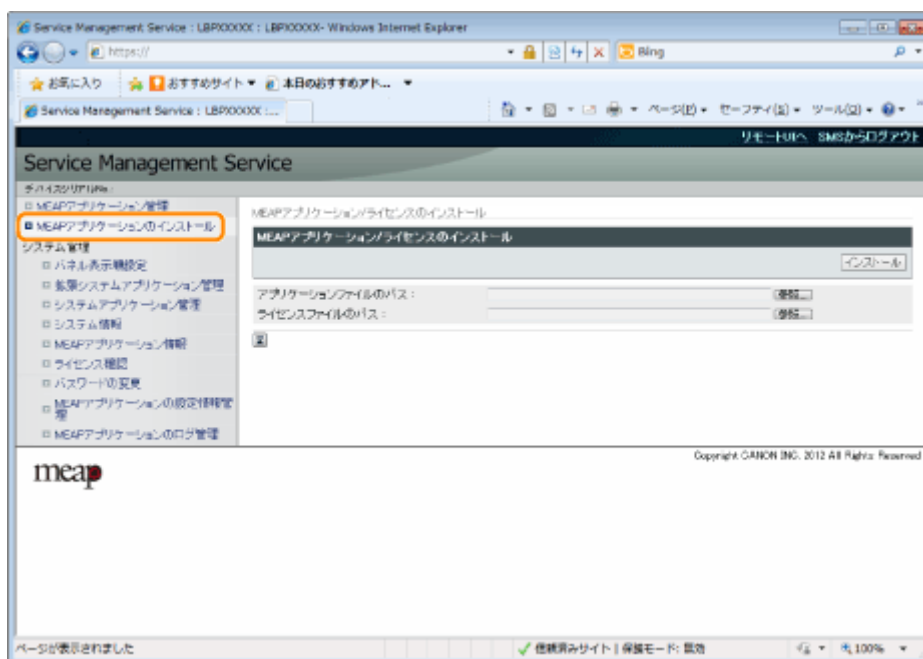
OXL3-008

次の操作を始める前に、「[お読みください \(MEAP アプリケーションのインストール\) \(P. 22\)](#)」をご覧ください。

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

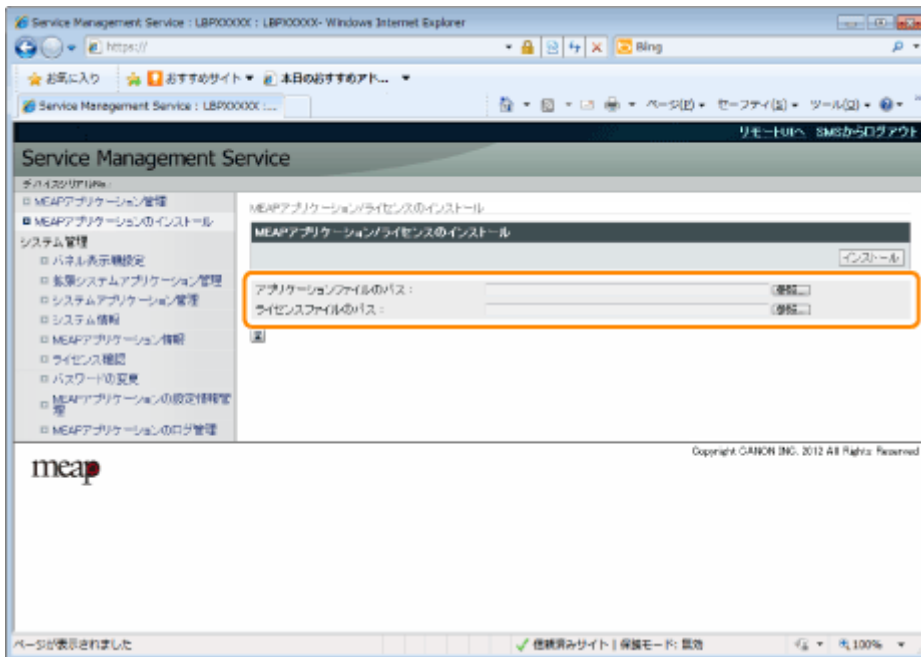
- ▶ 「[SMS を起動 \(ログイン\) する\(P. 9\)](#)」

2 [MEAP アプリケーションのインストール] をクリックします。



3 [アプリケーションファイルのパス] と [ライセンスファイルのパス] を設定します。

[参照] をクリックしてファイルを選択するか、ファイルが保存されている場所を入力します。



[アプリケーションファイルのパス]	拡張子が「jar」のファイルを指定します。
[ライセンスファイルのパス]	拡張子が「lic」のファイルを指定します。

4 [インストール] をクリックします。

5 インストール確認ページの内容を確認して、[はい] をクリックします。

[使用許諾契約] が表示されたときは、内容を確認して、[同意します] をクリックします。

→ インストールが開始されます。

<インストール確認ページの表示内容>

新規にアプリケーションをインストールする場合

[アプリケーション情報]	インストールするアプリケーションの情報
[ライセンス情報]	インストールするアプリケーションの有効期限

アプリケーションを更新する場合

[アプリケーション情報]	[現在のアプリケーション情報]	現在のアプリケーションの情報
	[上書き後のアプリケーション情報]	更新後のアプリケーションの情報
[ライセンス情報]	[有効期間]	対象アプリケーションの有効期限
	[現在のカウンター上限値]	現在のカウンター情報
	[上書き後のカウンター上限値]	更新後のカウンター情報

? インストールがキャンセルされたとき

アプリケーションのインストール中にプリンターの終了処理が行われていると、SMS の [インストール] ページにエラーメッセージが表示され、インストールがキャンセルされることがあります。このような場合は、プリンターの電源を入れなおしてからアプリケーションを再インストールしてください。

6 インストール完了後、[MEAP アプリケーション管理へ] をクリックします。



インストールしたアプリケーションを使用するとき
アプリケーションを [開始] の状態にします。

▶ 「MEAP アプリケーションを開始する(P. 26)」

お読みください (MEAP アプリケーションのインストール)

0XL3-009

重要

アプリケーションのインストールについて

- アプリケーションによっては、インストールに特定の条件を必要とする場合があります。詳細については、各アプリケーションの取扱説明書を参照してください。
- アプリケーションは、最大 8 個までインストールできます。
- ライセンスファイルのみをインストールすることはできません。アプリケーションファイルとライセンスファイルの両方を指定してください。
すでにインストールされているアプリケーションに対してライセンスファイルのみを追加する場合は、「**ライセンスファイルを追加する(P. 32)**」を参照してください。

ライセンスファイルの取得について

- アプリケーションをインストールするには、有効なライセンスファイルが必要です。
お持ちのアプリケーションのパッケージにライセンスアクセス番号が記載されている場合は、License Management System (<http://www.canon.com/lms/license/>) から有効なライセンスファイルを取得してください。

※

ライセンスファイルの取得には、ライセンスアクセス番号およびデバイスシリアル番号 (SMS 画面上の左上に表示される番号) が必要です。

- お持ちのアプリケーションのパッケージにライセンスアクセス番号が記載されていない場合は、アプリケーションの販売元からライセンスファイルが支給されます。詳細については、各アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

ストレージ領域について

アプリケーションが使用できるストレージの最大領域と、現在使用している領域は、[MEAP アプリケーション管理] ページに表示される資源情報の「ストレージ」で確認することができます。

アプリケーションを更新するとき

アプリケーションを停止してから、新しいバージョンのアプリケーションを上書きインストールしてください。

- ▶ 「**MEAP アプリケーションを停止する(P. 27)**」

MEAP アプリケーションのアンインストール

OXL3-00A

重要

ライセンスの状態が「未インストール」ではないとき

ライセンスファイルの無効化と削除を行ってからアンインストールを行ってください。

- ▶ 「ライセンスファイルが無効化する(P. 34)」
- ▶ 「無効化したライセンスファイルを削除する(P. 40)」

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- ▶ 「SMS を起動 (ログイン) する(P. 9)」

2 [MEAP アプリケーション管理] をクリックします。



3 アンインストールするアプリケーションの [アンインストール] をクリックします。

※ [アンインストール] がグレーアウトしているアプリケーションは、削除できません。

4 [はい] をクリックします。

→ アンインストールが開始されます。

? 再起動を促すメッセージが表示されたとき

画面の指示にしたがって、プリンターを再起動してください。

 重要

「このアプリケーションがエクスポートしているパッケージは使用できなくなります。」が表示されたとき

このメッセージが表示されるアプリケーションをアンインストールすると、他のアプリケーションも使用できなくなることがあります。

MEAP アプリケーションの開始／停止

0XL3-00C

❖ MEAP アプリケーションを開始する
(P. 26)

❖ MEAP アプリケーションを停止する
(P. 27)

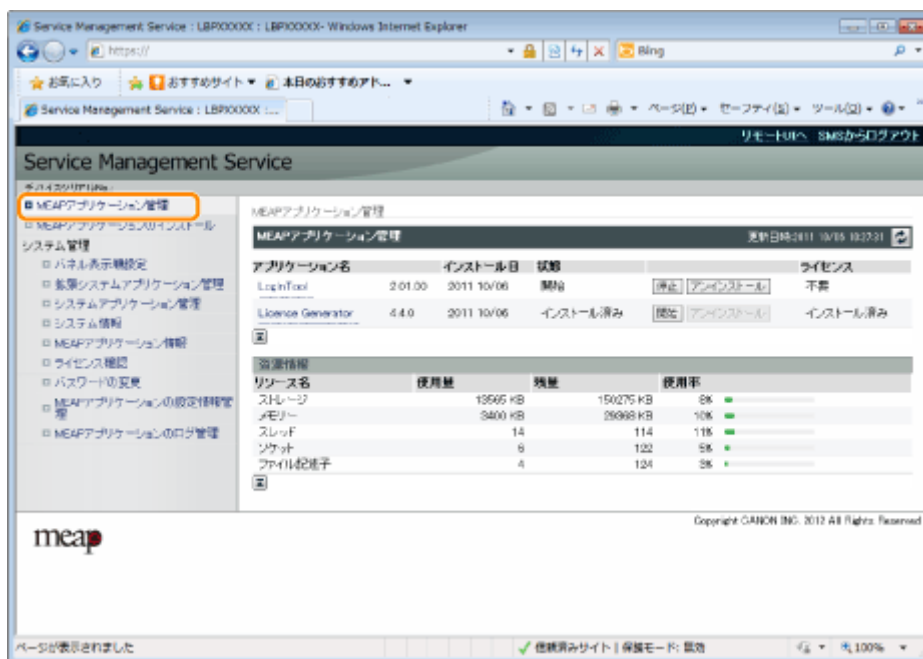
MEAP アプリケーションを開始する

OXL3-00E

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- ① 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [MEAP アプリケーション管理] をクリックします。



3 開始するアプリケーションの [開始] をクリックします。

? アプリケーションが開始されないとき

次のことを確認してください。

- 必要なライセンスファイルがインストールされている
- [資源情報] の [メモリー]、[スレッド]、[ソケット]、[ファイル記述子] の残量がある

? 再起動を促すメッセージが表示されたとき

画面の指示にしたがって、プリンターを再起動してください。

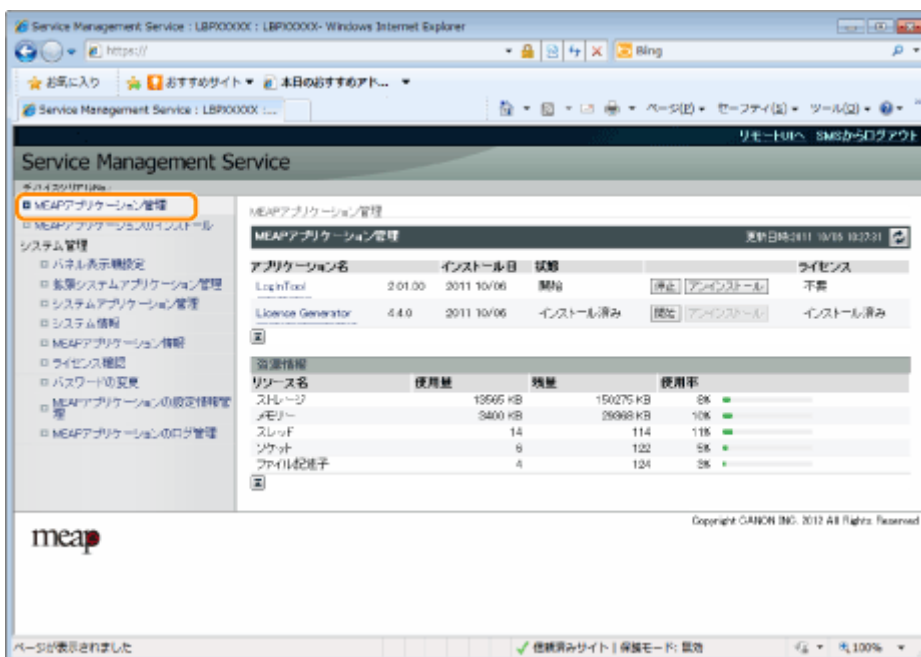
MEAP アプリケーションを停止する

OXL3-00F

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- ① 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [MEAP アプリケーション管理] をクリックします。



3 停止するアプリケーションの [停止] をクリックします。



? 再起動を促すメッセージが表示されたとき

画面の指示にしたがって、プリンターを再起動してください。

MEAP アプリケーションの詳細情報を確認する

OXL3-00H

インストールしたアプリケーションの詳細情報を確認します。

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- ▶ 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [MEAP アプリケーション管理] をクリックします。

The screenshot shows the Service Management Service web interface in Internet Explorer. The main content area is titled "MEAPアプリケーション管理" (MEAP Application Management). It features a table of installed applications and a resource usage summary table.

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
LoginTool	2011 10/06	開始	不要
License Generator	4.4.0 2011 10/06	インストール済み	インストール済み

リソース名	使用量	残量	使用率
ストレージ	13605 KB	150275 KB	8%
メモリー	3400 KB	26988 KB	10%
スレッド	14	114	11%
ソケット	8	122	5%
ファイル記述子	4	124	3%

3 詳細情報を確認するアプリケーション名をクリックします。

→ [アプリケーション/ライセンス情報] 画面が表示されます。



? 【認証情報の設定】画面が表示されたとき

認証情報の設定を行います。

▶ 「MEAP アプリケーションの認証情報を設定する(P. 43)」

MEAP アプリケーションのライセンスの設定

0XL3-00J

インストールしたアプリケーションのライセンスファイルの追加や無効化、削除ができます。

- ❖ **ライセンスファイルを追加する(P. 32)**

- ❖ **ライセンスファイルが無効化する(P. 34)**

- ❖ **無効化したライセンスファイルをダウンロードする(P. 37)**

- ❖ **無効化したライセンスファイルを削除する(P. 40)**

重要

ライセンスの無効化について

- アプリケーションを停止していない状態では、ライセンスファイルの無効化はできません。
 - ❖ 「MEAP アプリケーションを停止する(P. 27)」
- 無効化したライセンスファイルが生成されると、ライセンスファイルの状態は「未インストール」になり、アプリケーションを使用することができなくなります。

ライセンスのダウンロード／削除について

- 無効化されているライセンスファイルのみ、ダウンロードや削除を行うことができます。
- ライセンスファイルによっては、無効化したあとにダウンロードが必要なものがあります。
- 無効化したライセンスファイルを削除すると、再びプリンターからダウンロードすることはできなくなります。削除前にダウンロードしてバックアップしておくことをおすすめします。

ライセンスファイルの再インストールについて

無効化、またはダウンロードしたライセンスファイルは、同じプリンターに再インストールすることができます。

ライセンスファイルを追加する

OXL3-00K

インストールされているアプリケーションに対して、ライセンスファイルを追加インストールすることができます。
ライセンスファイルを追加するとカウンター値の増加や有効期間の延長ができます。

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- ① 「SMS を起動 (ログイン) する(P. 9)」

2 [MEAP アプリケーション管理] をクリックします。

The screenshot shows the Service Management Service web interface. The left sidebar contains a list of navigation links, with 'MEAPアプリケーション管理' highlighted by a red box. The main content area displays the 'MEAPアプリケーション管理' page, which includes a table of installed applications and a resource usage table.

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
LogInTool	2011 10/06	開始	不要
License Generator	4.4.0 2011 10/06	インストール済み	インストール済み

リソース名	使用量	残量	使用率
ストレージ	13605 KB	150275 KB	8%
メモリー	3400 KB	28988 KB	10%
スレップ	14	114	11%
ソケット	8	122	5%
ファイル記述子	4	124	3%

3 ライセンスファイルを追加するアプリケーション名をクリックします。

The screenshot shows the Service Management Service web interface, similar to the previous one. In this view, the 'License Generator' application name in the table is highlighted with a red box, indicating the step to click on it to add a license file.

4 [ライセンス管理] をクリックします。



5 ライセンスファイルを指定します。

- (1) [参照] をクリックして、追加するライセンスファイルを選択します。
- (2) [インストール] をクリックします。

6 インストール確認ページの内容を確認して、[はい] をクリックします。

→ ライセンスファイルがインストールされます。

- ?** [超過] または [失効] のアプリケーションにライセンスファイルを追加したとき
アプリケーションの再起動が必要な場合があります。
- ▶** 「MEAP アプリケーションの開始/停止(P. 25)」

ライセンスファイルを無効化する

OXL3-00L

ライセンスファイルを無効化すると、ライセンスファイルをコンピューターにダウンロードして保存したり、削除することができます。

重要

ライセンスの無効化について

- アプリケーションを停止していない状態では、ライセンスファイルの無効化はできません。
 ➤ 「MEAP アプリケーションを停止する(P. 27)」
- 無効化したライセンスファイルが生成されると、ライセンスファイルの状態は「未インストール」になり、アプリケーションを使用することができなくなります。

ライセンスファイルの再インストールについて

無効化したライセンスファイルは、同じプリンターに再インストールすることができます。

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- 「SMS を起動 (ログイン) する(P. 9)」

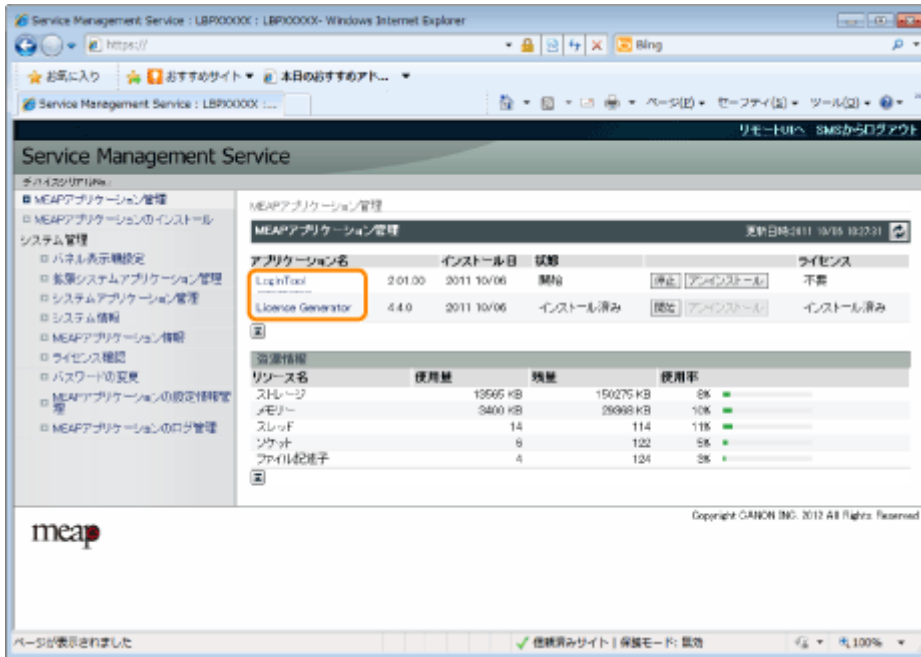
2 [MEAP アプリケーション管理] をクリックします。

The screenshot shows the Service Management Service web interface. The left sidebar has a tree view with 'MEAPアプリケーション管理' selected and highlighted with a red box. The main content area is titled 'MEAPアプリケーション管理' and contains two tables.

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
LoginTool	2011 10/06	開始	不詳
License Generator	4.4.0 2011 10/06	インストール済み	インストール済み

ライセンス名	使用量	残量	使用率
ストレージ	13965 KB	150275 KB	9%
メモリ	3400 KB	29068 KB	10%
スレッド	14	114	11%
ソケット	9	132	5%
ファイル記述子	4	124	5%

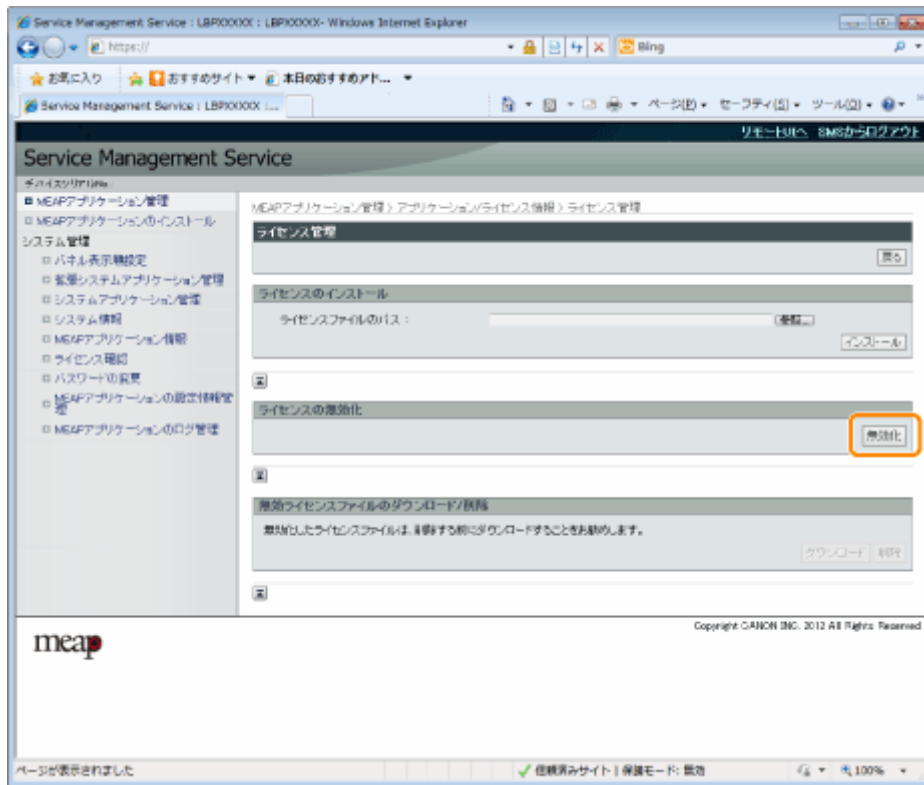
3 ライセンスファイルを無効化するアプリケーション名をクリックします。



4 [ライセンス管理] をクリックします。



5 [無効化] をクリックします。



6 [はい] をクリックします。

→ ライセンスファイルが無効化されます。

無効化したライセンスファイルをダウンロードする

OXL3-00R

無効化ライセンスファイルをコンピューターにダウンロードして、バックアップを行います。

重要

ライセンスのダウンロードについて

- 無効化されているライセンスファイルのみ、ダウンロードを行うことができます。
- ライセンスファイルによっては、無効化したあとにダウンロードが必要な場合があります。

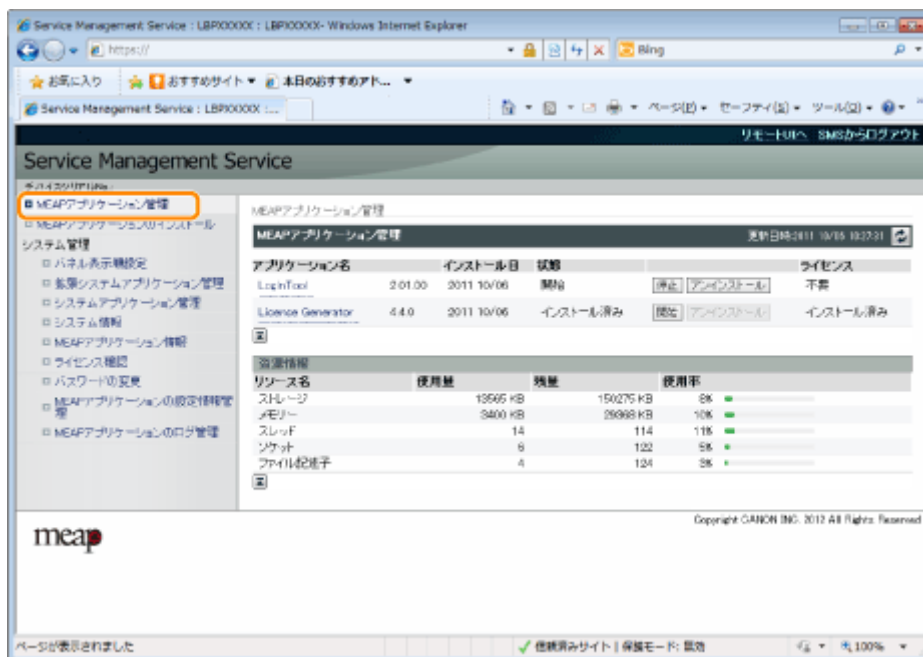
ライセンスファイルの再インストールについて

ダウンロードしたライセンスファイルは、同じプリンターに再インストールすることができます。

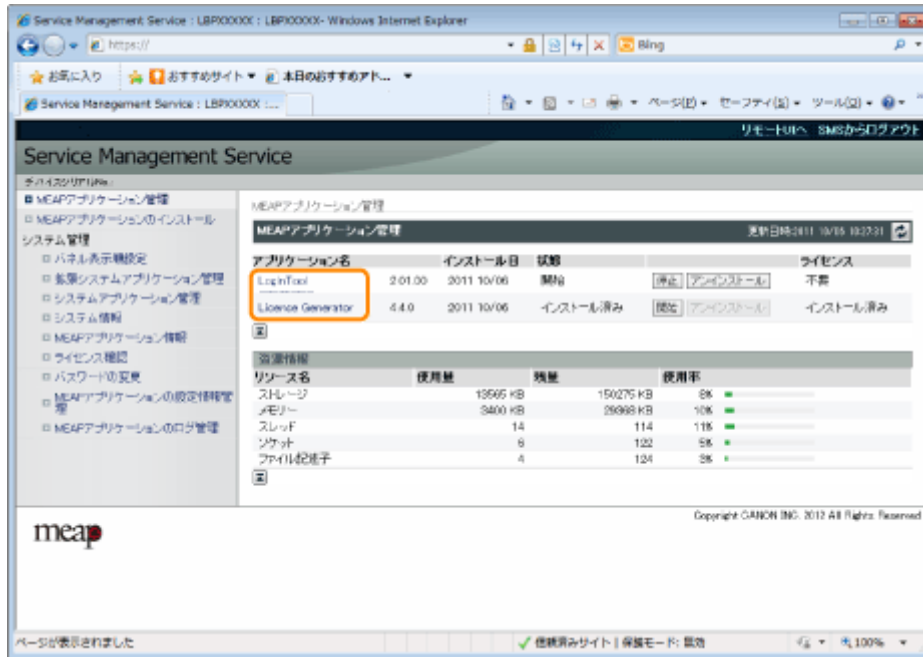
1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [MEAP アプリケーション管理] をクリックします。



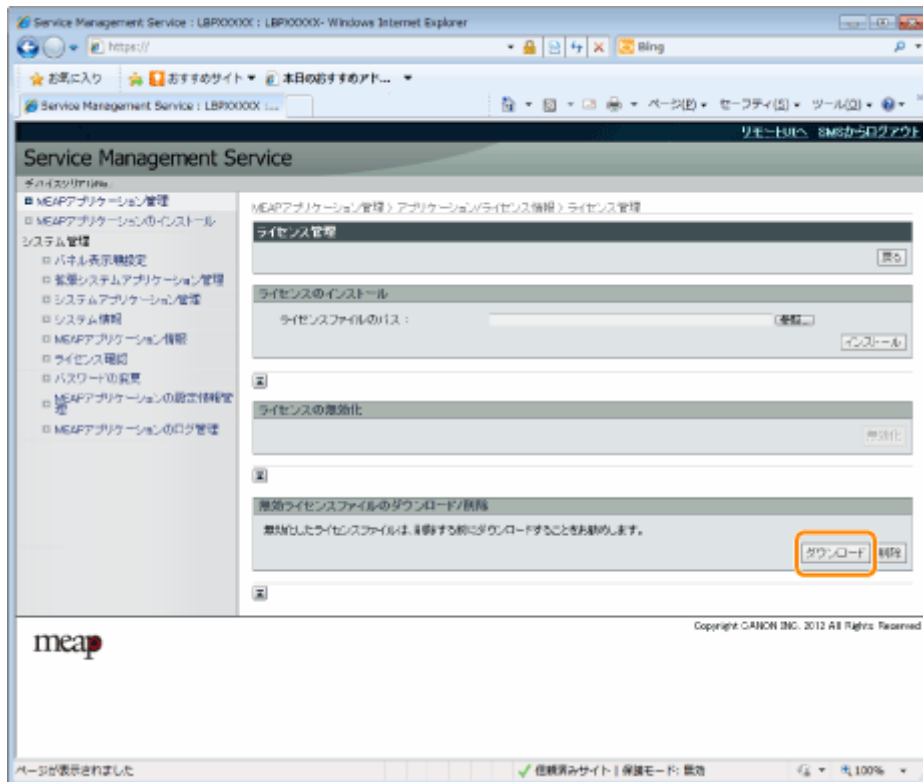
3 ライセンスファイルをダウンロードするアプリケーション名をクリックします。



4 [ライセンス管理] をクリックします。



5 [ダウンロード] をクリックします。



6 画面の指示にしたがって、ファイルの保存場所を指定します。

→ ライセンスファイルが保存されます。

無効化したライセンスファイルを削除する

OXL3-00S

アプリケーションをアンインストールする場合は、あらかじめライセンスファイルを削除しておく必要があります。

重要

ライセンスの削除について

- 無効化されているライセンスファイルのみ、削除を行うことができます。
- 無効化したライセンスファイルを削除すると、ダウンロードできなくなります。削除前にダウンロードしてバックアップしておくことをおすすめします。

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- ▶ 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

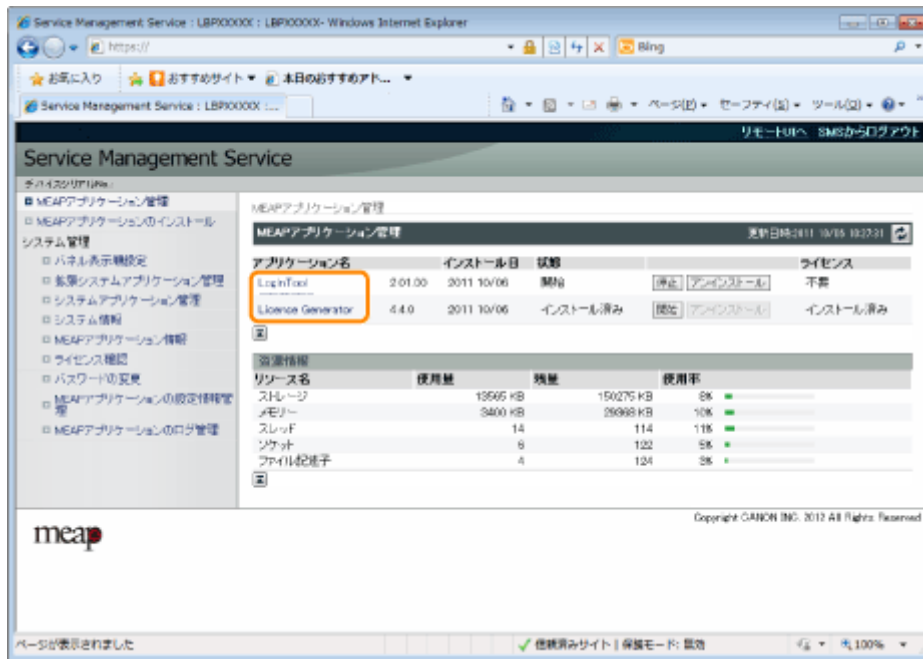
2 [MEAP アプリケーション管理] をクリックします。

The screenshot shows the Service Management Service web interface. The left sidebar has a menu with 'MEAPアプリケーション管理' highlighted. The main content area is titled 'MEAPアプリケーション管理' and contains a table of installed applications and a resource usage table.

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
LoginTool	2011 10/06	開始	不要
License Generator	4.4.0 2011 10/06	インストール済み	インストール済み

リソース名	使用量	残量	使用率
ストレージ	13695 KB	150275 KB	8%
メモリ	3400 KB	26968 KB	10%
スレッド	14	114	11%
ソケット	6	122	5%
ファイル記述子	4	124	3%

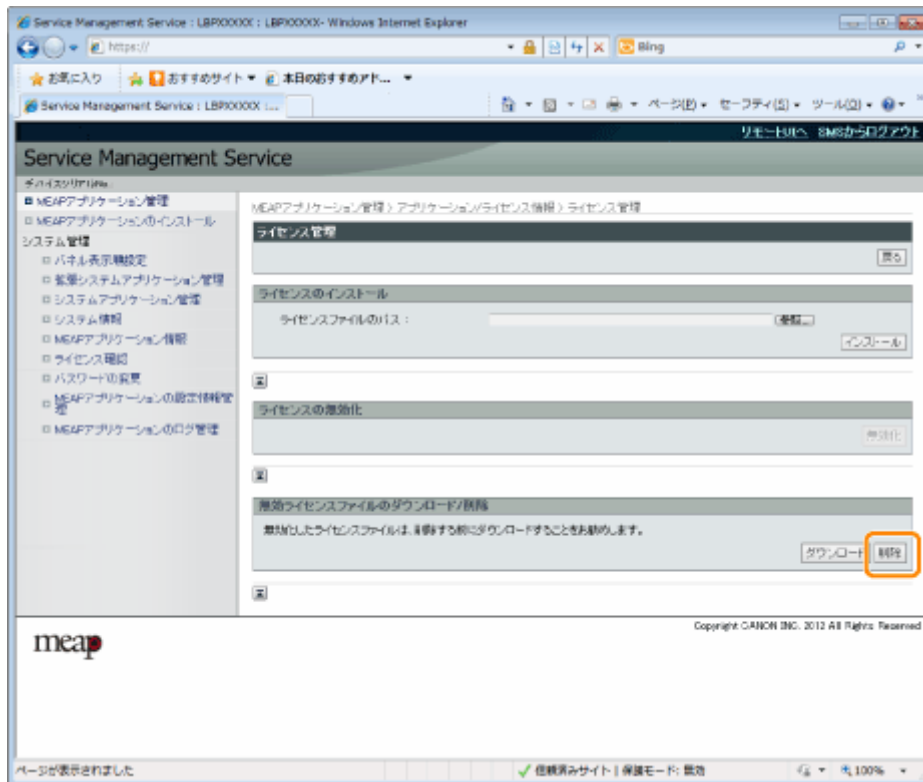
3 ライセンスファイルを削除するアプリケーション名をクリックします。



4 [ライセンス管理] をクリックします。

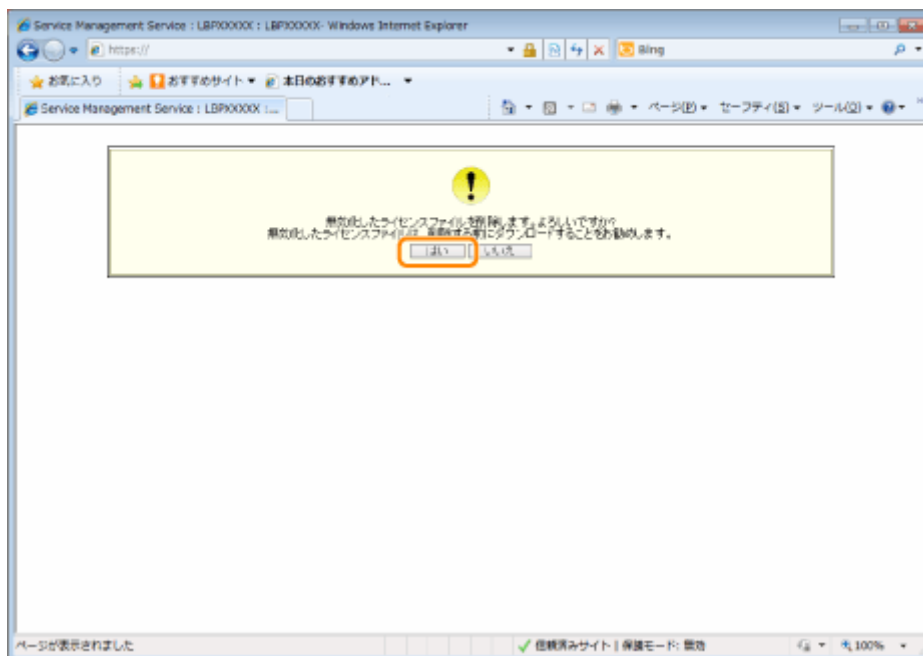


5 [削除] をクリックします。



6 [はい] をクリックします。

→ ライセンスファイルが削除されます。



MEAP アプリケーションの認証情報を設定する

OXL3-00U

プリンターからの操作を必要としないアプリケーションからジョブを行う場合は、あらかじめ認証情報を設定しておく必要があります。

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

① 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [MEAP アプリケーション管理] をクリックします。

The screenshot shows the Service Management Service web interface. The left sidebar contains a navigation menu with 'MEAPアプリケーション管理' highlighted. The main content area displays the 'MEAPアプリケーション管理' page, which includes a table of installed applications and a resource usage table.

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
LoginTool	2011/10/06	開始	不要
License Generator	2011/10/06	インストール済み	インストール済み

リソース名	使用量	残量	使用率
ストレージ	13505 KB	150275 KB	8%
メモリー	3400 KB	26988 KB	10%
スレッド	14	114	11%
ソケット	6	122	5%
ファイル記述子	4	124	3%

3 認証情報を設定するアプリケーション名をクリックします。

The screenshot shows the Service Management Service web interface. The 'LoginTool' application name in the table is highlighted with a red box, indicating the next step in the process.

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
LoginTool	2011/10/06	開始	不要
License Generator	2011/10/06	インストール済み	インストール済み

4 [認証情報の設定] をクリックします。



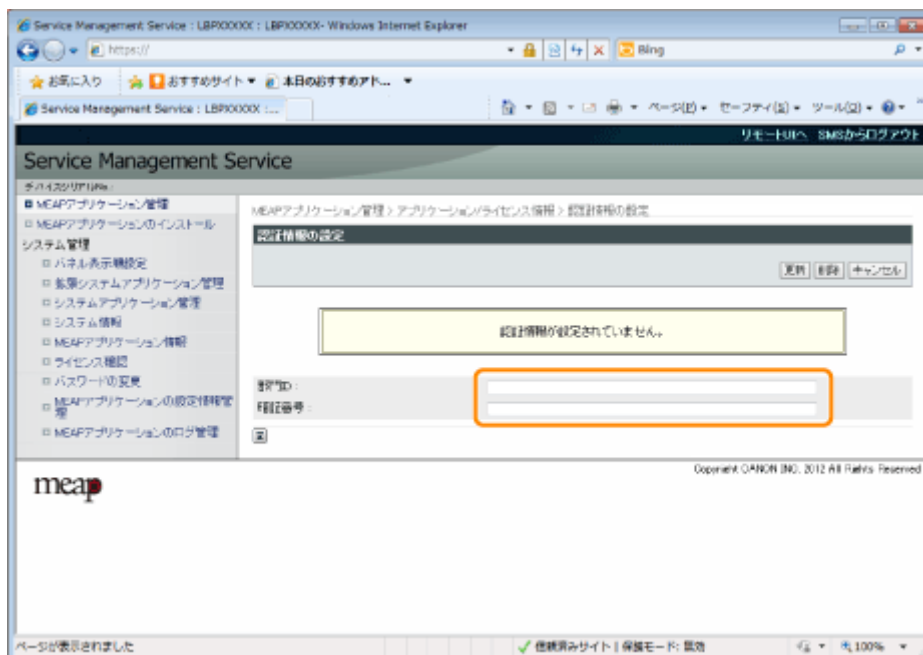
5 認証情報を入力します。

部門別 ID 管理を行っている場合

[部門 ID] と [暗証番号] に、部門 ID とパスワードを入力します。

部門別 ID 管理を行っていない場合

[部門 ID] と [暗証番号] に、任意の ID とパスワードを入力します。



6 [更新] をクリックします。

→ 認証情報が設定されます。



重要

認証情報の設定を解除するとき
[削除] をクリックします。

システム管理設定

システム管理設定	47
MEAP アプレットの表示順を変更する	48
ログインサービスの確認	50
拡張システムアプリケーションの設定	51
拡張システムアプリケーションの開始/停止	52
拡張システムアプリケーションを開始する	53
拡張システムアプリケーションを停止する	54
拡張システムアプリケーションのインストール	55
拡張システムアプリケーションのアンインストール	57
各種情報を確認する	58
システム情報を確認する	59
アプリケーション情報を確認する	60
ライセンスファイルを確認する	61
SMS 用のパスワードを変更する	62
MEAP アプリケーションの設定情報を削除する	64
MEAP アプリケーションのログデータを管理する	66
ログデータをダウンロードする	67
ログデータを削除する	69

システム管理設定

OXL3-00W

[システム管理] メニューには次の項目があります。



[パネル表示順設定]	MEAP アプレットの操作パネルでの表示順を設定します。 ▶ 「MEAP アプレットの表示順を変更する(P. 48)」
[拡張システムアプリケーション管理]	拡張システムアプリケーションの状況表示や設定を行います。 ▶ 「拡張システムアプリケーションの設定(P. 51)」
[システムアプリケーション管理]	システムアプリケーションの状況表示や開始・停止の操作を行います。
[システム情報]	各種バージョンの表示やシステムアプリケーションの情報などを表示します。 ▶ 「システム情報を確認する(P. 59)」
[MEAP アプリケーション情報]	MEAP アプリケーションの詳細情報を表示します。 ▶ 「アプリケーション情報を確認する(P. 60)」
[ライセンス確認]	インストール前のライセンスファイルの内容を確認します。 ▶ 「ライセンスファイルを確認する(P. 61)」
[パスワードの変更]	SMS のログインパスワードを変更します。 ▶ 「SMS 用のパスワードを変更する(P. 62)」
[MEAP アプリケーションの設定情報管理]	MEAP アプリケーションの設定情報を削除します。 ▶ 「MEAP アプリケーションの設定情報を削除する(P. 64)」
[MEAP アプリケーションのログ管理]	MEAP アプリケーションが取得したログデータのダウンロードや削除を行います。 ▶ 「MEAP アプリケーションのログデータを管理する(P. 66)」

MEAP アプレットの表示順を変更する

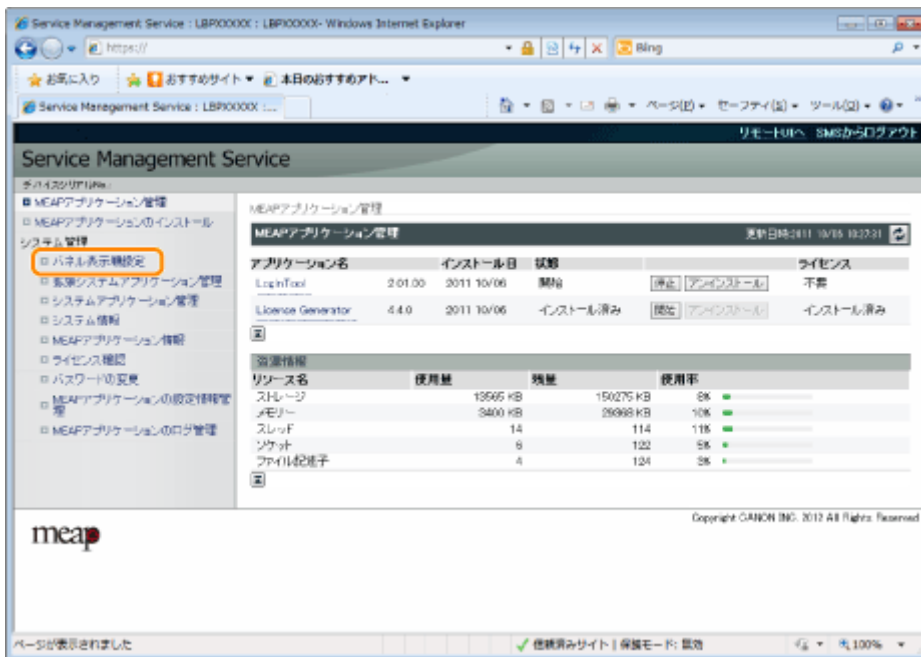
OXL3-00X

操作パネルの [機能選択] キーを押したときに表示されるアプレットの表示順を変更します。

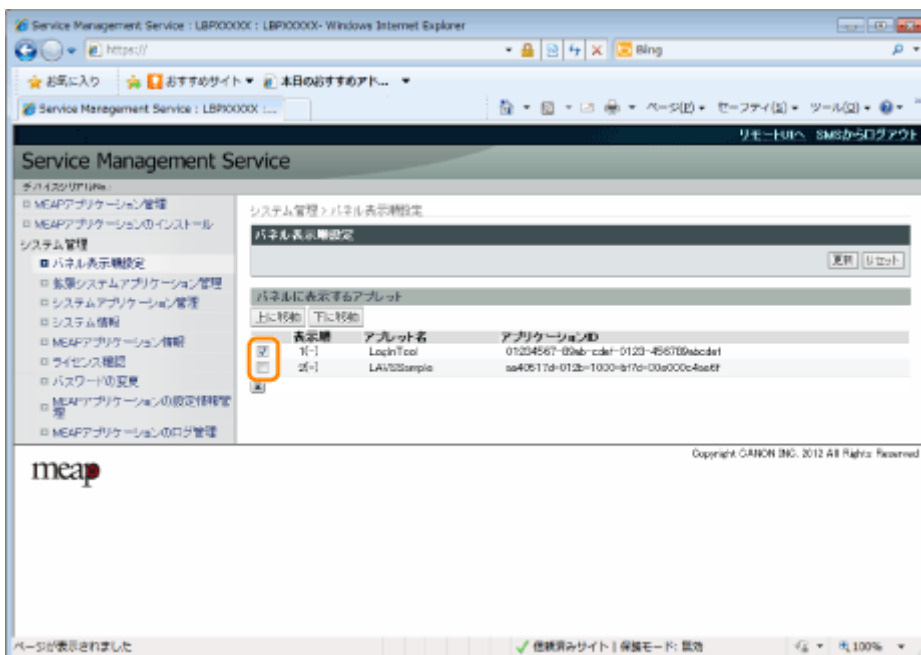
1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- ▶ 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [パネル表示順設定] をクリックします。

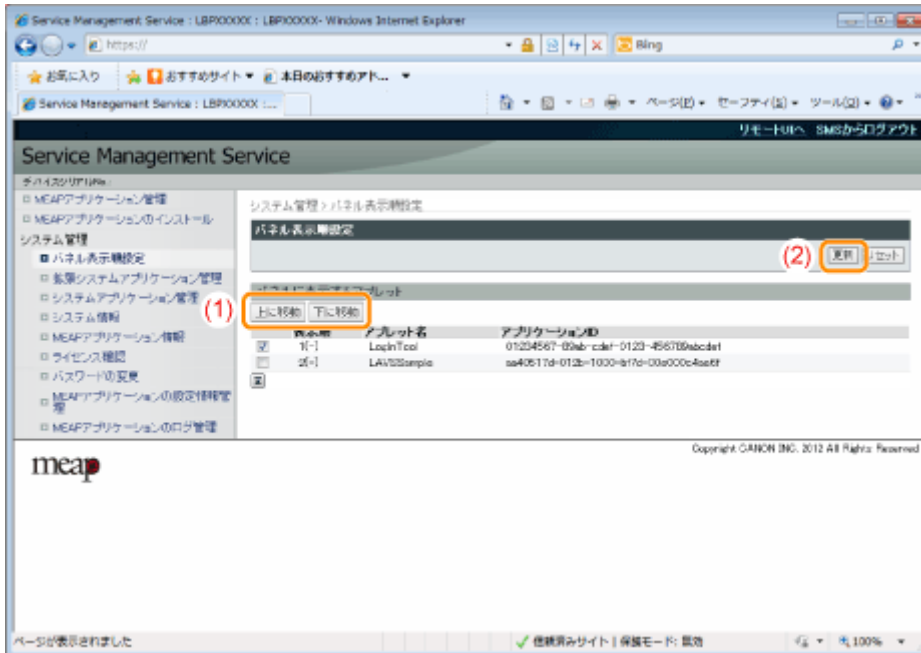


3 表示順を変更するアプレットにチェックマークを付けます。



4 表示順を変更します。

- (1) [上に移動] または [下に移動] をクリックして、上下にアプレットを移動します。
- (2) [更新] をクリックします。



ログインサービスの確認

OXL3-00Y

プリンターのユーザー認証を行うログインサービスを確認します。

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

▶ 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [拡張システムアプリケーション管理] をクリックします。

Service Management Service : LBPXXXXX : LBPXXXXX- Windows Internet Explorer

https://

Service Management Service : LBPXXXXX ...

リポートURL: SMSからログアウト

システム管理 > 拡張システムアプリケーション管理

拡張システムアプリケーション管理 更新日時: 2011/10/15 12:34:45

ログインサービス	アプリケーション名	インストール日	アプリケーションID	状態
Simple Login Application		3.2.0.8 2011/10/06	914506cc-0121-1000-90ac-00e000c4ae6f	インストール済み
Default Authentication		6.1.0.4 2011/05/16	e7954b42-3e65-4ab5-9d25-05a5a299051a	開始

その他のシステムアプリケーション

アプリケーション名	インストール日	アプリケーションID	状態

拡張システムアプリケーション/ライセンスのインストール

拡張システムアプリケーションファイルのパス:

ライセンスファイルのパス:

インストール

Copyright CANON INC. 2012 All Rights Reserved

meap

ページが表示されました

信頼済みサイト | 保護モード: 無効

100%

3 ログインサービスの状態を確認します。

Service Management Service : LBPXXXXX : LBPXXXXX- Windows Internet Explorer

https://

Service Management Service : LBPXXXXX ...

リポートURL: SMSからログアウト

システム管理 > 拡張システムアプリケーション管理

拡張システムアプリケーション管理 更新日時: 2011/10/15 12:34:45

ログインサービス	アプリケーション名	インストール日	アプリケーションID	状態
Simple Login Application		3.2.0.8 2011/10/06	914506cc-0121-1000-90ac-00e000c4ae6f	インストール済み
Default Authentication		6.1.0.4 2011/05/16	e7954b42-3e65-4ab5-9d25-05a5a299051a	開始

その他のシステムアプリケーション

アプリケーション名	インストール日	アプリケーションID	状態

拡張システムアプリケーション/ライセンスのインストール

拡張システムアプリケーションファイルのパス:

ライセンスファイルのパス:

インストール

Copyright CANON INC. 2012 All Rights Reserved

meap

ページが表示されました

信頼済みサイト | 保護モード: 無効

100%

拡張システムアプリケーションの設定

0XL3-010

システムアプリケーション（MEAP システムを構成する基本的なアプリケーション）を拡張する拡張システムアプリケーションの操作を行います。

❖ 拡張システムアプリケーションの開始／停止(P. 52)

- ▶ 拡張システムアプリケーションを開始する(P. 53)
- ▶ 拡張システムアプリケーションを停止する(P. 54)

❖ 拡張システムアプリケーションのインストール(P. 55)

❖ 拡張システムアプリケーションのアンインストール(P. 57)

拡張システムアプリケーションの開始／停止

0XL3-011

❖ 拡張システムアプリケーションを開始する(P. 53)

❖ 拡張システムアプリケーションを停止する(P. 54)

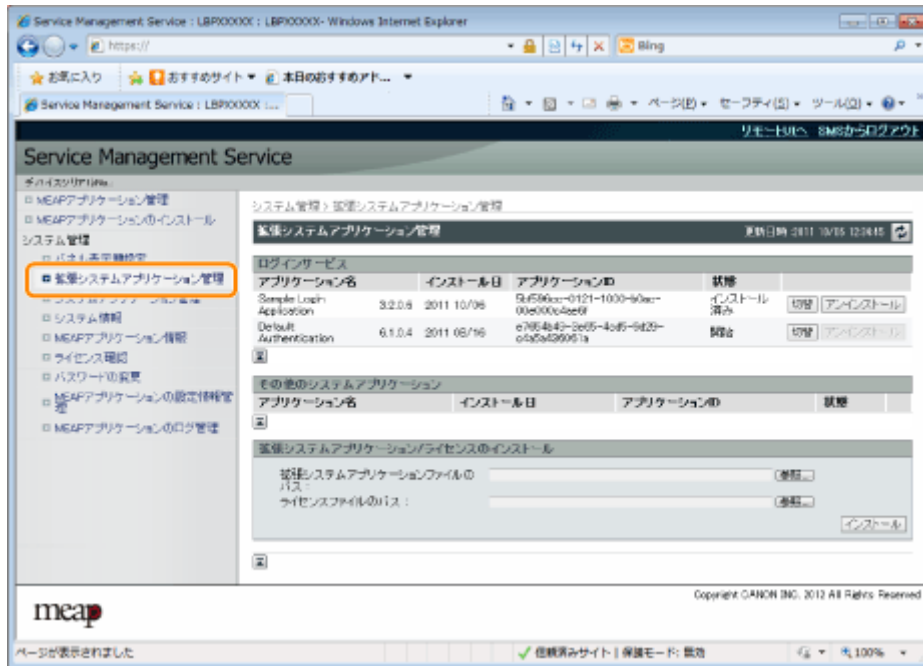
拡張システムアプリケーションを開始する

OXL3-012

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- ① 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [拡張システムアプリケーション管理] をクリックします。



3 開始するアプリケーションの [開始] をクリックします。

[使用許諾契約] が表示されたときは、内容を確認して、[同意します] をクリックします。

拡張システムアプリケーションを停止する

OXL3-013

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- ① 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [拡張システムアプリケーション管理] をクリックします。



3 停止するアプリケーションの [停止] をクリックします。

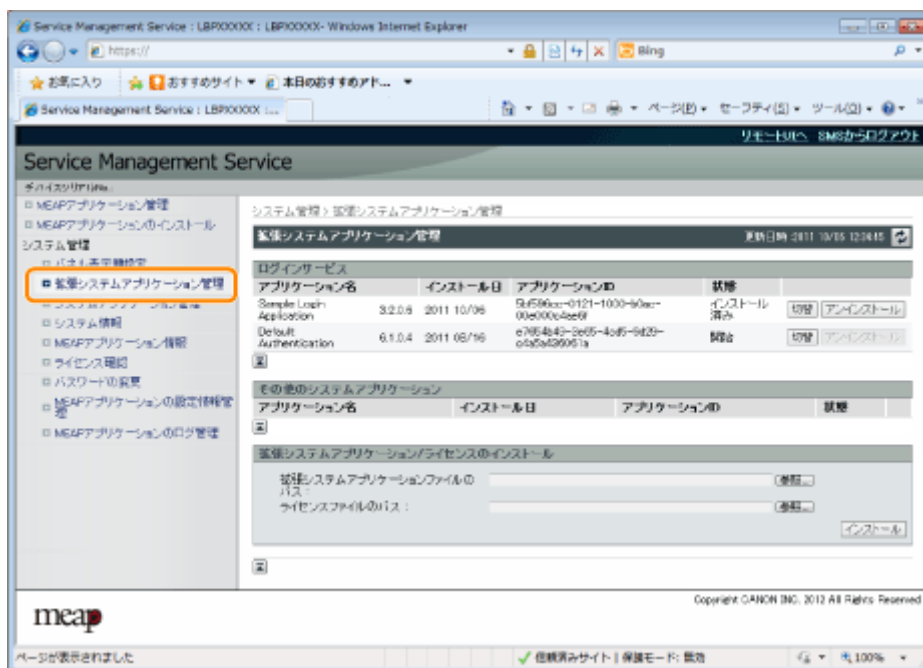
拡張システムアプリケーションのインストール

OXL3-014

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- ① 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [拡張システムアプリケーション管理] をクリックします。



3 [拡張システムアプリケーションファイルのパス] と [ライセンスファイルのパス] を設定します。

[参照] をクリックしてファイルを選択するか、ファイルが保存されている場所を入力します。



[拡張システムアプリケーションファイルのパス]	拡張子が「jar」のファイルを指定します。
[ライセンスファイルのパス]	拡張子が「lic」のファイルを指定します。

重要

ファイルを指定するとき

アプリケーションファイルとライセンスファイルの両方を指定してください。

4 [インストール] をクリックします。



5 インストール確認ページの内容を確認して、[はい] をクリックします。

[使用許諾契約] が表示されたときは、内容を確認して、[同意します] をクリックします。

→ インストールが開始されます。

拡張システムアプリケーションのアンインストール

OXL3-015



ライセンスファイルの削除について

拡張システムアプリケーションは、アンインストールする前にライセンスファイルを削除する必要はありません。

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- ▶ 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [拡張システムアプリケーション管理] をクリックします。

The screenshot shows the Service Management Service web interface. The left sidebar contains a navigation menu with the following items:

- MEAPアプリケーション管理
- MEAPアプリケーションのインストール
- システム管理
 - 拡張システムアプリケーション管理 (highlighted with a red box)
 - システム情報
 - MEAPアプリケーション情報
 - ライセンス確認
 - パスワードの変更
 - MEAPアプリケーションの設定情報管理
 - MEAPアプリケーションのログ管理

The main content area is titled '拡張システムアプリケーション管理' and contains a table of installed applications:

アプリケーション名	インストール日	アプリケーションID	状態
Simple Login Application	2011/10/06	014500cc-0121-1000-90ac-00e00000ae6f	インストール済み
Default Authentication	2011/06/16	e7954b42-3e65-4eb5-9d2b-05a3a839951a	開始

Below the table, there is a section for license file management with input fields for the application file path and license file path, and an 'インストール' (Install) button.

3 アンインストールするアプリケーションの [アンインストール] をクリックします。

※ [アンインストール] がグレーアウトしているアプリケーションは、削除できません。

4 [はい] をクリックします。

→ アンインストールが開始されます。

各種情報を確認する

0XL3-016

- ❖ システム情報を確認する(P. 59)
- ❖ アプリケーション情報を確認する(P. 60)
- ❖ ライセンスファイルを確認する(P. 61)

システム情報を確認する

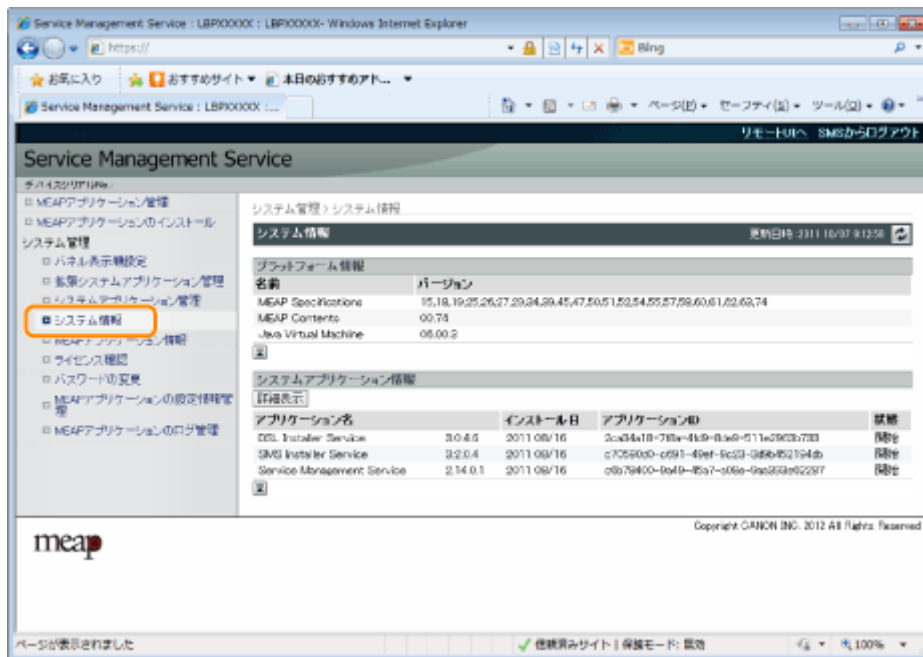
OXL3-017

Java Virtual Machine などのプラットフォームに関するバージョン情報や、システムアプリケーションのバージョン情報、インストール日、状態などを確認できます。

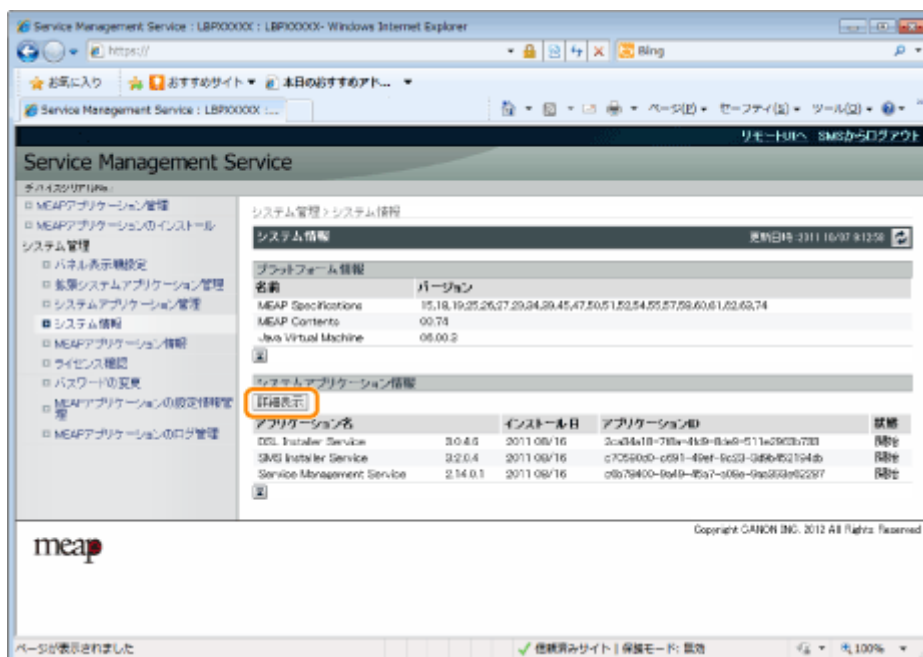
1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- ▶ 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [システム情報] をクリックします。



詳細な情報を確認するときは、[詳細表示] をクリックします。



アプリケーション情報を確認する

OXL3-018

インストールまたはアンインストールされているアプリケーション（システムアプリケーションを除く）の情報を確認できます。

1 SMS（Service Management Service）を起動します。

- ▶ 「SMSを起動（ログイン）する(P.9)」

2 [MEAP アプリケーション情報] をクリックします。



3 アプリケーションの情報を表示します。

- (1) [インストール済み] または [アンインストール済み] を選択します。
- (2) [切替] をクリックします。

[インストール済み]	インストールしているアプリケーション（システムアプリケーションを除く）の情報が表示されます。
[アンインストール済み]	アンインストールされたアプリケーション（システムアプリケーションを除く）の情報が表示されます。

ライセンスファイルを確認する

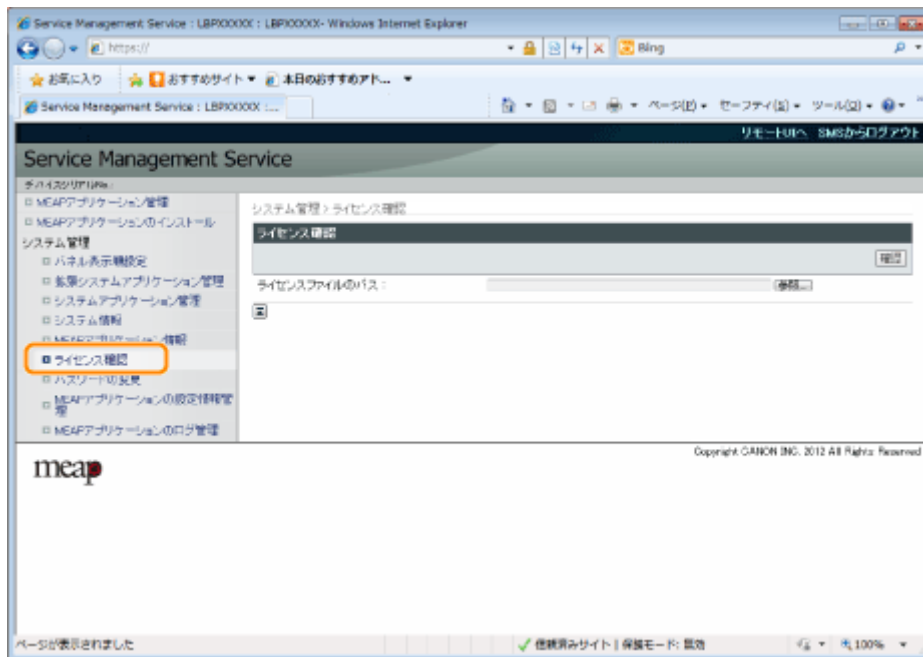
0XL3-019

インストール前のライセンスファイルの内容を確認できます。

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

▶ 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [ライセンス確認] をクリックします。



3 [参照] をクリックしてファイルを選択するか、ファイルが保存されている場所を入力します。

4 [確認] をクリックします。

→ ライセンスファイルの内容が表示されます。

SMS 用のパスワードを変更する

OXL3-01A

重要

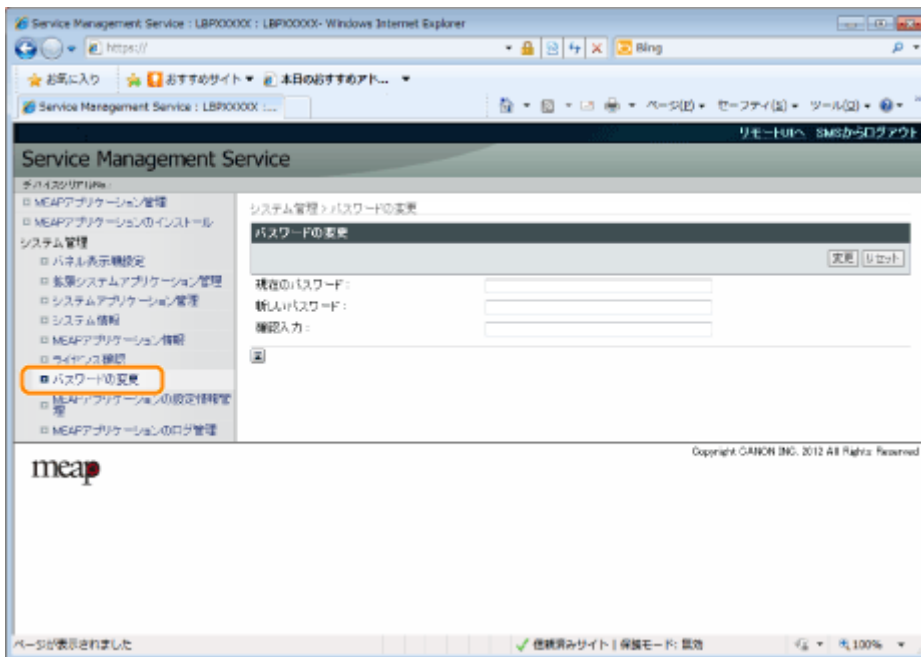
SMS のパスワードについて

- 誤った使用を防ぐため、管理者の方はご使用を始めるときにパスワードを変更してください。
- このパスワードは、プリンターに対して不正な操作が行われるのを防ぐためのものです。管理者以外の方にはお知らせしないようにしてください。
- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、SMSを使用することができなくなります。この場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [パスワードの変更] をクリックします。



3 パスワードを設定します。

- (1) パスワードを設定します。
- (2) [変更] をクリックします。

※ パスワードには、8～32文字の英数字 (a～z、A～Z、0～9) を入力します。

[現在のパスワード]	現在使用しているパスワードを入力します。
[新しいパスワード]	新しく設定したいパスワードを入力します。

[確認入力]	確認のため、入力した [新しいパスワード] を再度入力します。
--------	---------------------------------

MEAP アプリケーションの設定情報を削除する

OXL3-01C

アプリケーションデータの削除を行います。

1 SMS (Service Management Service) を起動します。

▶ 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [MEAP アプリケーションの設定情報管理] をクリックします。

The screenshot shows the Service Management Service web interface. The main content area displays the 'MEAPアプリケーション管理' page. The left sidebar contains a navigation menu with the following items:

- MEAPアプリケーション管理
 - MEAPアプリケーションのインストール
 - システム管理
 - パネル表示機設定
 - 集約システムアプリケーション管理
 - システムアプリケーション管理
 - システム情報
 - MEAPアプリケーション情報
 - ライセンス確認
 - パスワードの変更
 - MEAPアプリケーションの設定情報管理** (highlighted with a red box)
 - MEAPアプリケーションのログ管理

The main content area shows a table of installed applications:

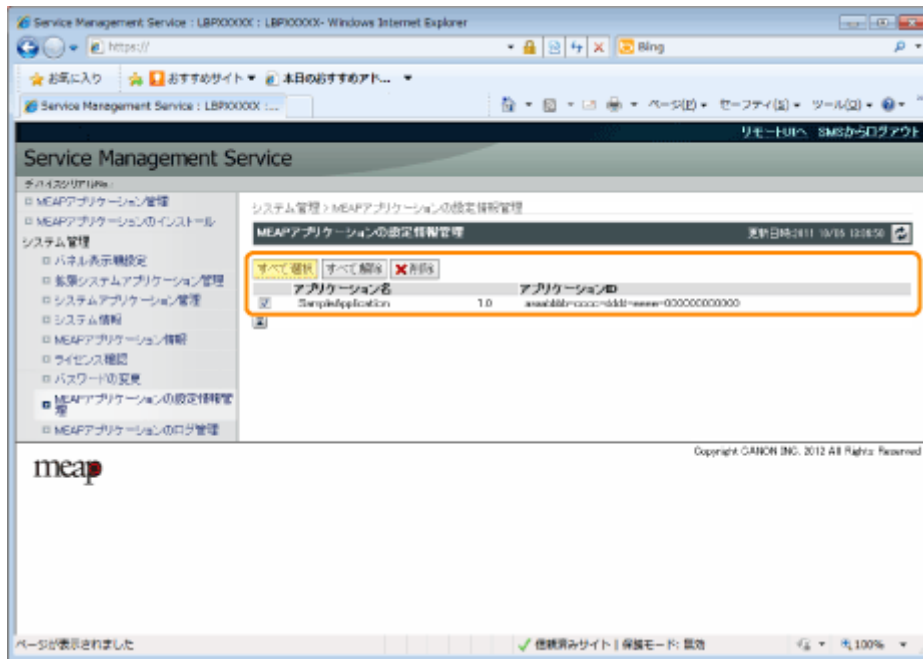
アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
LoginTool	2011 10/06	開始	不要
License Generator	4.4.0 2011 10/06	インストール済み	インストール済み

Below the table is a '資源情報' (Resource Information) section with a table showing usage for various resources:

リソース名	使用量	残量	使用率
ストレージ	13905 KB	150275 KB	8%
メモリ	3400 KB	26988 KB	10%
スレッド	14	114	11%
ソケット	8	122	5%
ファイル記述子	4	124	3%

3 設定情報を削除するアプリケーションにチェックマークを付けて、[削除] をクリックします。

すべてのアプリケーションを選択するには、[すべて選択] をクリックします。



4 [はい] をクリックします。

→ アプリケーションの設定情報が削除されます。

MEAP アプリケーションのログデータを管理する

0XL3-01E

MEAP アプリケーションが取得したログデータのダウンロードや削除を行います。

- ❖ [ログデータをダウンロードする\(P. 67\)](#)
- ❖ [ログデータを削除する\(P. 69\)](#)

ログデータをダウンロードする

OXL3-01F

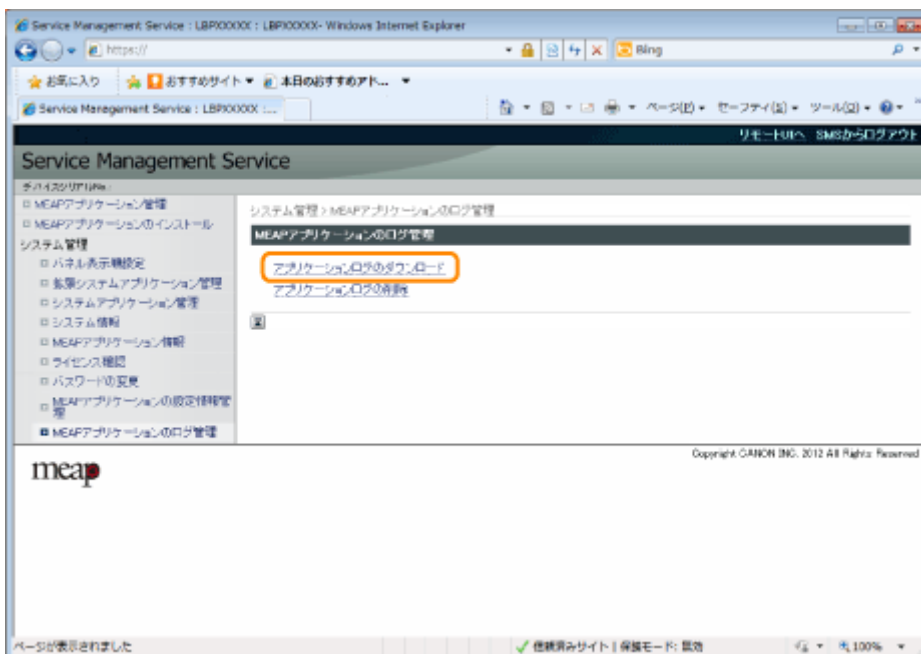
1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- ① 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [MEAP アプリケーションのログ管理] をクリックします。



3 [アプリケーションログのダウンロード] をクリックします。



4 画面の指示にしたがって、ファイルの保存場所を指定します。

→ ログファイルが保存されます。

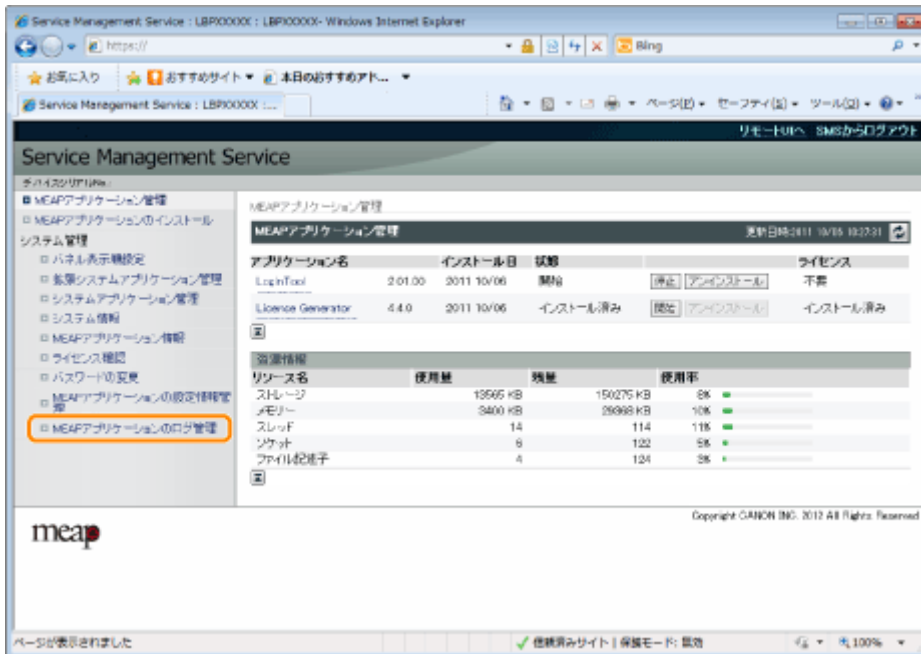
ログデータを削除する

OXL3-01H

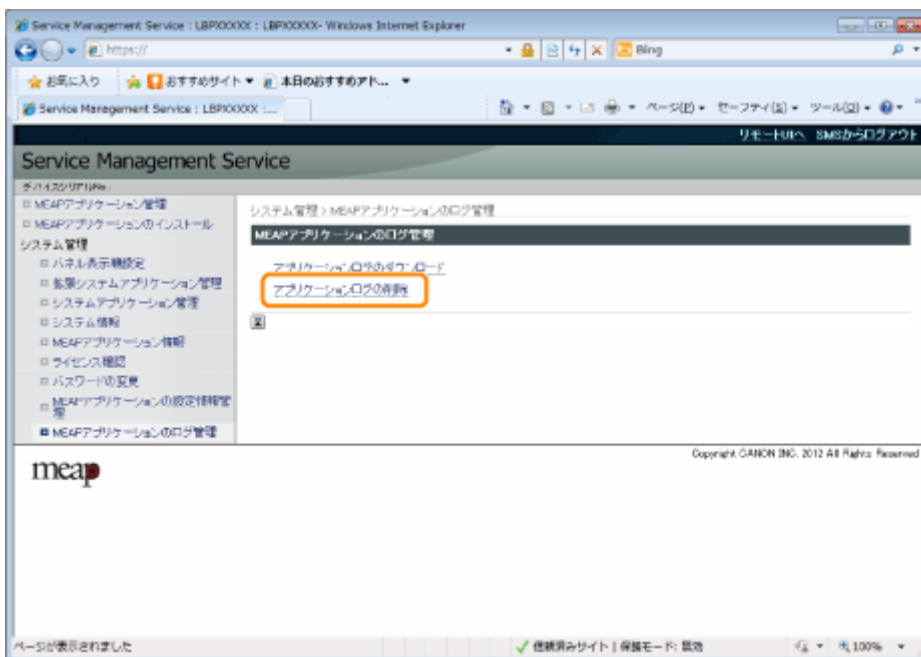
1 SMS (Service Management Service) を起動します。

- ① 「SMS を起動 (ログイン) する(P.9)」

2 [MEAP アプリケーションのログ管理] をクリックします。



3 [アプリケーションログの削除] をクリックします。



4 [はい] をクリックします。

→ ログデータが削除されます。

エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ一覧	72
[ログイン] ページに関するエラー	74
[MEAP アプリケーション管理] ページに関するエラー	76
[MEAP アプリケーションのインストール] ページに関するエラー	78
[認証情報の設定] ページに関するエラー	83
[ライセンス管理] ページに関するエラー	84
[拡張システムアプリケーション管理] ページに関するエラー	86
[ライセンス確認]、[パスワードの変更] ページに関するエラー	92
[MEAP アプリケーションの設定情報管理] ページに関するエラー	94
[MEAP アプリケーションのログ管理] ページに関するエラー	95
その他のエラー	96

エラーメッセージ一覧

0XL3-01J

SMS へのログイン時や SMS 操作中に表示されるエラーメッセージの対処方法を記載しています。

エラーメッセージをページで分けて記載していますので、以下のリンクをクリックして、必要な処置を行ってください。

- ❖ **【ログイン】 ページに関するエラー (P. 74)**

- ❖ **【MEAP アプリケーション管理】 ページに関するエラー(P. 76)**

- ❖ **【MEAP アプリケーションのインストール】 ページに関するエラー(P. 78)**

- ❖ **【認証情報の設定】 ページに関するエラー (P. 83)**

- ❖ **【ライセンス管理】 ページに関するエラー (P. 84)**

- ❖ **【拡張システムアプリケーション管理】 ページに関するエラー(P. 86)**

- ❖ **【ライセンス確認】、【パスワードの変更】 ページに関するエラー(P. 92)**

❖ **[MEAP アプリケーションの設定情報管理] ページに関するエラー(P. 94)**

❖ **[MEAP アプリケーションのログ管理] ページに関するエラー(P. 95)**

❖ **その他のエラー(P. 96)**

[ログイン] ページに関するエラー

0XL3-01K

- 「指定したファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。(P. 74)」
- 「指定されたファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。(P. 74)」
- 「指定されたスイッチライセンスファイルは、パスワードの初期化に使用できません。ファイルを指定しなおしてください。(P. 74)」
- 「使用済みのライセンスファイルが指定されたため、パスワードを初期化できません。ファイルを指定しなおしてください。(P. 74)」
- 「他のアプリケーションをインストール中か、ファームウェアをアップデート中のためパスワードの初期化はできません。しばらく待ってから操作してください。(P. 75)」
- 「Service Management Service を使用する権限がありません。管理者権限でログインしなおしてください。(P. 75)」
- 「他のユーザーがログインしているか、ログアウト操作を正常に行わなかったためログインできません。しばらく待ってから操作してください。(P. 75)」
- 「エラー発生：<エラーの内容>(P. 75)」

指定したファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。

原因	指定したパスにファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。
処置	ファイルのパスを正確に指定してください。

指定されたファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

原因	指定されたファイルがスイッチライセンスではありません。
処置	指定されたファイルがパスワード初期化用のスイッチライセンスであることを確認してください。
原因	指定されたファイルの情報が不足しています。
処置	指定されたファイルではパスワードの初期化ができません。ファイルの内容を確認してください。

指定されたスイッチライセンスファイルは、パスワードの初期化に使用できません。ファイルを指定しなおしてください。

原因	指定したファイルがパスワード初期化用のスイッチライセンスではありません。
処置	パスワード初期化用のスイッチライセンスファイルを指定してください。

使用済みのライセンスファイルが指定されたため、パスワードを初期化できません。ファイルを指定しなおしてください。

原因	指定されたライセンスファイルはすでに一度インストールされています。一度インストールされたライセンスファイルは、再びインストールすることはできません。
処置	指定されたライセンスファイルはインストールできないので、他のファイルを指定してください。

他のアプリケーションをインストール中か、ファームウェアをアップデート中のためパスワードの初期化はできません。しばらく待ってから操作してください。

原因	SMS 以外でアプリケーションをインストールしているか、ファームウェアをアップデートしているため、パスワードの初期化ができません。
処置	処理が終了するまでしばらく待ってから、パスワードの初期化を行ってください。

Service Management Service を使用する権限がありません。管理者権限でログインしなおしてください。

原因	プリンターにログインするときのユーザー名／パスワードで SMS にログインできるのは、管理者権限を持つユーザーのみです。ログインしようとしたユーザーに管理者権限がないため、ログインできません。
処置	管理者権限を持つユーザーのユーザー名／パスワードでログインしなおしてください。

他のユーザーがログインしているか、ログアウト操作を正常に行わなかったためログインできません。しばらく待ってから操作してください。

原因	他のユーザーがログインしているか、以前ログインした際にログアウト操作が正常に行われなかったため、一定時間ログインできません。
処置	他のユーザーがログインしている場合は、そのユーザーがログアウトするのを待ってください。他のユーザーがログインしてない場合は、ロックが解除されるのを待ってください。

エラー発生：＜エラーの内容＞

原因	何らかの原因でエラーが発生しました。詳しくは、＜エラーの内容＞を参照してください。
処置	＜エラーの内容＞から対処法が不明な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

[MEAP アプリケーション管理] ページに関するエラー

0XL3-01L

- 「アプリケーションに再頒布可能モジュールがないため、開始できません。再頒布可能モジュールを取得してください。(P. 76)」
- 「起動可能なアプレット数を超えるため、アプリケーションを開始できません。他のアプリケーションを停止してから、上記アプリケーションを開始してください。(P. 76)」
- 「このアプリケーションを開始させるにはライセンスが必要です。ライセンスをインストールしてから開始しなおしてください。(P. 76)」
- 「アプリケーションの開始に必要なシステム資源（メモリー、スレッド、ソケット、ファイル記述子、ディスク容量またはスクリーンサイズ）が確保できない可能性があるため、アプリケーションを開始できません。＜確保できないシステム資源＞(P. 76)」
- 「ライセンスファイルが削除されていないため、アプリケーションをアンインストールできません。[ライセンス管理] ページでライセンスを削除してから、アプリケーションのアンインストールを行ってください。(P. 77)」
- 「アプリケーションのファイルに記載されている名称と、Applet Viewer Service に登録するアプレット名が異なります。ファイルを確認してください。(P. 77)」
- 「アプリケーションの設定情報を処理中のため、開始できません。しばらく待ってから開始してください。(P. 77)」
- 「エラー発生：＜エラーの内容＞(P. 77)」

アプリケーションに再頒布可能モジュールがないため、開始できません。再頒布可能モジュールを取得してください。

原因	アプリケーションに再頒布可能モジュールが含まれていないため、アプリケーションを開始できません。
処置	アプリケーション開発元にお問い合わせください。

起動可能なアプレット数を超えるため、アプリケーションを開始できません。他のアプリケーションを停止してから、上記アプリケーションを開始してください。

原因	起動しようとしたアプリケーションはアプレットを含んでいます。このアプリケーションを起動すると、システムで起動可能なアプレットの数（上限数：5）を超えるので、アプリケーションを開始できません。
処置	起動しているアプリケーションのうち、アプレットを含むものを停止し、システムのアプレット起動数を減らした後、アプリケーションを開始してください。

このアプリケーションを開始させるにはライセンスが必要です。ライセンスをインストールしてから開始しなおしてください。

原因	ライセンスファイルがインストールされていないため開始できません。
処置	ライセンスファイルをインストールしてからアプリケーションを開始してください。

アプリケーションの開始に必要なシステム資源（メモリー、スレッド、ソケット、ファイル記述子、ディスク容量またはスクリーンサイズ）が確保できない可能性があるため、アプリケーションを開始できません。＜確保できないシステム資源＞

原因	アプリケーション開始のためのシステム資源が確保できない可能性があるためアプリケーションを開始できません。
処置	他のアプリケーションを停止したあと、再度開始してください。開始できる場合があります。

ライセンスファイルが削除されていないため、アプリケーションをアンインストールできません。
[ライセンス管理] ページでライセンスを削除してから、アプリケーションのアンインストールを行ってください。

原因	アンインストールするアプリケーションのライセンスファイルがまだプリンターに存在するため、アンインストールができません。
処置	[ライセンス管理] ページでライセンスを削除してからアプリケーションのアンインストールを行ってください。

アプリケーションのファイルに記載されている名称と、Applet Viewer Service に登録するアプレット名が異なります。ファイルを確認してください。

原因	アプリケーションが Applet Viewer Service に登録しようとするアプレット名と、アプリケーションのファイルに記載されているアプレット名が異なるため、アプリケーションを開始できません。
処置	アプリケーションファイルに修正を加える必要があるため、アプリケーション開発元にお問い合わせください。

アプリケーションの設定情報を処理中のため、開始できません。しばらく待ってから開始してください。

原因	アプリケーションデータを削除中のため、アプリケーションを開始できません。
処置	アプリケーションデータが削除されるのを待ってから、再度実行してください。

エラー発生：<エラーの内容>

原因	何らかの原因でエラーが発生しました。詳しくは、<エラーの内容>を参照してください。
処置	<エラーの内容>から対処法が不明な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

[MEAP アプリケーションのインストール] ページに関するエラー

0XL3-01R

- 「インストールするアプリケーションのファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。(P. 78)」
- 「インストールするライセンスのファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。(P. 79)」
- 「指定したファイルにマニフェストが記載されていません。ファイルを確認してください。(P. 79)」
- 「インストールするアプリケーションのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。(P. 79)」
- 「インストールするライセンスのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。(P. 79)」
- 「指定されたアプリケーションのファイルに、以下の情報が不足しています。ファイルを確認してください。＜足りない情報＞(P. 79)」
- 「指定されたアプリケーション内の以下の情報が正しくありません。ファイルを確認してください。＜不正確な情報＞(P. 79)」
- 「正規のコード署名が確認できないため、アプリケーションをインストールできません。正規のコード署名を取得してください。(P. 79)」
- 「指定したアプリケーションとライセンスが対応していないため、インストールできません。ライセンスファイルのパスを指定しなおしてください。(P. 80)」
- 「インストール可能なアプリケーション数を超えました。他のアプリケーションをアンインストールしてからインストールしなおしてください。(P. 80)」
- 「ライセンスファイル ID の履歴が保存可能な数を越えたため、インストールできません。担当サービスにご連絡ください。(P. 80)」
- 「使用済みのライセンスファイルが指定されたため、インストールできません。ファイルを指定しなおしてください。(P. 80)」
- 「指定されたアプリケーションをインストールするには、同時にライセンスファイルをインストールする必要があります。ライセンスファイルを指定してください。(P. 80)」
- 「指定されたファイルはシステムアプリケーションです。[拡張システムアプリケーション管理] ページからインストールしてください。(P. 80)」
- 「指定されたアプリケーションは、ライセンス不要です。(P. 81)」
- 「指定されたライセンスは、このデバイスには対応していません。インストール可能なライセンスを指定してください。(P. 81)」
- 「指定されたアプリケーションは、このデバイスをサポートしていません。(P. 81)」
- 「指定されたアプリケーションに含まれるアプレットがデバイスのパネルで表示できる領域を越えるため、インストールできません。(P. 81)」
- 「指定されたファイルは、アップデートファイルです。アップデートするアプリケーションを停止してから、インストールしてください。(P. 81)」
- 「アプリケーションのライセンス条件が異なるため、このままインストールすることができません。インストールする前に、指定したアプリケーションをアンインストールしてください。(P. 81)」
- 「ストレージの容量を超えるため、アプリケーションをインストールできません。他のアプリケーションをアンインストールしてからインストールしなおしてください。(P. 81)」
- 「インストールをキャンセルできませんでした。インストールは正常に終了しました。(P. 82)」
- 「このアプリケーションは、本体の MEAP バージョンに対応していません。アプリケーションのバージョンをご確認の上、担当サービスにご連絡ください。(P. 82)」
- 「このデバイスには、指定したアプリケーションをインストールできません。(P. 82)」
- 「システムがシャットダウンされたため、処理を中断しました。システム再起動後に、再度処理を実行してください。(P. 82)」
- 「他のアプリケーションをインストール中か、ファームウェアをアップデート中のためインストールできません。しばらく待ってから操作してください。(P. 82)」
- 「エラー発生：＜エラーの内容＞(P. 82)」

インストールするアプリケーションのファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。

原因	指定したファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。
処置	ファイルのパスを正確に指定してください。

インストールするライセンスのファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。

原因	指定したパスにライセンスファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。
処置	ファイルのパスを正確に指定してください。

指定したファイルにマニフェストが記載されていません。ファイルを確認してください。

原因	アプリケーションファイルとして指定したファイルに、マニフェストが存在しません。
処置	このアプリケーションはインストールできません。アプリケーション開発元にお問い合わせください。

インストールするアプリケーションのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

原因	アプリケーションファイルとして指定したファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。
処置	このアプリケーションファイルはインストールできません。ファイルを確認してください。ファイルに問題がない場合は、アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

インストールするライセンスのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

原因	ライセンスファイルとして指定したファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。
処置	このライセンスファイルはインストールできません。ファイルを確認してください。ファイルに問題がない場合は、アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

指定されたアプリケーションのファイルに、以下の情報が不足しています。ファイルを確認してください。＜足りない情報＞

原因	アプリケーションに必須の情報がアプリケーションファイルに含まれていないため、インストールできません。
処置	ファイルを確認してください。ファイルに問題がない場合は、＜足りない情報＞についてアプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

指定されたアプリケーション内の以下の情報が正しくありません。ファイルを確認してください。＜不正確な情報＞

原因 1	アプリケーションファイル内の＜不正確な情報＞を、正しい情報として認識できません。
処置	アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。
原因 2	＜不正確な情報＞が MEAP Specifications の場合、アプリケーションが持つ MEAP Specifications の値とプリンター側の値が一致していません。
処置	お買い求めの販売店にお問い合わせください。

正規のコード署名が確認できないため、アプリケーションをインストールできません。正規のコード署名を取得してください。

原因 1	正規のコード署名がアプリケーションファイルの中で確認できません。
------	----------------------------------

処置	アプリケーションに正しいコード署名を行ってください。
原因 2	ファイルが改ざんされている可能性があります。
処置	アプリケーション開発元にお問い合わせください。

指定したアプリケーションとライセンスが対応していないため、インストールできません。ライセンスファイルのパスを指定しなおしてください。

原因	指定されたライセンスファイルが、指定されたアプリケーションに対応していないため、アプリケーションのインストールはできません。
処置	アプリケーションに対応するライセンスファイルを指定してください。

インストール可能なアプリケーション数を超えました。他のアプリケーションをアンインストールしてからインストールしなおしてください。

原因	インストールできるアプリケーション数は8までです。その数を超えてアプリケーションをインストールしようとしています。
処置	インストールされている他のアプリケーション（システムアプリケーションを除く）をアンインストールすれば、インストールできます。

ライセンスファイル ID の履歴が保存可能な数を超えたため、インストールできません。担当サービスにご連絡ください。

原因	ライセンスファイルに含まれるライセンスファイル ID 情報の履歴が保存可能な数を超えることになるので、インストールできません。
処置	お買い求めの販売店にお問い合わせください。

使用済みのライセンスファイルが指定されたため、インストールできません。ファイルを指定しなおしてください。

原因	一度インストールされたライセンスファイルを、再びインストールすることはできません。指定されたライセンスファイルはすでに一度インストールされています。
処置	指定されたライセンスファイルはインストールできませんので、他のファイルを指定してください。

指定されたアプリケーションをインストールするには、同時にライセンスファイルをインストールする必要があります。ライセンスファイルを指定してください。

原因	アプリケーションに対応したライセンスファイルを同時に指定しなければ、インストールできません。
処置	アプリケーションファイルを指定するとともに、アプリケーションに対応するライセンスファイルを指定してインストールしてください。

指定されたファイルはシステムアプリケーションです。[拡張システムアプリケーション管理] ページからインストールしてください。

原因	指定されたファイルはシステムアプリケーションです。この [MEAP アプリケーションのインストール] ページからインストールすることはできません。
処置	[拡張システムアプリケーション管理] ページからインストールしてください。

指定されたアプリケーションは、ライセンス不要です。

原因	アプリケーションファイルと、ライセンスファイルが指定されましたが、指定されたアプリケーションには、ライセンスファイルが必要ありません。
処置	ライセンスファイルを指定せずに、アプリケーションをインストールしてください。

指定されたライセンスは、このデバイスには対応していません。インストール可能なライセンスを指定してください。

原因	ライセンスファイルには、インストールできるプリンターのシリアルナンバー情報が含まれています。指定されたライセンスファイルにはこのプリンターのシリアルナンバー情報がないため、インストールできません。
処置	プリンターのシリアルナンバーに合致したライセンスファイルを指定してください。

指定されたアプリケーションは、このデバイスをサポートしていません。

原因	アプリケーションによっては、インストールできるプリンターの機種が決められています。この機種にはインストールできません。
処置	本プリンターに対応しているアプリケーションを指定してください。

指定されたアプリケーションに含まれるアプレットがデバイスのパネルで表示できる領域を越えるため、インストールできません。

原因	アプリケーションに含まれるアプレットの表示領域が、プリンターの操作パネルの表示領域を越えているため、インストールできません。
処置	本プリンターに対応しているアプレットを含むアプリケーションをインストールしてください。

指定されたファイルは、アップデートファイルです。アップデートするアプリケーションを停止してから、インストールしてください。

原因	指定されたファイルは、すでにインストールされているアプリケーションをアップデートするファイルです。アップデートするためには、アップデート対象のアプリケーションを停止する必要があります。
処置	アップデート対象のアプリケーションを停止してから、アプリケーションのアップデートを行ってください。

アプリケーションのライセンス条件が異なるため、このままインストールすることができません。インストールする前に、指定したアプリケーションをアンインストールしてください。

原因	すでにインストールされているアプリケーションに対して、ライセンス条件の異なる同じアプリケーションをアップグレードインストールしようとしてしました。
処置	同じライセンス条件を保持して、アップグレードインストールを行ってください。

ストレージの容量を超えるため、アプリケーションをインストールできません。他のアプリケーションをアンインストールしてからインストールしなおしてください。

原因	ストレージの空き容量が足りないため、アプリケーションがインストールできません。
処置	使用していないアプリケーションをアンインストールしてストレージの空き領域を確保してください。

インストールをキャンセルできませんでした。インストールは正常に終了しました。

原因	インストール動作がキャンセルできない状態にあるときに、[キャンセル] ボタンが押されました。
処置	ライセンスファイルを無効化し、[ライセンス管理] ページからダウンロードしたあと、アンインストールしてください。

このアプリケーションは、本体の MEAP バージョンに対応していません。アプリケーションのバージョンをご確認の上、担当サービスにご連絡ください。

原因	指定したアプリケーションは本プリンターの MEAP バージョンに対応していないため、インストールできません。
処置	アプリケーション開発元にお問い合わせください。

このデバイスには、指定したアプリケーションをインストールできません。

原因	プリンターのメモリーが不足しているため、指定したアプリケーションをインストールできません。
処置	お買い求めの販売店にお問い合わせください。

システムがシャットダウンされたため、処理を中断しました。システム再起動後に、再度処理を実行してください。

原因	インストールがシステムのシャットダウンと競合したため、インストールが完了できませんでした。
処置	プリンターの再起動後にもう一度インストールを行ってください。

他のアプリケーションをインストール中か、ファームウェアをアップデート中のためインストールできません。しばらく待ってから操作してください。

原因	SMS 以外でアプリケーションをインストールしているか、ファームウェアをアップデートしているため、アプリケーションをインストールできません。
処置	処理が終了するまでしばらく待ってから、アプリケーションのインストールを行ってください。

エラー発生：＜エラーの内容＞

原因	何らかの原因でエラーが発生しました。詳しくは、＜エラーの内容＞を参照してください。
処置	＜エラーの内容＞から対処法が不明な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

[認証情報の設定] ページに関するエラー

0XL3-01S

- 「設定内容が正しくありません。(P. 83)」
- 「エラーが発生したため、設定できませんでした。(P. 83)」
- 「[部門 ID] が正しくありません。[部門 ID] は整数を入力してください。(P. 83)」
- 「エラーが発生したため、削除できませんでした。(P. 83)」
- 「[部門 ID] が入力されていません。(P. 83)」

設定内容が正しくありません。

- パスワードが間違っていないか確認してください。
- 部門 ID は 7 桁以内の整数で入力してください。
- 入力された部門 ID がデバイス側で登録されているか確認してください。

原因	入力された部門 ID が存在しないか、入力されたパスワードが間違っているため、認証情報の設定ができません。
処置	プリンターに登録されている正確な部門 ID、パスワードを入力してください。

[部門 ID] が正しくありません。

[部門 ID] は整数を入力してください。

原因	入力した部門 ID は正の整数ですが、登録された部門 ID は、正の整数ではありません。
処置	本体に登録されている正確な部門 ID を入力しなおしてください。

[部門 ID] が入力されていません。

原因	部門 ID が空白です。
処置	部門 ID を指定してください。

エラーが発生したため、設定できませんでした。

原因	何らかの原因でエラーが発生して、認証情報の設定ができませんでした。
処置	お買い求めの販売店にお問い合わせください。

エラーが発生したため、削除できませんでした。

原因	何らかの原因でエラーが発生して、認証情報の削除ができませんでした。
処置	お買い求めの販売店にお問い合わせください。

[ライセンス管理] ページに関するエラー

0XL3-01U

- 「指定したファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。(P. 84)」
- 「インストールするライセンスのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。(P. 84)」
- 「アプリケーションと指定したライセンスが対応していないため、インストールできません。ライセンスファイルのパスを指定しなおしてください。(P. 84)」
- 「ライセンスファイル ID の履歴が保存可能な数を越えたため、インストールできません。担当サービスにご連絡ください。(P. 84)」
- 「使用済みのライセンスファイルが指定されたため、インストールできません。ファイルを指定しなおしてください。(P. 84)」
- 「指定したライセンスは、このデバイスには対応していません。インストール可能なライセンスを指定してください。(P. 85)」
- 「インストールをキャンセルできませんでした。インストールは正常に終了しました。(P. 85)」
- 「他のアプリケーションをインストール中か、ファームウェアをアップデート中のためインストールできません。しばらく待ってから操作してください。(P. 85)」
- 「アプリケーションが開始されているため、ライセンスの無効化を行えません。アプリケーションを停止してからライセンスを無効にしてください。(P. 85)」
- 「エラー発生：<エラーの内容>(P. 85)」

指定したファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。

原因	指定したパスにファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。
処置	ファイルのパスを正確に指定してください。

インストールするライセンスのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

原因	ファイルの内容が正しくないか、またはファイルの情報が不足しています。
処置	このライセンスファイルはインストールできません。アプリケーション開発元にお問い合わせください。

アプリケーションと指定したライセンスが対応していないため、インストールできません。ライセンスファイルのパスを指定しなおしてください。

原因	指定されたライセンスファイルが、アプリケーションに対応したものではないので、インストールできません。
処置	アプリケーションに対応するライセンスファイルを指定してください。 ライセンスファイル内のマニフェストファイルの記述が正確であることを確認してください。

ライセンスファイル ID の履歴が保存可能な数を越えたため、インストールできません。担当サービスにご連絡ください。

原因	ライセンスファイルに含まれるライセンスファイル ID 情報の履歴が保存可能な数を越えることになるため、インストールできません。
処置	お買い求めの販売店にお問い合わせください。

使用済みのライセンスファイルが指定されたため、インストールできません。ファイルを指定しなおしてください。

原因	一度インストールされたライセンスは、再びインストールすることはできない仕様になっていますが、指定されたライセンスファイルはすでに一度インストールされています。
----	---

処置	指定されたライセンスファイルはインストールできないので、他のファイルを指定してください。
----	--

指定したライセンスは、このデバイスには対応していません。インストール可能なライセンスを指定してください。

原因	ライセンスファイルには、インストールできるプリンターが記述されていますが、指定されたライセンスファイルは本プリンターにはインストールできません。
処置	本プリンターにインストールできるライセンスファイルを指定してください。

インストールをキャンセルできませんでした。インストールは正常に終了しました。

原因	インストール動作がキャンセルできない状態にあるときに、[キャンセル] ボタンが押されました。
処置	ライセンスファイルを無効化し、[ライセンス管理] ページからダウンロードしたあと、アンインストールしてください。

他のアプリケーションをインストール中か、ファームウェアをアップデート中のためインストールできません。しばらく待ってから操作してください。

原因	SMS 以外でアプリケーションをインストールしているか、ファームウェアをアップデートしているため、ライセンスファイルをインストールできません。
処置	処理が終了するまでしばらく待ってから、ライセンスファイルのインストールを行ってください。

アプリケーションが開始されているため、ライセンスの無効化を行えません。アプリケーションを停止してからライセンスを無効にしてください。

原因	ライセンスに対応するアプリケーションが停止していないので、ライセンスを無効化することはできません。
処置	ライセンスに対応するアプリケーションを停止してからライセンスの無効化を行ってください。

エラー発生：<エラーの内容>

原因	何らかの原因でエラーが発生しました。詳しくは、<エラーの内容>を参照してください。
処置	<エラーの内容>から対処方法が不明な場合は、アプリケーション開発元にお問い合わせください。

[拡張システムアプリケーション管理] ページに関するエラー

OXL3-01W

- 「アプリケーションに再頒布可能モジュールがないため、開始できません。再頒布可能モジュールを取得してください。(P. 86)」
- 「起動可能なアプレット数を超えるため、アプリケーションを開始できません。他のアプリケーションを停止してから、上記アプリケーションを開始してください。(P. 87)」
- 「アプリケーションの開始に必要なシステム資源（メモリー、スレッド、ソケット、ファイル記述子、ディスク容量またはスクリーンサイズ）が確保できない可能性があるため、アプリケーションを開始できません。＜確保できないシステム資源＞(P. 87)」
- 「アプリケーションのファイルに記載されている名称と、Applet Viewer Serviceに登録するアプレット名が異なります。ファイルを確認してください。(P. 87)」
- 「次のログインサービスをアンインストールできません。(P. 87)
 - 現在設定されているログインサービス
 - デバイスを再開したあとに有効になるログインサービス
 - 認証情報が設定されているログインサービス
 デバイスを再開すると、ログインサービスをアンインストールできます。」
- 「インストールするアプリケーションのファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。(P. 87)」
- 「指定したファイルにマニフェストが記載されていません。ファイルを確認してください。(P. 87)」
- 「インストールするライセンスのファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。(P. 88)」
- 「インストールするアプリケーションのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。(P. 88)」
- 「インストールするライセンスのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。(P. 88)」
- 「正規のコード署名が確認できないため、アプリケーションをインストールできません。正規のコード署名を取得してください。(P. 88)」
- 「指定したアプリケーションとライセンスが対応していないため、インストールできません。ライセンスファイルのパスを指定しなおしてください。(P. 88)」
- 「指定されたファイルはシステムアプリケーションではありません。ファイルを確認してください。(P. 88)」
- 「ライセンスファイル ID の履歴が保存可能な数を超えたため、インストールできません。担当サービスにご連絡ください。(P. 89)」
- 「使用済みのライセンスファイルが指定されたため、インストールできません。ファイルを指定しなおしてください。(P. 89)」
- 「指定されたアプリケーションをインストールするには、同時にライセンスファイルをインストールする必要があります。ライセンスファイルを指定してください。(P. 89)」
- 「指定されたアプリケーション内の以下の情報が正しくありません。ファイルを確認してください。＜不正確な情報＞(P. 89)」
- 「指定されたアプリケーションのファイルに、以下の情報が不足しています。ファイルを確認してください。＜足りない情報＞(P. 89)」
- 「指定されたアプリケーションは、このデバイスをサポートしていません。(P. 89)」
- 「指定したライセンスは、このデバイスには対応していません。インストール可能なライセンスを指定してください。(P. 90)」
- 「指定されたアプリケーションに含まれるアプレットがデバイスのパネルで表示できる領域を超えるため、インストールできません。(P. 90)」
- 「指定されたファイルは、アップデートファイルです。アップデートするシステムアプリケーションを停止してから、インストールしてください。(P. 90)」
- 「指定されたファイルは、現在設定されているログインサービスのアップデートファイルです。他のログインサービスに切り替え、デバイスを再起動させてからファイルをインストールしなおしてください。(P. 90)」
- 「ストレージの容量を超えるため、アプリケーションをインストールできません。他のアプリケーションをアンインストールしてからインストールしなおしてください。(P. 90)」
- 「インストールをキャンセルできませんでした。インストールは正常に終了しました。(P. 90)」
- 「システムがシャットダウンされたため、処理を中断しました。システム再起動後に、再度処理を実行してください。(P. 90)」
- 「他のアプリケーションをインストール中か、ファームウェアをアップデート中のためインストールできません。しばらく待ってから操作してください。(P. 91)」
- 「エラー発生：＜エラーの内容＞(P. 91)」

アプリケーションに再頒布可能モジュールがないため、開始できません。再頒布可能モジュールを取得してください。

原因	アプリケーションに再頒布可能モジュールが含まれていないため、アプリケーションを開始できません。
処置	アプリケーション開発元にお問い合わせください。

起動可能なアプレット数を超えるため、アプリケーションを開始できません。他のアプリケーションを停止してから、上記アプリケーションを開始してください。

原因	起動しようとしたアプリケーションはアプレットを含んでいます。このアプリケーションを起動すると、システムで起動可能なアプレットの数（上限数：5）を超えるので、アプリケーションを開始できません。
処置	起動しているアプリケーションのうち、アプレットを含むものを停止し、システムのアプレット起動数を減らしたあと、アプリケーションを開始してください。

アプリケーションの開始に必要なシステム資源（メモリー、スレッド、ソケット、ファイル記述子、ディスク容量またはスクリーンサイズ）が確保できない可能性があるため、アプリケーションを開始できません。＜確保できないシステム資源＞

原因	アプリケーション開始のためのシステム資源が確保できない可能性があるためアプリケーションを開始できません。
処置	他のアプリケーションを停止したあと、再度開始してください。開始できる場合があります。

アプリケーションのファイルに記載されている名称と、Applet Viewer Service に登録するアプレット名が異なります。ファイルを確認してください。

原因	アプリケーションが Applet Viewer Service に登録しようとしているアプレット名と、アプリケーションのファイルに記載されているアプレット名が異なるため、アプリケーションを開始できません。
処置	アプリケーションファイルに修正を加える必要があるため、アプリケーション開発元にお問い合わせください。

次のログインサービスをアンインストールできません。

- 現在設定されているログインサービス
- デバイスを再開したあとに有効になるログインサービス
- 認証情報が設定されているログインサービス

デバイスを再開すると、ログインサービスをアンインストールできます。

原因	現在設定されているログインサービス、デバイスが再開されたあとに実行されるログインサービス、標準で認証されるログインサービスをアンインストールできません。
処置	現在設定されているログインサービス、デバイスが再開されたあとに実行されるログインサービス、標準で認証されるログインサービスはアンインストールしないでください。 現在設定されているログインサービスをアンインストールするには、デバイスを再起動してください。

インストールするアプリケーションのファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。

原因	指定したファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。
処置	ファイルのパスを正確に指定してください。

指定したファイルにマニフェストが記載されていません。ファイルを確認してください。

原因	アプリケーションファイルとして指定したファイルに、マニフェストが存在しません。
処置	このアプリケーションはインストールできません。アプリケーション開発元にお問い合わせください。

インストールするライセンスのファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。

原因	指定したファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。
処置	ファイルのパスを正確に指定してください。

インストールするアプリケーションのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

原因	アプリケーションファイルとして指定したファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。
処置	このアプリケーションファイルはインストールできません。ファイルを確認してください。ファイルに問題がない場合は、アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

インストールするライセンスのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

原因	ライセンスファイルとして指定したファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。
処置	このライセンスファイルはインストールできません。ファイルを確認してください。ファイルに問題がない場合は、アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

正規のコード署名が確認できないため、アプリケーションをインストールできません。正規のコード署名を取得してください。

原因 1	正規のコード署名がアプリケーションファイルの中で確認できません。
処置	アプリケーションに正しいコード署名を行ってください。
原因 2	ファイルが改ざんされている可能性があります。
処置	アプリケーション開発元にお問い合わせください。

指定したアプリケーションとライセンスが対応していないため、インストールできません。ライセンスファイルのパスを指定しなおしてください。

原因	指定されたライセンスファイルが、指定されたアプリケーションに対応していないため、アプリケーションのインストールはできません。
処置	アプリケーションに対応するライセンスファイルを指定してください。

指定されたファイルはシステムアプリケーションではありません。ファイルを確認してください。

原因	指定されたファイルはシステムアプリケーションではありません。この [拡張システムアプリケーション管理] ページからインストールできません。
処置	[MEAP アプリケーションのインストール] ページからインストールしてください。

ライセンスファイル ID の履歴が保存可能な数を越えたため、インストールできません。担当サービスにご連絡ください。

原因	ライセンスファイルに含まれるライセンスファイル ID 情報の履歴が保存可能な数を越えることになるため、インストールできません。
処置	お買い求めの販売店にお問い合わせください。

使用済みのライセンスファイルが指定されたため、インストールできません。ファイルを指定しなおしてください。

原因	一度インストールされたライセンスファイルを、再びインストールすることはできません。指定されたライセンスファイルはすでに一度インストールされています。
処置	指定されたライセンスファイルはインストールできませんので、他のファイルを指定してください。

指定されたアプリケーションをインストールするには、同時にライセンスファイルをインストールする必要があります。ライセンスファイルを指定してください。

原因	アプリケーションに対応したライセンスファイルを同時に指定しなければ、インストールできません。
処置	アプリケーションファイルを指定するとともに、アプリケーションに対応するライセンスファイルを指定してインストールしてください。

指定されたアプリケーション内の以下の情報が正しくありません。ファイルを確認してください。
＜不正確な情報＞

原因 1	アプリケーションファイル内の＜不正確な情報＞を正しい情報として認識できません。
処置	アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。
原因 2	＜不正確な情報＞が MEAP Specifications の場合、アプリケーションが持つ MEAP Specifications の値とプリンター側の値が一致していません。
処置	お買い求めの販売店にお問い合わせください。

指定されたアプリケーションのファイルに、以下の情報が不足しています。ファイルを確認してください。＜足りない情報＞

原因	アプリケーションに必須の情報がアプリケーションに含まれていないため、インストールできません。
処置	ファイルを確認してください。ファイルに問題がない場合は、＜足りない情報＞についてアプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口へお問い合わせください。

指定されたアプリケーションは、このデバイスをサポートしていません。

原因	アプリケーションによっては、インストールできるプリンターの機種が決められています。この機種にはインストールできません。
処置	本プリンターに対応しているアプリケーションを指定してください。

指定したライセンスは、このデバイスには対応していません。インストール可能なライセンスを指定してください。

原因	ライセンスファイルには、インストールできるプリンターのシリアルナンバー情報が含まれています。指定されたライセンスファイルにはこのプリンターのシリアルナンバー情報がないため、インストールできません。
処置	本プリンターのシリアルナンバーに合致したライセンスファイルを指定してください。

指定されたアプリケーションに含まれるアプレットがデバイスのパネルで表示できる領域を越えるため、インストールできません。

原因	アプリケーションに含まれるアプレットの表示領域が、プリンターの操作パネルの表示領域を越えているため、インストールできません。
処置	本プリンターに対応しているアプレットを含むアプリケーションをインストールしてください。

指定されたファイルは、アップデートファイルです。アップデートするシステムアプリケーションを停止してから、インストールしてください。

原因	指定されたファイルは、すでにインストールされているアプリケーションをアップデートするファイルです。アップデートするためには、アップデート対象のアプリケーションを停止する必要があります。
処置	アップデート対象のアプリケーションを停止してから、アプリケーションのアップデートを行ってください。

指定されたファイルは、現在設定されているログインサービスのアップデートファイルです。他のログインサービスに切り替え、デバイスを再起動させてからファイルをインストールしなおしてください。

原因	指定されたファイルは、現在設定されているログインサービスのアップデートファイルですが、開始しているログインサービスをアップデートすることはできません。
処置	ログインサービスのアップデートファイルをインストールする場合は、他のログインサービスを開始してから、行ってください。

ストレージの容量を超えるため、アプリケーションをインストールできません。他のアプリケーションをアンインストールしてからインストールしなおしてください。

原因	ストレージの空き容量が足りないため、アプリケーションがインストールできません。
処置	使用していないアプリケーションをアンインストールしてストレージの空き領域を確保してください。

インストールをキャンセルできませんでした。インストールは正常に終了しました。

原因	インストール動作がキャンセルできない状態にあるときに、[キャンセル] ボタンが押されました。
処置	ライセンスファイルを無効化し、[ライセンス管理] ページからダウンロードしたあと、アンインストールしてください。

システムがシャットダウンされたため、処理を中断しました。システム再起動後に、再度処理を実行してください。

原因	インストールがシステムのシャットダウンと競合したため、インストールが完了できませんでした。
----	---

処置	プリンターの再起動後にもう一度インストールを行ってください。
----	--------------------------------

他のアプリケーションをインストール中か、ファームウェアをアップデート中のためインストールできません。しばらく待ってから操作してください。

原因	SMS 以外でアプリケーションをインストールしているか、ファームウェアをアップデートしているため、アプリケーションをインストールできません。
処置	処理が終了するまでしばらく待ってから、アプリケーションのインストールを行ってください。

エラー発生：〈エラーの内容〉

原因	何らかの原因でエラーが発生しました。詳しくは、〈エラーの内容〉を参照してください。
処置	〈エラーの内容〉から対処法が不明な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

[ライセンス確認]、[パスワードの変更] ページに関するエラー

0XL3-01X

- 「指定したファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。(P. 92)」
- 「指定されたファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。(P. 92)」
- 「指定されたスイッチライセンスファイルは、ライセンスファイル ID の履歴消去に使用できません。パスを指定しなおしてください。(P. 92)」
- 「指定されたライセンスは、すでにインストールされています。インストール済みのライセンス情報は表示できません。(P. 92)」
- 「他のアプリケーションをインストール中か、ファームウェアをアップデート中のため操作できません。しばらく待ってから操作してください。(P. 92)」
- 「現在のパスワードが間違っています。(P. 93)」
- 「新しいパスワードが正しくありません。パスワードは半角英数字 8 文字以上 32 文字以内で入力してください。(P. 93)」
- 「新しいパスワードと確認入力一致しません。(P. 93)」
- 「エラー発生：<エラーの内容>(P. 93)」

指定したファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。

原因	指定したパスにファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。
処置	ファイルのパスを正確に指定してください。

指定されたファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

原因 1	ファイルの内容が正しくありません。(ライセンスファイル以外のファイルが指定されました。)
処置	指定されたファイルがライセンスファイルであることを確認してください。
原因 2	ファイルの情報が不足しています。
処置	ファイルの内容を確認してください。

指定されたスイッチライセンスファイルは、ライセンスファイル ID の履歴消去に使用できません。パスを指定しなおしてください。

原因	指定されたファイルはライセンス ID ログ削除用スイッチライセンスファイルではありません。
処置	ライセンスファイル ID 削除用スイッチライセンスファイルのパスを指定しなおしてください。

指定されたライセンスは、すでにインストールされています。インストール済みのライセンス情報は表示できません。

原因	すでに本プリンターにインストールされたことのあるライセンスファイルの情報を表示することはできません。
処置	別のライセンスファイルを指定してください。

他のアプリケーションをインストール中か、ファームウェアをアップデート中のため操作できません。しばらく待ってから操作してください。

原因	SMS 以外でアプリケーションをインストールしているか、ファームウェアをアップデートしているため、ライセンスファイルの情報を表示することはできません。
----	---

処置	処理が終了するまでしばらく待ってから、ライセンス情報の表示を行ってください。
----	--

現在のパスワードが間違っています。

原因	現在のパスワードとして入力された文字列が現在のパスワードと異なります。
処置	正しい現在のパスワードを入力してください。

新しいパスワードが正しくありません。パスワードは半角英数字 8 文字以上 32 文字以内で入力してください。

原因	新しいパスワードが 8 文字未満、または 33 文字以上です。パスワードとして使用してはいけない文字が使用されました。
処置	英数字 (a~z、A~Z、0~9) で 8 文字以上、32 文字以内の新しいパスワードを入力してください。

新しいパスワードと確認入力一致しません。

原因	新しいパスワードと確認用パスワードが一致しないのでパスワードの変更が行えません。
処置	新しいパスワードと同じ文字列を確認用パスワードとして入力してください。

エラー発生：〈エラーの内容〉

原因	何らかの原因でエラーが発生しました。詳しくは、〈エラーの内容〉を参照してください。
処置	〈エラーの内容〉から対処法が不明な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

[MEAP アプリケーションの設定情報管理] ページに関するエラー

0XL3-01Y

- 「現在動作中のアプリケーションによって使用されているため、選択したアプリケーションの設定情報を削除できません。以下のアプリケーション、またはログインサービス以外のすべてのアプリケーションを停止してから削除してください。<項目リスト>(P. 94)」
- 「エラーが発生したため、MEAP アプリケーションの設定情報を削除できませんでした。(P. 94)」

現在動作中のアプリケーションによって使用されているため、選択したアプリケーションの設定情報を削除できません。以下のアプリケーション、またはログインサービス以外のすべてのアプリケーションを停止してから削除してください。<項目リスト>

原因	アプリケーションが次の状態のため、設定情報を削除できませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> - 開始 - 開始中 - 停止中
処置	[戻る] ボタンで操作元のページへ戻り、エラーメッセージ中のアプリケーションを「開始」、「開始中」、「停止中」以外の状態にしてから、再度実行してください。

エラーが発生したため、MEAP アプリケーションの設定情報を削除できませんでした。

原因	何らかの原因でエラーが発生して、設定情報を削除できませんでした。
処置	[戻る] ボタンより、操作元のページへ戻ってください。

[MEAP アプリケーションのログ管理] ページに関するエラー

0XL3-020

- 「アプリケーションのログが存在しないため、ダウンロードできません。(P. 95)」
- 「エラーが発生したため、アプリケーションのログを削除できませんでした。(P. 95)」
- 「エラーが発生したため、アプリケーションのログをダウンロードできませんでした。(P. 95)」

アプリケーションのログが存在しないため、ダウンロードできません。

原因	アプリケーションのログが存在しません。
処置	[戻る] ボタンより、操作元のページへ戻ってください。

エラーが発生したため、アプリケーションのログをダウンロードできませんでした。

原因	何らかの原因でエラーが発生して、ログをダウンロードできませんでした。
処置	[戻る] ボタンより、操作元のページへ戻ってください。

エラーが発生したため、アプリケーションのログを削除できませんでした。

原因	何らかの原因でエラーが発生して、ログを削除できませんでした。
処置	[戻る] ボタンより、操作元のページへ戻ってください。

その他のエラー

OXL3-021

- 「指定したアプリケーションが見つかりません。他のユーザーによってアンインストールされた可能性があります。(P.96)」

指定したアプリケーションが見つかりません。他のユーザーによってアンインストールされた可能性があります。

原因	操作を行おうとしたアプリケーションが存在しません。
処置	[戻る] ボタンより、操作元のページへ戻ってください。

ガイドの使いかた

ガイドの使いかた	98
本ガイドの動作環境	99
本ガイドの画面構成	100
トップページ	101
トピックページ	102
サイトマップ	104
検索方法	105
本ガイドの読みかた	107

ガイドの使いかた

0XL3-022

本ガイドの使いかたについて説明します。

❖ 本ガイドの動作環境(P. 99)

❖ 本ガイドの画面構成(P. 100)

- ▶ トップページ(P. 101)
- ▶ トピックページ(P. 102)
- ▶ サイトマップ(P. 104)
- ▶ 検索方法(P. 105)

❖ 本ガイドの読みかた(P. 107)

<目的の記載の探しかた>

- **カテゴリーから探す**

トップページのアイコンから、カテゴリーを選択して、目的の記載を探します。

❖ 「[トップページ\(P. 101\)](#)」

- **サイトマップから探す**

サイトマップには、本ガイドのすべての項目がカテゴリー順に並んでいます。カテゴリー内の項目をダイレクトに表示できます。

❖ 「[サイトマップ\(P. 104\)](#)」

- **全文を検索して探す**

本ガイド内をキーワード検索することができます。調べたい内容を入力して、表示された候補から目的の記載を表示することができます。AND 検索に対応しております。

❖ 「[検索方法\(P. 105\)](#)」

本ガイドの動作環境

0XL3-023

本ガイドを使用するには、Web ブラウザーが必要です。動作を保証している Web ブラウザーは、次のとおりです。

Windows

- Internet Explorer 6.0 以降
- Firefox 2.x 以降

Mac OS

- Safari 3.x 以降
- Firefox 3.x 以降



スクリプト機能を有効にする

本ガイドは Web ブラウザーのスクリプト機能を有効にしてお使いください。

本ガイドの画面構成

0XL3-024

本ガイドの画面構成を説明します。

ここでは、本ガイドの起動直後に表示されるページを「トップページ」、ガイドの本文記事を「トピックページ」と呼びます。

「サイトマップ」は本ガイドの右上にある [サイトマップ] から表示されます。

検索は検索パネルで行います。

それぞれ、画面構成が異なりますので、次のリンクをクリックして説明をご覧ください。

➤ [トップページ\(P. 101\)](#)

➤ [トピックページ\(P. 102\)](#)

➤ [サイトマップ\(P. 104\)](#)

➤ [検索方法\(P. 105\)](#)


トップページ



(1) 使いたい機能を選ぶ

各機能の説明や操作法が記載されています。

(2) [検索]

キーワードを入力して [] をクリックすると、検索パネルが表示されます。

詳細については、「[検索方法\(P. 105\)](#)」を参照してください。

(3) [トップページ]

ガイドのトップページが表示されます。

(4) [サイトマップ]

ガイドのトピック一覧が表示されます。

(5) [使いかた]

ガイドの使いかたが表示されます。

(6) [免責事項]

免責事項が表示されます。

(7) [著作権]

著作権に関する情報が表示されます。

(8) [商標]



商標が表示されます。

トピックページ

**(1) チャプターもくじ**

チャプター内のトピック一覧です。各項目をクリックするとトピックページに説明が表示されます。

[] をクリックするとメニューが開き、[] をクリックするとメニューを折りたたみます。

また、[ すべて開く] をクリックするとすべてのメニューが開き、[ すべてたたむ] をクリックするとすべてのメニューを折りたたむことができます。

(2) トピックページ

各項目の説明が表示されます。

トピックページの左上には、表示されているトピックの現在位置が表示されます。リンクをクリックすると、上位階層へ移動できます。

(3) [チャプター] メニュー

プルダウンメニューから異なるチャプターを選択できます。

(4) [もくじ] タブ

チャプターもくじパネルを表示するときにクリックします。

(5) [検索] タブ

検索パネルを表示するときにクリックします。

詳細については、「[検索方法\(P. 105\)](#)」を参照してください。

(6) []

チャプターもくじパネルと検索パネルの表示／非表示を切り替えるときにクリックします。

(7) [前へ] / [次へ]

前後のトピックに移動するときにクリックします。

(8) [このトピックを印刷]

現在表示しているトピックページのみを印刷します。

(9) [すべて印刷]

チャプター全体をまとめて印刷します。

サイトマップ

OXL3-027

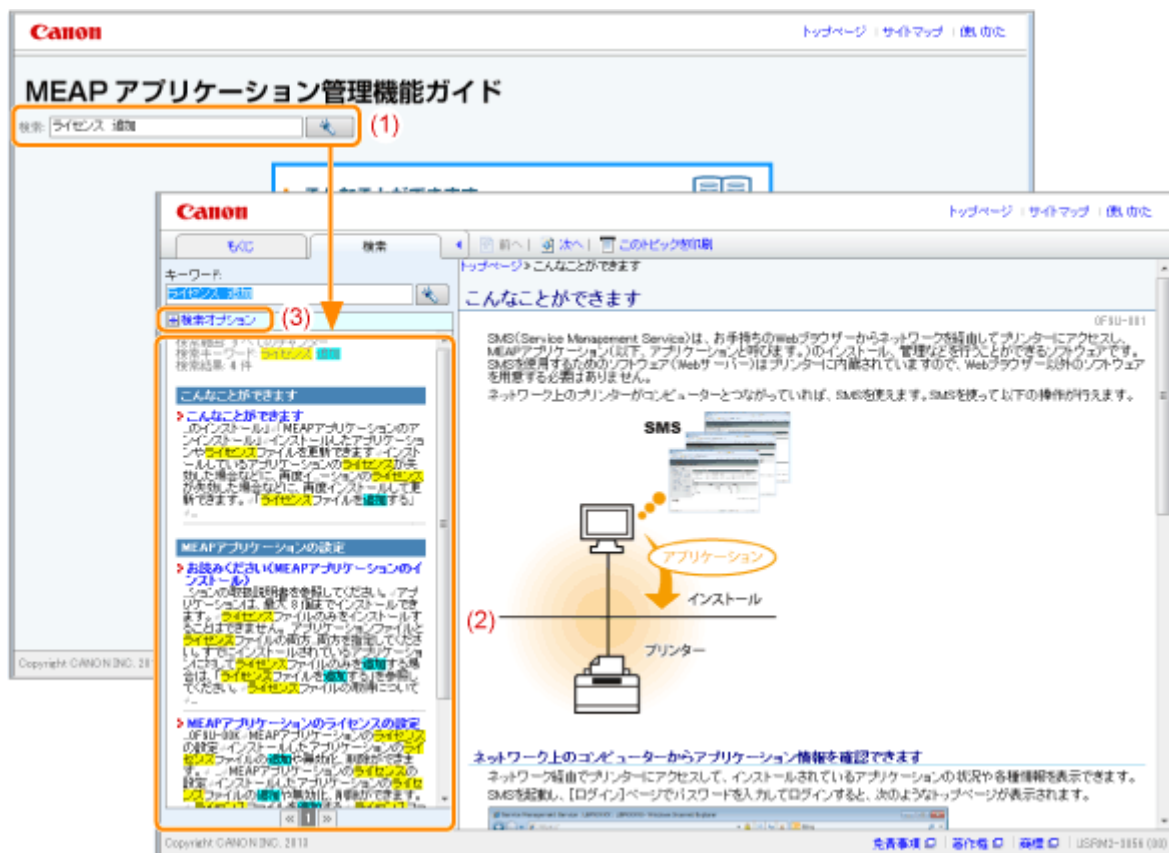


(1) トピック一覧


ガイドのトピック一覧です。項目をクリックすると説明が表示されます。

検索方法

OXL3-028



(1) 検索



トップページの [検索] または検索パネルの [キーワード] の入力欄に文字を入力して、[] をクリックすると、検索結果が表示されます。

本ガイドは AND 検索が可能になっており、2つ以上の語句を入力して検索結果を絞り込むことができます。その場合、語句と語句の間にはスペースを入れてください。

- 例：「ライセンス 追加」（「ライセンス」と「追加」の両方の語句が含まれるページを表示させたいとき）

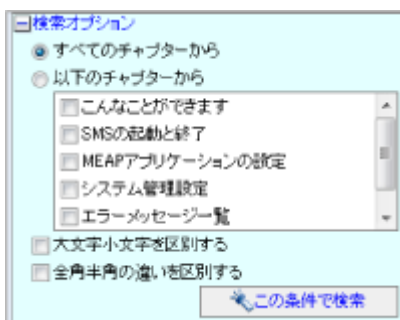
(2) 検索結果

入力された語句の検索結果が表示されます。

検索結果が 10 件以上ある場合は、検索結果の下の [] と [] をクリックしたり、数字をクリックして検索結果を切り替えることができます。

(3) [検索オプション]

検索オプションを表示するときにクリックします。



検索オプションでは、検索するチャプター、大文字小文字の区別、および全角半角の区別を設定することができます。

設定した条件で検索するには、[この条件で検索] をクリックします。

本ガイドの読みかた

0XL3-029

マークについて

取り扱い上の制限・注意などの説明に、次のマークを付けています。

重要

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

メモ

操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーについて

本ガイドでは、操作パネル上のキーやコンピューター画面上のボタンなどを次のように表記しています。

種類	本ガイドの表記	使用例
操作パネル上のキー	[キー名称] キー	[ネットワーク] キー
操作パネル上のディスプレイ	<ディスプレイの表示>	< ON >
コンピューター画面上のボタンなど	[ボタン名称など]	[OK]

画面について

本ガイドで使われている画面は、プリンター購入時の画面内容を掲載しています。

お使いの OS によっては、掲載している画面内容と一部異なる場合があります。

免責事項

免責事項 109

免責事項

0XL3-02A

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

商標

商標 111

商標

OXL3-02E

- 「MEAP」は、キヤノンの複合機ならびにプリンターに搭載された「アプリケーションプラットフォーム」についてのキヤノン株式会社の商標です。
- Apple、AppleTalk、EtherTalk、LocalTalk、Mac、Mac OS、Safari は米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 下記の書体は米国 Bitstream Inc.よりライセンスを受けています。
Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman, Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol, Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text

下記の書体は米国 Bitstream Inc.の商標です。

Dutch 801, Swiss 721

© Copyright 1987, Bitstream Inc., Cambridge Massachusetts USA. All rights reserved.

本製品で使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5 を使用しています。これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

- This product contains the Universal Font Scaling Technology or UFST® under license from Monotype Imaging, Inc. UFST® is a trademark of Monotype Imaging, Inc. registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.
- UFST: Copyright© 1989 - 1996, 1997, 2003, 2004, 2008, all rights reserved, by Monotype Imaging Inc.



- Java and all Java based trademarks and logos are trademarks or registered trademarks of Oracle and/or its affiliates.



- Adobe, PostScript, and the PostScript logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

- Copyright© 2007 -08 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
- Protected by U.S. Patents 5,737,599; 5,781,785; 5,819,301; 5,929,866; 5,943,063; 6,073,148; 6,515,763; 6,639,593; 6,754,382; 7,046,403; 7,213,269; 7,242,415; Patents pending in the U.S. and other countries.
- All instances of the name PostScript in the text are references to the PostScript language as defined by Adobe Systems Incorporated unless otherwise stated. The name PostScript also is used as a product trademark for Adobe Systems' implementation of the PostScript language interpreter.
- Except as otherwise stated, any reference to a "PostScript printing device," "PostScript display device," or similar item refers to a printing device, display device or item (respectively) that contains PostScript technology created or licensed by Adobe Systems Incorporated and not to devices or items that purport to be merely compatible with the PostScript language.
- Adobe, the Adobe logo, PostScript, the PostScript logo, and PostScript 3 are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.
- Linux is a registered trademark of Linus Torvalds. Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- All other trademarks are the property of their respective owners.
- その他、本マニュアル中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at: <http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.
- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.
- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.
- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.